

子ども・子育て支援に関するニーズ調査

【乳幼児・小学生・中高生等保護者】

平成 25 年度

福 岡 市

目 次

I 調査の概要と調査結果のまとめ

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の項目	1
3. 調査の性格	2
4. 調査主体	2
5. 調査実施機関	2
6. 調査結果の分析者	2
7. 調査結果利用上の注意	3

第2章 調査結果のまとめ

1. 乳幼児の保護者	4
2. 小学生の保護者	13
3. 中学生・高校生等の保護者	23

II 乳幼児の保護者調査結果

第1章 対象児童及び家庭の概況

1. 対象者と回答者の基本特性	29
2. 家庭の概況	32

第2章 子育て環境について

1. 子育て（教育を含む）への日常的なかかわり	36
2. 子育てに特に影響する環境	37
3. 子どもをみてもらえる親族・知人の有無	38
4. 子育てに関する相談相手の有無	41
5. 子育てについて得たい情報	44
6. 子育てに関する情報の入手先	46

第3章 地域子育て支援事業について

1. 福岡市の子ども・子育て支援事業等の認知と利用、今後の利用意向	47
2. 子どもプラザ・子育て交流サロンなどの利用について	54

第4章 保護者の就労状況

1. 母親の就労状況	61
2. 父親の就労状況	67

第5章 定期的な教育・保育事業と子育て支援サービスの利用状況

1. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	72
------------------------	----

2. 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向	81
3. 土曜日、日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向	83
4. 病気やけがで教育・保育事業が利用できなかった際の対応	90
5. 不定期の教育・保育事業の利用について	98
6. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	103
7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	106

第6章 子どもの日ごろの生活や居場所

1. 子どもの日ごろの生活	112
2. 近所の公園の利用	118
3. 外で遊ぶ時間	119
4. 子どもの遊び場について感じていること	121
5. 外出する際に困ること・困ったこと	122
6. 近所づきあいの程度	123

第7章 育児休業など両立支援制度

1. 育児休業制度の取得状況	125
2. 育児休業取得後の職場復帰について	127
3. 育児休業を利用しなかった理由	134
4. 継続して就労するために必要な両立支援サービスや環境	135

第8章 子育てに関する意識とかかわり

1. 家事・育児時間	136
2. 「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度	137
3. 母親の育児不安と父親の子育てへのかかわり	140
4. ほしいと思っている子どもの数と実際の子どもの数	149

第9章 行政への要望

1. 充実してほしい子育て支援	154
2. 自由意見	157

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

第1章 対象児童及び家庭の概況

1. 対象者と回答者の基本特性	161
2. 家庭の概況	163

第2章 保護者の就労状況

1. 母親の就労状況	166
2. 父親の就労状況	172

第3章 子育て支援サービスの利用状況とニーズ

1. 病気の時の対応	174
2. 子どもの一時預かりについて	178
3. ファミリー・サポート・センターの利用について	183

第4章 子育てに関する意識とかかわり

1. 家事・育児時間	187
2. 「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の優先度	190
3. 子育てに関する情報	193
4. 母親の育児不安と父親の子育てへのかかわり	197
5. 子どもとのかかわり	208
6. 子どもの将来に期待すること	217
7. ほしいと思っている子どもの数と実際の子どもの数	218

第5章 子どもの日ごろの生活や居場所

1. 日ごろの生活	221
2. 留守家庭子ども会の利用状況	235
3. 放課後等の遊び場づくり事業の利用意向	241
4. 子育て支援サービスの認知と利用経験、今後の利用意向	244
5. 地域の子育て環境	249
6. 地域とのかかわり	253
7. 最近の子どもに不足している生活体験・自然体験	259

第6章 行政への要望

1. 充実してほしい子育て支援	260
2. 自由意見	262

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

第1章 回答者及び家庭の概況

1. 回答者の基本特性	265
2. 家庭の概況	267

第2章 保護者の就労状況

1. 保護者の就労状況	270
2. 保護者の帰宅時刻	271

第3章 子どものしつけや家庭について

1. 子どもとの関係と会話の程度	273
2. しつけや教育についての悩みと相談相手	284
3. 体罰についての考え方	301
4. 子どもの将来に期待すること	303

5. 携帯電話・スマートフォンなどの所有と使用ルール	305
6. 家庭について	309

第4章 地域とのかかわり

1. 地域とのかかわり	313
2. 地域の子どもとのかかわり	319
3. 地域の子育て環境で不満なこと	321
4. 子どもの健全育成に必要なこと	323
5. 過去1年間に子どもと利用した公共施設	328

V 参考資料

◎使用した調査票

福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（乳幼児の保護者）	331
福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（小学生の保護者）	345
福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（中学生・高校生等の保護者）	355

I

調査の概要と調査結果のまとめ

I 調査の概要と調査結果のまとめ

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

子育てについての意識や教育・保育事業の利用状況と利用希望、また青少年の意識や生活実態などについて把握し、「第4次福岡市子ども総合計画」（平成27～31年度）を策定するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

2. 調査の項目

●乳幼児の保護者

- (1) 家族の状況について
- (2) 子育て環境について
- (3) 子どもプラザ・子育て交流などの利用状況について
- (4) 保護者の就労状況について
- (5) 定期的な教育・保育事業の利用状況について
- (6) 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について
- (7) 子どもの病気の際の対応について
- (8) 不定期的な教育・保育事業の利用について
- (9) 宿泊を伴う一時預かり等の利用について
- (10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について
- (11) 育児休業と職場の両立支援制度について
- (12) 子どもの日ごろの生活について
- (13) 子育てに関する意識について
- (14) 子育てや子育て支援に関する意見について

●小学生の保護者

- (1) 家族の状況について
- (2) 保護者の就労状況について
- (3) 留守家庭子ども会等の利用について
- (4) 子どもの病気の時の対応について
- (5) 子どもの一時預かりについて
- (6) ファミリー・サポート・センターの利用について
- (7) 子育て支援サービスの認知度・利用の意向について
- (8) 子育てに関する情報について
- (9) 子育てに関する悩みや相談について
- (10) 子育てについて
- (11) 子どもの日ごろの生活について
- (12) 遊び場や地域の子育て環境について

(13) ほしいと思っている子どもの数について

(14) 行政への意見について

●中学生・高校生等の保護者

(1) 家族の状況について

(2) 子どものことやしつけについて

(3) 家庭について

(4) 地域について

(5) 保護者の就労状況について

3. 調査の性格

- (1) 調査地域 福岡市全域
- (2) 調査対象者 就学前児童（0～5歳）のいる家庭
小学1年生から6年生までの子どものいる家庭
中学生・高校生等のいる家庭
- (3) 調査対象者数

	配布	回収	回収率
乳幼児の保護者	9,000	5,074	56.4%
小学生の保護者	3,000	1,588	52.9%
中学生・高校生等の保護者	2,000	888	44.4%

- (4) 抽出方法 住民基本台帳より抽出
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査期間 平成25年10～11月

4. 調査主体

福岡市こども未来局こども部総務企画課

5. 調査実施機関

実施機関：西日本新聞社 お客さまセンター 調査・マーケティンググループ

6. 調査結果の分析者

調査結果の分析 乳幼児の保護者：阪井俊文（九州女子大学 非常勤講師）
小学生の保護者：古賀琢磨（九州大学大学院比較社会文化学府・研究院）
中高生の保護者：阪井俊文（九州女子大学 非常勤講師）
調査結果の監修とまとめ：佐々木美智子（中村学園大学 教授）

7. 調査結果利用上の注意

- (1) 回答比率の合計は百分比のポイント以下2位を四捨五入しているため、必ずしも100%ちょうどになるとは限らない。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は、原則として100%を超える。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。数表で、分析項目によっては対象者が限定されるため、全体の標本数と合わないことがある。
- (4) 「問〇－〇」では前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して、続けて行った質問である。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち2つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。
- (6) 今回の調査は、次の資料と比較分析を行っている。

「次世代育成支援に関するアンケート調査」平成21年1月～2月実施

※本報告書においては、「前回調査」と記載している。

第2章 調査結果のまとめ

1. 乳幼児の保護者

1-1 対象児童及び家庭の概況

(1) 子どもの数と同居・近居状況

- ・子どもの数は、「2人」(47.9%)、「1人」(31.3%)、「3人」(16.5%)の順となっている。
- ・父母の同居状況は、「父母同居(単身赴任別居等を含む)」(94.8%)が大部分を占めており、「母同居(ひとり親家庭)」が4.4%。
- ・祖父母等の同居・近居の状況は、「祖母近居」(8.1%)、「祖父近居」(6.6%)、「祖母同居」(6.7%)がいずれも1割弱となっている。

(2) 子どもの世話

- ・対象児童の世話を主にしている人は、「父母ともに」(51.1%)と「主に母親」(46.2%)のいずれかにほぼ限られている。
- ・母親が「フルタイムで就労している」場合は、「父母ともに」(61.7%)の割合がやや高くなっているが、「主に母親」(34.3%)も約3割と少なくない。

1-2 子育て環境

(1) 子どもの子育てに日常的にかかわっている人・施設

- ・対象児童の子育てに日常的にかかわっている人(あるいは施設)は、「父母ともに」(57.3%)が約6割。
- ・「保育所(園)」は33.0%、「幼稚園」は27.5%、「祖父母」は17.0%となっている。
- ・母親が「フルタイムで就労」している場合には「保育所(園)」(72.9%)が7割を超えている。
- ・子育てに最も影響すると思われる環境は「家庭」(90.5%)と考えている人がほとんどである。

(2) 子どもを預けることについて

- ・子どもを「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(58.3%)のは約6割で、「日常的に、祖父母等の親族にみてもらえる」(20.0%)のは2割となっている。
- ・親族に子どもを見てもらうことについては、約7割が「心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(72.2%)と感じている。
- ・友人・知人に預ける場合は、「心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(56.5%)は6割弱で、「負担をかけていることが心苦しい」(39.6%)という人も少なくない。

(3) 子育てに関する相談相手

- ・子育てについて気軽に相談できる人・相談できる場所については、「少しはいる(ある)」(50.0%)と「たくさんいる(ある)」(32.4%)と合わせて約8割の保護者が有している。
- ・気軽に相談できる先は、「配偶者・パートナー」(90.6%)、「友人や知人」(77.4%)、「その他

の親族」(74.3%)が高い。

- ・「配偶者・パートナー」や「友人や知人」、「職場の人」などに相談している人ほど、子育ての不安感・負担感が低い傾向がみられる。

(4) 子育てに関する情報

- ・子育てについて得たい情報は、「子どものしつけや勉強」(59.2%)と「子どもの遊び場や施設」(57.6%)が約6割で高い。
- ・前回調査と比べると、「子どもの発育や病気」が14.6ポイント、また「子どもの食事や栄養」「子育ての手当や公的助成」なども8ポイント以上増えている。
- ・ひとり親家庭では、「子育ての手当や公的助成」の情報を求める割合が高い。
- ・子育てに関する情報の入手先は、「近所の人、地域の知人、友人」(60.3%)と「親族(親、きょうだいなど)」(57.9%)が6割前後で高い。
- ・前回調査と比べると、割合が増えた項目が多く、特に「インターネット」は12.8ポイント、「親族(親、きょうだいなど)」は12ポイント増えている。反対に「市の広報紙やパンフレット、公民館だより」や「子育て雑誌・育児書」「フリーペーパー」などは3～6ポイント減っている。

(5) 子育て支援サービスの認知度・利用経験・利用意向

- ・認知度が高いのは「公民館等で行われる母子巡回健康相談」(84.8%)や「区保健福祉センターや公民館の子育て教室事業・講座」(82.2%)となっている。
- ・前回調査と比べると、「市のホームページ」の認知度が12.4ポイント高くなっており、その他「こども総合相談センターでの相談(電話含む)」が7.7ポイント、「認可保育所(園)の子育て支援事業」が5.9ポイント高くなっている。
- ・利用経験と今後の利用意向は、「公民館等で行われる母子巡回健康相談」や「子育て情報ガイド(冊子)」「区保健福祉センターや公民館の子育て教室事業・講座」「市のホームページ」「区保健福祉センターの訪問指導」の割合が高い。
- ・前回調査と比べると、「市のホームページ」の利用経験が14ポイント高くなっている。
- ・また、今後の利用意向はほとんどの項目で上がっているが、特に「区保健福祉センターや公民館の子育て教育事業・講座」や「市のホームページ」では10ポイント以上高くなっている。

(6) 子どもプラザ・子育て交流サロンなどの利用

- ・子どもプラザや子育て交流サロンは、75.1%が「利用していない」としており、利用率が最も高い「子どもプラザ」(18.7%)でも2割に満たない。
- ・「0歳」に限定すれば「子どもプラザ」を3割が利用している。
- ・子どもプラザの今後の利用意向は、「新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない」(62.0%)が約6割、「利用していないが、今後利用したい」(23.8%)が2割強となっている。
- ・子育て交流サロンは、「新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない」(70.7%)が7割を占めている。
- ・子どもプラザや子育て交流サロンを利用していない理由は、「利用する時間がない」「特に利

用する必要性を感じない」が高い。

1-3 保護者の就労状況

(1) 母親の就労

①就労状況

- ・「以前は就労していたが、現在は就労していない」(40.6%)が最も高く、就労しているのはフルタイムとパート・アルバイト等を合わせて48.0%となっている。
- ・前回調査と比べると、『就労している』人は48.0%で6.2ポイント増加し、反対に「以前は就労していたが、現在は就労していない」人は40.6%で9.3ポイント減少するなど、働く母親が増えている。

(内訳) 「フルタイムで就労している」 17.4%
「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」 5.3%
「パート・アルバイト等で就労している」 23.7%
「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」1.6%
「以前は就労していたが、現在は就労していない」 40.6%
「これまで就労したことがない」 8.5%

- ・就労日数は週に5日(61.5%)、就労時間は1日8時間(29.6%)。
- ・家を出る時刻で最も多いのは「8時」(43.6%)、帰宅時刻で最も多いのは「18時」(32.5%)。

②就労希望

- ・パート・アルバイト等で就労している母親のうち約5割は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(50.3%)している。
- ・現在就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」(50.8%)が5割、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(20.9%)が2割となっている。「□歳」については「3～5歳」の範囲が47.6%。
- ・希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」(81.4%)が約8割を占めている。

(2) 父親の就労

①就労状況

- ・「フルタイムで就労している」(90.8%)が回答者の大部分を占めている。
- ・「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」(0.1%)は皆無に等しい。
- ・就労日数は、「5日」(54.4%)が最も多いが「6日」(39.2%)も比較的多い。
- ・1日当たりの就労時間は、「10時間」(22.2%)と「8時間」(19.9%)が多くなっているが、「12時間」(16.0%)や「13時間以上」(17.0%)も少なくない。

②就労希望

- ・「パート・アルバイト等で就労している」場合は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(30.9%)と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(29.4%)がほぼ同数。
- ・現在就労していない場合の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」

(77.8%) がほとんどとなっている。

1-4 教育・保育事業と子育て支援サービスの利用状況

(1) 就学前の教育・保育事業の利用状況・意向

- ・利用率は0～5歳児全体で見ると、「認可保育所（園）」が31.4%、「幼稚園」が28.9%で、いずれの事業・サービスも「利用していない」（30.3%）のは約3割。3～5歳では、「認可保育所（園）」が35.5%、「幼稚園」が50.7%となっている。
- ・保育事業の利用日数は、1週間当たり「5日」（78.4%）と「6日」（13.9%）の割合が高い。希望する日数も同様である。
- ・平日に教育・保育事業を利用している理由は「現在就労しているため」（52.9%）と「子どもの教育や発達のため」（67.1%）。
- ・平日に利用していない人の中には「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」（12.7%）や「利用したいが、経済的な理由で利用できない」（10.1%）という理由がそれぞれ約1割存在する。
- ・土曜日の利用意向は「利用する必要はない」（61.0%）が約6割、「月に1、2回は利用したい」（23.6%）が約2割、「ほぼ毎週利用したい」（14.4%）が1割強となっている。母親がフルタイムで就労している場合には「利用したい」が高い。
- ・日曜・祝日の利用意向は「利用する必要はない」（80.6%）が8割を占めている。
- ・幼稚園を利用している場合の長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望は「休みの期間中、週に数日利用したい」（45.0%）と「利用する必要はない」（38.4%）がともに4割前後。
- ・この1年間に、病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことは、7割強が「あった」（74.2%）。
- ・子どもが病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった場合の対処は、「母親が休んだ」（61.6%）が最も多く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（33.0%）と「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」（31.9%）が多い。
- ・上記の場合に「母親が休んだ」「父親が休んだ」とする保護者の約4割が「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」（39.7%）と思っている。
- ・病児・病後児保育施設等を利用しようとした際に、施設の定員の都合を理由に断られた経験が「あった」のは35.5%。
- ・保護者の泊りがけの用事の際には、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」（20.7%）が最も多いが、そのうちの4割弱はその対処法に困難さを感じている。

(2) 就学後の各種事業の利用意向

- ・小学校入学後の放課後の過ごし方についての意向は、1～3年生の間は、「自宅」（51.0%）と「習い事」（50.7%）が多いが、「学童保育（留守家庭子ども会）」（36.8%）と「放課後等の遊び場づくり事業」（27.1%）も3割前後の保護者が利用を望んでいる。
- ・土曜日と日曜日・祝日、長期休業中（夏休み冬休みなど）における留守家庭子ども会の利用についての意向は、長期休業中が約9割と高く、土曜日が約5割、日祝日は2割弱となっている。

1-5 子どもの日ごろの生活や居場所

(1) 子どもの生活

- ・朝食は「毎日食べる」が92.9%。
- ・子どもの就寝時刻は、「21時」(53.6%)、起床時刻は、「7時」(59.4%)が多い。
- ・前回調査と比べると、就寝時刻や起床時刻が早くなっている子どもが多い。
- ・子どもにテレビやビデオ、携帯電話・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見せておくことについては、「時々そうしている」(54.6%)の割合が最も高く、次いで「よく見せている」(36.0%)となっている。母親が『専業主婦』の場合にその時間が長い傾向がある。
- ・前回調査と比べると子どもが0歳の場合、テレビやビデオを見せておく時間は短くなっている。

(2) 子育ての環境について

- ・近くの公園を約7割が『利用している』。
 - (内訳) 「よく利用している」 21.0%
 - 「ときどき利用している」 51.8%
 - 「あまり利用していない」 16.5%
 - 「利用していない」 7.8%
- ・家の近くの遊び場について、「雨の日に遊べる場所がない」(47.6%)や「道具などの種類が充実していない」(31.7%)と感じている保護者が多い。
- ・前回調査と比べると、今回新たに「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所がなく、思いきり遊べない」(15.0%)の項目が加わったこともあってか、すべての項目で割合が減少している。
- ・外出する際に困っていることは、「買物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」(31.7%)や「歩道の段差などがベビーカーや自転車の妨げになっている」(25.5%)、「小さな子どもとの食事に配慮された場所がない」(23.8%)が高い。
- ・前回調査と比べると「特に困る・困ったことはない」が5.1ポイント増え、「建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」の項目が加わったこともあってか、ほとんどの項目で割合は減少している。

(3) 地域とのかかわり

- ・近所づきあいについては、「会えば、あいさつをする程度」(47.4%)と「会えば世間話をする」(30.5%)が多い。
 - (内訳) 「毎日でもお互いの家を行き来する」 0.9%
 - 「ときどき家を訪問する」 15.9%
 - 「会えば、世間話をする」 30.5%
 - 「会えば、あいさつをする程度」 47.4%
 - 「つきあいはない」 4.8%
- ・前回調査と比べると、いずれの年齢でも「会えば、あいさつをする程度」や「つきあいはない」の割合が増え、「ときどき家を訪問する」は「0歳」や「1～2歳」では8ポイント以上

減るなど、近所づきあいの程度は低くなっている。

- ・近所づきあいは就労していない母親の方が活発な傾向がある。

1-6 育児休業など両立支援制度

- ・母親の育児休業制度の利用は、「取得した（取得中である）」（26.5%）と「妊娠・出産を機に離職した」（24.1%）がいずれも2～3割程度。ただし、「フルタイムで就労」の場合に限れば、「取得した（取得中である）」は75.6%と高い。
- ・父親の育児休業制度の利用はわずか1.2%。
- ・前回調査では母親、父親別にたずねてはいないが、母親の取得は16.5%から10ポイント増えている。
- ・育児休業から復帰したタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」（49.8%）と「それ以外だった」（46.8%）がほぼ半々。
- ・母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、「利用した」（32.1%）が「利用しなかったが、利用しなかった」（27.6%）よりも高い。
- ・育児休業を取得しなかった理由は、「仕事が忙しかった」（20.3%）や「収入減となり、経済的に苦しくなる」（15.6%）、「子育てや家事に専念するため退職した」（14.3%）など多岐にわたっている。
- ・「妊娠・出産を機に離職した」や「育児休業中に離職した」保護者のうちの5割弱は、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労した」（25.7%）など条件が整っていれば継続して就労していたとしている。

1-7 子育てに関する意識とかかわり

(1) 家事・育児について

- ・1週間の家事の平均時間は、母親が32時間20分、父親が3時間24分、同じく育児の平均時間は、母親43時間56分、父親12時間24分である。
- ・母親の希望は「仕事と家事（育児）を両立」（54.5%）が最も多いが、現実には「家事（育児）時間を優先」（52.1%）が最も多い。

（内訳）	「仕事時間を優先」	1.3%	【希望】	／	15.7%	【現実】
	「家事（育児）時間を優先」	43.7%	【希望】	／	54.2%	【現実】
	「仕事と家事（育児）を両立」	53.7%	【希望】	／	27.7%	【現実】
- ・父親の希望は「仕事と家事（育児）を両立」（71.7%）が最も多いが、現実には「仕事時間を優先」（53.6%）が最も多い。

（内訳）	「仕事時間を優先」	8.4%	【希望】	／	53.6%	【現実】
	「家事（育児）時間を優先」	18.1%	【希望】	／	10.1%	【現実】
	「仕事と家事（育児）を両立」	71.7%	【希望】	／	33.8%	【現実】
- ・母親、父親とも希望では「仕事と家事（育児）を両立」がやや増えているが、父親では「仕事時間を優先」の増加もみられる。現実では母親、父親とも「仕事と家事（育児）を両立」が約8～10ポイント高くなり、父親の場合「仕事時間を優先」が3.2ポイント減少している。

(2) 子育ての充実感や不安

- 子育てについて約9割の保護者が『楽しい』(89.5%)と感じている。
 - (内訳) 「大変楽しい」 18.9%
 - 「楽しいことが多い」 70.6%
 - 「つらいと感じることが多い」 8.7%
 - 「とてもつらい」 0.4%
- 前回調査と比べると、子育てを『楽しい』と感じる割合は、全体で3.1ポイント増加。子どもが「0歳」で4.6ポイントと増加率が最も高い。
- 父親が子育てを十分にやっているほど「大変楽しい」が高く、「つらいと感じることが多い」が低いという傾向がみられる。
- 子育てについて約7割の保護者がいくらかの不安や負担を感じている。
 - (内訳) 「不安や負担を感じる」 9.4%
 - 「多少は不安や負担を感じる」 58.6%
 - 「あまり不安や負担などは感じない」 19.7%
 - 「感じない」 6.6%
 - 「なんともいえない」 4.7%
- 前回調査と比べると、子育てに不安や負担を『感じる』割合は、6.5ポイント増加し、子どもが「0歳」では58.6%から9.7ポイントと他の年齢に比べ上昇率は高い。
- 父親が子育てを「全くやっていない」場合には、不安や負担を『感じる』(79.2%)が約8割と非常に高い。
- 子育ての悩みの主なものは以下のとおり
 - (内訳) 「子どものしつけに関すること」 43.2%
 - 「子どもを叱りすぎているような気がする」 27.8%
 - 「子どものくせや性格に関すること」 21.5%
 - 「子どもの病気や発育・発達に関すること」 21.1%
 - 「子どもの食事や栄養に関すること」 20.4%

(3) 父親の子育てへの評価

- 父親の子育てについて『やっている』という評価が約8割。前回調査より5.4ポイント増加している。
 - (内訳) 「十分にやっている」 31.2%
 - 「十分とはいえないが、まあやっている」 50.6%
 - 「かなり不足している」 14.3%
 - 「全くやっていない」 2.4%
- 母親が「フルタイムで就労」している場合には、父親が子育てを『やっている』が85.0%と高い。

(4) 子どもの人数について

- 理想の子どもの数は「3人」(46.8%)が多く、次いで「2人」(38.1%)。
- 実際に予定している子どもの数は「2人」(56.0%)が多く、次いで「3人」(24.0%)とな

っており、理想よりも少ない。

- ・前回調査に比べて「2人」が6ポイント増加し「3人」が7.8ポイント減少している。
- ・理想よりも実際に予定している人数が少ない理由は、「子どもを育てるのにお金がかかるから」(55.5%)や「年齢的な理由で無理だから」(25.4%)、「育児の身体的な負担が大きいから」(19.5%)などとなっている。
- ・前回調査と比べると、「子どもを育てるのにお金がかかるから」は6.2ポイント減少。ほとんどの項目で割合は前回調査よりも低くなっている。

1-8 行政への要望

- ・充実すべき子育て支援施策は、「保育所（園）や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」(52.7%)が約5割で最も高く、次いで「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」(43.9%)、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」(22.3%)、「専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」(22.1%)、「保育所（園）を増やしてほしい」(21.5%)となっており、保育所等の事業に関わる要望が多い。
- ・前回調査と比べると、「保育所（園）や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」が14.6ポイント、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」が9.3ポイント減少し、「子連れが出かけやすく、楽しめるイベント」が9.4ポイント増加している。

おわりに

福岡市の出産をめぐる現状については、直近5年間の出生数は年間14,000人台で推移しており、全国と比較すると出生率は高い状況にあるが、合計特殊出生率は低く1.25（平成22年）で、超低出生率といわれる1.3を下回っている。調査結果では、子どもの人数の理想は「3人」(46.8%)、実際では「2人」(56.0%)が多く、理想と実際にはギャップがある。家族の状況は、前回調査と比較して少子化と核家族化が進行している。

子育て環境については、多くは父親と母親、または母親が、身内や友人・知人、保育園や幼稚園の支援を受けながら子育てや相談を行っているが、緊急時に子どもをみてもらえる親族・知人が「いない」(17.1%)、相談相手が『いない』(6.3%)等、子育て環境の孤立化が危惧される保護者も少なくない。

地域子育て支援事業は、利用経験は身近な公民館や区保健福祉センターの事業で多くなっているが、子ども総合相談センター、ファミリー・サポート・センター等の専門・個別支援事業についての利用率は低い。子どもプラザは、子どもが0～2歳までは4割前後が利用している。教育・保育事業の利用率は「認可保育所（園）」と「幼稚園」、「利用していない」がほぼ3分の1ずつで、今後の利用意向は「幼稚園」(54.0%)と「認可保育所（園）」(48.6%)で高い。病児・病後児保育の利用意向は、保護者の就労形態、子どもの年齢によって異なっているが、すべての保護者が安心して子どもを生き育てられるよう事業のさらなる提供の充実が求められる。また、これらの事業の利用意向は高く、保護者のニーズを利用につなげるための情報提供と、利用者支援の充実が求められる。

保護者の就労状況は、母親が『就労している』は48.0%、「以前は就労していたが、現在は就

I 調査の概要と調査結果のまとめ

「働いていない」は 40.6%であり、前回調査と比べると割合が逆転して働く母親が増加している。就労していない母親の今後の就労希望は約 7 割で、共働き家庭の増加が進むと思われる。父親の就労状況は、約 9 割がフルタイムで、就労時間は『10 時間以上』の長時間が半数以上を占めている。

家事・育児は、母親が長時間（週 30～40 時間）行っているが、前回より母親の平均時間は減少し、父親の参加時間の増加傾向が見られる。父親の子育てへの評価も、『やっている』がやや増えた。徐々にではあるが、父親の育児参加率が増加している。

子育てを『楽しい』と感じる割合は約 9 割、『不安や負担』と感じる割合は約 7 割で、いずれも前回調査より増加し、保護者は子育てに楽しさと不安や負担の両面を感じていることが分かる。子育ての楽しさや不安・負担は父親の子育てへの参加程度と関連がみられる。父親の家事・育児参加が進むためには、父親への意識啓発とともに、職場環境の改善の働きかけが必要な対策である。

以上の調査結果から、平成 27 年 4 月の「子ども・子育て支援新制度」スタートに向けて、福岡市のすべての保護者が安心して子どもを産み育てられる環境づくりに向けて、質の高い幼児期の教育・保育の総合的提供、保育の量的拡大・確保、地域の子ども・子育て支援の充実（利用者支援・地域子育て支援拠点事業等）、父親と母親が共に仕事と家事・育児を両立できるよう企業の両立環境整備の支援等を推進していく必要があるだろう。

2. 小学生の保護者

2-1 保護者の就労状況

(1) 就労率と帰宅時間

- ・母親の就労率は60.0%。
フルタイム(育児休業中含む)(22.1%)、パートタイム・アルバイト等(37.9%)。
- ・前回調査と比較すると、1～3年生、4～6年生とも就労率は約5～6ポイント増加している。
- ・子どもの学年があがると母親の就労率は高くなる。
(学年別) 1～3年生(57.3%)
4～6年生(62.8%)。
- ・就労している保護者の平均帰宅時刻で多いのは、父親が20時台(21.5%)と「21時台」(19.4%)、母親が「18時台」(35.0%)と「19時台」(31.1%)。
- ・21時以降に帰宅する父親は41.5%。

(2) 母親の就労についての希望状況

- ・パートタイム・アルバイト等で就労している母親の47.4%がフルタイムへの転換を希望している
(就労時期) 「ある(すぐにでも又は1年以内に)」6.9%
「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」40.5%
- ・現在働いていない母親は76.3%が就労を希望しているが、そのうちフルタイムでの就労を希望しているのは8.4%。
(就労時期) 「すぐにでも又は1年以内に希望がある」32.2%
「ある(いずれは)」44.1%
(就労形態) 「フルタイム」8.4%
「パートタイム・アルバイト等」84.4%
- ・就労希望がありながら母親が働いていない理由の第1位は「子どもが小さいうちは自分が家にいてあげたい」(45.0%)となっており、就労希望時期としては末子の年齢が「9歳以上」になったらと回答した人が最も多く43.8%を占めていた。

2-2 子育て支援サービスの利用状況とニーズ

(1) 病気の時の対応

- ・子どもが病気などで学校を休んだことが「あった」家庭は61.3%。その際の対処として「就労していない保護者がみた」(40.0%)が最も多い。母親が『就労している』場合「母親が休んだ」は6割前後、「父親が休んだ」は1割程度、「仕方なく子どもだけで留守番させた」は約2割となっている。

(2) 子どもの一時預かりについて

- ・子どもの一時預かりをしてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」(42.6%)が4割を超えるが、その一方で、約4分の1が「いずれもない」(25.5%)と答えている。
- ・祖父母など親族に子どもをみてもらうときの気持ちは「特に問題はない」(54.1%)、友人・知人に子どもをみてもらうときの気持ちは「負担をかけていることが心苦しい」(47.5%)が最も多い。
- ・子どもを一時的に家族以外の誰かに預けたことがあるかどうかについて、「ない」が64.4%、「ある」が34.0%と、約3人に1人は預けたことがある。
- ・育児の相互援助活動を行う会員組織「ファミリー・サポート・センター」を利用している人は1.8%と非常に少ない。
 (内訳) 「利用している」 1.8%
 「知っているが、利用していない」 61.2%
 「知らない」 36.6%

2-3 子育てに関する意識とかかわり

(1) 家事・育児時間

- ・1週間あたりの父親の家事・育児時間の平均はどちらも10時間未満である。対して母親はどちらも30時間前後であり、家事は10倍、育児にはおよそ3倍の時間をかけている。
 (平均家事時間) 父親 3時間 17分
 母親 32時間 50分
 (平均育児時間) 父親 9時間 27分
 母親 28時間 33分
- ・母親の就労状況別にみると、母親の家事・育児時間とも『専業主婦』の方が『就労している』場合よりかけている時間は長い。
- ・父親の育児時間は母親の就労状況に関係なく「~10時間」が最も多いが、家事時間は「これまで就労したことがない」場合に「0時間」(38.4%)が約4割と高くなっている。

(2) 仕事と家事(育児)の優先順位

- ・母親の希望は「仕事と家事(子育て)を両立」(52.4%)が最も多いが、現実には「家事(子育て)時間を優先」(43.9%)が最も多い。
 (内訳) 「仕事時間を優先」 0.9%【希望】/20.5%【現実】
 「家事(子育て)時間を優先」 40.4%【希望】/43.9%【現実】
 「仕事と家事(子育て)を両立」 52.4%【希望】/29.0%【現実】
- ・前回調査と比べて現実で「家事(子育て)時間を優先」が5.9ポイント減少し、「仕事と家事(子育て)を両立」がやや増えている。
- ・父親の希望は「仕事と家事(子育て)を両立」(73.8%)が最も多いが、現実には「仕事時間を優先」(47.6%)が最も多い。
 (内訳) 「仕事時間を優先」 8.3%【希望】/47.6%【現実】

「家事（子育て）時間を優先」 13.1%【希望】／14.3%【現実】

「仕事と家事（子育て）を両立」 73.8%【希望】／32.1%【現実】

- ・父親の希望は「仕事と家事（子育て）時間を両立」が前回調査より 9.3 ポイント高くなっている。また、現実でも「仕事時間を優先」が 12.9 ポイント減少し、「家事（子育て）時間を優先」が 7.7 ポイント、「仕事と家事（子育て）を両立」が 3.2 ポイント増加するなど、仕事より家事や育児を優先に考える父親は増えているようだ。

（3）子育てに関する情報

- ・子育てについて得たい情報は「子どもが参加できるイベントについて」（60.9%）が最も高く、次いで「子どもの遊び場や施設について」（53.1%）で5割を超えている。以下、「子どものしつけや勉強について」（44.3%）、「習い事や学習塾について」（43.5%）など4割を超えており、子どもの教育に関わる情報にも高い関心が高い。
- ・前回調査と比較するとほとんどの項目で割合が高くなっており、特に「子どもが参加できるイベントについて」「子どもの遊び場や施設について」「子育ての手当てや公的助成について」などは12ポイント以上増加している。
- ・情報の入手先は、「保護者仲間」（61.5%）、「インターネット」（51.6%）、「近所の人、地域の知人、友人」（48.8%）、「小学校」「市の広報紙やパンフレット、公民館だより」（同率46.7%）などが多い。
- ・前回調査と比べると「インターネット」は31.0%から20.6ポイント増加し、前回5位から2位へ順位が上がっている。

（4）母親の育児不安と父親の子育てへのかかわり

- ・子育てについて『楽しい』が8割を超える。

（内訳） 「大変楽しい」 24.2%

「楽しいことが多い」 62.6%

「つらいと感じることが多い」 8.6%

「とてもつらい」 0.3%

- ・前回調査と比較すると、「大変楽しい」が9.2ポイント高くなっており、『つらい』と答えた人は5.5ポイント減少するなど、子育てを楽しんでいると感じる人は前回よりも増えている。
- ・父親の子育ての評価が高くなるほど『楽しい』と感じる割合が高くなり、評価が低くなるほど『つらい』と感じる割合が高くなるなど、父親の子育ての程度による違いが顕著にあらわれている。
- ・配偶者が子育ての悩みや相談を「よくきいてくれる」は45.7%。前回調査と比較すると、16.1ポイント高くなっている。父親の子育ての程度の評価が高くなるほど「よくきいてくれる」が高くなっており、「十分にやっている」では84.7%と高率である。
- ・子育てについて相談できる身近な人（配偶者や親族以外）が「たくさんいる」と回答したのは29.7%。
- ・子育ての相談相手は、「配偶者・パートナー」（75.3%）、「友人」（66.1%）、「その他の親族（親、きょうだいなど）」（59.6%）が主にあげられている。
- ・前回調査と比較すると「友人」が4.8ポイント減少し、「学校等の保護者仲間」「学校の先生」

I 調査の概要と調査結果のまとめ

「インターネットや育児書で解決策を探す」などが約4～8ポイント高くなっている。

- ・子育ての悩みについて、主なものは以下のとおり
 - (内訳) 「子どもの進学や受験、又は就職のこと」 26.7%
 - 「子育てで出費がかさむこと」 25.6%
 - 「子どもに基本的な習慣が身についていない」 25.4%
 - 「子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること」 25.1%
- ・「子どもの進学や受験、又は就職のこと」は高学年になると上昇する。
 - (学年別) 1～3年生 18.9%
 - 4～6年生 35.1%
- ・前回調査と比較すると、「子育てで出費がかさむこと」「子どもに基本的な習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身についていない」「配偶者があまり協力してくれない」などは約4～7ポイント低くなっている。
- ・父親は子育てを『やっている』という評価は72.9%。
 - (内訳) 「十分にやっている」 26.7%
 - 「十分とはいえないが、まあやっている」 46.2%
 - 「かなり不足している」 18.0%
 - 「全くやっていない」 4.0%
- ・前回調査と比較すると『やっている』と回答した人の割合は1～3年生で4.8ポイント、4～6年生で7.9ポイント高くなっており、父親の子育てへの評価は前回より高くなっている。

(5) 子どもと過ごす時間

- ・子どもと過ごす時間は、父親・母親とも平日では「1時間～2時間程度」、休日では「7時間以上」が最も多い。
- ・平日の子どもと一緒に過ごす時間に『十分』と評価している人は約6割。
 - (内訳) 「十分」 21.2%
 - 「まあ十分」 38.5%
 - 「やや不足している」 27.6%
 - 「まったく不足している」 9.9%
- ・父親の『十分』は39.3%と母親と比べて21.6ポイント低い。
- ・休日に子どもと一緒に過ごす時間が『十分』と評価している人は7割を超えている。
 - (内訳) 「十分」 31.0%
 - 「まあ十分」 44.1%
 - 「やや不足している」 17.7%
 - 「まったく不足している」 4.3%
- ・父親の『十分』は64.3%と平日に比べて25ポイント高くなっているが、母親(75.9%)と比べると11.6ポイント下回っている。

(6) 子どもとの関係

- ・子どもとの関係について良好と感じている人は9割を超えている。
 - (内訳) 「うまくいっている」 45.6%

「だいたいうまくいっている」48.0%

「あまりうまくいっていない」3.3%

「うまくいっていない」0.4%

- ・家庭での子どもの役割について、子どもが手伝いをしていない家庭は約2割。
 (内訳) 「役割を決めて、子どもは手伝いをしている」31.6%
 「役割を決めているが、子どもは手伝いをしていない」8.8%
 「役割を決めていないが、子どもは手伝いをしている」43.1%
 「役割を決めておらず、子どもも手伝いをしていない」13.8%
- ・日ごろのしつけについては「だいたい子どもの言いなりになっている方だ」「体罰をすることがある」で『そうである』が約3～4割みられる。
- ・子どもを『しかったり、注意する』のは想定されるほとんどの場面で8割を超える。
- ・子どもの将来に期待することは「丈夫に育ち、健康でいて欲しい」(78.8%)が最も多い。

(7) ほしいと思っている子どもの数と実際に予定している子どもの数

- ・理想の子どもの数は3人(41.9%)が最も高く、実際に予定している子どもの数は「2人」(49.1%)が最も多い。
- ・理想の子どもの人数よりも予定している子どもの人数が少ない理由としては「子どもを育てるのにお金がかかるから」(50.2%)、次いで「年齢的な理由で無理だから」(36.9%)が高い。

2-4 子どもの日頃の生活と居場所など

(1) 食事・睡眠

- ・朝食を「毎日食べる」が95.9%。1週間のうち家族そろって夕食をとる回数は「毎日一緒に食べる」が37.5%、「ほとんど一緒に食べない」が33.5%である。
- ・前回調査と比較すると、朝食を「毎日食べる」が1～3年生で2.1ポイント減少している。
- ・夕食を「毎日一緒に食べる」は前回調査より6.5ポイント減少し、「週に1～2回しか一緒に食べない」や「ほとんど一緒に食べない」の割合が増えている。
- ・就寝時刻は1～3年生では「21時台」(57.8%)、4～6年生では「22時台」(56.0%)が最も多い。起床時刻は学年による差異はあまりなく、「7時台」が6割台である。
- ・前回調査と比較すると、いずれの学年も就寝時刻、起床時刻とも早くなっている子どもが増えている。

(2) 放課後の過ごし方

- ・放課後から17時までは「公園などで友だちと遊んでいる」、17時以降は「保護者や祖父母など家族・親族(大人)と過ごす」の割合が最も高い。17～18時では「学習塾や習い事に行っている」(19.8%)が「公園などで友だちと遊んでいる」(16.8%)よりも高くなっている。
- ・平日と一緒に遊ぶ友だちは「学校の友だち」(72.0%)が圧倒的に多い。
- ・平日に外で遊ぶ時間は「1時間以上～2時間未満」が33.5%、「30分以上～1時間未満」が24.4%となっている。
- ・休日に外で遊ぶ時間は「1時間以上～2時間未満」が21.5%、「2時間以上～3時間未満」

が 17.7%、「3 時間以上～4 時間未満」12.5%と平日に比べて外遊びの時間は長くなっている。

- ・前回調査と比較すると、平日の 4～6 年生で「1 時間以上～2 時間未満」が 7.4 ポイント増加し、「30 分以上～1 時間未満」が 8 ポイント減少するなど、外で遊ぶ時間は長くなっている。
- ・休日はいずれの学年でも「外で遊ばない」が約 6～8 ポイント増加している。
- ・平日にテレビやゲームをする時間は「1 時間以上～2 時間未満」(39.7%)、休日は「2 時間以上～3 時間未満」が (30.8%) が最も多い。前回調査と比較しても平日、休日ともあまり大きな差はみられない。

(3) 通信端末の所有状況と利用状況

- ・携帯通信端末（携帯電話、タブレットなど）の所有率は 1～3 年生では 26.2%、4～6 年生では 34.2%である。前回調査よりいずれの学年でも所有率は 10 ポイント以上高くなっている。
- ・家庭でインターネットを利用しているのは、1～3 年生は 33.4%、4～6 年生は 58.6%である。いずれの学年も前回調査より利用率は 10 ポイント以上高くなっている。

(4) 留守家庭子ども会(放課後児童クラブ)等の利用状況

- ・留守家庭子ども会について、1～3 年生で「利用している」は 23.3%で、前回調査(25.0%)とあまりかわらない。
- ・留守家庭子ども会の利用日数は「5 日」が最も多く、土曜日に利用している子どもは 15.1%である。利用している理由は保護者が「現在就労している」が 9 割以上を占めている。
- ・留守家庭子ども会に対して、「夏休みなど、学校休業日の開始時間（現在 8 時 30 分から）を早めてほしい」(50.7%)という希望が約半数、「必要な時だけ利用できるようにしてほしい」(25.6%)も約 4 分の 1 を占めている。
- ・利用していない理由としては「現在、就労していないから」(45.4%)が最も多いが、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」(16.9%)も 2 割近くみられる。

(5) 放課後などの遊び場づくり事業の利用意向

- ・放課後等の遊び場づくり事業の利用意向は 45.0%。1～3 年生の保護者の方が利用意向は高い。

(学年別) 1～3 年生 53.3%

4～6 年生 36.0%

- ・前回調査と比較すると、4～6 年生で「参加させたいとは思わない」が 6.1 ポイント高くなっている。
- ・昼間校庭開放事業の利用意向は 41.4%。1～3 年生では放課後等の遊び場づくり事業より 8.2 ポイント利用意向は低い。

(学年別) 1～3 年生 45.1%

4～6 年生 37.4%

- ・前回調査と比較すると、4～6年生で「参加させたいとは思わない」が4.7ポイント高くなっている。

(6) 子育て支援サービスの認知度・利用状況・利用意向

- ・認知度、利用経験ともに高いのは「公民館や市民センターなどの子育て教室、講座」「公民館や市民センターでの子ども向け事業」「少年科学文化会館での子ども向け事業」「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」などである。
- ・認知度を前回調査と比較すると、ほとんどの事業で認知度は低くなっているが、「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」では認知度が7.1ポイント上がっている。
- ・利用経験では前回調査より「公民館や市民センターなどの子育て教室、講座」「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」「中央児童会館の子育て支援事業」「市のホームページ」などが上がっており、特に「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」「市のホームページ」では8ポイント以上利用率が上がっている。反対に「公民館や市民センターでの子ども向け事業」「少年科学文化会館での子ども向け事業」などでは利用率が4ポイント以上下がっている。
- ・今後の利用意向が高いものは「少年科学文化会館での子ども向け事業」(66.5%)、「小学校での昼間校庭開放事業」(56.4%)、「公民館や市民センターでの子ども向け事業」(55.2%)、「市のホームページ」(53.3%)、「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」(52.1%)などで半数を超えている。
- ・すべての事業で1～3年生の利用意向が4～6年生を上回っており、特に「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」では16.6ポイント、「小学校での昼間校庭開放事業」では9.3ポイント高くなっている。

(7) 公共施設の利用状況・利用意向

- ・過去1年間に子どもとともに利用した公共施設として「動植物園など野外施設」(52.5%)、「総合図書館・各区の市民図書館」(50.6%)、「小中学校の校庭・体育館」(50.5%)などがあげられている。
- ・近所にあつたらよいと思う遊び場として「雨の日でも自由に遊べる場所」(58.8%)が最も高く、前回調査と比べて「自然が残され、虫や鳥がいる場所」(17.3%)、「かくれんぼや冒険遊びができる、原っぱや空き地」(25.9%)、「野球やサッカーのできる場所」(24.9%)など外遊びに関する項目は低くなっている。

(8) 子育て環境についての不満

- ・居住地域の子育て環境での不満として「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない」(39.4%)、「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」(37.9%)、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」(29.0%)などがあげられている。
- ・前回調査と比較すると、今回新たに「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない」が加えられたためか、その他の項目で割合は減少している。

(9) 地域とのかかわり

- ・近所づきあいの程度については、「会えば、あいさつをする程度」(41.3%)、「会えば、世間話をする」(40.6%)といったつきあいが8割を占める。
 - (内訳) 「毎日でもお互いの家を行き来する」0.8%
 - 「ときどき家を訪問する」13.6%
 - 「会えば、世間話をする」40.6%
 - 「会えば、あいさつをする程度」41.3%
 - 「つきあいはない」1.9%
- ・今後の地域とのかかわりの程度も「今程度のつきあいを続けたい」が5割以上となっている。
 - (内訳) 「もっとつきあいを深めたい」10.6%
 - 「今程度のつきあいを続けたい」54.3%
 - 「できれば今よりつきあいを少なくしたい」1.4%
 - 「つきあいをまったくなくしたい」1.2%
- ・地域の共同清掃作業や地域行事の参加頻度について、『参加』している人は75.5%。
 - (内訳) 「いつも参加している」26.8%
 - 「ときどき参加している」48.7%
 - 「あまり参加していない」16.0%
 - 「参加したことはない」8.3%
- ・地域によりよい地域をつくるような雰囲気がある『ある』が約8割。
 - (内訳) 「かなりある」39.4%
 - 「少しはある」41.4%
 - 「あまりない」6.0%
 - 「まったくない」1.6%
 - 「分からない」11.5%
- ・地域で協力しあう雰囲気がない理由は「住民どうしの日常的なつながりがないから」が62.8%と最も多い。
- ・最近の子どもに不足している生活体験は「自然の中でキャンプをするなど、自給自足的な生活をする」(49.1%)、「野山や公園などで、草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする」(39.0%)、「子どもどうしで、遊びやスポーツなどの活動をする」(34.1%)、「お年寄りから、日本の伝統的な工芸、芸術(竹細工、折紙など)や遊び(石けり、お手玉など)を習う」(30.1%)などがあげられている。

2-5 行政への要望

- ・今後充実してほしい子育て支援施策として、「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」(43.6%)、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」(43.0%)は4割の人が要望している。
- ・前回調査と比べると「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」は5ポイント上がっているが、今回新たに「地域で子どもを見守り、育むしくみを充実してほしい」(27.9%)が加えられたためか、その他の項目は前回に比べて割合が低くなっている。

- ・母親の就労状況別でみると、「フルタイムで就労」の場合「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が41.7%と最も高い。

おわりに

今回調査対象の小学生について家族状況をみると、核家族化（83.1%）が進み、近隣関係は会えば挨拶や世間話程度が8割以上となっていた。

今回調査では、『就労している』小学生の母親の割合は6割（「フルタイム」2割強、「パートタイム・アルバイト」4割弱）となり、前回より5ポイント増加し、『就労していない』母親は4割を切った。就労していない母親は子育てを自分の手であることを望んでいるが、今後の就労希望は『ある』が約8割で、就労形態は「パートタイム・アルバイト」希望が多い。

家事・育児は母親が長時間（それぞれ週30時間前後）行っており、父親は母親の10分の1、3分の1程度の時間であるが、前回調査に比べて父親の家事・育児の時間、子育てへの参加に対する母親の評価、子育ての悩みや相談をきくなどは増加が見られ、父親の育児参加は進んでいる。父親は就労時間の長さや帰宅時間の遅さなど、就労の実態は厳しい中で、仕事優先が前回調査に比べて3.5ポイント減少している。今回は、父親も母親もともに「仕事と家事（育児）の両立」希望が最も多くなった。

留守家庭子ども会は、1～3年生の利用率は約4分の1で、前回調査とあまり変わらない。子どもの病気の看病や一時預かりは、多くが家族、親族、友人などを利用しながらやりくりしている様子が見てとれるが、「いずれもない」は4分の1を占めている。

子育てに関しては、『楽しい』は9割弱、『つらい』は1割弱で、前回調査より「大変楽しい」が約10ポイント増加している。父親の家事・育児参加に対する評価が高いと、子育てが『楽しい』という母親が増加し、低いと『つらい』が増加するという関連がみられるので、さらなる父親の家事・育児参加が求められる。

子どもの生活は前回調査と比べて、携帯電話等の利用以外はあまり大きな変化は見られない。小学生の携帯電話など通信端末の所有率は3割、前回調査に比べて2倍弱増え、インターネットの利用率も約46%、12ポイント増加した。

子育て支援事業は、少年科学文化会館の事業と校区や区内の事業は認知度が6～8割で、利用度が3～4割、利用意向が5割前後である。公共施設は、動・植物園、図書館、小中学校の校庭・体育館を半数以上が利用している。行政への要望では、子連れで参加できるイベント、医療体制の整備が4割強で高い。次いで地域での子どもの見守り、企業の職場環境改善の働きかけが約3割である。さらに、専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービス、子どもや親が安心して集まり、遊びや情報交換ができる場がそれぞれ約25%である。

以上をまとめると、福岡市の小学生の保護者は共働き家庭が6割を占めており、母親も父親も共に「仕事と家事（育児）の両立」希望が多いが、現実には厳しく、子育ては個々の家族がやりくりしながら行っている。中でも気になるのは、緊急時に預かってもらえる人がいない人が4分の1を占めていることである。仕事と家事・育児を両立しようと頑張っている保護者をバックアップするために、まずは企業も行政もともに両立の仕組みづくりに本腰を入れる必要がある。

子どもの生活では、情報化社会の進展に伴い小学生でも携帯電話など通信端末の所有やインターネット利用が一般化する傾向が強く、小学生がネット・トラブルに巻き込まれないよう、利用能力の低い低学年の内に、利用場所や利用時間などについて家族でしっかり話し合いをすること

が望まれる。そのためには、小学校における子どもへの情報教育と保護者への情報教育の充実が必要となる。

さらに、福岡市では公共施設の動・植物園や図書館、学校の校庭などは半数以上が利用しているが、保護者が欲しい情報や行政への要望では子連れで参加できるイベントが最も高かった。親と子が共に参加できるイベントや遊びの場として、児童遊園の設置等も今後の課題として検討する必要があるのではなかろうか。また、行政への要望では、子どもの医療体制、地域での子どもの見守りなど、安全・安心な環境の確保に対する要望が高かった。子どもの健やかな成長を支える医療体制や地域の見守り環境のさらなる充実を進める必要がある。

3. 中学生・高校生等の保護者

3-1 回答者及び家庭の概況

- ・回答者の約9割が「母親」。
- ・子どもの保護者の年齢は、父母ともに40歳代が中心。
- ・回答者の現在の居住地区での居住年数は、10年以上が半数以上を占める。

3-2 保護者の就労状況

- ・約7割の母親が就労している。
- ・父親は8割以上が「フルタイムで就労」。
- ・保護者の帰宅時刻は、母親の約7割は午後6時ごろまでに帰宅しているが、父親は約6割が午後8時以降の帰宅。

3-2 子どものしつけや家庭について

(1) 子どもとの関係と会話の程度

①子どもと過ごす時間

- ・平日に子どもと過ごす時間は、2時間程度以内という人が母親の約6割、父親の約4分の3。
- ・平日、休日ともに、母親の方が子どもと過ごす時間が長い傾向がみられる。
- ・保護者がフルタイムで就労している場合、平日に子どもと過ごす時間がパート就労や就労していない場合に比べて短い、休日は差がみられない。
- ・子どもと過ごす時間については、平日、休日ともに『十分』が7割弱。「父親」「フルタイム就労」「ひとり親」では『不十分』が比較的高い。

②子どもとの会話

- ・子どもが父母両方とよく話をするという回答は中学生で5割台半ば、高校生世代でも5割弱にのぼる。子どもとよく話をする母親は9割弱、父親は7割台半ば。
- ・子どもが両親のどちらかまたは両方とあまり話をしない理由は、「親が忙しい」「子どもが忙しい」の順に多いが、高校生世代では「子どもが忙しい」の割合が高くなる。

③家庭での子どもの役割

- ・家で子どもが手伝いをしているという回答は中学生で7割強、高校生世代で約6割。
- ・高校生と比較して、中学生では子どもの役割を決めているとする割合が高い。
- ・「フルタイム就労」で『子どもは手伝いをしている』(71.5%)が比較的高い。

(2) しつけや教育についての悩みと相談相手

①日ごろのしつけ

- ・「子どもが何かやっているとすぐ手伝ってしまう方だ」は5割台、「子どもについて何でもすぐに口を出す方だ」は父親では6割台が『そうである』。母親の方が『そうである』の割合が約8割と高い。
- ・「子どもにあまりかまってやれない方だ」は全体では49.1%だが、「フルタイム就労」では

65.3%。

- ・「体罰をすることがある」は高校生世代では1割強だが、中学生では約4分の1。
- ・「子どものことを分かっている方だ」は9割超が『そうである』と回答している。

②子どもをしかる場面

- ・子どもをしかる場面については、「無断で外泊したとき」「タバコを吸ったとき」「お酒を飲んだとき」は「強くしかったり、注意したりする」が大半を占める。
- ・「よくない言葉づかいや態度をとったとき」「交通ルールを守らなかったとき」も「強くしかったり、注意したりする」が比較的高い。
- ・「異性の友達とつき合ったとき」に『しかったり、注意する』という回答は5割弱だが、子どもの性別でみると、男性は3割台、女性は5割台となっており、子どもが女性の場合に『しかったり、注意する』との回答が多い。
- ・「タバコを吸ったとき」「お酒を飲んだとき」は、中学生では子どもの性別による差はないが、高校生世代では子どもが女性の場合に「強くしかったり、注意したりする」がやや高い。

③子どもとの日ごろの関係であること

- ・子どもとの日ごろの関係で「子どもが何を考えているか理解できないことは」「親の考えや気持ち子どもにわかってもらえないことは」「親子で一緒に楽しむことが少ないことは」「子どものすることや考えについていけないと思うことは」などは高校生世代で『ある』の割合が高い。
- ・「親子の親しみのある会話ができないことは」や「親子で一緒に楽しむことが少ないことは」「子どもが親をばかにした態度をとることは」については、母親よりも父親で『ある』が高い。
- ・「子どもがにくらしく思えることは」については、中学生の方が、子どもがにくらしく思えることがあるとする割合がやや高い。記入者別では、母親で『ある』(23.9%)が父親(16.7%)より高くなっている。

④しつけや教育についての悩みと相談相手

- ・子どものしつけや教育に関する悩みとしては、中学生、高校生世代ともに「子どもの進学や受験、または就職のこと」が第1位となっており、特に高校生世代では5割近くに上る。
- ・「ひとり親」では「子どものしつけや教育に自信がもてない」「子どもが勉強しない」などが他に比べてやや高く、また「特にない」が2割程度と低い。
- ・子どもの性別でみると、中学生、高校生世代ともに女性よりも男性で「子どもの進学や受験、または就職のこと」が高くなっている。
- ・しつけや教育についての悩みの相談相手は、中学生、高校生世代ともに「配偶者」「友人・知人」が約6割。
- ・母親は「父母・養父母」「兄弟・姉妹、おじ・おば」「友人・知人」など、身近な人に幅広く相談相手がいる。

(3) 体罰についての考え方

- ・家庭での体罰は、中学生では『容認する』が約5割、『容認しない』が約4割で、『容認する』が多数派。
- ・高校生世代では『容認する』『容認しない』がともに4割強で拮抗している。

(4) 子供の将来に期待すること

- ・子どもの将来に期待することは、中学生、高校生世代とも「丈夫に育ち、健康でいて欲しい」が第1位。
- ・高校生世代では「本人の才能や個性を生かした仕事をして欲しい」「経済的に自立して欲しい」の割合が高くなっている。
- ・子どもの性別でみると、中学生、高校生世代ともに「本人の才能や個性を生かした仕事をして欲しい」「経済的に自立して欲しい」は男性で高い。

(5) 携帯電話・スマートフォンなどの所有と使用ルール

- ・子どもに携帯電話、スマートフォンなどの通信端末を持たせている人は、中学生5割超、高校生世代では9割超に上る。
- ・「フルタイムで就労している」と「ひとり親」で「持たせている」の割合が高い。
- ・子どもの性別でみると、中学生、高校生世代ともに女性で「持たせている」が高い。
- ・携帯電話などを使用する場合のルールを決めているのは、中学生では8割台半ば、高校生世代では6割台半ば。ルールの内容としては「フィルタリングをかけている」が最も多い。

(6) 家庭について

- ・「家族は互いにうちとけている」「子どもの考えや生活行動はだいたい把握している」「親として、子どもに十分愛情をかたむけている」など、家族や子供との関係がうまくいっていると感じている人が多くいる一方、「一家団らんが少ない」との回答も2割弱に上る。
- ・「フルタイム就労」と「ひとり親」では、「仕事が忙しくて、子どもの面倒が十分みられない」が高く、「親として、子どもに十分愛情をかたむけている」「子どもの考えや生活行動はだいたい把握している」がやや低い。
- ・配偶者との関係は、7割以上が「うまくいっている」または「大体うまくいっている」と回答。「あまりうまくいっていない」「うまくいっていない」は1割程度。
- ・父親は「うまくいっている」が、母親は「だいたいうまくいっている」が相対的に高くなっており、父親の方が配偶者との関係がうまくいっているととらえている。

3-4 地域とのかかわり

(1) 地域とのかかわり

①近所づきあいの程度

- ・近所づきあいの程度は、「会えば、世間話をする」が約4割。「つきあいはない」はごくわずか。
- ・「父親」「フルタイム就労」「ひとり親」では「会えば、世間話をする」が低く、「会えば、あいさつをする程度」が高くなっている。
- ・地域の共同清掃作業や行事については、『参加』が中学生で約7割、高校生世代では6割。

②地域の雰囲気

- ・地域の人々が協力してよりよい地域をつくろうという雰囲気について、『ある』が中学生で約9割、高校生世代で8割台半ばとなっており、地域で協力しあう雰囲気を感じるという人が大半を占める。
- ・地域の人々が協力し合う雰囲気がないとする人が考える理由としては、高校生世代では日常のつながりの不足を、中学生ではきっかけやチャンスの不足、住民の意識、地域組織の未確立といった理由があげられている。

③地域との今後のつきあいの程度

- ・地域の人々との今後のつきあい方については、「今程度のつきあいを続けたい」が8割超で圧倒的に多い。
- ・「父親」「フルタイム就労」で「もっとつきあいを深めたい」がやや高い。

(2) 地域の子どものかかわり

- ・地域の子ども達とのかかわりについては、「道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしたりしている」が中学生約8割、高校生世代約7割で最も多い。「悪いことをしているのに気づいたとき、注意したり、しかったりしている」「子ども会などで一緒に地域の活動（廃品回収など）をしている」がそれぞれ3割前後で続く。
- ・「地域の子どもたちとの関わりはない」は中学生で1割強、高校生世代で2割弱。
- ・高校生世代よりも中学生で地域の子ども達とのかかわりがより強い傾向。
- ・父親は「地域の子ども達とのかかわりはない」が2割超とやや高い。

(3) 地域の子育て環境で不満なこと

- ・子育て環境への不満は、中学生、高校生世代ともに「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」が最も多く、次に「公園や緑が少なく、安心して遊べる所が少ない」。
- ・中学生と高校生世代とで回答の傾向に大きな違いはないが、中学生では通学路など道路環境の悪さ、高校生世代では近所づきあいの少なさに対する不満がそれぞれやや高い。

(4) 子どもの健全育成に必要なこと

- ・今の子どもたちは健全に育っているかについては、中学生は6割台半ば、高校生世代は5割

台半ばが『思う』と回答。

- ・子どもたちの健全な成長のために必要なことは、中学生では「子ども達のがびのびと遊べる施設や場所の充実」が6割弱で最も多く、「地域の子どもを見守り、育む取組の充実」が4割強でそれに続く。高校生世代では「地域の子どもを見守り、育む取組の充実」「子ども達のがびのびと遊べる施設や場所の充実」がともに4割台半ばで第1位、第2位となっている。
- ・中学生、高校生世代で回答の傾向に大きな差はないが、中学生では遊び場の充実をより重視。
- ・子どもの性別でみると、中学生、高校生世代ともに男性で「子ども達が生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実」がやや高い。
- ・最近の子どもに不足している体験は、中学生、高校生世代ともに「自然の中でキャンプをするなど、自給自足的な生活をする」が4割超で第1位。中学生と高校生世代では、多少の順位の違いはあるものの、回答傾向に大きな差はない。

(5) 過去1年間に子どもと利用した公共施設

- ・過去1年間に子どもと利用した公共施設は、中学生、高校生世代ともに「小中学校の校庭・体育館」「総合図書館・各区の市民図書館」「市民体育館・各区体育館・市民プール」「美術館・博物館」「公民館」の順に多い。
- ・中学生と高校生世代とで順位はほぼ同じだが、各施設の利用率は中学生の方が高く、「利用していない」も中学生は1割強に対し、高校生世代は3割強。
- ・「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「総合図書館・各区の市民図書館」「小中学校の校庭・体育館」がやや高い。
- ・「三世代」では「小中学校の校庭・体育館」「公民館」など居住地域の施設の利用率が比較的高い。また、「ひとり親」では「利用していない」が高い。

おわりに

中高生の保護者は、小学生の保護者に比べて家族や近隣との関係がやや減少し、『就労』する割合が高くなり、母親の就労は約7割にのぼる。

子どもとの関係は『うまくいっている』が約95%、しつけ態度については『子どものことをわかっている』が約95%で、ほとんどの保護者が我が子との関係は良好で、子どものことを理解していると思っている。このような保護者の子どもへの理解ある態度が、親と思春期の子どもとの「壁」を低くしているからか、中高生自身の調査結果では家庭満足度が高く、父母を相談相手とするものが増えていた。また、親のしつけ態度については保護者が問題と認知している割合に比べて子どもはそれほど問題とっていない傾向となっていた。さらに、平成3年度調査と比較して今回調査では、親のしつけ態度で問題と認識している割合は、ほとんどの項目で10ポイント以上低下している。家庭の雰囲気や暖かければ、子どもは少々厳しいしつけでも問題と受け取らない傾向があるが、近年の親子関係の良好さが親のしつけの態度についての問題認識の軽減傾向と関連しているのではないかと。ところがしつけの項目のうち、7～8割の保護者が自らのしつけについて子どもに口出しする「過干渉」と認識している。乗り越えるべき親子間の「壁」が低い上に、保護者が「過干渉」であるので、思春期の子どもが家庭から自立しようという動機づけは弱まるのではないかと。

さらに保護者の子どもの将来への期待は、丈夫で健康、家族などとの円満な暮らし、思いやり

の順である。ちなみに平成3年、8年度調査で共に期待度の2番目であった「自分の意見をきちんとと言えること」は、今回は6位に下がっている。保護者の期待は自己主張より家族円満が強くなっており、これも子ども達の身近な親密圏での満足度の高い生活志向と一致している。今後、さらに親離れ・子離れが問題となるのではないだろうか。

携帯電話・スマートフォンなどの所有は、中学生が5割、高校生が9割である。この中で、中学生自身と保護者の所有率の回答に約14ポイントのズレがあることが注目される。

また、家庭の役割に関しては、「心身の安らぎの場」という情緒関係を求める母親と「相互協力の場」という役割遂行を求める父親の認識のズレが、それぞれ2割ずつである。配偶者との関係も、母親は「だいたいうまくいっている」(39.0%)、父親は「うまくいっている」(46.4%)が最も高く、ここでも父親と母親の認識のズレが見られる。現代家族は家族志向が強く親密性が求められているが、他方で中学生の携帯電話の所有率についての親子間の認知のズレや夫婦の役割意識のズレなどがあり、家族の価値観は一枚岩ではなく個人化が進んでいることがうかがえる。

最後に、保護者の近所づきあいは希薄で、公共施設の利用率も小学生の保護者ほど高くない。家庭では親子間の「壁」が低くなり思春期の発達課題である自我を鍛えるための体験が乏しくなっているため、中高生の調査結果でも指摘したとおり、行政による現代版若者塾のような仲間集団による問題解決を提供する対策が求められる。また、中高生調査でも記述したが、このようなアンケート調査では顕在化しにくい問題を抱えている家族への個別のニーズに対する支援の充実も求められる。

Ⅱ

乳幼児の保護者調査結果

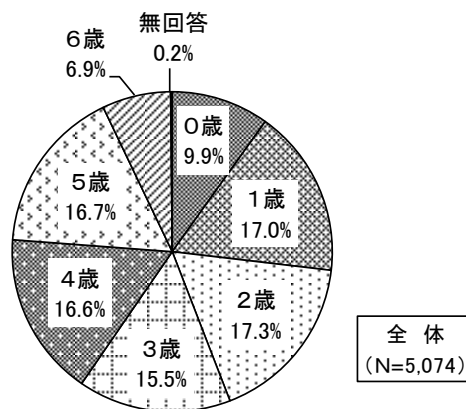
Ⅱ 乳幼児の保護者調査結果

第1章 対象児童及び家庭の概況

1. 対象者と回答者の基本特性

(1) 対象児童の年齢

図1-1 対象児童の年齢 [全体]

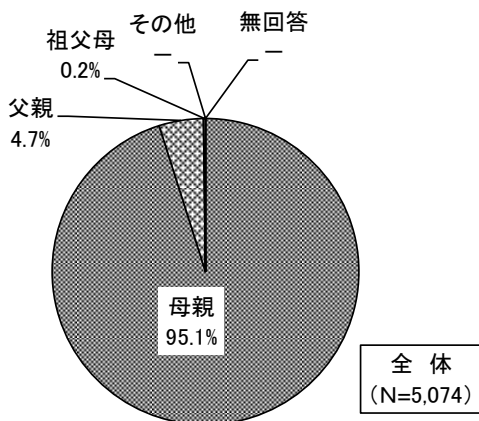


子どもの年齢の内訳は、0歳児 501名 (9.9%)、1歳児 862名 (17.0%)、2歳児 876名 (17.3%)、3歳児 784名 (15.5%)、4歳児 843名 (16.6%)、5歳児 848名 (16.7%)、6歳児 352名 (6.9%)となっている。

本報告書では、「子どもの年齢別」として分析する際には、「0歳」501名 (9.9%)、『1～2歳』1,738名 (34.3%)、『3～5歳』2,827名 (55.7%)の3群に分けて集計したものを用いることとする。調査時点で6歳となっている352名は5歳児に加えている。

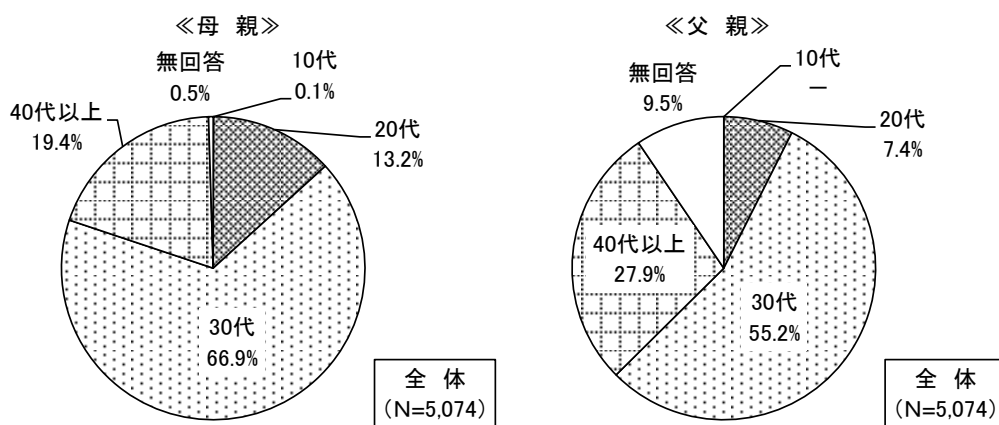
(2) 調査回答者と母親・父親の年齢

図 1 - 2 調査回答者 [全体]



アンケート調査の回答者は、「母親」が95.1%とほとんどを占めており、「父親」はわずか4.7%である。よって、本調査の結果は、「母親」の立場から見た子どもの生活状況や子育てに関する意識として考察することが妥当である。

図 1 - 3 母親・父親の年齢 [全体]

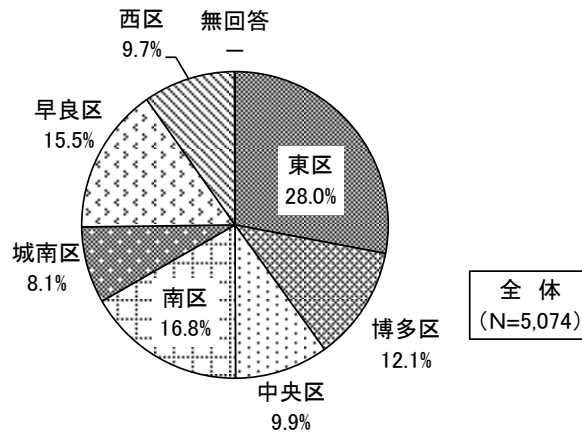


調査対象者の母親の年齢については、「30代」が66.9%と最も高くなっており、次いで「40代以上」(19.4%)、「20代」(13.2%)となっている。

父親の年齢は、「30代」が55.2%、次いで「40代以上」(27.9%)、「20代」(7.4%)となっている。

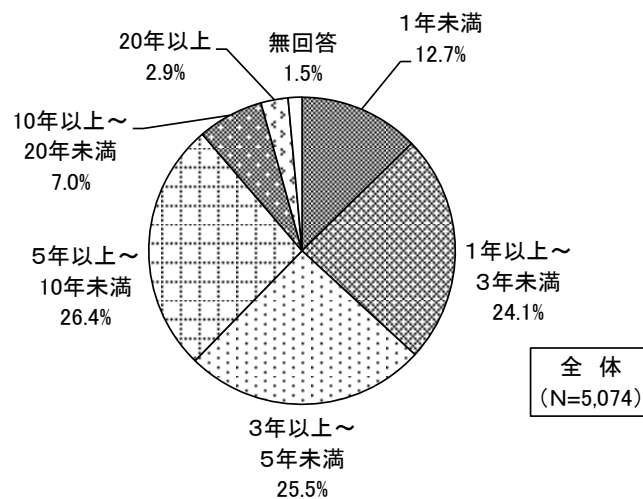
(3) 居住地区と居住年数

図1-4 居住地区 [全体]



回答者の居住地区をみると、最も多いのは「東区」(28.0%)となっており、およそ4分の1を占めている。次いで多いのは「南区」(16.8%)で、以下「早良区」(15.5%)、「博多区」(12.1%)、「中央区」(9.9%)、「西区」(9.7%)、「城南区」(8.1%)の順となっている。

図1-5 居住年数 [全体]

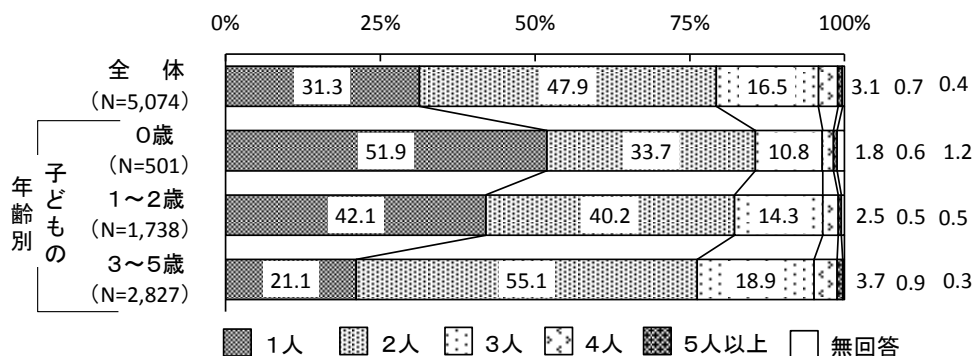


居住年数は、「5年以上～10年未満」(26.4%)と「3年以上～5年未満」(25.5%)、「1年以上～3年未満」(24.1%)がいずれも4分の1ずつを占めており、「1年未満」(12.7%)がそれに次いでいる。

2. 家庭の概況

(1) 子どもの数と同居・近居状況

図1-6 子どもの数 [全体、子どもの年齢別]



子どもの数は、「2人」の割合が47.9%と約半数を占め、最も多い。次いで「1人」(31.3%)、「3人」(16.5%)、「4人」(3.1%)。「5人以上」(0.7%)となっており、7割程度がきょうだいのいる家庭となっている。

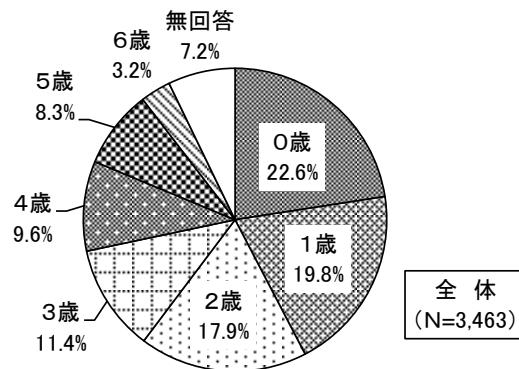
子どもの年齢別にみると、0歳で「1人」が51.9%、1~2歳で42.1%、3~5歳が21.1%となっており、年齢が上がるにつれてきょうだいのいる家庭が多くなっている。

母親の就労状況別にみると、「これまでに就労したことがない」という場合に、「3人」(21.1%)や「4人」(5.8%)の割合が他の就労状況より高く、子どもの数が多い傾向がみられる。

表1-1 子どもの数 [全体、母親の就労状況別]

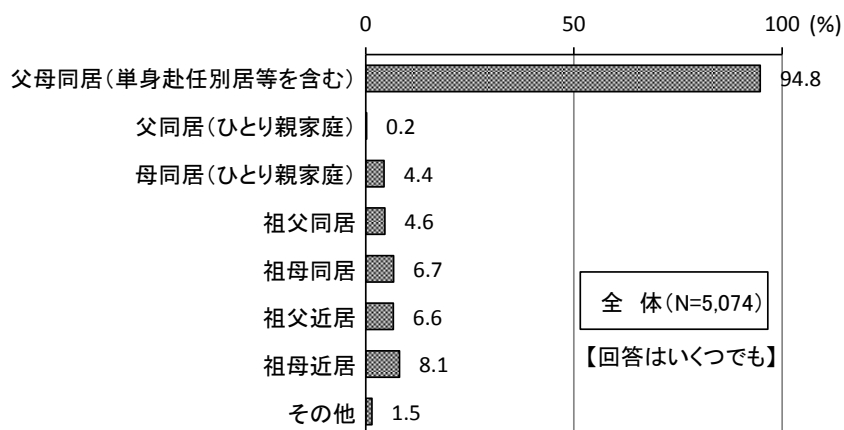
		標本数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体		5,074 100.0	1,589 31.3	2,429 47.9	839 16.5	159 3.1	36 0.7	22 0.4
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	1,150	39.4	43.7	13.3	2.9	0.3	0.4
	パート・アルバイト等で就労	1,281	26.5	49.7	18.1	4.5	0.6	0.5
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	2,059	32.6	48.6	16.0	1.8	0.7	0.4
	これまで就労したことがない	432	19.4	51.4	21.1	5.8	1.9	0.5
	無回答	144	26.4	43.8	23.6	4.2	1.4	0.7

図1-7 末子の年齢 [全体]



末子の年齢は「0歳」(22.6%)の割合が最も高く、次いで「1歳」(19.8%)、「2歳」(17.9%)、「3歳」(11.4%)の順となっている。

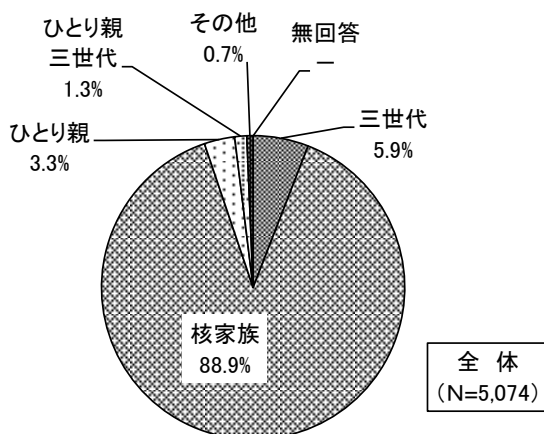
図1-8 子どもとの同居・近居状況 [全体]



子どもとの同居・近居状況は、「父母同居(単身赴任別居等を含む)」が94.8%と大部分を占めている。『ひとり親家庭』は「母同居(ひとり親家庭)」が4.4%、「父同居(ひとり親家庭)」が0.2%で、合わせて4.6%となっている。

祖父母等の同居・近居の状況を見ると、「祖母近居」(8.1%)の割合が最も高く、「祖父近居」(6.6%)、「祖母同居」(6.7%)も同程度の割合となっている。

図1-9 世帯分類 [全体]



「核家族」: 父母と子どもの世帯

「三世代」: 「核家族」に祖父母が同居(祖父母いずれかのみも含む)している世帯

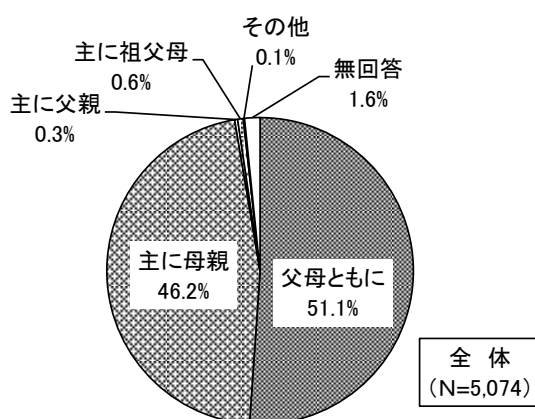
「ひとり親」: 父親と子ども、母親と子どもの世帯

「ひとり親三世代」: 「ひとり親」に祖父母が同居(祖父母いずれかのみも含む)している世帯

世帯分類をみると、「核家族」(88.9%)が全体の約9割を占めており、次いで「三世代」(5.9%)、「ひとり親」(3.3%)、「ひとり親三世代」(1.3%)となっている。

(2) 子どもの世話

図1-10 子どもの世話 [全体]



対象児童の身の回りの世話を主にしている人については、「父母ともに」(51.1%)と「主に母親」(46.2%)がともに5割前後を占めており、「主に父親」(0.3%)などその他の選択肢は皆無に近い。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」している場合、「父母ともに」(61.7%)の割合が相対的に高くなっているが、「主に母親」(34.3%)も3割台と少なくない。

表1-2 子どもの世話 [全体、母親の就労状況別]

(%)

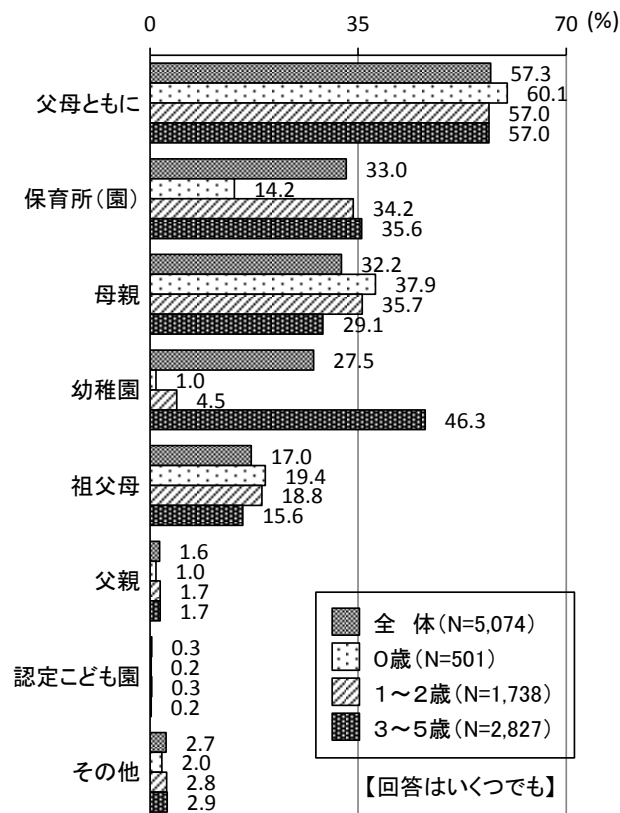
		標 本 数	父 母 と も に	主 に 母 親	主 に 父 親	主 に 祖 父 母	そ の 他	無 回 答
全 体		5,074 100.0	2,593 51.1	2,346 46.2	16 0.3	30 0.6	7 0.1	82 1.6
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	1,150	61.7	34.3	0.3	1.6	0.3	1.8
	パート・アルバイト等で就労	1,281	52.5	44.3	0.3	0.5	0.2	2.0
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	2,059	46.0	52.3	0.2	-	-	1.5
	これまで就労したことがない	432	45.1	54.2	-	-	-	0.7
	無回答	144	47.9	50.0	0.7	-	-	1.4

第2章 子育て環境について

1. 子育て（教育を含む）への日常的なかかわり

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっているのはどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

図2-1 子育て（教育を含む）に日常にかかわっている人（施設）[全体、子どもの年齢別]



対象児童の子育てに日常にかかわっている人（あるいは施設）を複数回答で選んでもらったところ、「父母ともに」（57.3%）が約6割と高くなっている。「保育所（園）」は33.0%、「幼稚園」は27.5%、「祖父母」は17.0%となっている。

母親の就労別にみると、「フルタイムで就労」している場合に「保育所（園）」（72.9%）の割合が高く、「これまで就労したことがない」や「以前は就労していたが、現在は就労していない」場合には「幼稚園」が4割前後と高くなっている。

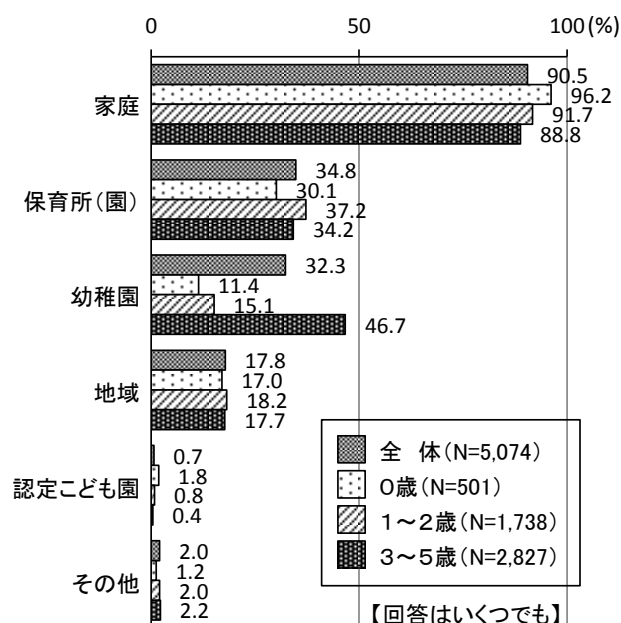
表2-1 子育て（教育を含む）に日常にかかわっている人（施設）
[全体、母親の就労状況別]

		標本数	父母ともに	母親	父親	祖父母	幼稚園	保育所（園）	認定こども園	その他	無回答
全体		5,074 100.0	2,907 57.3	1,633 32.2	82 1.6	865 17.0	1,396 27.5	1,676 33.0	13 0.3	139 2.7	87 1.7
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	1,150	60.3	21.3	0.8	22.6	4.7	72.9	0.3	2.9	1.3
	パート・アルバイト等で就労	1,281	58.3	25.5	1.8	18.1	25.1	58.7	0.5	2.7	2.4
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	2,059	55.8	40.1	1.5	14.2	37.1	2.4	-	2.8	1.7
	これまで就労したことがない	432	55.1	41.7	2.5	13.7	46.8	2.1	0.2	2.3	1.2
	無回答	144	54.9	38.2	1.4	11.1	37.5	13.9	0.7	2.8	1.4

2. 子育てに特に影響する環境

問11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

図2-2 子育てに特に影響する環境 [全体、子どもの年齢別]



対象児童の子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境を尋ねた結果では、「家庭」(90.5%)という意見が際立って多い。次いで、「保育所（園）」(34.8%)、「幼稚園」(32.3%)、「地域」(17.8%)となっている。

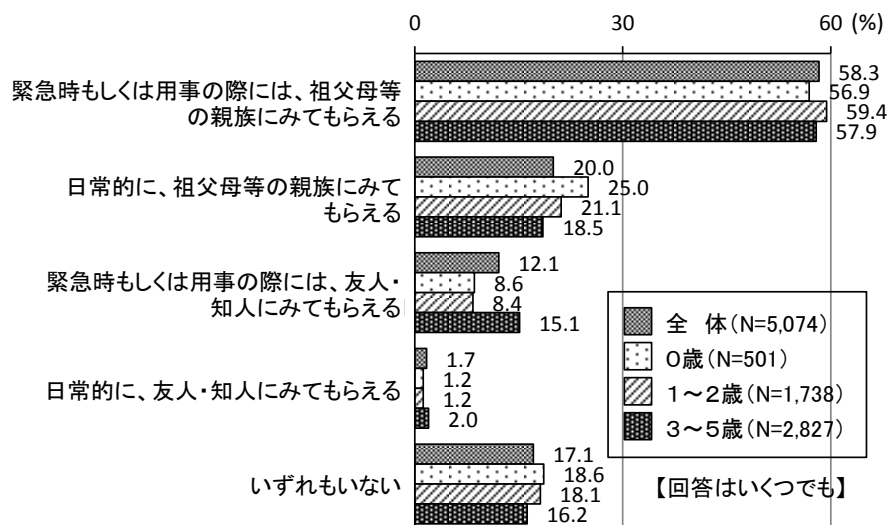
3. 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

(1) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問 12 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

図 2-3 子どもをみてもらえる親族・知人 [全体、子どもの年齢別]



日常的に子どもを預かってくれる人がいるかどうかについては、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 58.3%で最も高い。次いで、「日常的に、祖父母等の親族にみてもらえる」が 20.0%、「いずれもない」が 17.1%となっている。

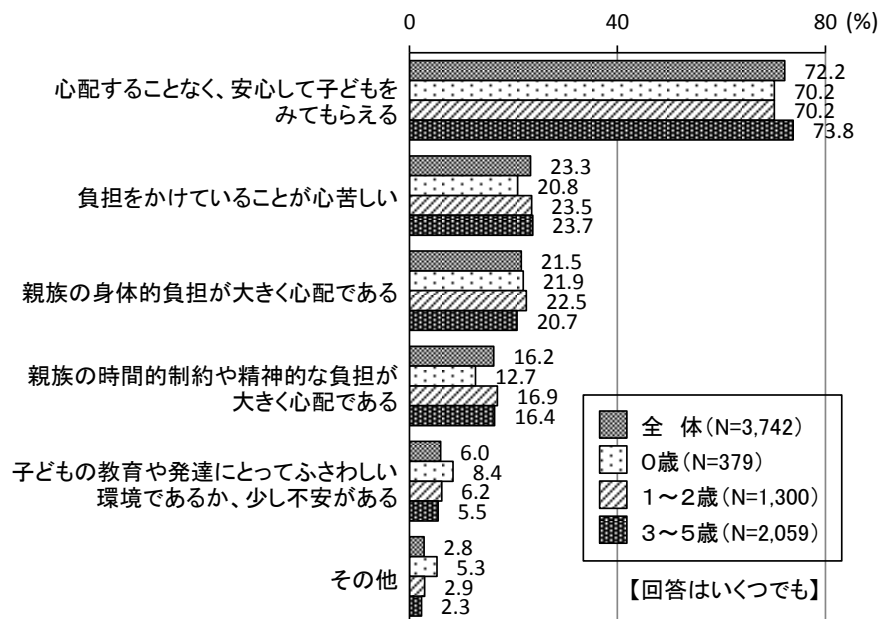
(2) 親族に子どもをみてもらうときの気持ち

問12で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 親族にお子さんをみてもらうときの気持ちについてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

図2-4 親族に子どもをみてもらうときの気持ち [全体、子どもの年齢別]



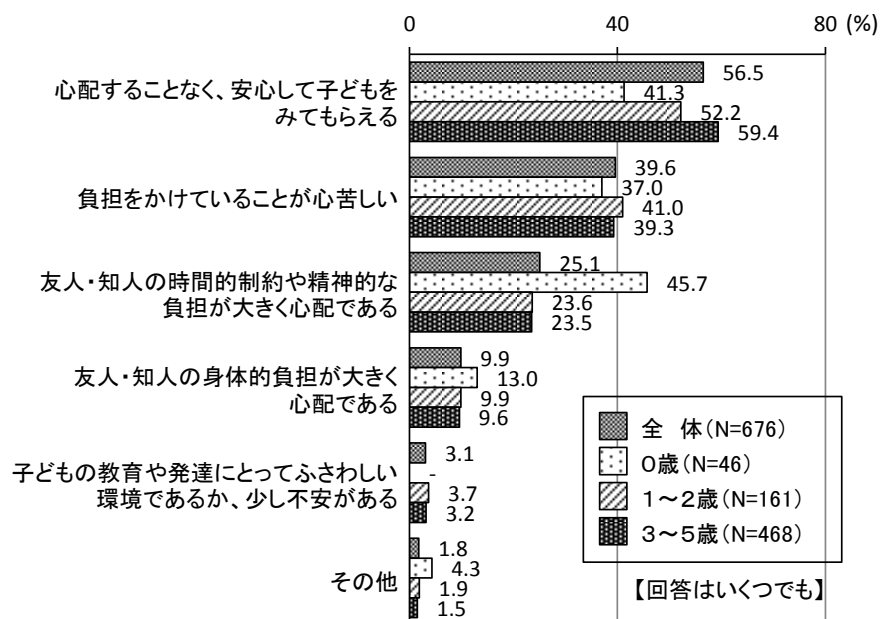
親族に子どもをみてもらうときの気持ちは、「心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(72.2%)が約7割で最も高くなっている。一方で、「負担をかけていることが心苦しい」(23.3%)や「親族の身体的負担が大きく心配である」(21.5%)、「親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(16.2%)という、心苦しきや不安などの気持ちもそれぞれ2割前後の割合となっている。

(3) 友人・知人に子どもをみてもらうときの気持ち

問 12 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-2 友人・知人にお子さんをみてもらうときの気持ちについて、お答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

図 2-5 友人・知人に子どもをみてもらうときの気持ち [全体、子どもの年齢別]



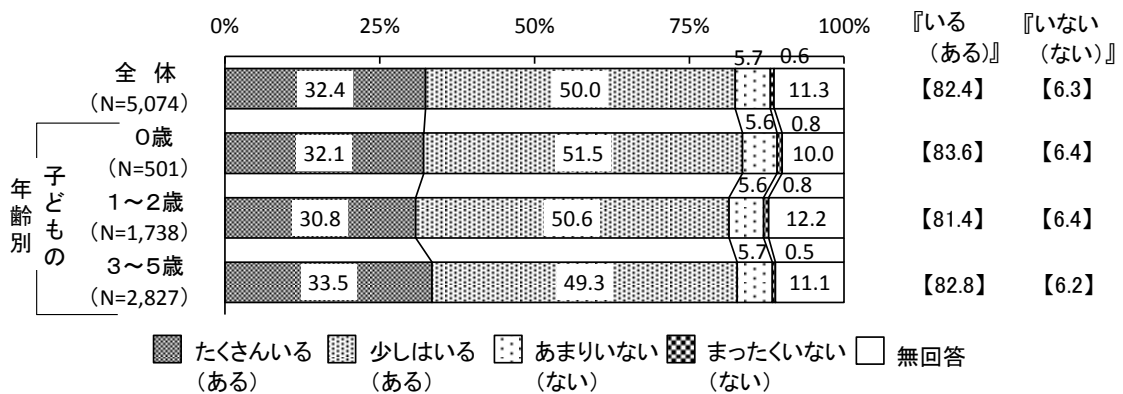
友人・知人にお子さんをみてもらうときの気持ちは、「心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(56.5%)が最も高いが、親族の場合よりもその割合は低い。「負担をかけていることが心苦しい」(39.6%)という気持ちを約4割の保護者が抱いている。

4. 子育てに関する相談相手の有無

(1) 相談相手の有無

問13 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人、また、相談できる場所についてお答えください。(〇は1つ)

図2-6 相談相手の有無 [全体、子どもの年齢別]



子育てをする上で、気軽に相談できる人・相談できる場所については、「少しはいる (ある)」(50.0%) という保護者がちょうど5割で最も多い。「たくさんいる (ある)」(32.4%) と合わせると、約8割の保護者は気軽に相談できる人・場所を有している。「あまりいない (ない)」(5.7%) と「まったくいない (ない)」(0.6%) はともに低い割合になっている。

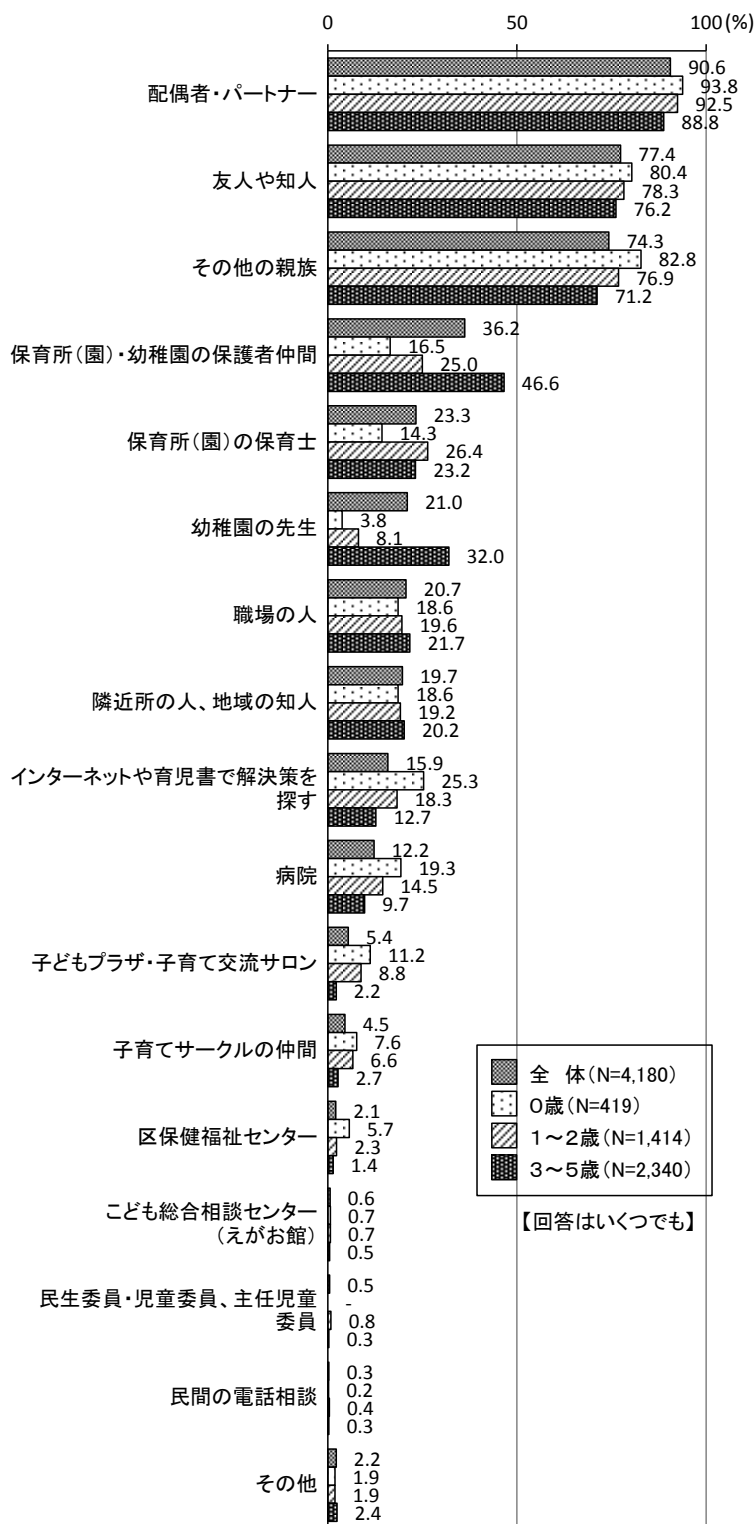
(2) 気軽に相談できる相手

問 13 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

図 2-7 気軽に相談できる相手 [全体、子どもの年齢別]



子育てに関して気軽に相談できる先は、「配偶者・パートナー」(90.6%)が約9割で最も高い。「友人や知人」(77.4%)と「その他の親族」(74.3%)も7～8割の保護者にとって相談相手となっている。その他で比較的割合が高いのは、「保育所(園)・幼稚園の保護者仲間」(36.2%)や「保育所(園)の保育士」(23.3%)、「幼稚園の先生」(21.0%)、「職場の人」(20.7%)、「隣近所の人、地域の知人」(19.7%)となっている。

子どもの年齢別にみると、「区保健福祉センター」や「子どもプラザ・子育て交流サロン」、「病院」は年齢が低いほど割合は高くなっており、「保育所(園)・幼稚園の保護者仲間」や「幼稚園の先生」などは年齢が高いほど割合も高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」と「パート・アルバイト等で就労」のいずれも「職場の人」が4割前後と高くなっている。また、『就労している』(「フルタイムで就労」と「パート・アルバイト等で就労」の合計、以下『就労している』という)母親は「保育園の保育士」、「専業主婦」(「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまでに就労したことがない」の合計、以下『専業主婦』という)の母親は「幼稚園の先生」が高くなっている。また『専業主婦』の母親では、「隣近所の人、地域の知人」も『就労している』母親よりも高くなっている。

子育ての不安感・負担感別にみると、不安や負担を感じていない人ほど、「配偶者・パートナー」や「友人や知人」「隣近所の人、地域の知人」「職場の人」「保育所(園)・幼稚園の保護者仲間」「保育所(園)の保育士」などに相談している割合が高くなっており、いろいろな人に相談しているようである。

表2-2 気軽に相談できる相手 [全体、母親の就労状況別、子育ての不安感・負担感別]

		標本数	配偶者・パートナー	その他の親族	友人や知人	知人	隣近所の人、地域の知人	職場の人	園の保護者仲間・幼稚園の先生	保育所(園)の保育士	幼稚園の先生	区保健福祉センター	子どもプラザ・子育て交流サロン	病院	民生委員・児童委員	子ども総合相談センター(えがお館)	民間の電話相談	インターネットや育児書で解決策を探す	その他	無回答
全体		4,180 100.0	3,786 90.6	3,105 74.3	3,234 77.4	822 19.7	864 20.7	1,515 36.2	189 4.5	976 23.3	878 21.0	88 2.1	225 5.4	512 12.2	19 0.5	25 0.6	13 0.3	663 15.9	90 2.2	5 0.1
母親の就労状況別	フルタイムで就労	938	89.0	75.7	70.1	13.6	45.5	40.2	2.1	51.8	4.2	2.1	3.2	12.5	0.4	0.2	0.3	15.9	1.2	0.1
	パート・アルバイト等で就労	1,067	88.5	73.1	78.3	18.7	37.7	47.0	1.1	40.8	19.6	1.3	2.2	12.6	0.4	0.8	0.3	13.8	2.2	-
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,678	92.9	75.1	80.3	22.9	1.5	28.6	8.0	2.1	28.5	2.5	8.8	12.3	0.5	0.6	0.4	18.6	2.9	-
	これまで就労したことがない	363	92.3	69.4	79.1	22.0	0.6	32.2	5.2	0.6	32.8	2.5	4.4	11.3	0.3	1.1	0.3	11.8	1.7	1.1
	無回答	126	87.3	77.8	79.4	23.8	4.8	28.6	2.4	10.3	25.4	2.4	5.6	10.3	1.6	-	-	8.7	1.6	-
不安感・子育て負担の感別	不安や負担を感じる	335	80.3	56.7	64.8	16.7	18.8	30.4	3.6	19.1	14.6	4.5	5.7	12.8	0.6	2.1	0.3	17.9	6.9	0.3
	多少は不安や負担を感じる	2,439	90.8	75.3	77.2	18.1	20.3	35.4	4.5	23.6	20.4	2.1	6.0	11.8	0.5	0.6	0.2	16.9	1.9	0.1
	あまり不安や負担などは感じない	870	93.7	76.7	80.6	22.8	21.0	39.5	5.3	23.6	23.6	1.5	4.0	14.0	0.1	0.2	0.5	15.1	1.3	0.1
	感じない	298	94.0	76.2	81.9	26.2	24.5	39.6	4.0	25.2	22.8	1.3	6.7	11.7	1.0	0.3	0.7	10.4	1.7	-
	なんともいえない	202	87.1	81.2	81.2	18.3	21.3	37.6	4.0	24.8	24.8	2.0	2.5	10.9	0.5	-	-	10.4	1.5	-
無回答	36	88.9	55.6	72.2	30.6	19.4	33.3	2.8	19.4	22.2	-	-	2.8	-	-	-	19.4	2.8	-	

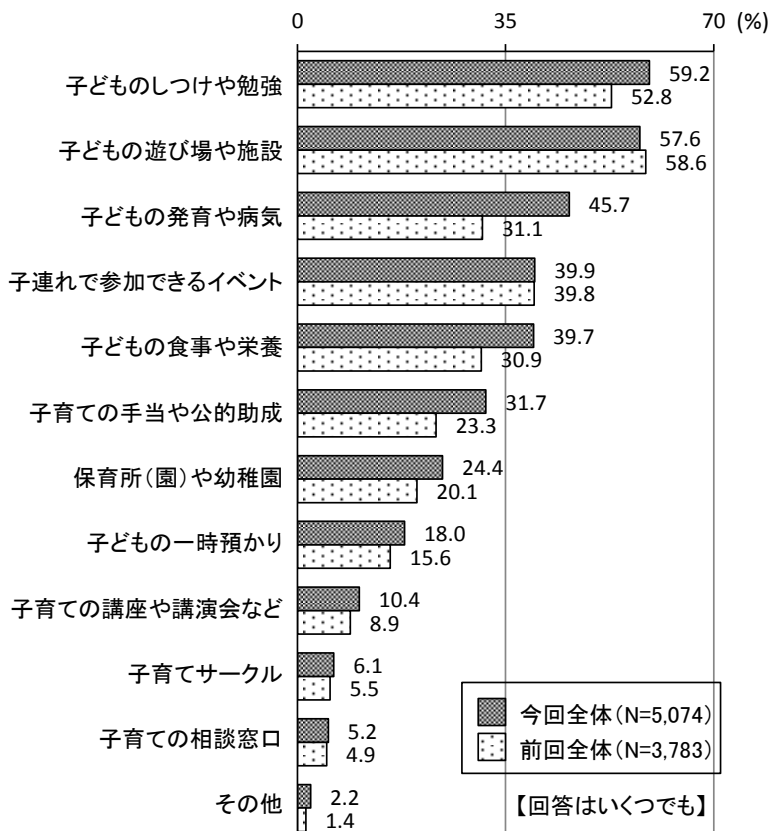
5. 子育てについて得たい情報

すべての方にうかがいます。

問 14 いま子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。

(あてはまる番号すべてに○)

図 2-8 子育てについて得たい情報 [全体] (前回調査比較)



いま子育てについて得たい情報は、「子どものしつけや勉強」(59.2%)と「子どもの遊び場や施設」(57.6%)が約6割で高い割合となっている。その他の選択肢も一定数の割合で情報が求められているものが多いが、「子育ての相談窓口」(5.2%)や「子育てサークル」(6.1%)については、その情報を求める人は少ない。

前回調査(平成21年に実施された「次世代育成支援に関するアンケート調査」と比較すると、「子どもの発育や病気」が31.1%から14.6ポイント増えており、また「子どもの食事や栄養」「子育ての手当や公的助成」なども8ポイント以上増えている。

子どもの年齢別にみると、ほとんどの項目は0歳の割合が最も高くなっているが、「子どものしつけや勉強」は年齢が高いほど割合も高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」場合に、「保育所（園）や幼稚園」や「子どもの一時預かり」「子どもの遊び場や施設」「子連れで参加できるイベント」など、多くの項目で情報を得たいとする割合が高くなっている。

世帯分類別にみると、「ひとり親」と「ひとり親三世代」では、「子育ての手当や公的助成」が約5割と高くなっている。「子どものしつけや勉強」も「三世代」や「核家族」よりも高く、逆に「子連れで参加できるイベント」は低い。

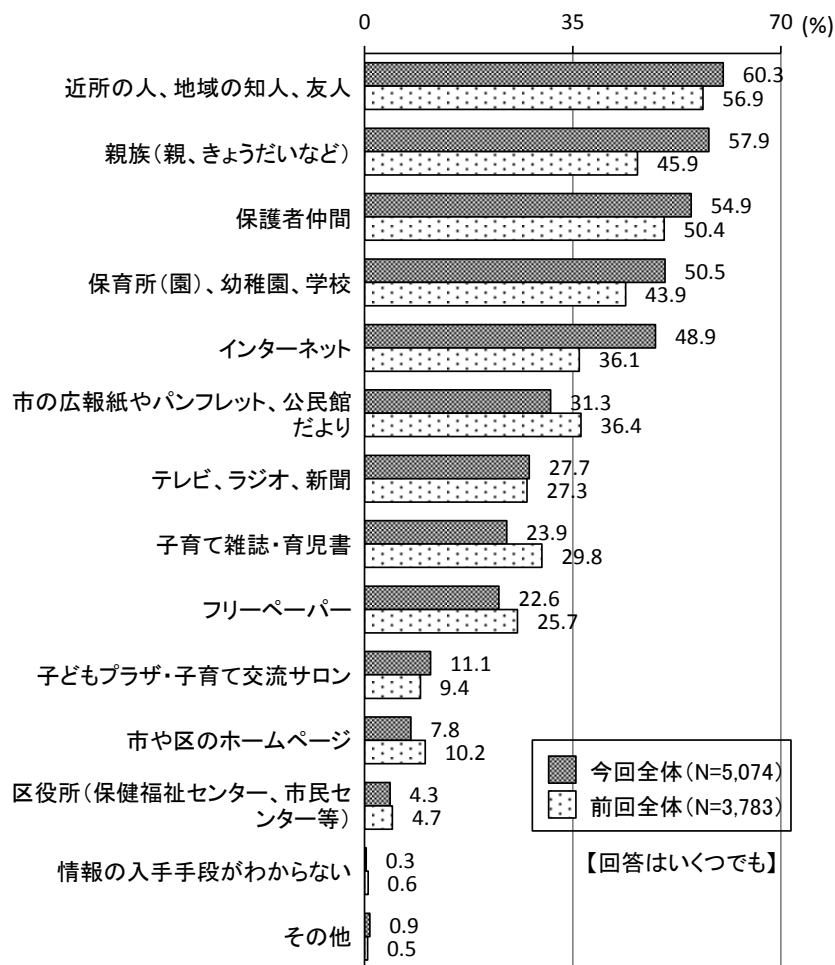
表2-3 子育てについて得たい情報
[全体、子どもの年齢別、母親の就労状況別、世帯分類別]

		標本数	子どもの発育や病気	子どもの食事や栄養	子どものしつけや勉強	保育所（園）や幼稚園	子どもの一時預かり	子育ての相談窓口	子育ての手当や公的助成	子どもの遊び場や施設	子連れで参加できるイベント	子育てサークル	子育ての講座や講演会など	その他	無回答	(%)
全体		5,074 100.0	2,321 45.7	2,015 39.7	3,004 59.2	1,238 24.4	913 18.0	263 5.2	1,609 31.7	2,925 57.6	2,022 39.9	311 6.1	526 10.4	110 2.2	169 3.3	
子どもの年齢別	0歳	501	61.3	64.5	50.5	50.9	19.4	8.0	31.3	57.3	47.9	14.2	15.8	1.4	2.2	
	1～2歳	1,738	48.4	44.8	57.2	37.2	19.6	5.6	32.1	61.4	43.1	8.5	11.7	2.0	3.0	
	3～5歳	2,827	41.4	32.2	62.0	11.8	16.7	4.5	31.6	55.4	36.4	3.3	8.6	2.4	3.7	
	無回答	8	37.5	37.5	50.0	37.5	25.0	-	12.5	50.0	37.5	12.5	12.5	-	-	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,150	48.3	41.8	59.8	22.7	14.4	4.3	30.5	52.3	37.2	4.3	9.9	2.3	3.4	
	パート・アルバイト等で就労	1,281	44.5	37.6	60.0	15.4	14.8	4.7	31.5	54.4	34.2	3.6	7.3	2.3	5.0	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	2,059	45.8	41.3	59.6	31.9	21.8	6.3	32.7	63.4	45.9	9.2	13.3	2.1	2.2	
	これまで就労したことがない	432	44.2	34.7	55.6	19.4	19.9	4.6	31.3	57.4	39.4	3.7	8.6	2.1	3.7	
	無回答	144	38.9	34.0	52.8	27.1	15.3	2.1	29.2	48.6	27.1	6.3	5.6	0.7	2.8	
世帯分類別	三世代	300	50.3	41.7	57.0	23.3	10.7	4.7	34.7	58.0	37.3	4.3	9.7	2.0	2.7	
	核家族	4,510	45.5	39.7	59.1	24.8	18.5	5.2	30.5	58.0	40.8	6.4	10.7	2.2	3.4	
	ひとり親	165	43.0	35.8	65.5	17.0	18.8	6.1	49.7	49.1	24.8	1.8	4.2	2.4	2.4	
	ひとり親三世代	65	47.7	35.4	66.2	23.1	12.3	6.2	50.8	60.0	26.2	3.1	9.2	-	4.6	
	その他	34	52.9	50.0	50.0	23.5	20.6	5.9	47.1	44.1	38.2	14.7	-	2.9	-	

6. 子育てに関する情報の入手先

問 15 子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまる番号すべてに○)

図 2-9 子育てに関する情報の入手先 [全体] (前回調査比較)



子育てに関する情報の入手先は、「近所の人、地域の知人、友人」(60.3%)と「親族(親、きょうだいなど)」(57.9%)が約6割と高くなっている。「保護者仲間」(54.9%)、「保育所(園)、幼稚園、学校」(50.5%)、「インターネット」(48.9%)も約5割と高い割合になっている。

前回調査と比べると、上位5位までにあげられた項目は割合が増えており、特に「インターネット」は12.8ポイント、「親族(親、きょうだいなど)」は12ポイント増えている。反対に「市の広報紙やパンフレット、公民館だより」や「子育て雑誌・育児書」「フリーペーパー」などは3~6ポイント減っている。

第3章 地域子育て支援事業について

1. 福岡市の子ども・子育て支援事業等の認知と利用、今後の利用意向

すべての方にうかがいます。

問16 福岡市の事業等で知っているものや、利用したことがある、今後利用したいと思うものをお答えください。

図3-1 子ども・子育て支援事業の認知(1)[全体](前回調査比較)

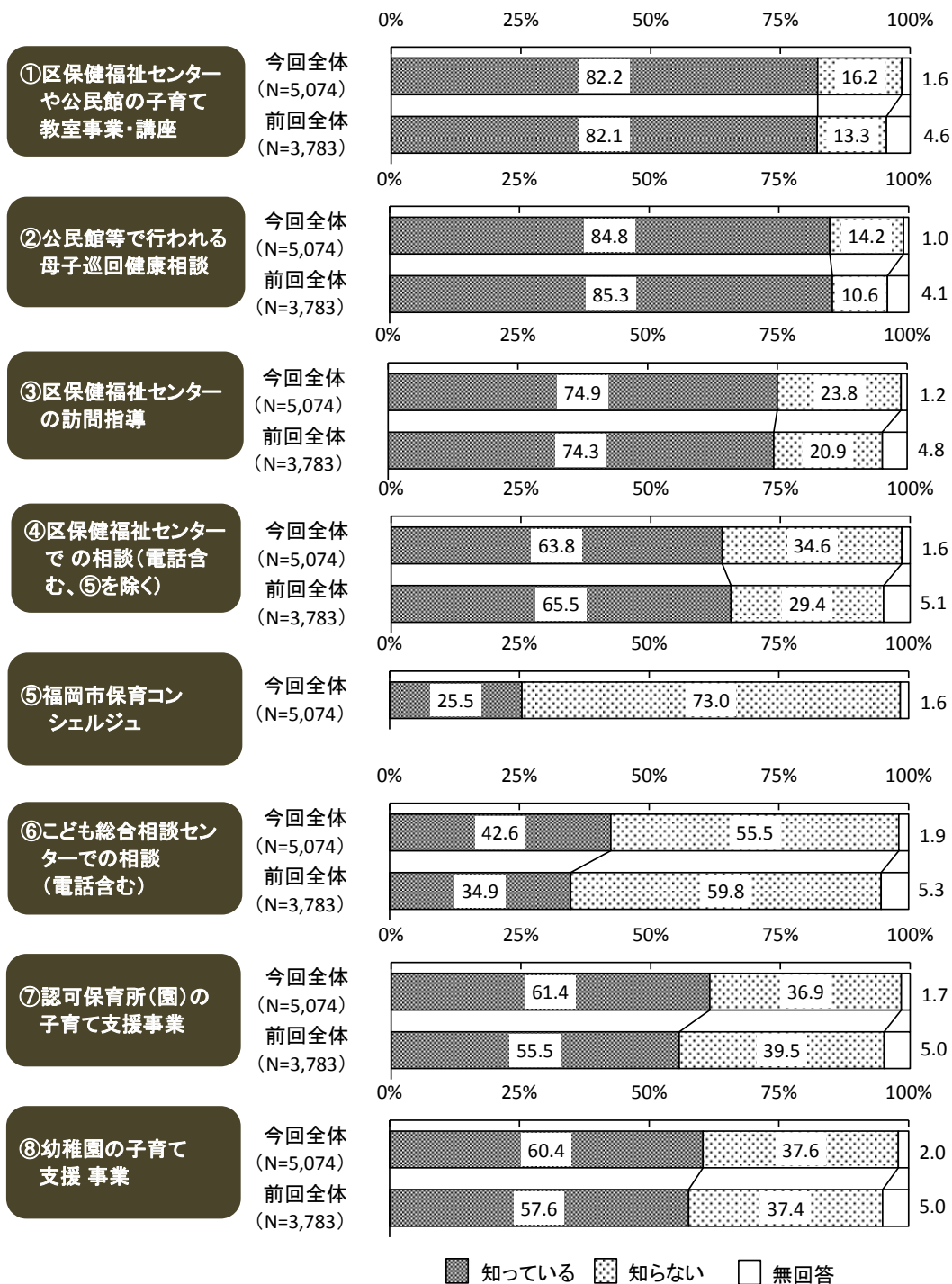
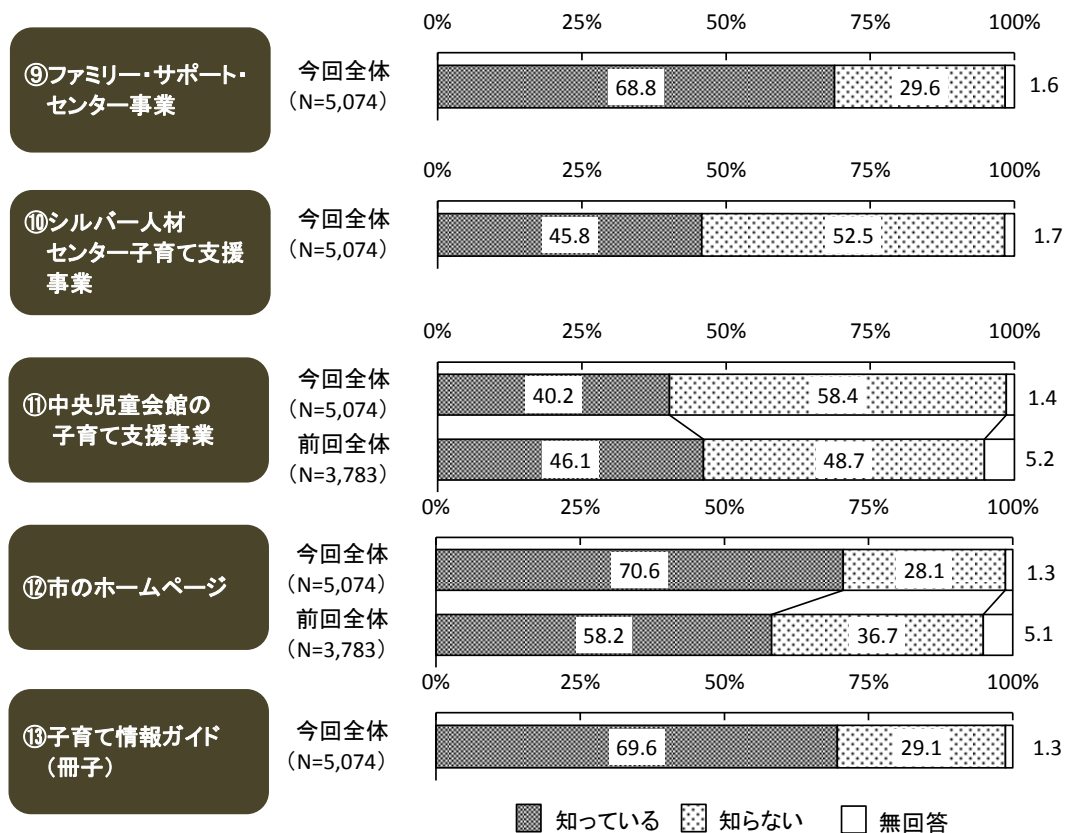


図3-1 子ども・子育て支援事業の認知（2）[全体]（前回調査比較）



福岡市の子育てに関する各事業についての認知度は、「公民館等で行われる母子巡回健康相談」(84.8%)や「区保健福祉センターや公民館の子育て教室事業・講座」(82.2%)が特に高く、8割以上の保護者に知られている。その他の事業も多くが5割以上の認知度となっているが、「中央児童館の子育て支援事業」(40.2%)や「福岡市保育コンシェルジュ」(25.5%)の認知度が相対的に低くなっている。

前回調査と比較すると、「市のホームページ」の認知度が12.4ポイント高くなっており、その他「こども総合相談センターでの相談（電話含む）」が7.7ポイント、「認可保育所（園）の子育て支援事業」が5.9ポイント高くなっている。

図3-2 子ども・子育て支援事業の利用経験(1) [全体] (前回調査比較)

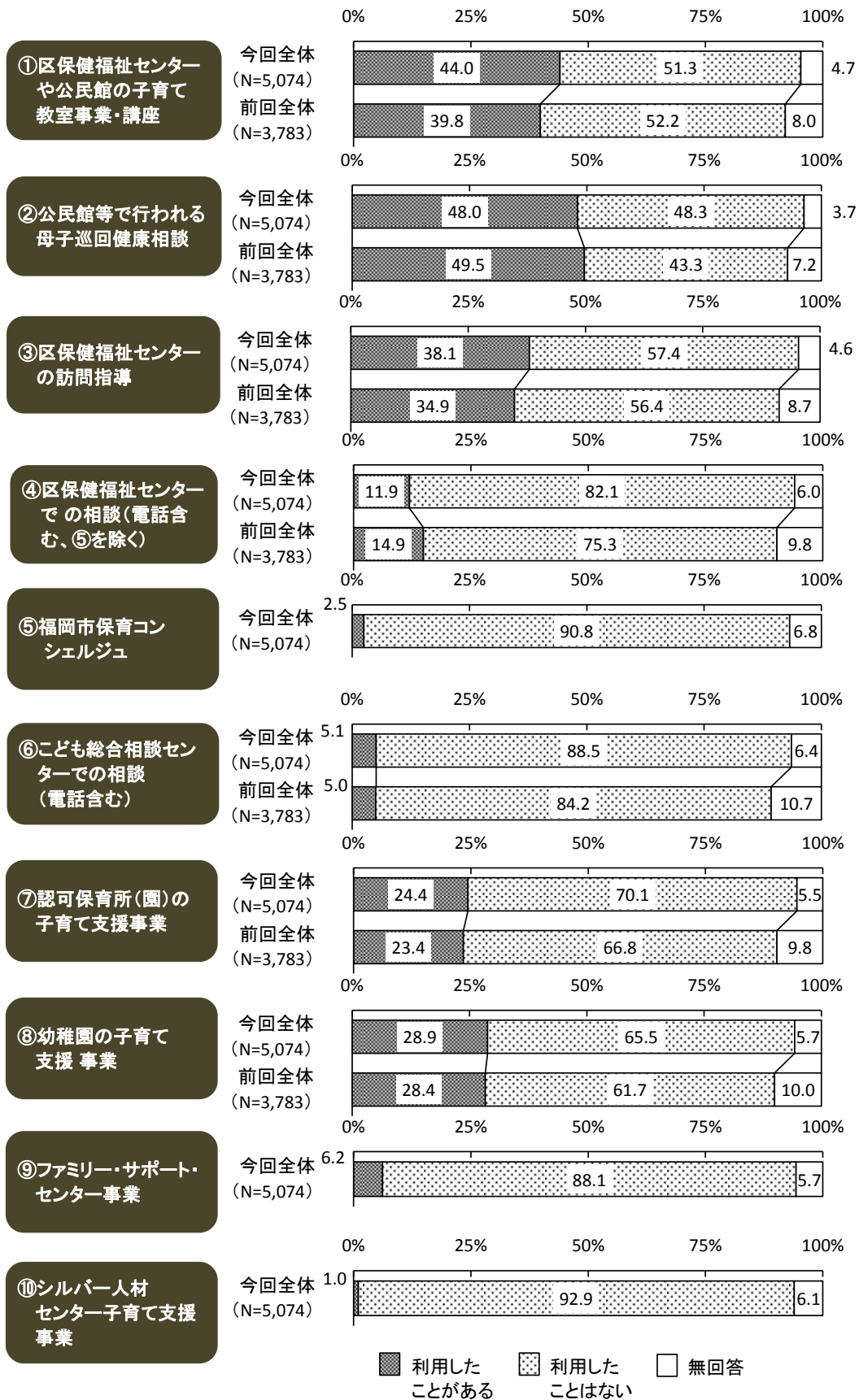
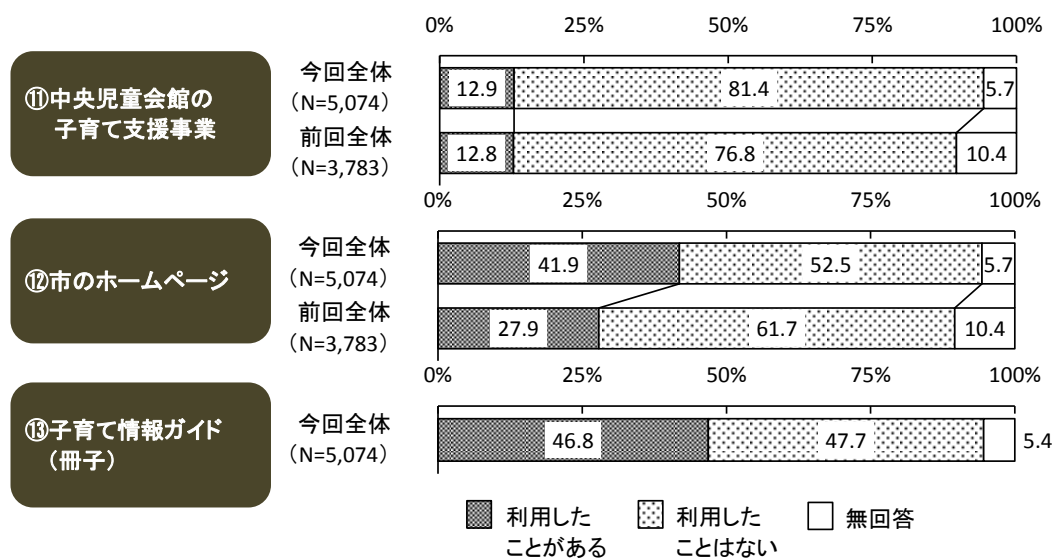


図 3-2 子ども・子育て支援事業の利用経験（2）[全体]（前回調査比較）



これまでの利用経験については、「公民館等で行われる母子巡回健康相談」(48.0%)や「子育て情報ガイド(冊子)」(46.8%)、「区保健福祉センターや公民館の子育て教室事業・講座」(44.0%)、「市のホームページ」(41.9%)、「区保健福祉センターの訪問指導」(38.1%)の割合が比較的高くなっている。

逆に割合が低いのは、「シルバー人材センター子育て支援事業(保育所送迎・家事手伝いなど)」(1.0%)、「福岡市保育コンシェルジュ」(2.5%)、「こども総合相談センターでの相談(電話含む)」(5.1%)、「ファミリー・サポート・センター事業(保育所送迎・子どもの預りなど)」(6.2%)などである。

前回調査と比較すると、「市のホームページ」での利用が14ポイント高くなっている。

図3-3 子ども・子育て支援事業の利用意向(1) [全体] (前回調査比較)

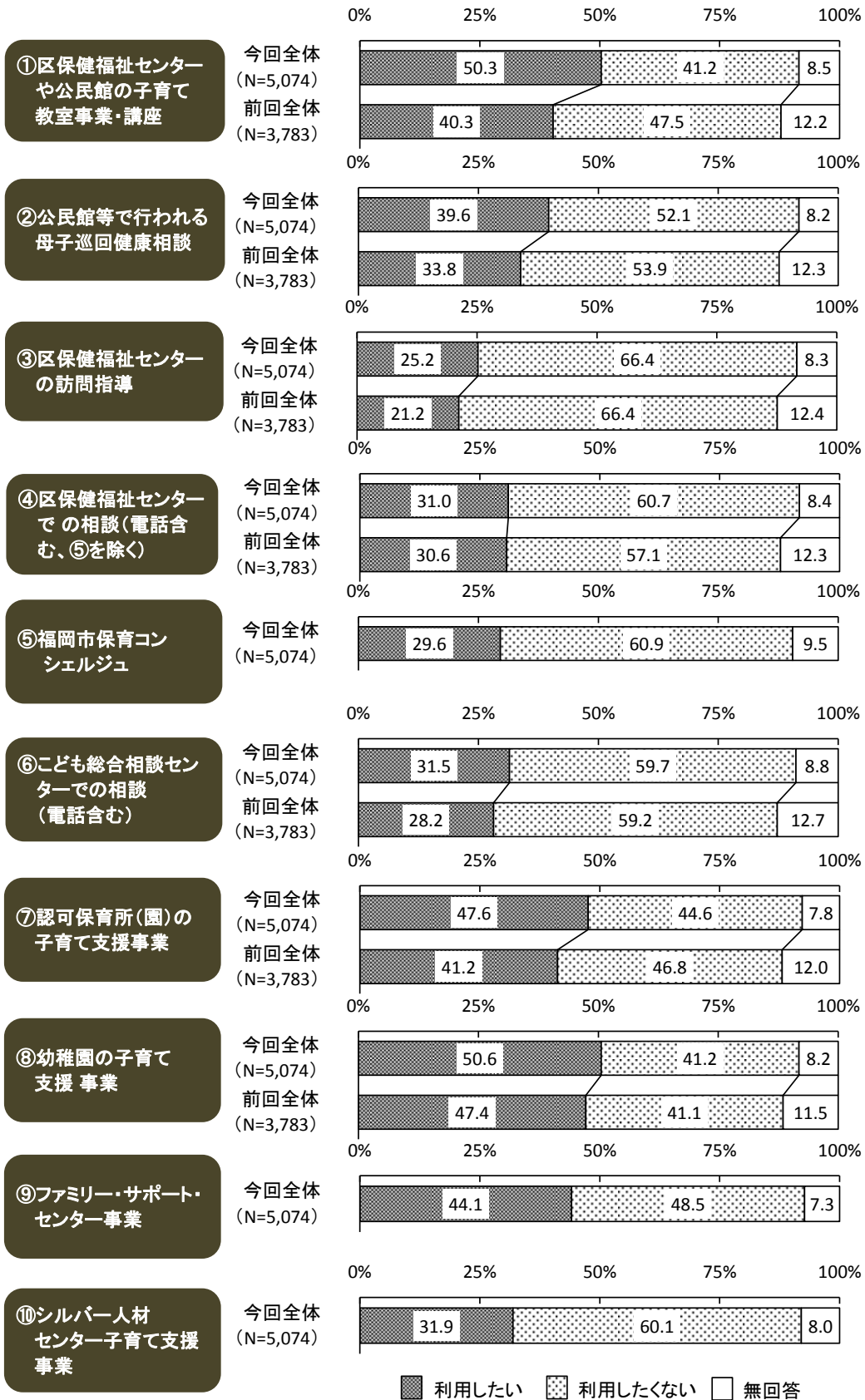
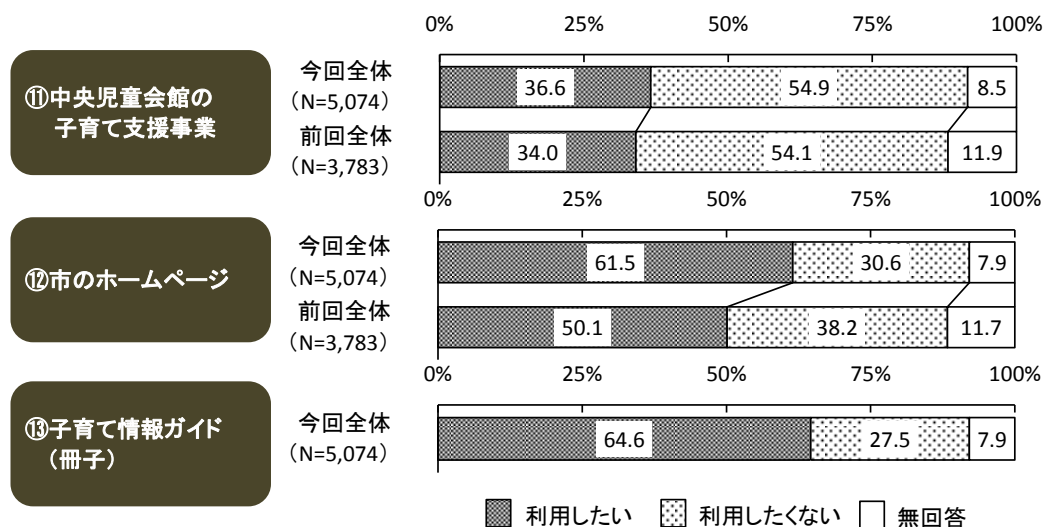


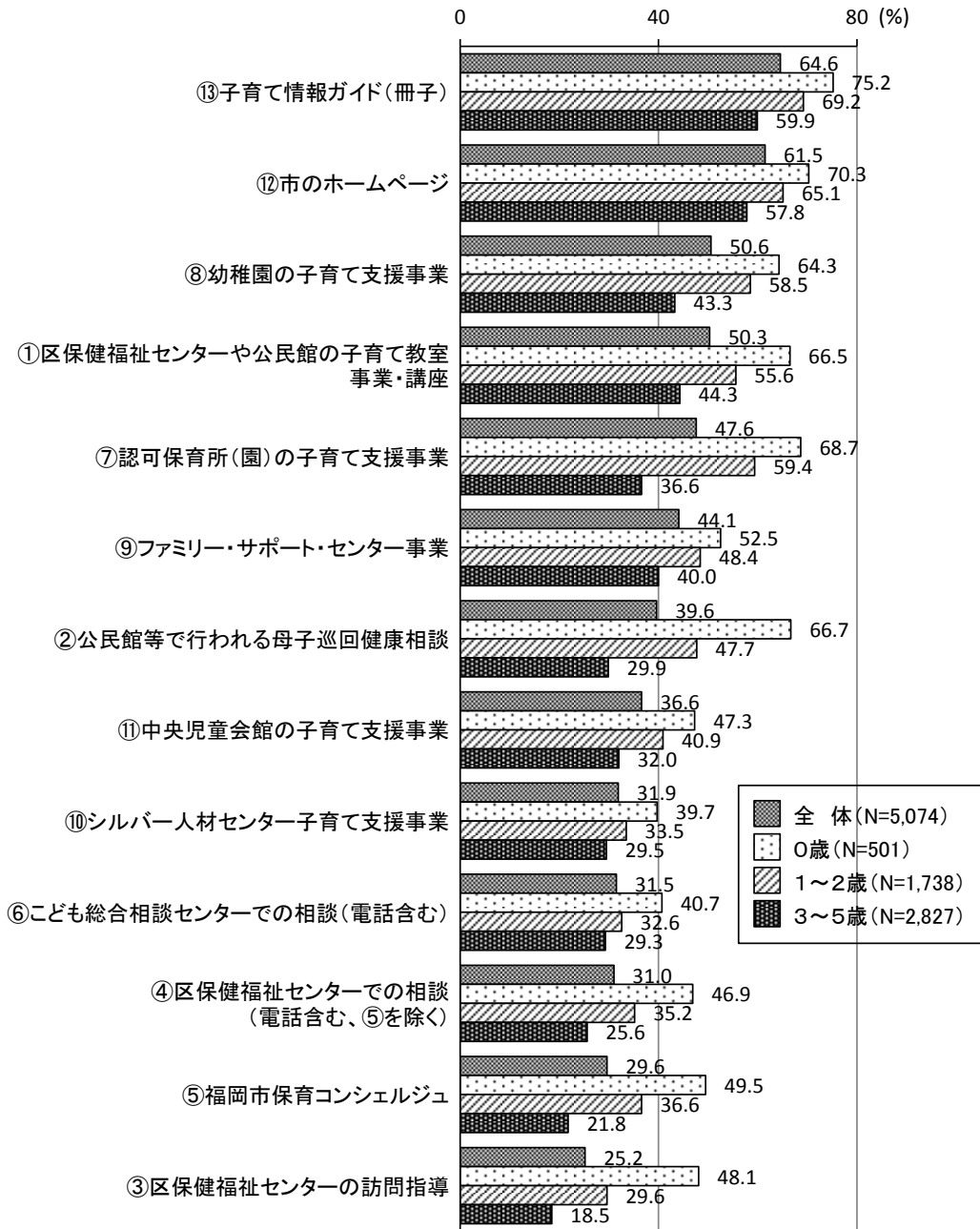
図 3-3 子ども・子育て支援事業の利用意向（2）[全体]（前回調査比較）



今後の利用意向は、「子育て情報ガイド（冊子）」（64.6%）や「市のホームページ」（61.5%）など、既に利用経験のある人が多いものほど今後の利用意向も高い傾向がみられる。

前回調査と比較すると、今後の利用意向はほとんどの項目で上がっているが、特に「区保健福祉センターや公民館の子育て教育事業・講座」や「市のホームページ」では 10 ポイント以上高くなっている。

図3-4 子ども・子育て支援事業の利用意向 [全体、年齢別]



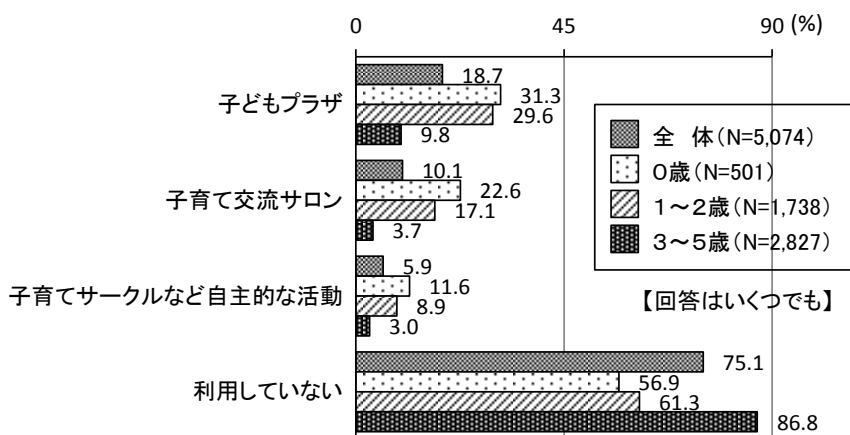
子ども・子育て支援事業の利用意向を子どもの年齢別にみると、「0歳」の利用意向が高くほとんどの事業で4割を超えている。特に「子育て情報ガイド(冊子)」(75.2%)や「市のホームページ」(70.3%)、「認可保育所(園)の子育て支援事業」(68.7%)などは7割前後と高率である。

2. 子どもプラザ・子育て交流サロンなどの利用について

(1) 利用状況

問17 あて名のお子さんと、現在、子どもプラザや子育て交流サロン、子育てサークルなどを利用してありますか。(利用されているものすべてに○。枠内におおよその利用回数を記入。)

図3-5 子どもプラザ・子育て交流サロンなどの利用状況 [全体、子どもの年齢別]



子どもプラザや子育て交流サロンなどの利用状況は、75.1%の保護者が「利用していない」となっている。利用率が最も高いのは「子どもプラザ」(18.7%)で、「子育て交流サロン」(10.1%)、「子育てサークルなど自主的な活動」(5.9%)の順となっている。

子どもの年齢別にみると、「利用していない」の割合が、年齢が高くなるほど増加する傾向がみられる。それぞれの利用率は子どもの年齢が低いほど高く、「0歳」の場合には「子どもプラザ」の利用率が31.3%となっている。

表3-1 子どもプラザ・子育て交流サロンなどの利用頻度〔全体、子どもの年齢別〕

(%)

	標本数	子どもプラザ								標本数	子育て交流サロン				
		週5回以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2～3回	月1回以下	無回答		月4回以上	月2～3回	月1回以下	無回答	
全体	949 100.0	2 0.2	4 0.4	16 1.7	36 3.8	76 8.0	235 24.8	532 56.1	48 5.1	515 100.0	40 7.8	162 31.5	299 58.1	14 2.7	
子どもの年齢別	0歳	157	0.6	-	2.5	7.6	13.4	28.7	45.9	1.3	113	3.5	37.2	59.3	-
	1～2歳	514	0.2	0.6	1.9	3.7	8.4	26.1	54.5	4.7	297	9.1	31.0	56.2	3.7
	3～5歳	277	-	0.4	0.7	1.8	4.3	20.2	64.6	7.9	104	8.7	26.0	62.5	2.9
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	1	-	100.0	-	-
	標本数	子育てサークルなど自主的な活動													
		週5回以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2～3回	月1回以下	無回答						
全体	299 100.0	-	1 0.3	2 0.7	12 4.0	69 23.1	105 35.1	105 35.1	5 1.7						
子どもの年齢別	0歳	58	-	-	1.7	13.8	46.6	36.2	1.7						
	1～2歳	155	-	0.6	1.3	3.9	24.5	34.2	34.8	0.6					
	3～5歳	85	-	-	-	5.9	27.1	29.4	34.1	3.5					
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-					

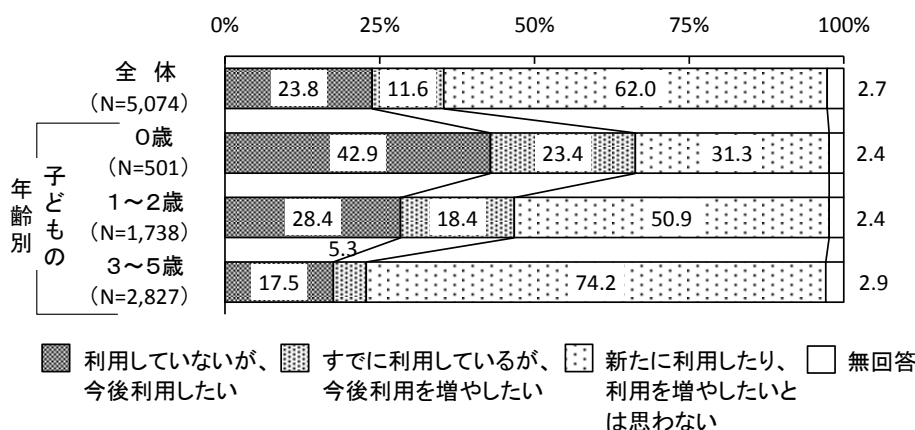
利用頻度は、「子どもプラザ」では「月1回以下」(56.1%)が半数以上を占めている。「子育て交流サロン」も「月1回以下」(58.1%)が半数以上となっている。「子育てサークルなど自主的な活動」では、「月2～3回」(35.1%)と「月1回以下」(35.1%)が同割合になっている。

(2) 利用意向

問 18 子どもプラザや子育て交流サロンについて、今は利用していないが今後利用したい、または、利用を増やしたいと思いますか。(○は1つ。枠内におおよその利用回数を記入。)

◎子どもプラザ

図3-6 子どもプラザの利用意向 [全体、子どもの年齢別]



子どもプラザや子育て交流サロンについて、今後の利用意向をたずねた結果では、まず子どもプラザは、「新たに利用したり、利用を増やしたいと思わない」(62.0%)が約6割を占めている。「利用していないが、今後利用したい」は23.8%、「すでに利用しているが、今後利用を増やしたい」は11.6%となっている。

子どもの年齢別にみると、「0歳」において「利用していないが、今後利用したい」が42.9%と高くなっている。

母親の就労状況別にみると、『専業主婦』の場合に「すでに利用しているが、今後利用を増やしたい」が1割台で『就労している』人より高い。

表3-2 子どもプラザの利用意向 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	今利用していないが、	したが、すでに今後利用し	は利用したいと思わな	無回答
		(%)	い	い	い	
全体		5,074	23.8	11.6	62.0	2.7
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,150	23.6	8.2	65.2	3.0
	パート・アルバイト等で就労	1,281	19.1	5.5	72.3	3.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	2,059	26.8	16.9	53.9	2.4
	これまで就労したことがない	432	22.7	10.9	64.4	2.1
	無回答	144	27.1	18.1	52.1	2.8

表3-3 子どもプラザの希望する利用頻度 [全体、子どもの年齢別]

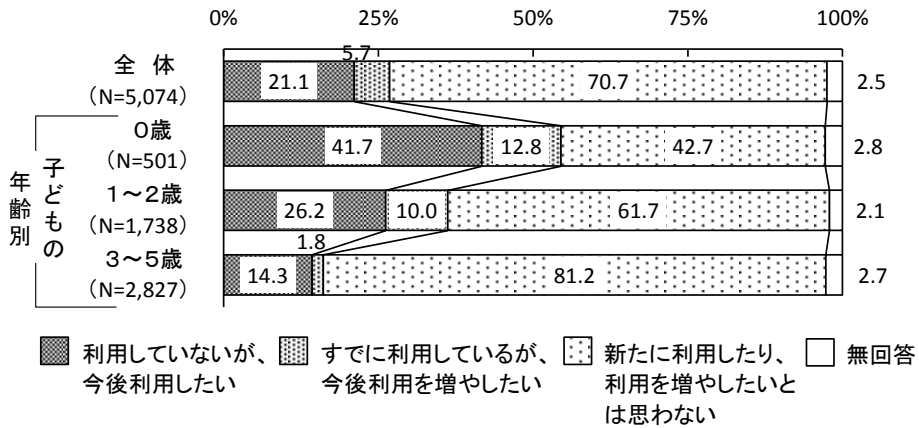
(%)

	標本数	子どもプラザ 今後利用したい回数								標本数	子どもプラザ 今後利用を増やしたい回数								
		週5回以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2~3回	月1回以下	無回答		週5回以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2~3回	月1回以下	無回答	
全体	1,207 100.0	1 0.1	1 0.1	6 0.5	19 1.6	154 12.8	331 27.4	610 50.5	85 7.0	587 100.0	3 0.5	6 1.0	24 4.1	72 12.3	201 34.2	215 36.6	46 7.8	20 3.4	
子どもの年齢別	0歳	215	0.5	-	0.5	2.3	19.5	33.0	34.9	9.3	117	-	0.9	6.8	17.1	39.3	30.8	2.6	2.6
	1~2歳	493	-	-	0.8	1.6	15.0	27.0	50.9	4.7	319	0.9	1.3	4.1	12.9	37.3	34.2	6.0	3.4
	3~5歳	496	-	0.2	0.2	1.2	7.7	25.2	57.1	8.5	150	-	0.7	2.0	7.3	24.0	46.7	15.3	4.0
	無回答	3	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-

今後利用したいという場合の希望する頻度は、「月1回以下」(50.5%)がちょうど半数で、次に多いのが「月2~3回」(27.4%)となっている。今後利用を増やしたいという場合の希望する頻度は、「月2~3回」(36.6%)と「週1回」(34.2%)がそれぞれおよそ3分の1程度を占めている。

◎子育て交流サロン

図3-7 子育て交流サロンの利用意向 [全体、子どもの年齢別]



子育て交流サロンについては、「新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない」(70.7%)が7割を占めている。「利用していないが、今後利用したい」は21.1%、「すでに利用しているが、今後利用を増やしたい」は5.7%となっている。

子どもの年齢別にみると、「0歳」において「利用していないが、今後利用したい」が41.7%と高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労している」と「以前は就労していたが、現在は就労していない」場合に「利用していないが、今後利用したい」とする割合が2割台と高くなっている。

表 3-4 子育て交流サロンの利用意向 [全体、母親の就労状況別]

		(%)				
		標本数	今後利用したいが、	したが、すでに後利用して増や	は利用をなやしたりと、	無回答
全体		5,074 100.0	1,071 21.1	288 5.7	3,586 70.7	129 2.5
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,150	20.6	2.6	73.7	3.0
	パート・アルバイト等で就労	1,281	15.5	1.7	80.0	2.8
	以前は就労していたが、現在は就労していない	2,059	25.1	9.8	62.8	2.3
	これまで就労したことがない	432	19.0	6.0	73.4	1.6
	無回答	144	25.0	6.3	66.7	2.1

表 3-5 子育て交流サロンの希望する利用頻度 [全体、子どもの年齢別]

		(%)																	
		標本数	子育て交流サロン 今後利用したい回数							標本数	子育て交流サロン 今後利用を増やしたい回数								
			週5回以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2〜3回	月1回以下		無回答	週5回以上	週4回	週3回	週2回	週1回	月2〜3回	月1回以下	無回答
全体		1,071 100.0	1 0.1	-	5 0.5	9 0.8	147 13.7	217 20.3	589 55.0	103 9.6	288 100.0	2 0.7	-	3 1.0	18 6.3	109 37.8	98 34.0	25 8.7	33 11.5
子どもの年齢別	0歳	209	0.5	-	0.5	1.4	20.6	23.4	43.5	10.0	64	-	-	-	4.7	37.5	37.5	4.7	15.6
	1〜2歳	455	-	-	0.7	0.7	16.0	20.4	55.2	7.0	173	1.2	-	1.2	6.9	40.5	29.5	11.0	9.8
	3〜5歳	404	-	-	0.2	0.7	7.7	18.6	60.6	12.1	50	-	-	2.0	6.0	30.0	44.0	6.0	12.0
	無回答	3	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-

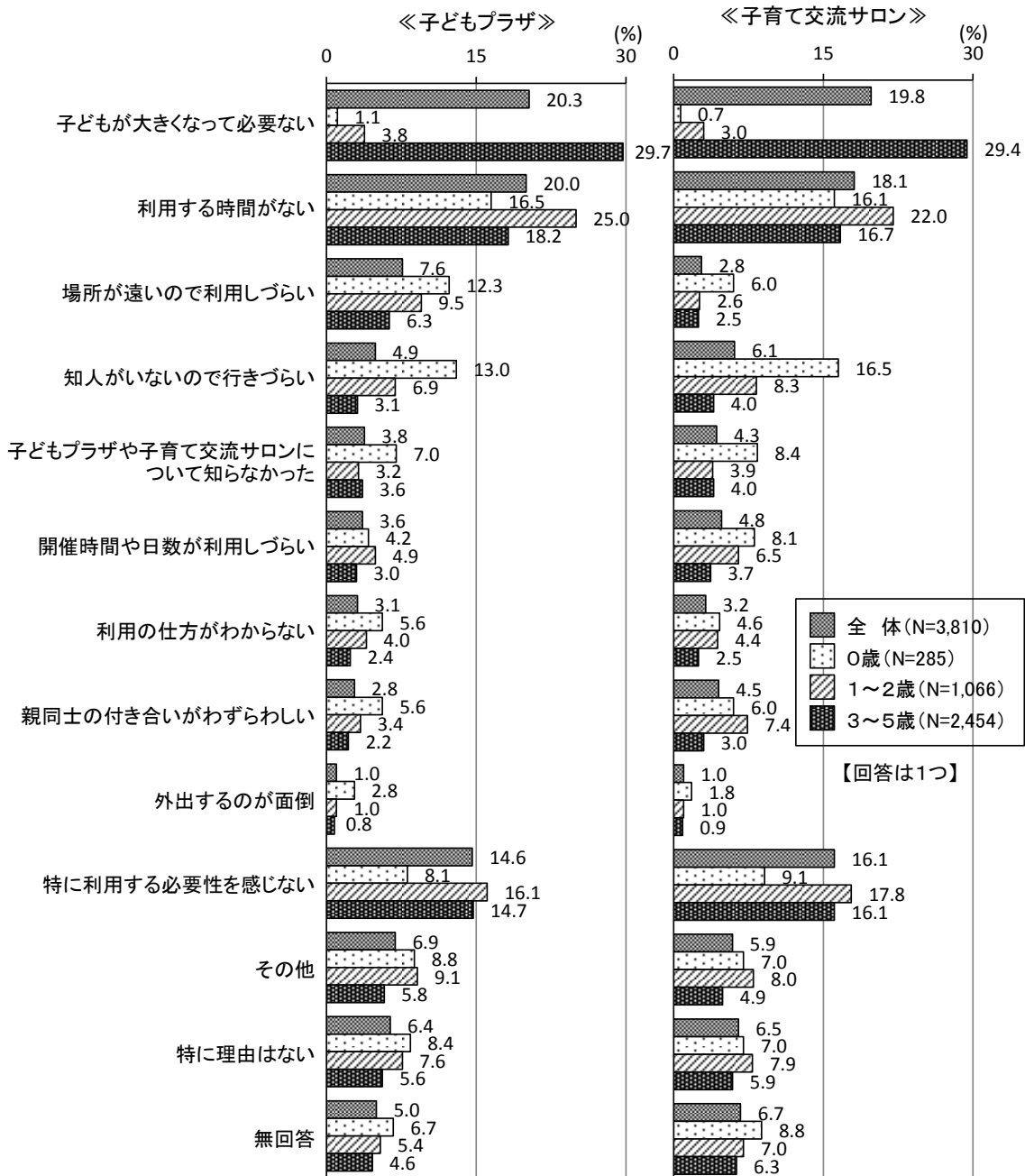
今後利用したいという場合の希望する頻度は、「月1回以下」(55.0%)が半数以上を占めており、次に多いのが「月2〜3回」(20.3%)となっている。今後利用を増やしたいという場合の希望する頻度は、「月2〜3回」(34.0%)と「週1回」(37.8%)がそれぞれおよそ3分の1程度を占めている。

(3) 利用していない理由

問17で「4」と回答された方にうかがいます。

問19 現在、子どもプラザや子育て交流サロンを利用していない理由についてお答えください。(それぞれ〇は1つ) ※利用している場合は、回答不要です。

図3-8 子どもプラザ・子育て交流サロンなどを利用していない理由[全体、子どもの年齢別]



子どもプラザを利用していない理由は、「子どもが大きくなって必要ない」(20.3%)と「利用する時間がない」(20.0%)、「特に利用する必要性を感じない」(14.6%)が比較的高い割合となっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

子どもの年齢別にみると、「0歳」では「知人がいないので行きづらい」(13.0%)、「1～2歳」では「利用する時間がない」(25.0%)、「3～5歳」では「子どもが大きくなって必要ない」(29.7%)がそれぞれ高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」と「パート・アルバイト等で就労」では「利用する時間がない」が3割前後と高くなっている。「以前は就労していたが、現在は就労していない」では、「場所が遠いので利用しづらい」も12.0%と高くなっている。

子育て交流サロンを利用していない理由も、「子どもが大きくなって必要ない」(19.8%)と「利用する時間がない」(18.1%)、「特に利用する必要性を感じない」(16.1%)の3つが高い割合となっている。

子どもの年齢別にみると、子どもプラザの場合とまったく同じ傾向がみられ、「0歳」では「知人がいないので行きづらい」(16.5%)、「1～2歳」では「利用する時間がない」(22.0%)、「3～5歳」では「子どもが大きくなって必要ない」(29.4%)がそれぞれ高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」と「パート・アルバイト等で就労」では「利用する時間がない」が約2～3割と高くなっている。

表3-6 子どもプラザ・子育て交流サロンなどを利用していない理由

[全体、母親の就労状況別別]

(%)

		標本数	場所が遠いので利用しづらい	開催時間や日数が利用しづらい	知人がいないので行きづらい	子どもプラザや子育て交流サロンについて知らなかった	利用する時間がない	利用の仕方がわからない	親同士の付き合いがわずらわしい	外出するのが面倒	子どもが大きくなって必要ない	特に利用する必要性を感じない	その他	特に理由はない	無回答	
子どもプラザ	全体	3,810 100.0	291 7.6	138 3.6	186 4.9	144 3.8	761 20.0	119 3.1	106 2.8	40 1.0	773 20.3	556 14.6	264 6.9	242 6.4	190 5.0	
	母親の就労状況別															
	フルタイムで就労	957	3.9	6.1	4.2	2.9	33.1	3.3	1.9	0.9	10.2	17.2	6.1	6.1	4.1	
	パート・アルバイト等で就労	1,104	5.5	3.0	3.2	2.8	24.3	2.0	3.0	0.5	23.0	15.8	6.1	6.0	4.9	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,315	12.0	2.4	7.1	4.8	9.7	4.1	3.0	1.2	24.4	11.9	8.4	6.0	4.9	
	これまで就労したことがない	330	8.5	3.3	4.8	5.2	10.9	2.1	3.0	1.5	25.2	13.6	7.0	8.5	6.4	
無回答	96	7.3	5.2	1.0	4.2	8.3	4.2	5.2	4.2	16.7	15.6	6.3	10.4	11.5		
子育て交流サロン	全体	3,810 100.0	107 2.8	184 4.8	234 6.1	165 4.3	691 18.1	123 3.2	170 4.5	40 1.0	756 19.8	612 16.1	225 5.9	248 6.5	255 6.7	
	母親の就労状況別															
	フルタイムで就労	957	1.6	7.1	5.4	3.3	30.9	3.7	3.2	0.5	8.7	18.9	4.8	6.3	5.5	
	パート・アルバイト等で就労	1,104	2.0	4.1	4.3	3.5	21.7	2.4	3.7	0.8	23.6	15.4	5.7	6.2	6.5	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,315	4.0	4.1	8.4	5.4	8.4	3.8	6.2	1.4	24.3	13.9	6.8	6.5	6.8	
	これまで就労したことがない	330	3.6	4.2	6.4	5.5	9.7	1.8	3.3	1.2	23.9	18.5	6.1	7.9	7.9	
無回答	96	6.3	3.1	2.1	4.2	10.4	5.2	6.3	4.2	13.5	15.6	6.3	8.3	14.6		

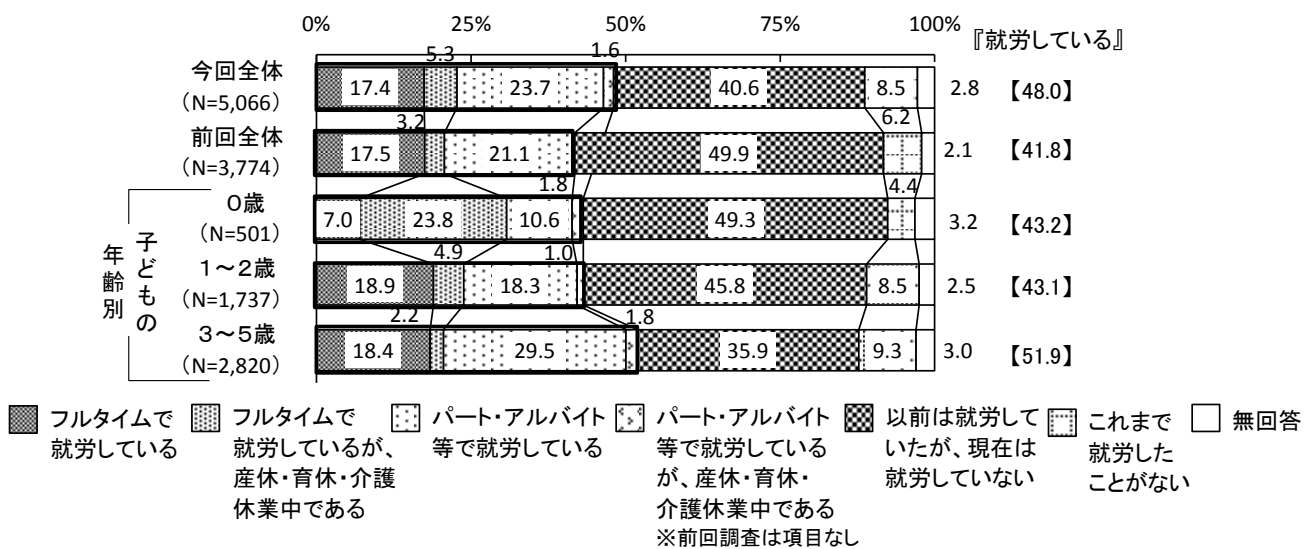
第4章 保護者の就労状況

1. 母親の就労状況

(1) 母親の就労状況

問20 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。
 （〇は1つ）【該当されない場合は記入は不要です】

図4-1 母親の就労状況〔全体、子どもの年齢別〕（前回調査比較）



母親の就労状況を見ると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が40.6%と最も高く4割を占めている。次いで、「パート・アルバイト等で就労している」(23.7%)、「フルタイムで就労している」(17.4%)、「これまで就労したことがない」(8.5%)、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(5.3%)となっている。

前回調査と比較すると、『就労している』人は、産休等の休業中の人も含め48.0%で前回調査より6.2ポイント増加している。「以前は就労していたが、現在は就労していない」人は40.6%で前回調査より9.3ポイント減少している。

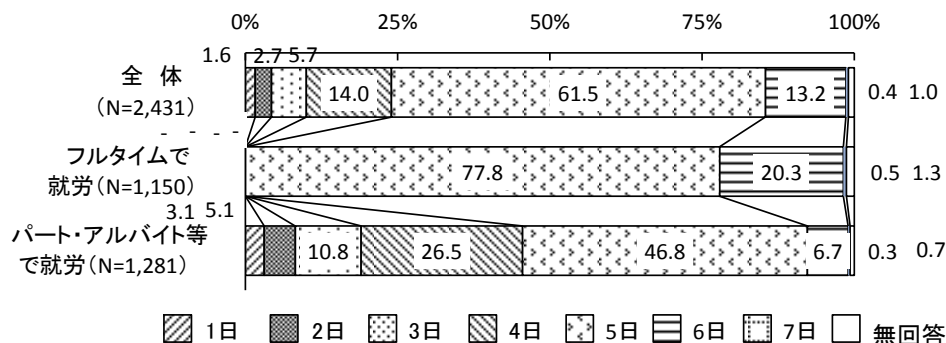
子どもの年齢別にみると、「フルタイムで就労している」と「パート・アルバイト等で就労している」は子どもの年齢が高くなるほど増加している。一方で、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」は子どもの年齢が低いほど増加しており、「0歳」では23.8%と約4分の1に達している。

①就労日数、就労時間

問 20 で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 一週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。（枠内に数字を記入）

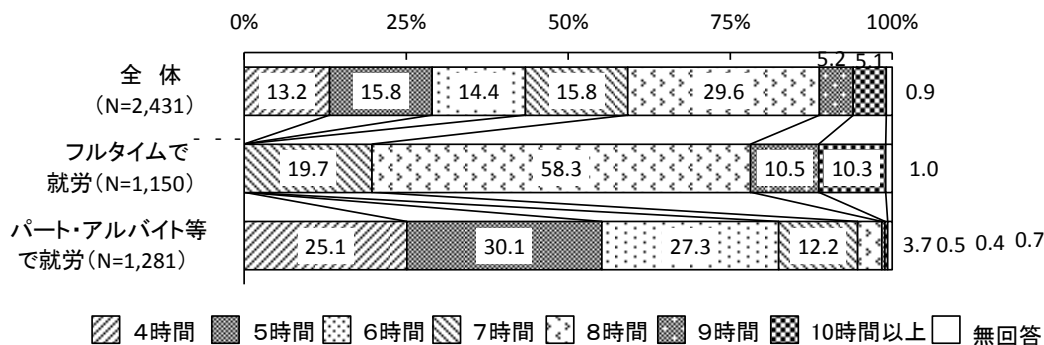
図 4-2 母親の就労日数 [全体、母親の就労形態別]



就労している場合の1週当たりの勤務日数は、「5日」(61.5%)が最も多く、次いで、「4日」(14.0%)、「6日」(13.2%)となっている。

就労形態別にみると、「フルタイムで就労」の場合には、「5日」(77.8%)と「6日」(20.3%)のいずれかにほぼ限られており、「パート・アルバイト等で就労」の場合には、「5日」(46.8%)が最も多いが、その他は「1日」から「7日」まで分散している。

図 4-3 母親の就労時間 [全体、母親の就労形態別]



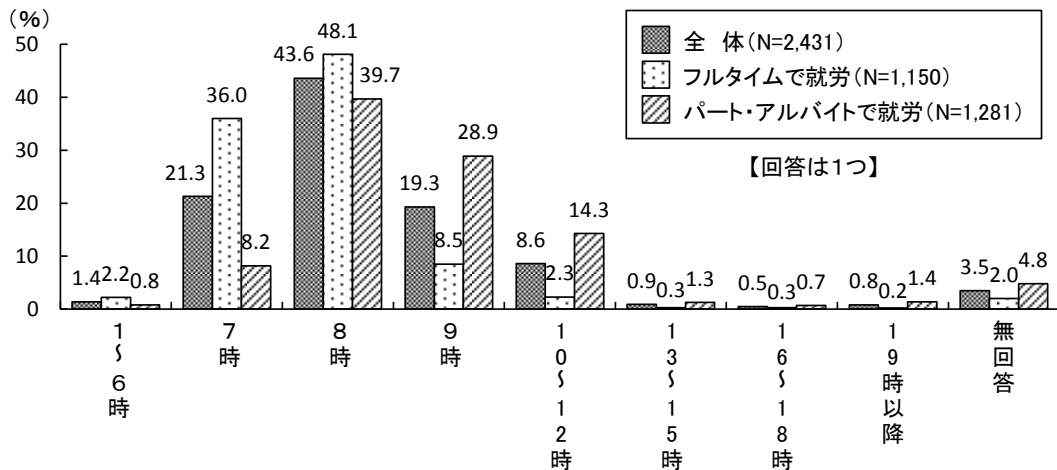
1日当たりの就労時間は、「8時間」(29.6%)が最も多く、次いで、「5時間」(15.8%)と「7時間」(15.8%)が多くなっている。

就労形態別にみると、「フルタイムで就労」の場合には、「7時間」以上に限られており、なかでも「8時間」(58.3%)が多く約6割を占めている。「パート・アルバイト等で就労」場合には、「4時間」から「6時間」の間が多数を占めており、最も多いのは「5時間」(30.1%)となっている。

②家を出る時刻と帰宅時刻

問 20-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(枠内に時間を記入(例) 18時)

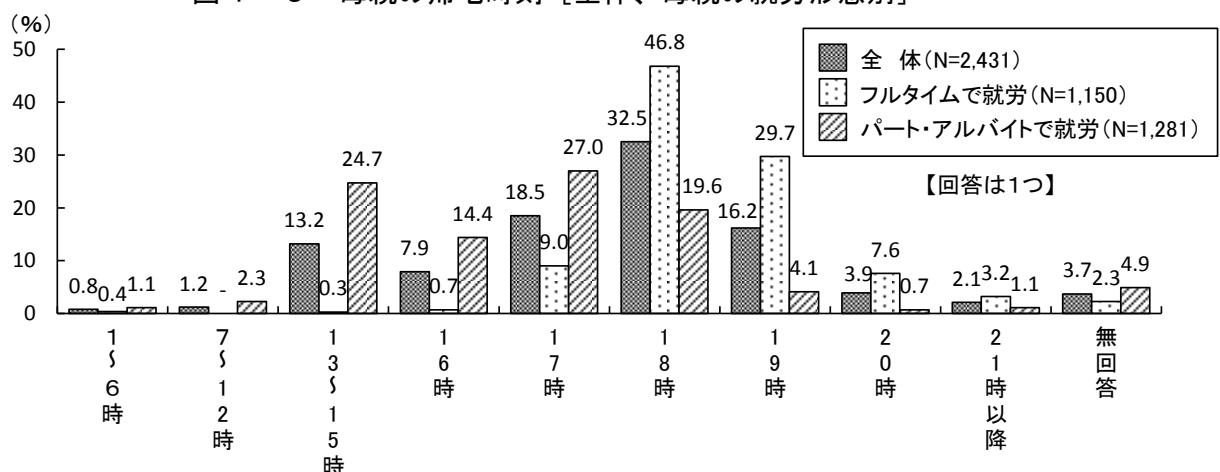
図4-4 母親の家を出る時刻 [全体、母親の就労形態別]



家を出る時刻は、「8時」(43.6%)が最も多く、次いで、「7時」(21.3%)、「9時」(19.3%)となっている。

就労形態別にみると、「フルタイムで就労している」場合は、「8時」(48.1%)、「7時」(36.0%)の順になっており、「パート・アルバイト等で就労している」場合には「8時」(39.7%)、「9時」(28.9%)の順になっている。

図4-5 母親の帰宅時刻 [全体、母親の就労形態別]



帰宅時刻は、「18時」(32.5%)が最も多く、次いで、「17時」(18.5%)、「19時」(16.2%)となっている。

就労形態別にみると、「フルタイムで就労している」場合には、「18時」(46.8%)が約5割で最も多く、「パート・アルバイト等で就労している」場合には「17時」(27.0%)や「13~15時」(24.7%)の帰宅が多くなっている。

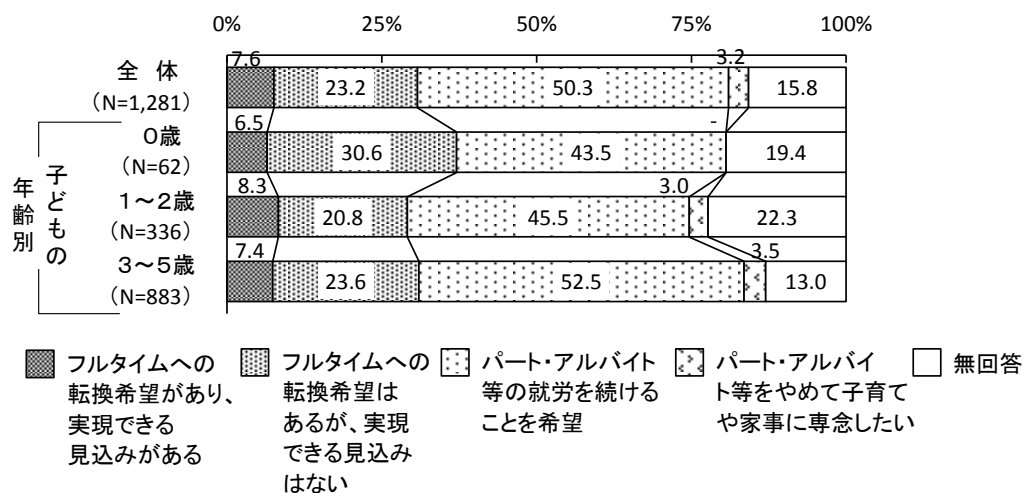
(2) 母親の就労希望

①パートタイムからフルタイムへの転換希望

問 20 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください。(○は1つ)

図 4-6 パートタイムからフルタイムへの転換希望 [全体、子どもの年齢別]



パート・アルバイト等で就労している母親（現在休業中を含む）のフルタイムへの転換希望をたずねた結果では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」（50.3%）が半数を占めている。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は23.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は7.6%となっており、フルタイムへの転換を希望している人の大部分は、その見込みが立たない状況にある。

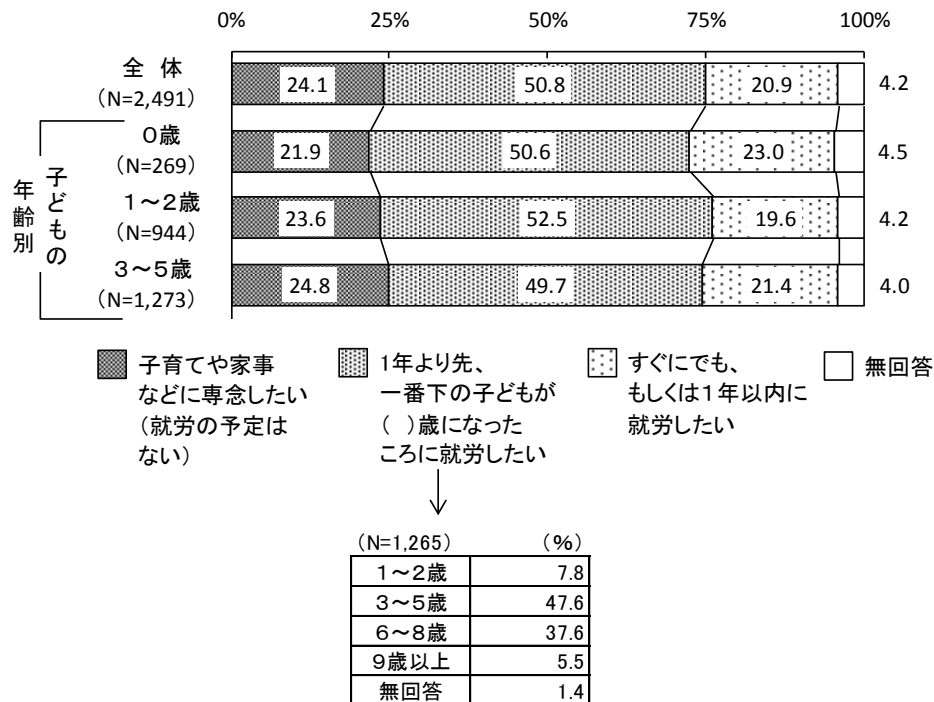
子どもの年齢別にみると、「0歳」では「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（30.6%）が約3割と高くなっている。

②現在働いていない母親の就労希望

問20で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。

問20-4 就労への希望についてお答えください。(○は1つ。枠内に数字を記入)

図4-7 現在働いていない母親の就労希望 [全体、子どもの年齢別]

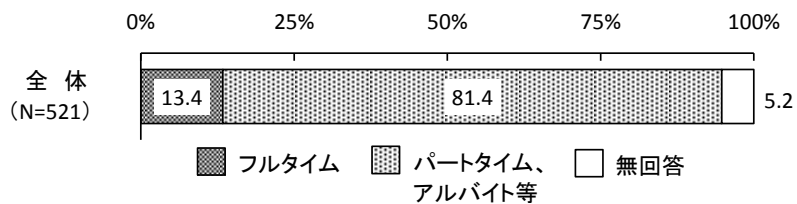


現在就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」(50.8%)がちょうど半数となっている。「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」は24.1%、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」は20.9%となっている。

子どもの年齢別にみると、どの年代の子ども保護者でも同じような結果となっている。

「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」とする場合の、子どもの年齢は、「3~5歳」の範囲が47.6%、「6~8歳」の範囲が37.6%となっている。

図4-8 現在働いていない母親の希望する就労形態 [全体]



希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」(81.4%)が約8割を占めている。

図4-9 パート・アルバイト等を希望する母親の希望する就労日数 [全体]

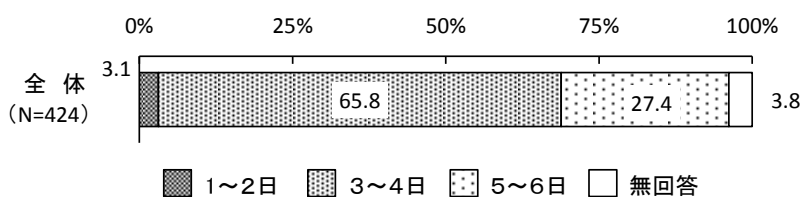
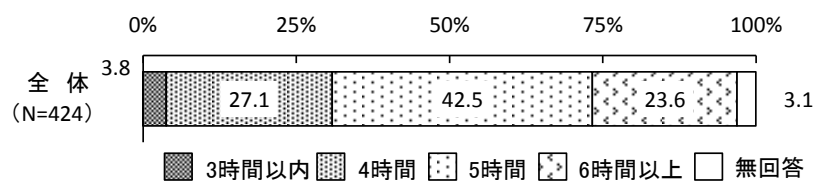


図4-10 パート・アルバイト等を希望する母親の希望する就労時間 [全体]



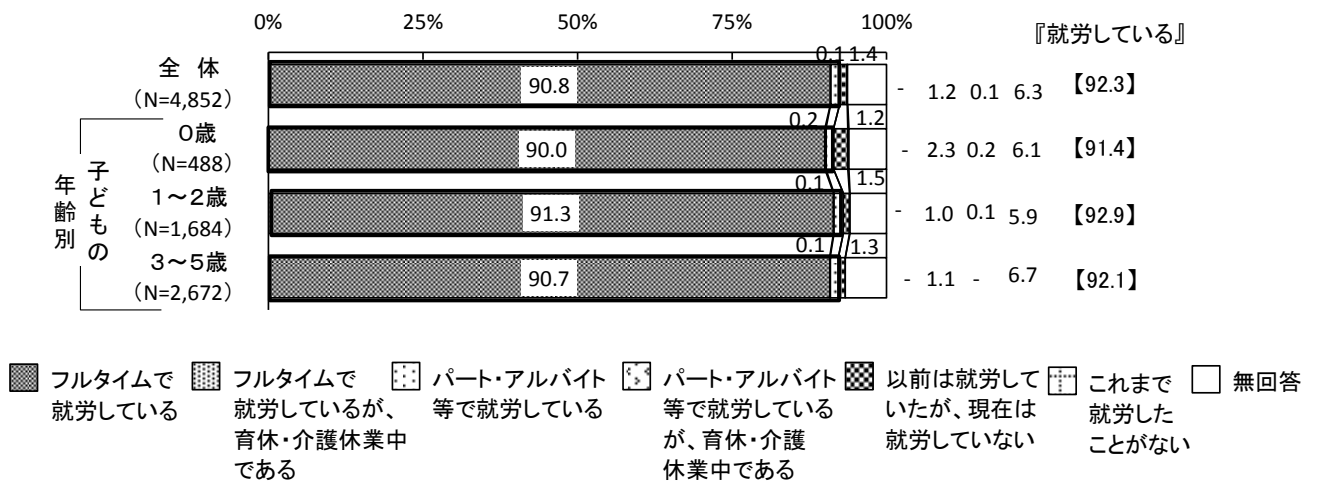
パートタイムやアルバイトでの就労を希望する母親の希望する勤務日数と時間は週に「3~4日」(65.8%)、1日当たり「5時間」(42.5%)が最も多い。

2. 父親の就労状況

(1) 父親の就労状況

問 21 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、お答えください。
 （〇は1つ）【該当されない場合は記入は不要です】

図4-11 父親の就労状況 [全体、子どもの年齢別]



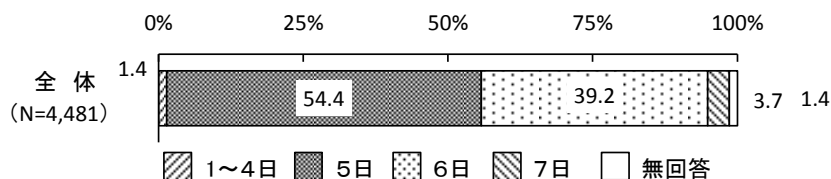
父親の就労状況を見ると、「フルタイムで就労している」が 90.8%と、回答者の大部分を占めている。「パート・アルバイト等で就労している」は 1.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は 1.2%とともに低い割合となっている。「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」はわずか 0.1%に過ぎない。

①就労日数、就労時間

問 21 で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

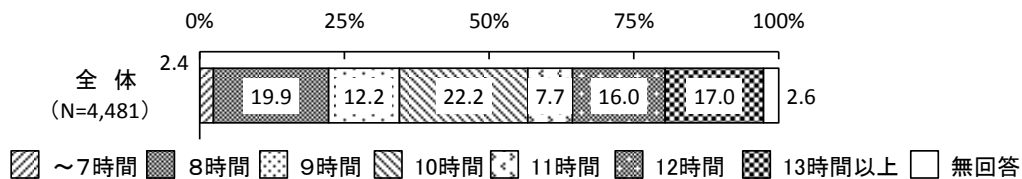
問 21-1 一週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。（枠内に数字を記入）

図 4-12 父親の就労日数 [全体]



父親の1週当たりの就労日数は、「5日」(54.4%)が最も多く、次いで「6日」(39.2%)が多くなっており、この2つで回答者の大部分を占めている。

図 4-13 父親の就労時間 [全体]

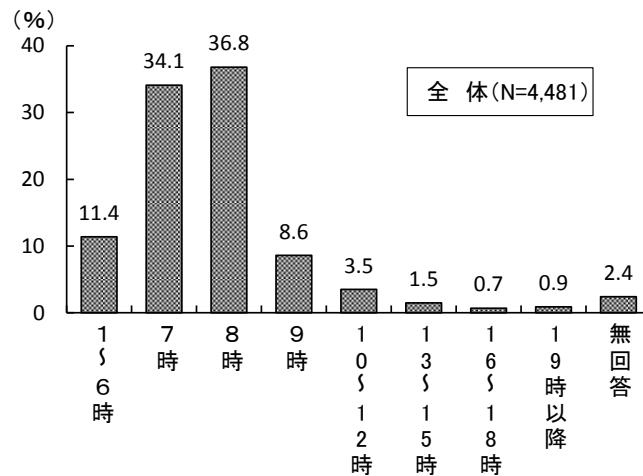


1日当たりの就労時間は、「10時間」(22.2%)と「8時間」(19.9%)が多くなっているが、「12時間」(16.0%)や「13時間以上」(17.0%)も少なくなく、長時間勤務が目立つ結果となっている。

②家を出る時刻と帰宅時刻

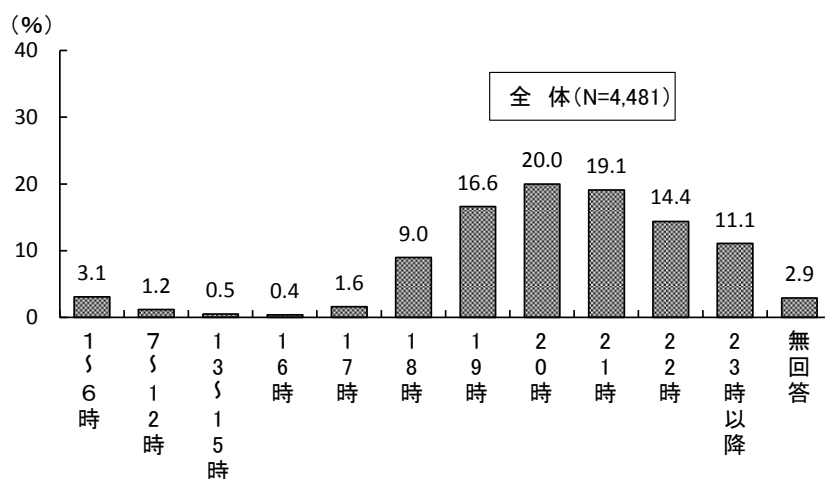
問 21-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(枠内に時間を記入(例) 18時)

図4-14 父親の家を出る時刻 [全体]



父親が家を出る時刻は「8時」(36.8%)と「7時」(34.1%)が多く、約7割を占めている。「1～6時」(11.4%)も約1割を占めている。

図4-15 父親の帰宅時刻 [全体]



父親の帰宅時刻は、『21時以降』(44.6%)が4割以上を占めており、次いで「20時」(20.0%)が多い。

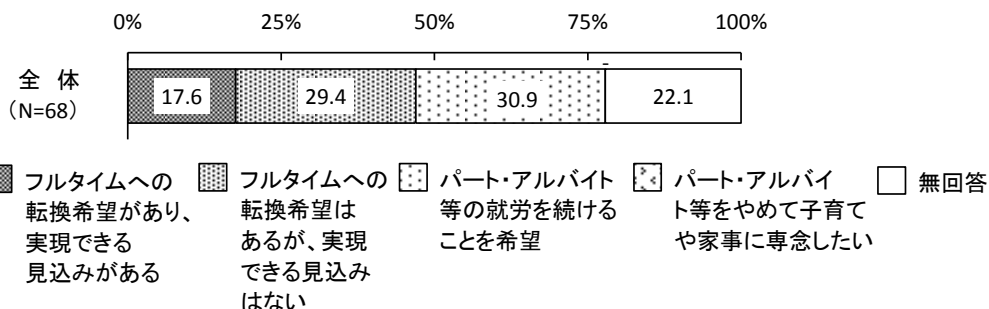
(2) 父親の就労希望

①パートタイムからフルタイムへの転換希望

問 21 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください。(○は1つ)

図 4-16 パートタイムからフルタイムへの転換希望 [全体]



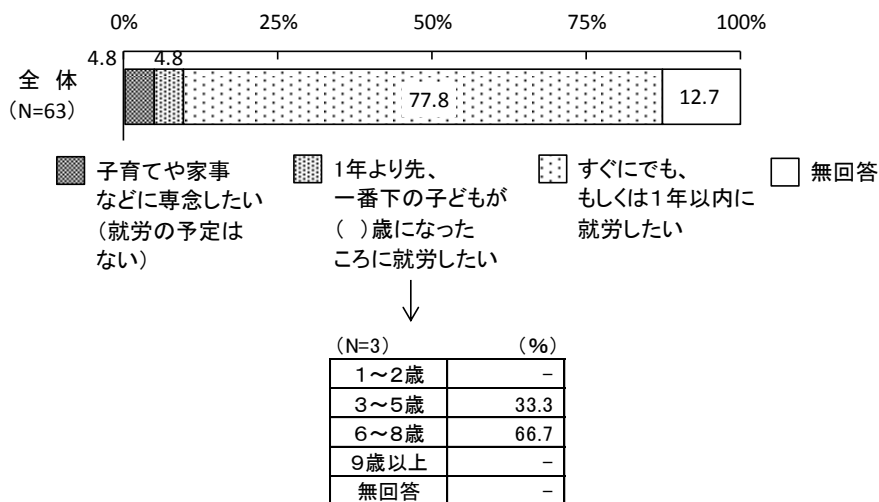
現在、「パート・アルバイト等で就労している」場合のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」(30.9%)と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(29.4%)がほぼ同数となっている。

②現在働いていない父親の就労希望

問 21 で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。

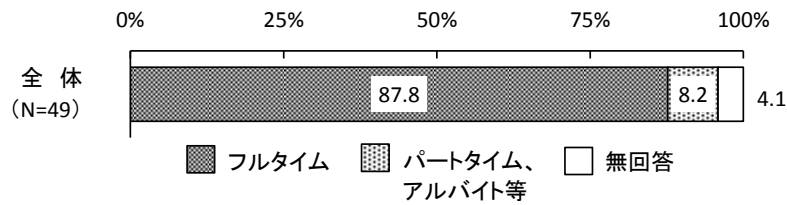
問 21-4 就労への希望についてお答えください。(○は1つ。枠内に数字を記入)

図 4-17 現在働いていない父親の就労希望 [全体]



現在就労していない場合の就労希望は、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(77.8%)がほとんどとなっている。

図4-18 現在働いていない父親の希望する就労形態 [全体]



希望する就労形態は、「フルタイム」(87.8%)が約9割を占めている。

図4-19 パート・アルバイト等を希望する父親の希望する就労日数 [全体]

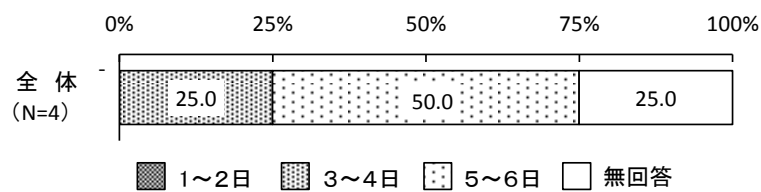
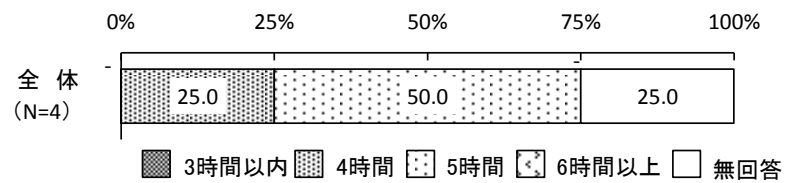


図4-20 パート・アルバイト等を希望する父親の希望する就労時間 [全体]



パートタイムやアルバイトを希望する父親の希望する勤務日数と時間は週に「5~6日」(50.0%)、1日当たり「5時間」(50.0%)が最も多い。

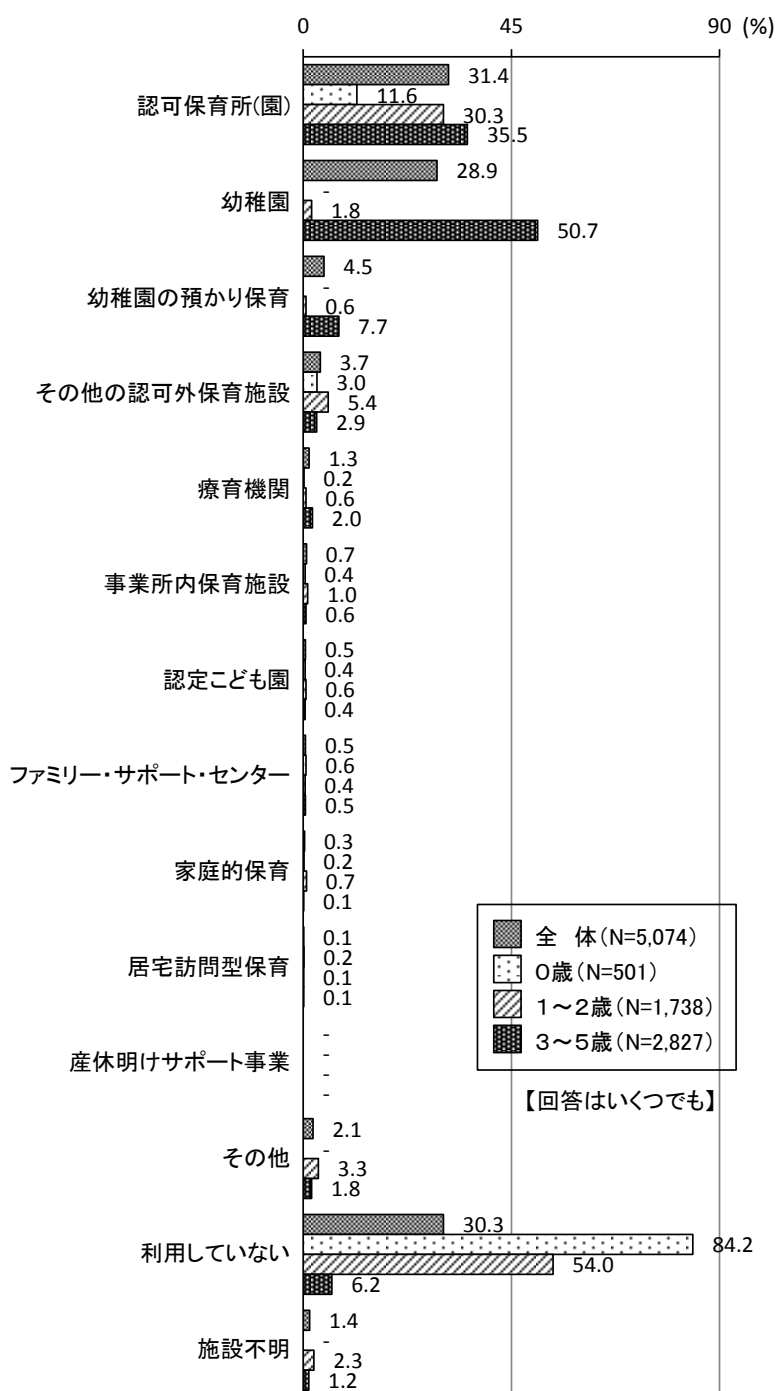
第5章 定期的な教育・保育事業と子育て支援サービスの利用状況

1. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

(1) 定期的にご利用している教育・保育事業

問 22 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

図5-1 定期的にご利用している教育・保育事業 [全体、子どもの年齢別]



平日に利用している保育サービス等は、「認可保育所（園）」（31.4%）が最も多く、次いで「幼稚園」（28.9%）となっている。その他の事業・サービスはいずれも5%以下となっており利用率は低い。いずれの事業・サービスも「利用していない」（30.3%）は3割となっている。

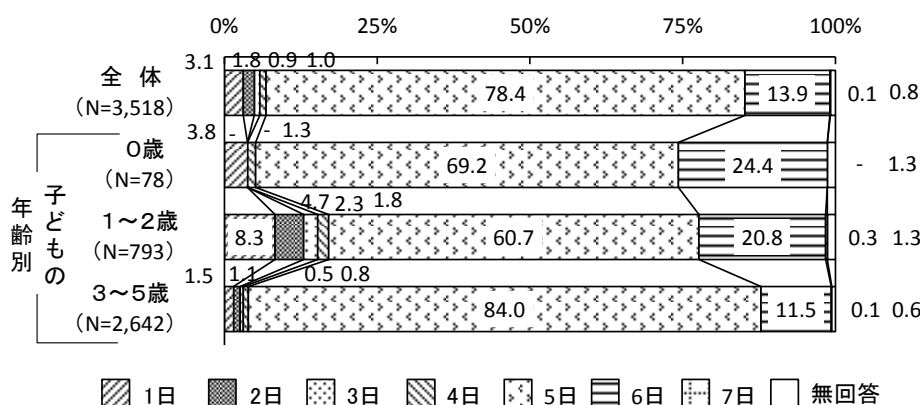
子どもの年齢別にみると、「認可保育所（園）」は年齢が高くなるほど利用率も高くなっている。「幼稚園」は、ほぼ「3～5歳」（50.7%）に限られている。「利用していない」は年齢が低いほど高く、「0歳」では84.2%となっている。

①利用日数と時間

問22で「1.～12.」に○をつけた方にうかがいます。

問22-1 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、全部あわせてどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

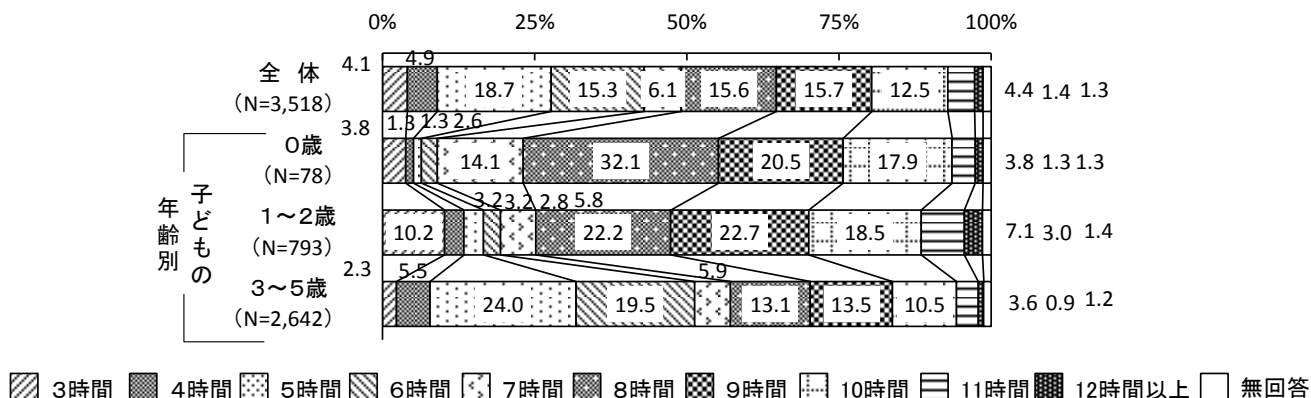
図5-2 定期的に利用している教育・保育事業の利用日数 [全体、子どもの年齢別]



定期的に利用している教育・保育事業の利用日数と時間は、1週間当たり「5日」（78.4%）が約8割を占めている。次いで多いのが「6日」で13.9%となっている。

子どもの年齢別にみると、「6日」の利用は子どもの年齢が低いほど高くなる傾向がみられ、「0歳」では24.4%となっている。

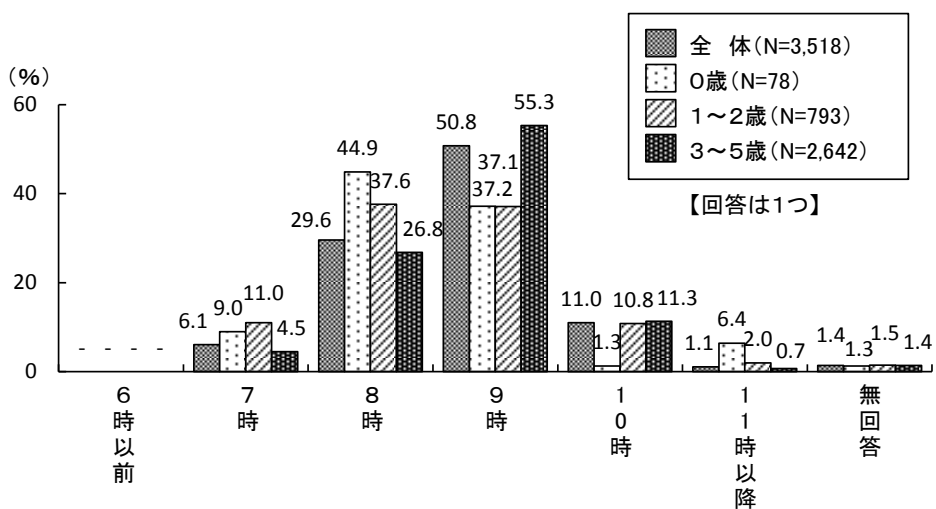
図5-3 定期的に利用している教育・保育事業の利用時間 [全体、子どもの年齢別]



保育事業の平日の利用時間は、「5時間」(18.7%)が最も多いが、5~10時間の間で概ね均等に分散している。

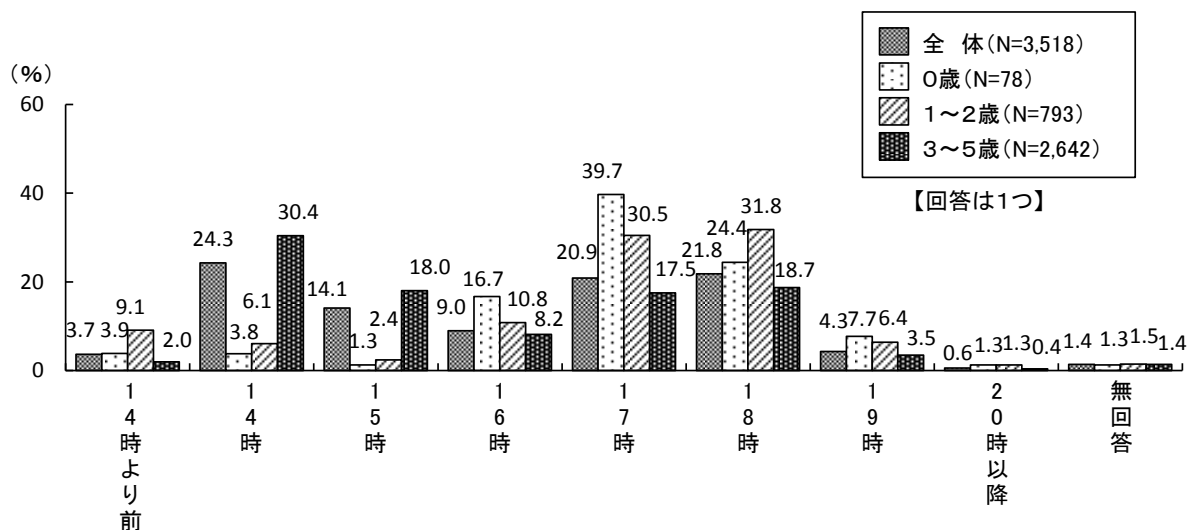
子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど利用時間は長くなる傾向がみられる。

図5-4 定期的に利用している教育・保育事業の開始時刻 [全体、子どもの年齢別]



利用開始時刻は「9時」(50.8%)が半数を占めており、次いで「8時」(29.6%)が多い。子どもの年齢別にみると、「9時」は「3~5歳」(55.3%)で高く、「8時」は「0歳」(44.9%)で高い。

図5-5 定期的にご利用している教育・保育事業の終了時刻 [全体、子どもの年齢別]

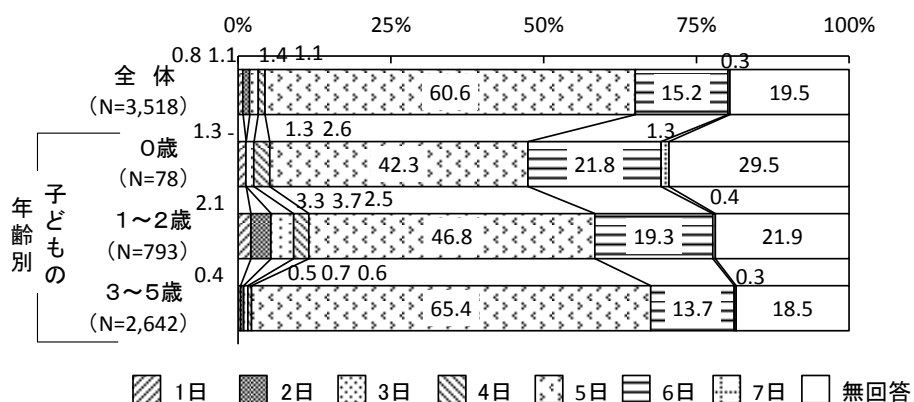


終了時刻は「14時」(24.3%)が最も多く、次いで、「18時」(21.8%)、「17時」(20.9%)となっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が低いと「17時」「18時」が、年齢が高いと「14時」「15時」の割合が高くなっている。

②希望日数と時間

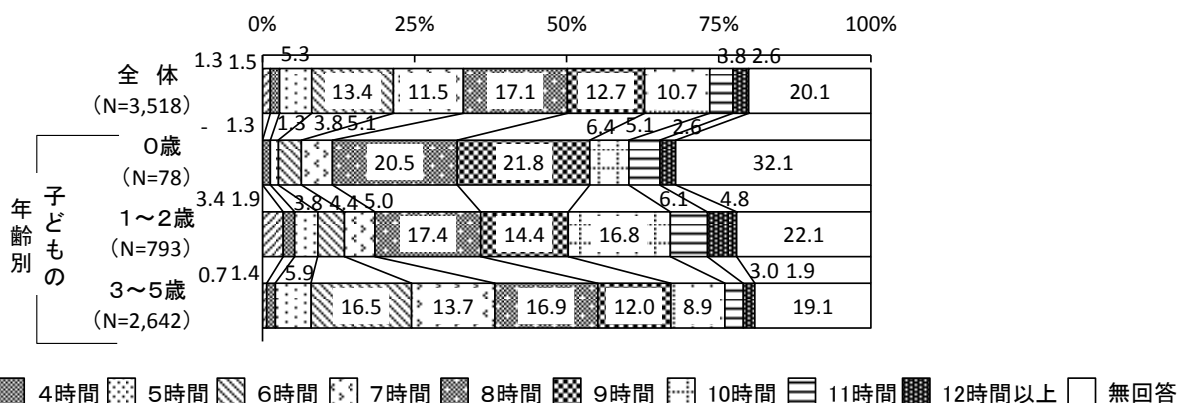
図5-6 定期的にご利用している教育・保育事業の希望する利用日数 [全体、子どもの年齢別]



保育事業の利用について、希望する日数をたずねたところ、「5日」(60.6%)が最も多く、次いで「6日」(15.2%)となっている。現在の利用状況と大差ない結果となっている。

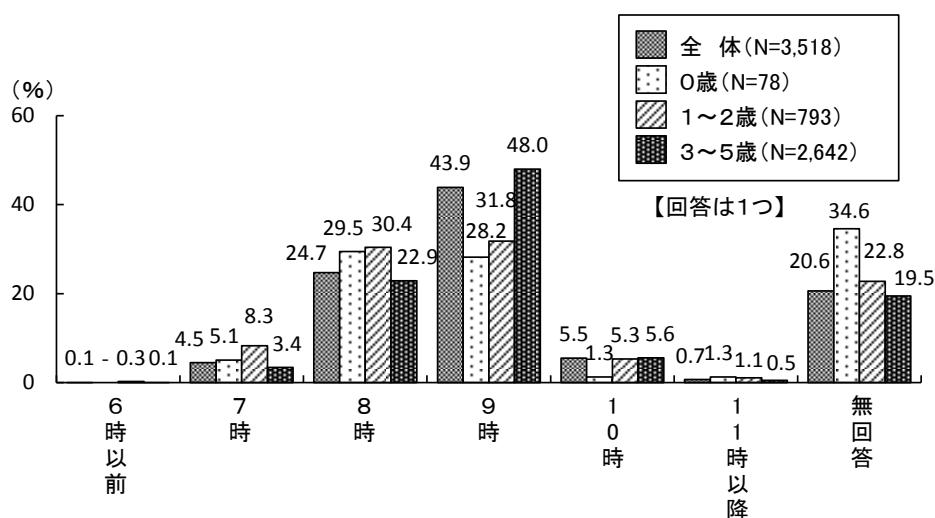
子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるほど「6日」の割合が低くなり「5日」が高くなっている。

図5-7 定期的にご利用している教育・保育事業の希望する利用時間 [全体、子どもの年齢別]



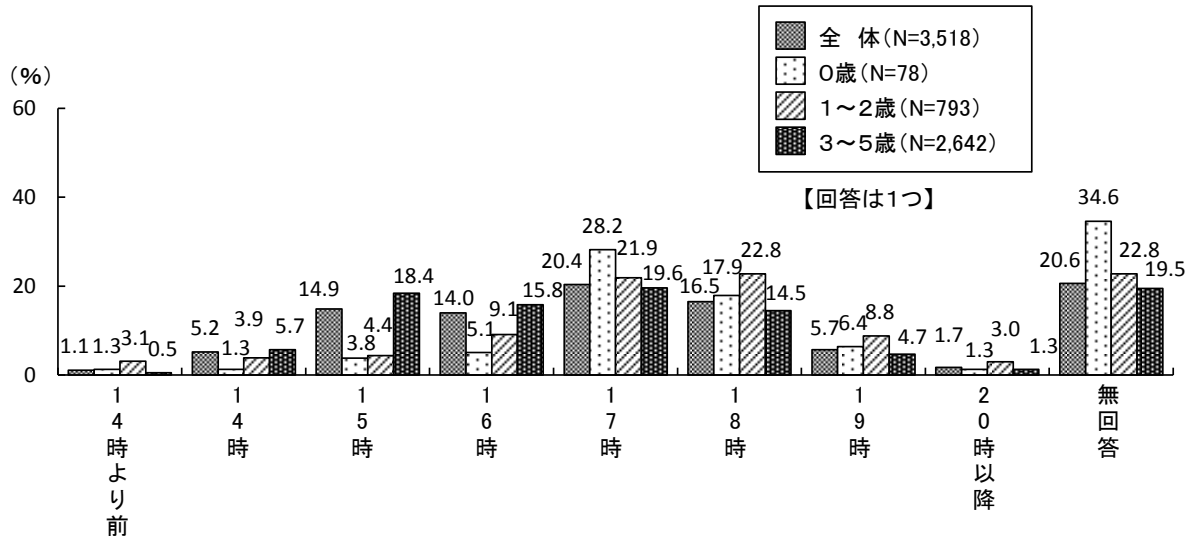
希望する利用時間は「8時間」(17.1%)が最も多いが、「6時間」から「10時間」の間で分散している。

図5-8 定期的にご利用している教育・保育事業の希望する開始時刻 [全体、子どもの年齢別]



希望する利用開始時刻は「9時」(43.9%)が最も多く、次いで「8時」(24.7%)となっている。現在の利用状況と大差ない結果であり、子どもの年齢別にみた場合の傾向も変わらない。

図5-9 定期的にご利用している教育・保育事業の希望する終了時刻〔全体、子どもの年齢別〕



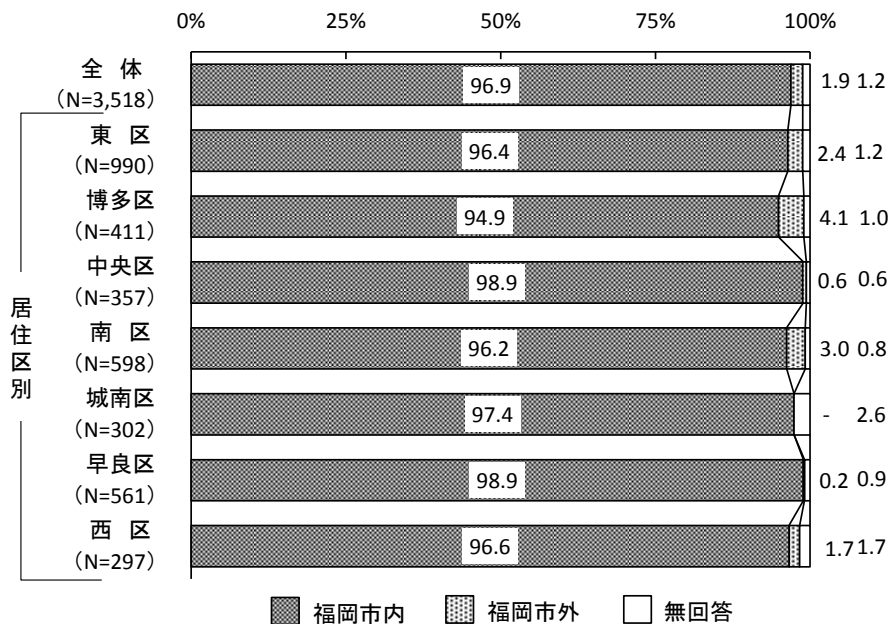
希望する終了時刻は「17時」(20.4%)が最も多く、次いで「18時」(16.5%)となっている。現在の利用状況に比べると、もう少し遅い時間まで利用したいという意向がうかがえる。

子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるほど「15時」「16時」を希望する割合が高くなる傾向がみられる。

(2) 利用している教育・保育事業の場所

問22-2 現在、教育・保育事業を利用している場所について、お答えください。(○は1つ)

図5-10 利用している教育・保育事業の場所〔全体、居住区別〕



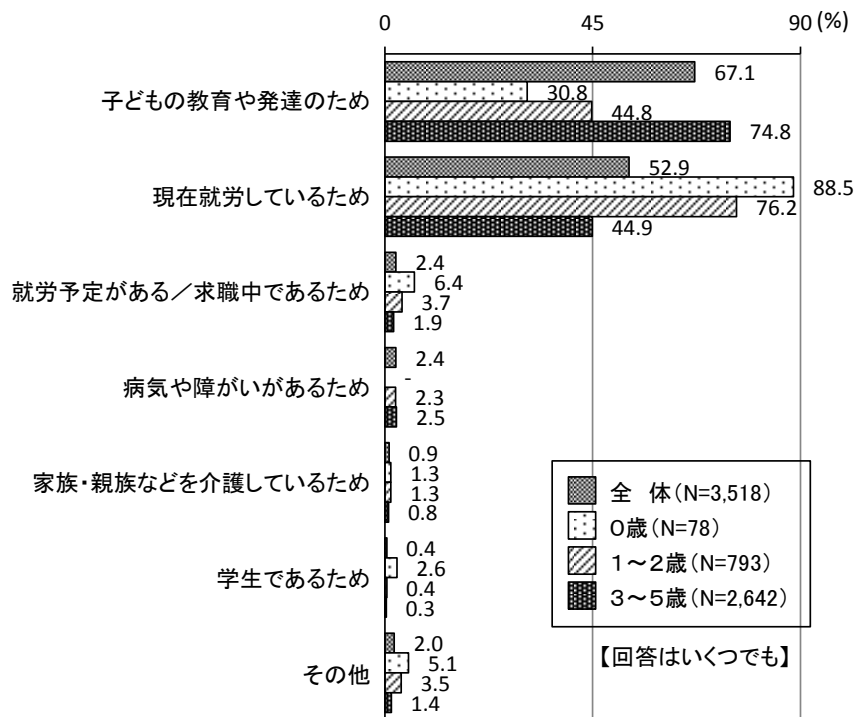
現在利用している教育・保育事業の場所は、「福岡市内」(96.9%)が殆どを占めており、「福岡市外」はわずか1.9%である。

居住区別にみると、「博多区」と「南区」で「福岡市外」の割合が他区よりも若干高くなっている。

(3) 教育・保育事業を利用している理由

問 22-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由についてお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

図5-11 教育・保育事業を利用している理由 [全体、子どもの年齢別]



教育・保育事業を利用している理由は「子どもの教育や発達のため」(67.1%)と「現在就労しているため」(52.9%)が二分している。

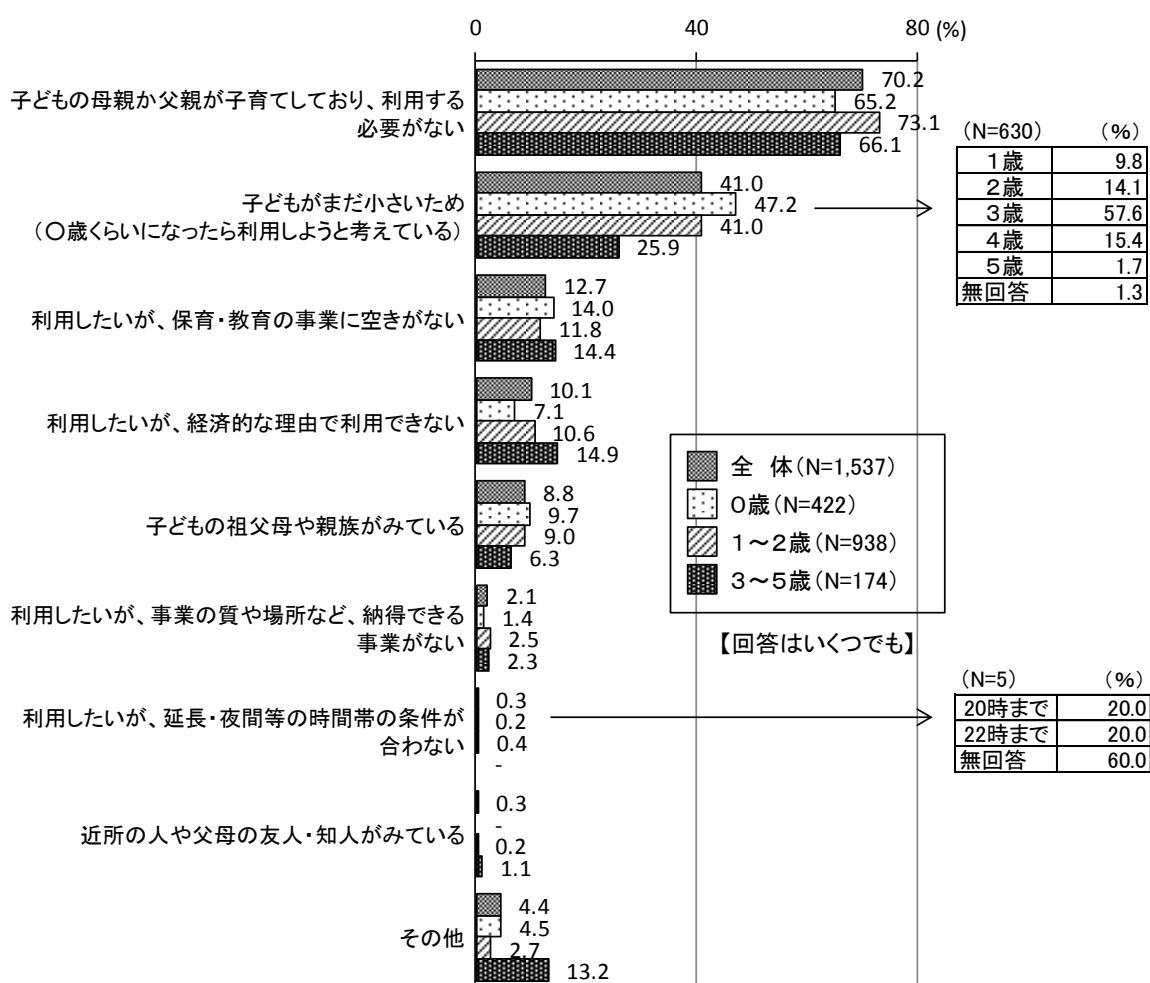
子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるほど「子どもの教育や発達のため」の割合は高く、「現在就労しているため」の割合は低くなっている。

(4) 教育・保育事業を利用していない理由

問22で「13. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問22-4 利用していない理由についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

図5-12 教育・保育事業を利用していない理由 [全体、子どもの年齢別]



教育・保育事業を利用していない理由としては、「子どもの母親か父親が子育てしており、利用する必要がない」(70.2%)が7割を占めている。次いで多い理由は「子どもがまだ小さいため」(41.0%)で約4割となっており、子どもが3歳くらいになったら利用しようと考えている人が57.6%で最も多い。「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」(12.7%)や「利用したいが、経済的な理由で利用できない」(10.1%)という、利用したいという意向はあるが事情により利用できていない場合は、合わせて2割強となっている。

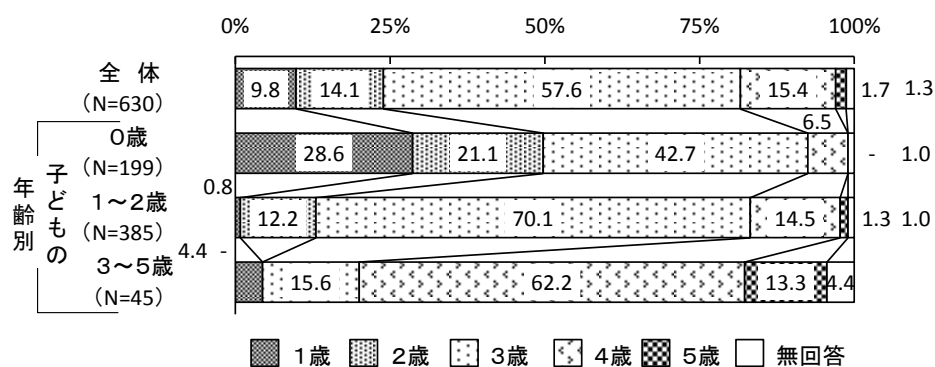
子どもの年齢別にみると、「0歳」や「1~2歳」では「子どもがまだ小さいため」が4割台と高い。「利用したいが、経済的な理由で利用できない」は子どもの年齢が高いほど割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、『就労している』場合「利用したいが保育・教育の事業に空きがない」が約2割と多く、「パート・アルバイト等で就労」の人では「利用したいが、経済的な理由で利用できない」(20.7%)も約2割と高くなっている。

表5-1 教育・保育事業を利用していない理由 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	がな て子 て子 人近 の利 由利 い等 利 が場 用 用 子 そ 無	ない して いる がみ の事 で用 等利 ない 所な 用し ない の が 納 場 用 用 子 そ 無	おの るも の祖 み の の 業 に 空 が 保 育 ・ 教 育	の 業 に 空 が 保 育 ・ 教 育	が な い が 、 保 育 ・ 教 育	が な い が 、 保 育 ・ 教 育	が な い が 、 保 育 ・ 教 育	が な い が 、 保 育 ・ 教 育	が な い が 、 保 育 ・ 教 育	が な い が 、 保 育 ・ 教 育	が な い が 、 保 育 ・ 教 育
全 体		1,537 100.0	1,079 70.2	136 8.8	4 0.3	195 12.7	155 10.1	5 0.3	33 2.1	630 41.0	67 4.4	14 0.9	
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	183	57.4	18.0	-	21.3	3.3	2.2	0.5	35.5	9.3	1.1	
	パート・アルバイト等で就労	87	51.7	39.1	1.1	21.8	20.7	-	3.4	27.6	4.6	1.1	
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	1,043	73.0	5.8	0.3	11.5	11.2	0.1	2.3	44.3	3.8	0.5	
	これまで就労したことがない	171	76.6	3.5	-	7.6	7.6	-	2.3	35.1	1.8	1.8	
	無回答	52	71.2	1.9	-	7.7	1.9	-	1.9	34.6	5.8	5.8	

図5-13 教育・保育事業を利用するつもりの子どもの年齢 [全体、子どもの年齢別]



「子どもがまだ小さいため」という理由の場合に、何歳くらいになったら利用するつもりかをたずねた結果では「3歳」(57.6%)が半数以上を占めている。

子どもの年齢別にみると、現在の年齢の1~2歳上という回答が多くなっている。

2. 平日の定期的な教育・保育事業の利用意向

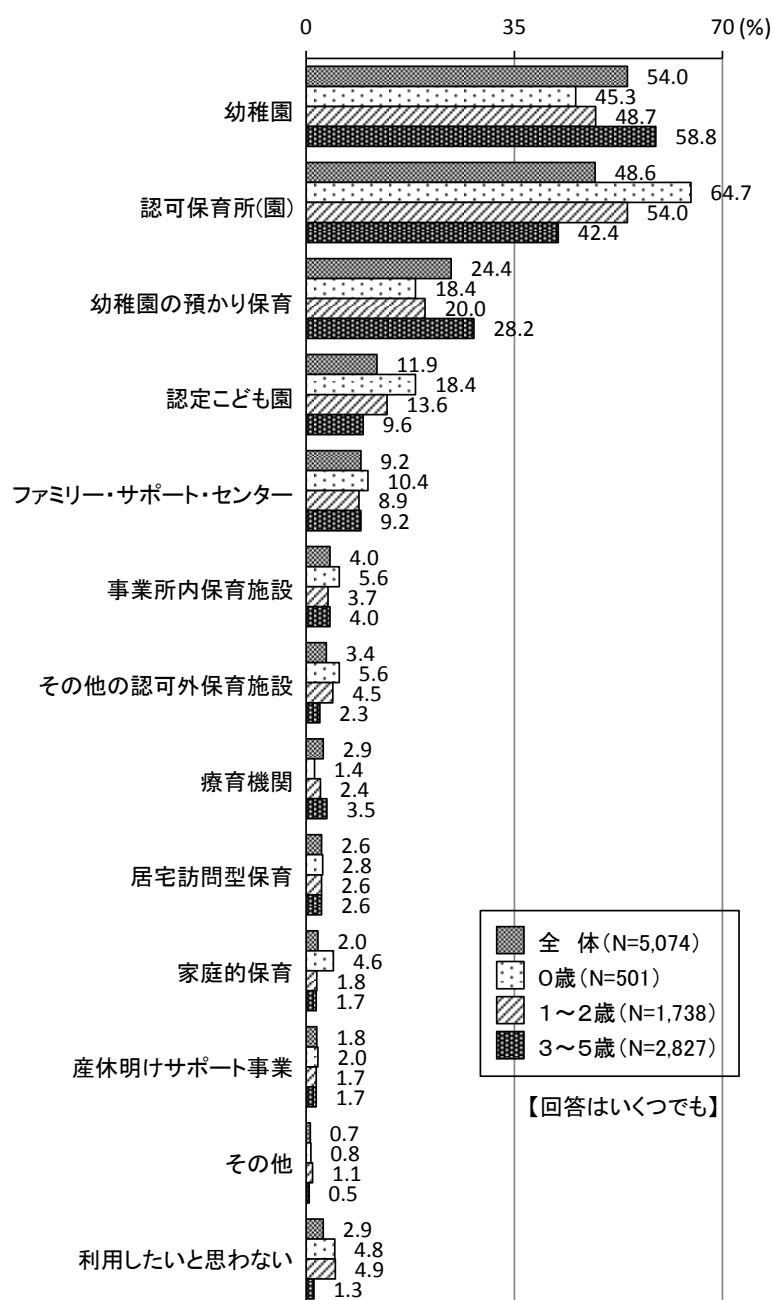
(1) 利用したい教育・保育事業

すべての方にうかがいます。

問 23 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、お答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

図5-14 利用したい教育・保育事業 [全体、子どもの年齢別]



利用したい教育・保育事業については「幼稚園」(54.0%)の割合が最も高く、次いで「認可保育所(園)」(48.6%)、「幼稚園の預かり保育」(24.4%)、「認定こども園」(11.9%)の順となっている。

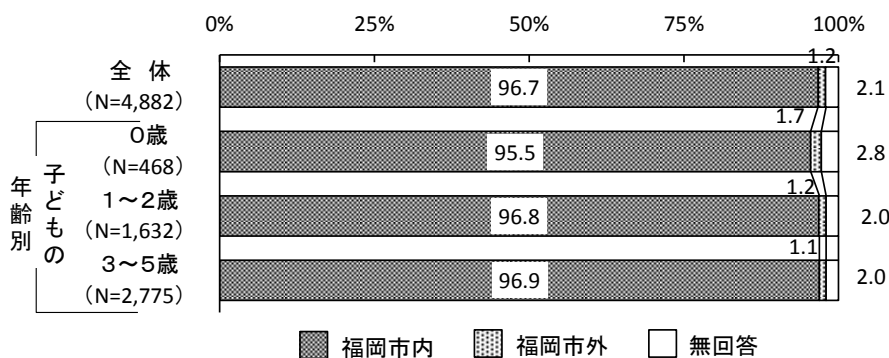
子どもの年齢別にみると、「認可保育所(園)」と「認定こども園」は年齢が低いほど割合が高く、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」は年齢が高いほど割合が高くなる傾向がみられる。

(2) 利用したい教育・保育事業の場所

問 23 で「1」～「12」に○をつけた方にうかがいます。

問 23-1 教育・保育事業を利用したい場所についてお答えください。(○は1つ)

図 5-15 利用したい教育・保育事業の場所 [全体、子どもの年齢別]



利用したい教育・保育事業の場所は「福岡市内」(96.7%)を占めており、「福岡市外」(1.2%)はごくわずかである。現在利用している事業の場所とほぼ同じ結果といえる。

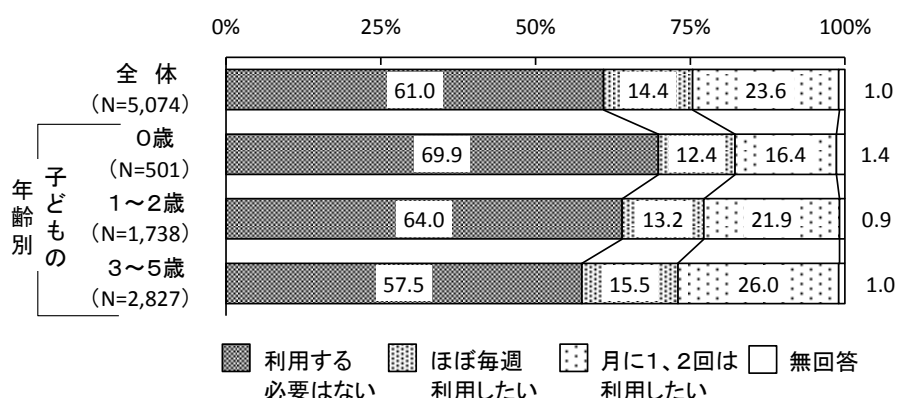
3. 土曜日、日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

(1) 土曜日、日曜・祝日の利用意向

問 24 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。一時的な利用は除きます。

(土曜・日祝日それぞれ〇は1つ)

図5-16 土曜日の教育・保育事業の利用意向 [全体、子どもの年齢別]



土曜日における定期的な教育・保育事業の利用意向は「利用する必要はない」(61.0%)が6割を占めており、次いで「月に1、2回は利用したい」(23.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(14.4%)の順となっている。

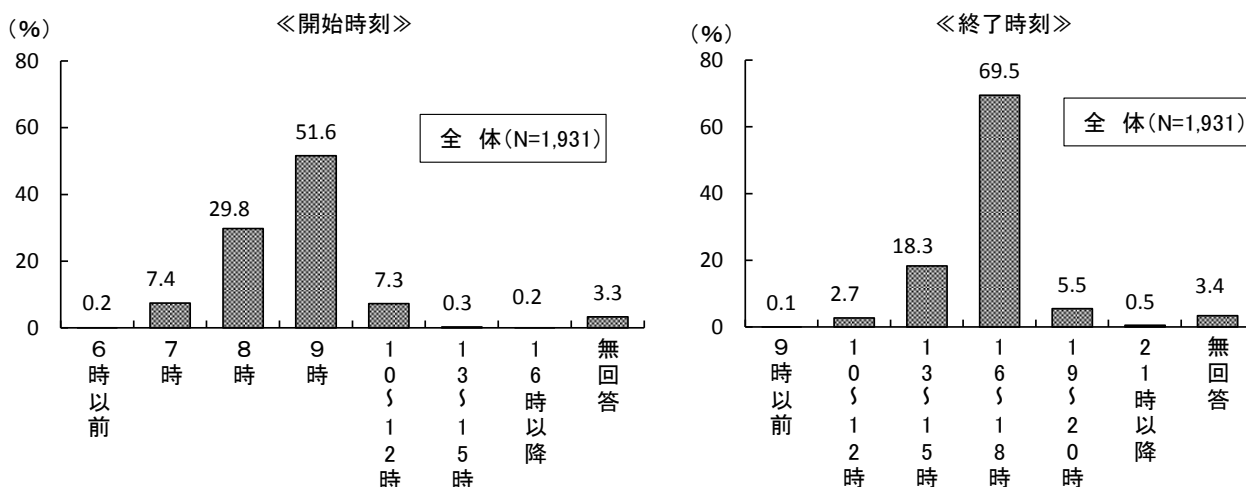
子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるほど「利用する必要はない」の割合が低くなり、利用を希望する保護者の割合が高くなる傾向がみられる。

母親の就労状況別にみると、母親が就労している場合に利用を希望する人の割合が高くなっているが、特に「フルタイムで就労」している場合には「ほぼ毎週利用したい」(30.4%)と「月に1、2回は利用したい」(36.3%)を合わせると7割弱に達している。

表5-2 土曜日の教育・保育事業の利用意向 [全体、母親の就労状況別]

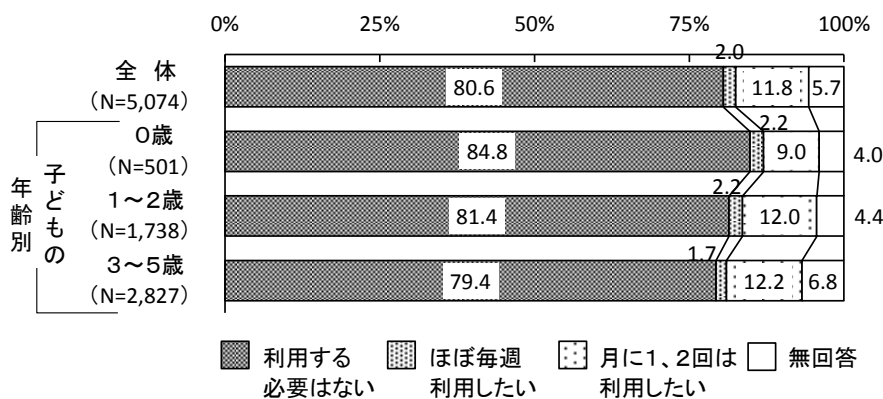
		標本数	な利用する必要はない (%)	たほぼ毎週利用したい (%)	利月に1、2回は利用したい (%)	無回答 (%)
全体		5,074	61.0	14.4	23.6	1.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,150	32.0	30.4	36.3	1.2
	パート・アルバイト等で就労	1,281	45.6	20.5	33.2	0.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	2,059	80.9	4.4	13.9	0.8
	これまで就労したことがない	432	85.0	2.8	10.9	1.4
	無回答	144	72.2	9.7	14.6	3.5

図5-17 土曜日の教育・保育事業の利用したい時間 [全体]



利用したい時間帯については、開始時刻は「9時」(51.6%)、終了時刻は「16～18時」(69.5%)が最も多い。

図5-18 日曜・祝日の教育・保育事業の利用意向 [全体、子どもの年齢別]



日曜・祝日における定期的な教育・保育事業の利用意向は「利用する必要がある」(80.6%)が8割を占めており、その割合は土曜日よりも大幅に高い。「ほぼ毎週利用したい」という保護者は2%に過ぎない。

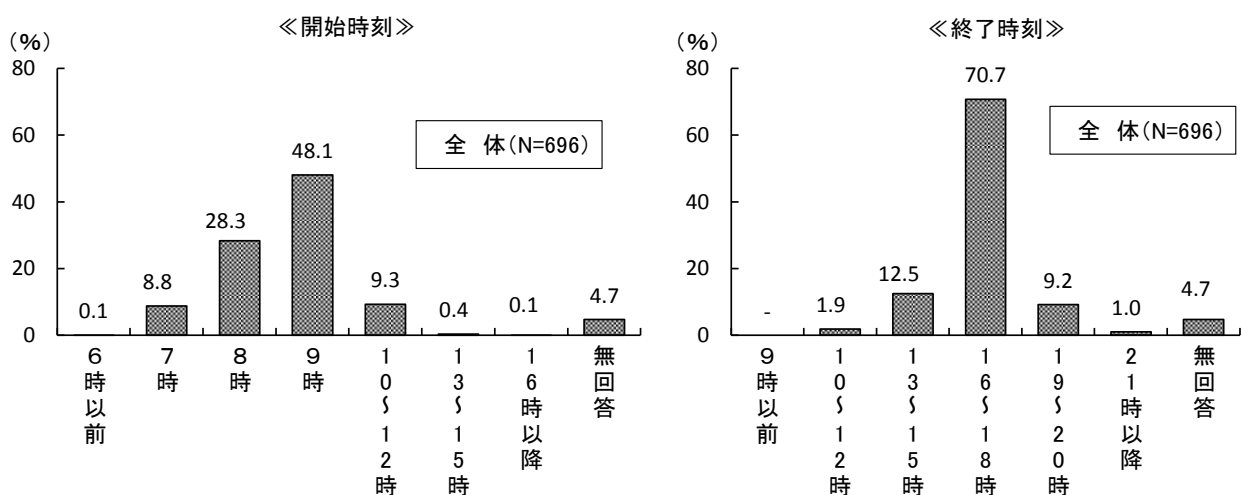
子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるほど「利用する必要がある」の割合が低くなり、「月に1、2回は利用したい」の割合が高くなる傾向が若干ではあるが認められる。

母親の就労状況別にみると、土曜日の場合と同様に、母親が就労している場合に利用を希望する人の割合が高くなる傾向がみられ、特に「フルタイムで就労」している場合に高い。

表5-3 日曜・祝日の教育・保育事業の利用意向 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	な 利 用 す る 必 要 は	た ほ い ば 毎 週 利 用 し	利 用 し た い 、 2 回 は	無 回 答
全 体		5,074 100.0	4,090 80.6	99 2.0	597 11.8	288 5.7
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	1,150	67.1	4.9	19.4	8.6
	パート・アルバイト等で就労	1,281	75.3	1.7	15.9	7.0
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	2,059	89.3	0.6	6.6	3.4
	これまで就労したことがない	432	90.5	0.9	4.6	3.9
	無回答	144	82.6	2.8	7.6	6.9

図5-19 日曜・祝日の教育・保育事業の利用したい時間 [全体]



利用したい時間帯については、開始時刻は「9時」(48.1%)、終了時刻は「16~18時」(70.7%)が最も多く、土曜日とほぼ同じ結果となっている。

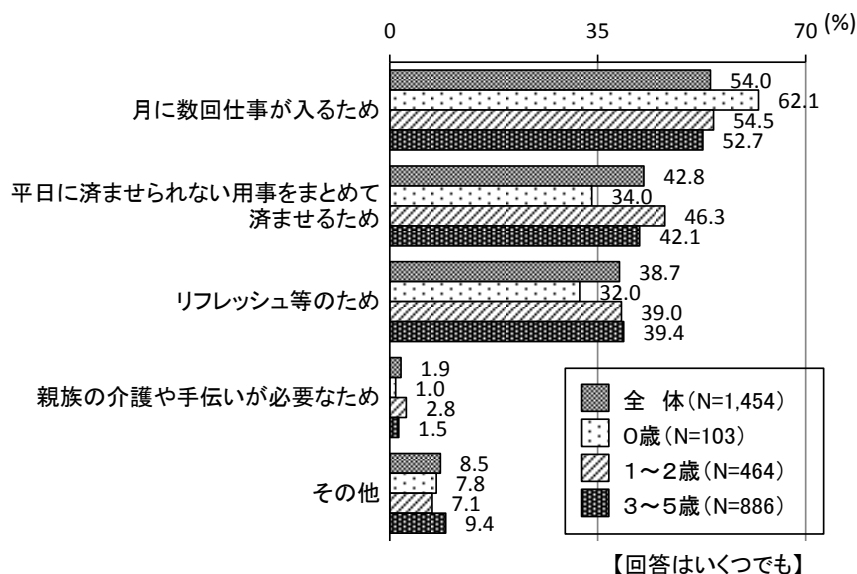
(2) 土曜日、日曜・祝日に月に1・2回利用したい理由

問 24 で、「3」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-1 毎週ではなく、月に1・2回だけ利用したい理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

図5-20 土曜日、日曜・祝日に教育・保育事業を月に1・2回利用したい理由
[全体、子どもの年齢別]



「月に1、2回は利用したい」とする場合の理由は「月に数回仕事が入るため」(54.0%)が最も多いが、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(42.8%)と「リフレッシュ等のため」(38.7%)もそれぞれ4割前後の割合となっており、仕事や私用、リフレッシュなど理由は様々である。

母親の就労状況別にみると、『就労している』場合には「月に数回仕事が入るため」の割合が高いが、『専業主婦』の場合には「リフレッシュ等のため」と「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が高くなっている。

表5-4 土曜日、日曜・祝日に教育・保育事業を月に1・2回利用したい理由
[全体、母親の就労状況別]

			め月に数回仕事が入るため	平日に済ませられないため	必要な親族の介護や手伝いが	リフレッシュ等のため	その他	無回答
全体		1,454 100.0	785 54.0	623 42.8	27 1.9	563 38.7	124 8.5	33 2.3
母親の就労状況別	フルタイムで就労	526	71.7	39.7	1.7	28.9	5.5	2.3
	パート・アルバイト等で就労	529	66.5	41.4	1.3	31.8	5.9	2.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	316	12.3	49.4	2.2	63.0	16.5	1.9
	これまで就労したことがない	52	9.6	50.0	7.7	59.6	15.4	1.9
	無回答	27	33.3	44.4	-	48.1	11.1	7.4

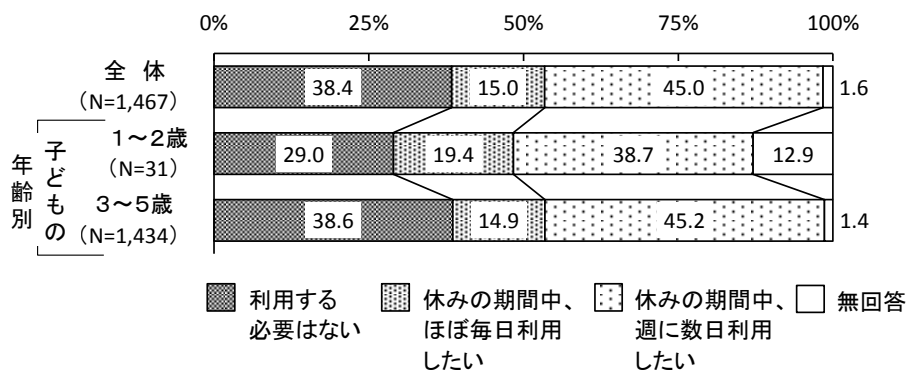
(3) 長期休業中の教育・保育事業の利用について

① 長期休業中の教育・保育事業の利用意向

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問25 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(○は1つ)

図5-21 長期休業中の教育・保育事業の利用意向 [全体、子どもの年齢別]



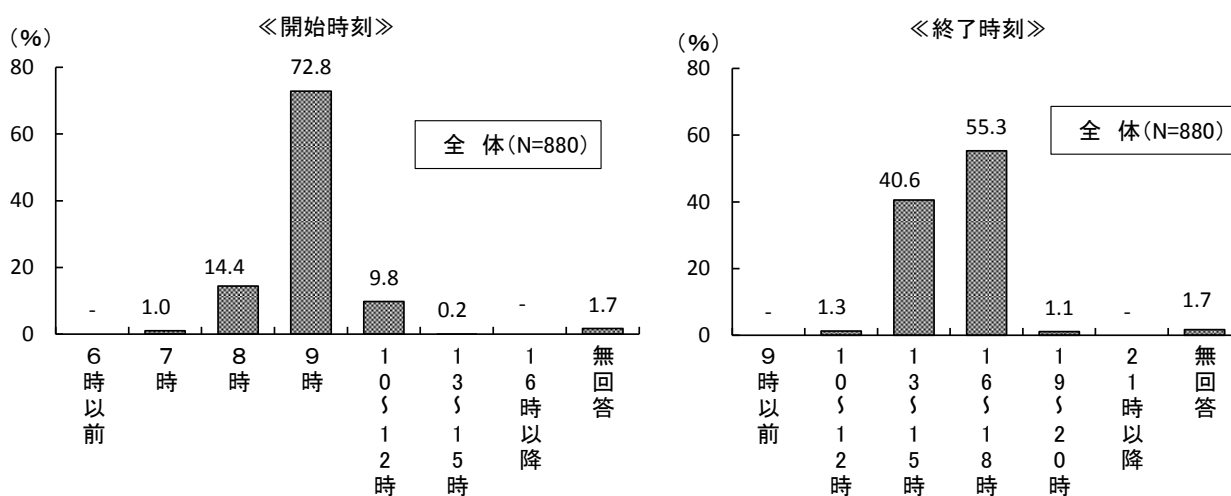
現在幼稚園を利用している保護者に夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育の事業の利用を希望するか否かをたずねた結果、「休みの期間中、週に数日利用したい」(45.0%)と「利用する必要はない」(38.4%)がともに4割前後となっている。「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」は15.0%である。

母親の就労状況別にみると、『就労している』場合には「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が3割台で高くなっている。

表5-5 長期休業中の教育・保育事業の利用意向〔全体、母親の就労状況別〕

		標本数	な 利 用 す る 必 要 は	た ほ 休 い ぼ み 毎 日 期 間 利 用 中 し、	た 週 休 い に み 数 の 日 期 間 利 用 中 し、	無 回 答
全 体		1,467 100.0	563 38.4	220 15.0	660 45.0	24 1.6
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	56	25.0	33.9	32.1	8.9
	パート・アルバイト等で就労	345	18.6	34.2	44.6	2.6
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	794	44.2	8.1	46.5	1.3
	これまで就労したことがない	214	50.5	6.1	43.5	-
	無回答	58	44.8	10.3	44.8	-

図5-22 長期休業中の教育・保育事業の利用したい時間〔全体〕



利用したい時間帯については、開始時刻は「9時」(72.8%)が最も多く、終了時刻は「16～18時」(55.3%)が最も多い。

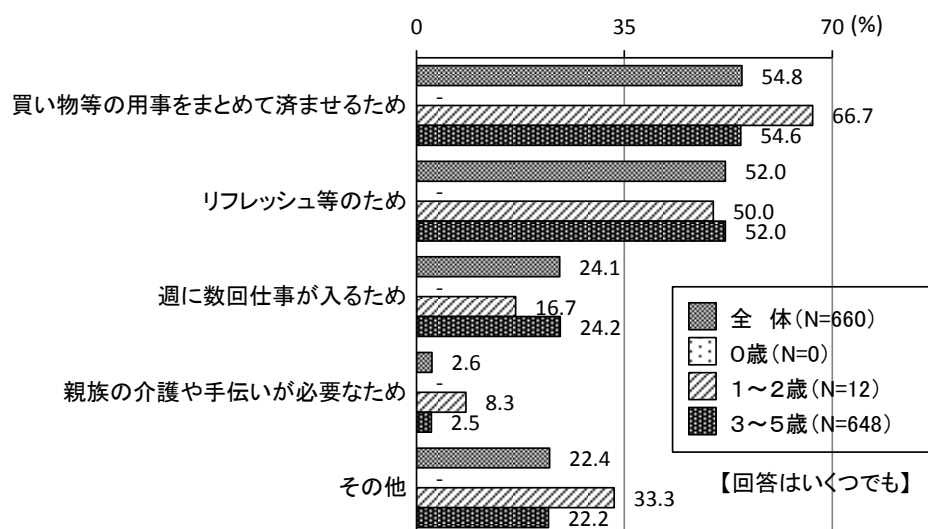
②長期休業中の教育・保育事業を週に数日利用したい理由

問 25 で、「3」に○をつけた方にかがいます。

問 25-1 毎日ではなく、週に数日だけ利用したい理由は何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

図5-23 長期休業中の教育・保育事業を週に数日利用したい理由 [全体、子どもの年齢別]



「休みの期間中、週に数日利用したい」場合の理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(54.8%)と「リフレッシュ等のため」(52.0%)がともに約5割となっている。

子どもの年齢別にみると、「週に数回仕事が入るため」は「3～5歳」(24.2%)の方が高く、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」は「1～2歳」(66.7%)の方が高い。

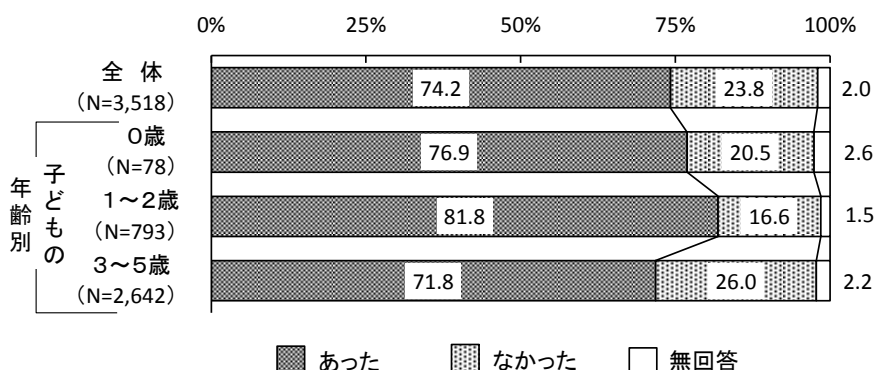
4. 病気やけがで教育・保育事業が利用できなかった際の対応

(1) 病気やけがで利用できなかったことの有無

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方（問 22 で 1～12 に○をつけた方）にうかがいます。

問 26 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している事業が利用できなかったことはありますか。（○は 1 つ）

図 5-24 病気やけがで利用できなかったことの有無 [全体、子どもの年齢別]



この 1 年間に、病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことは、「あった」(74.2%) が「なかった」(23.8%) を大きく上回っている。

子どもの年齢別にみると、「1～2歳」において、「あった」(81.8%) の割合が特に高くなっている。

母親の就労状況別にみると、『就労している』場合には「あった」が 8 割を超えて高くなっている。

表 5-6 病気やけがで利用できなかったことの有無 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	あった (%)	なかった (%)	無回答 (%)
全体		3,518	74.2	23.8	2.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	960	87.2	12.3	0.5
	パート・アルバイト等で就労	1,192	80.5	18.4	1.1
	以前は就労していたが、現在は就労していない	1,011	62.0	34.7	3.3
	これまで就労したことがない	259	53.3	41.7	5.0
	無回答	89	48.3	43.8	7.9

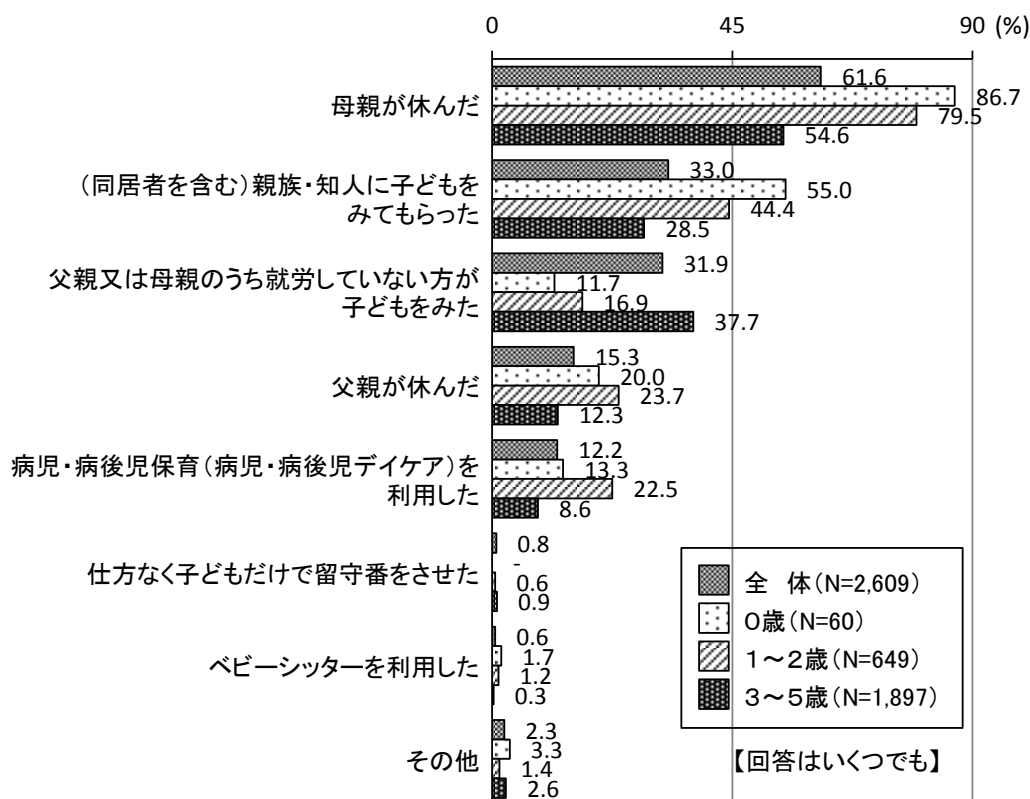
(2) 病気やけがで利用できなかった場合の対処

問 26 で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問 26-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○。枠内にそれぞれの日数を記入。半日程度の場合も1日とカウント。)

図5-25 病気やけがで利用できなかった場合の対処 [全体、子どもの年齢別]



子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育事業を利用できなかった場合の対処は、「母親が休んだ」(61.6%)が最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(33.0%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(31.9%)の順となっている。「病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した(保育所(園)で実施しているサービスを含む)」(12.2%)は約1割に過ぎない。

子どもの年齢別にみると、「母親が休んだ」と「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」は、子どもの年齢が低い場合に、特に高い割合を示している。

母親の就労状況別にみると、『専業主婦』の場合には「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が9割前後を占めている。『就労している』場合は、「母親が休んだ」と「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が高くなっている。「フルタイムで就労」の場合には、「父親が休んだ」(28.9%)も約3割と比較的高くなっている。

表 5-7 病気やけがで利用できなかった場合の対処 [全体、母親の就労状況別] (%)

		標本数	父親が休んだ	母親が休んだ	人(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	て父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみたら	病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体		2,609 100.0	400 15.3	1,606 61.6	862 33.0	833 31.9	318 12.2	15 0.6	22 0.8	61 2.3	10 0.4
母親の就労状況別	フルタイムで就労	837	28.9	82.3	54.7	5.6	23.7	0.5	0.7	2.9	-
	パート・アルバイト等で就労	960	12.9	85.2	36.6	11.8	11.1	0.4	1.6	2.4	0.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	627	3.7	12.3	6.2	83.6	1.4	0.8	-	1.1	0.6
	これまで就労したことがない	138	2.9	5.1	4.3	92.8	0.7	-	0.7	2.2	0.7
	無回答	43	11.6	34.9	14.0	48.8	4.7	4.7	-	9.3	7.0

表 5-8 病気やけがで利用できなかった場合の対処日数 [全体] (%)

	標本数	1日	2日	3日	4日	5日	6~10日	11日以上	無回答
父親が休んだ	400	28.8	20.8	14.8	3.8	11.8	12.3	2.3	5.8
母親が休んだ	1,606	10.0	11.0	12.9	4.0	14.4	22.2	15.7	9.8
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	862	12.4	15.2	13.1	4.9	14.2	20.4	11.6	8.2
父母のうち就労していない方が子どもをみた	833	11.4	14.3	12.7	4.3	11.3	24.8	13.0	8.2
病児・病後児保育を利用した	318	19.2	16.0	15.7	3.1	12.3	18.9	10.4	4.4
ベビーシッターを利用した	15	40.0	-	6.7	-	6.7	13.3	20.0	13.3
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	22	50.0	22.7	9.1	4.5	4.5	4.5	-	4.5
その他	61	11.5	9.8	9.8	6.6	14.8	13.1	14.8	19.7

それぞれの場合に該当する1年間の日数については、「父親が休んだ」は「1日」(28.8%)、「母親が休んだ」は「6~10日」(22.2%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」は「6~10日」(20.4%)、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」は「6~10日」(24.8%)、「病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した(保育所(園)で実施しているサービスを含む)」は「1日」(19.2%)、「ベビーシッターを利用した」は「1日」(40.0%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」は「1日」(50.0%)が、それぞれ最も多くなっている。

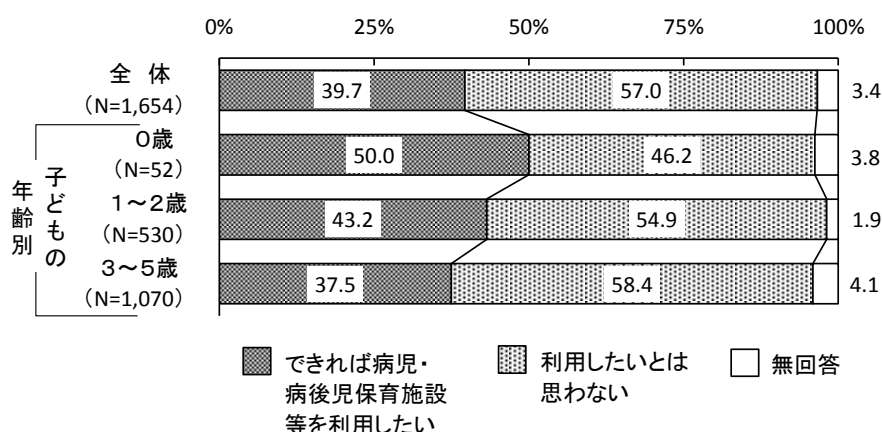
(3) 病児・病後児保育施設等の利用について

①病児・病後児保育施設等の利用意向

問 26-1 で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 26-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(〇は1つ。枠内に日数を記入。)

図 5-26 病児・病後児保育施設等の利用意向 [全体、子どもの年齢別]



子どもが病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった場合に「母親が休んだ」あるいは「父親が休んだ」とする保護者の病児・病後児向け施設等の利用意向は、「利用したいとは思わない」(57.0%)が「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」(39.7%)を上回っている。

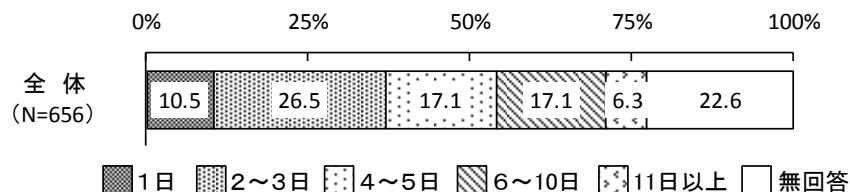
子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」割合は高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」の場合に「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」(46.6%)の割合が高くなっている。

表 5-9 病児・病後児保育施設等の利用意向 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	等病で後き利用保ばし育病た施児い設・	思利わ用なしいたいは	無回答
全体		1,654	656	942	56
		100.0	39.7	57.0	3.4
母親の就労状況別	フルタイムで就労	704	46.6	50.7	2.7
	パート・アルバイト等で就労	825	35.9	60.7	3.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	96	28.1	67.7	4.2
	これまで就労したことがない	11	-	72.7	27.3
	無回答	16	25.0	62.5	12.5

図5-27 病児・病後児保育施設等の利用したい日数 [全体]



利用したい日数は、「2～3日」(26.5%)が最も多い。

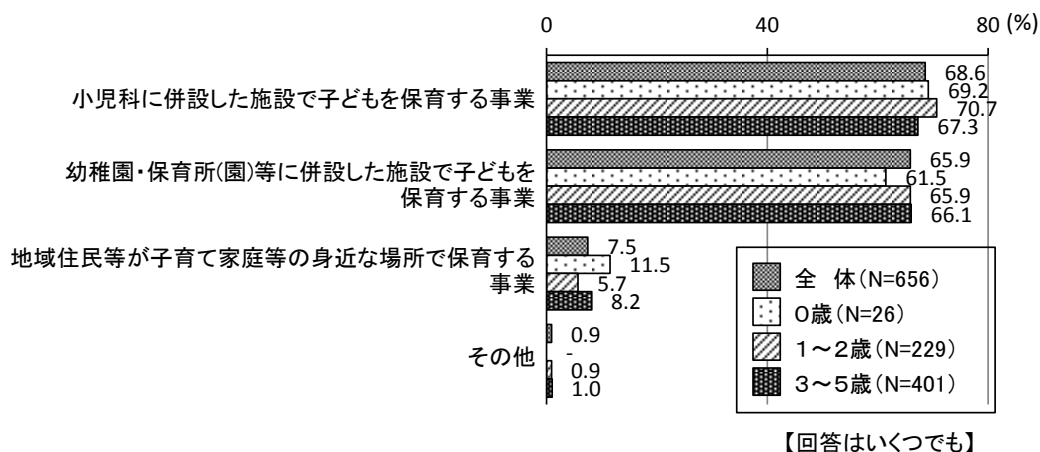
②病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問26-2で「1」に○をつけた方にうかがいます。

問26-3 その場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

(あてはまる番号すべてに○)

図5-28 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態 [全体、子どもの年齢別]



【回答はいくつでも】

病児・病後児保育施設等の利用を希望する場合の望ましい形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(68.6%)と「幼稚園・保育所(園)等に併設した施設で子どもを保育する事業」(65.9%)がともに7割弱となっている。

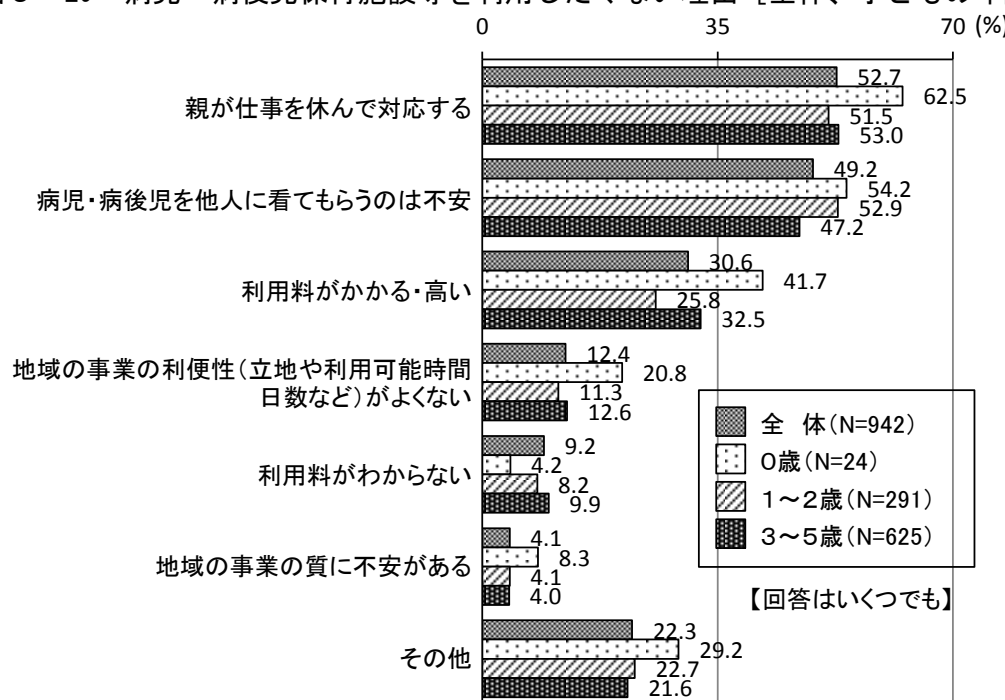
年齢別にみると、「0歳」や「1～2歳」では「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が約7割と高くなっている。また、「0歳」では「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が11.5%で他の年齢よりも高くなっている。

③病児・病後児保育施設等を利用したくない理由

問 26-2 で「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 26-4 そう思われる理由についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

図 5-29 病児・病後児保育施設等を利用したくない理由 [全体、子どもの年齢別]



病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」(52.7%)と「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(49.2%)がともに約5割となっている。「利用料がかかる・高い」(30.6%)という経済的な問題も約3割存在する。

子どもの年齢別にみると、「親が仕事を休んで対応する」や「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」は、子どもの年齢が低い場合に特に高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「パート・アルバイト等で就労」では、「利用料がかかる・高い」が36.3%と高くなっている。

表5-10 病児・病後児保育施設等を利用したくない理由 [全体、母親の就労状況別]

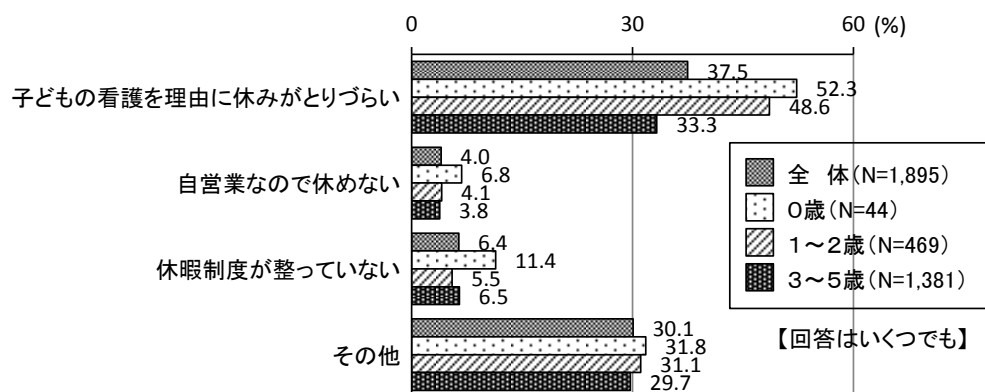
		標本数	病児・病後児は不安	地域の事業の質に不安がある	地域の利用可能な時間数(曜日・地域)がよい	利用料がかかる・高い	利用料がわからない	親が仕事を休んで対応する	その他	無回答
全体		942 100.0	463 49.2	39 4.1	117 12.4	288 30.6	87 9.2	496 52.7	210 22.3	25 2.7
母親の就労状況別	フルタイムで就労	357	46.8	4.5	14.6	23.2	5.3	51.5	26.9	2.8
	パート・アルバイト等で就労	501	50.1	3.4	12.4	36.3	11.6	56.9	19.6	2.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	65	50.8	9.2	1.5	29.2	13.8	33.8	18.5	4.6
	これまで就労したことがない	8	75.0	-	-	12.5	-	12.5	25.0	-
	無回答	10	60.0	-	10.0	20.0	10.0	40.0	20.0	-

(4) 子どもの病気やけがで保護者が休めなかった理由

問26-1で「3」～「8」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問26-5 休めなかった理由についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

図5-30 子どもの病気やけがで保護者が休めなかった理由 [全体、子どもの年齢別]



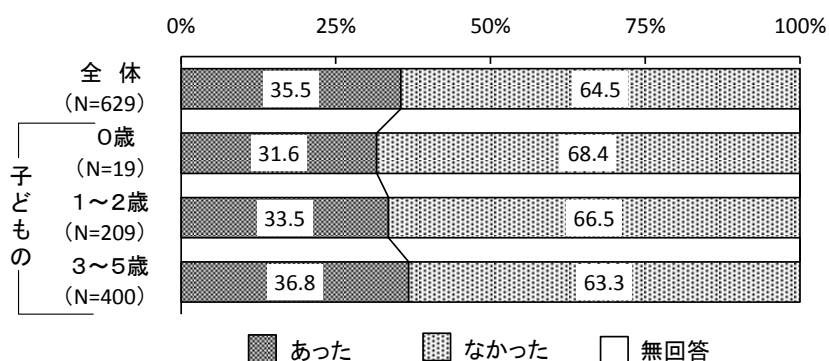
子どもが病気やけがで教育・保育事業を利用できなかった場合に、保護者が仕事を休むことができなかった理由は、「子どもの看護を理由に休みがとりづらい」(37.5%)が最も多くなっている。この理由は、子どもの年齢が低い場合にその割合が高くなっており、「0歳」(52.3%)では5割を超えている。

(5) 病児・病後児保育施設等の利用を断られたことの有無

病児・病後児保育（病児・病後児デイケア）を利用した（利用しようとした）方にうかがいます。

問 27 利用申し込みをした際に、施設の定員の都合を理由に断られたことがありましたか。
(○は1つ)

図5-31 病児・病後児保育施設等の利用を断られたことの有無 [全体、子どもの年齢別]



病児・病後児保育施設等を利用しようとした際に、施設の定員の都合を理由に断られた経験は、「あった」が35.5%となっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が高くなるほど「あった」の割合も若干高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」の場合には「あった」(41.4%)が約4割と高くなっている。

表5-11 病児・病後児保育施設等の利用を断られたことの有無 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	あった (%)	なかった (%)	無回答 (%)
全体		629	223	406	-
		100.0	35.5	64.5	-
母親の就労状況別	フルタイムで就労	321	41.4	58.6	-
	パート・アルバイト等で就労	234	33.3	66.7	-
	以前は就労していたが、現在は就労していない	54	14.8	85.2	-
	これまで就労したことがない	9	11.1	88.9	-
	無回答	10	30.0	70.0	-

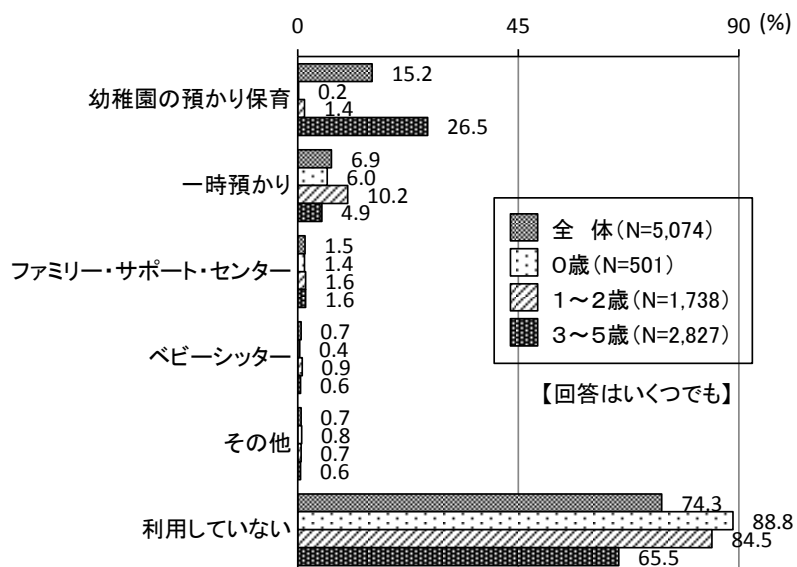
5. 不特定の教育・保育事業の利用について

(1) 不特定の教育・保育事業の利用状況

問 28 現在、あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業はありますか。

(あてはまる番号すべてに○。それぞれの現在の希望について枠内に日数を記入。)

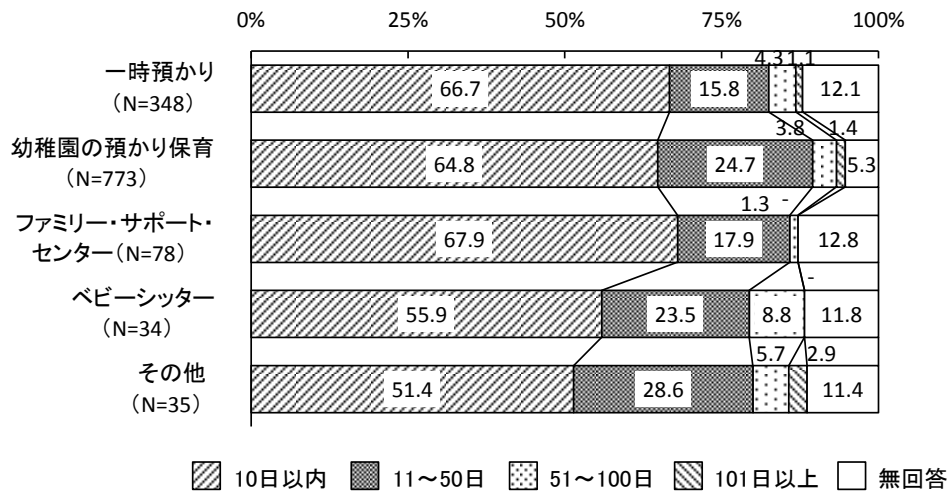
図 5-32 不特定の教育・保育事業の利用状況 [全体、子どもの年齢別]



日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業は、「幼稚園の預かり保育」(15.2%)が最も多く、次いで「一時預かり」(6.9%)となっているが、いずれも利用している保護者の割合は低く、「利用していない」(74.3%)が大半を占めている。

年齢別にみると、「3～5歳」では、「幼稚園の預かり保育」が26.5%と比較的高くなっている。

図5-33 不特定の教育・保育事業の利用日数 [全体]

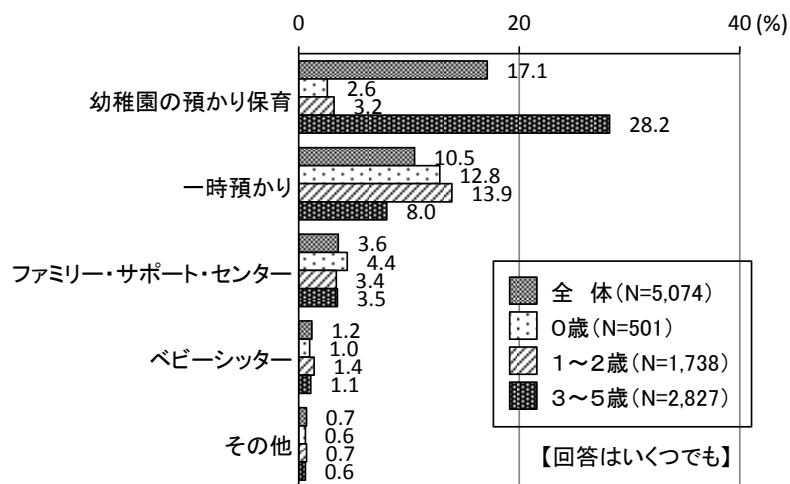


それぞれの事業を現在利用している日数は、いずれも「10日以内」が大半を占めている。

問28 また、現在の利用の有無に関わらず、今後の利用希望日数、その事業の利用を希望する理由についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○。それぞれの今後の希望について枠内に日数を記入。それぞれの利用希望理由についてア～エのあてはまるもの1つずつに○。)

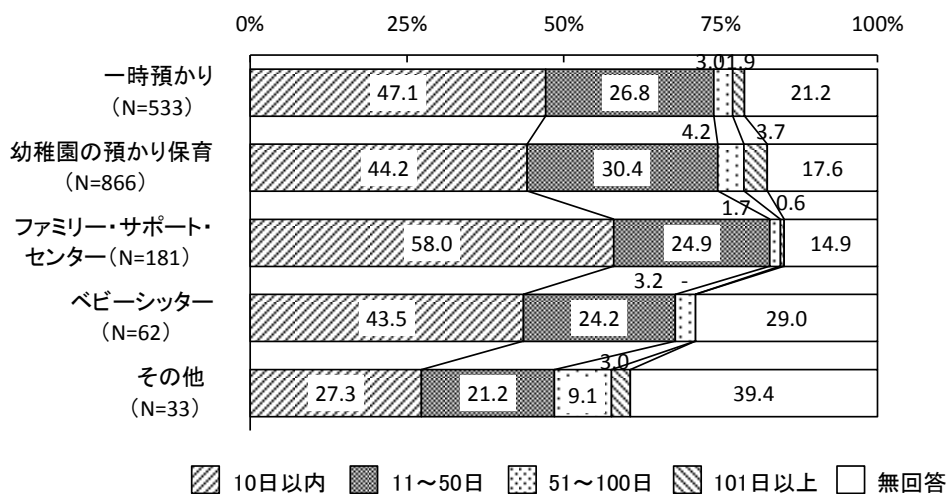
図5-34 今後利用したい不特定の教育・保育事業 [全体]



今後利用したい事業は、「幼稚園の預かり保育」(17.1%)と「一時預かり」(10.5%)が比較的多いが、いずれも高い割合ではない。

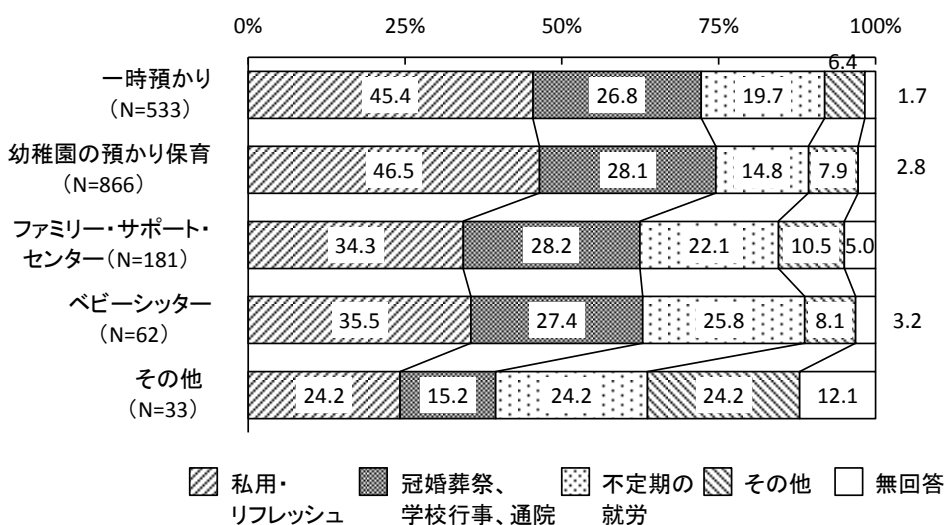
子どもの年齢別にみると、「3～5歳」では「幼稚園の預かり保育」(28.2%)が、「0歳」と「1～2歳」では「一時預かり」が約1割と比較的高い。

図 5-35 今後利用したい不定期の教育・保育事業の日数 [全体]



それぞれの事業について希望する利用日数は、いずれも「10日以内」が最も多くなっている。

図 5-36 不定期の教育・保育事業を利用したい理由 [全体]



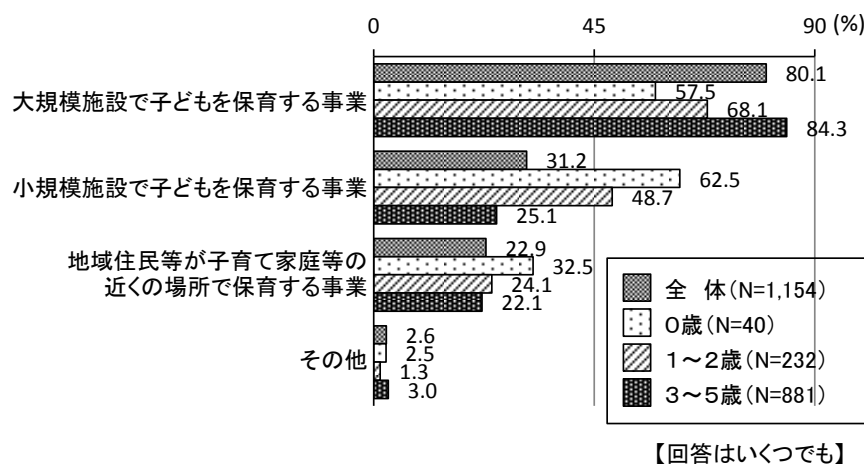
それぞれの事業を利用したい理由は、いずれの事業も「私用・リフレッシュ」が最も多くなっている。

(2) 不特定の教育・保育事業の望ましい事業形態

問28で「1」～「5」に○をつけた方にうかがいます。

問28-1 一時的にお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

図5-37 不特定の教育・保育事業の望ましい事業形態 [全体、子どもの年齢別]



不定期に子どもを一時的に預ける場合に望ましいと思う形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」(80.1%)が8割を占めている。次いで、「小規模施設で子どもを保育する事業」(31.2%)、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」(22.9%)の順となっている。

子どもの年齢別にみると、「小規模施設で子どもを保育する事業」や「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」などは年齢が低いほど割合が高くなっている。「大規模施設で子どもを保育する事業」は子どもの年齢が高くなるほど割合も高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」の場合には、「小規模施設で子どもを保育する事業」(41.4%)を望む割合が高くなっている。

表5-12 不特定の教育・保育事業の望ましい事業形態 [全体、母親の就労状況別]

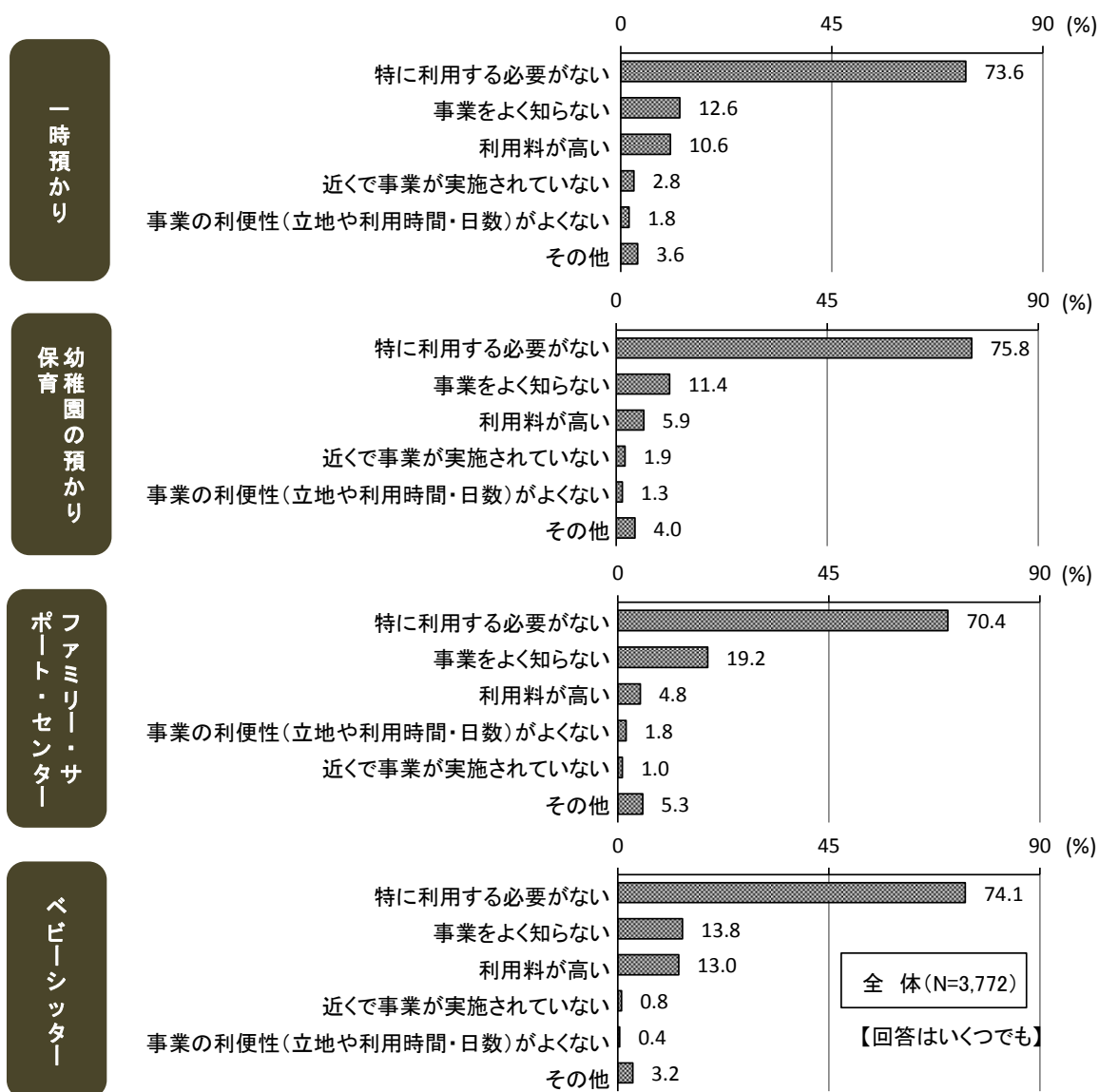
		標本数	を大規模施設で子どもを保育する事業 (%)	を小規模施設で子どもを保育する事業 (%)	で家庭等住民等が子育てする場所 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		1,154	80.1	31.2	22.9	2.6	42
		100.0	80.1	31.2	22.9	2.6	3.6
母親の就労状況別	フルタイムで就労	133	66.9	41.4	24.8	4.5	6.0
	パート・アルバイト等で就労	265	83.8	24.5	21.9	1.1	3.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	581	81.6	33.7	25.5	2.8	3.3
	これまで就労したことがない	130	82.3	26.9	12.3	2.3	2.3
	無回答	45	71.1	20.0	20.0	4.4	6.7

(3) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

問 28 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 28-2 現在利用していない理由は何ですか。(事業ごとに、あてはまる番号すべてに○)

図 5-38 不定期の教育・保育事業を利用していない理由 [全体]



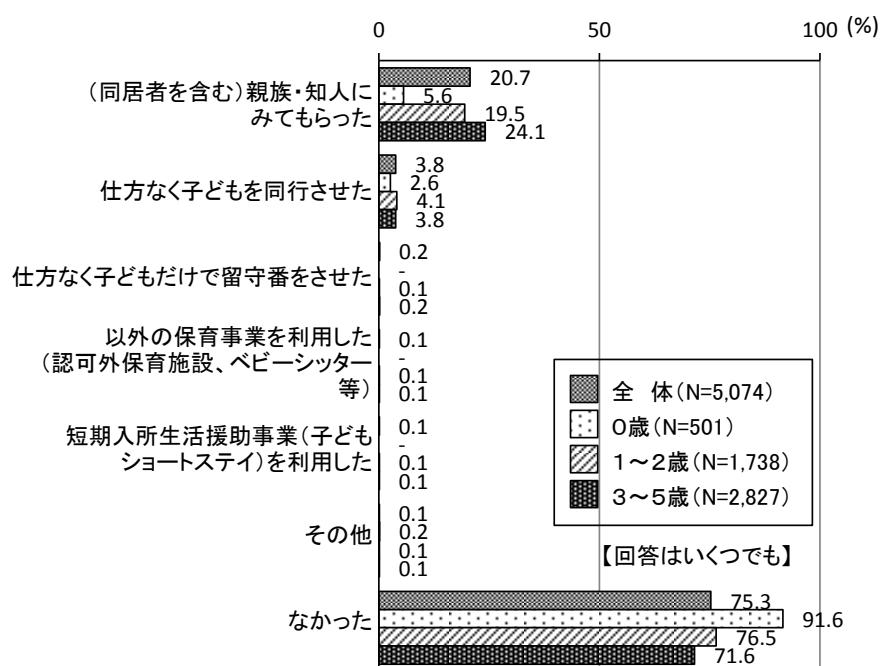
不定期の教育・保育事業を利用していない理由は、いずれの事業も「特に利用する必要がない」が7割程度を占めており最も多い。それ以外では、いずれの事業も「事業をよく知らない」と「利用料が高い」が1割前後で比較的多い理由となっている。

6. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 宿泊を伴う一時預かりの対処方法

問 29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった（預け先が見つからなかった場合も含む）場合の対処方法についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○。それぞれ枠内に日数を記入。）

図5-39 宿泊を伴う一時預かりの対処方法 [全体、子どもの年齢別]



保護者の泊りがけの用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）の際の対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」(20.7%)で最も多くなっている。次いで多いのは「仕方なく子どもを同行させた」(3.8%)であるがその割合は低く、それ以外の方法は皆無に近い。

子どもの年齢別にみると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」は年齢が高いほど割合も高くなっている。

母親の就労別にみると、『専業主婦』では「なかった」の割合が約8割となっており、『就労している』場合よりも高くなっている。

表5-13 宿泊を伴う一時預かりの対処方法 [全体、母親の就労状況別]

		(%)												
		標本数	知人(同居者を含む)親族・	イ(子どもショートステイ)	短期入所生活援助事業	ビ(シッター等)	以外の保育事業を利用した	せ(た)	仕方なく子どもを同行させた	守(番)	仕(方)	そ(他)	な(か)	無(回)
			み(ても)	利用した	を利用した	を利用した	を利用した	させた	させた	させた	させた	かった	答	
全体		5,074 100.0	1,048 20.7	5 0.1	6 0.1	191 3.8	9 0.2	6 0.1	3,821 75.3	86 1.7				
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,150	26.1	0.2	0.3	5.0	0.3	0.3	69.9	1.5				
	パート・アルバイト等で就労	1,281	22.9	0.1	-	3.8	0.2	-	73.2	1.7				
	以前は就労していたが、現在は就労していない	2,059	17.7	-	0.1	3.4	0.1	0.1	78.3	1.5				
	これまで就労したことがない	432	16.0	0.2	-	2.3	-	0.2	81.0	1.4				
	無回答	144	15.3	-	-	3.5	0.7	-	75.7	6.9				

表5-14 宿泊を伴う一時預かりの利用日数と今後の利用希望日数 [全体]

		(%)									
		標本数	1日	2~3日	4~5日	6~10日	11~30日	31~50日	51日以上	無回答	
この1年間の利用日数	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	1,048	19.4	26.0	16.2	14.7	11.5	3.0	1.8	7.4	
	短期入所生活援助事業(子どもショートステイ)を利用した	5	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0	
	以外の保育事業を利用した(認可外保育施設、ベビーシッター等)	6	16.7	-	33.3	33.3	-	-	-	16.7	
	仕方なく子どもを同行させた	191	28.3	21.5	4.7	8.9	1.6	-	-	35.1	
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	9	22.2	33.3	-	-	-	-	11.1	33.3	
	その他	6	33.3	16.7	-	-	-	-	-	50.0	
今後の利用希望日数	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	433	15.7	29.8	15.9	20.3	13.9	2.1	2.3	-	
	短期入所生活援助事業(子どもショートステイ)を利用した	5	-	60.0	20.0	20.0	-	-	-	-	
	以外の保育事業を利用した(認可外保育施設、ベビーシッター等)	3	-	33.3	-	66.7	-	-	-	-	
	仕方なく子どもを同行させた	37	37.8	40.5	10.8	10.8	-	-	-	-	
	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
	その他	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	

この1年間の利用日数は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」では「2~3日」(26.0%)が最も多いが、「1日」から「11~30日」まで分散している。「仕方なく子どもを同行させた」では、「1日」(28.3%)と「2~3日」(21.5%)が多く、比較的日数は少ない。

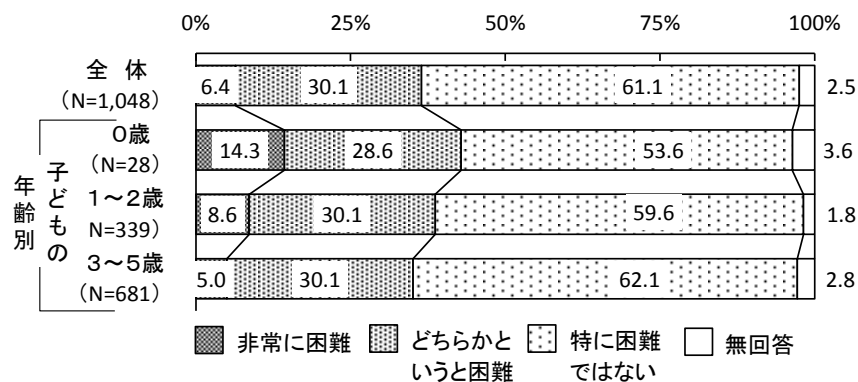
希望する利用日数はいずれの一時預かりも「2~3日」が多いが、「6~10日」の利用希望もみられる。

(2) 宿泊を伴う一時預かりの困難度

問 29 で「1. 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問 29-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(〇は1つ)

図 5-40 親族・知人にみてもらった場合の困難度 [全体、子どもの年齢別]



「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」場合の約6割は「特に困難ではない」(61.1%)と感じている。一方で、「非常に困難」(6.4%)と「どちらかという困難」(30.1%)を合わせた4割弱が困難を感じている。

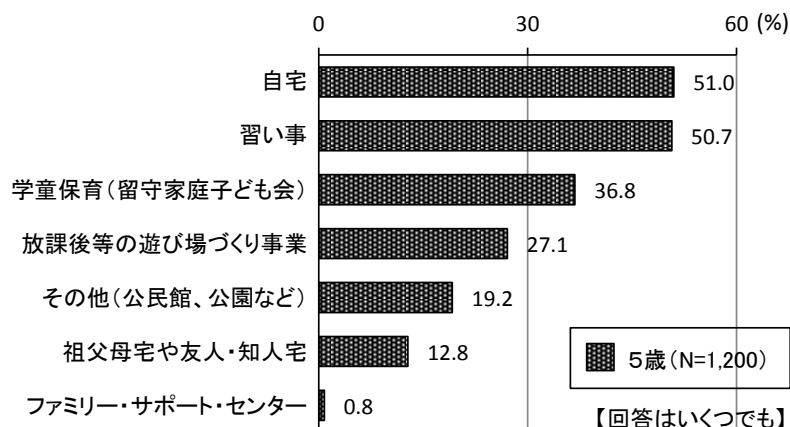
子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど「非常に困難」に感じている割合が高くなっている。

7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方

問 30 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○。それぞれ枠内に日数を記入。）
 また、学童保育（留守家庭子ども会）の場合には、希望時間もお答えください。（枠内に日数を記入。）

図 5-41 小学校就学後（1～3年生）の放課後の過ごし方 [全体]



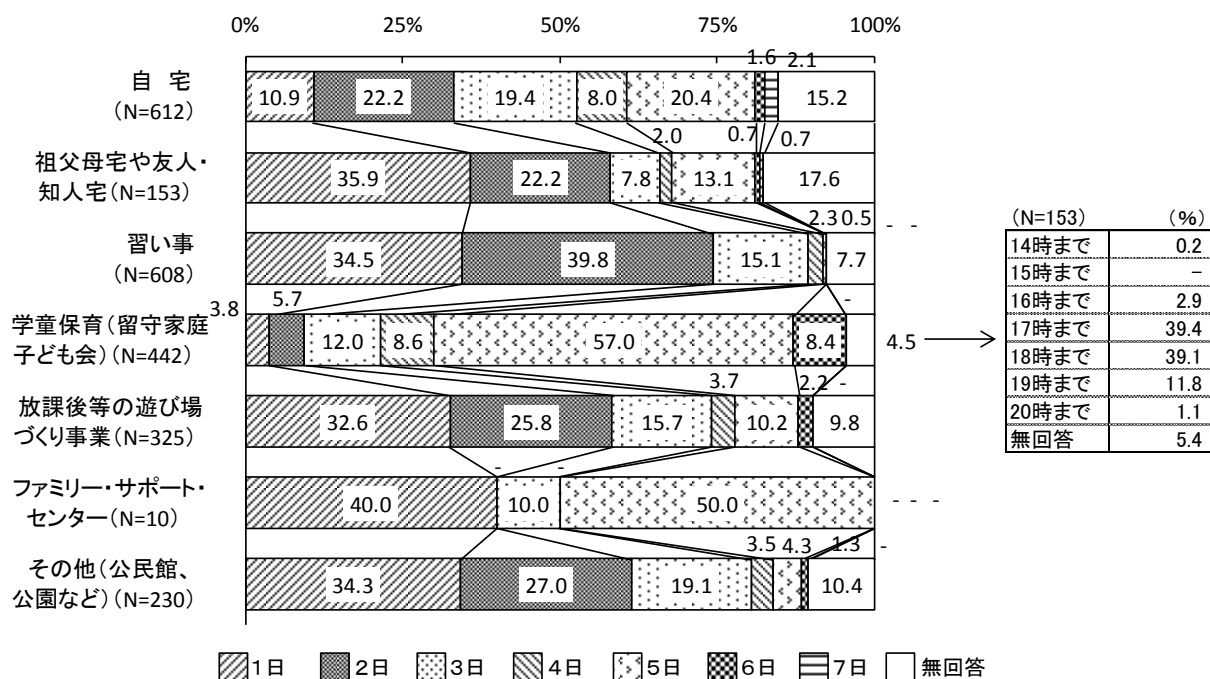
5歳以上の子どもの保護者に、小学校入学後の放課後の過ごし方についての意向をたずねた結果、まず1～3年生の間は、「自宅」(51.0%)と「習い事」(50.7%)が約5割で多くなっている。「学童保育（留守家庭子ども会）」(36.8%)と「放課後等の遊び場づくり事業」(27.1%)はともに3割前後の保護者が利用を望んでいる。

母親の就労状況別にみると、『就労している』場合には「学童保育（留守家庭子ども会）」が5～6割と高く、『専業主婦』では「自宅」「習い事」が約6割と高くなっている。

表 5-15 小学校就学後（1～3年生）の放課後の過ごし方 [全体、母親の就労状況別]

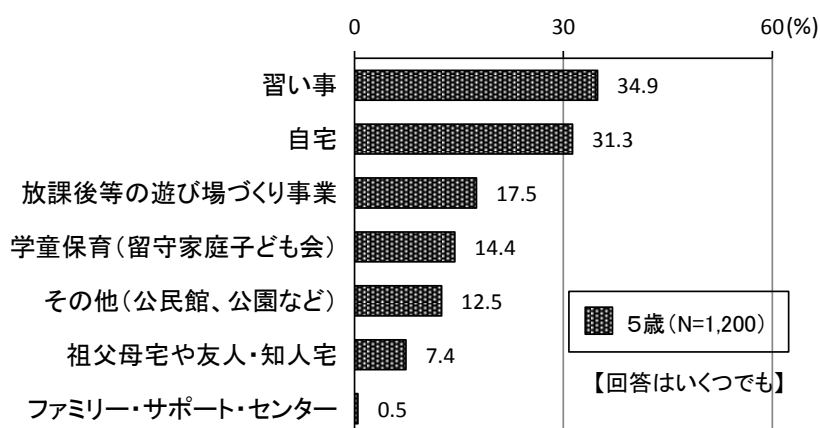
		標本数	《1～3年生》							無回答
			自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	学童保育(留守家庭子ども会)	放課後等の遊び場づくり事業	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	
全体		1,200 100.0	612 51.0	153 12.8	608 50.7	442 36.8	325 27.1	10 0.8	230 19.2	243 20.3
母親の就労状況別	フルタイムで就労	244	28.3	15.6	32.0	64.8	19.7	2.9	8.6	21.7
	パート・アルバイト等で就労	414	46.9	12.1	45.4	50.2	27.3	0.2	13.0	16.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	402	65.4	12.7	64.4	16.7	33.1	0.2	29.6	21.1
	これまで就労したことがない	105	62.9	9.5	62.9	2.9	23.8	1.0	24.8	24.8
	無回答	33	57.6	12.1	48.5	12.1	18.2	-	30.3	30.3

図5-42 小学校就学後（1～3年生）の放課後に過ごす日数〔全体〕



想定している日数は、「自宅」では最も多いのは「2日」(22.2%)だが、「1日」から「5日」まで幅広く分散している。「祖父母宅や友人・知人宅」は「1日」(35.9%)が多い。「習い事」では、「1日」(34.5%)と「2日」(39.8%)が大部分を占めている。「学童保育(留守家庭子ども会)」では、半数以上が「5日」(57.0%)となっており、「17時まで」または「18時まで」の時間を希望する保護者が多い。「放課後等の遊び場づくり事業」では、「1日」(32.6%)、「2日」(25.8%)の順になっている。

図5-43 小学校就学後（4～6年生）の放課後の過ごし方〔全体〕



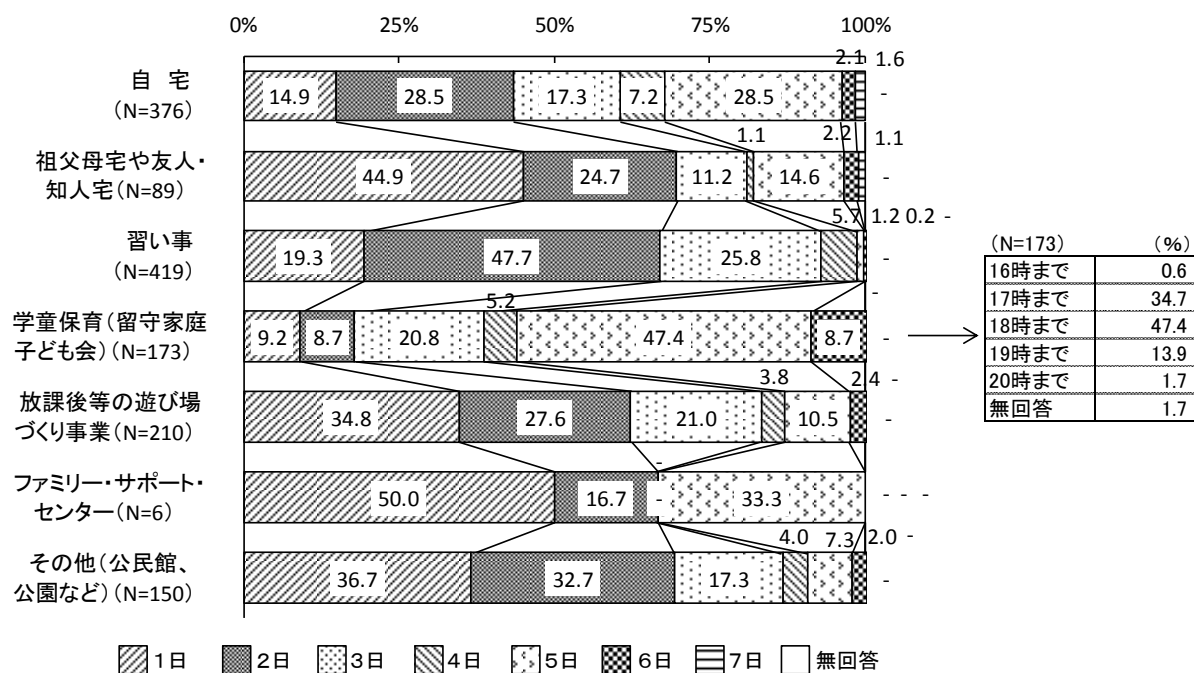
4～6年生では、「習い事」(34.9%)と「自宅」(31.3%)が多くなっている。「学童保育(留守家庭子ども会)」(14.4%)と「放課後等の遊び場づくり事業」(17.5%)は1～2割となっており、いずれの割合も1～3年生に比べて低くなっている。

母親の就労状況別にみると、1～3年生の場合と傾向は同様であり、『就労している』場合には「学童保育（留守家庭子ども会）」の割合が高いが、1～3年生に比べ割合は低くなっている。

表5-16 小学校就学後（4～6年生）の放課後の過ごし方 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	《4～6年生》							無回答
			自宅	人祖・父 母宅や友 人宅	習い事	家学 庭童保 育（留 守）	場放 づく り事 業の 遊 び	タポ ーア ミ リ ー セ ン サ	館そ 、他 （公 民 館 な ど）	
全体		1,200 100.0	376 31.3	89 7.4	419 34.9	173 14.4	210 17.5	6 0.5	150 12.5	602 50.2
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	244	22.1	10.7	24.6	28.3	15.2	1.6	5.7	48.0
	パート・アルバイト等で就労	414	30.2	6.3	30.9	15.7	19.6	-	9.2	51.0
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	402	36.1	6.7	43.3	8.7	18.4	0.2	19.2	49.5
	これまで就労したことがない	105	43.8	7.6	46.7	1.9	15.2	1.0	16.2	48.6
	無回答	33	15.2	6.1	21.2	6.1	6.1	-	12.1	69.7

図5-44 小学校就学後（4～6年生）の放課後に過ごす日数 [全体]



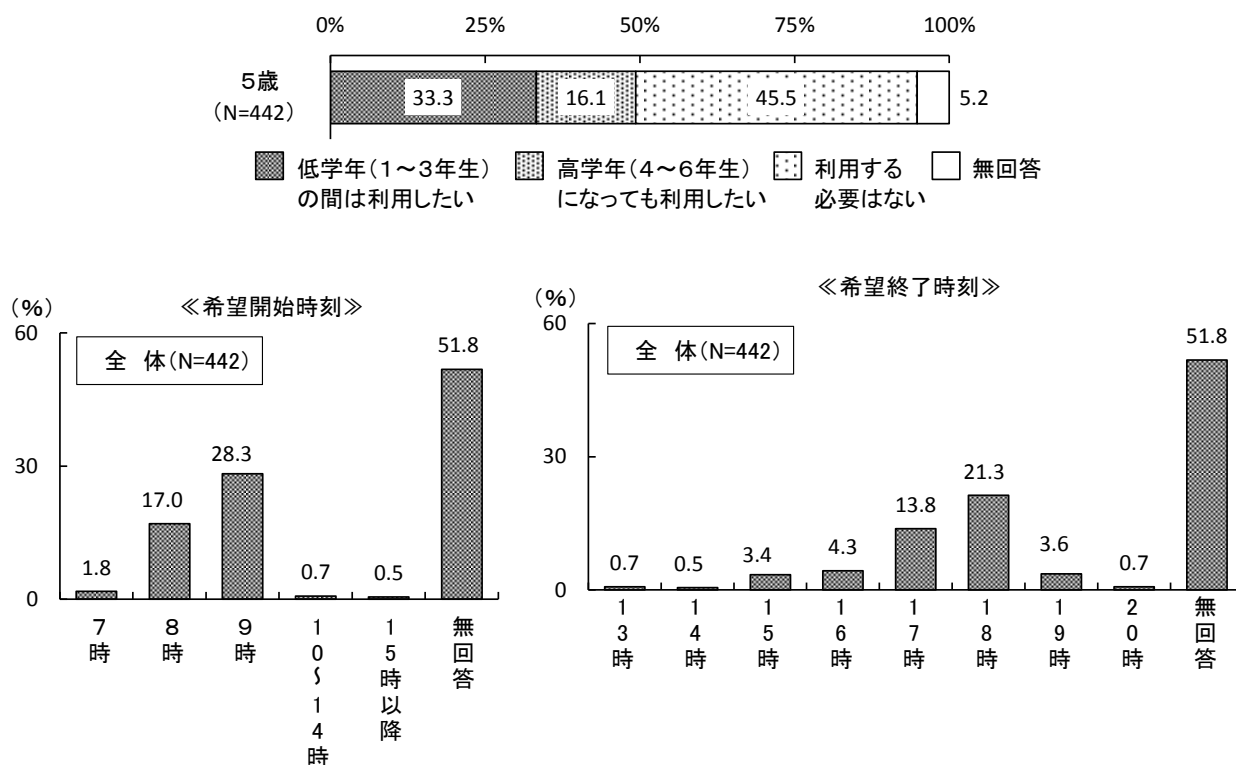
想定している日数は、「自宅」では最も多いのは「2日」と「5日」（同率28.5%）で、「1日」から「5日」まで幅広く分散している。「祖父母宅や友人・知人宅」は「1日」（44.9%）が多い。「習い事」では、「2日」（47.7%）が最も多い。「学童保育（留守家庭子ども会）」では、約5割が「5日」（47.4%）となっており、「17時まで」または「18時まで」の時間を希望する保護者が多い。「放課後等の遊び場づくり事業」では、「1日」（34.8%）、「2日」（27.6%）の順になっている。

(2) 土曜日、日曜・祝日、長期休業中の留守家庭子どもの会の利用意向

問30で「4」に○をつけた方にうかがいます。

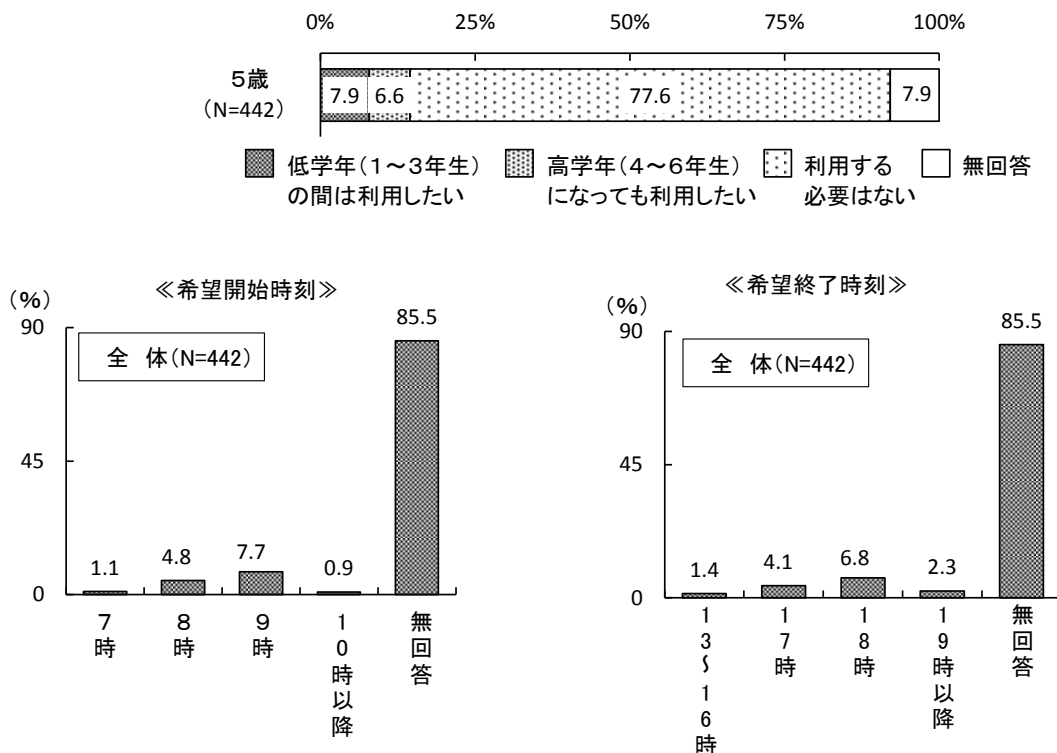
問30-1 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日、長期休業中（夏休み冬休みなど）に、留守家庭子ども会の利用希望はありますか。（○は1つ。枠内に時間帯を記入。）

図5-45 土曜日の留守家庭子ども会の利用意向 [全体]



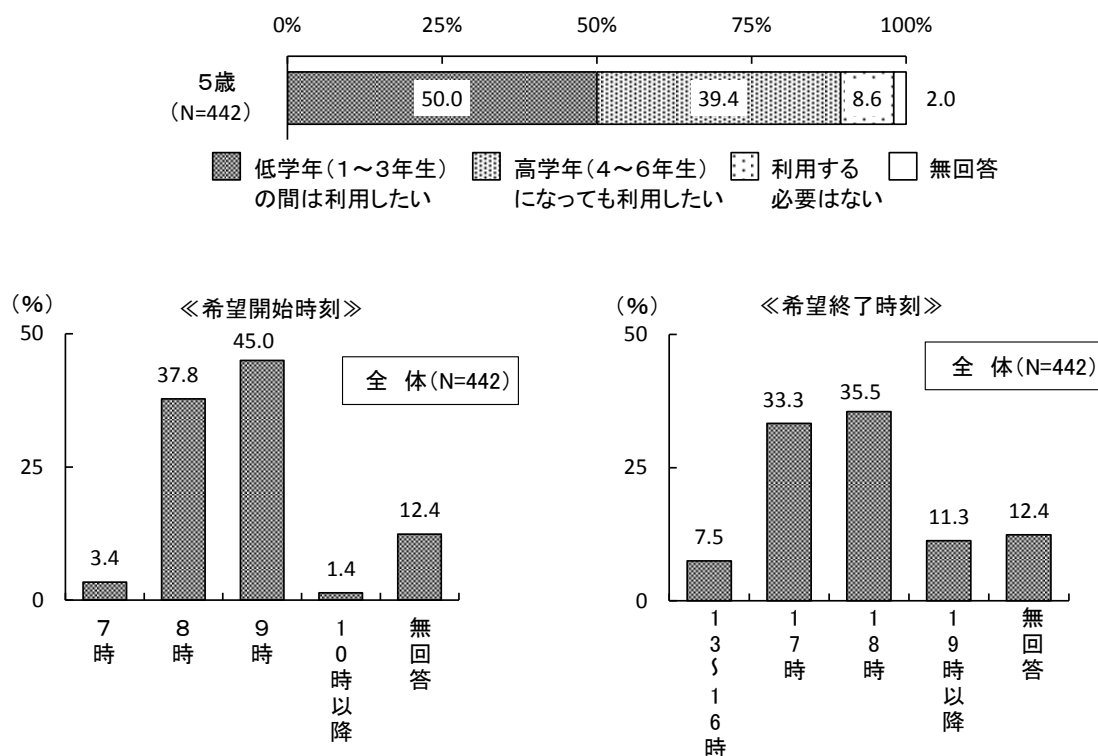
土曜日と日曜・祝日、長期休業中（夏休み冬休みなど）における留守家庭子ども会の利用についての意向をたずねた。まず土曜日は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（33.3%）と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（16.1%）を合わせて約5割の保護者が利用を希望している。開始時間は「9時」（28.3%）、終了時間は「18時」（21.3%）という希望が最も多い。

図 5-46 日曜日・祝日の留守家庭子どもの会の利用意向 [全体]



日曜日・祝日の場合は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（7.9%）と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（6.6%）を合わせて利用希望は14.5%であり、土曜日よりも大幅に低い。利用時間の希望については多くの回答者が無回答であり、時間までは不確定という利用希望者が多い。

図5-47 長期休業中の留守家庭子どもの会の利用意向 [全体]



長期休業中は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（50.0%）と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（39.4%）を合わせて約9割の保護者が利用を希望している。

利用時間の希望については、開始時刻は「9時」（45.0%）、終了時刻は「18時」（35.5%）が最も多い。

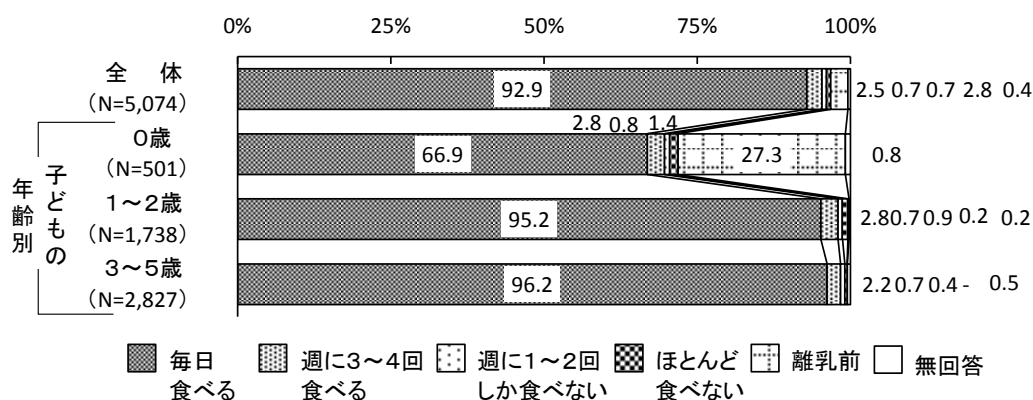
第6章 子どもの日ごろの生活や居場所

1. 子どもの日ごろの生活

(1) 朝食の状況

問 33 あて名のお子さんの朝食のとり方はどうですか。(〇は1つ)

図 6-1 朝食の状況 [全体、子どもの年齢別]



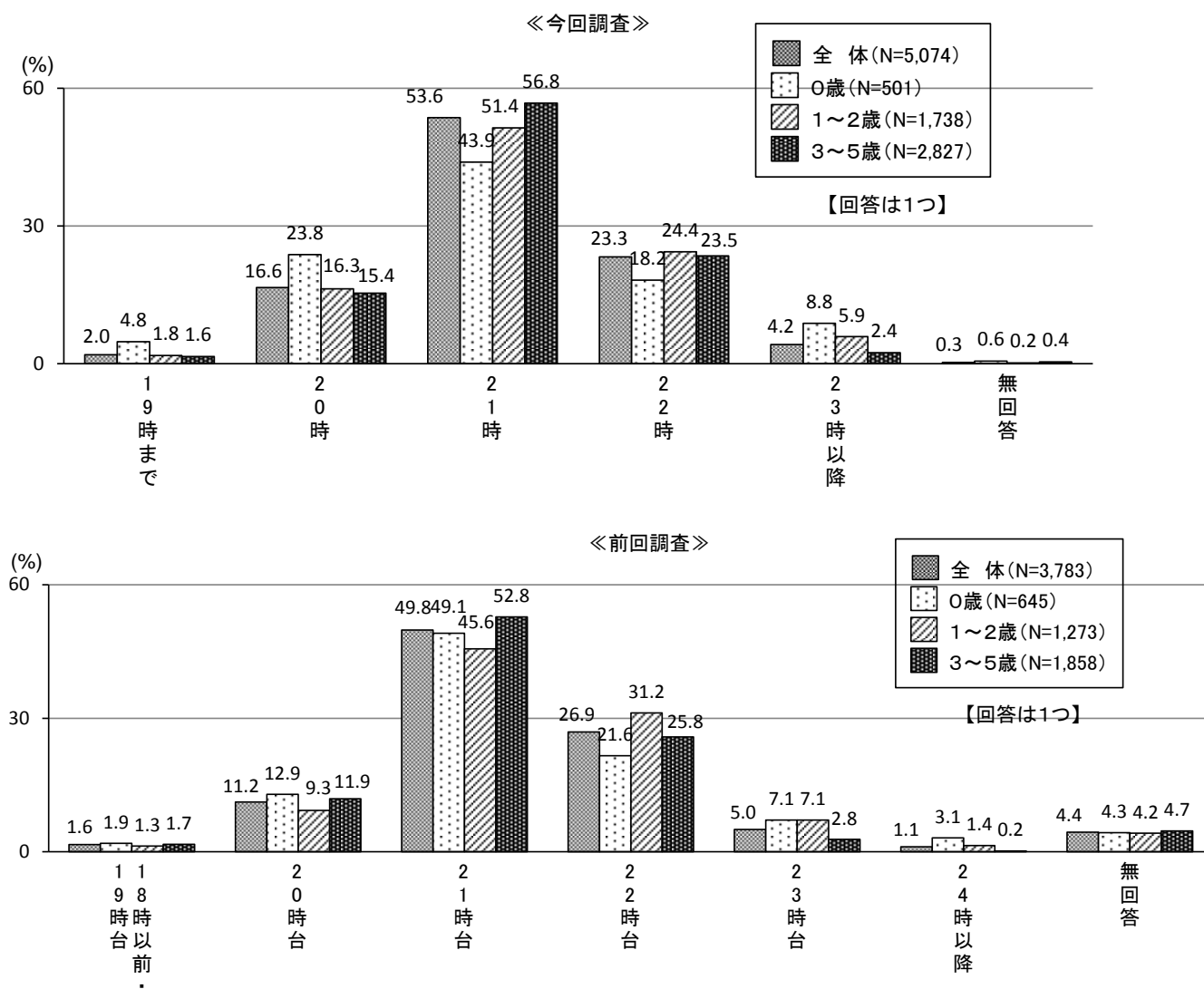
子どもの朝食のとり方については「毎日食べる」が92.9%と回答の大部分を占めており、朝食の摂取率は比較的高い。

子どもの年齢別にみると、「0歳」は「離乳前」が27.3%であるため、摂取率が7割弱(66.9%)となっているが、その他の年齢層では95%を超えている。

(2) 就寝時刻と起床時刻

問 34 ふだん、お子さんが寝る時刻と起きる時刻は何時頃ですか。(枠内に数字を記入)

図6-2 就寝時刻〔全体、子どもの年齢別〕(前回調査比較)

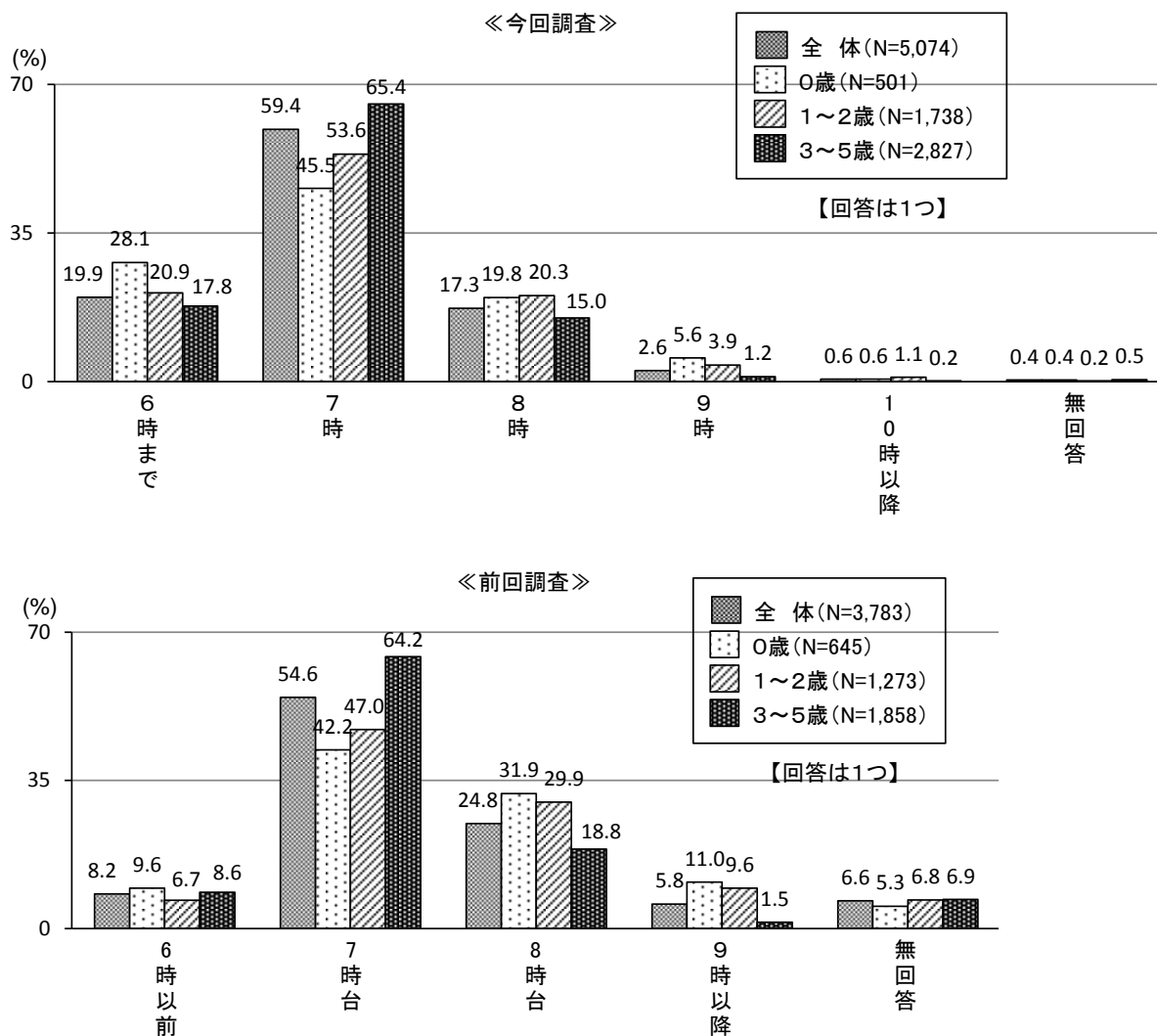


子どもの就寝時刻については、「21時」(53.6%)と「22時」(23.3%)が回答の大部分を占めている。

前回調査と比べると、項目の違いはあるが22時の就寝はいずれの年齢でも減少しており、21時や20時が増えて、就寝時刻は早くなっている。

子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるほど「20時」の割合が低下し、「21時」「22時」の割合が増加する傾向がみられる。

図6-3 起床時刻〔全体、子どもの年齢別〕（前回調査比較）



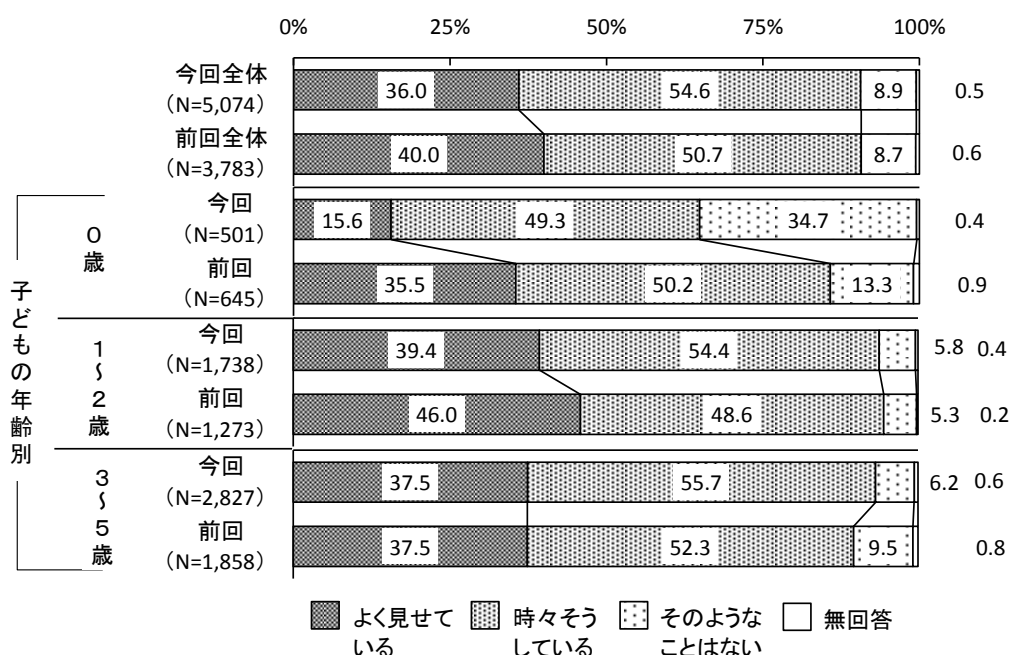
子どもの起床時刻は、「7時」（59.4%）が約6割を占めている。

前回調査と比べると、項目の違いはあるが6時までの起床が増えており、8時が減るなど起床時刻は早くなっている。

(3) テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せておくこと

問 35 忙しいときなど、何らかの理由で子どもにテレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見せておくことがありますか。(〇は1つ)

図6-4 テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せておくこと
[全体、子どもの年齢別] (前回調査比較)



子どもにテレビやビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見せておくことの有無については、「時々そうしている」(54.6%)の割合が最も高く、半数以上を占めており、次いで「よく見せている」(36.0%)となっている。

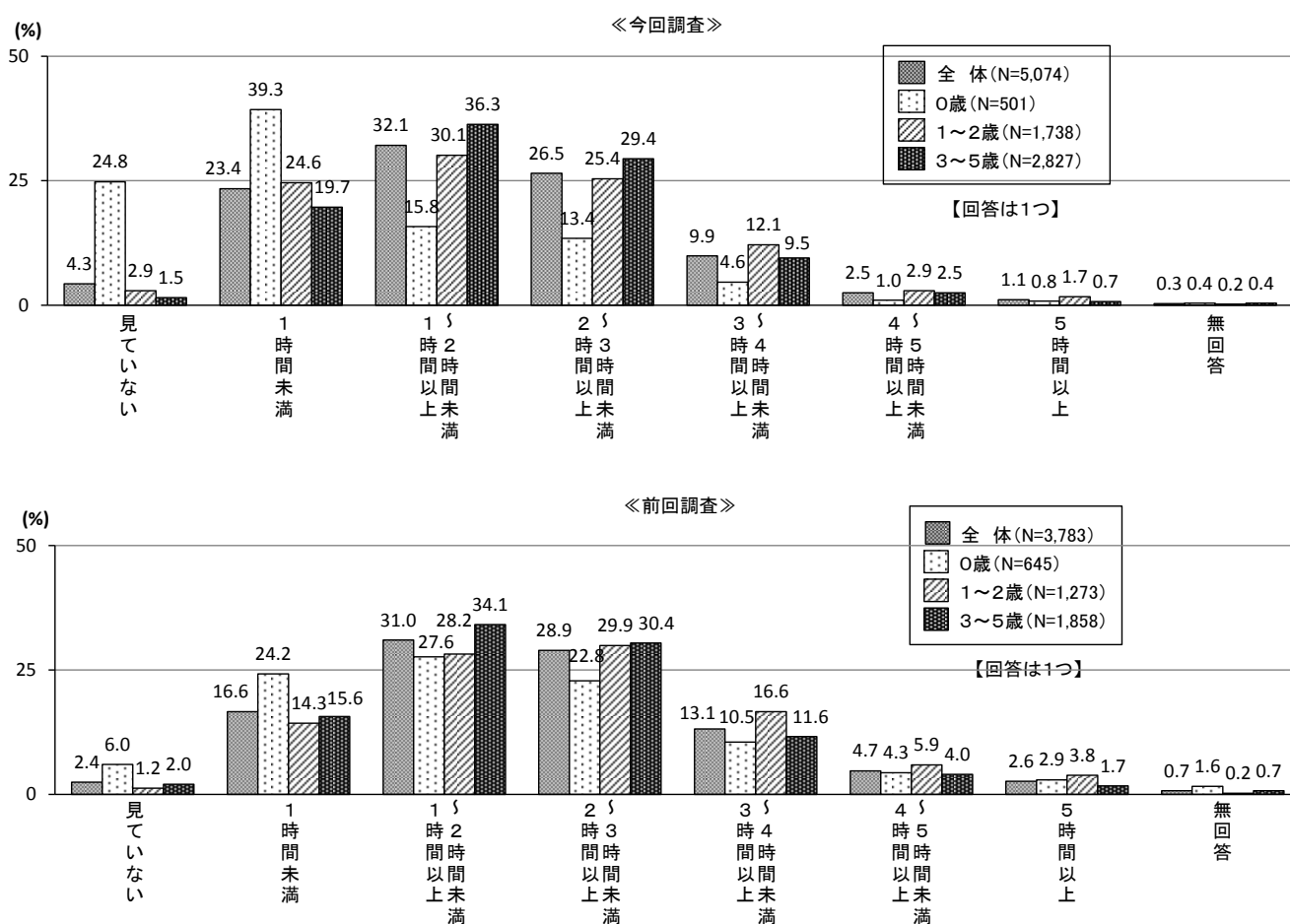
前回調査ではテレビやビデオを見せておくことはあるかたずねている。「0歳」では「よく見せている」が35.5%から19.9ポイント減少し、1~2歳でも6.6ポイント減少している。3~5歳では「時々そうしている」が3.4ポイント増えている。

子どもの年齢別にみると、「0歳」では「そのようなことはない」が34.7%と高くなっている。

(4) テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せている時間

問 36 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見ていますか。ゲームをしている時間も含まれます。(〇は1つ)

図6-5 テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せている時間
[全体、子どもの年齢別] (前回調査比較)



子どもが1日にテレビやビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットに費やす時間は「1時間以上～2時間未満」(32.1%)の割合が最も高く、次いで「2時間以上～3時間未満」(26.5%)、「1時間未満」(23.4%)の順となっている。

前回調査ではテレビやビデオを見せておく時間をたずねている。「0歳」で『1時間以上～3時間未満』の割合が減り、「見ていない」や「1時間未満」の割合が増えており、視聴時間は減っている。

子どもの年齢別にみると、「0歳」では「1時間未満」(39.3%)の割合が高く、「3～5歳」では「1時間以上～2時間未満」(36.3%)や「2時間以上～3時間未満」(29.4%)が3割前後で他の年齢層よりも高いなど、全体として年齢が高くなるほど長い時間の割合が高くなる傾向がみられる。

母親の就労状況別にみると、『専業主婦』の場合には「3時間以上～4時間未満」という比較的長めの回答が1割を超えており、全体として『就労している』場合に比べて『専業主婦』の方が、テレビ等に費やす時間が長めの傾向がある。

表6-1 テレビやビデオ、携帯・スマートフォン等を見せている時間
[全体、母親の就労状況別]

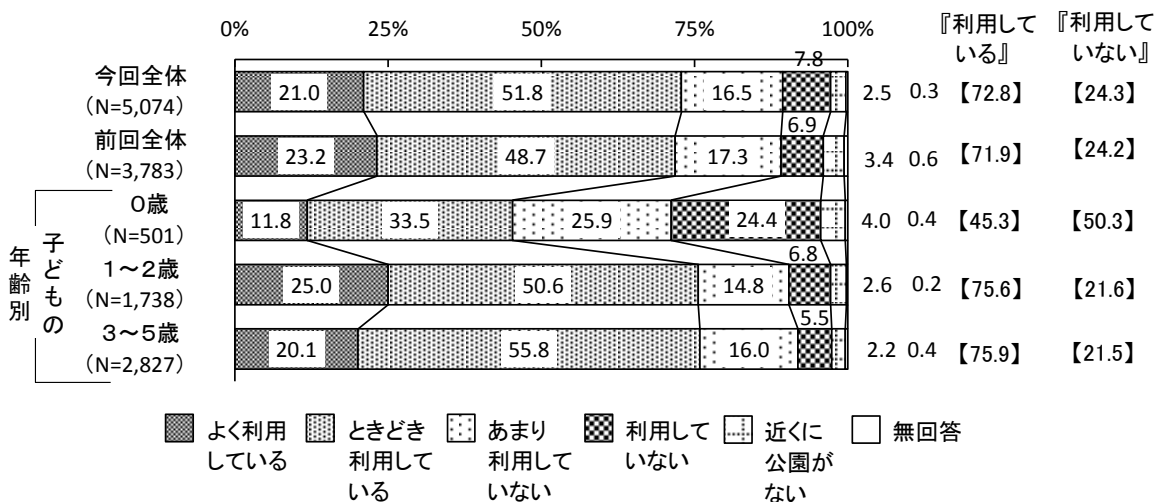
(%)

		標 本 数	見 て い な い	1 時 間 未 満	1 時 2 時 間 以 上 未 満	2 時 3 時 間 以 上 未 満	3 時 4 時 間 以 上 未 満	4 時 5 時 間 以 上 未 満	5 時 間 以 上	無 回 答
全 体		5,074 100.0	216 4.3	1,187 23.4	1,628 32.1	1,343 26.5	501 9.9	127 2.5	55 1.1	17 0.3
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	1,150	6.1	33.6	33.0	19.5	5.7	1.4	0.3	0.5
	パート・アルバイト等で就労	1,281	3.5	24.4	34.5	26.3	8.6	2.1	0.5	0.2
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	2,059	4.4	17.5	30.2	29.9	12.5	3.3	1.9	0.3
	これまで就労したことがない	432	1.4	20.4	33.1	29.6	11.8	2.3	0.7	0.7
	無回答	144	3.5	28.5	25.0	24.3	12.5	4.2	2.1	-

2. 近所の公園の利用

問 37 あなたは、お子さんと一緒に近くの公園を利用していますか。(〇は1つ)

図 6-6 近所の公園の利用 [全体、子どもの年齢別] (前回調査比較)



近くの公園の利用の有無について「ときどき利用している」(51.8%)の割合が最も高く、次いで「よく利用している」(21.0%)となっており、合わせて約7割が『利用している』となっている。

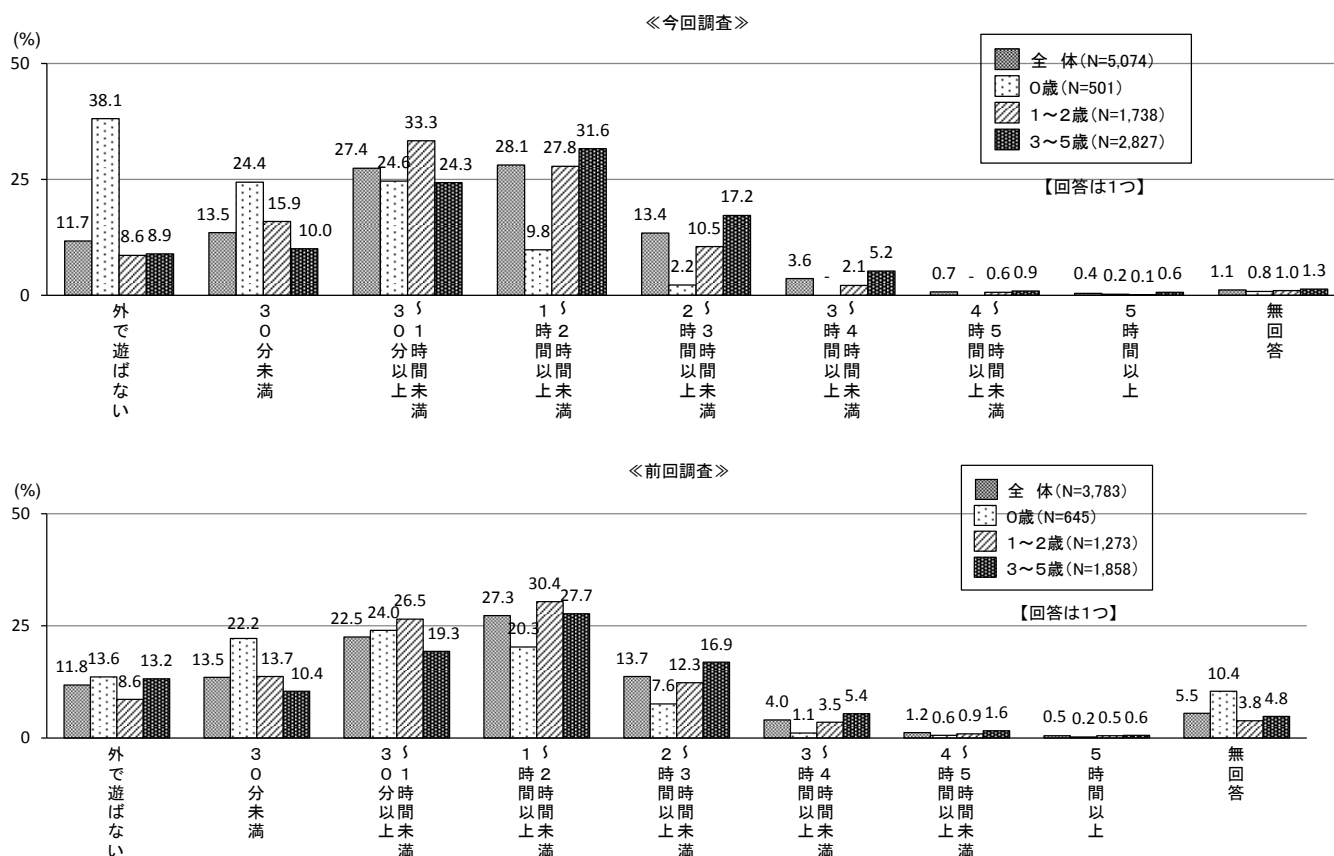
前回調査と比べてもあまり大きな変化はみられない。

子どもの年齢別にみると、『利用している』の割合は、「0歳」では45.3%と低く、逆に「3~5歳」では75.9%と高くなっており、年齢が高いほど利用している割合も高くなる傾向がみられる。

3. 外で遊ぶ時間

問 38 あて名のお子さんは、平均すると1日何時間くらい、外で遊びますか。
 (平日・休日それぞれ〇は1つ)

図6-7 平日に外で遊ぶ時間 [全体、子どもの年齢別]
 (前回調査比較)

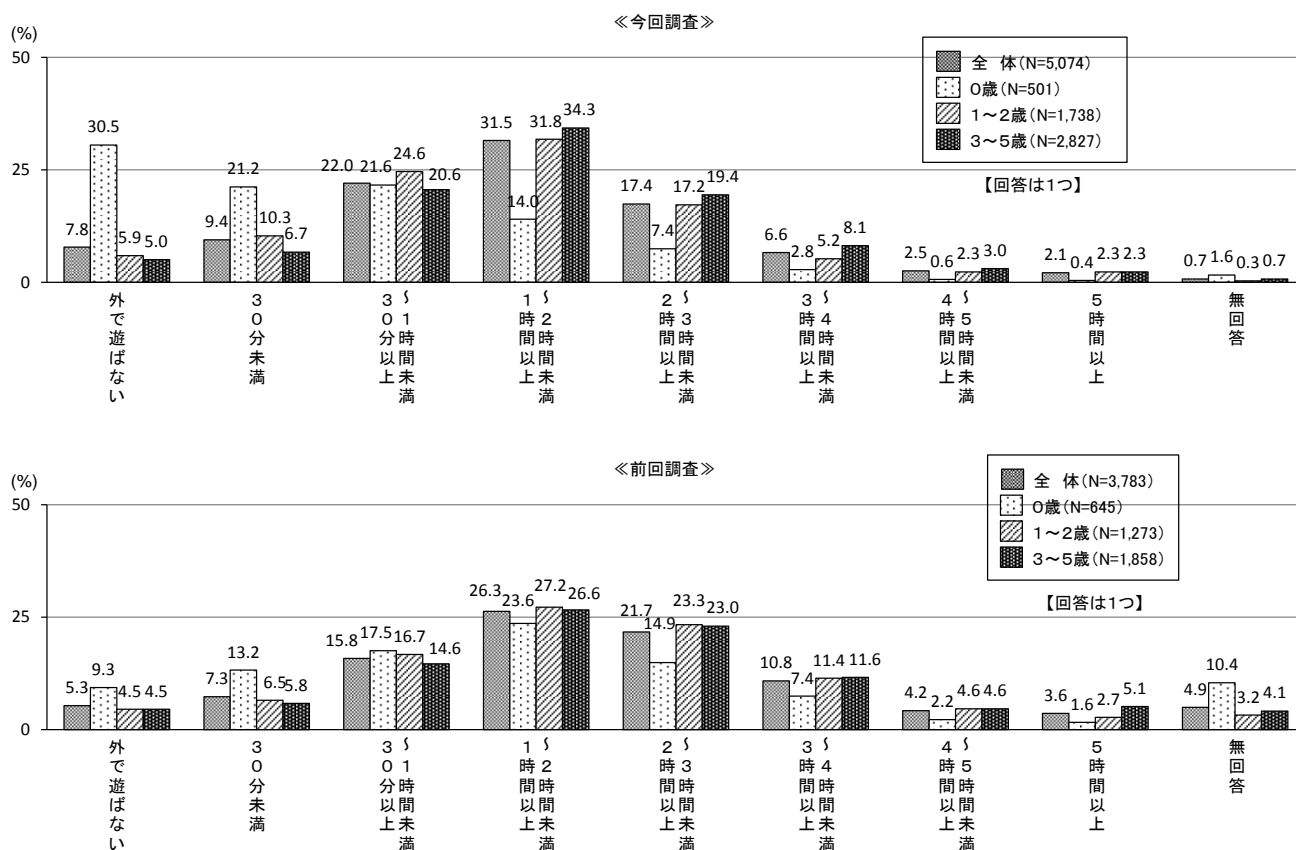


平日に外で遊ぶ時間は、「1時間以上～2時間未満」(28.1%)の割合が最も高く、次いで「30分以上～1時間未満」(27.4%)、「30分未満」(13.5%)の順となっている。

前回調査と比べると「0歳」で「外で遊ばない」が13.6%から24.5ポイントも増えているのが目立つ。「1歳～2歳」では『1時間以上～3時間未満』の割合が減少し、1時間未満の時間帯が増えるなど、やや外遊びの時間は少なくなっているようだ。

子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて外で遊ぶ時間は長くなっており、「3～5歳」では「2時間以上～3時間未満」(17.2%)という長めの選択肢の割合も比較的高くなっている。

図6-8 休日に外で遊ぶ時間〔全体、子どもの年齢別〕
(前回調査比較)



休日に外で遊ぶ時間は、「1時間以上～2時間未満」(31.5%)の割合が最も高く、次いで「30分以上～1時間未満」(22.0%)、「2時間以上～3時間未満」(17.4%)の順となっており、平日に比べると長めの時間の割合がやや高くなっている。

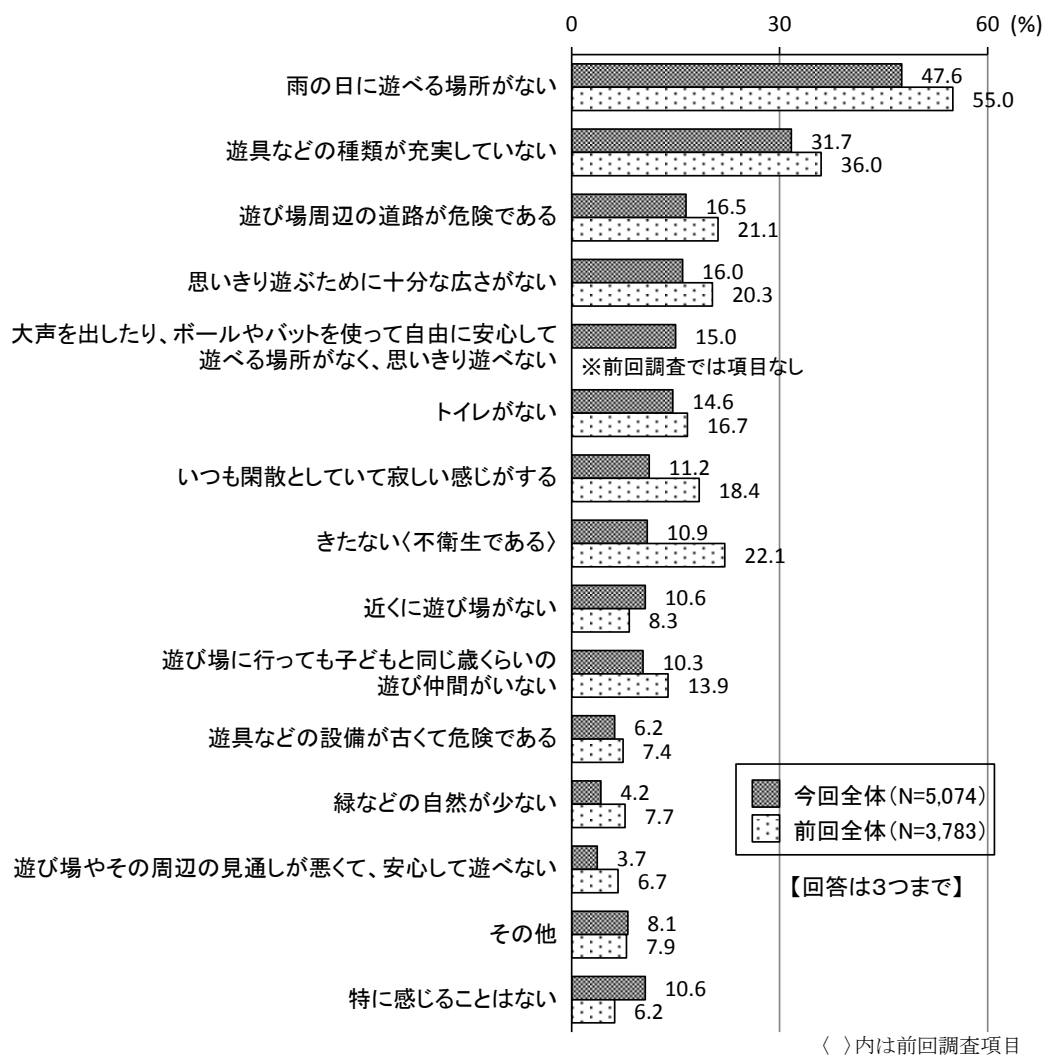
前回調査と比べると、平日同様「0歳」では「外で遊ばない」が21.2ポイントと大幅に増えている。1～5歳では2時間以上の割合は減少し、『30分以上～2時間未満』の時間帯が増えており、休日に外で遊ぶ時間は減っている。

子どもの年齢別にみると、平日同様、年齢が高くなるにつれて外で遊ぶ時間が長くなっている。

4. 子どもの遊び場について感じていること

問 39 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。
(〇は3つまで)

図6-9 子どもの遊び場について感じていること [全体] (前回調査比較)



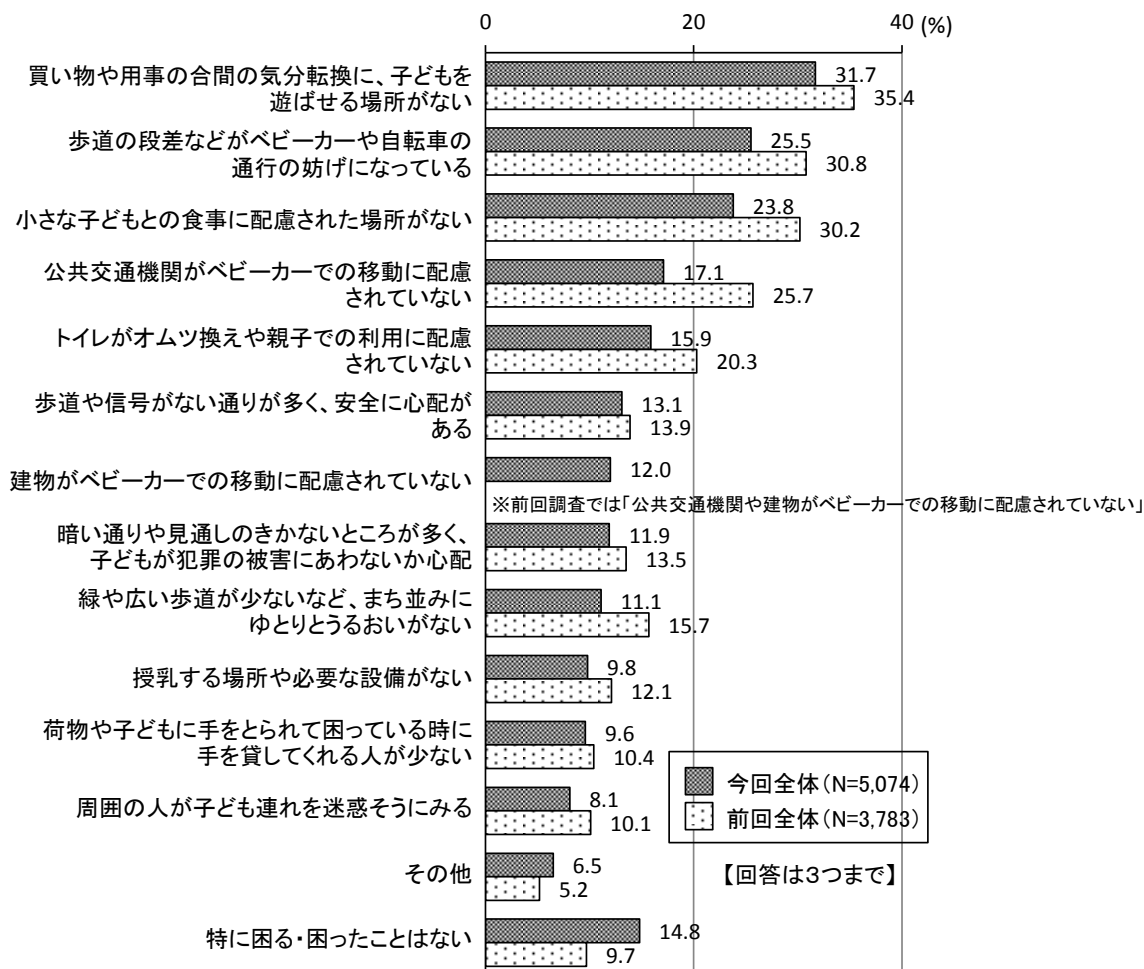
家の近くの遊び場について日頃感じていることは、「雨の日に遊べる場所がない」(47.6%)が約5割に達しており最も多い。次いで「道具などの種類が充実していない」(31.7%)、「遊び場周辺の道路が危険である」(16.5%)、「思いきり遊ぶために十分な広さがない」(16.0%)の順となっている。

前回調査と比べると、「特に感じることはない」の割合が4.4ポイント増え、また今回新たに「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所がなく、思いきり遊べない」(15.0%)の項目が加わったためか、すべての項目で割合が減少している。

5. 外出する際に困ること・困ったこと

問 40 市内においてお子さんと外出する際、困ること・困ったことは何ですか。
(〇は3つまで)

図 6-10 外出する際に困ること・困ったこと [全体] (前回調査比較)



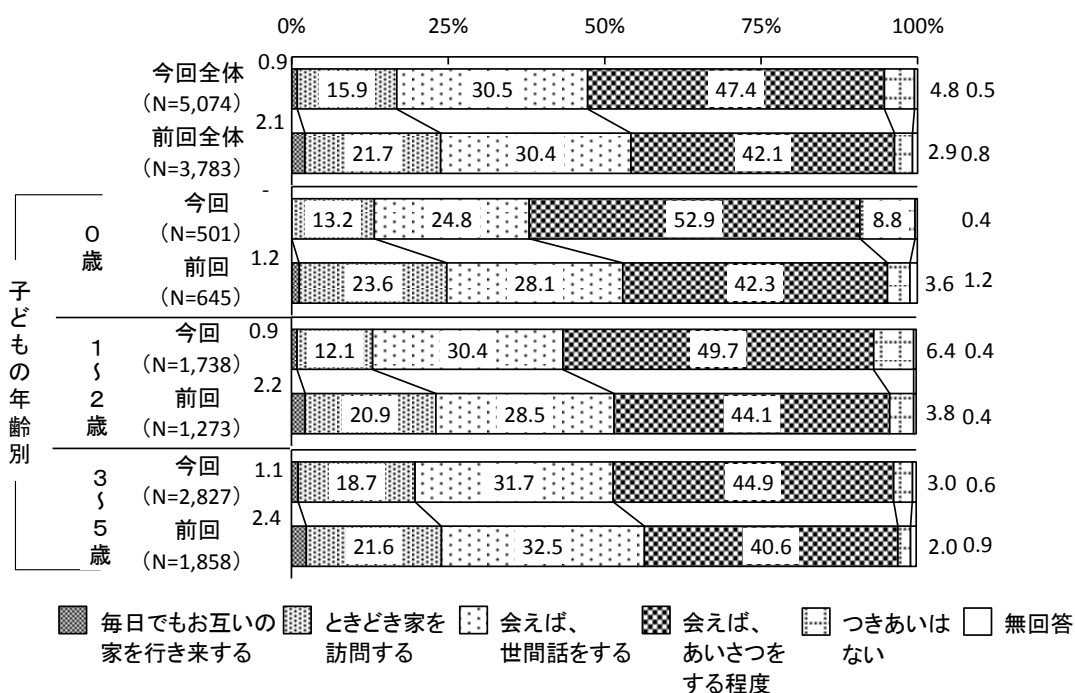
外出する際に困ったことについては、「買物や用事の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」(31.7%)の割合が最も高く、次いで「歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている」(25.5%)、「小さな子どもとの食事に配慮された場所がない」(23.8%)の順となっている。

前回調査と比べると「特に困る・困ったことはない」が5.1ポイント増えており、ほとんどの項目で割合は減少している。

6. 近所づきあいの程度

問 41 あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。(〇は1つ)

図6-11 近所づきあいの程度 [全体、子どもの年齢別] (前回調査比較)



近所づきあいについては、「会えば、あいさつをする程度」(47.4%)の割合が最も高く、次いで「会えば世間話をする」(30.5%)、「ときどき家を訪問する」(15.9%)の順となっており、「毎日でもお互いの家を行き来する」(0.9%)は極めて少ない。

前回調査と比べると、いずれの年齢でも「会えば、あいさつをする程度」や「つきあいはない」の割合が増え、「ときどき家を訪問する」は「0歳」や「1~2歳」では8ポイント以上減っており、近所づきあいの程度は低くなっているようだ。

母親の就労状況別にみると、『専業主婦』の場合には「ときどき家を訪問する」が2割前後となっているのに対して「フルタイムで就労」では同割合が1割に満たず、近所づきあいは就労していない母親の方が活発な傾向がある。

表6-2 近所づきあいの程度 [全体、母親の就労状況別]

(%)

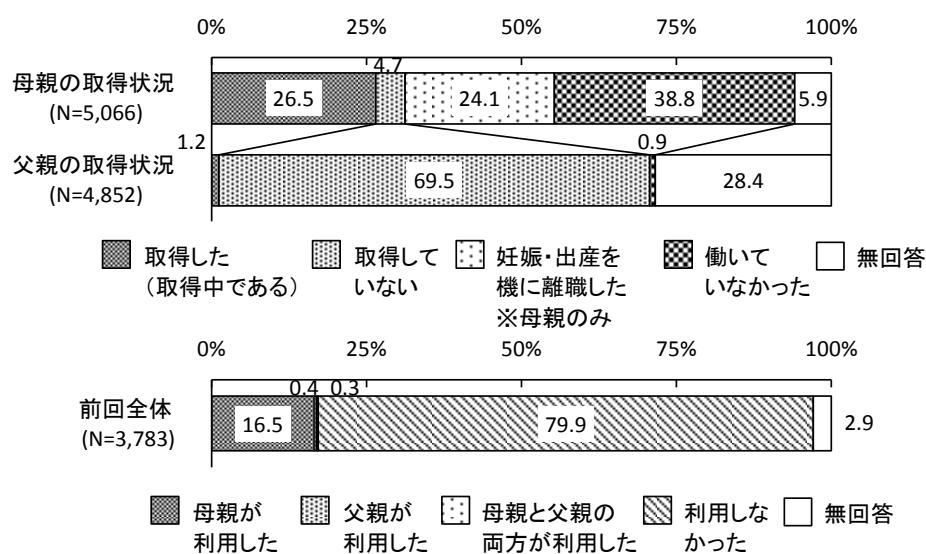
		標本数	毎日でもお互いの家を行き来する	ときどき家を訪問する	会えば、世間話を	会えば、あいさつをする程度	つきあいはない	無回答
全体		5,074 100.0	46 0.9	807 15.9	1,549 30.5	2,403 47.4	242 4.8	27 0.5
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,150	0.4	8.3	26.7	56.4	7.2	0.9
	パート・アルバイト等で就労	1,281	0.7	15.1	34.0	46.1	3.4	0.6
	以前は就労していたが、現在は就労していない	2,059	1.3	19.1	30.0	45.1	4.3	0.2
	これまで就労したことがない	432	1.2	23.4	32.4	37.5	4.6	0.9
	無回答	144	-	15.3	32.6	47.2	4.9	-

第7章 育児休業など両立支援制度

1. 育児休業制度の取得状況

問 32 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(それぞれ〇は1つ)

図 7-1 育児休業制度の取得状況 [全体] (前回調査比較)



母親の育児休業制度の利用については、「取得した (取得中である)」(26.5%)と「妊娠・出産を機に離職した」(24.1%)がいずれも2~3割程度となっている。

一方で、父親の利用については、「取得した (取得中である)」がわずか1.2%に留まっている。前回調査では母親、父親別にたずねてはいないが、母親の取得は16.5%から10ポイント増えている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」の場合には、「取得した (取得中である)」が75.6%となっている。「パート・アルバイト等で就労」の場合は25.1%でフルタイムに比べると大幅に低い。

表 7-1 母親の育児休業制度の取得状況 [全体、母親の就労状況別]

			(%)				
		標本数	で取得した (取得中)	取得していない	離職・妊娠した・出産を機に	働いていなかった	無回答
全体		5,066 100.0	1,343 26.5	237 4.7	1,220 24.1	1,968 38.8	298 5.9
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	1,150	75.6	6.9	7.9	7.7	2.0
	パート・アルバイト等で就労	1,281	25.1	8.5	29.7	31.9	4.8
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	2,059	6.4	1.7	33.0	51.8	7.1
	これまで就労したことがない	432	0.7	1.4	10.2	76.9	10.9
	無回答	144	13.2	4.9	16.7	51.4	13.9

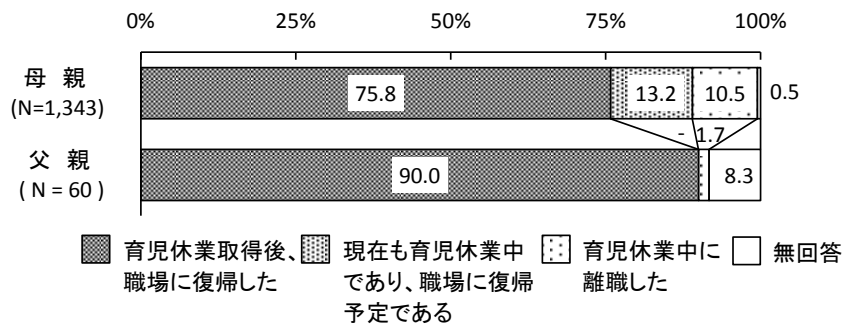
2. 育児休業取得後の職場復帰について

(1) 育児休業取得後の職場復帰

問 32 で「1. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問 32-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ○は1つ）

図 7-2 育児休業取得後の職場復帰 [全体]



育児休業の取得後は、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」(75.8%)が最も多く、8割弱を占めている。「育児休業中に離職した」(10.5%)も1割存在する。

父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」(90.0%)が9割と多数を占める。

表 7-2 育児休業取得後の職場復帰 [全体、子どもの年齢別]

	標本数	《母親》				標本数	《父親》				
		場育に復帰した	定育ありである	現育も、も職に休業中復帰中予定	た育児休業中に離職し		無回答	場育に復帰した	定育ありである	現育も、も職に休業中復帰中予定	た育児休業中に離職し
全体	1,343	1,018	177	141	7	60	54	-	1	5	
	100.0	75.8	13.2	10.5	0.5	100.0	90.0	-	1.7	8.3	
子どもの年齢別	0歳	181	23.8	68.5	6.6	1.1	8	87.5	-	-	12.5
	1~2歳	506	81.8	7.3	10.3	0.6	20	90.0	-	5.0	5.0
	3~5歳	655	85.5	2.4	11.8	0.3	32	90.6	-	-	9.4
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

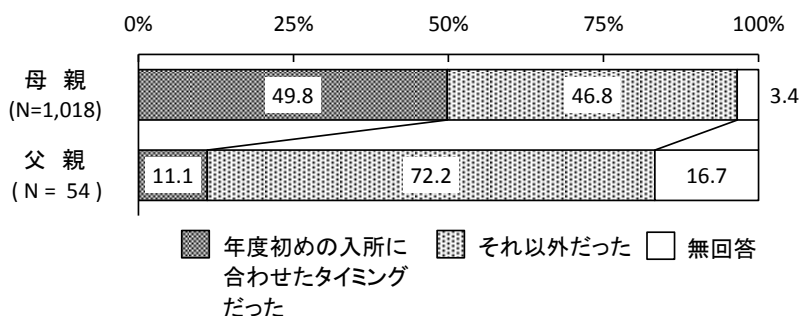
子どもの年齢別にみると、母親では「現在も育児休業中であり、職場に復帰予定である」の割合が「0歳」では68.5%と高くなっているが、「1~2歳」では7.3%に過ぎず、多くの取得者は子どもが1歳になるまでに職場復帰していることが示唆される。

(2) 復帰したタイミング

問 32-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 32-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所(園)入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(それぞれ○は1つ)

図 7-3 復帰したタイミング [全体]

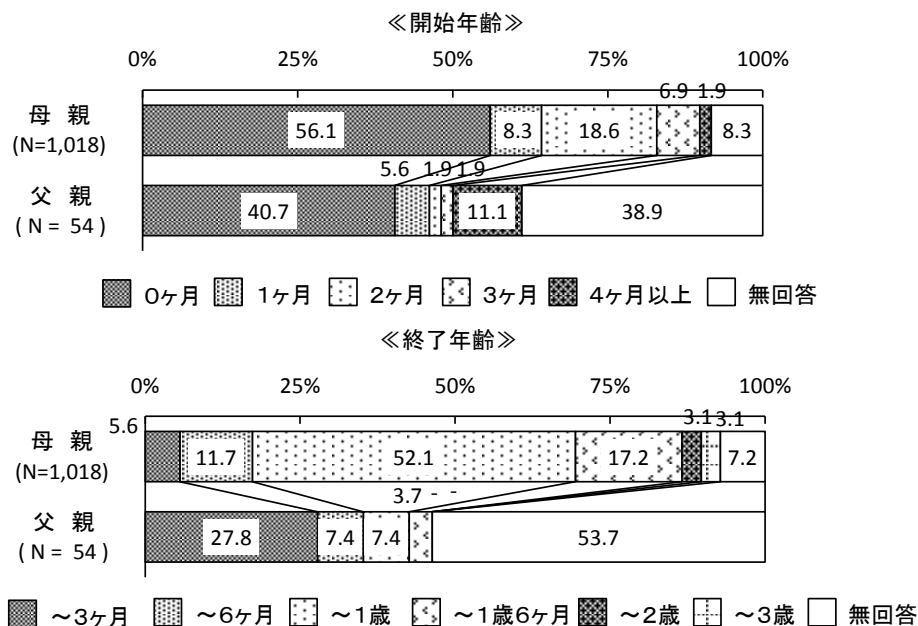


育児休業から職場に復帰したタイミングは、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(49.8%)と「それ以外だった」(46.8%)がほぼ半々になっている。
父親では「それ以外だった」(72.2%)が約7割と高くなっている。

(3) 実際の取得期間と希望する取得期間

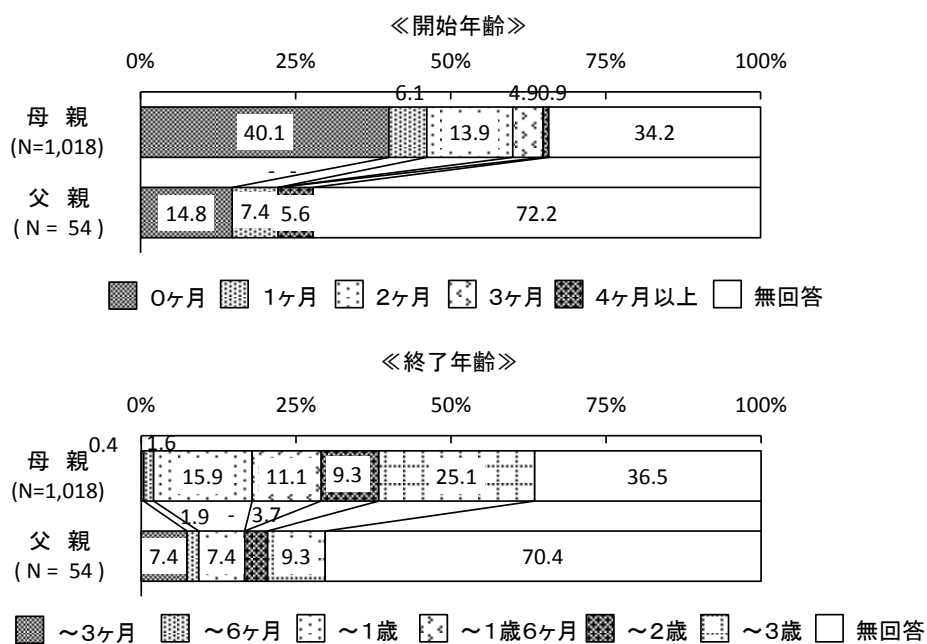
問 32-3 育児休業は、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月から何歳何ヶ月の間、取得されましたか。また、お勤め先の育児休業の制度が3歳までであった場合、何歳何ヶ月から何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。(枠内に数字を記入)

図 7-4 実際の取得期間 [全体]



育児休業の実際の取得期間について、母親、父親とも子どもが「0ヶ月」(母親 56.1%、父親 40.7%)からの開始が最も多くなっている。終了時期は、母親では子どもの年齢が「～1歳」が52.1%と約半数の母親は子どもが1歳になるまで育児休業を取得している。一方、父親は「～3ヶ月」が27.8%と最も多くなっている。

図7-5 3歳までの制度があった場合の希望取得期間 [全体]



3歳までの制度があった場合の希望取得期間は母親では「～3歳」が25.1%と最も多くなっている。

(4) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

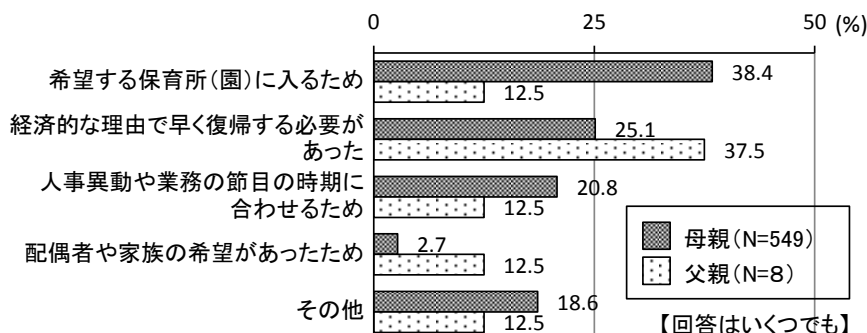
①希望より早く復帰した理由

問 32-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 32-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。

(1) 「希望」より早く復帰した方（それぞれあてはまる番号すべてに○）

図 7-6 希望より早く復帰した理由 [全体]



育児休業からの復帰の時期が希望よりも早かった場合の母親の理由は「希望する保育所（園）に入るため」(38.4%)が最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(25.1%)、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(20.8%)の順となっている。父親の場合「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(37.5%)が最も多い。

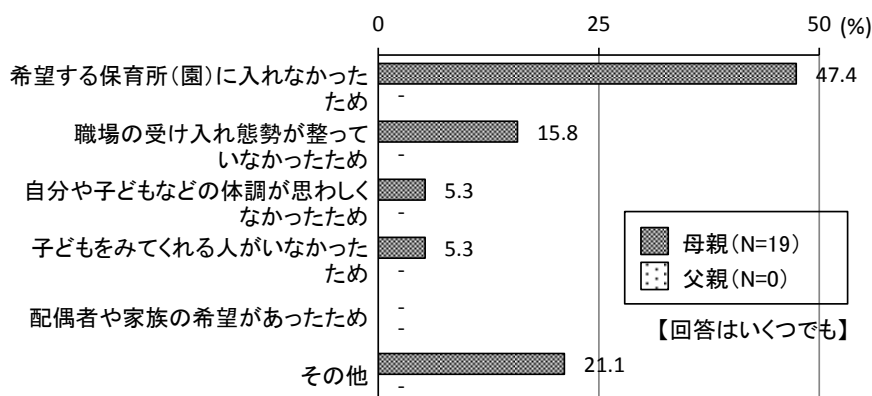
②希望より遅く復帰した理由

問 32-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 32-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。

(2) 「希望」より遅く復帰した方（それぞれあてはまる番号すべてに○）

図 7-7 希望より遅く復帰した理由 [全体]

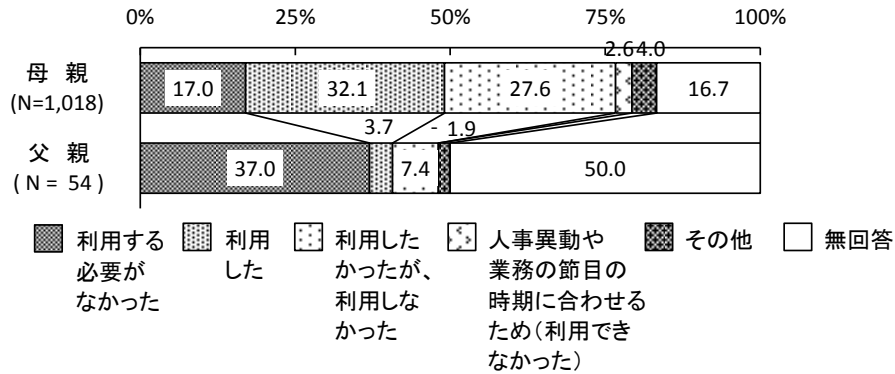


復帰の時期が希望より遅くなった場合の理由は、そうしたケース自体が少ないが、「希望する保育所（園）に入れなかったため」(47.4%)が約半数を占めており最も多い。

(5) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況

問 32-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。
(それぞれ○は1つ)

図7-8 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況 [全体]



母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況は、「利用した」(32.1%)が「利用しなかった」(27.6%)を上回っている。

父親の場合は、「利用する必要がなかった」(37.0%)が殆どを占めており、「利用した」(3.7%)は極めて少ない。

ただし、母親の就労状況が「フルタイムで就労」の場合に限ると、「利用した」(31.1%)よりも「利用しなかったが、利用しなかった」(34.2%)の方が高くなっている。

表7-3 職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	《母親》						標本数	《父親》					
			利用する必要がなかった	利用した	利用しなかったが、利用した	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	その他	無回答		利用する必要がなかった	利用した	利用しなかったが、利用した	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	その他	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		1,018	17.0	32.1	27.6	2.6	4.0	16.7	54	37.0	3.7	7.4	-	1.9	50.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	679	13.3	31.1	34.2	2.9	3.2	15.3	9	33.3	-	11.1	-	-	55.6
	パート・アルバイト等で就労	265	27.5	35.8	12.1	0.8	5.3	18.5	12	33.3	8.3	16.7	-	8.3	33.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	61	9.8	32.8	24.6	3.3	8.2	21.3	26	34.6	3.8	3.8	-	-	57.7
	これまで就労したことがない	-	-	-	-	-	-	-	6	50.0	-	-	-	-	50.0
	無回答	13	30.8	7.7	15.4	15.4	-	30.8	1	100.0	-	-	-	-	-

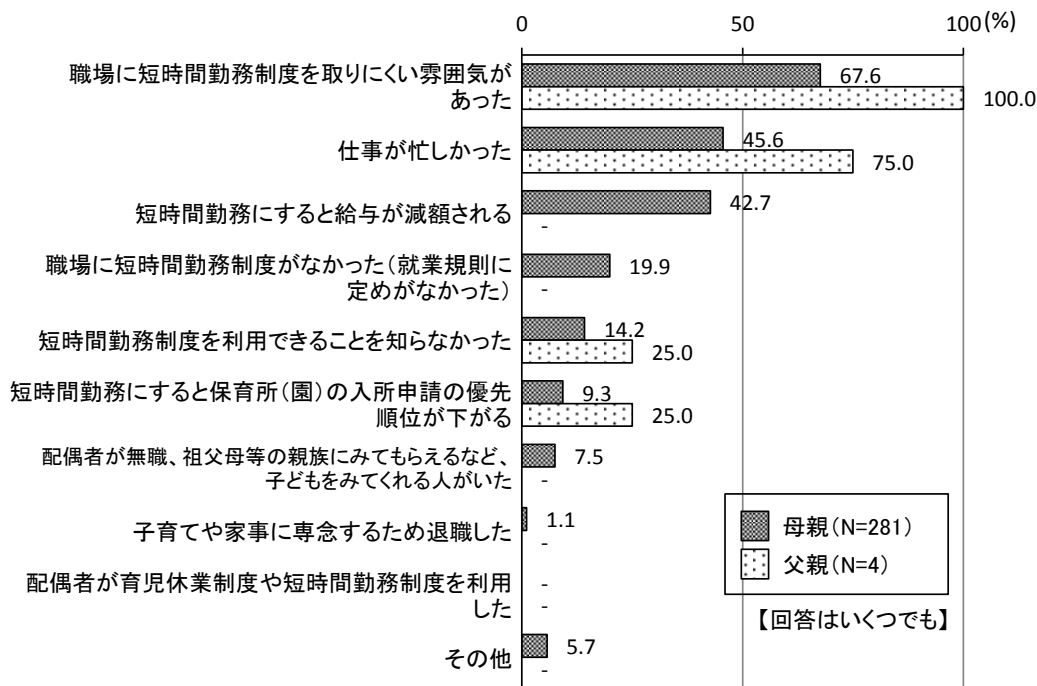
(6) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 32-5 で「3」と回答した方にうかがいます。

問 32-6 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなぜですか。

（枠内にあてはまる番号すべてを記入）

図 7-9 短時間勤務制度を利用しなかった理由 [全体]



母親が短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(67.6%)が約7割で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」(45.6%)、「短時間勤務にすると給与が減額される」(42.7%)の順となっている。

父親の場合は、該当するケース自体がわずかであるが、その理由は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(100%)と「仕事が忙しかった」(75.0%)となっている。

母親が短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由を子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるほど「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が高くなる傾向がみられ、逆に「仕事が忙しかった」は年齢が低いほど割合は高くなっている。

表7-4 短時間勤務制度を利用しなかった理由〔全体、子どもの年齢別〕

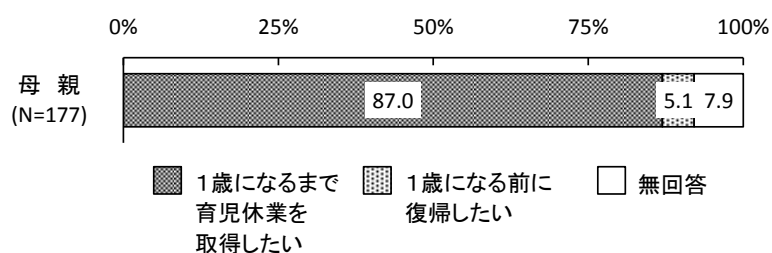
	標本数	〈母親〉											
		職場に短時間勤務があつた	仕事が忙しかった	短時間勤務にすると給与が減額される	先順位が下がる	短時間勤務にすると申請の保育料が増える	短時間勤務制度を利用し	配偶者が育児休業制度を利用し	子どもをみる人	配偶者が無職、祖父母等	子育てや家事に専念する	職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定め)	短時間勤務制度を利用できなかった
全体	281 100.0	190 67.6	128 45.6	120 42.7	26 9.3	-	-	21 7.5	3 1.1	56 19.9	40 14.2	16 5.7	4 1.4
子どもの年齢別	0歳	10	50.0	50.0	30.0	10.0	-	-	-	20.0	20.0	30.0	-
	1~2歳	120	66.7	45.8	48.3	10.8	-	7.5	0.8	16.7	15.8	2.5	0.8
	3~5歳	150	69.3	45.3	38.7	8.0	-	7.3	1.3	22.7	12.7	6.0	2.0
	無回答	1	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-

(7) 子どもが1歳になるまで育児休業を取得する意向

問 32-1 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 32-7 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(それぞれ○は1つ)

図7-10 子どもが1歳になるまで育児休業を取得する意向〔全体〕



子どもが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業がある場合、「1歳になるまで育児休業を取得したい」(87.0%)が大部分を占めており、「1歳になる前に復帰したい」(5.1%)を大きく上回っている。

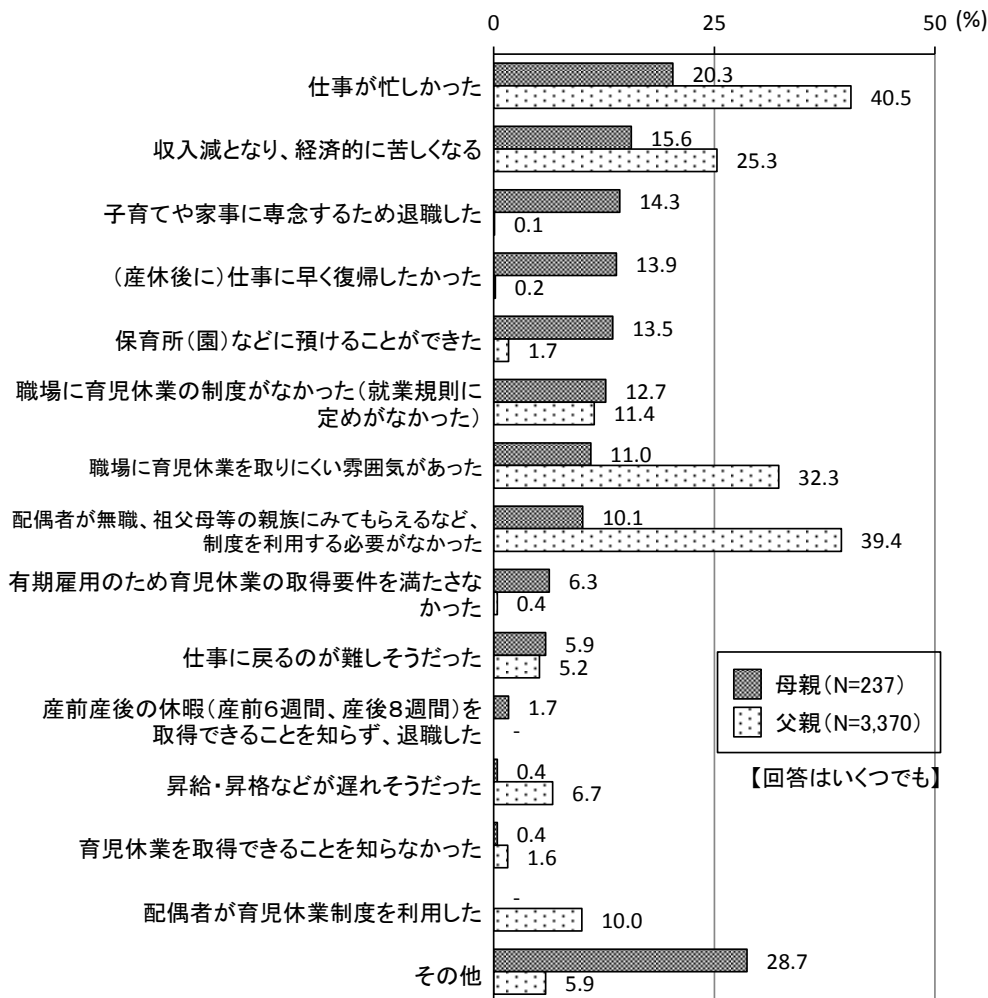
父親では該当者がいなかった。

3. 育児休業を利用しなかった理由

問 32 で「2. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

問 32-8 育児休業を取得されなかった理由はなぜですか。(枠内にあてはまる番号すべてを記入)

図 7-11 育児休業を取得しなかった理由 [全体]



母親が育児休業を取得しなかった理由は、「仕事が忙しかった」(20.3%)が最も多いが、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(15.6%)や「子育てや家事に専念するため退職した」(14.3%)など、多くの選択肢が1~2割となっており、理由は多岐にわたっている。

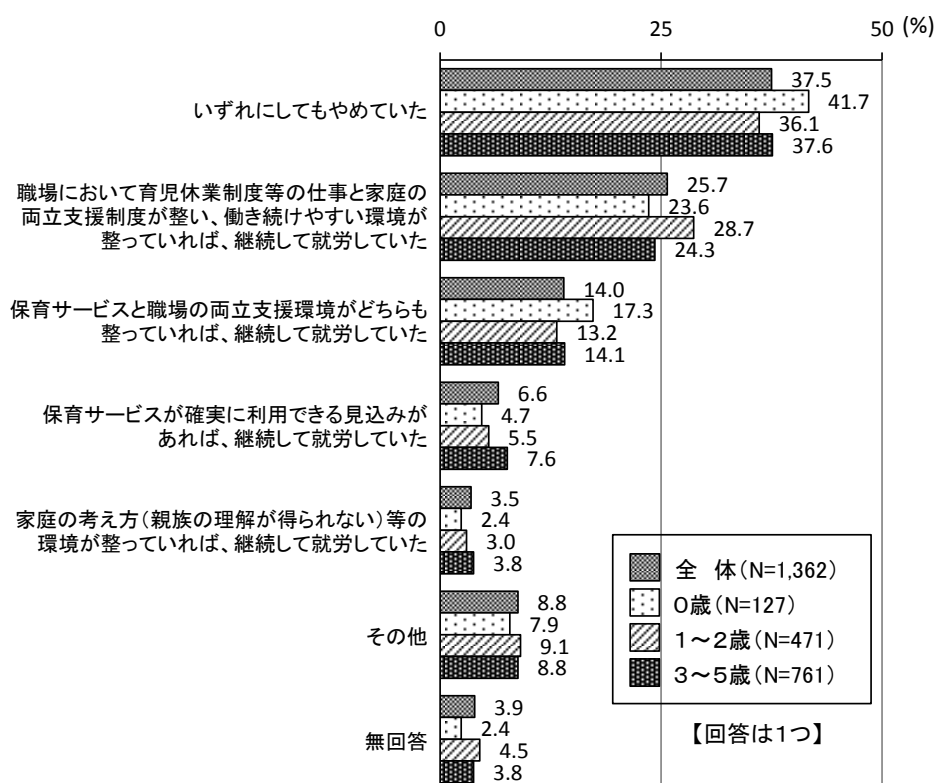
父親の場合は、「仕事が忙しかった」(40.5%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(39.4%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(32.3%)の順となっている。

4. 継続して就労するために必要な両立支援サービスや環境

問 32 で「3. 妊娠・出産を機に離職した」と回答した方および、問 32-1 で「3. 育児休業中に離職した」と回答した方にうかがいます。

問 32-9 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。(〇は1つ)

図7-12 継続して就労するために必要な両立支援サービスや環境 [全体、子どもの年齢別]



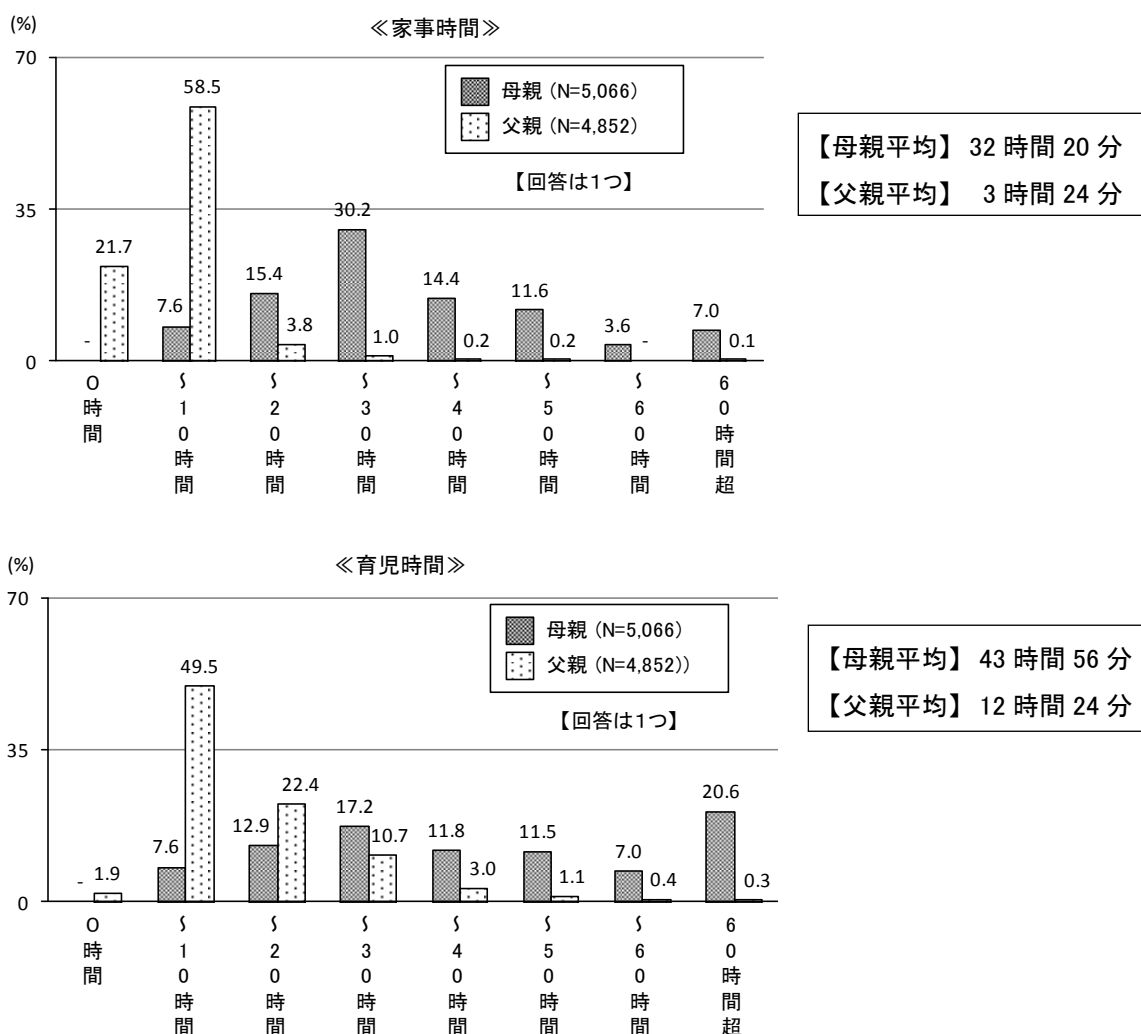
「妊娠・出産を機に離職した」や「育児休業中に離職した」場合に、仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら就労を継続したか否かは、「いずれにしてもやめていた」(37.5%)が最も多い。「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」(25.7%)と「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」(14.0%)、「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」(6.6%)を合わせると、5割近くは条件が整っていれば継続して就労していたとしている。

第8章 子育てに関する意識とかかわり

1. 家事・育児時間

問 43 あて名のお子さんの母親・父親の1週間の家事・育児時間はどれくらいですか。
 (1週間の時間を合計して枠内に記入)

図8-1 家事・育児時間



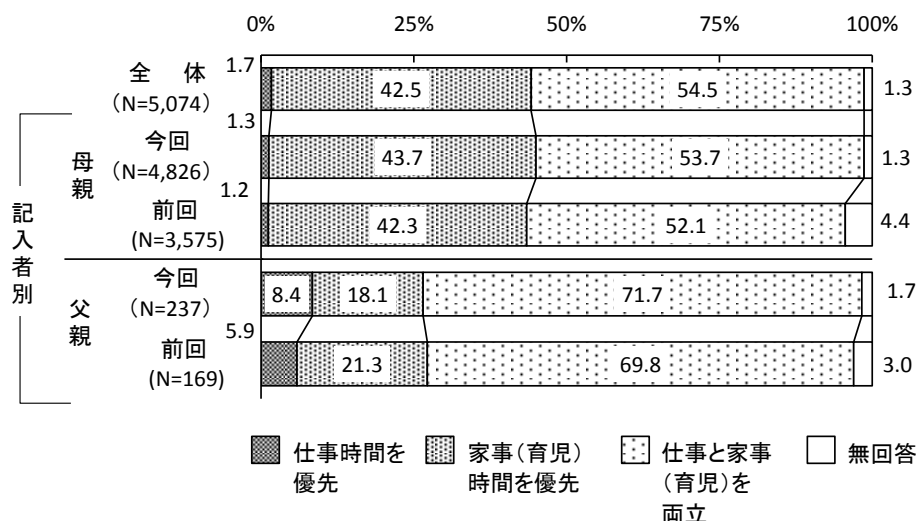
母親・父親の1週間の家事時間は、母親は、「～30時間」が30.2%、「～20時間」(15.4%)、「～40時間」(14.4%)、「～50時間」(11.6%)も1割を超えているのに対して、父親は「～10時間」(58.5%)が約6割、「0時間」も21.7%となっている。平均時間は母親が32時間20分、父親が3時間24分である。

育児時間では、母親は「～30時間」が17.2%、「～40時間」(11.8%)、「～50時間」(11.5%)も1割を超えているが、父親は「～10時間」が49.5%、「～20時間」が22.4%となっており、平均時間は母親43時間56分、父親12時間24分である。

2. 「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度

問31 あなたの生活の中での「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度についてお答えください。（それぞれ〇は1つ）

図8-2 希望する「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度 [全体、記入者別] (前回調査比較)



「仕事時間」と「家事（育児）時間」について、保護者が希望する優先順位は「仕事と家事（育児）を両立」（54.5%）の割合が最も高く、次いで「家事（育児）時間を優先」（42.5%）、「仕事時間を優先」（1.7%）となっている。

前回調査と比べると、母親、父親とも「仕事と家事（育児）を両立」がやや増えているが、父親では「仕事時間を優先」の増加もみられる。

記入者別にみると、母親、父親とも「仕事と家事（育児）を両立」が最も高いが、その割合は母親が53.7%、父親が71.7%と18ポイントの差がある。母親は「家事（育児）時間を優先」することを希望する人も43.7%いる。

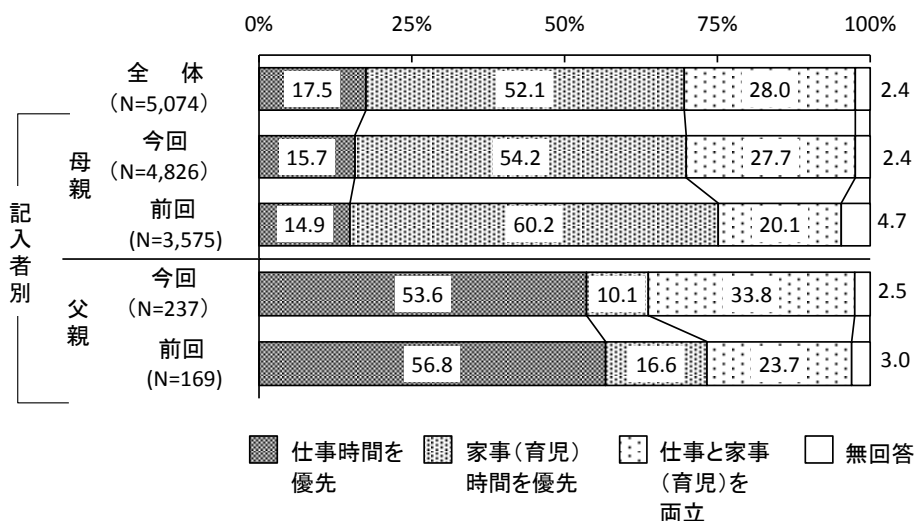
子どもの年齢別にみると、年齢が高くなるほど「仕事と家事（育児）を両立」することを希望する割合が若干増加する傾向がみられる。

母親の就労状況別にみると、『就労している』場合に「仕事と家事（育児）を両立」の割合が高くなっており、特に「フルタイムで就労」の場合には71.4%と7割を超えている。

表 8-1 希望する「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度
[全体、子どもの年齢別、母親の就労状況別]

			仕事時間を優先	家事（育児）時間を優先	仕事と家事（育児）を両立	無回答
全体		5,074 100.0	85 1.7	2,158 42.5	2,766 54.5	65 1.3
子どもの年齢別	0歳	501	1.0	46.1	51.5	1.4
	1～2歳	1,738	1.4	45.5	52.0	1.2
	3～5歳	2,827	1.9	40.1	56.6	1.3
	無回答	8	-	37.5	62.5	-
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,150	2.6	25.6	71.4	0.4
	パート・アルバイト等で就労	1,281	2.4	30.3	66.8	0.5
	以前は就労していたが、現在は就労していない	2,059	0.9	54.0	43.7	1.5
	これまで就労したことがない	432	0.7	67.8	28.7	2.8
	無回答	144	0.7	48.6	43.1	7.6

図 8-3 現実の「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度 [全体、記入者別]



現実の優先順位は「家事（育児）時間を優先」（52.1%）の割合が最も高く、次いで「仕事と家事（育児）を両立」（28.0%）、「仕事時間を優先」（17.5%）の順となっており、希望よりも家事優先になっている保護者が多い。

前回調査と比較すると、母親、父親とも「仕事と家事（育児）を両立」が約 8～10 ポイント高くなり、父親の場合「仕事時間を優先」が 3.2 ポイント減少している。

記入者別にみると、母親は「家事（子育て）時間を優先」（54.2%）、父親は「仕事時間を優先」（53.6%）がともに5割を超えて最も高くなっている。

子どもの年齢別にみると、年齢が低いほど「家事（育児）時間を優先」の割合が高くなっており「0歳」では60.7%と約6割を占めている。一方で年齢が上がるにつれて「仕事と家事（育児）を両立」の割合が高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」の場合には、「家事（育児）時間を優先」は12.3%と低く、「仕事と家事（育児）を両立」が45.0%となっており、全体の結果とは大きく異なっている。

表8-2 現実の「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度
[全体、子どもの年齢別、母親の就労状況別]

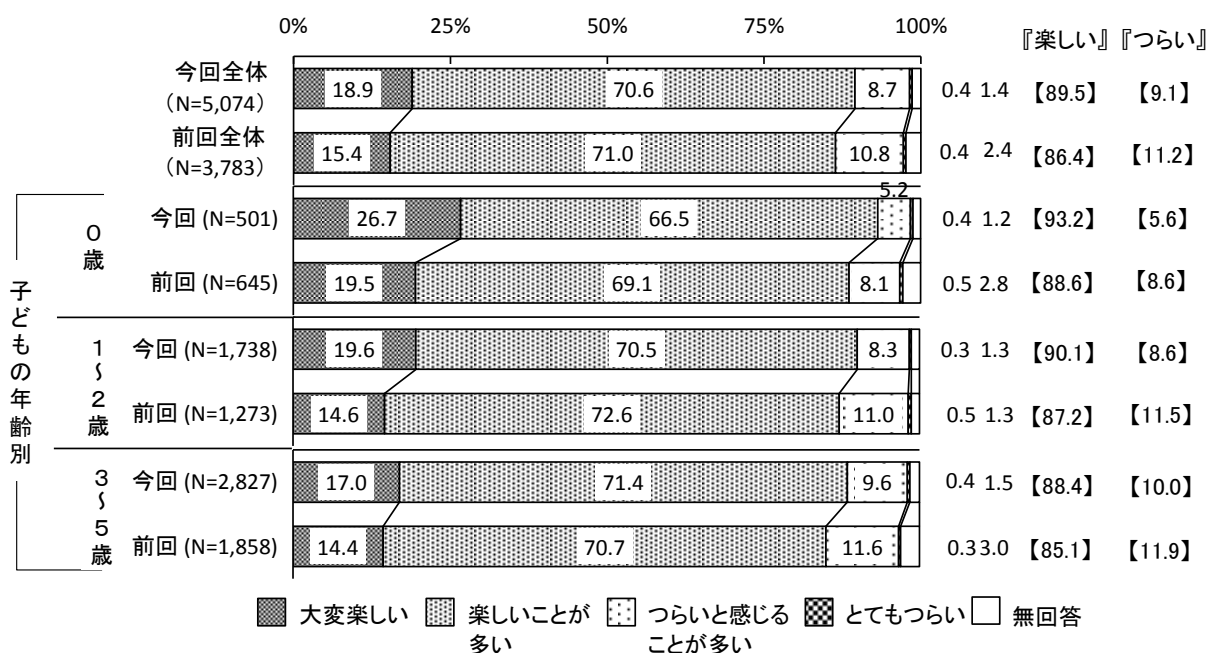
			仕事時間を優先	家事（育児）時間を優先	仕事と家事を両立	無回答
		標本数	(%)	(%)	(%)	(%)
全体		5,074	17.5	52.1	28.0	2.4
子どもの年齢別	0歳	501	17.0	60.7	18.0	4.4
	1～2歳	1,738	16.2	54.6	26.6	2.5
	3～5歳	2,827	18.3	49.1	30.6	2.0
	無回答	8	25.0	62.5	12.5	-
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,150	40.4	12.3	45.0	2.3
	パート・アルバイト等で就労	1,281	20.5	23.8	55.0	0.6
	以前は就労していたが、現在は就労していない	2,059	6.4	83.2	7.6	2.8
	これまで就労したことがない	432	3.0	88.4	4.6	3.9
	無回答	144	8.3	70.8	11.1	9.7

3. 母親の育児不安と父親の子育てへのかかわり

(1) 子育てを楽しんでいる割合

問 45 あなたは、子育てが楽しいですか。(〇は1つ)

図 8-4 子育てを楽しんでいる割合 [全体、子どもの年齢別] (前回調査比較)



子育ての楽しさについては、「楽しいことが多い」(70.6%)の割合が最も高く、約7割を占めている。次いで「大変楽しい」(18.9%)となっており、これらを合わせた『楽しい』と回答した人は89.5%となっており、大部分を占めている。

一方で、『つらい』(「つらいと感じることが多い」と「とてもつらい」の合計)とする保護者も9.1%と約1割存在している。

前回調査と比べると、子育てを『楽しい』と感じる割合は、全体で3.1ポイント増加しており、子どもが「0歳」で4.6ポイントと増加率が最も高い。

子どもの年齢別でみると、「つらいと感じることが多い」の割合は、子どもの年齢が高くなるほど増加している。「0歳」では「大変楽しい」が26.7%と他の年齢層に比べて高い割合になっている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」の場合に「大変楽しい」(24.7%)の割合が他の就労状況の人より高くなっている。「つらいと感じることが多い」は『就労している』場合よりも『専業主婦』の場合に高くなっている。

世帯分類別にみると、「ひとり親」世帯では「つらいと感じることが多い」が13.3%で他の世帯よりも高くなっている。

父親の子育ての程度別にみると、十分にやっているほど「大変楽しい」が高く、「つらいと感じることが多い」が低いという傾向がみられる。

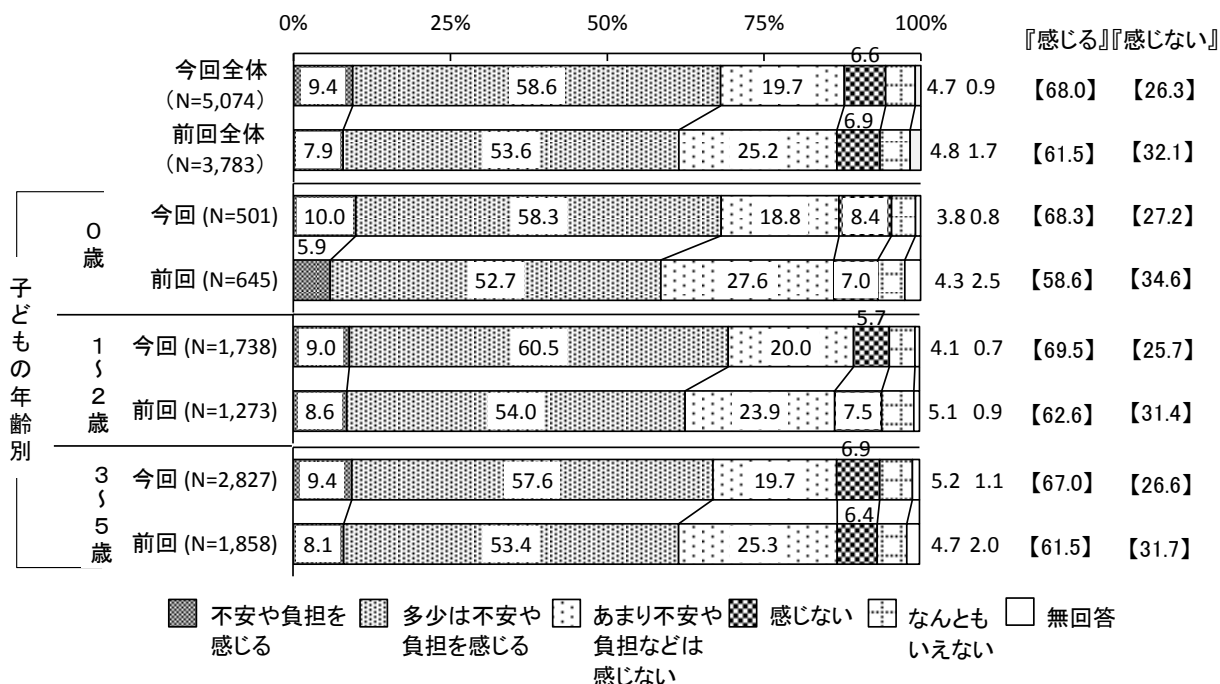
表8-3 子育てを楽しんでいる割合
[全体、母親の就労状況別、世帯分類別、父親の子育ての程度別]

			大変楽しい	楽しいことが多い	つらいと感じることが多い	とてもつらい	無回答	『楽しい』	『つらい』
全体		5,074 100.0	959 18.9	3,582 70.6	443 8.7	19 0.4	71 1.4	454.1 89.5	46.2 9.1
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,150	24.7	67.7	5.9	0.3	1.5	92.4	6.2
	パート・アルバイト等で就労	1,281	18.2	71.4	8.9	0.3	1.2	89.6	9.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	2,059	16.6	71.8	9.8	0.6	1.3	88.4	10.4
	これまで就労したことがない	432	18.3	69.9	10.2	-	1.6	88.2	10.2
	無回答	144	15.3	72.9	9.7	-	2.1	88.2	9.7
世帯分類別	三世帯	300	22.0	68.3	8.0	0.3	1.3	90.3	8.3
	核家族	4,510	18.9	70.9	8.6	0.4	1.3	89.8	9.0
	ひとり親	165	12.7	70.9	13.3	0.6	2.4	83.6	13.9
	ひとり親三世帯	65	13.8	72.3	9.2	-	4.6	86.1	9.2
	その他	34	35.3	50.0	8.8	-	5.9	85.3	8.8
父親の程度子育ての	十分にやっている	1,514	30.8	63.3	5.3	0.3	0.4	94.1	5.6
	十分とはいえないが、まあやっている	2,453	14.5	76.2	8.3	0.2	0.8	90.7	8.5
	かなり不足している	696	12.6	69.8	15.7	0.6	1.3	82.4	16.3
	全くやっていない	115	16.5	59.1	20.0	3.5	0.9	75.6	23.5
	無回答	74	1.4	56.8	2.7	-	39.2	58.2	2.7

(2) 子育てへの不安感

問 46 子育てに関して不安や負担などはお感じですか。(〇は1つ)

図 8-5 子育てへの不安感 [全体、子どもの年齢別] (前回調査比較)



子育ての不安については「多少は不安や負担を感じる」(58.6%)の割合が最も高く、約6割を占めており、次いで「あまり不安や負担などは感じない」(19.7%)、「不安や負担を感じる」(9.4%)、「感じない」(6.6%)となっており、不安や負担を『感じる』(「不安や負担を感じる」と「多少は不安や負担を感じる」の合計)が68.0%と約7割を占めており、不安や負担を『感じない』(「あまり不安や負担などは感じない」と「感じない」の合計)の26.3%を大きく上回っている。

前回調査と比べると、子育てに不安や負担を『感じる』割合は、6.5ポイント増加しており、「0歳」では58.6%から9.7ポイントと他の年齢に比べ上昇率は高くなっている。

子どもの年齢別にみても、大きな違いはみられない。

世帯分類別にみると、「ひとり親」世帯では「不安や負担を感じる」が17.6%と高くなっている。

父親の子育ての程度別にみると、父親が子育てをする程度が低いほど「不安や負担を感じる」割合が高くなっている。父親が子育てを「全くやっていない」場合には、不安や負担を『感じる』(79.2%)が約8割と非常に高くなっている。

表8-4 子育てへの不安感 [全体、世帯分類別、父親の子育ての程度別]

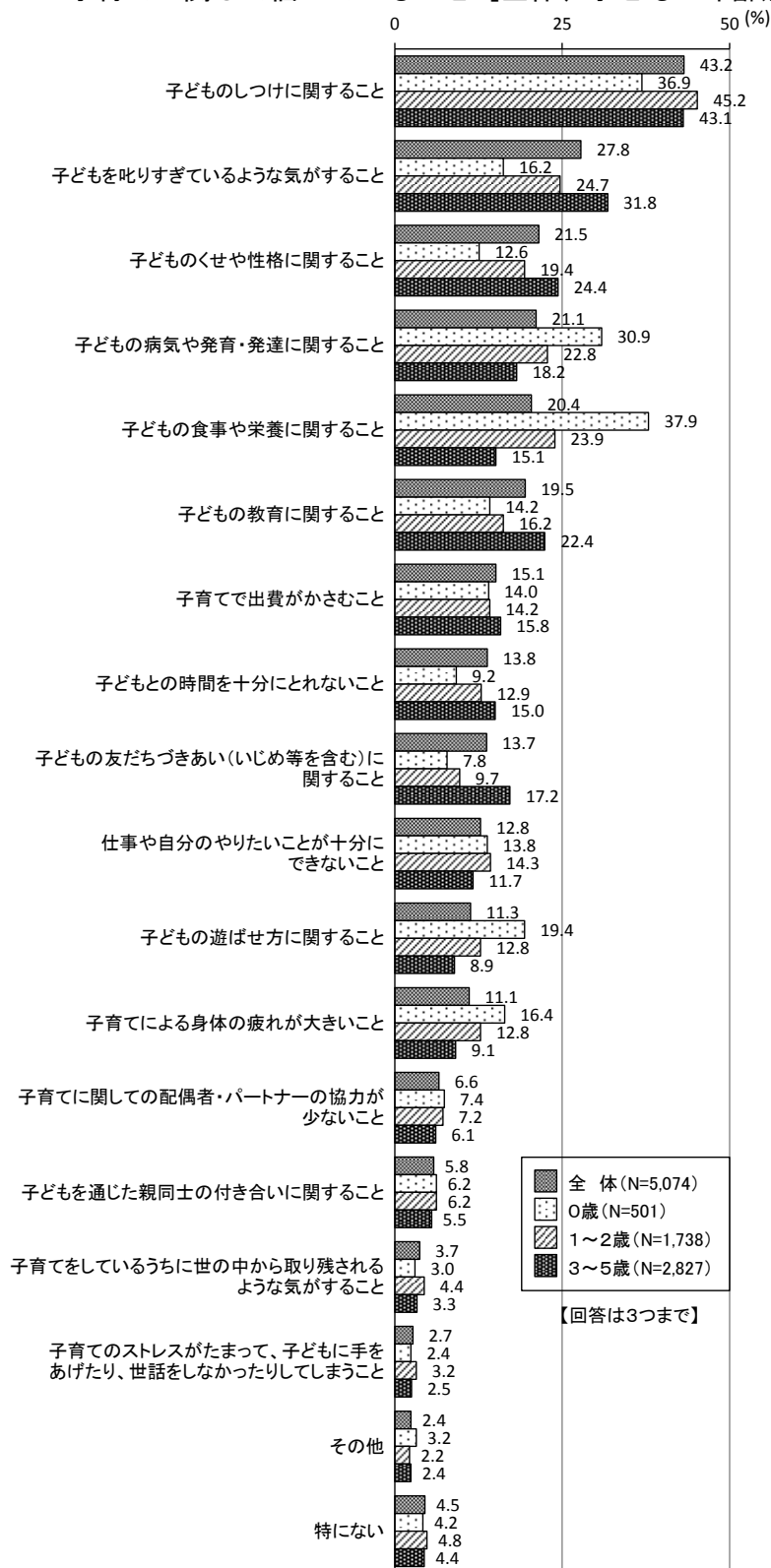
(%)

		標本数	不安や負担を感じる	多少は不安や負担を感じる	あまり不安や負担などは感じない	感じない	なんともいえない	無回答	『感じる』	『感じない』
全体		5,074 100.0	475 9.4	2,974 58.6	1,002 19.7	336 6.6	239 4.7	48 0.9	3,449 68.0	1,338 26.3
世帯分類別	三世代	300	7.0	54.3	22.0	10.7	4.7	1.3	61.3	32.7
	核家族	4,510	9.2	59.2	19.8	6.4	4.5	0.8	68.4	26.2
	ひとり親	165	17.6	52.1	17.0	3.6	7.9	1.8	69.7	20.6
	ひとり親三世代	65	10.8	55.4	12.3	9.2	9.2	3.1	66.2	21.5
	その他	34	8.8	52.9	14.7	8.8	8.8	5.9	61.7	23.5
父親の子育ての程度別	十分にやっている	1,514	6.1	55.7	23.1	10.7	4.2	0.2	61.8	33.8
	十分とはいえないが、まあやっている	2,453	8.4	61.7	19.6	5.4	4.6	0.3	70.1	25.0
	かなり不足している	696	16.1	59.1	15.4	3.7	5.5	0.3	75.2	19.1
	全くやっていない	115	23.5	55.7	12.2	3.5	4.3	0.9	79.2	15.7
	無回答	74	4.1	31.1	20.3	-	2.7	41.9	35.2	20.3

(3) 子育てに関して悩んでいること

問 47 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(〇は3つまで)

図 8-6 子育てに関して悩んでいること [全体、子どもの年齢別]



子育ての悩みについては「子どものしつけに関すること」(43.2%)の割合が最も高く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」と(27.8%)、「子どものくせや性格に関すること」(21.5%)、「子どもの病気や発育・発達に関すること」(21.1%)、「子どもの食事や栄養に関すること」(20.4%)の順となっている。

子どもの年齢別にみると、「子どもの病気や発育・発達に関すること」や「子どもの食事や栄養に関すること」「子どもの遊ばせ方に関すること」「子育てによる身体の疲れが大きいこと」などは年齢が低いほど割合が高くなっており、一方で「子どもの教育に関すること」や「子どもを叱りすぎているような気がする」「子どものくせや性格に関すること」「子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」「子どもとの時間を十分にとれないこと」などは年齢が高い方が割合も高くなっている。

母親の就労状況別にみると、差が大きいのは「子どもとの時間を十分にとれないこと」で、「フルタイムで就労」の場合には34.0%に達している。『専業主婦』では、「子育てをしているうちに世の中から取り残されるような気がする」とが約5%と若干高くなっている。

世帯分類別にみると、「三世代」と「核家族」では他の世帯に比べて、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が高くなっている。

子育ての不安感・負担感別にみると、不安や負担を感じている人では「子どもを叱りすぎているような気がする」とや「子どもの病気や発育・発達に関すること」「子どものくせや性格に関すること」「子育てで出費がかさむこと」「子育てによる身体の疲れが大きいこと」「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」「子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと」「子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと」など多くの項目で不安や負担を感じていない人よりも割合が高くなっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

表8-5 子育てに関して悩んでいること

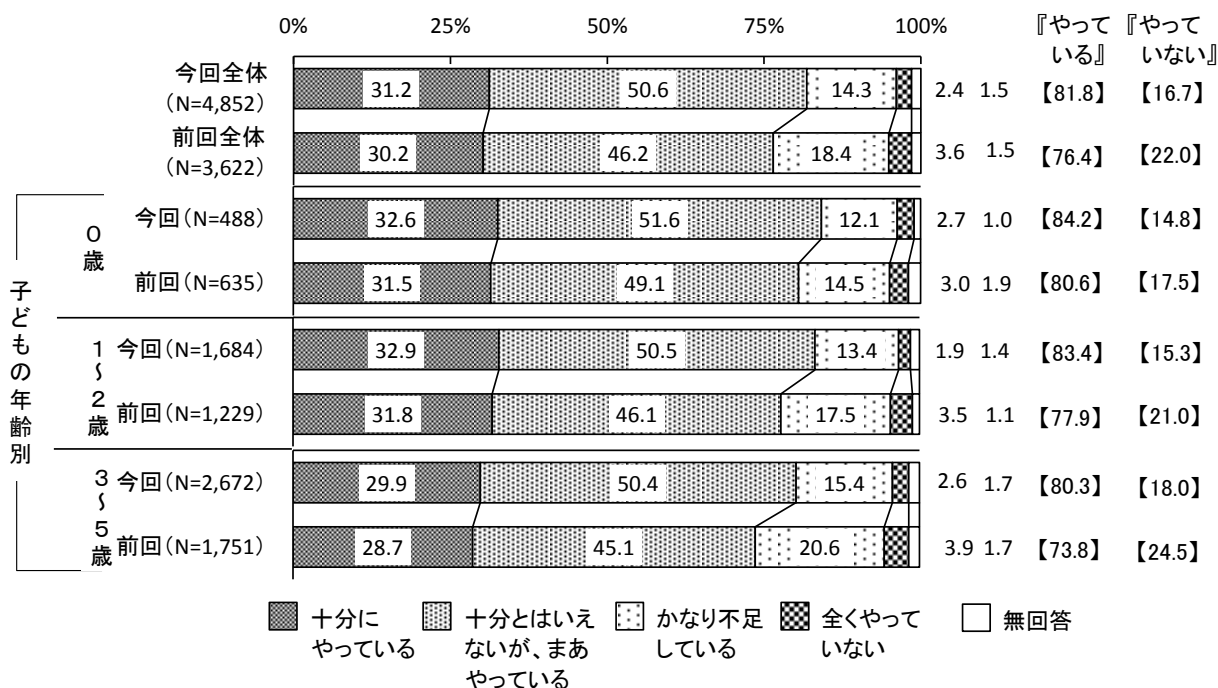
[全体、母親の就労状況別、世帯分類別、子育ての不安感・負担感別]

		標本数	子どもの病気や発育・発達に関すること	子どもの食事や栄養に関すること	子どもの遊ばせ方に関すること	子どものしつけに関すること	子どものくせや性格に関すること	子どもとの時間を十分に取れないこと	子どもの教育に関すること	子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	子育てに関する協力が少ないこと	仕事や自分のやりたくないことが十分にできないこと
全体		5,074 100.0	1,069 21.1	1,035 20.4	572 11.3	2,192 43.2	1,092 21.5	699 13.8	988 19.5	694 13.7	336 6.6	651 12.8
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,150	22.0	23.0	10.4	43.8	18.5	34.0	18.6	11.5	6.3	12.3
	パート・アルバイト等で就労	1,281	19.7	16.1	7.7	44.0	23.4	15.3	21.4	14.8	7.7	11.3
	以前は就労していたが、現在は就労していない	2,059	21.1	22.0	14.4	42.9	21.4	3.7	18.9	14.4	6.6	14.5
	これまで就労したことがない	432	22.7	20.6	8.8	42.4	23.1	5.3	19.7	14.4	4.6	10.0
	無回答	144	18.8	13.9	11.8	40.3	25.0	6.9	17.4	9.0	6.3	13.9
世帯分類別	三世代	300	21.7	19.7	9.7	44.0	24.0	17.0	18.7	19.0	4.7	12.3
	核家族	4,510	20.9	20.5	11.5	43.5	21.1	13.0	19.6	13.3	6.9	13.2
	ひとり親	165	23.0	13.9	8.5	36.4	26.7	24.2	17.6	13.3	4.8	6.1
	ひとり親三世代	65	18.5	26.2	6.2	33.8	26.2	21.5	16.9	12.3	3.1	9.2
	その他	34	35.3	35.3	14.7	41.2	20.6	17.6	17.6	14.7	8.8	8.8
子育ての不安感・負担感別	不安や負担を感じる	475	24.0	15.6	8.4	34.3	21.7	12.0	17.1	13.3	14.3	18.1
	多少は不安や負担を感じる	2,974	22.5	20.9	12.1	46.6	23.8	14.9	20.2	13.9	6.9	14.7
	あまり不安や負担などは感じない	1,002	18.5	22.5	11.6	41.4	19.2	13.6	19.5	14.9	3.4	9.0
	感じない	336	12.8	20.2	8.6	31.0	11.3	8.6	17.3	9.8	2.1	5.7
	なんともいえない	239	21.8	18.4	10.5	48.5	19.7	13.0	20.9	14.6	9.2	7.5
	無回答	48	14.6	4.2	2.1	18.8	6.3	8.3	6.3	4.2	2.1	4.2
		標本数	子育てで残されること	子育てで世の中をやる気が取れないこと	子どもの世の中をやる気が取れないこと	子育てのストレスがたまり、世話をしなかつたりしてしまうこと	子育てで出費がかさむこと	子育てによる身体が疲れが大きいこと	子どもの付き合いた親すること	その他	特になし	無回答
全体		5,074 100.0	187 3.7	1,410 27.8	138 2.7	765 15.1	561 11.1	293 5.8	124 2.4	228 4.5	43 0.8	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	1,150	1.2	23.7	1.9	11.7	8.5	3.9	2.6	3.3	0.8	
	パート・アルバイト等で就労	1,281	1.0	29.5	3.0	17.2	9.1	5.9	2.7	5.1	0.9	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	2,059	6.6	28.8	2.9	15.9	12.8	7.0	2.5	4.3	0.8	
	これまで就労したことがない	432	4.4	29.9	2.8	14.1	14.4	5.1	1.4	6.0	1.2	
	無回答	144	4.2	25.7	3.5	14.6	13.2	4.2	1.4	6.9	1.4	
世帯分類別	三世代	300	2.7	23.7	2.7	15.0	8.3	4.7	2.0	6.0	1.3	
	核家族	4,510	3.9	28.2	2.7	15.0	11.4	5.8	2.4	4.5	0.7	
	ひとり親	165	1.2	27.9	4.2	17.0	10.3	6.7	3.6	4.8	1.2	
	ひとり親三世代	65	3.1	27.7	1.5	20.0	6.2	6.2	7.7	1.5	3.1	
	その他	34	2.9	14.7	2.9	11.8	2.9	5.9	-	-	5.9	
子育ての不安感・負担感別	不安や負担を感じる	475	4.8	35.4	11.6	18.9	22.9	5.1	5.3	0.4	0.2	
	多少は不安や負担を感じる	2,974	4.2	32.0	2.5	15.6	12.2	5.8	2.2	1.3	0.2	
	あまり不安や負担などは感じない	1,002	2.5	18.8	0.5	12.2	5.7	6.3	2.0	9.1	0.3	
	感じない	336	0.9	11.0	0.3	14.9	4.2	3.3	2.1	25.9	0.6	
	なんともいえない	239	4.2	27.6	1.7	15.1	7.9	8.8	2.5	3.3	0.8	
	無回答	48	-	-	-	8.3	-	2.1	-	4.2	62.5	

(4) 父親の子育ての評価

問 44 あなたのご家庭では、父親はどの程度子育てをしていますか。(〇は1つ)

図 8-7 父親の子育てへの評価 [全体、子どもの年齢別] (前回調査比較)



父親の子育てについては、「十分とはいえないが、まあやっている」(50.6%)の割合が最も高く、次いで「十分にやっている」(31.2%)、「かなり不足している」(14.3%)、「全くやっていない」(2.4%)の順となっており、『やっている』(「十分にやっている」と「十分とはいえないが、まあやっている」の合計)と回答した人は約8割(81.8%)となっている。一方で『やっていない』(「かなり不足している」と「まったくやっていない」の合計)が2割弱(16.7%)となっている。

前回調査と比べて父親は子育てを『やっている』と評価する割合は、5.4ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、「十分にやっている」の割合が子どもの年齢が高くなるほど低くなる傾向がみられる。

母親の就労状況別にみると、『やっている』の割合は「フルタイムで就労」の場合には85.0%で他の就労状況に比べて高くなっている。

表 8 - 6 父親の子育てへの評価 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	十分にやっている	が、十分とはいえない まあやっていない	かなり不足している	全くやっていない	無回答	『やっている』	『やっていない』
全体		4,852 100.0	1,514 31.2	2,453 50.6	696 14.3	115 2.4	74 1.5	3,967 81.8	811 16.7
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	1,062	37.9	47.1	11.5	2.0	1.5	85.0	13.5
	パート・アルバイト等で就労	1,201	27.7	53.0	15.4	2.4	1.4	80.7	17.8
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	2,023	30.8	50.2	15.1	2.5	1.4	81.0	17.6
	これまで就労したことがない	425	27.5	52.2	16.0	2.1	2.1	79.7	18.1
	無回答	133	26.3	56.4	10.5	4.5	2.3	82.7	15.0

(%)

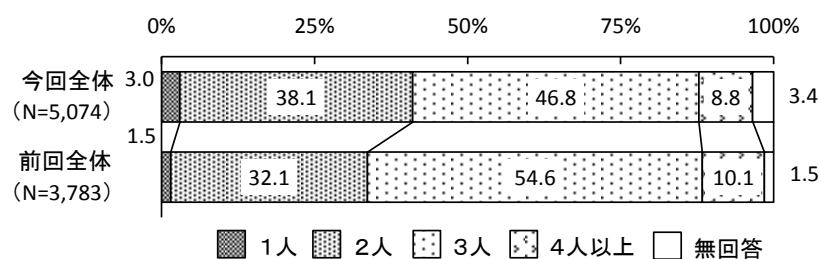
4. ほしいと思っている子どもの数と実際の子どもの数

(1) ほしい子どもの数と理想の子どもの数

問 42 あなたが、ほしいと思っている子どもの数は何人ですか。

また、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(枠内に数字を記入)

図 8-8 ほしいと思っている子どもの数 [全体] (前回調査比較)



※前回調査では「0人」(0.1%)の項目があり

ほしいと思っている子どもの数について「3人」(46.8%)の割合が最も高く、半数近くを占めている。次いで「2人」(38.1%)となっており、この2つで回答の8割以上を占めている。

前回調査に比べて「2人」が6ポイント増加し「3人」が7.8ポイント減少している。

母親の就労状況別にみると、「これまで就労したことがない」場合に「4人以上」が12.0%と他の就労状況よりも若干高くなっている。

世帯分類別にみると、「ひとり親三世代」では「1人」が24.6%と他の分類よりも際立って高くなっている。

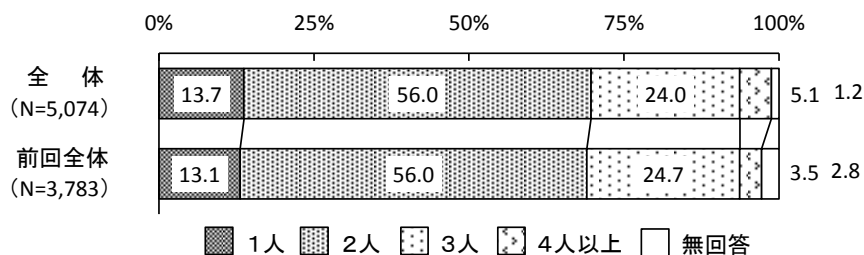
父親の子育ての程度別でみると、「全くやっていない」場合に「3人」や「4人以上」とする割合が高くなっている。

表 8-7 ほしいと思っている子どもの数

[全体、母親の就労状況別、世帯分類別、父親の子育ての程度別]

		(%)					
		標 本 数	1 人	2 人	3 人	4 人 以 上	無 回 答
全 体		5,074 100.0	150 3.0	1,931 38.1	2,377 46.8	446 8.8	170 3.4
母親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	1,150	2.2	36.8	49.0	8.4	3.6
	パート・アルバイト等で就労	1,281	3.1	35.4	47.9	10.1	3.5
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	2,059	3.3	40.7	45.7	7.4	2.9
	これまで就労したことがない	432	2.3	37.5	45.1	12.0	3.0
	無回答	144	5.6	35.4	43.8	9.7	5.6
世 帯 分 類 別	三世代	300	2.0	35.7	45.0	13.7	3.7
	核家族	4,510	2.5	38.6	47.9	8.4	2.5
	ひとり親	165	8.5	35.2	27.9	12.1	16.4
	ひとり親三世代	65	24.6	21.5	27.7	6.2	20.0
	その他	34	-	38.2	47.1	2.9	11.8
父 親 の 子 育 て の 程 度 別	十分にやっている	1,514	2.3	37.9	48.5	9.4	1.8
	十分とはいえないが、 まあやっている	2,453	2.6	40.3	46.6	7.8	2.7
	かなり不足している	696	2.3	35.9	48.9	9.9	3.0
	全くやっていない	115	4.3	28.7	51.3	12.2	3.5
	無回答	74	1.4	23.0	50.0	5.4	20.3

図8-9 実際に予定している子どもの数 [全体] (前回調査比較)



一方で、実際に予定している子どもの数は「2人」(56.0%)が半数を超えており、次いで「3人」(24.0%)となっている。ほしいと思っている子どもの数よりも少なくなっている。

母親の就労状況別にみると、「1人」の割合は『就労している』場合には15%前後、『専業主婦』では10%前後となっている。「これまでに就労したことがない」場合には、「3人」や「4人以上」の割合が他の就労状況よりも高くなっている。

世帯分類別にみると、「三世帯」では「3人」や「4人以上」の割合が他の世帯より多い。父親の子育ての程度とは、明確な関連性はみられない。

表8-8 実際に予定している子どもの数
[全体、母親の就労状況別、世帯分類別、父親の子育ての程度別]

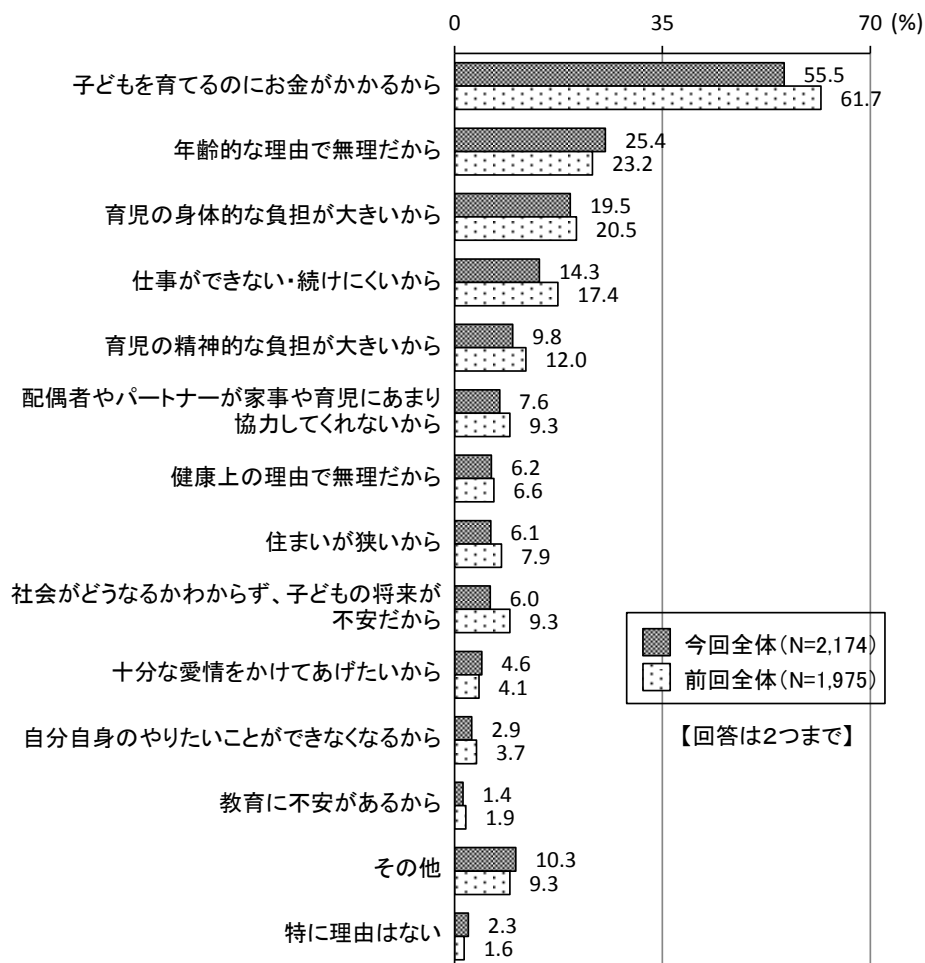
		標本数	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全体		5,074 100.0	694 13.7	2,843 56.0	1,217 24.0	258 5.1	62 1.2
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	1,150	16.0	54.8	23.5	4.0	1.7
	パート・アルバイト等で就労	1,281	14.4	55.0	23.3	6.2	1.0
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	2,059	12.7	58.8	23.6	3.9	1.0
	これまで就労したことがない	432	9.0	53.5	27.5	9.3	0.7
	無回答	144	15.3	43.8	29.9	7.6	3.5
世帯 分類 別	三世帯	300	12.0	47.3	30.3	9.3	1.0
	核家族	4,510	12.3	57.8	24.3	4.7	1.0
	ひとり親	165	37.0	36.4	13.9	7.9	4.8
	ひとり親三世帯	65	55.4	24.6	7.7	1.5	10.8
	その他	34	20.6	55.9	11.8	8.8	2.9
父親 の 度 子 育 て の 別	十分にやっている	1,514	10.7	57.5	26.0	5.2	0.7
	十分とはいえないが、 まあやっている	2,453	13.1	57.4	23.6	4.8	1.1
	かなり不足している	696	12.8	57.2	23.9	5.2	1.0
	全くやっていない	115	14.8	48.7	28.7	6.1	1.7
	無回答	74	13.5	54.1	23.0	6.8	2.7

(2) 理想より実際の子どもの数が少ない理由

問 42 で、ほしいと思っている子どもの数よりも、実際に予定している子どもの数が少ない方
にうかがいます。

問 42-1 その理由はどのようなことですか。(〇は2つまで)

図 8-10 理想より実際の子どもの数が少ない理由 [全体] (前回調査比較)



理想の子どもの数よりも実際に予定している子どもの数が少ない場合に、その理由をたずねたところ、「子どもを育てるのにお金がかかるから」(55.5%)が5割強を占め圧倒的に多い。次いで「年齢的な理由で無理だから」(25.4%)、「育児の身体的な負担が大きいから」(19.5%)、「仕事ができない・続けにくいから」(14.3%)の順になっている。

前回調査と比べると、「子どもを育てるのにお金がかかるから」は6.2ポイント減少しており、ほとんどの項目で割合は前回調査よりも低くなっている。

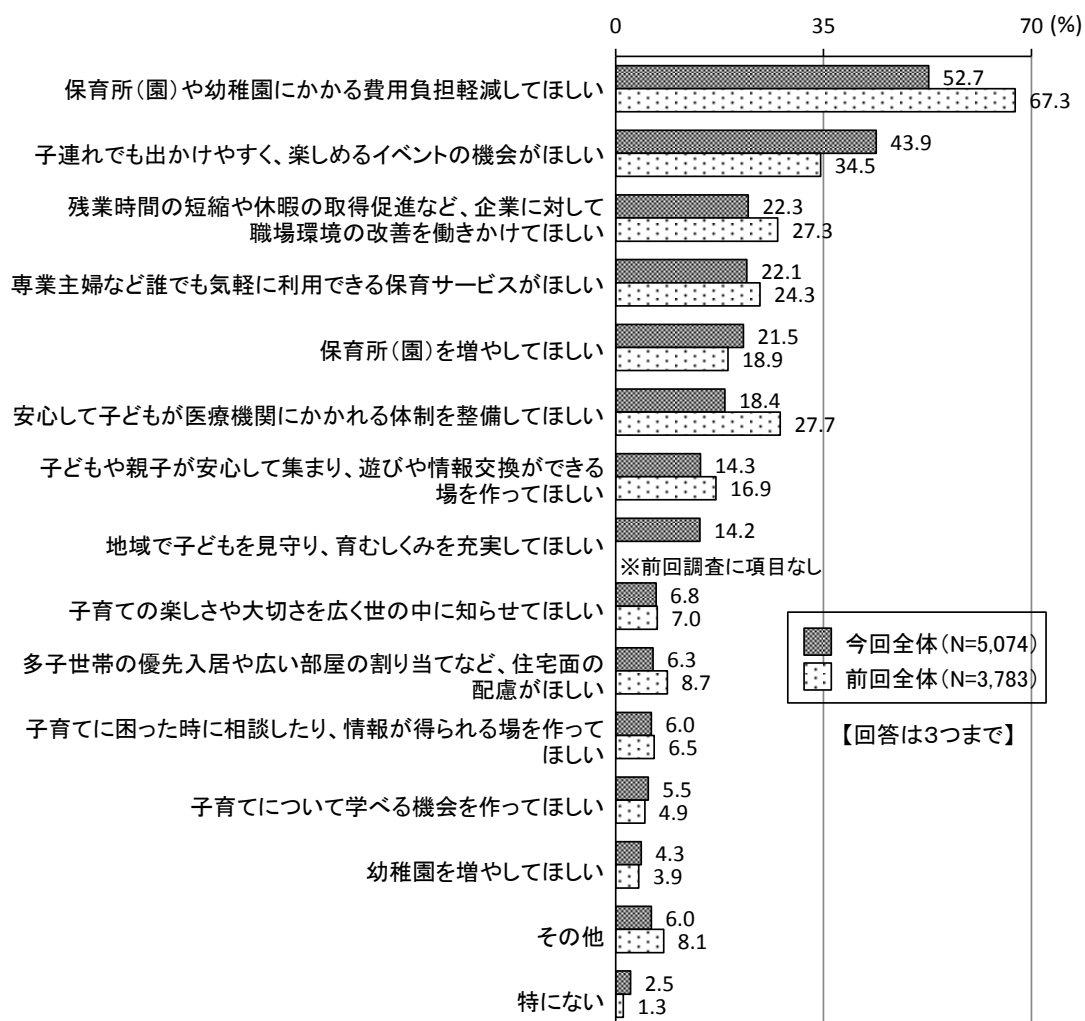
子どもの年齢別にみると、「子どもを育てるのにお金がかかるから」は「0歳」や「1～2歳」で約6割と高い。

第9章 行政への要望

1. 充実してほしい子育て支援

問 48 あなたは今後どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。
(〇は3つまで)

図9-1 充実してほしい子育て支援 [全体] (前回調査比較)



充実すべき子育て支援施策については、「保育所(園)や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」(52.7%)の割合が約5割で最も高く、次いで「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」(43.9%)、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」(22.3%)、「専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」(22.1%)、「保育所(園)を増やしてほしい」(21.5%)となっており、保育所等の事業に関わる要望が多くなっている。

前回調査と比べると、「保育所（園）や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」が14.6ポイント、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が9.3ポイント減少し、「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベント」が9.4ポイント増加している。

子どもの年齢別にみると、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」や「地域で子どもを見守り、育むしくみを充実してほしい」は、子どもの年齢が高くなるほど割合も高くなっている。「保育所（園）を増やしてほしい」は年齢が低いほど割合は高くなっている。

母親の就労状況別にみると、『就労している』場合には「保育所（園）を増やしてほしい」が、『専業主婦』の場合には「専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」が高くなっている。また、「フルタイムで就労」している場合には「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」の割合が36.3%と高くなっている。

世帯分類別にみると、「三世代」と「核家族」では「保育所（園）や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」が約5割と高くなっている。「ひとり親」の場合には「多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい」が14.5%とやや高くなっている。

II 乳幼児の保護者調査結果

表9-1 充実してほしい子育て支援[全体、子どもの年齢別、母親の就労状況別、世帯分類別]

			(%)											
		標本数	交換が てほし い	子ども や遊び 場を作 作情報 し	子ども の機会 がほし い	子ども 連れで 出かけ やす く楽し めるイ ベント す	地域で 子ども を見守 りほし い	子育て に困ら ない	子育て に困ら ない	保育所 (園)を 増やし てほし い	幼稚園 を増や してほ し	保育所 (園)の 費用や 負担を 軽減し てほし い	専業主 婦など 誰でも 保育が できる 気	
全体		5,074 100.0	724 14.3	2,228 43.9	718 14.2	303 6.0	1,091 21.5	220 4.3	2,675 52.7	1,122 22.1				
子どもの 年齢別	0歳	501	16.6	46.1	9.6	7.0	36.1	6.4	58.3	23.2				
	1~2歳	1,738	15.1	46.7	11.5	6.4	26.3	6.0	55.6	25.7				
	3~5歳	2,827	13.4	41.8	16.6	5.5	15.9	2.9	50.0	19.7				
	無回答	8	-	37.5	12.5	12.5	50.0	12.5	37.5	25.0				
母親の 就労状 況別	フルタイムで就労	1,150	11.4	41.0	16.1	5.3	32.4	1.4	51.0	4.5				
	パート・アルバイト等で就労	1,281	10.7	40.7	16.0	6.1	24.5	2.4	51.3	11.5				
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	2,059	17.1	47.5	12.1	6.5	16.6	6.4	55.9	35.5				
	これまで就労したことがない	432	18.1	45.6	12.5	5.6	8.8	7.4	48.4	35.0				
	無回答	144	17.4	39.6	16.0	2.8	17.4	6.3	47.9	28.5				
世帯分 類別	三世帯	300	14.3	45.0	12.7	3.3	20.3	4.0	50.0	18.0				
	核家族	4,510	14.4	44.1	14.2	6.0	21.4	4.4	54.1	23.3				
	ひとり親	165	9.1	38.8	13.9	9.7	24.8	1.2	29.1	3.6				
	ひとり親三世帯	65	12.3	40.0	18.5	6.2	26.2	6.2	33.8	7.7				
	その他	34	23.5	47.1	11.8	2.9	23.5	8.8	41.2	20.6				
		標本数	整備 機関心 してほ し	安心 な環境 がほし い	子ども の安全 がほし い	多世帯 の優 先配 慮がほ し	善い 環境 がほし い	残業 者の 就業 促進 がほし い	子育て に困ら ない	子育て に困ら ない	子育て に困ら ない	その他	特 に な い	無 回 答
全体		5,074 100.0	935 18.4	321 6.3	1,134 22.3	343 6.8	277 5.5	303 6.0	129 2.5	71 1.4				
子どもの 年齢別	0歳	501	13.0	6.2	27.9	3.6	6.6	3.4	1.4	0.8				
	1~2歳	1,738	13.6	6.0	22.6	6.3	5.5	6.2	1.6	1.0				
	3~5歳	2,827	22.4	6.5	21.3	7.6	5.3	6.3	3.4	1.7				
	無回答	8	25.0	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-				
母親の 就労状 況別	フルタイムで就労	1,150	19.8	6.5	36.3	6.4	5.3	8.3	1.8	2.1				
	パート・アルバイト等で就労	1,281	22.5	9.5	20.7	8.1	5.8	5.6	3.7	1.4				
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	2,059	15.4	4.5	18.4	6.2	5.2	5.4	1.5	0.9				
	これまで就労したことがない	432	18.1	5.6	11.8	6.5	6.5	4.9	4.6	1.9				
	無回答	144	16.0	4.9	14.6	5.6	4.9	2.8	6.3	2.1				
世帯分 類別	三世帯	300	24.7	4.7	17.0	10.0	6.7	4.3	5.0	2.3				
	核家族	4,510	18.1	6.1	22.6	6.3	5.3	6.1	2.2	1.3				
	ひとり親	165	18.8	14.5	25.5	12.7	6.7	6.7	7.3	3.0				
	ひとり親三世帯	65	18.5	7.7	26.2	10.8	4.6	6.2	4.6	-				
	その他	34	8.8	8.8	14.7	8.8	14.7	-	5.9	2.9				

2. 自由意見

(1) 子ども施策に関する取り組みについての意見・要望

◆教育・保育環境の充実や子育て支援など、福岡市の子ども施策に関する取り組みに関して福岡市へのご意見がございましたら、自由にご記入ください。

回答者 2,223 人から 2,991 件の意見があげられている。主な項目を整理すると、以下のとおりである。

◆保育園について	778 件
・ 保育園の増設・待機児童の解消	277
・ 保育料の軽減・補助	124
・ 保育園入園・継続条件の緩和	108
・ 保育士の増員、待遇の充実	59
・ 受け入れ時間の延長	41
・ 保育内容の充実	39
・ 土曜・日曜、長期休暇に預かってほしい	23
・ 中央保育園の移転について	19
・ 年度途中に入園できるようにしてほしい	16
・ 保育園の施設の整備、環境の充実	16
・ 病児・病後児保育の充実	15
・ 保育園の定員を増やしてほしい	11
・ 入所の決定が遅い、手続きをもっと簡単に	10
・ 一時預かりを充実させてほしい	7
・ 相談窓口の充実	4
・ その他	9
◆幼稚園について	270 件
・ 保育料の軽減・補助	124
・ 市立幼稚園の存続	38
・ 幼稚園の増設	32
・ 受け入れ時間の延長、土曜・日曜・長期休暇に預かってほしい	17
・ 入園の困難さ、入園枠の拡張	12
・ 保育内容の充実（英語教育に力をいれる、保育レベルの統一など）	9
・ 教員について（人数と待遇の充実、教員の教育など）	8
・ 認定こども園について（幼稚園と保育園を一体化した施設がほしい）	8
・ 1・2歳児の受け入れ制度について	6
・ 保育期間の拡充	4
・ 病児保育を併設してほしい	3
・ 施設の整備（駐車場など）	2
・ その他	7

II 乳幼児の保護者調査結果

◆学校・教育について	162 件
・学童保育について（利用時間の延長、利用条件の緩和など）	47
・教育内容の充実	31
・放課後の遊び場づくり事業の充実（教室・校庭の利用など）	18
・校区割の見直しを	16
・低料金で利用できる習い事教室を	8
・給食の充実	7
・土曜日授業を開始してほしい	7
・環境の整備	7
・施設の整備（校舎、エアコン、トイレなど）	6
・保護者の負担解消（PTA、育成会など）	5
・学校側の対応について	5
・その他	5
◆一時預かり	145 件
・病児・病後児の受け入れ体制の充実	69
・緊急時の預かり場所の設置	39
・気軽に預けられる場所の設置（親のリフレッシュなど）	16
・利用しやすい料金設定	14
・土曜日・日曜日の預かり場所の設置	5
・ベビーシッターの充実（時間など）	2
◆児童館、子どもプラザについて	234 件
・児童館や子どもプラザの増設	83
・雨天時にも遊べる屋内の施設がほしい	81
・駐車場の整備	23
・利用者の声、子どもプラザへの意見	18
・施設の充実（遊具や広さ、対象年齢が低すぎるなど）	15
・利用日や時間の拡張	8
・子ども向けの体験学習や講座を開いてほしい	2
・その他	4
◆公園、公的施設について	225 件
・公園の管理・整備（トイレや遊具の充実、清掃、安全など）	94
・公園の増設	63
・公民館（子育てサロン、サークルなど）	46
・図書館の充実	12
・公的施設について	8
・その他	2
◆住環境・安全面について	113 件
・道路・歩道の整備	44
・公共交通機関でのベビーカーや子ども連れへの配慮	36

・エレベーターがないなどベビーカーでの移動に不便	13
・自動車・自転車のマナーが悪い	9
・その他	11
◆医療費助成など経済的支援について	391 件
・子どもの医療費助成制度の拡充	209
・子育て世帯・ひとり親・多児家庭への助成	83
・予防接種費用の助成・無料化	35
・第3子優遇制度について（拡充を希望 21 件、助かっている 10 件）	31
・教育費負担の軽減・無料化	19
・申請・給付手続きの簡素化	7
・不妊治療への支援	5
・その他	2
◆保健・医療について	85 件
・療育の充実	30
・夜間・休日・緊急対応	20
・健診について	17
・小児科等の増設	9
・市立こども病院について	4
・病院・医院の時間延長	3
・その他	2
◆仕事と子育ての両立支援	85 件
・仕事と子育ての両立ができる職場の環境整備、企業への働きかけ	50
・雇用、働き方について	13
・育児休業制度・時間短縮制度をとりやすくする	12
・緊急時に有給休暇をとりやすい環境に	6
・その他	4
◆相談・交流・情報	207 件
・子育てに関する情報の提供	94
・イベントの充実、交流	89
・育児相談窓口の充実・母子巡回	24
◆ファミリー・サポート・センター事業について	13 件
・もっと利用しやすくしてほしい	4
・緊急時に利用できない	2
・料金が高い	2
・土・日でも登録できるように	1
・サポート会員が少ない	1
・その他（情報を提供してほしい等）	3

◆その他の意見	283 件
・ 社会環境・地域	53
・ 市の施策・事業に対する意見	47
・ 民間施設・店舗などについて	42
・ 市の職員の対応	41
・ アンケートについて	23
・ 住宅について	15
・ 親に対して	11
・ 自然環境について	8
・ その他	43

(2) 子どもに身に付けてもらいたいこと

◆子どもをどのように育てたいと思いますか。また、就学前の教育・保育によって、子どもにどのようなことを身に付けてもらいたいですか。自由にご記入ください。

回答者 2,670 人から 4,478 件の意見があげられている。主な項目を整理すると、以下のとおりである。

	(件)
・ 思いやり、やさしさ、友達思い、感謝の気持ち	690
・ 健康に、のびのびと育てほしい、素直さ、明るさ	584
・ 協調性、社会性、集団生活に適応してほしい、他人との関わり方、コミュニケーション能力	582
・ 挨拶などマナーやルール、礼儀正しさ、常識がある、人の話を聞ける、人に迷惑をかけない	555
・ 自立できる、基本的な生活習慣、自主性、生きていく力、たくましさ、自分を守る力	408
・ 基礎体力、友達と遊んでほしい、自然の中で遊んでほしい、体を動かしてほしい	321
・ 学力をつける、勉強してほしい、外国語、習い事	283
・ 感情の豊かさ、自己肯定感、自分をもっている、個性、自分の意見を言える	226
・ 色々な経験をしてほしい、様々なことに興味を持ってほしい	147
・ 物事の判断力(善悪など)、道徳、自分がされて嫌なことは他人にもしない、うそをつかない	122
・ がんばること、集中力、積極性、がまん、向上心	107
・ 自分の得意なこと、好きなことをしてほしい、夢を持ってほしい	98
・ 人に愛される子、友達が多い子	38
・ 就学前に勉強をさせたくない、テレビやゲームばかりの生活をしない、昔のような子育て	38
・ 楽しく幸せに育てほしい	35
・ 子どもと一緒にいる時間を増やし、ゆとりをもって育てたい	28
・ 地域の人と子どもを育てたい	28
・ 就学準備	26
・ 物を大事にする、生き物や自然を大事にする	18
・ 人の役に立ってほしい、社会貢献をしてほしい	15
・ 普通に育てほしい	9
・ 食育	9
・ その他	111

Ⅲ

小学生の保護者調査結果

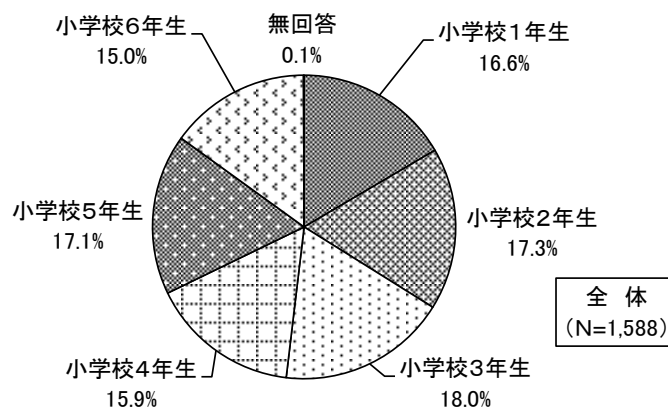
Ⅲ 小学生の保護者調査結果

第1章 対象児童及び家庭の概況

1. 対象者と回答者の基本特性

(1) 対象児童の学年

図1-1 対象児童の学年 [全体]

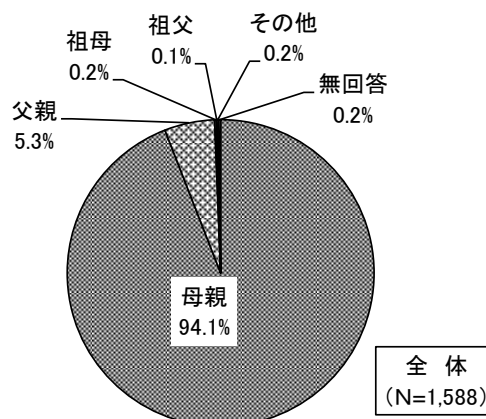


子どもの学年の内訳は、1年生263名(16.6%)、2年生275名(17.3%)、3年生286名(18.0%)、4年生253名(15.9%)、5年生272名(17.1%)、6年生238名(15.0%)となっている。

小学生の場合は全6学年であるが、本報告書では「1～3年生」824名(51.9%)と「4～6年生」763名(48.0%)に分けて、学年別の分析を行った。

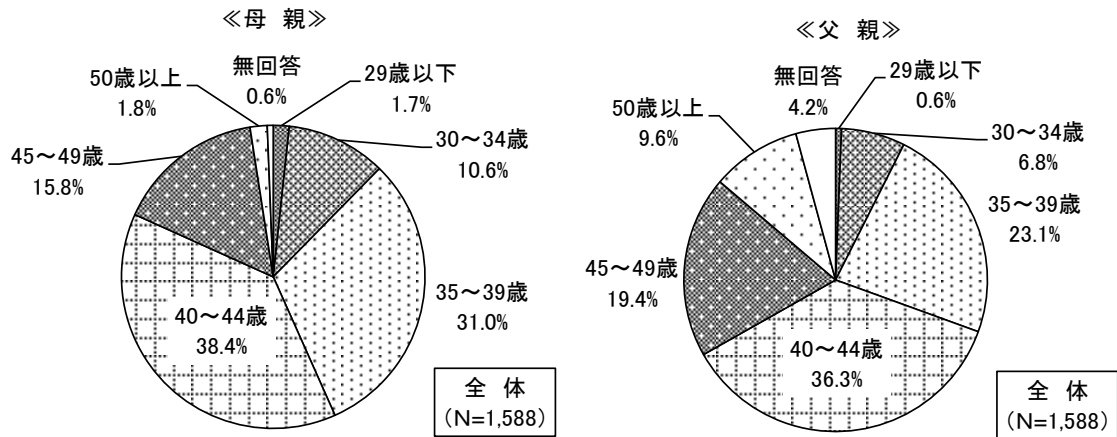
(2) 調査回答者と父親・母親の年齢

図1-2 調査回答者 [全体]



アンケート調査の回答者は、「母親」が94.1%と大部分を占めており、「父親」は5.3%と少ない。そのため、今回の分析結果はそのほとんどが「母親」からみた子どもの生活状況や子育てに関する意識ということになり、結果をみる際にはその点に留意が必要である。

図 1 - 3 母親、父親の年齢 [全体]

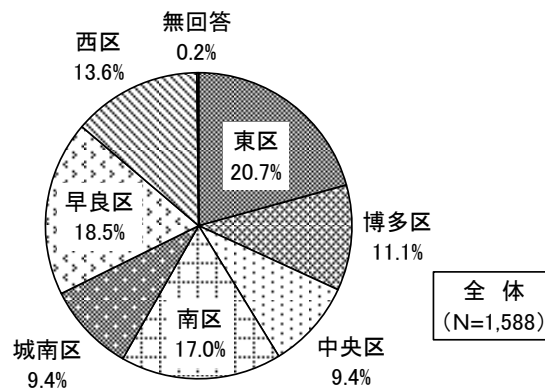


調査対象者児童の母親、父親の年齢については、母親が「40～44歳」が38.4%、「35～39歳」が31.0%、「45～49歳」が15.8%となっており、「30～34歳」が10.6%となっている。

父親は「40～44歳」が36.3%、「35～39歳」が23.1%、「45～49歳」が19.4%、「50歳以上」が9.6%である。

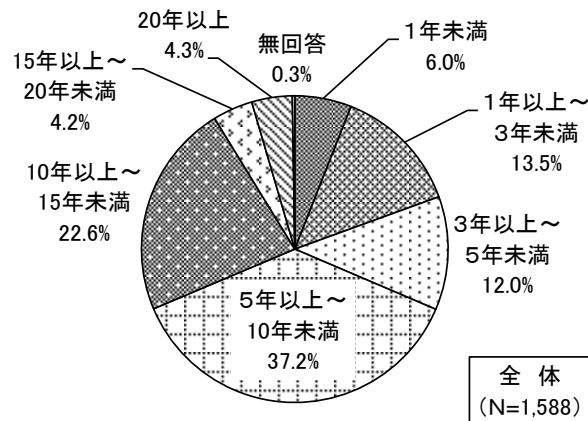
(3) 居住地区と居住年数

図 1 - 4 居住地区 [全体]



回答者の居住地区は、「東区」(20.7%)、「早良区」(18.5%)、「南区」(17.0%)が2割程度、「西区」(13.6%)、「博多区」(11.1%)、「城南区」(9.4%)が1割程度となっている。

図1-5 居住年数 [全体]

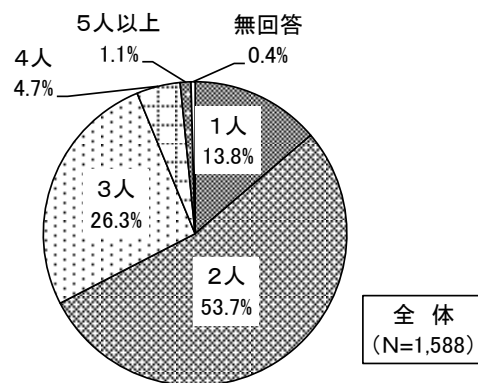


居住年数については「5年以上～10年未満」が37.2%と最も多く、次いで「10年以上～15年未満」が22.6%となっている。「1年以上～3年未満」(13.5%)と「3年以上～5年未満」(12.0%)は1割台となっており、「1年未満」(6.0%)をあわせた『5年未満』は31.5%である。

2. 家庭の概況

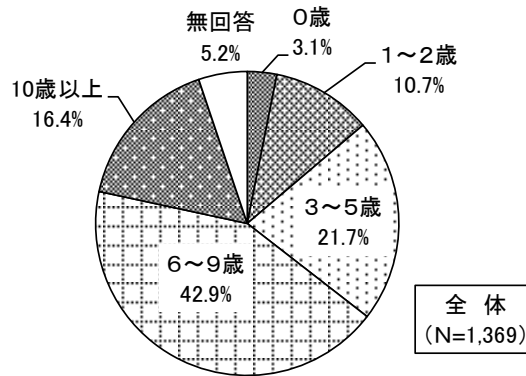
(1) 子どもの数と同居・近居状況

図1-6 子どもの数 [全体]



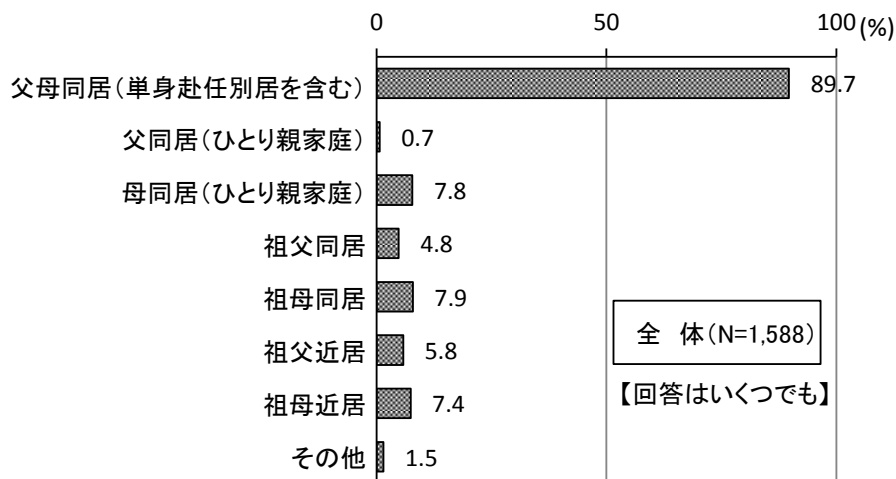
子どもの数は、「2人」が53.7%と約半数を占め最も多い。次いで「3人」(26.3%)、「1人」(13.8%)、「4人以上」(4.7%)となっており、8割以上がきょうだいのいる家庭となっている。

図 1-7 末子の年齢 [全体]



末子の年齢は「6～9歳」(42.9%)が最も多く、次いで「3～5歳」(21.7%)、「10歳以上」(16.4%)、「1～2歳」(10.7%)の順となっている。

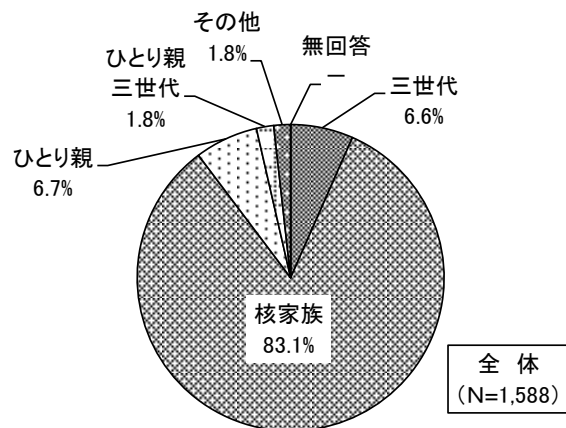
図 1-8 子どもとの同居・近居状況 [全体]



子どもとの同居・近居状況は、「父母同居(単身赴任別居を含む)」が89.7%と大部分を占めている。「母同居(ひとり親家庭)」(7.8%)と「父同居(ひとり親家庭)」(0.7%)を合わせた『ひとり親家庭』は8.5%となっている。

祖父母等の同居・近居の状況を見ると、「祖母同居」(7.9%)と「祖母近居」(7.4%)が同程度の割合となっている。

図1-9 世帯分類 [全体]



「核家族」: 父母と子どもの世帯

「三代目」: 「核家族」に祖父母が同居(祖父母いずれかのみも含む)している世帯

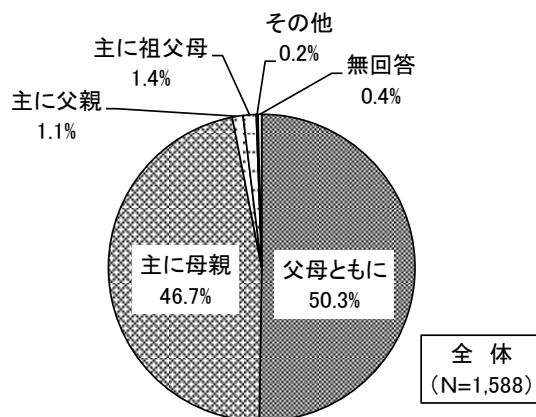
「ひとり親」: 父親と子ども、母親と子どもの世帯

「ひとり親三代目」: 「ひとり親」に祖父母が同居(祖父母いずれかのみも含む)している世帯

世帯分類をみると、「核家族」(83.1%)が全体の約8割を占めている。次いで「三代目」(6.6%)、「ひとり親」(6.7%)、「ひとり親三代目」(1.8%)となっている。

(2) 子どもの世話

図1-10 子どもの世話 [全体]



主に子育てを行っているのは、「父母ともに」が50.3%で最も多く、次いで「主に母親」で46.7%であり、この2つが回答の大部分を占めている。

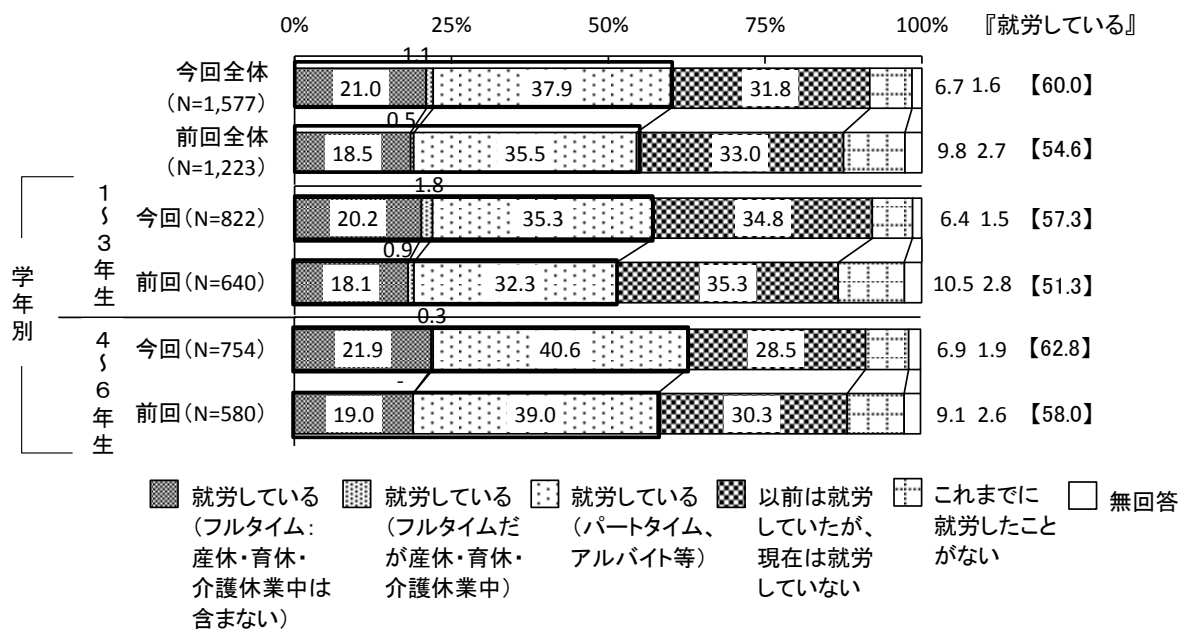
第2章 保護者の就労状況

1. 母親の就労状況

(1) 母親の就労状況

問10 母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。
 （○は1つ）【該当しない場合は記載不要です。】

図2-1 母親の就労状況〔全体、学年別〕（前回調査比較）



母親の就労状況を見ると、「就労している(パートタイム、アルバイト等)」が 37.9%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 31.8%、「就労している(フルタイム:産休・育休・介護休業中は含まない)」が 21.0%となっている。

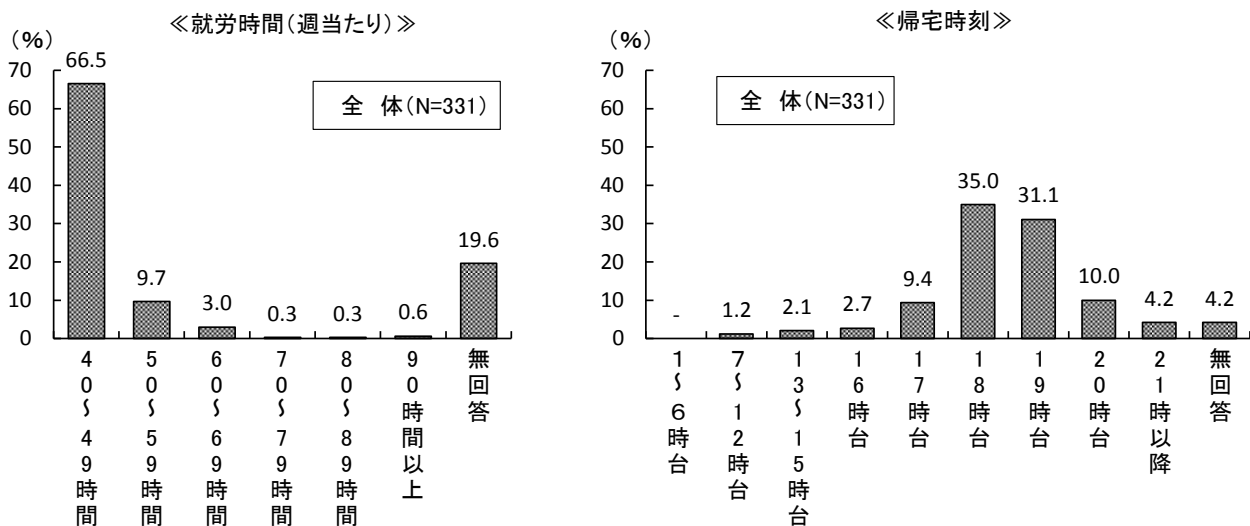
なお、「就労している(フルタイム:産休・育休・介護休業中は含まない)」と「就労している(フルタイムだが産休・育休・介護休業中)」(1.1%)、「就労している(パートタイム、アルバイト等)」を合わせた (以下、『就労している』という)割合は 60.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「これまで就労したことがない」(6.7%)を合わせた (以下、『専業主婦』という)割合は 38.5%である。

前回調査(平成21年に実施された「次世代育成支援に関するアンケート調査」と比較すると、1~3年生、4~6年生とも『就労している』人は約5~6ポイント増加している。

学年別にみると、1~3年生で母親が『就労している』人は 57.3%、4~6年生では 62.8%と学年が上がると就労する母親も多くなっている。

①母親の就労時間と帰宅時刻

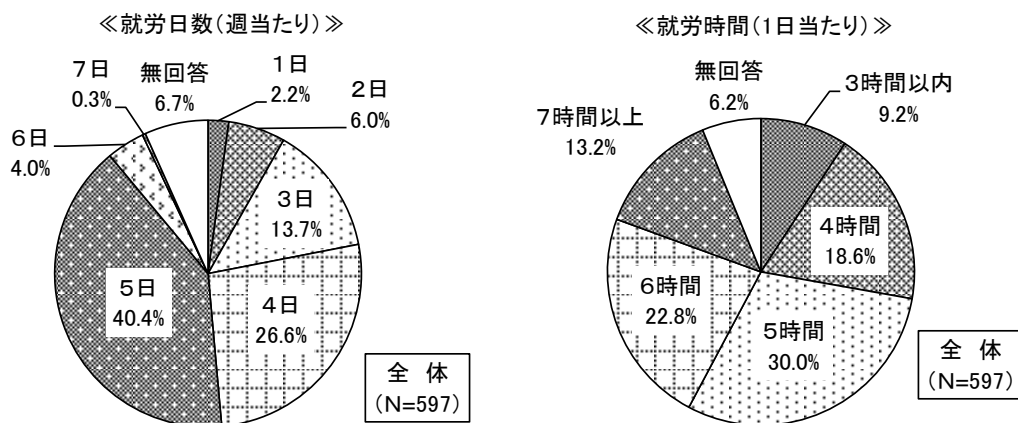
図2-2 母親の就労時間と帰宅時刻（フルタイム）[全体]



フルタイム就労の母親の1週間当たりの平均就労時間は「40～49時間」(66.5%)が最も高く、7割近くを占めている。次いで「50～59時間」(9.7%)、「60～69時間」(3.0%)の順となっている。

フルタイム就労の母親の就労平均帰宅時刻は「18時台」(35.0%)と「19時台」(31.1%)が3割台と多い。

図2-3 母親の就労日数と就労時間（パートタイム・アルバイト）[全体]

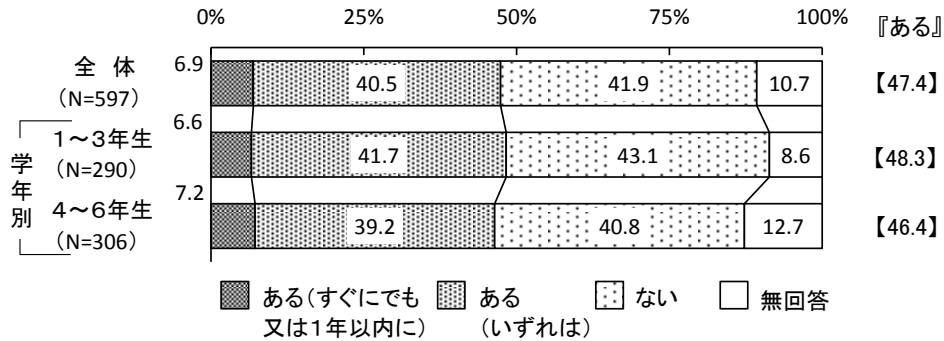


パートタイム・アルバイト就労の母親の週当たり就労日数は「5日」(40.4%)が最も多く、約4割を占めている。次いで「4日」が26.6%、「3日」が13.7%の順となっている。

パートタイム・アルバイト就労の母親の1日当たり就労時間は「5時間」が30.0%と最も多く、次いで「6時間」(22.8%)、「4時間」(18.6%)、「7時間以上」(13.2%)の順となっている。

②パートタイムからフルタイムへの転換希望

図2-4 フルタイムへの転換希望（パートタイム・アルバイト）[全体、学年別]



パートタイム・アルバイト就労の母親のフルタイムへの転換希望は「ある（いずれは）」(40.5%)とある（すぐにも又は1年以内に）」(6.9%)を合わせた『ある』は47.4%であり、「ない」の41.9%を若干上回っている。

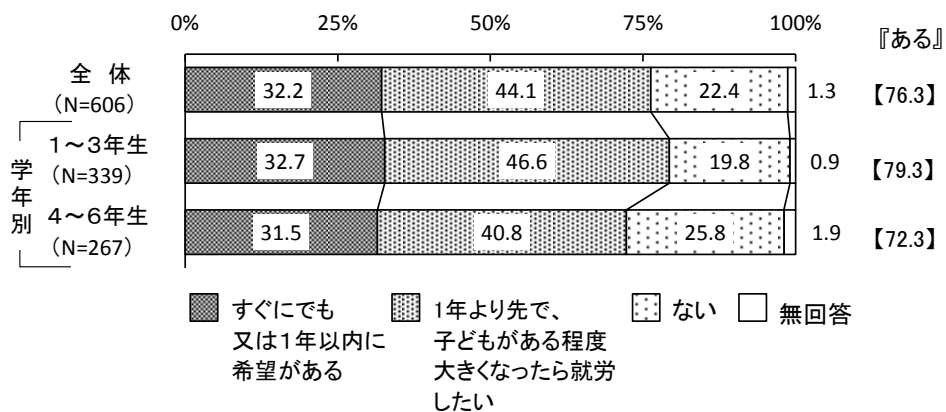
学年別にみると、1～3年生の母親は「ある（いずれは）」(41.7%)が、4～6年生の母親は「ある（すぐにもまたは1年以内に）」(7.2%)がやや高くなっている。

(2) 母親の就労希望

問10で「4」または「5」を選んだ方にうかがいます。

問10-1 母親の就労希望はありますか。(○は1つ)

図2-5 現在働いていない母親の就労希望 [全体、学年別]



現在働いていない母親の就労希望状況は「1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい」が44.1%と最も高く、次いで「すぐにでも又は1年以内に希望がある」が32.2%となっており、これらを合わせた就労希望が『ある』と回答した人は76.3%と8割近くの人が今後の就労を希望している。

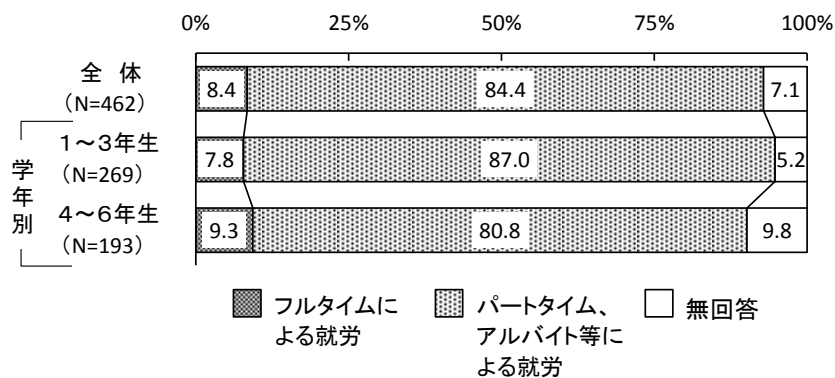
学年別にみると、1～3年生の母親で『ある』が79.3%と、4～6年生の母親（72.3%）を7ポイント上回っている。

(3) 希望する就労形態

問10-1で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。

問10-2 就労希望の形態はどのようなものですか。(○は1つ)

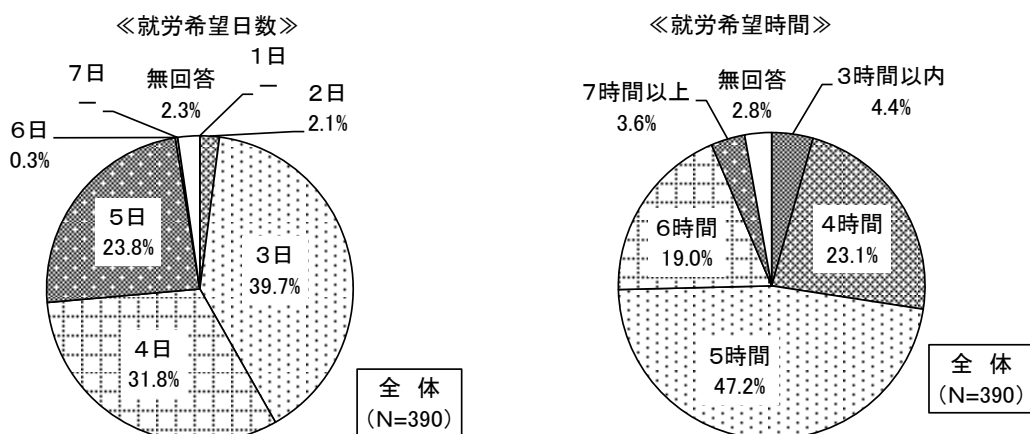
図2-6 希望する就労形態 [全体、学年別]



今後、就労希望がある母親の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等による就労」が84.4%と圧倒的に多い。「フルタイムによる就労」の希望者は8.4%にとどまる。

学年別にみると、4～6年生の母親で「フルタイムによる就労」(9.3%)がやや高い。

図2-7 パートタイム・アルバイト等の就労を希望する人の1週間当たりの就労希望日数と就労希望時間 [全体]



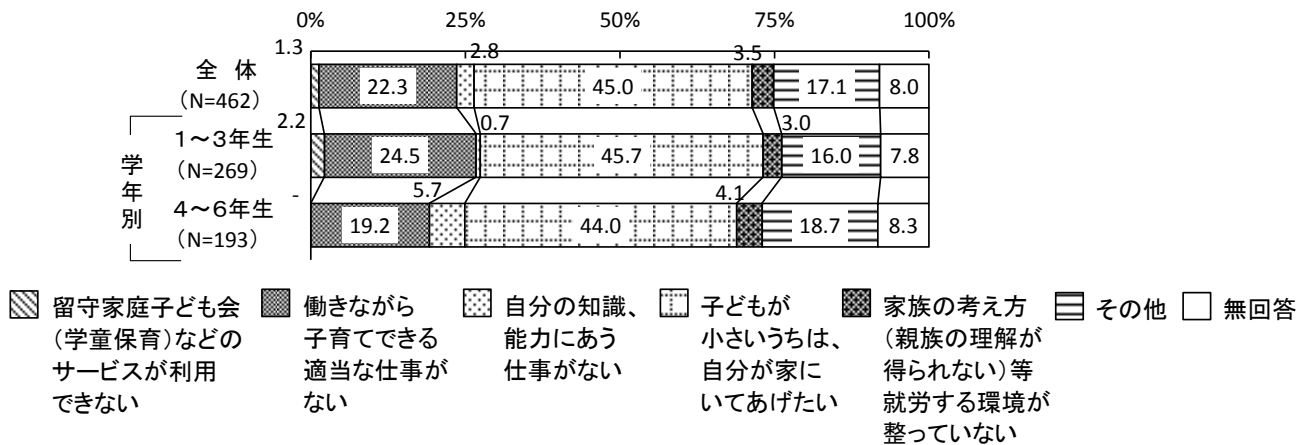
今後、就労希望がある母親で、パートタイム、アルバイトなどの就労希望がある人の1週間当たりの就労希望日数は、「3日」(39.7%)の割合が最も高く、次いで「4日」(31.8%)、「5日」(23.8%)の順となっている。

パートタイム、アルバイトなどの就労希望がある人の1日当たりの就労希望時間は、「5時間」の割合が47.2%と非常に高く、次いで「4時間」(23.1%)、「6時間」(19.0%)の順となっており、『5時間以内』を希望している人は7割強(74.7%)となっている。

(4) 就労希望がありながら働いていない理由

問10-3 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(〇は1つ)

図2-8 就労希望がありながら働いていない理由 [全体、学年別]



就労希望がありながら働いていない理由としては「子どもが小さいうちは自分が家にいてあげたい」(45.0%)が最も高く、また「働きながら子育てできる適当な仕事がない」(22.3%)も約2割を占めている。

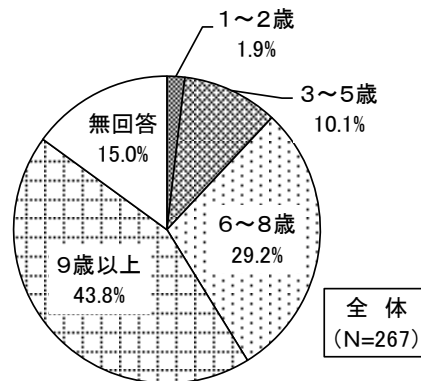
学年別にみると、1~3年生の母親では「働きながら子育てできる適当な仕事がない」(24.5%)、4~6年生の母親では割合は低い「自分の知識、能力にあう仕事がない」(5.7%)がやや高くなっている。

(5) 下の子どもが何歳で就労を希望するか

問10-1で「2」を選んだ方にうかがいます。

問10-4 あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。(枠内に数字を記入)

図2-9 下の子どもが何歳で就労を希望するか [全体]

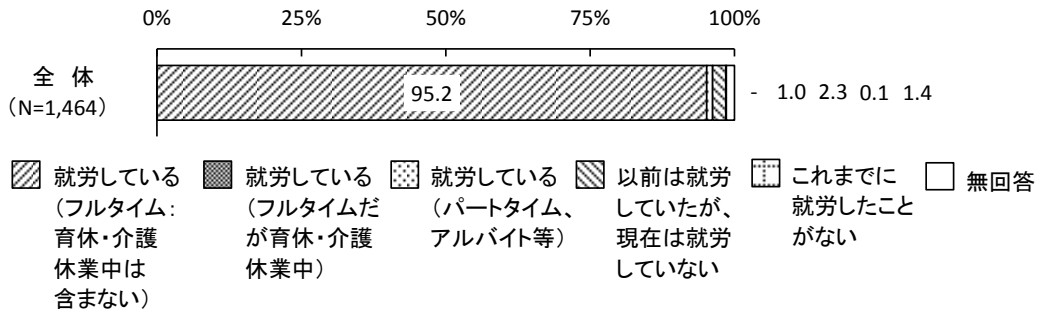


今後、就労希望がある母親で就労を希望する末子の年齢は、「9歳以上」(43.8%)が最も高く、「6~8歳」(29.2%)「3~5歳」(10.1%)の順となっている。

2. 父親の就労状況

問9 父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、選んでください。
 （〇は1つ）【該当しない場合は記載不要です。】

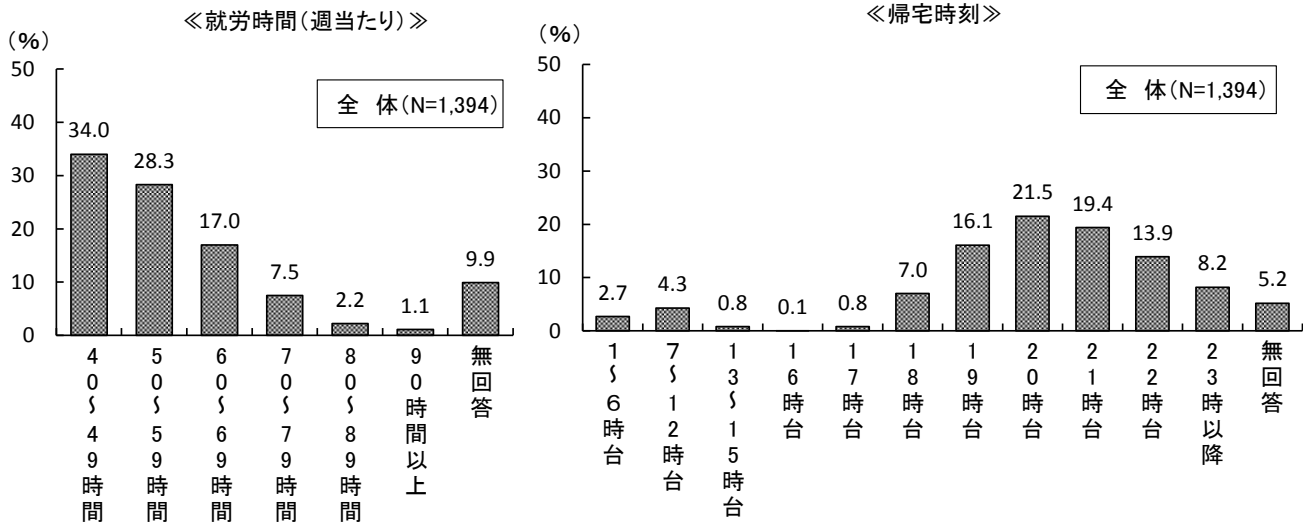
図2-10 父親の就労状況 [全体]



父親の就労状況を見ると、「就労している(フルタイム:育休・介護休業中は含まない)」が95.2%と、回答の大部分を占めており、その他の回答はいずれも低い割合である。

①就労時間と帰宅時刻

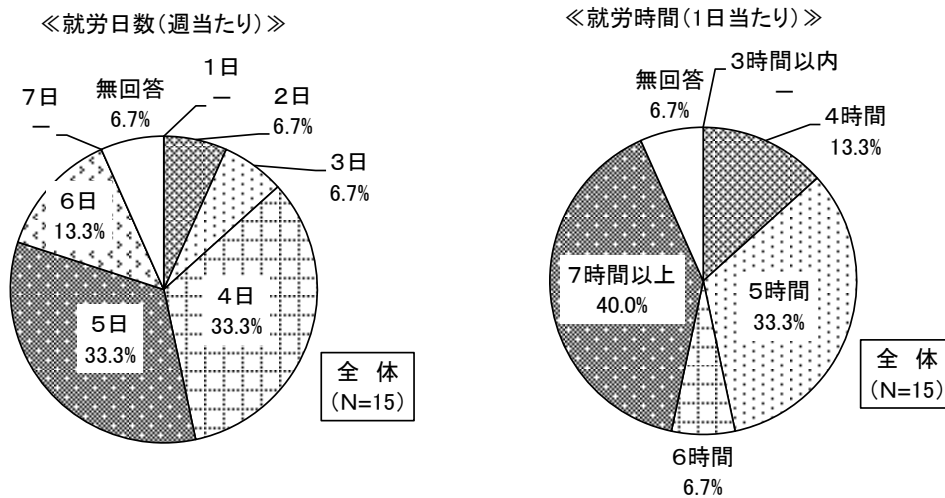
図2-11 父親の就労時間と帰宅時刻（フルタイム） [全体]



フルタイム就労の父親の1週間当たりの平均就労時間は「40～49時間」が34.0%と最も高く、次いで「50～59時間」が28.3%、「60～69時間」が17.0%となっている。

平均帰宅時刻では「20時台」(21.5%)と「21時台」(19.4%)が約2割と多く、「22時台」(13.9%)や「23時以降」(8.2%)の帰宅も1割前後となっている。

図2-12 父親の就労日数と就労時間（パートタイム・アルバイト）[全体]

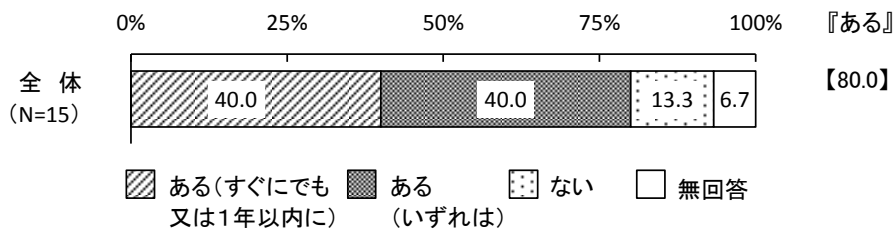


パートタイム・アルバイト就労の父親は全員で15名であるが、その週当たりの就労日数は「4日」と「5日」が最も多く5人(33.3%)となっている。

パートタイム・アルバイト就労の父親の1日当たりの就労時間は「7時間」6人(40.0%)、「5時間」5人(33.3%)が多い。

②パートタイムからフルタイムへの転換希望

図2-13 フルタイムへの転換希望（パートタイム・アルバイト）[全体]



パートタイム・アルバイトからフルタイムへの転換希望が『ある』（「すぐにでも又は1年以内に」と「いずれは」の合計）人は12人(80.0%)と8割を占めている。

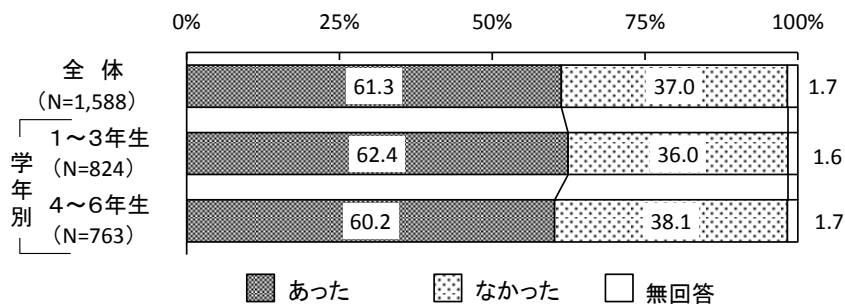
第3章 子育て支援サービスの利用状況とニーズ

1. 病気の時の対応

(1) 病気で学校を休んだことの有無

問13 この1年間に、あて名のお子さんが病気で学校を休まなければならなかったことはありますか。(〇は1つ)

図3-1 病気で学校を休んだことの有無 [全体、学年別]



この1年間に子どもが学校を休んだことについて「あった」という回答が61.3%と過半数を占め、「なかった」37.0%であった。

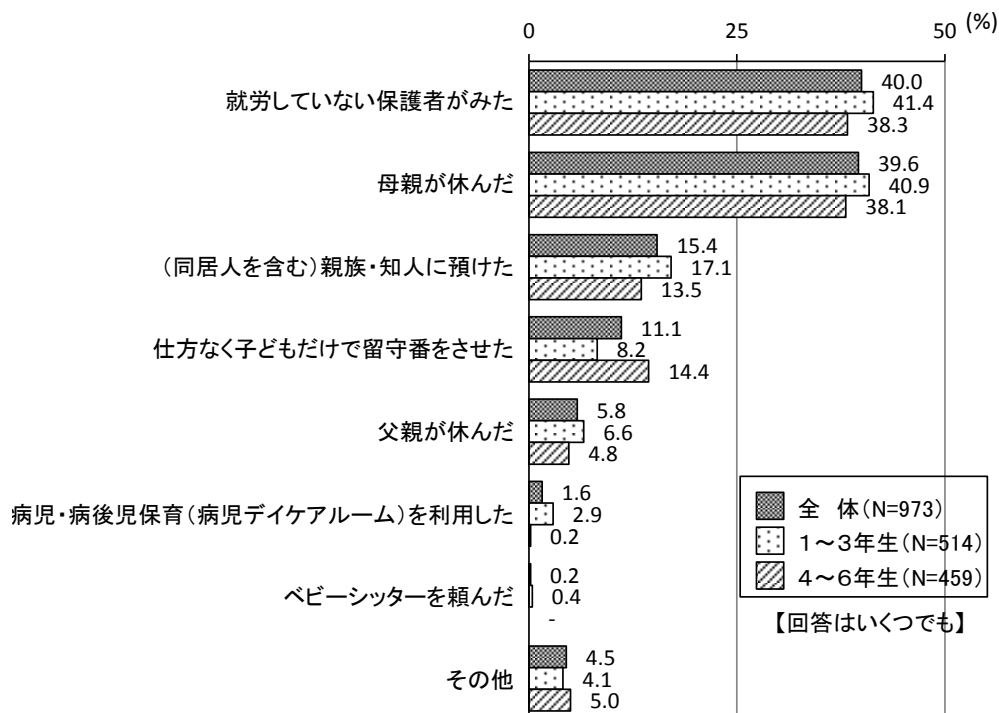
学年別に大きな違いはみられなかった。

(2) 病気で学校を休んだ場合の対処

問13で「1」を選んだ方にうかがいます。

問13-1 この1年間の対処はどのようにされましたか。(当てはまる番号すべてに○、枠内に数字を記入。半日程度についても1日としてカウント。)

図3-2 病気で学校を休んだ場合の対処 [全体、学年別]



子どもが学校を休んだ際の対処として「就労していない保護者がみた」(40.0%)と「母親が休んだ」(39.6%)が約4割と上位にあげられている。「(同居人を含む)親族・知人に預けた」(15.4%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(11.1%)は1割台で、「父親が休んだ」(5.8%)、「病児・病後児保育(病児デイケアルーム)を利用した」(1.6%)などは1割に満たない。

母親の就労状況別にみると、『就労している』場合「母親が休んだ」が6割前後と高く、「父親が休んだ」は1割程度、「仕方なく子どもだけで留守番させた」は約2割となっている。

表 3 - 1 病気で学校を休んだ場合の対処 [全体、母親の就労状況別]

		(%)									
		標本数	父親が休んだ	母親が休んだ	知人(同居人を含む)親族・	就労していない保護者がみた	病児・病後児保育(病児デイケアルーム)を利用した	ベビーシッターを頼んだ	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体		973 100.0	56 5.8	385 39.6	150 15.4	389 40.0	16 1.6	2 0.2	108 11.1	44 4.5	16 1.6
母親の就労状況別	フルタイムで就労	222	13.1	58.1	35.6	4.5	5.9	0.5	17.6	5.4	0.9
	パート・アルバイト等で就労	358	5.3	64.5	17.3	9.5	0.8	0.3	17.3	7.8	2.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	306	1.3	6.9	2.3	88.6	-	-	2.0	1.0	1.6
	これまで就労したことがない	67	1.5	1.5	-	95.5	-	-	-	1.5	1.5
	無回答	13	-	23.1	-	69.2	-	-	-	-	7.7

表 3 - 2 病気で学校を休んだ場合の対処日数 [全体]

		(%)									
		標本数	1日	2日	3日	4日	5日	6 ~ 1 0 日	1 1 日 以上	無回答	
父親が休んだ		56	48.2	23.2	7.1	3.6	3.6	7.1	1.8	5.4	
母親が休んだ		385	38.4	22.6	14.5	3.9	8.3	5.2	0.8	6.2	
(同居人を含む)親族・知人に預けた		150	45.3	20.0	14.7	4.0	6.7	2.0	0.7	6.7	
就労していない保護者がみた		389	21.6	21.1	14.4	3.9	7.5	10.3	2.6	18.8	
病児・病後児保育(病児デイケアルーム)を利用した		16	50.0	25.0	18.8	-	-	-	-	6.3	
ベビーシッターを頼んだ		2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	
仕方なく子どもだけで留守番をさせた		108	59.3	11.1	10.2	2.8	2.8	7.4	-	6.5	
その他		44	25.0	18.2	9.1	2.3	4.5	2.3	-	38.6	

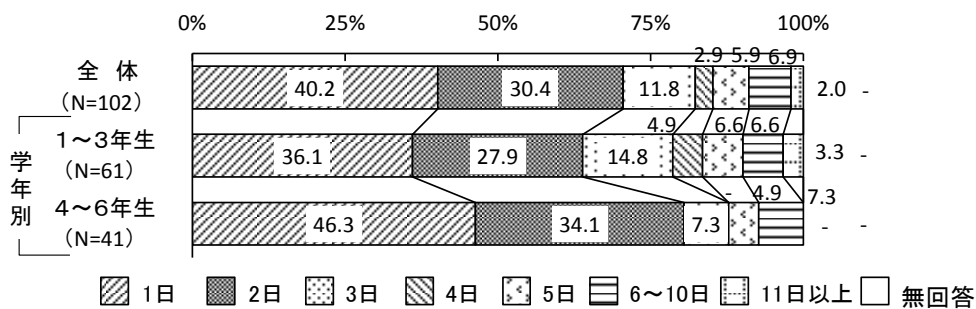
それぞれの場合に対処した1年間の日数は、「父親が休んだ」は「1日」(48.2%)、「母親が休んだ」は「1日」(38.4%)、「(同居人を含む)親戚・知人に預けた」は「1日」(45.3%)、「就労していない保護者がみた」は、「1日」(21.6%)と「2日」(21.1%)、「病児・病後児保育(病児デイケアルーム)を使用した」は「1日」(50.0%)、「ベビーシッターを頼んだ」は「1日」と「6~10日」(同率50.0%)、「仕方なく子どもだけで留守番させた」は「1日」(59.3%)が、それぞれ多くなっている。

(3) 病児デイケアルーム等の利用日数

問 13-1 で「1」～「3」を選んだ方にうかがいます。

問 13-2 その際、できれば病児デイケアルーム等に預けたいと思った日数はどれくらいありますか。(枠内に日数を記入)

図 3-3 病児デイケアルーム等の利用希望日数 [全体、学年別]



病児デイケアルームに預けたいと思った日数は「1日」が40.2%と最も多く、次いで「2日」(30.4%)、「3日」(11.8%)となっている。

学年別にみると、1～3年生では『3日以上』(36.2%)の割合が4～6年生(19.5%)に比べて高くなっている。

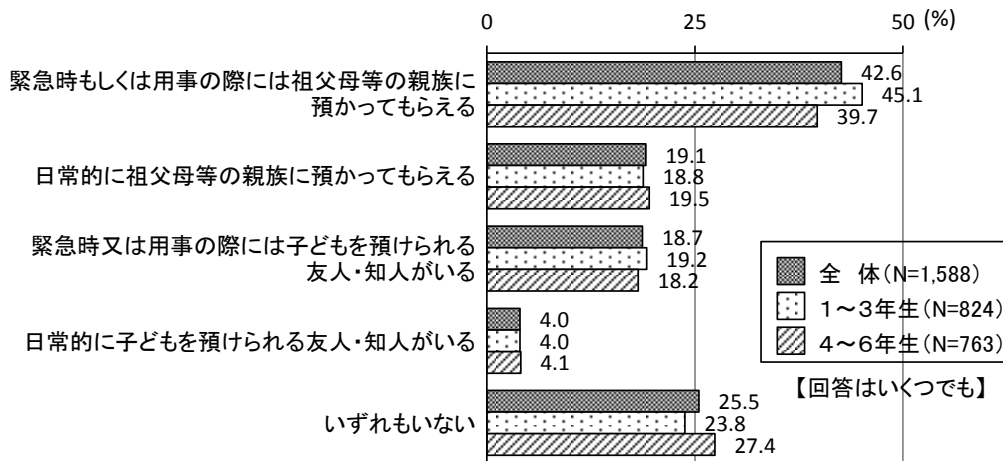
2. 子どもの一時預かりについて

(1) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問 14 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。

(あてはまる番号すべてに○)

図 3-4 子どもをみてもらえる親族・知人の有無 [全体、学年別]



子どもの一時預かりをしてもらえる親族・知人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が 42.6%と最も多くなっており、次いで「いずれもない」(25.5%)、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」(19.1%)、「緊急時又は用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」(18.7%)の順になっている。

学年別にみると、1～3年生では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」(45.1%)が4～6年生より 5.4 ポイント高い。

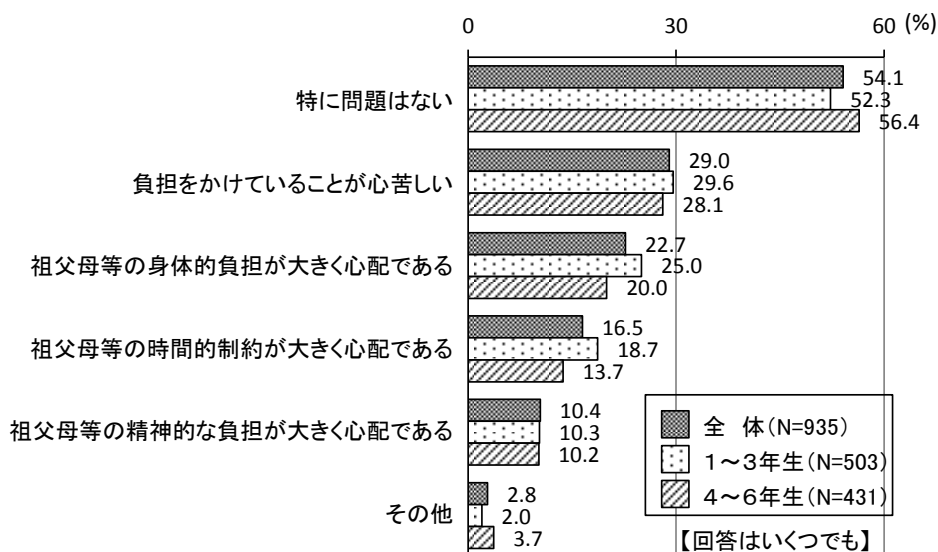
(2) 親族に子どもをみてもらうときの気持ち

問14で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。

問14-1 祖父母等に預かってもらっているときの気持ちはどうでしたか。

(あてはまる番号すべてに○)

図3-5 親族に子どもをみてもらうときの気持ち [全体、学年別]



祖父母など親族に子どもをみてもらうときの気持ちとしては「特に問題はない」(54.1%)が半数以上を占めている。一方で、「負担をかけていることが心苦しい」(29.0%)、「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」(22.7%)、「祖父母等の時間的制約が大きく心配である」(16.5%)、「祖父母等の精神的負担が大きく心配である」(10.4%)といった心苦しきや不安などの気持ちもそれぞれ1～3割程度みられる。

学年別にみると、1～3年生では「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」(25.0%)、「祖父母等の時間的制約が大きく心配である」(18.7%)が4～6年生に比べて5ポイント高くなっている。

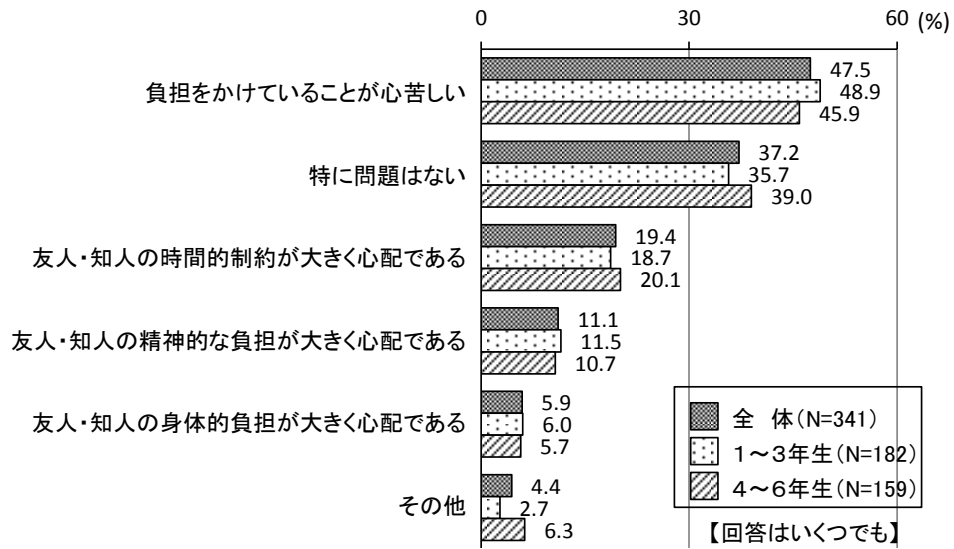
(3) 友人・知人に子どもをみてもらうときの気持ち

問 14 で「3」または「4」を選んだ方にうかがいます。

問 14-2 友人や知人に預かってもらっているときの気持ちはどうでしたか。

(あてはまる番号すべてに○)

図 3-6 友人・知人に子どもをみてもらうときの気持ち [全体、学年別]



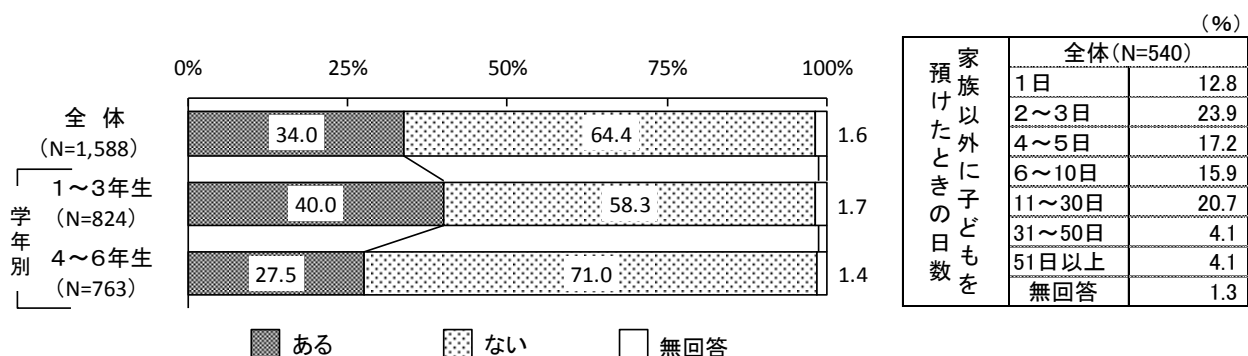
友人・知人に子どもをみてもらうときの気持ちとしては「負担をかけていることが心苦しい」が 47.5%と最も高く、次いで「特に問題はない」(37.2%)、「友人・知人の時間的制約が大きく心配である」(19.4%)、「友人・知人の精神的な負担が大きく心配である」(11.1%)となっている。

(4) 家族以外に子どもを預けたことの有無と日数

すべての方にうかがいます。

問15 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やりフレッシュ、冠婚葬祭、保護者の病気、就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください。）

図3-7 家族以外に子どもを預けたことの有無と日数 [全体、学年別]



実際に家族以外の誰かに子どもを預けたことがあるかどうかについては、「ない」が 64.4%、「ある」が 34.0%と、約3人に1人は預けたことがある。

学年別にみると、1～3年生では「ある」が 40.0%と、4～6年生（27.5%）より 12.5ポイント高い。

この1年間で子どもを預けた日数は「2～3日」（23.9%）と「11～30日」（20.7%）が2割台で多い。

母親の就労状況別にみると、フルタイムで就労の場合「ある」が 39.7%と他の就労状況の人に比べて高くなっている。

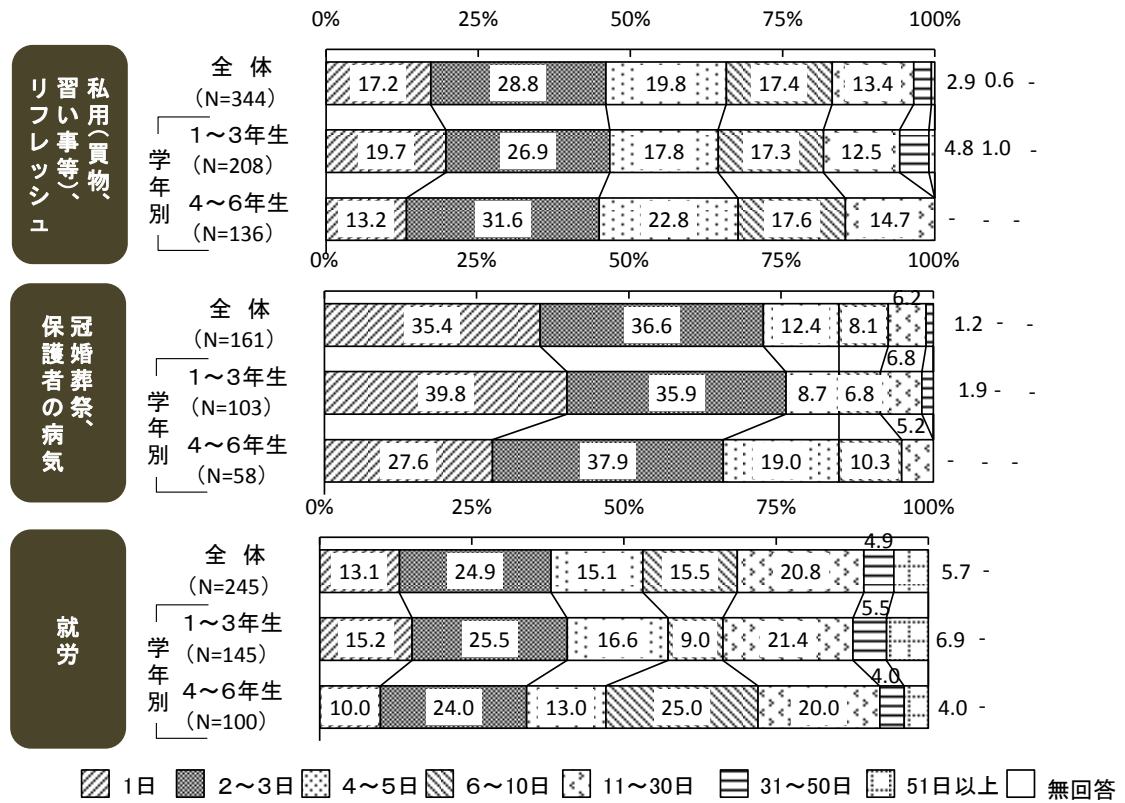
表3-3 家族以外に子どもを預けたことの有無 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	ある	ない	無回答
全体		1,588	540	1,023	25
		100.0	34.0	64.4	1.6
母親の就労状況別	フルタイムで就労	348	39.7	58.0	2.3
	パート・アルバイト等で就労	597	32.5	66.0	1.5
	以前は就労していたが、現在は就労していない	501	32.7	66.3	1.0
	これまで就労したことがない	105	30.5	68.6	1.0
	無回答	26	38.5	53.8	7.7

問 15 で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 15-1 預けた日数を目的別に枠内に数字をご記入ください。

図 3-8 目的別の日数 [全体、学年別]



「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ」の目的で預けた日数は「2～3日」（28.8%）が最も多く、『5日以内』（65.8%）が6割以上となっている。

「冠婚葬祭、保護者の病気」で預けた日数は「2～3日」が36.6%で最も多く、『3日以内』（72.0%）が7割以上を占めている。

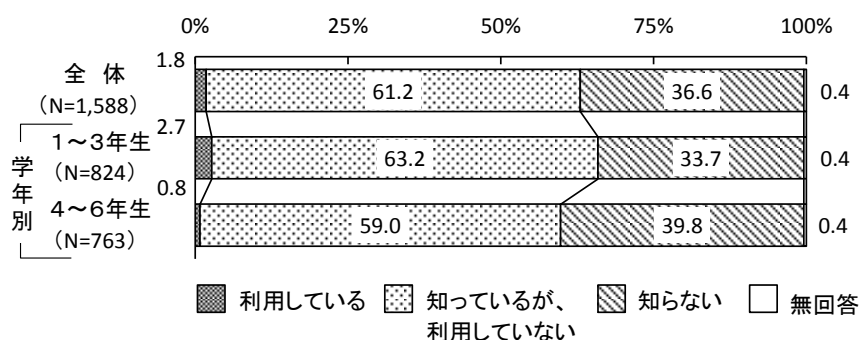
「就労」で預けた日数をみると他と同じように「2～3日」（24.9%）が最も多いが、「11～30日」（20.8%）も約2割ある。

3. ファミリー・サポート・センターの利用について

(1) ファミリー・サポート・センターの利用状況

問16 ファミリー・サポート・センターを利用していますか。(〇は1つ)

図3-9 ファミリー・サポート・センターの利用状況 [全体、学年別]



ファミリー・サポート・センターの利用状況は、「知っているが、利用していない」が61.2%、「知らない」が36.6%と3割を超えており、「利用している」と回答したのは1.8%にとどまっている。

母親の就労状況別にみると「フルタイムで就労」の場合であっても「利用している」は2.9%にとどまる。

表3-4 ファミリー・サポート・センターの利用状況 [全体、母親の就労状況別]

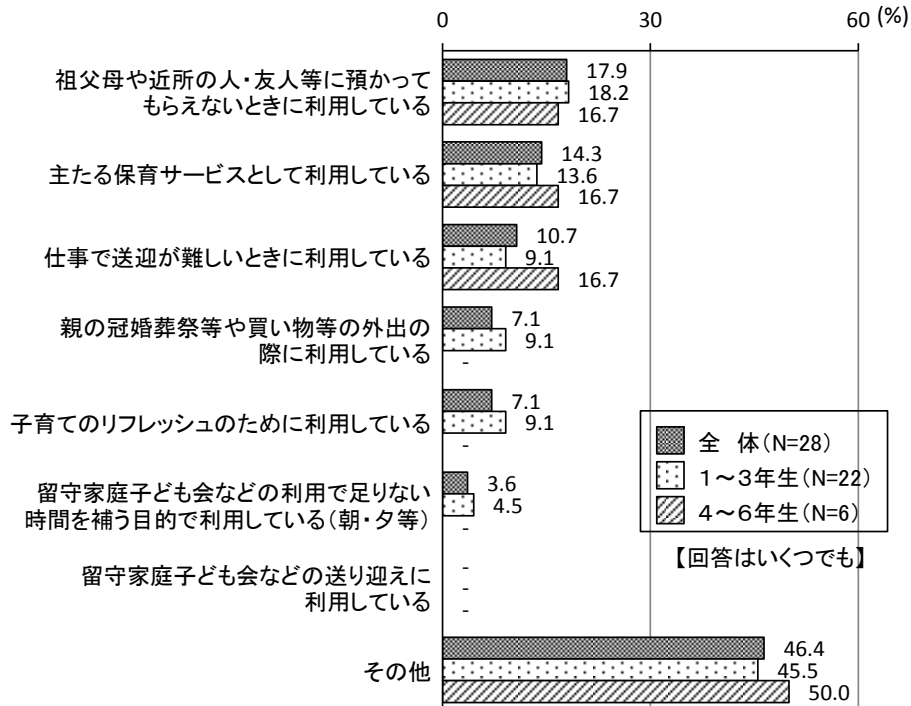
		標本数	利用している	知っているが、利用していない	知らない	無回答
全体		1,588 100.0	28 1.8	972 61.2	582 36.6	6 0.4
母親の就労状況別	フルタイムで就労	348	2.9	65.2	31.9	-
	パート・アルバイト等で就労	597	2.0	60.3	37.0	0.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	501	1.2	61.7	37.1	-
	これまで就労したことがない	105	-	58.1	41.9	-
	無回答	26	-	46.2	46.2	7.7

①ファミリー・サポート・センターの利用目的

問 16 で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 16-1 どのような目的で利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)

図 3-10 ファミリー・サポート・センターの利用目的 [全体、学年別]



ファミリー・サポート・センターの利用目的は「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」(17.9%)が最も高く、次いで「主たる保育サービスとして利用している」(14.3%)、「仕事で送迎が難しいときに利用している」(10.7%)の順となっている。

学年別にみると、1～3年生では「親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している」「子育てのリフレッシュのために利用している」(同率9.1%)や「留守家庭子ども会などの利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)」(4.5%)などの利用目的もみられる。

②利用頻度

問 16-2 どれくらいの頻度で利用していますか。(枠内に数字を記入、不定期の場合は、不定期に○)

表 3-5 ファミリー・サポート・センターの利用頻度 [全体、学年別]

		標本数	利用頻度						利用時間(1回)						
			月に1日	月に2日	月に3日	月に4日	月に5日以上	不定期の利用	無回答	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間以上	無回答
全体		28 100.0	1 3.6	-	-	1 3.6	-	18 64.3	8 28.6	-	-	-	1 3.6	-	27 96.4
学年別	1~3年生	22	-	-	-	4.5	-	59.1	36.4	-	-	-	4.5	-	95.5
	4~6年生	6	16.7	-	-	-	-	83.3	-	-	-	-	-	-	100.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

利用頻度については「不定期の利用」がほとんどであり 64.3%となっており、それ以外は、「月に1日」、「月に4日」でどちらも1名(3.6%)である。

③希望する利用回数

問 16-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。(希望がある場合のみ、枠内に数字を記入)

表 3-6 ファミリー・サポート・センターの希望する利用回数 [全体、学年別]

		標本数	1回	2回	3回	4回以上	無回答
全体		1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
学年別	1~3年生	1	-	100.0	-	-	-
	4~6年生	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-

今後、利用回数を増やしたいと回答したのは1名で、希望回数は「2回」である。

(2) ファミリー・サポート・センターの今後利用したい回数

問 16 で「2」または「3」を選んだ方にうかがいます。

問 16-4 今後利用したいと思いますか。(希望がある場合のみ、枠内に数字を記入)

表 3-7 ファミリー・サポート・センターの今後利用したい回数 [全体、学年別]

		(%)					
		標 本 数	1 回	2 ～ 3 回	4 ～ 5 回	6 回 以 上	無 回 答
全 体		97 100.0	44 45.4	32 33.0	15 15.5	6 6.2	-
学 年 別	1～3年生	69	42.0	34.8	15.9	7.2	-
	4～6年生	28	53.6	28.6	14.3	3.6	-
	無回答	-	-	-	-	-	-

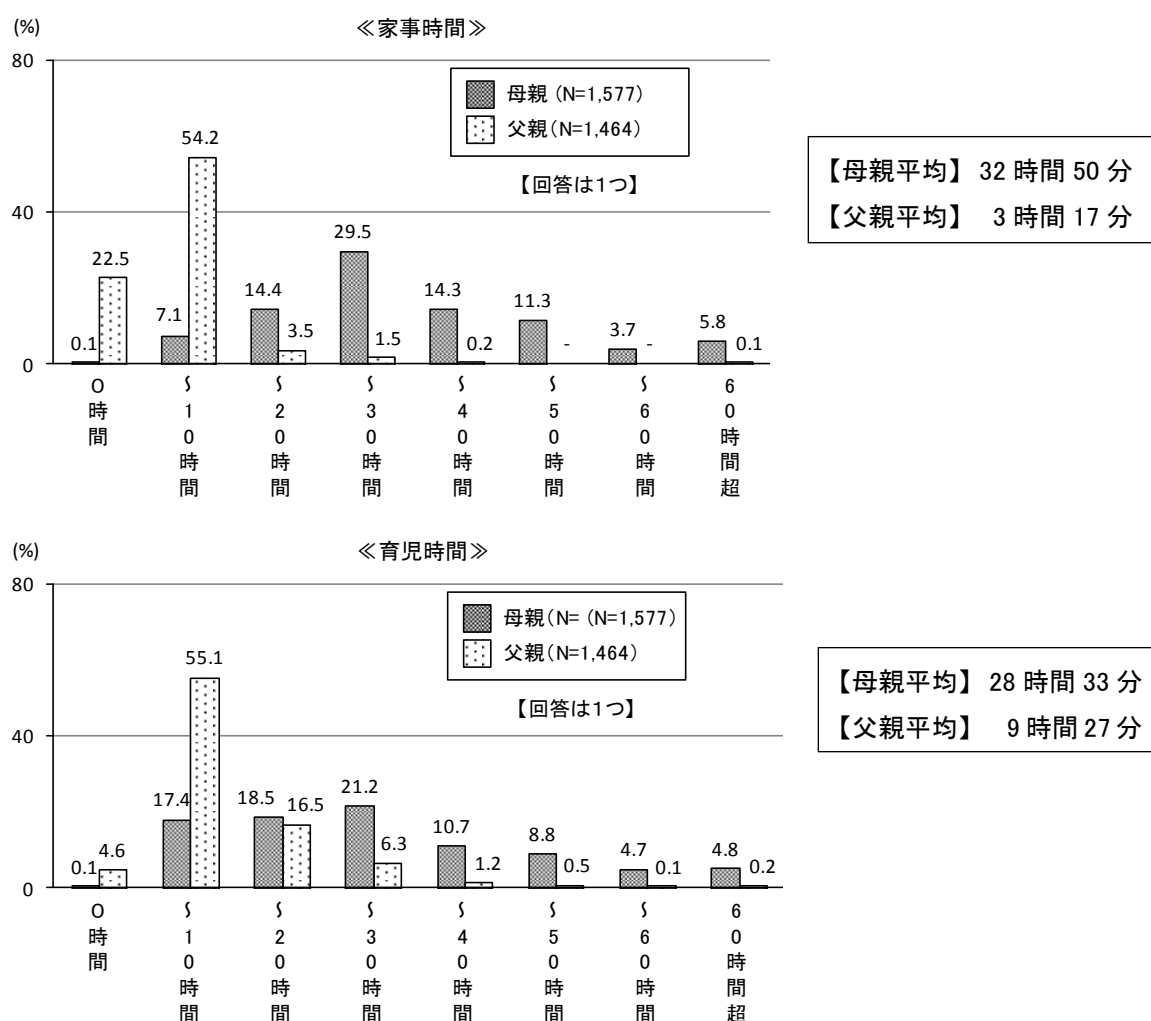
ファミリー・サポート・センターを現在利用していない1,554名のうち、今後利用したい回数を記入したのは97名であり、そのうち月あたりの利用回数で最も多いのは「1回」で45.4%、次いで「2～3回」が33.0%、「4～5回」が15.5%となっている。

第4章 子育てに関する意識とかかわり

1. 家事・育児時間

問 25 母親と父親の1週間の家事・子育ての時間はどれくらいですか。1週間の時間を合計して枠内にご記入ください。

図4-1 家事・育児時間



父親・母親の1週間あたりの家事時間について、母親は「～30時間」(29.5%)が最も多く、次いで「～40時間」(14.3%)、「～20時間」(14.4%)、「～50時間」(11.3%)が1割を超えている。

父親は「～10時間」(54.2%)が最も高く、次いで「0時間」(22.5%)となっている。平均家事時間は母親が32時間50分、父親が3時間17分である。

育児時間では、母親は「～30時間」(21.2%)と「～20時間」(18.5%)が2割前後で高い。父親は「～10時間」(55.1%)が最も高く、次いで高いのは「～20時間」(16.5%)となっている。平均の育児時間は母親が28時間33分、父親が9時間27分である。

表 4 - 1 家事時間 [全体、母親の就労状況別]

			(%)								
		標 本 数	0 時 間	〃 1 0 時 間	〃 2 0 時 間	〃 3 0 時 間	〃 4 0 時 間	〃 5 0 時 間	〃 6 0 時 間	6 0 時 間 超	無 回 答
【母親】 家事時間	全 体	1,577 100.0	2 0.1	112 7.1	227 14.4	466 29.5	225 14.3	178 11.3	58 3.7	92 5.8	217 13.8
	母親の 就労 状況 別										
	フルタイムで就労	348	0.3	14.4	25.6	35.1	6.3	4.0	2.0	2.0	10.3
	パート・アルバイト等で就労	597	0.2	5.9	15.1	30.5	15.1	10.9	2.2	3.9	16.4
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	501	-	4.8	7.8	26.1	18.2	14.4	6.0	10.2	12.6
	これまで就労したことがない	105	-	1.9	7.6	23.8	18.1	21.9	7.6	9.5	9.5
無回答	26	-	3.8	3.8	23.1	11.5	15.4	-	3.8	38.5	
【父親】 家事時間	全 体	1,464 100.0	330 22.5	793 54.2	51 3.5	22 1.5	3 0.2	-	-	1 0.1	264 18.0
	母親の 就労 状況 別										
	フルタイムで就労	278	14.0	62.9	5.4	2.9	1.1	-	-	0.4	13.3
	パート・アルバイト等で就労	557	23.5	53.9	2.3	0.9	-	-	-	-	19.4
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	489	24.5	53.2	3.5	0.6	-	-	-	-	18.2
	これまで就労したことがない	104	31.7	47.1	2.9	1.0	-	-	-	-	17.3
無回答	25	28.0	32.0	-	-	-	-	-	-	40.0	

母親の家事時間を母親の就労状況別にみると、『専業主婦』の場合は「～40 時間」「～50 時間」など長い時間帯での割合が『就労している』場合よりも高くなっている。

父親の家事時間を母親の就労状況別にみると、いずれの就労状況でも「～10 時間」が多いが、「フルタイムで就労」している場合は 62.9%と最も高い。「0 時間」は「これまで就労したことがない」(31.7%) 場合に約 3 割と高くなっている。

表4-2 育児時間 [全体、母親の就労状況別]

			(%)									
		標 本 数	0 時 間	1 0 時 間	2 0 時 間	3 0 時 間	4 0 時 間	5 0 時 間	6 0 時 間	6 0 時 間 超	無 回 答	
【母親】 育児時間	全体	1,577 100.0	2 0.1	275 17.4	292 18.5	334 21.2	168 10.7	139 8.8	74 4.7	76 4.8	217 13.8	
	母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	348	0.3	25.0	25.9	22.4	9.5	3.2	2.0	2.0	9.8
		パート・アルバイト等で就労	597	0.2	17.3	19.6	20.6	9.2	7.4	5.0	3.5	17.3
		以前は就労していたが、 現在は就労していない	501	-	12.6	13.8	21.4	12.0	13.8	6.8	8.2	11.6
		これまで就労したことがない	105	-	16.2	14.3	20.0	18.1	13.3	2.9	5.7	9.5
		無回答	26	-	19.2	3.8	19.2	3.8	3.8	-	3.8	46.2
【父親】 育児時間	全体	1,464 100.0	67 4.6	807 55.1	241 16.5	92 6.3	17 1.2	8 0.5	1 0.1	3 0.2	228 15.6	
	母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	278	1.4	60.8	15.8	6.8	2.2	1.1	-	0.4	11.5
		パート・アルバイト等で就労	557	6.5	51.7	14.4	6.1	0.9	0.7	0.2	0.2	19.4
		以前は就労していたが、 現在は就労していない	489	3.9	55.4	20.0	6.1	1.2	-	-	0.2	13.1
		これまで就労したことがない	104	4.8	58.7	16.3	8.7	-	1.0	-	-	10.6
		無回答	25	12.0	36.0	8.0	-	-	-	-	-	44.0

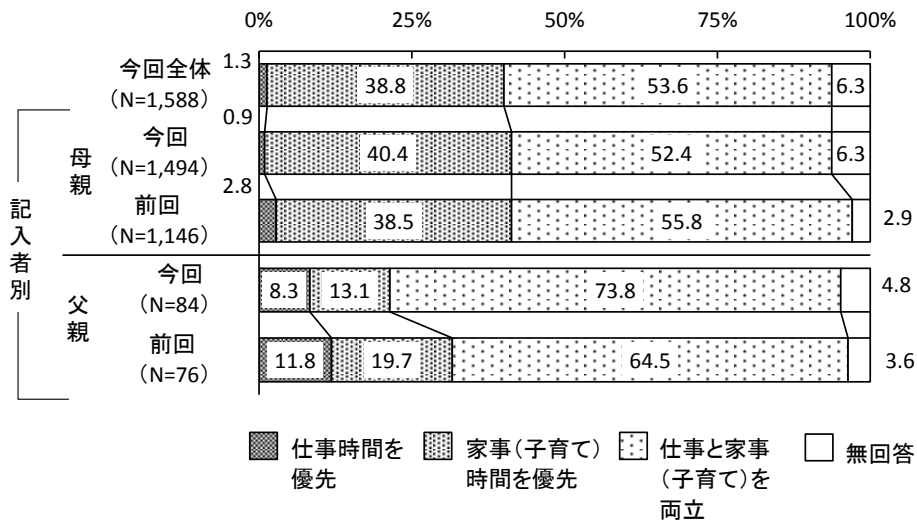
母親の育児時間を母親の就労状況別にみると、家事時間と同様、『専業主婦』の場合「～40 時間」「～50 時間」など長い時間帯での割合が『就労している』場合より高くなっている。

父親の育児時間は母親の就労状況別では大きな違いはみられず、「～10 時間」が5～6割台で最も高い。

2. 「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の優先度

問 27 あなたの生活の中で「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の優先度はどうですか。
 （希望と現実それぞれについて、○は1つ）

図 4-2 希望する「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の優先度
 [全体、記入者別]（前回調査比較）



「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の希望する優先度としては「仕事と家事（子育て）を両立」（53.6%）が最も高く、次いで「家事（子育て）時間を優先」（38.8%）、「仕事時間を優先」（1.3%）の順となっている。

前回調査と比較すると、母親では大きな変化はみられないが、父親では「仕事と家事（子育て）時間を両立」が64.5%から9.3ポイント高くなっている。

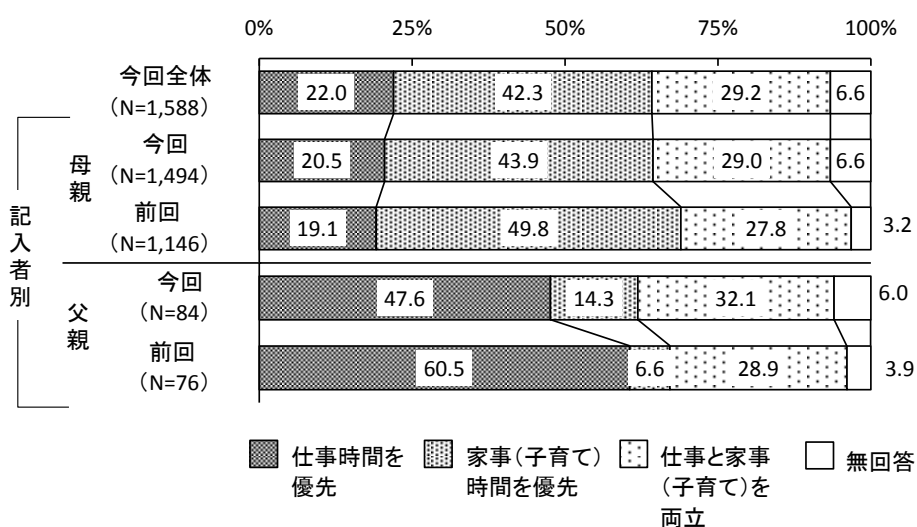
記入者別にみると「仕事と家事（子育て）時間を両立」は母親52.4%に対して父親は73.8%と21.4ポイント上回っている。

母親の就労状況別にみると『就労している』場合には「仕事と家事（子育て）を両立」が約6～7割と高い。また「これまで就労したことがない」場合でも「仕事と家事（子育て）を両立」を希望する人は23.8%と2割ほどいる。

表4-3 希望する「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の優先度 [全体、母親の就労状況別]

			仕事時間を優先	家事（子育て）時間を優先	仕事と家事（子育て）を両立	無回答
		標本数				
全体		1,588	21	616	851	100
			1.3	38.8	53.6	6.3
母親の就労状況別	フルタイムで就労	348	1.7	26.1	67.8	4.3
	パート・アルバイト等で就労	597	1.8	30.7	61.6	5.9
	以前は就労していたが、現在は就労していない	501	0.6	51.7	40.3	7.4
	これまで就労したことがない	105	-	67.6	23.8	8.6
	無回答	26	-	42.3	42.3	15.4

図4-3 現実の「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の優先度 [全体、記入者別]（前回調査比較）



現実の優先度では「家事（子育て）時間を優先」が42.3%で最も高く、「仕事と家事（子育て）を両立」が29.2%、「仕事時間を優先」が22.0%となっている。「仕事と家事（子育て）を両立」は希望より24.4ポイント低く、「仕事時間を優先」は現実の方が20.7ポイント高いなど、希望と現実は一致していない人が多い。

前回調査と比較すると、母親では「家事（子育て）時間を優先」が49.8%から5.9ポイント減少し、「仕事と家事（子育て）を両立」がやや増えている。父親では「仕事時間を優先」が60.5%から12.9ポイント減少し、「家事（子育て）時間を優先」が7.7ポイント、「仕事と家事（子育て）を両立」が3.2ポイント増加するなど、仕事より家事や育児を優先に考える父親は増えているようだ。

記入者別にみると「仕事時間を優先」は母親20.5%に対して父親は47.6%と27.1ポイント上回っている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の就労状況別にみると、『就労している』場合で「仕事と家事（子育て）を両立」は3割～4割台と希望の割合より低くなっている。『就労している』人のうち「フルタイムで就労」している人は「仕事時間を優先」が53.2%と最も高く、希望と一致する人は多くはない。また、『専業主婦』の人は「家事（子育て）時間を優先」が8割近くを占めている。

表4-4 現実の「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の優先度〔全体、母親の就労状況別〕

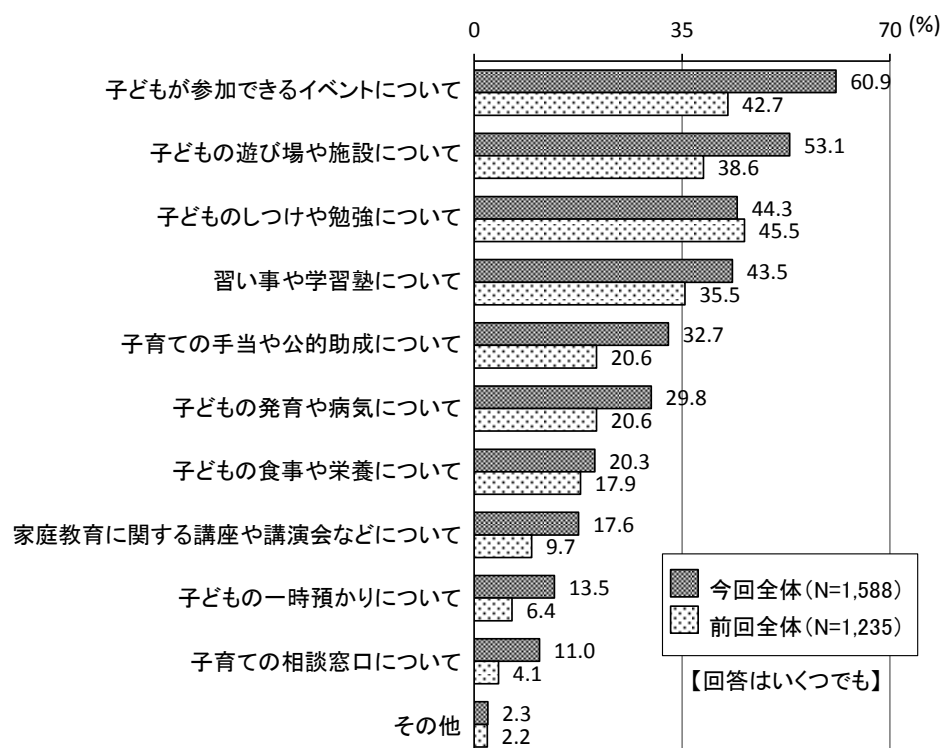
		(%)				
		標本数	仕事時間を優先	家事（子育て）時間を優先	仕事と家事（子育て）を両立	無回答
全 体		1,588 100.0	349 22.0	671 42.3	463 29.2	105 6.6
母親の就労状況別	フルタイムで就労	348	53.2	10.1	32.5	4.3
	パート・アルバイト等で就労	597	19.6	27.1	46.9	6.4
	以前は就労していたが、現在は就労していない	501	6.8	74.9	10.4	8.0
	これまで就労したことがない	105	4.8	78.1	9.5	7.6
	無回答	26	3.8	57.7	23.1	15.4

3. 子育てに関する情報

(1) 子育てについて得たい情報

問 18 あなたは、いま子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

図4-4 子育てについて得たい情報 [全体] (前回調査比較)



子育てについて得たい情報としては「子どもが参加できるイベントについて」(60.9%)が最も高く、「子どもの遊び場や施設について」(53.1%)、「子どものしつけや勉強について」(44.3%)、「習い事や学習塾について」(43.5%)となっている。

前回調査と比べると、「子どものしつけや勉強について」は前回とあまり変わらないが、それ以外の項目では割合が高くなっており、特に「子どもが参加できるイベントについて」(18.2ポイント)、「子どもの遊び場や施設について」(14.5ポイント)、「子育ての手当てや公的助成について」(12.1ポイント)などは12ポイント以上増加している。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

学年別にみると「子どもが参加できるイベントについて」と「子どもの遊び場や施設について」は1～3年生の割合が4～6年生を大きく上回っている。

母親の就労状況別にみると、『専業主婦』の場合「子どもの遊び場や施設について」や「子どもの発育や病気について」「子育ての相談窓口について」の割合がやや高い。

世帯分類別にみると、「ひとり親」と「ひとり親三世代」では「子育ての手当てや公的助成について」が5割前後と高い。また「ひとり親三世代」では「子どものしつけや勉強について」(51.7%)も5割を超えて高くなっている。

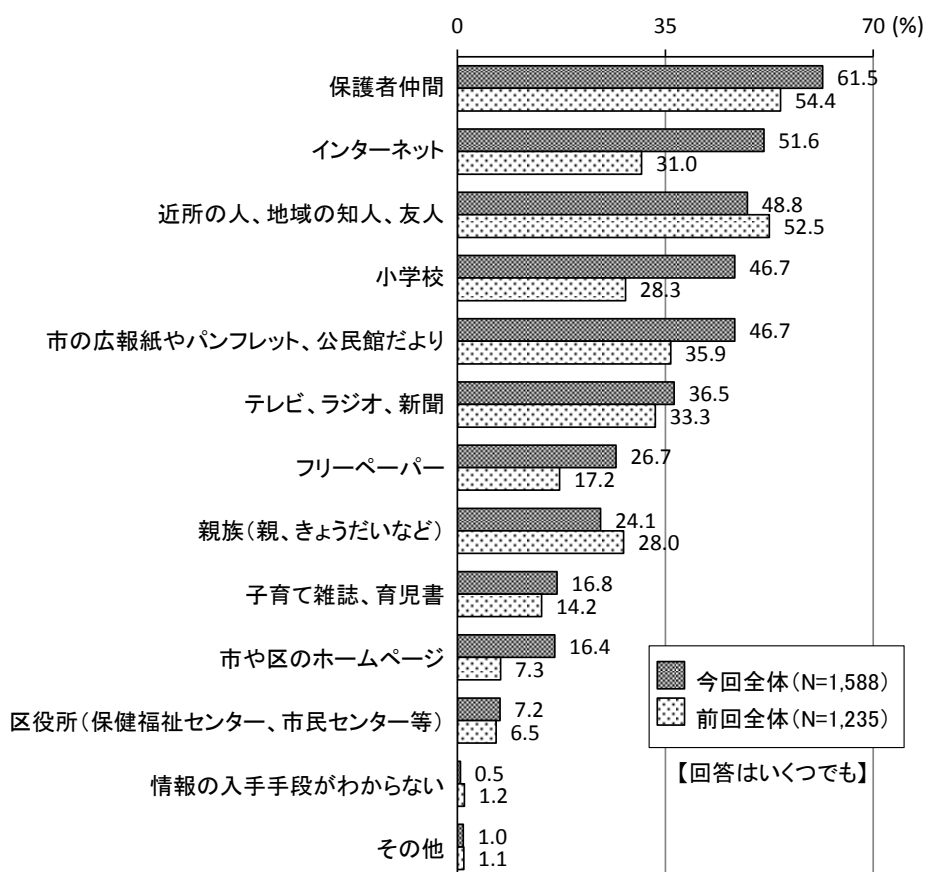
表4-5 子育てについて得たい情報 [全体、学年別、母親の就労状況別、世帯分類別]

			子どもの発育や病気について	子どもの食事や栄養について	子どものしつけや勉強について	習い事や学習塾について	子どもが参加できるイベントについて	子どもの遊び場や施設について	子育ての相談窓口について	子育ての手当てや公的助成について	家庭教育に関する講座や講演会などについて	子どもの一時預かりについて	その他	無回答	(%)
全体		1,588 100.0	474 29.8	322 20.3	704 44.3	691 43.5	967 60.9	843 53.1	174 11.0	520 32.7	279 17.6	215 13.5	37 2.3	52 3.3	
学年別	小学1～3年生	824	31.4	21.1	47.5	44.9	65.5	62.1	10.4	34.1	17.6	18.2	1.7	2.1	
	小学4～6年生	763	28.2	19.4	40.9	41.9	55.8	43.3	11.5	31.2	17.6	8.5	3.0	4.6	
	無回答	1	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	348	29.6	21.6	43.7	42.0	60.9	50.0	8.6	29.0	17.5	11.8	4.3	3.2	
	パート・アルバイト等で就労	597	26.8	18.9	44.7	44.2	60.1	51.6	8.9	35.5	17.3	12.7	0.8	2.8	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	501	31.5	20.4	45.7	44.7	62.9	56.9	13.8	33.1	17.8	16.6	2.8	4.2	
	これまで就労したことがない	105	36.2	19.0	37.1	44.8	59.0	54.3	13.3	22.9	19.0	8.6	2.9	1.9	
	無回答	26	38.5	34.6	46.2	34.6	69.2	53.8	26.9	42.3	19.2	19.2	-	3.8	
世帯分類別	三世代	105	34.3	30.5	49.5	50.5	65.7	51.4	10.5	29.5	20.0	10.5	1.9	3.8	
	核家族	1,320	29.8	19.8	43.8	44.3	62.7	53.8	10.6	30.9	18.2	13.7	2.5	2.9	
	ひとり親	106	27.4	18.9	41.5	29.2	41.5	48.1	13.2	52.8	11.3	16.0	0.9	4.7	
	ひとり親三世代	29	17.2	10.3	51.7	34.5	41.4	37.9	10.3	48.3	6.9	-	3.4	6.9	
	その他	28	35.7	17.9	53.6	42.9	53.6	60.7	21.4	39.3	14.3	21.4	-	10.7	

(2) 子育てに関する情報の入手先

問19 あなたは、その知りたい情報を何から得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

図4-5 子育てに関する情報の入手先〔全体〕(前回調査比較)



子育てに関する情報の入手先としては「保護者仲間」(61.5%)、「インターネット」(51.6%)、「近所の人、地域の知人、友人」(48.8%)、「小学校」「市の広報紙やパンフレット、公民館だより」(同率 46.7%)の順になっている。

前回調査と比べると、ほとんどの項目で割合が高くなっているが、特に「インターネット」は前回調査の31.0%から20.6ポイント増加し、5位から2位へと順位が上がっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

学年別にみると、1～3年生では「近所の人、地域の知人、友人」「フリーペーパー」「親族（親、きょうだいなど）」「子育て雑誌、育児書」などの割合が4～7ポイント4～6年生に比べて高い。

母親の就業状況別でみると「フルタイムで就労」では「保護者仲間」（52.0%）、「市の広報紙やパンフレット、公民館だより」（42.0%）、「近所の人、地域の知人、友人」（39.4%）などの割合が他の就労状況の人と比べて低く、「インターネット」（56.3%）がやや高くなっている。

表4-6 子育てに関する情報の入手先〔全体、学年別、母親の就労状況別〕

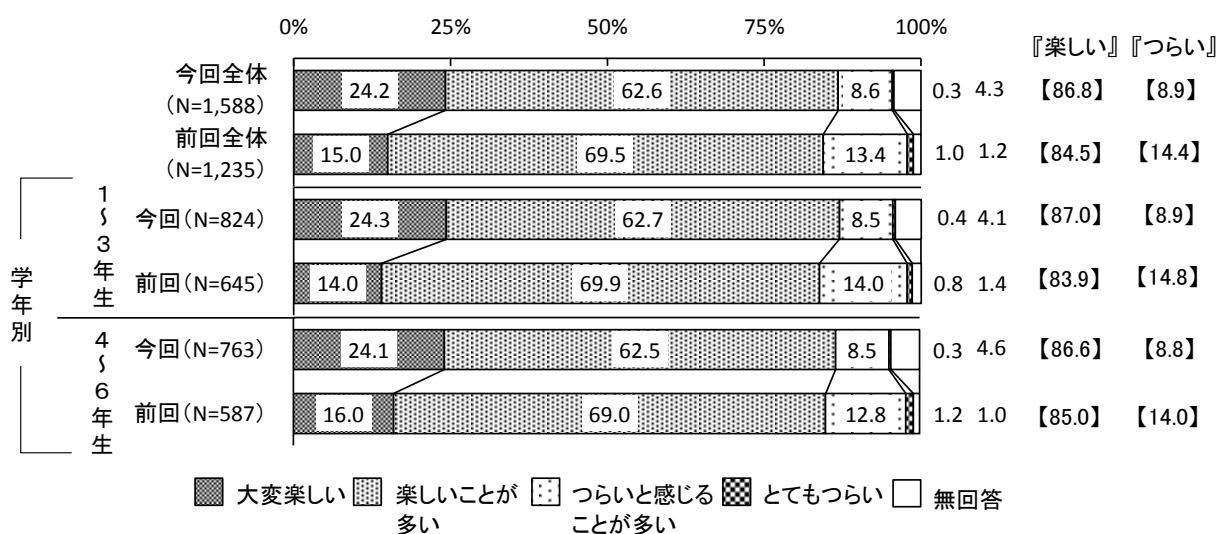
		標本数	親族（親、きょうだいなど）	近所の人、地域の知人、友人	保護者仲間	小学校	区役所（保健福祉センター、市民センター等）	市の広報紙やパンフレット、公民館だより	市や区のホームページ	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌、育児書	フリーペーパー	インターネット	情報の入手手段がわからない	その他	無回答
全体		1,588 100.0	382 24.1	775 48.8	976 61.5	742 46.7	114 7.2	741 46.7	261 16.4	579 36.5	267 16.8	424 26.7	819 51.6	8 0.5	16 1.0	42 2.6
学年別	小学1～3年生	824	26.0	52.2	61.3	47.3	7.8	47.7	16.5	35.2	19.3	29.2	52.4	0.4	1.0	2.2
	小学4～6年生	763	22.0	45.2	61.6	46.0	6.6	45.5	16.4	37.9	14.2	23.9	50.6	0.7	1.0	3.1
	無回答	1	-	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-
母親の就労状況別	フルタイムで就労	348	25.0	39.4	52.0	46.3	5.7	42.0	18.1	31.0	15.8	23.3	56.3	0.9	1.7	3.2
	パート・アルバイト等で就労	597	23.8	53.8	66.2	50.1	6.2	48.7	15.2	37.4	16.8	28.6	49.2	0.5	0.7	2.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	501	25.5	50.3	63.3	43.9	8.8	48.1	18.0	38.1	18.6	28.7	52.9	0.2	1.0	3.4
	これまで就労したことがない	105	21.9	49.5	64.8	40.0	8.6	47.6	14.3	41.9	14.3	21.9	47.6	-	1.0	1.9
	無回答	26	3.8	34.6	50.0	69.2	7.7	38.5	7.7	38.5	15.4	19.2	38.5	3.8	-	-

4. 母親の育児不安と父親の子育てへのかかわり

(1) 子育てを楽しんでいる割合

問24 あなたは、あて名のお子さんの子育てが楽しいですか。(〇は1つ)

図4-6 子育てを楽しんでいる割合〔全体、学年別〕(前回調査比較)



子育てについては「楽しいことが多い」が62.6%と最も高く、次いで「大変楽しい」が24.2%と合わせて『楽しい』と答えた人は86.8%と8割を超えている。

前回調査と比較すると、「大変楽しい」が15.0%から9.2ポイント高くなっており、「つらいと感じることが多い」「とてもつらい」を合わせた『つらい』と答えた人は14.4%から5.5ポイント減少するなど、子育てを楽しんでいる人は前回よりも増えている。

学年別にみると、いずれの学年も「大変楽しい」が約4分の1と前回調査よりも約8~10ポイント高くなっている。

母親の就労状況別にみると、いずれの就労状況でも子育てが『楽しい』と答えた人は85%を超えているが、一方で『つらい』と答えた人は『専業主婦』で約1割と『就労している』人に比べて高くなっている。

世帯分類別にみると、「三世帯」で「大変楽しい」が29.5%と最も高くなっている。一方、「ひとり親」では『つらい』と答えた人が約2割となっている。

父親の子育ての程度別にみると、父親の子育ての評価が高くなるほど『楽しい』と感じる割合が高くなり、評価が低くなるほど『つらい』と感じる割合が高くなるなど、父親の子育ての程度による違いが顕著にあらわれている。

表 4-7 子育てを楽しんでいる割合

[全体、母親の就労状況別、世帯分類別、父親の子育ての程度別]

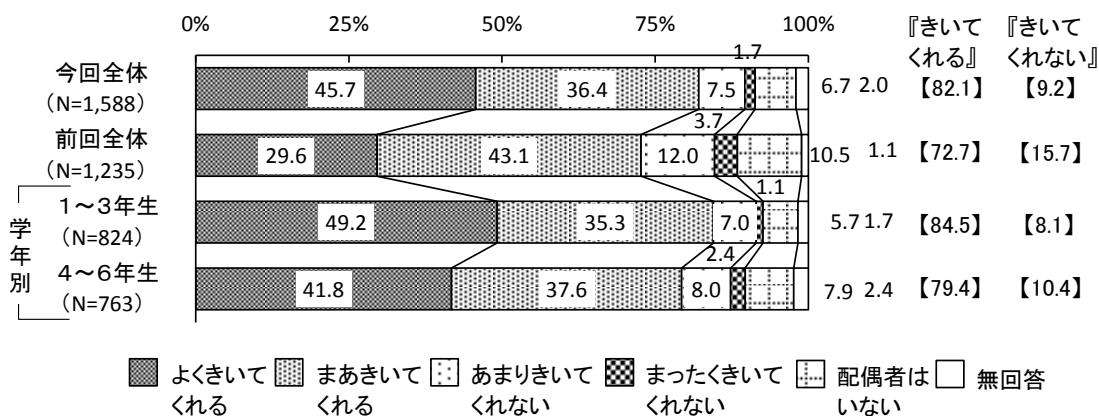
(%)

		標本数	大変楽しい	多楽しいことが	つらいと感じることが多い	とてもつらい	無回答	『楽しい』	『つらい』
全体		1,588 100.0	384 24.2	994 62.6	136 8.6	5 0.3	69 4.3	1,378 86.8	141 8.9
母親の就労状況別	フルタイムで就労	348	26.1	59.5	8.0	0.6	5.7	85.6	8.6
	パート・アルバイト等で就労	597	23.5	64.5	6.5	0.2	5.4	88.0	6.7
	以前は就労していたが、現在は就労していない	501	21.8	64.3	10.2	0.4	3.4	86.1	10.6
	これまで就労したことがない	105	33.3	56.2	10.5	-	-	89.5	10.5
	無回答	26	30.8	57.7	11.5	-	-	88.5	11.5
世帯分類別	三世帯	105	29.5	56.2	8.6	-	5.7	85.7	8.6
	核家族	1,320	24.3	64.2	7.1	0.2	4.2	88.5	7.3
	ひとり親	106	19.8	54.7	18.9	1.9	4.7	74.5	20.8
	ひとり親三世帯	29	24.1	58.6	13.8	-	3.4	82.7	13.8
	その他	28	14.3	42.9	32.1	3.6	7.1	57.2	35.7
父親の子育ての程度別	十分やっている	391	37.3	56.5	4.3	0.3	1.5	93.8	4.6
	十分とはいえないが、まあやっている	676	23.5	67.8	7.1	-	1.6	91.3	7.1
	かなり不足している	264	13.3	69.7	13.3	0.8	3.0	83.0	14.1
	全くやっていない	59	20.3	61.0	16.9	-	1.7	81.3	16.9
	無回答	74	6.8	35.1	8.1	-	50.0	41.9	8.1

(2) 子育てについての配偶者への相談

問 20 あなたの配偶者は、あて名のお子さんの子育てについての悩みや相談をきいてくれますか。(〇は1つ)

図 4-7 子育てについての配偶者への相談 [全体、学年別] (前回調査比較)



配偶者への相談については「よくきいてくれる」が最も高く 45.7%であり、「まあきいてくれる」が 36.4%とこれらを合わせた『きいてくれる』は 82.1%と約8割を占める。「あまりきいてくれない」(7.5%)と「まったくきいてくれない」(1.7%)を合わせた『きいてくれない』は 9.2%と1割を下回っている。

前回調査と比較すると、「よくきいてくれる」が 29.6%から 16.1ポイント高くなっている。

学年別にみると、1～3年生では「よくきいてくれる」(49.2%)が約5割と4～6年生(41.8%)に比べ7.4ポイント高い。

母親の就労状況別にみると、『就労している』人では「よくきいてくれる」が4割前後と『専業主婦』の人より低くなっている。

父親の子育ての程度別では、評価が高くなるほど「よくきいてくれる」の割合が高くなっており、「十分にやっている」では 84.7%と高率である。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

表 4-8 子育てについての配偶者への相談[全体、母親の就労状況別、父親の子育ての程度別]

(%)

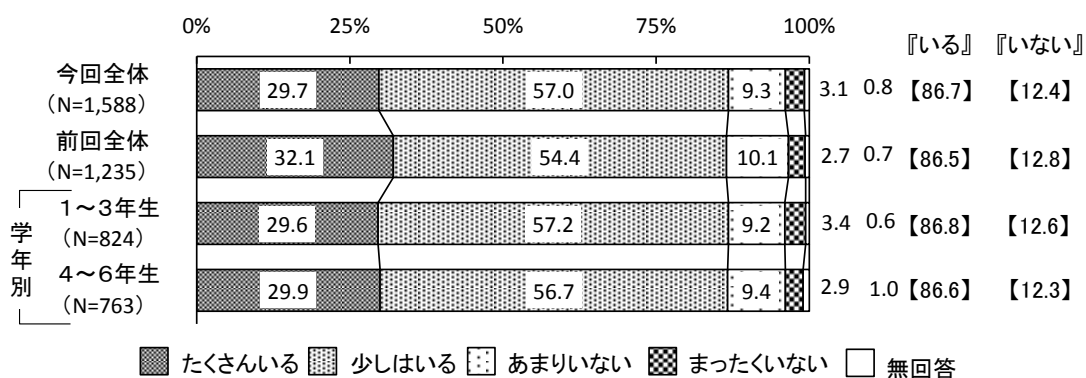
		標本数	よくきいてく れる	まあきいてく る	あまりきいて くれない	まったくきい てくれない	配偶者はいな い	無回 答	『き れるて 』	『き ないて 』
全 体		1,588 100.0	725 45.7	578 36.4	119 7.5	27 1.7	107 6.7	32 2.0	1,303 82.1	146 9.2
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	348	39.9	33.9	5.2	1.4	16.4	3.2	73.8	6.6
	パート・アルバイト等で就労	597	43.4	39.5	7.7	2.0	6.0	1.3	82.9	9.7
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	501	50.3	36.1	9.0	1.8	1.6	1.2	86.4	10.8
	これまで就労したことがない	105	61.0	29.5	7.6	1.0	1.0	-	90.5	8.6
	無回答	26	42.3	42.3	7.7	-	-	7.7	84.6	7.7
父親の 子育て の 程度 別	十分やっている	391	84.7	14.3	-	0.3	0.3	0.5	99.0	0.3
	十分とはいえないが、 まあやっている	676	47.0	46.2	4.9	0.1	0.4	1.3	93.2	5.0
	かなり不足している	264	14.4	59.1	22.0	3.8	-	0.8	73.5	25.8
	全くやっていない	59	1.7	40.7	35.6	22.0	-	-	42.4	57.6
	無回答	74	45.9	36.5	9.5	-	5.4	2.7	82.4	9.5

(3) 子育てに関する相談相手の有無

①相談相手の有無

問 21 あなたには子育てについて、身近に配偶者や親族以外で気軽に相談できる人はいますか。(〇は1つ)

図4-8 相談相手の有無 [全体、学年別] (前回調査比較)



相談相手の有無について「少しはいる」(57.0%)の割合が最も高く、次いで「たくさんいる」が29.7%で、これらを合わせた『いる』と回答した人は86.7%となっている。一方で「あまりいない」(9.3%)、「まったくいない」(3.1%)を合わせた『いない』と回答した人は12.4%となっている。

前回調査と比較すると、「たくさんいる」が32.1%から2.4ポイントとわずかだが減少している。

学年別にみても大差はみられない。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の就労状況別で見ると、「たくさんいる」は『専業主婦』で2割台と、『就労している』場合より約1割低くなっている。

世帯分類別にみると、「ひとり親三世代」や「ひとり親」で『いない』が2割前後と他の世帯に比べて高くなっている。

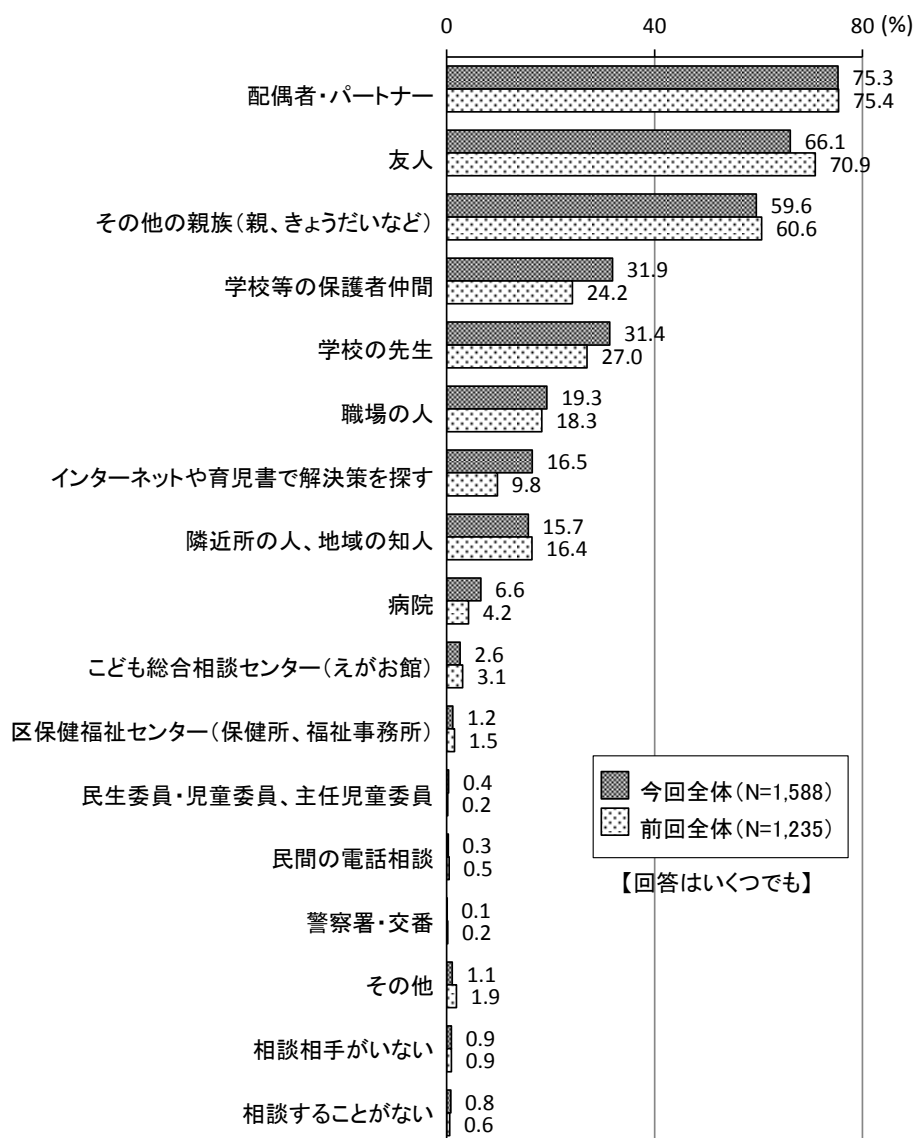
表 4-9 相談相手の有無 [全体、母親の就労状況別、世帯分類別]

								(%)	
		標本数	たくさんいる	少しはいる	あまりいない	まったくいない	無回答	『いる』	『いない』
全体		1,588 100.0	472 29.7	905 57.0	148 9.3	50 3.1	13 0.8	1,377 86.7	198 12.4
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	348	32.2	54.3	9.8	3.4	0.3	86.5	13.2
	パート・アルバイト等で就労	597	34.5	56.3	6.5	2.0	0.7	90.8	8.5
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	501	23.4	59.3	11.8	4.4	1.2	82.7	16.2
	これまで就労したことがない	105	24.8	62.9	9.5	1.9	1.0	87.7	11.4
	無回答	26	42.3	42.3	7.7	3.8	3.8	84.6	11.5
世帯 分類 別	三世代	105	31.4	58.1	8.6	-	1.9	89.5	8.6
	核家族	1,320	30.5	57.0	8.9	3.1	0.5	87.5	12.0
	ひとり親	106	25.5	54.7	14.2	3.8	1.9	80.2	18.0
	ひとり親三世代	29	17.2	58.6	13.8	10.3	-	75.8	24.1
	その他	28	17.9	60.7	7.1	7.1	7.1	78.6	14.2

②相談相手

問23 あなたが子育てについて不安に思ったり、困ったりすることやわからないことがある場合、誰（どこ）に相談されますか。（あてはまる番号すべてに○）

図4-9 相談相手〔全体〕（前回調査比較）



相談相手については「配偶者・パートナー」(75.3%)、「友人」(66.1%)、「その他の親族(親、きょうだいなど)」(59.6%)の3項目が上位にあげられている。

前回調査と比較すると「友人」が70.9%から4.8ポイント減少し、「学校等の保護者仲間」「学校の先生」「インターネットや育児書で解決策を探す」などの割合が約4～8ポイント高くなっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

学年別にみると、1～3年生で「配偶者・パートナー」「その他の親族（親、きょうだいなど）」「友人」などに相談する割合がやや高い。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」している人では「職場の人」（39.7%）が約4割と高い。

世帯分類別にみると「ひとり親」では「その他の親族（親、きょうだいなど）」への相談が他の世帯に比べて12ポイント以上低くなっている。「相談相手がいない」は「ひとり親」では6.6%、「ひとり親三世代」では6.9%みられる。

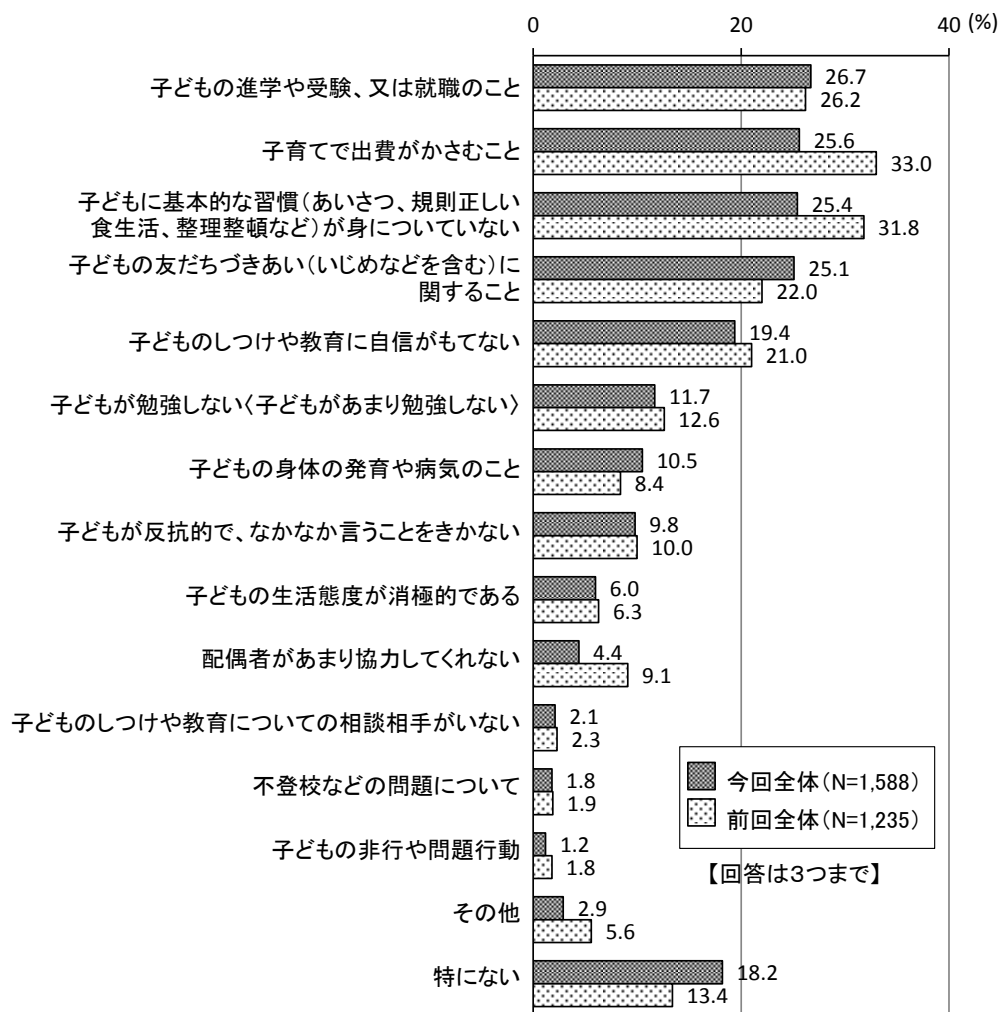
表4-10 相談相手〔全体、学年別、母親の就労状況別、世帯分類別〕

		標本数	配偶者・パートナー	その他の親族 (親、きょうだいなど)	友人	隣近所の人、 地域の知人	職場の人	学校等の 保護者仲間	学校の先生	区保健福祉センター (保健所、福祉事務所)	病院	警察署・ 交番	民生委員・ 児童委員、 主任児童委員	こども総合 相談センター (えがお館)	民間の電話 相談	解決策を探 す	インターネ ットや育 児書で	その他	相談相手 がない	相談する ことが ない	無回答
全体		1,588 100.0	1,195 75.3	947 59.6	1,050 66.1	250 15.7	307 19.3	506 31.9	499 31.4	19 1.2	105 6.6	1 0.1	6 0.4	41 2.6	4 0.3	262 16.5	18 1.1	15 0.9	13 0.8	49 3.1	
学年別	小学1～3年生	824	78.2	62.0	67.2	15.7	20.3	31.9	30.7	1.2	6.9	0.1	0.4	2.2	-	17.1	1.8	0.6	0.5	2.8	
	小学4～6年生	763	72.1	57.1	64.9	15.9	18.3	31.8	32.2	1.2	6.3	-	0.4	3.0	0.5	15.9	0.4	1.3	1.2	3.4	
	無回答	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	348	65.8	55.7	60.6	15.8	39.7	25.6	28.2	-	6.9	0.3	0.3	0.9	0.6	16.4	1.7	1.7	1.7	3.2	
	パート・アルバイト等で就労	597	74.9	60.1	70.2	15.9	26.6	34.7	33.2	1.0	5.2	-	0.3	2.8	0.2	12.6	0.7	0.2	0.5	4.9	
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	501	81.8	61.9	65.9	14.4	1.4	33.9	32.1	1.8	8.6	-	0.2	3.4	-	21.4	1.2	1.0	0.6	1.8	
	これまで就労したことがない	105	86.7	63.8	63.8	19.0	-	28.6	30.5	3.8	4.8	-	-	1.9	-	15.2	1.9	-	1.0	-	
	無回答	26	69.2	53.8	73.1	23.1	7.7	34.6	30.8	-	3.8	-	3.8	7.7	3.8	19.2	-	-	-	-	
世帯 分類 別	三世代	105	83.8	65.7	62.9	11.4	23.8	29.5	37.1	1.0	6.7	-	-	1.0	-	13.3	-	-	1.0	3.8	
	核家族	1,320	82.4	60.0	66.8	15.8	17.8	33.0	31.1	1.3	6.5	0.1	0.3	2.2	0.2	17.3	1.1	0.5	0.8	2.8	
	ひとり親	106	3.8	47.2	60.4	18.9	30.2	23.6	32.1	0.9	7.5	-	1.9	5.7	0.9	13.2	1.9	6.6	0.9	4.7	
	ひとり親三世代	29	-	69.0	69.0	6.9	31.0	20.7	13.8	-	3.4	-	-	3.4	-	17.2	3.4	6.9	3.4	3.4	
	その他	28	53.6	57.1	64.3	25.0	21.4	28.6	39.3	-	10.7	-	-	14.3	-	3.6	3.6	-	-	7.1	

(4) 子育ての悩み

問22 あなたが子育てに関して、悩んでいることや気になることはありますか。
(〇は3つまで)

図4-10 子育ての悩み [全体] (前回調査比較)



()内は前回調査項目

子育ての悩みについては、「子どもの進学や受験、又は就職のこと」(26.7%)が最も高く、次いで「子育てで出費がかさむこと」(25.6%)、「子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない」(25.4%)、「子どもの友だちづきあい(いじめなどを含む)に関すること」(25.1%)、「子どものしつけや教育に自信がもてない」(19.4%)となっている。

前回調査と比較すると、「子育てで出費がかさむこと」「子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない」「配偶者があまり協力してくれない」などは約4~7ポイント低くなり、「特になし」が4.8ポイント高くなっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

学年別にみると、1～3年生では「子どもに基本的な習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身につけていない」「子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること」が同率の27.8%で最も高く、4～6年生では「子どもの進学や受験、又は就職のこと」が35.1%で最も高くなっている。

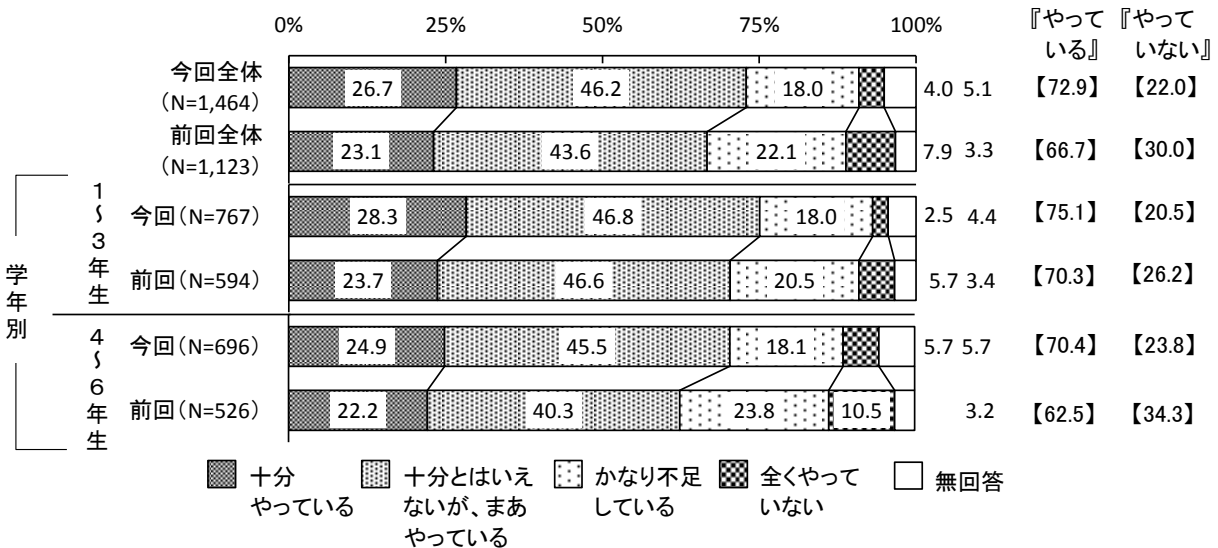
表4-11 子育ての悩み [全体、学年別]

		標本数	子どもに基本的な習慣（あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など）が身につけていない	子どものしつけや教育に自信がもてない	子どもとのしつけや教育についての相談相手がいらない	配偶者があまり協力してくれない	子どもが勉強しない	子どもの進学や受験、又は就職のこと	子どもが反抗的で、なかなか言うことをきかない	子どもの生活態度が消極的である	子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること	不登校などの問題について	子どもの身体の発育や病気のこと	子どもの非行や問題行動	子育てで出費がかさむこと	その他	特にない	無回答
全体		1,588 100.0	403 25.4	308 19.4	33 2.1	70 4.4	186 11.7	424 26.7	155 9.8	96 6.0	398 25.1	28 1.8	167 10.5	19 1.2	406 25.6	46 2.9	289 18.2	33 2.1
学年別	小学1～3年生	824	27.8	21.4	2.4	4.1	9.6	18.9	10.0	5.8	27.8	1.3	10.6	1.0	25.4	3.0	18.7	1.9
	小学4～6年生	763	22.8	17.3	1.7	4.7	13.9	35.1	9.4	6.3	22.1	2.2	10.5	1.4	25.7	2.8	17.7	2.2
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

(5) 父親の子育てへの評価

問26 あなたのご家庭では、父親はどの程度子育てをしていますか。(〇は1つ)

図4-11 父親の子育てへの評価 [全体、学年別] (前回調査比較)



父親の子育てについては「十分とはいえないが、まあやっている」(46.2%)が最も高く、次いで「十分にやっている」(26.7%)でこれらを合わせた『やっている』は72.9%となっている。「かなり不足している」(18.0%)と「全くやっていない」(4.0%)を合わせた『やっていない』は22.0%である。

前回調査と比較すると、『やっている』と回答した人の割合は1～3年生で4.8ポイント、4～6年生で7.9ポイント高くなっている。

学年別にみると『やっている』と回答した人の割合は1～3年生で75.1%、4～6年生では70.4%と低学年の方が父親への子育ての評価は高い。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」で「十分やっている」が32.7%と高いが、「パート・アルバイト等で就労」では23.7%と『専業主婦』の人よりも低くなっている。

表4-12 父親の子育てへの評価 [全体、母親の就労状況別]

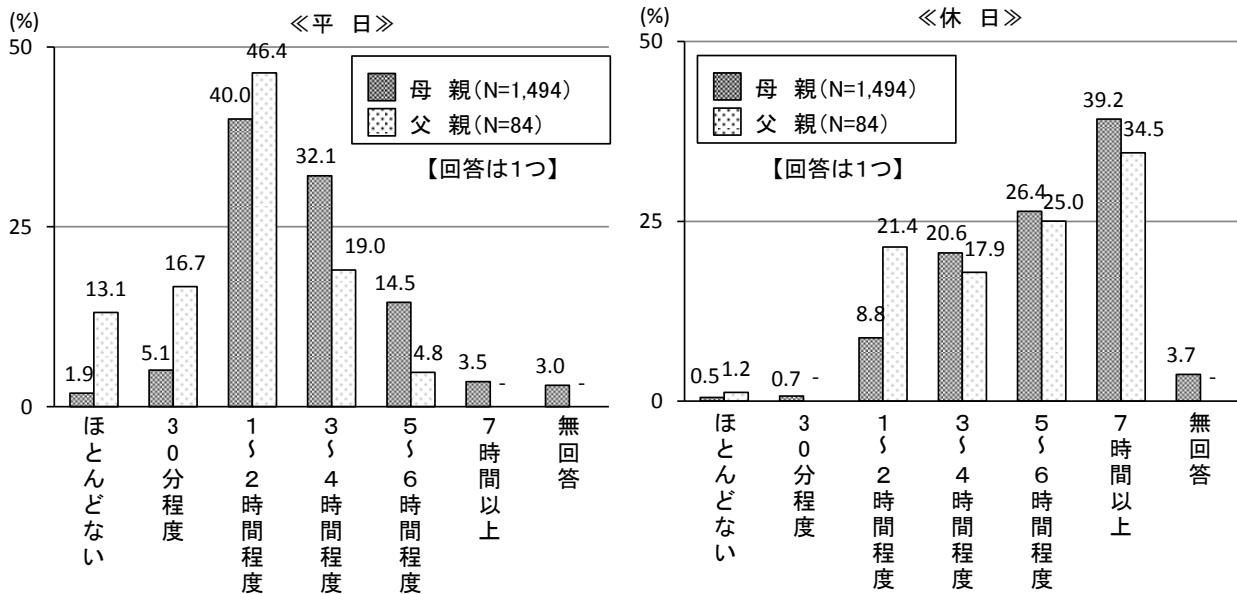
		標本数	十分やっている	十分とはいえないが、まあやっている	かなり不足している	全くやっていない	無回答	『やっている』	『やっていない』
全体		1,464 100.0	391 26.7	676 46.2	264 18.0	59 4.0	74 5.1	1,067 72.9	323 22.0
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	278	32.7	45.0	16.5	2.2	3.6	77.7	18.7
	パート・アルバイト等で就労	557	23.7	45.6	18.5	5.7	6.5	69.3	24.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	489	26.2	46.4	19.2	3.3	4.9	72.6	22.5
	これまで就労したことがない	104	29.8	49.0	18.3	1.0	1.9	78.8	19.3
	無回答	25	24.0	48.0	8.0	16.0	4.0	72.0	24.0

5. 子どもとのかかわり

(1) 子どもと過ごす時間

問 28 あなたは、あて名のお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間が1日にどのくらいありますか。食事時間を含みます。(平日・休日それぞれに〇は1つつ)

図4-12 子どもと過ごす時間〔記入者別〕



平日に子どもと過ごす時間は、父親、母親とも「1〜2時間程度」が4割台で最も多い。父親は「30分」(16.7%)や「ほとんどない」(13.1%)が母親に比べて高くなっている。

母親の就労状況別でみると『就労している』人では「1〜2時間程度」が4割を超えて最も高く、『専業主婦』の人では「3〜4時間程度」が最も高くなっている。

世帯分類別にみると、「ひとり親三世代」で「ほとんどない」が20.7%と高いのが目立つ。

休日に子どもと過ごす時間は、父親、母親とも「7時間以上」が3割台で最も多い。「1〜2時間程度」では父親が21.4%と母親(8.8%)よりも12.6ポイントも高くなっている。

母親の就労状況別でみると、就労状況に関係なく「7時間以上」が最も高いが、『就業している』場合は割合が3割台後半とやや低くなっている。

世帯分類別にみると、ほとんどの世帯では「7時間以上」が4割前後で最も高いが、「ひとり親三世代」では「5〜6時間」(31.0%)が最も高くなっている。

表4-13 子どもと過ごす時間 [全体、母親の就労状況別、世帯分類別]

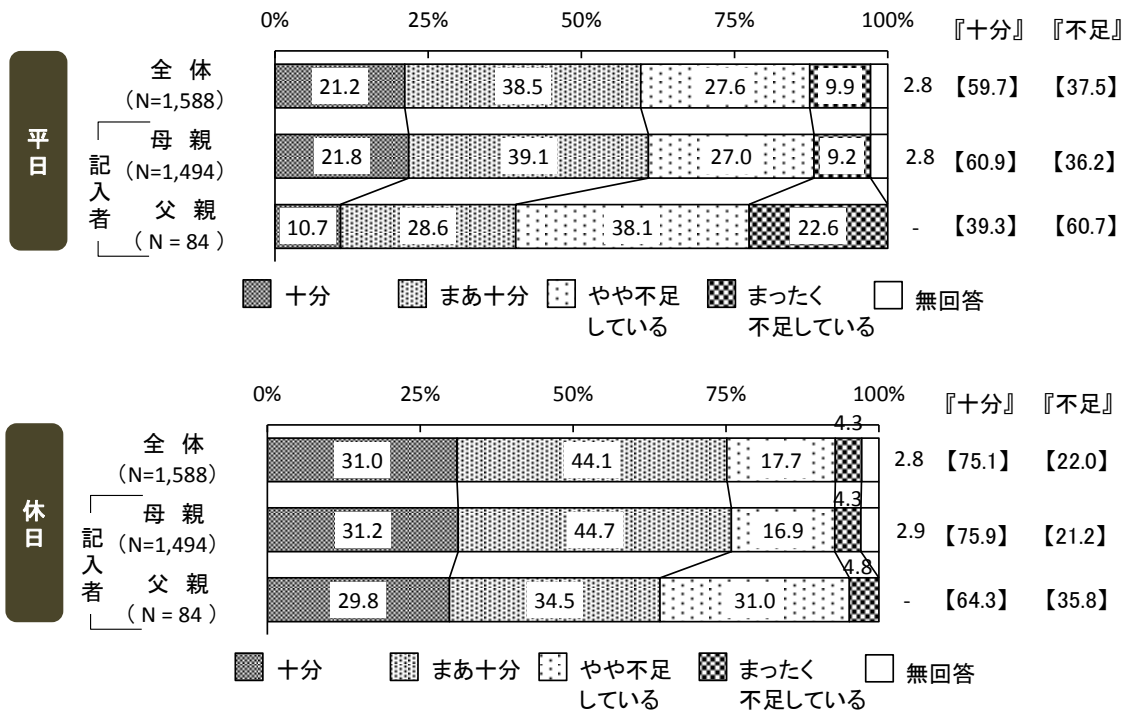
(%)

	標本数	平日							休日							
		ほとんどない	30分程度	1～2時間程度	3～4時間程度	5～6時間程度	7時間以上	無回答	ほとんどない	30分程度	1～2時間程度	3～4時間程度	5～6時間程度	7時間以上	無回答	
全体	1,588 100.0	39 2.5	92 5.8	639 40.2	499 31.4	220 13.9	53 3.3	46 2.9	9 0.6	12 0.8	152 9.6	325 20.5	415 26.1	618 38.9	57 3.6	
母親の就労状況別	フルタイムで就労	348	6.3	8.0	46.8	30.7	4.9	0.3	2.9	0.9	0.9	11.2	17.2	27.6	38.5	3.7
	パート・アルバイト等で就労	597	1.8	5.9	44.4	27.1	14.2	2.5	4.0	0.5	1.0	10.4	21.1	25.1	36.9	5.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	501	0.8	3.4	32.9	35.3	19.4	6.2	2.0	0.4	0.4	6.8	21.8	27.1	41.1	2.4
	これまで就労したことがない	105	-	6.7	32.4	36.2	18.1	5.7	1.0	-	-	8.6	22.9	22.9	43.8	1.9
	無回答	26	-	11.5	19.2	57.7	7.7	-	3.8	-	3.8	15.4	11.5	26.9	42.3	-
世帯分類別	三世帯	105	2.9	4.8	37.1	37.1	8.6	5.7	3.8	-	-	8.6	13.3	29.5	42.9	5.7
	核家族	1,320	1.4	5.5	40.3	31.8	14.7	3.5	2.7	0.5	0.5	8.9	21.6	26.2	38.9	3.3
	ひとり親	106	7.5	8.5	44.3	23.6	12.3	0.9	2.8	1.9	1.9	13.2	15.1	26.4	37.7	3.8
	ひとり親三世帯	29	20.7	6.9	44.8	24.1	-	-	3.4	3.4	-	13.8	20.7	31.0	27.6	3.4
	その他	28	10.7	10.7	28.6	28.6	14.3	-	7.1	-	10.7	25.0	14.3	3.6	39.3	7.1

(2) 子どもと過ごす時間の評価

問 29 あなたは、ご自分があて名のお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思いますか。(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

図 4-13 子どもと過ごす時間の評価 [全体、記入者別]



平日に子どもと一緒に過ごす時間に対する評価は「まあ十分」(38.5%)が最も多く、次いで「やや不足している」(27.6%)、「十分」(21.2%)になっており、『十分』(「十分」と「まあ十分」の合計)は59.7%で約6割となっている。

記入者別にみると、父親の『十分』は39.3%と母親と比べて21.6ポイントも低くなっている。

母親の就労状況別でみると「フルタイムで就労」で「やや不足している」(41.4%)、「まったく不足している」(26.7%)を合わせた『不足』(68.1%)が約7割を占めて高くなっている。

世帯分類別にみると、「ひとり親」「ひとり親三世代」では『不足』が6～7割台と高率である。

休日に子どもと一緒に過ごす時間に対する評価は「まあ十分」(44.1%)、「十分」(31.0%)と、『十分』が7割を超えている。

記入者別にみると、父親の『十分』は64.3%と平日に比べて25ポイント高くなっているが、母親(75.9%)と比べると11.6ポイント下回っている。

母親の就労状況別にみると「フルタイムで就労」では、『不足』が33.0%と他の就労状況の人に比べて高い。

世帯分類別にみると「ひとり親三世代」では『不足』(51.7%)が5割を超えて高く、また「ひとり親」(36.8%)でも約4割となっている。

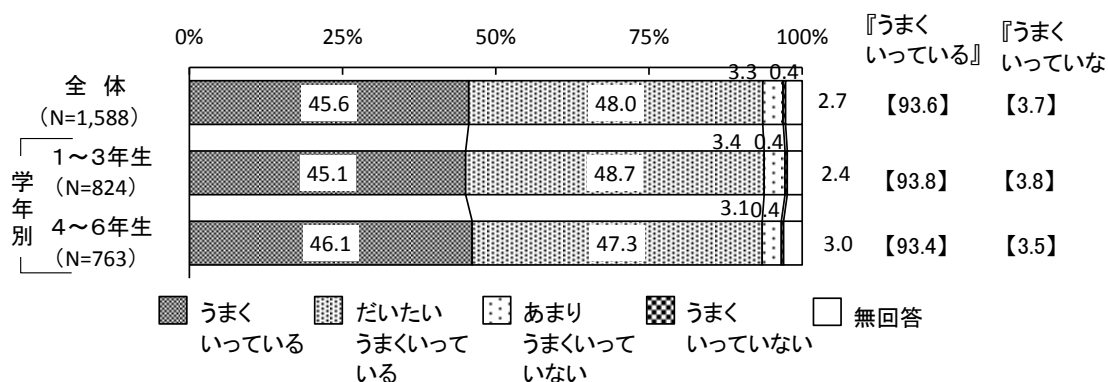
表4-14 子どもと過ごす時間の評価 [全体、母親の就労状況別、世帯分類別]

		標本数	平日						休日							
			十分	まあ十分	いやや不足して	しまったく不足	無回答	『十分』	『不足』	十分	まあ十分	いやや不足して	しまったく不足	無回答	『十分』	『不足』
全体		1,588 100.0	336 21.2	612 38.5	438 27.6	158 9.9	44 2.8	948 59.7	596 37.5	493 31.0	700 44.1	281 17.7	69 4.3	45 2.8	1,193 75.1	350 22.0
母親の就労状況別	フルタイムで就労	348	5.7	23.3	41.4	26.7	2.9	29.0	68.1	21.0	43.1	22.7	10.3	2.9	64.1	33.0
	パート・アルバイト等で就労	597	16.9	46.4	26.1	6.5	4.0	63.3	32.6	28.0	47.4	17.4	3.2	4.0	75.4	20.6
	以前は就労していたが、現在は就労していない	501	33.1	39.9	21.6	3.6	1.8	73.0	25.2	38.5	42.7	15.0	1.8	2.0	81.2	16.8
	これまで就労したことがない	105	41.0	33.3	22.9	2.9	-	74.3	25.8	47.6	35.2	14.3	2.9	-	82.8	17.2
	無回答	26	23.1	57.7	3.8	11.5	3.8	80.8	15.3	30.8	53.8	3.8	7.7	3.8	84.6	11.5
世帯分類別	三世帯	105	21.0	39.0	26.7	9.5	3.8	60.0	36.2	28.6	51.4	14.3	1.9	3.8	80.0	16.2
	核家族	1,320	22.6	40.1	27.2	7.7	2.5	62.7	34.9	32.6	44.3	17.2	3.3	2.6	76.9	20.5
	ひとり親	106	6.6	25.5	35.8	29.2	2.8	32.1	65.0	17.9	42.5	21.7	15.1	2.8	60.4	36.8
	ひとり親三世帯	29	10.3	13.8	31.0	41.4	3.4	24.1	72.4	17.2	27.6	37.9	13.8	3.4	44.8	51.7
	その他	28	21.4	39.3	14.3	14.3	10.7	60.7	28.6	32.1	28.6	17.9	10.7	10.7	60.7	28.6

(3) 子どもとの関係

問30 あなたは、あて名のお子さんとの関係についてどのように感じていますか。(○は1つ)

図4-14 子どもとの関係 [全体、学年別]



子どもとの関係は、「うまくいっている」が45.6%、「だいたいうまくいっている」が48.0%で、これらを合わせた『うまくいっている』は93.6%と9割を超えている。学年別にみても大差はみられない。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

母親の就労状況別にみると、いずれの就労状況でも『うまくいっている』は9割を超えているが、「フルタイムで就労」では90.2%と他の就労状況の人と比べるとやや低くなっている。

世帯分類別にみると、「ひとり親家庭」では『うまくいっている』が82.0%と他の世帯よりも1割程度低く、『うまくいっていない』(15.1%)が1割を超えている。

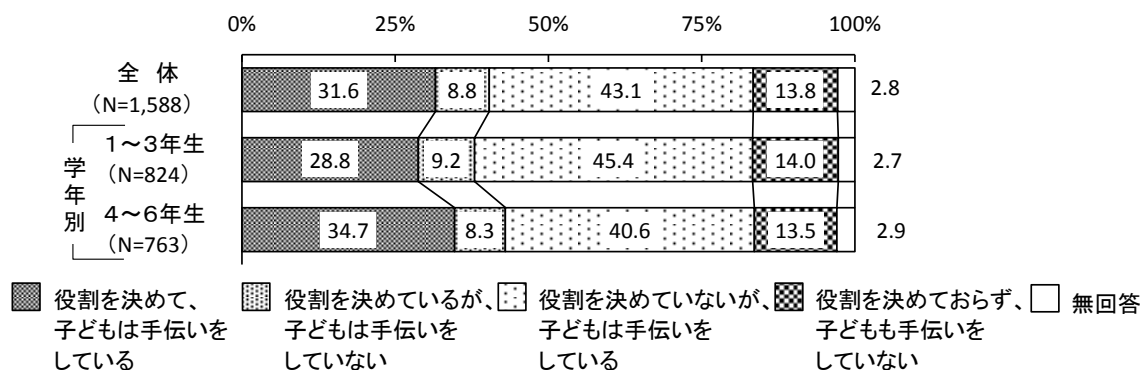
表4-15 子どもとの関係 [全体、母親の就労状況別、世帯分類別]

			うまくいっている	てだいたいうまくいっている	あまりうまくいっていない	うまくいっていない	無回答	『うまくいっている』	『うまくいっていない』
全体		1,588 100.0	724 45.6	762 48.0	52 3.3	7 0.4	43 2.7	1,486 93.6	59 3.7
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	348	40.5	49.7	5.2	1.4	3.2	90.2	6.6
	パート・アルバイト等で就労	597	51.3	42.7	2.0	0.3	3.7	94.0	2.3
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	501	41.7	52.9	3.6	-	1.8	94.6	3.6
	これまで就労したことがない	105	51.4	44.8	3.8	-	-	96.2	3.8
	無回答	26	50.0	46.2	-	-	3.8	96.2	-
世帯 分類 別	三世代	105	49.5	43.8	2.9	-	3.8	93.3	2.9
	核家族	1,320	46.8	48.1	2.5	0.2	2.3	94.9	2.7
	ひとり親	106	35.8	46.2	12.3	2.8	2.8	82.0	15.1
	ひとり親三世代	29	31.0	62.1	-	-	6.9	93.1	-
	その他	28	25.0	50.0	10.7	3.6	10.7	75.0	14.3

(4) 家庭での子どもの役割

問31 あなたは、あて名のお子さんの家庭での役割(手伝い)を決めていますか。(〇は1つ)

図4-15 家庭での子どもの役割 [全体、学年別]



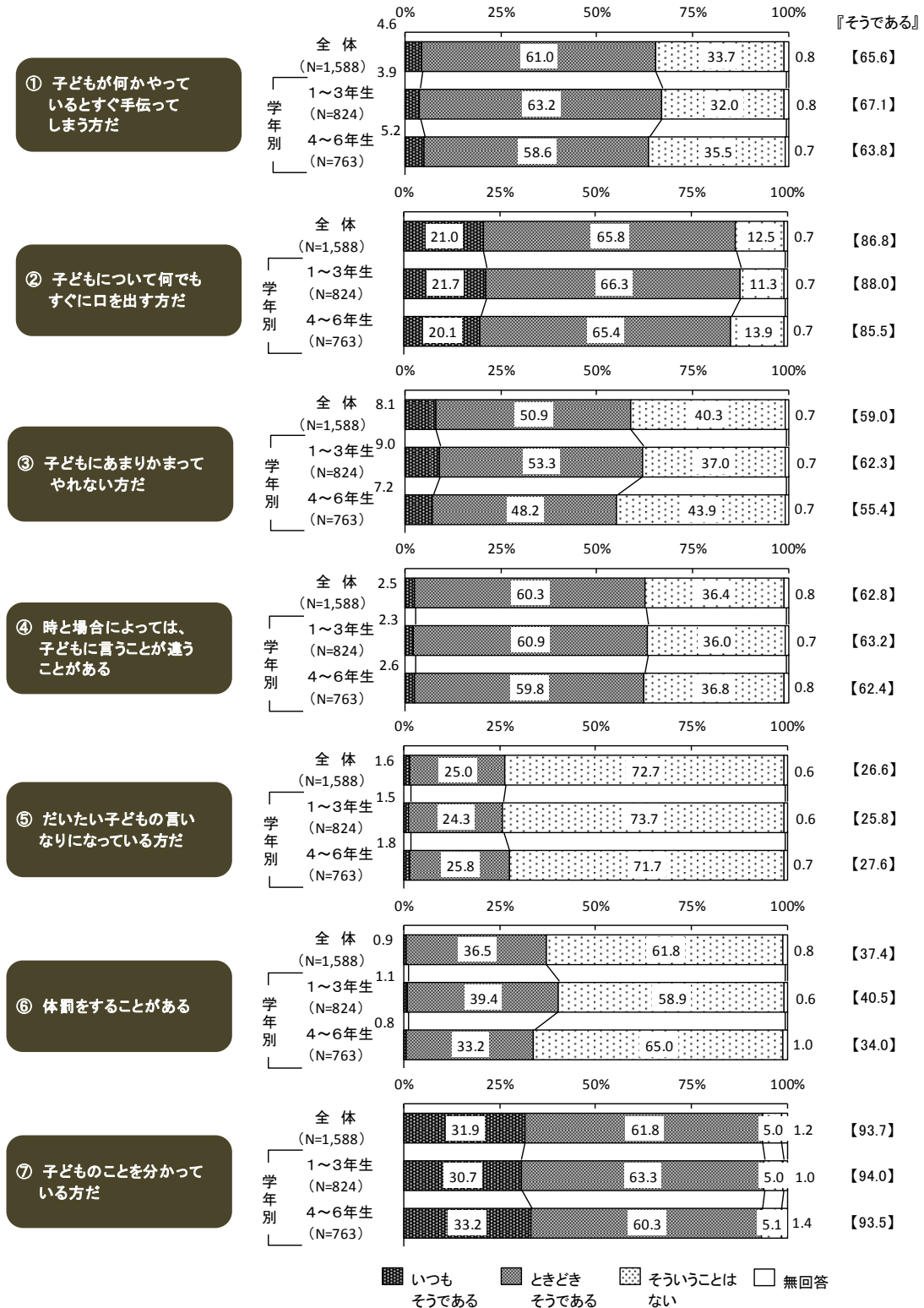
家庭での子どもの役割は「役割を決めていないが、子どもは手伝いをしている」が43.1%で最も高い。次いで「役割を決めて、子どもは手伝いをしている」が31.6%で何らかの形で手伝いをしている子どもは74.7%となっている。また、子どもが手伝いをしていない家庭は22.6%である。

学年別にみると、4～6年生で「役割を決めて、子どもは手伝いをしている」が34.7%と1～3年生(28.8%)より5.9ポイントも高くなっている。

(5) 日ごろのしつけ (態度)

問 32 お子さんに対する、あなたの日ごろのしつけ (態度) はどのようにされていますか。
 (①～⑦について、それぞれ〇は1つずつ)

図 4-16 日ごろのしつけ (態度) [全体、学年別]



子どもに対する日ごろのしつけ（態度）について、「いつもそうである」と「ときどきそうである」を合わせた『そうである』割合が最も高いのは「子どものことをわかっている方だ」で9割を超えている。次いで「子どもについて何でもすぐに口を出す方だ」が8割台、「子どもが何かやっているとすぐ手伝ってしまう方だ」と「時と場合によっては、子どもに言うことが違うことがある」「子どもにあまりかまってもやれない方だ」がそれぞれ約6割台となっている。「だいたい子どもの言いなりになっている方だ」と「体罰をすることがある」は「そういうことはない」が6割以上で『そうである』を上回っているが、約3～4割みられる。

(6) 子どもをしかる場面

問 33 あなたは、あて名のお子さんが次のようなことをした場合、しかったり、注意したりしますか。(①～⑩について、それぞれ〇は1つずつ)

図4-17(1) 子どもをしかる場面 [全体、学年別]

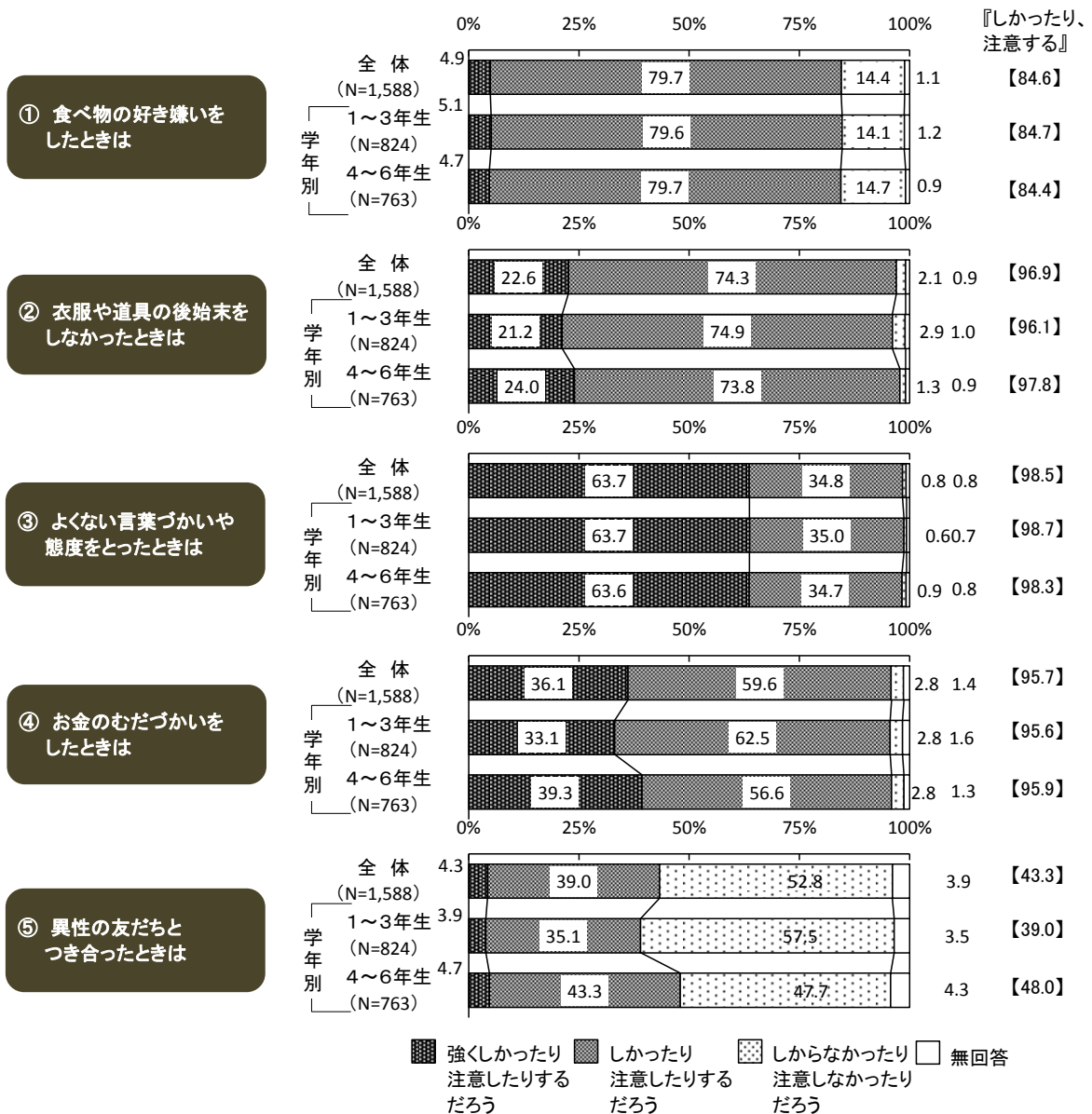
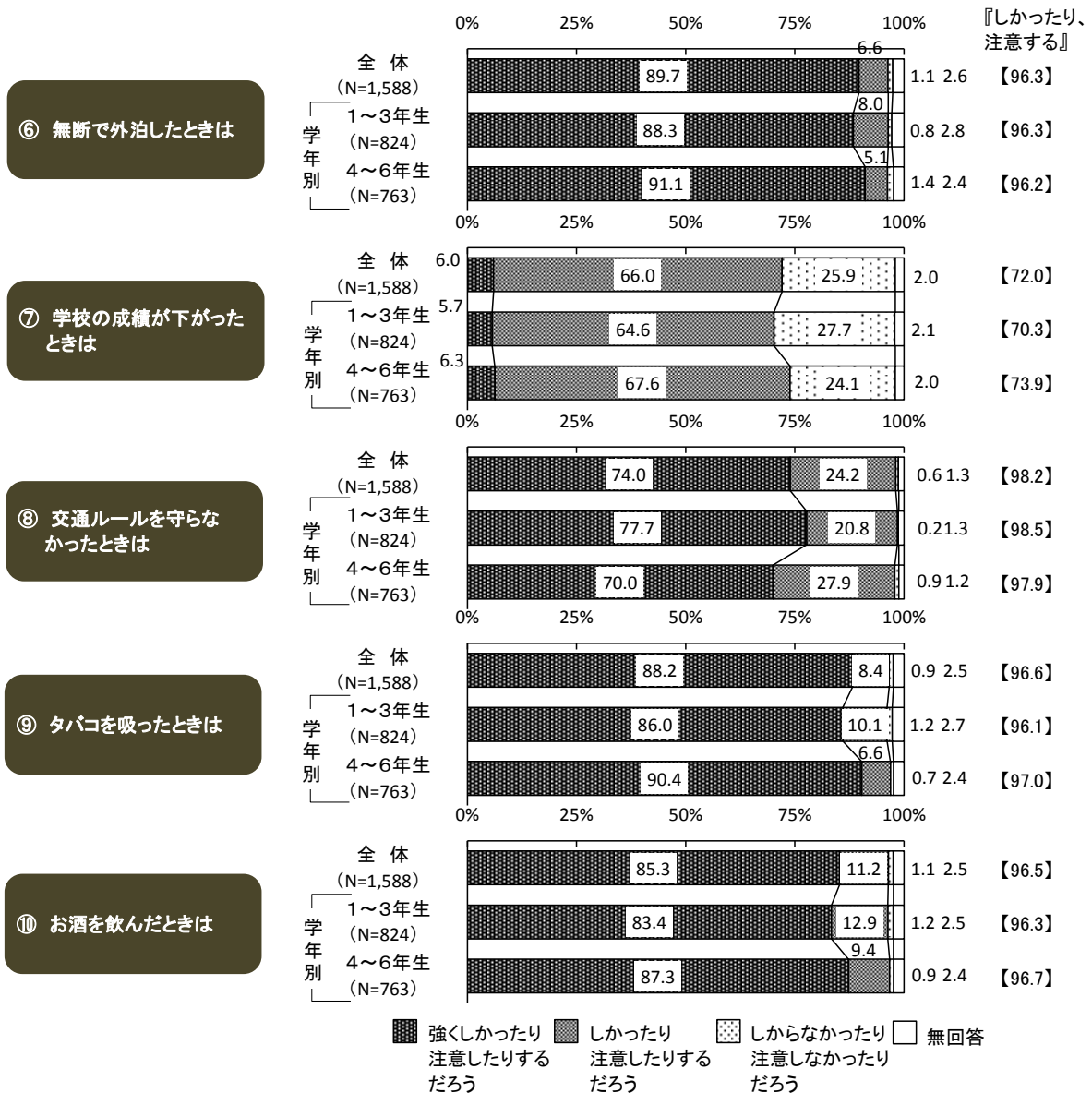


図4-17(2) 子どもをしかる場面 [全体、学年別]



子どもをしかったり、注意したりする場合について、「強くしかったり注意したりするだろう」が高いものは、「無断で外泊したときは」「タバコを吸ったときは」「お酒を飲んだときは」が約8～9割、「交通ルールを守らなかったときは」が約7割、「よくない言葉づかいや態度をとったときは」が約6割となっている。

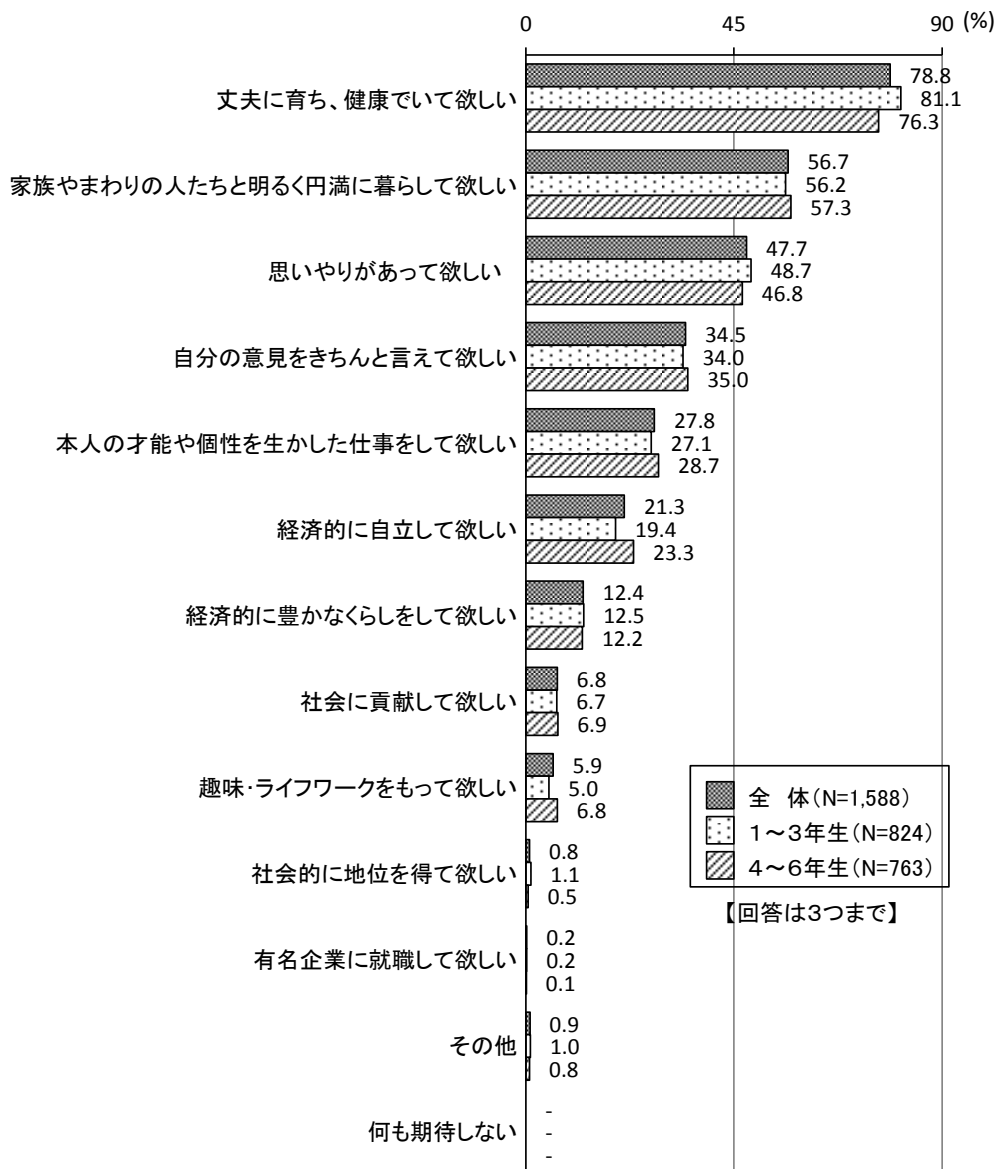
「しかったり注意したりするだろう」が高いものは「食べ物の好き嫌いをしたときは」が約8割、「衣服や道具の後始末をしなかったときは」「学校の成績が下がったときは」が約7割、「お金のむだづかいをしたときは」が約6割である。

「しからなかったり注意しなかったりするだろう」が最も高いのは「異性の友だちとつき合ったときは」で約5割となっている。

6. 子どもの将来に期待すること

問34 あなたは、あて名のお子さんの将来に何を期待しますか（〇は3つまで）

図4-18 子どもの将来に期待すること [全体、学年別]



子どもの将来の期待として最も高いのは「丈夫に育ち、健康でいて欲しい」(78.8%)であり、続いて「家族やまわりの人たちと明るく円満に暮らして欲しい」(56.7%)、「思いやりがあって欲しい」(47.7%)、「自分の意見をきちんと言えて欲しい」(34.5%)の順となっている。

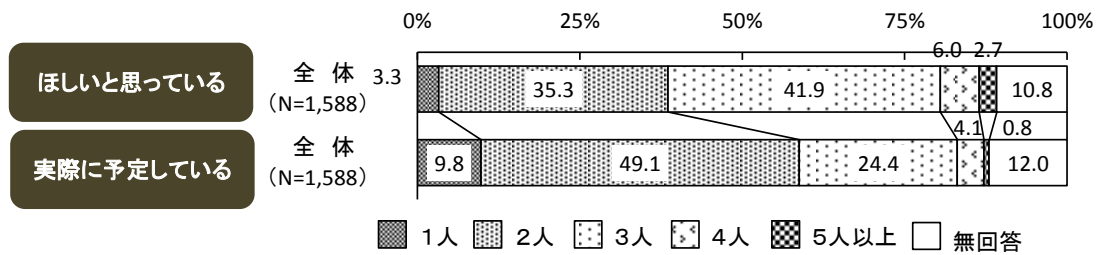
学年別にみても大差はみられない。

7. ほしいと思っている子どもの数と実際の子どもの数

(1) ほしい子どもの数と理想の子どもの数

問 52 あなたが、ほしいと思っている子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(枠内に数字を記入)

図 4-19 ほしい子どもの数と理想の子どもの数 [全体]



ほしいと思っている子どもの数は「3人」(41.9%)と「2人」(35.3%)で約8割を占めており、他の人数は1割に満たない。

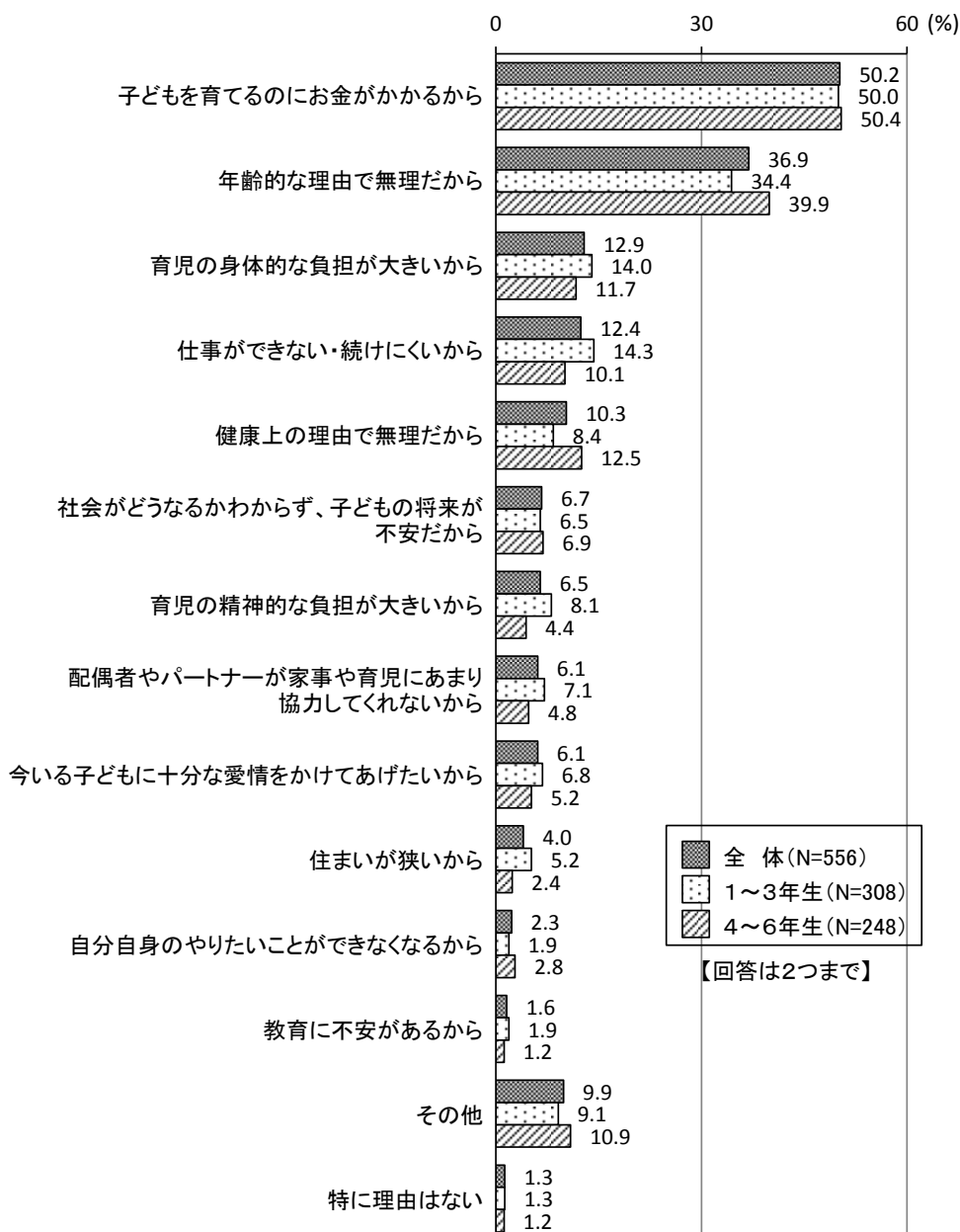
実際に予定している子どもの数は「2人」が49.1%で最も高く、続いて「3人」が24.4%で、ほしいと思っている子どもの数より少なくなっている。

(2) 理想より実際の子どもの数が少ない理由

問 52 で、ほしいと思っている子どもの数よりも実際に予定している子どもの数が少ない方がいます。

問 52-1 その理由は何ですか。(○は2つまで)

図 4-20 理想より実際の子どもの数が少ない理由 [全体、学年別]



予定している子どもの数が少ない理由として、「子どもを育てるのにお金がかかるから」(50.2%)が最も高く、次いで「年齢的な理由で無理だから」(36.9%)の2つが主な理由となっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

学年別にみると、4～6年生では「年齢的な理由で無理だから」「健康上の理由で無理だから」、1～3年生では「育児の身体的な負担が大きいため」「仕事ができない・続けにくいから」などの理由がやや高くなっている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」では「子どもを育てるのにお金がかかるから」が36.4%と他の就労状況の人よりも低い割合となっているが、反対に「仕事ができない・続けにくいから」(23.3%)が高くなっている。

表4-16 理想より実際の子どもの数が少ない理由 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	育児の身体的な負担が大きいため	育児の精神的な負担が大きいため	配偶者やパートナーが家事や育児にあまり協力してくれないから	年齢的な理由で無理だから	健康上の理由で無理だから	自分自身のやりたいことができないから	住まいが狭いから	子どもを育てるのにお金がかかるから	仕事ができない・続けにくいから	教育に不安があるから	社会がどうなるかわからず、子どもの将来が不安だから	今いる子どもに十分な愛情をかけてあげたいから	その他	特に理由はない	無回答
全体		556 100.0	72 12.9	36 6.5	34 6.1	205 36.9	57 10.3	13 2.3	22 4.0	279 50.2	69 12.4	9 1.6	37 6.7	34 6.1	55 9.9	7 1.3	18 3.2
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	129	11.6	2.3	5.4	42.6	7.8	4.7	2.3	36.4	23.3	0.8	4.7	3.1	12.4	2.3	5.4
	パート・アルバイト等で就労	219	13.7	5.5	5.0	32.4	6.8	0.9	4.1	57.5	13.2	1.8	7.8	5.5	9.1	1.4	3.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	163	14.1	10.4	9.2	36.8	14.1	1.8	4.9	52.1	5.5	1.8	6.7	9.8	8.0	0.6	1.2
	これまで就労したことがない	36	8.3	11.1	2.8	44.4	19.4	5.6	5.6	44.4	-	2.8	8.3	5.6	11.1	-	2.8
	無回答	6	-	-	-	50.0	33.3	-	-	66.7	-	-	-	-	16.7	-	-

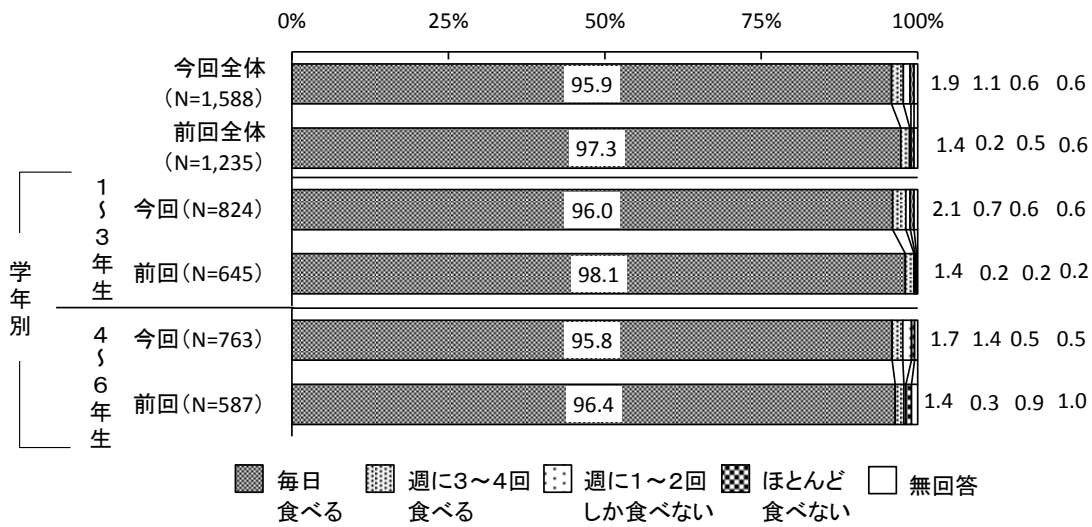
第5章 子どもの日ごろの生活や居場所

1. 日ごろの生活

(1) 朝食の状況

問 35 あて名のお子さんの朝食のとり方はどうですか。(〇は1つ)

図5-1 朝食の状況 [全体、学年別] (前回調査比較)



朝食を食べる頻度については「毎日食べる」が95.9%で、ほとんどの子どもが欠かさず朝食をとっている。

前回調査と比較すると、「毎日食べる」が1~3年生で98.1%から2.1ポイント減少している。学年別にみると4~6年生で「週に1~2回しか食べない」が1.4%とやや高い。

世帯分類別にみると「毎日食べる」が「ひとり親」「ひとり親三世代」で9割を下回っている。

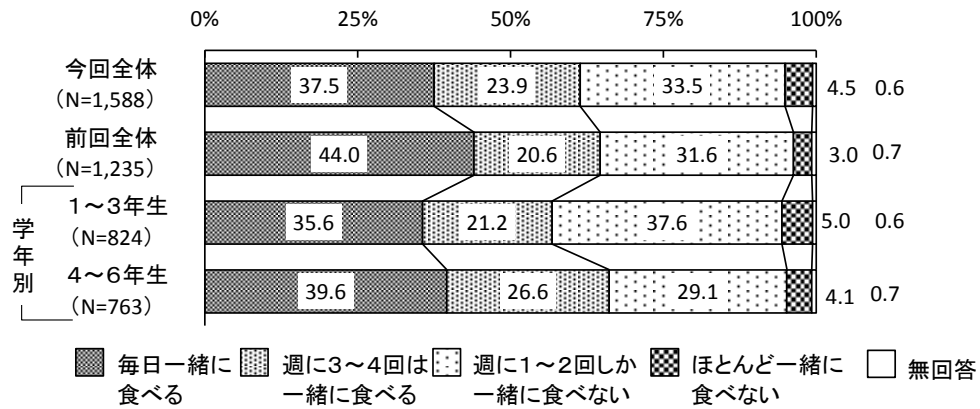
表5-1 朝食の状況 [全体、世帯分類別]

		標本数	毎日食べる	週に3~4回食べる	週に1~2回しか食べない	ほとんど食べない	無回答
全体		1,588 100.0	1,523 95.9	30 1.9	17 1.1	9 0.6	9 0.6
世帯分類別	三世代	105	96.2	1.9	1.9	-	-
	核家族	1,320	96.9	1.5	0.8	0.3	0.5
	ひとり親	106	86.8	5.7	3.8	2.8	0.9
	ひとり親三世代	29	89.7	3.4	3.4	3.4	-
	その他	28	89.3	3.6	-	3.6	3.6

(2) 夕食を一緒に食べる回数

問 36 1 週間のうち、夕食を家族そろってとる回数は何回ですか。(〇は1つ)

図 5-2 夕食を一緒に食べる回数 [全体、学年別] (前回調査比較)



1 週間のうち、家族そろって夕食をとる回数は「毎日一緒に食べる」(37.5%)が最も高く、次いで「週に1~2回しか一緒に食べない」(33.5%)、「週に3~4回しか一緒に食べない」(23.9%)となっている。

前回調査と比較すると、「毎日一緒に食べる」が44.0%から6.5ポイント減少し、「週に1~2回しか一緒に食べない」や「ほとんど一緒に食べない」の割合が増えている。

学年別にみると、1~3年生で「週に1~2回しか一緒に食べない」(37.6%)や「ほとんど一緒に食べない」(5.0%)の割合が4~6年生に比べて高い。

(3) 就寝時刻と起床時刻

問 37 ふつう、あて名のお子さんが寝る時刻と起きる時刻は何時頃ですか。
(枠内に数字を記入)

図 5-3 就寝時刻 [学年別] (前回調査比較)

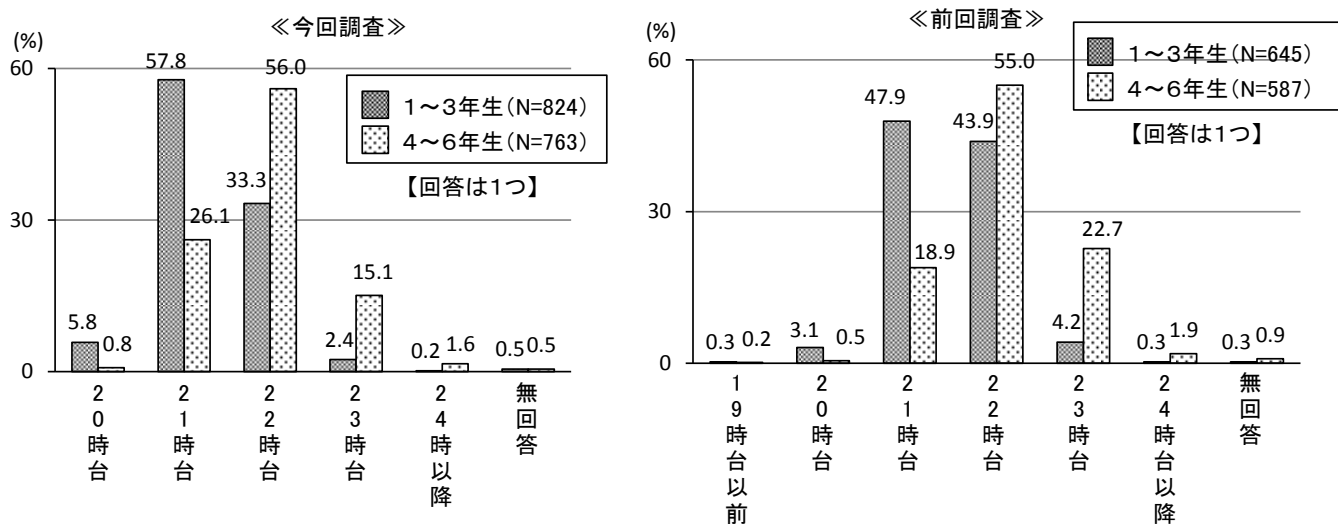
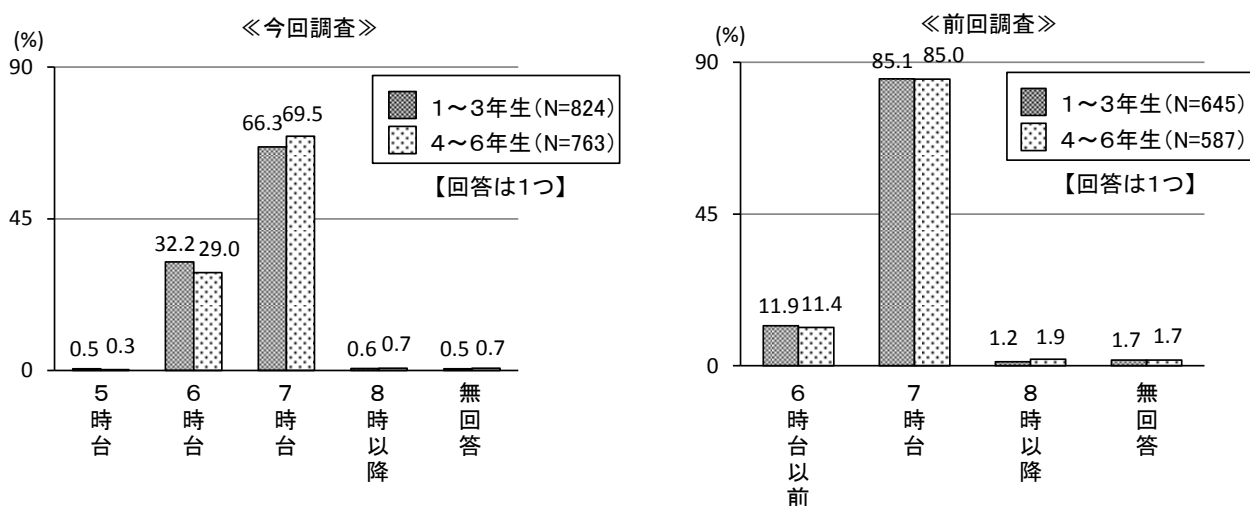


図 5-4 起床時刻 [学年別] (前回調査比較)



子どもの就寝時刻については、1～3年生では「21 時台」(57.8%)が最も高く、次いで「22 時台」(33.3%)となっているが、4～6年生では「22 時台」(56.0%)が最も高く、「21 時台」(26.1%)という順になっている。

前回調査と比較すると、1～3年生では「22 時台」の就寝が 10.6 ポイント、4～6年生では「23 時台」が 7.6 ポイント減少しており、就寝時刻が早くなっている子どもが増えている。

母親の就労状況別にみると、「フルタイムで就労」の場合「22 時台」が 51.7%と最も高く、その他の就労状況の人に比べて就寝時刻が遅くなっている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

起床時刻については、いずれの学年も「7時台」が6割台で、続いて「6時台」が約3割となっている。

前回調査と比較すると、いずれの学年も「7時台」の起床が15ポイント以上減少し、6時台以前の起床が多くなり、起床時刻が早くなっている子どもが増えている。

母親の就労状況別にみると、あまり大きな差はみられない。

表5-2 就寝時刻と起床時刻 [全体、母親の就労状況別]

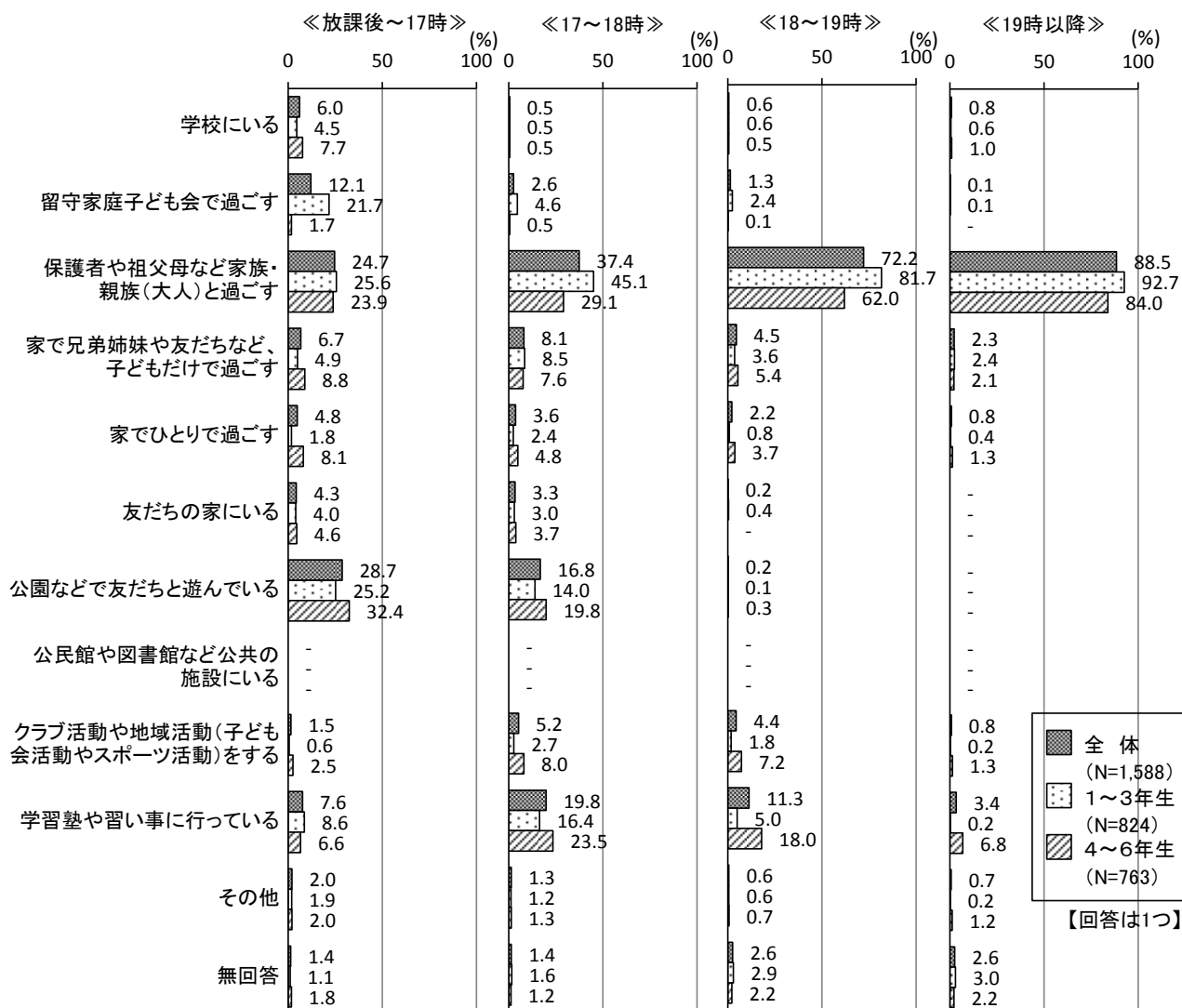
(%)

	標本数	寝る時刻						起きる時刻					
		20時台	21時台	22時台	23時台	24時以降	無回答	5時台	6時台	7時台	8時以降	無回答	
全体	1,588 100.0	54 3.4	676 42.6	701 44.1	135 8.5	14 0.9	8 0.5	6 0.4	486 30.6	1,077 67.8	10 0.6	9 0.6	
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	348	0.9	36.2	51.7	9.5	1.7	-	0.6	33.9	64.9	0.3	0.3
	パート・アルバイト等で就労	597	2.8	43.7	45.2	7.2	0.7	0.3	0.2	28.3	70.5	0.5	0.5
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	501	4.6	46.1	39.3	9.0	0.2	0.8	0.6	30.7	66.9	1.2	0.6
	これまで就労したことがない	105	9.5	41.0	39.0	7.6	1.0	1.9	-	33.3	64.8	-	1.9
	無回答	26	3.8	46.2	34.6	11.5	3.8	-	-	30.8	69.2	-	-

(4) 平日の放課後の過ごし方

問 38 平日の放課後、あて名のお子さんは、主にどのように過ごされていますか。
 (時間帯ごとに、最も多いものを1つずつ選び、下の表に番号を記入)

図5-5 平日の放課後の過ごし方 [全体、学年別]



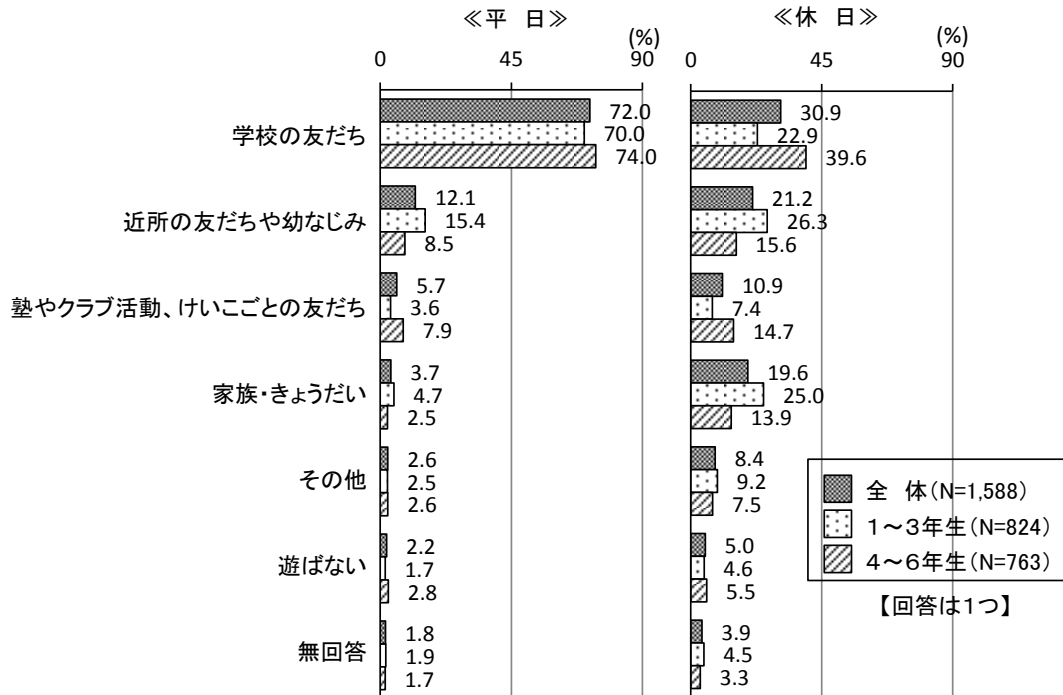
子どもの平日の過ごし方について、放課後から17時までは「公園などで友だちと遊んでいる」、17時以降は「保護者や祖父母など家族・親族(大人)と過ごす」の割合が最も高くなっている。その他に17～18時では「学習塾や習い事に行っている」(19.8%)が「公園などで友だちと遊んでいる」(16.8%)よりも高くなっている。

学年別にみると1～3年生は、放課後から17時までは「留守家庭子ども会で過ごす」(21.7%)が高く、18～19時では4～6年生で「学習塾や習い事に行っている」(18.0%)が高い。

(5) 日ごろいっしょに遊ぶ友だち

問 39 あて名のお子さんは、日ごろどんな友達と遊ぶことが一番多いですか。
 (平日の放課後・休日それぞれ最も多いもの1つずつ選び、番号を枠内に記入)

図5-6 日ごろいっしょに遊ぶ友だち [全体、学年別]



平日にいっしょに遊ぶ友だちは「学校の友だち」(72.0%)が7割を占め、圧倒的に多い。次いで「近所の友だちや幼なじみ」が12.1%となっている。

学年別にみると、1～3年生では「近所の友だちや幼なじみ」(15.4%)、4～6年生では「塾やクラブ活動、けいこごとの友だち」(7.9%)がやや多い。

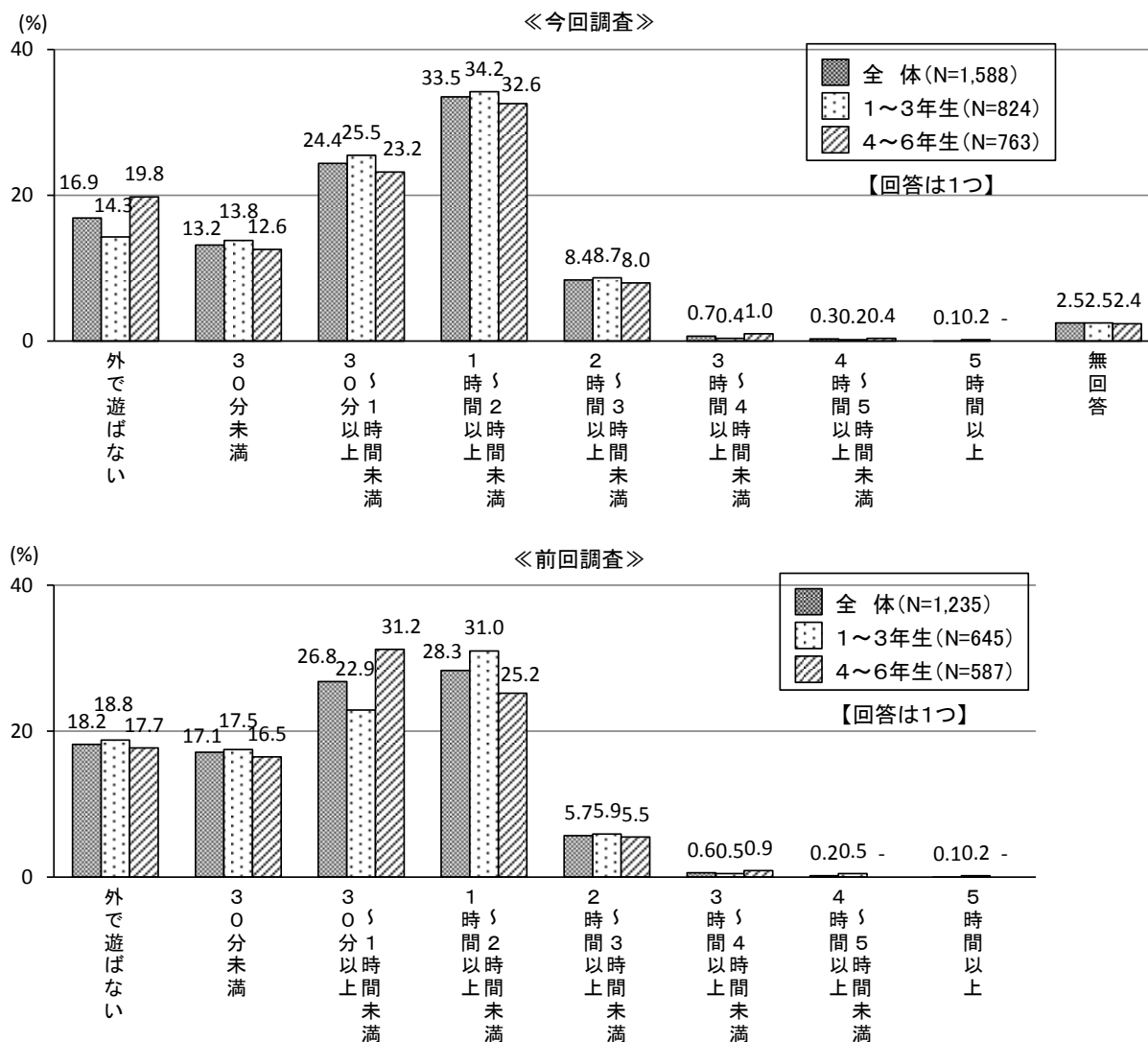
休日に一緒に遊ぶ友だちは「学校の友だち」が30.9%、次いで「近所の友だちや幼なじみ」(21.2%)、「家族・きょうだい」(19.6%)など多岐にわたっている。

学年別にみると、1～3年生では「近所の友だちや幼なじみ」(26.3%)や「家族・きょうだい」(25.0%)と過ごす割合が高く、4～6年生では「学校の友だち」(39.6%)や「塾やクラブ活動、けいこごとの友だち」(14.7%)といっしょに遊ぶことが1～3年生よりも多い。

(6) 外で遊ぶ時間

問40 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、外で遊びますか。
(平日・休日それぞれに〇は1つずつ)

図5-7 平日に外で遊ぶ時間 [全体、学年別] (前回調査比較)

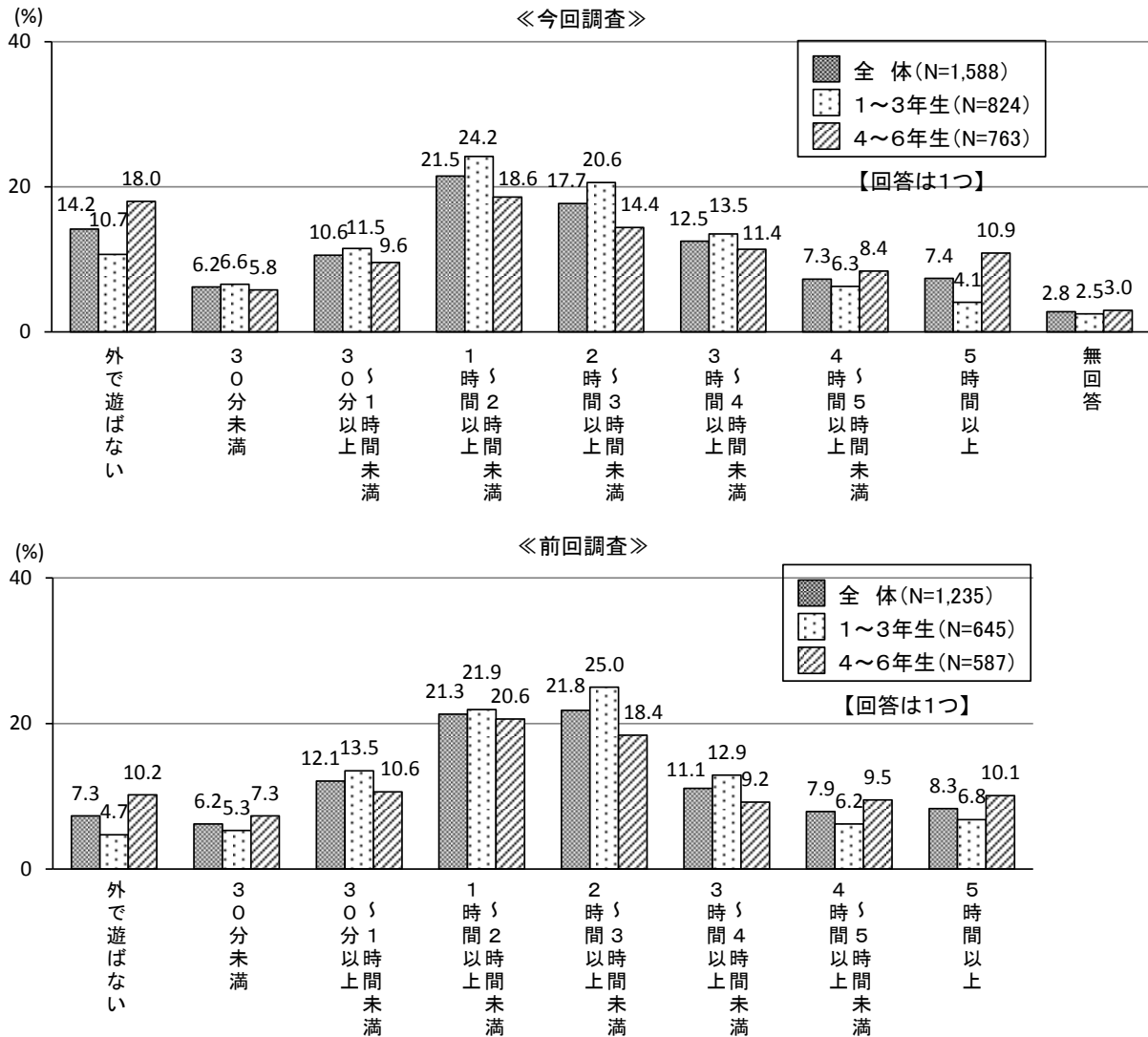


平日に外で遊ぶ時間は「1時間以上～2時間未満」が33.5%と最も多く、次いで「30分以上～1時間未満」が24.4%となっている。

前回調査と比較すると、4～6年生で「1時間以上～2時間未満」が7.4ポイント増加し、「30分以上～1時間未満」が8ポイント減少するなど、外で遊ぶ時間は長くなっている。

学年別にみると、4～6年生では「外で遊ばない」が19.8%と約2割となっている。

図5-8 休日に外で遊ぶ時間〔全体、学年別〕（前回調査比較）



休日に外で遊ぶ時間は「1時間以上～2時間未満」が21.5%、「2時間以上～3時間未満」が17.7%、「3時間以上～4時間未満」12.5%と平日に比べて外遊びの時間は長くなっている。

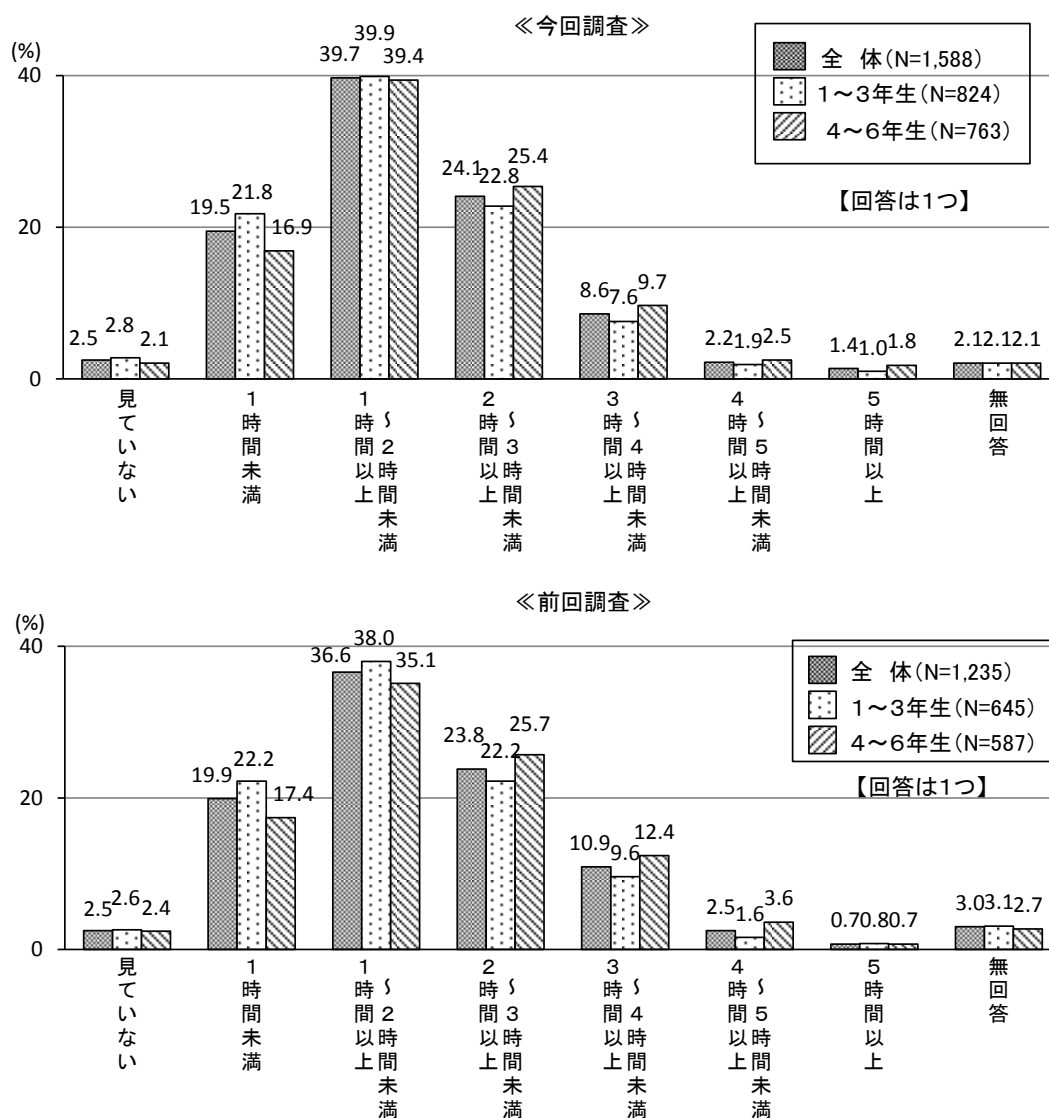
前回調査と比較すると、「外で遊ばない」が1～3年生で6ポイント、4～6年生で7.8ポイント増加している。

学年別にみると、4～6年生で「外で遊ばない」が18.0%と平日同様に高い。

(7) テレビ等を見る時間

問41 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビやDVDを見ていますか。ゲームをしている時間も含まれます。(平日・休日それぞれに〇は1つずつ)

図5-9 平日にテレビ等を見る時間 [全体、学年別] (前回調査比較)



1日にテレビやDVDを見たりゲームをする時間は平日では「1時間以上～2時間未満」が39.7%で最も多く、次いで「2時間以上～3時間未満」(24.1%)となっている。

前回調査と比較すると、いずれの学年も3時間未満までは大きな変化はみられないが、「3時間以上～4時間未満」や「4時間以上～5時間未満」で割合がやや減少している。

学年別にみると、『2時間以上』は1～3年生が33.3%、4～6年生が39.4%と4～6年生の方がやや視聴時間は長い。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

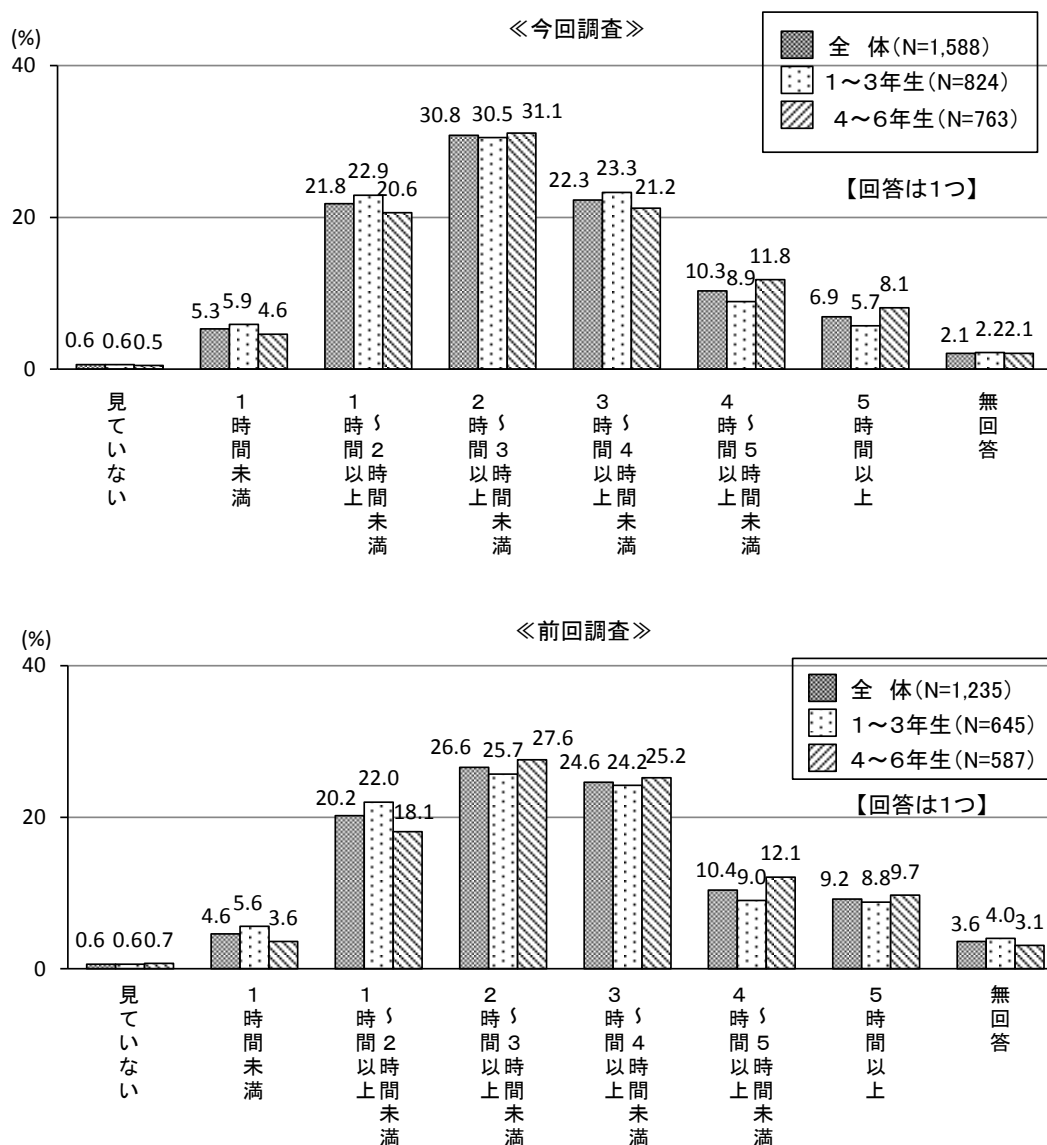
母親の就労状況別にみると、「1時間未満」は『専業主婦』の方が『就労している』場合よりも割合が高く、『1時間以上～3時間未満』の時間帯では『就労している』場合の方が割合は高くなっており、『就労している』場合の方がやや視聴時間は長い傾向にある。

世帯分類別にみると、ひとり親やひとり親三世代では『2時間以上』が5割前後と他の世帯よりも15ポイントほど高くなっている。

表5-3 平日にテレビ等を見る時間〔全体、母親の就労状況別、世帯分類別〕

		標本数	平日							無回答
			見ていない	1時間未満	2時間未満	3時間未満	4時間未満	5時間未満	5時間以上	
全体		1,588 100.0	39 2.5	309 19.5	631 39.7	382 24.1	137 8.6	35 2.2	22 1.4	33 2.1
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	348	3.4	19.5	38.5	22.1	7.5	2.9	2.0	4.0
	パート・アルバイト等で就労	597	1.5	15.6	41.9	27.1	8.7	2.3	0.7	2.2
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	501	3.2	21.6	39.7	23.4	8.2	2.2	1.2	0.6
	これまで就労したことがない	105	1.9	28.6	33.3	18.1	12.4	-	2.9	2.9
	無回答	26	-	30.8	34.6	19.2	15.4	-	-	-
世帯 分類 別	三世代	105	1.9	18.1	47.6	19.0	7.6	1.0	2.9	1.9
	核家族	1,320	2.5	20.4	39.8	23.9	8.3	2.2	1.1	2.0
	ひとり親	106	2.8	10.4	32.1	30.2	14.2	3.8	3.8	2.8
	ひとり親三世代	29	3.4	13.8	27.6	37.9	6.9	-	3.4	6.9
	その他	28	-	21.4	50.0	14.3	10.7	3.6	-	-

図5-10 休日にテレビ等を見る時間〔全体、学年別〕（前回調査比較）



休日では、「2時間以上～3時間未満」が30.8%、「3時間以上～4時間未満」が22.3%となっており、平日に比べてテレビ等を見る時間は長くなっている。

前回調査と比較すると、いずれの学年も「2時間以上～3時間未満」がやや増えており、「3時間以上～4時間未満」がやや減少しているが、あまり大きな差はみられない。

母親の就労状況別にみると、『就労している』場合でも『専業主婦』でもあまり大差はみられない。

世帯分類別にみると、ひとり親やひとり親三代では『2時間以上』の割合は他の世帯に比べてやや高いものの、平日に比べると差は小さい。

表5-4 休日にテレビ等を見る時間 [全体、母親の就労状況別、世帯分類別]

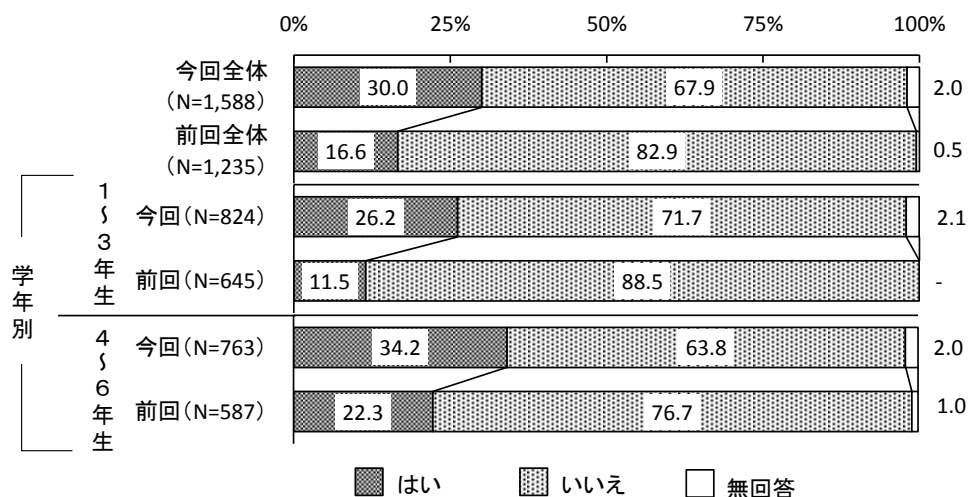
(%)

		標本数	休日							無回答
			見 て い な い	1 時 間 未 満	2 1 時 間 未 満 上 ↓	3 2 時 間 未 満 上 ↓	4 3 時 間 未 満 上 ↓	5 4 時 間 未 満 上 ↓	5 時 間 以 上	
全 体		1,588 100.0	9 0.6	84 5.3	346 21.8	489 30.8	354 22.3	163 10.3	109 6.9	34 2.1
母 親 の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	348	0.9	4.6	19.5	35.3	18.7	9.5	7.5	4.0
	パート・アルバイト等で就労	597	0.5	4.0	22.4	28.3	23.8	11.2	7.4	2.3
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	501	0.6	6.6	23.0	30.9	23.8	9.8	4.8	0.6
	これまで就労したことがない	105	-	9.5	19.0	32.4	16.2	9.5	10.5	2.9
	無回答	26	-	3.8	26.9	19.2	34.6	7.7	7.7	-
世 帯 分 類 別	三世代	105	1.9	5.7	20.0	36.2	19.0	6.7	8.6	1.9
	核家族	1,320	0.4	5.2	22.7	30.9	22.4	10.3	6.1	2.0
	ひとり親	106	1.9	5.7	12.3	26.4	22.6	12.3	16.0	2.8
	ひとり親三世代	29	-	3.4	17.2	20.7	31.0	13.8	6.9	6.9
	その他	28	-	10.7	25.0	32.1	17.9	10.7	3.6	-

(8) 子どもの携帯電話・スマートフォン、タブレットなどの通信端末の所有状況

問 42 あて名のお子さんは、携帯電話やスマートフォン、タブレットなどの通信端末を持っていますか。

図5-11 子どもの携帯電話・スマートフォン、タブレットなどの通信端末の所有状況
[全体、学年別] (前回調査比較)



前回調査の質問は「あて名のお子さんは携帯電話やPHSを持っていますか」

通信端末を持っているかという質問に対して、全体では「いいえ」(67.9%)の方が多数だが、「はい」(30.0%)も3割となっている。

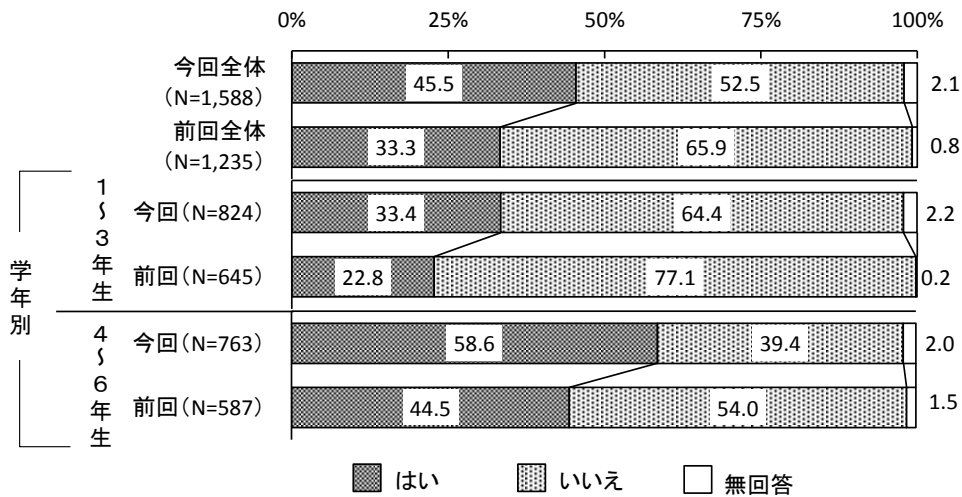
前回調査と比較すると、いずれの学年も所有率は10ポイント以上高くなっている。

学年別にみると、4~6年生で「はい」が34.2%と学年が上がると所有率も上がっている。

(9) 子どものインターネットの利用状況

問 43 あて名のお子さんは、ご家庭でパソコンや携帯電話、タブレットなどでインターネットを使っていますか。

図 5-12 子どものインターネットの利用状況 [全体、学年別] (前回調査比較)



子どもがインターネットを使用しているかについて「はい」が45.5%、「いいえ」が52.5%と7ポイント差となっている。

前回調査と比較すると、通信端末の所有率が上がったことから、インターネットの使用も前回調査よりいずれの学年も10ポイント以上高くなっている。

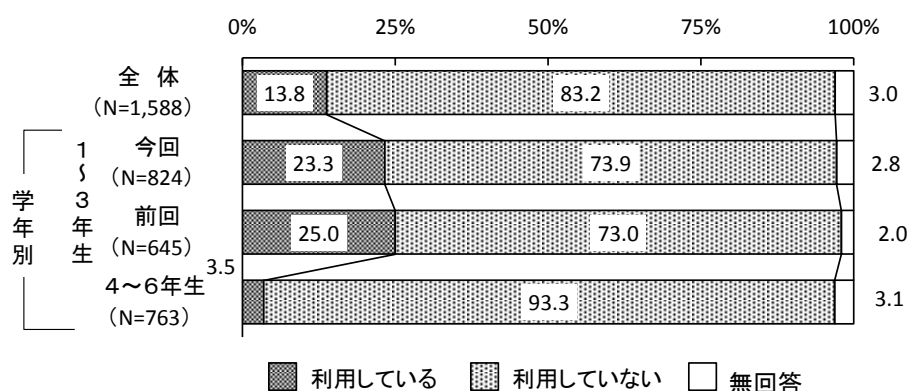
学年別にみると、1～3年生では「はい」は33.4%であるが、4～6年生では58.6%と約6割が利用している。

2. 留守家庭子ども会の利用状況

(1) 利用状況

問11 あて名のお子さんについて、現在、留守家庭子ども会（留守家庭子どもクラブを含む）を利用していますか。（〇は1つ）

図5-13 留守家庭子ども会の利用状況 [全体、学年別]



留守家庭子ども会の利用については、「利用していない」(83.2%)が8割を超えており、「利用している」13.8%を大幅に上回っている。

1～3年生を前回調査と比較すると、「利用している」は全体の4分の1とあまり大きな変化はみられない。

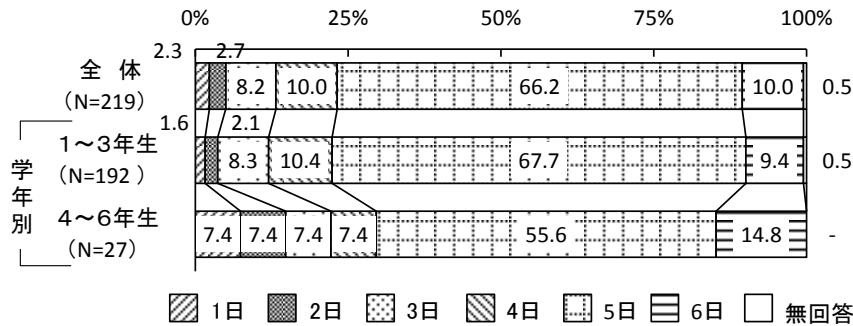
学年別では、1～3年生では「利用している」が23.3%と4人に1人が利用しているが、4～6年生になると3.5%に減少している。

①利用日数

問 11 で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 11-1 ① 留守家庭子ども会の利用日数はどれくらいですか。

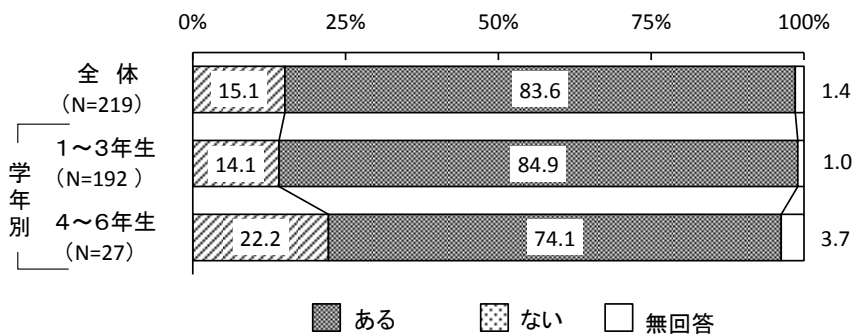
図 5-14 留守家庭子ども会の利用日数 [全体、学年別]



留守家庭子ども会の利用日数は「5日」(66.2%)が最も多く、次いで「6日」と「4日」が同率 10.0%となっている。

学年別にみると、「5日」の利用は1~3年生(67.7%)の方が多いが、4~6年生では『4日以下』(29.6%)の利用が約3割、「6日」の利用が14.8%と1~3年生より多くみられる。

図 5-15 留守家庭子ども会の土曜日の利用状況 [全体、学年別]



留守家庭子ども会を利用している人のうち、土曜日の利用が「ある」のは 15.1%で、「ない」(83.6%)が大部分を占めている。

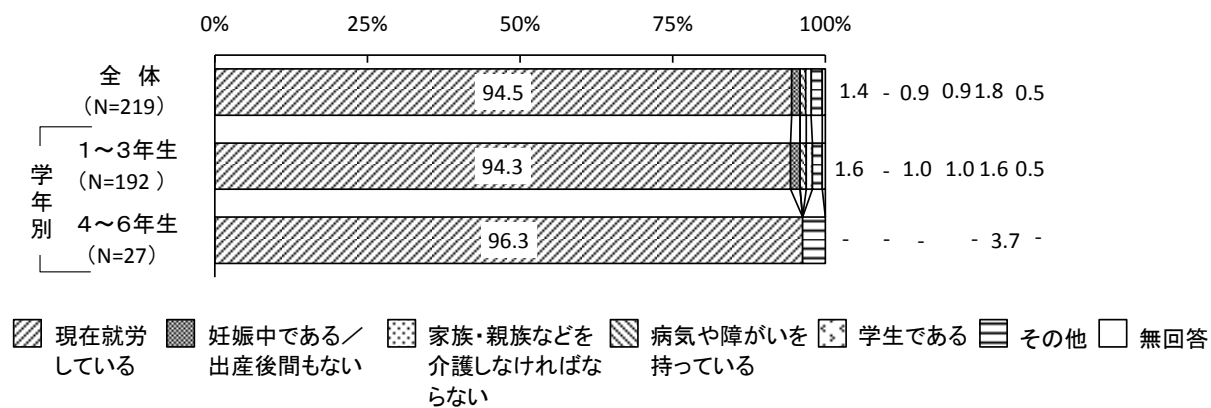
学年別にみると、土曜日の利用は4~6年生が22.2%と1~3年生(14.1%)より多い。

②利用している理由

問11で「1」を選んだ方にうかがいます。

問11-1 ② どういう理由で利用していますか。(〇は1つ)

図5-16 留守家庭子ども会を利用している理由 [全体、学年別]



留守家庭子ども会を利用している理由は「現在就労している」(94.5%)が回答の9割以上を占めており、それ以外の項目についてはいずれも1%前後となっている。

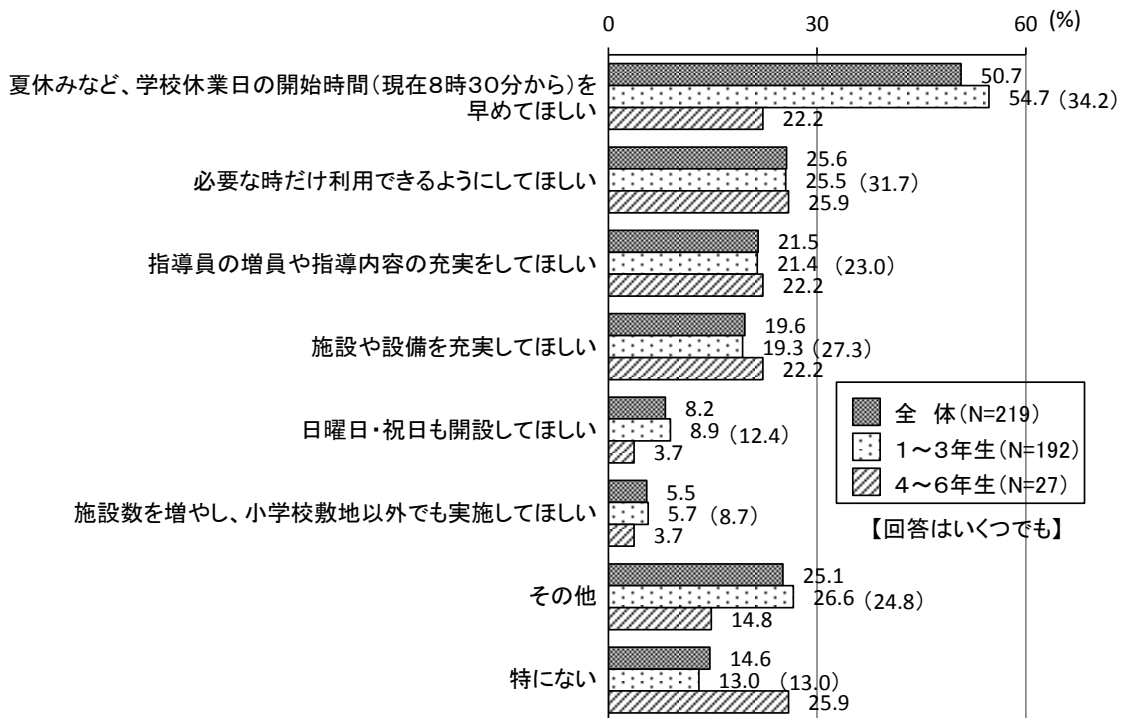
③今後充実してほしいこと

問 11 で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 11-1 ③ 留守家庭子ども会で、今後充実してほしいことは何ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

図 5-17 留守家庭子ども会で今後充実してほしいこと [全体、学年別] (前回調査比較)



()内は前回調査の比率

留守家庭子ども会に今後充実して欲しいこととして「夏休みなど、学校休業日の開始時間(現在8時30分から)を早めてほしい」(50.7%)が最も高く、次いで「必要な時だけ利用できるようにしてほしい」(25.6%)、「指導員の増員や指導内容の充実をしてほしい」(21.5%)、「施設や設備を充実してほしい」(19.6%)となっている。

前回調査では回答が1～3年生である。「夏休みなど、学校休業日の開始時間(現在8時30分から)を早めてほしい」は34.2%から20.5ポイントも高くなっているが、その他の項目については割合が低くなっている。

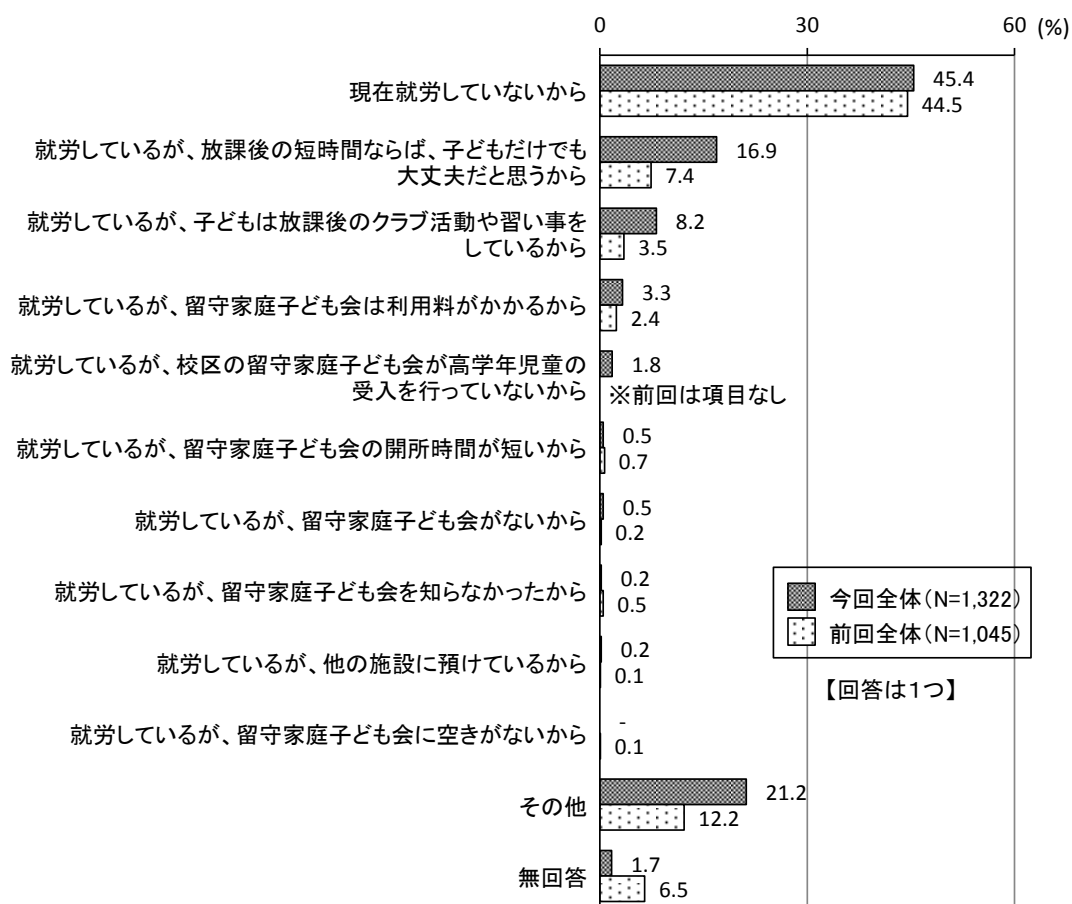
学年別にみると「夏休みなど、学校休業日の開始時間(現在8時30分から)を早めてほしい」は1～3年生で54.7%と4～6年生(22.2%)の割合を大きく上回っている。

(2) 利用していない理由

問11で「2」を選んだ方にうかがいます。

問11-2 利用していない理由はなぜですか。(〇は1つ)

図5-18 留守家庭子ども会を利用していない理由〔全体〕(前回調査比較)



留守家庭子ども会を利用していない理由としては「現在就労していないから」(45.4%)が最も高く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」(16.9%)、「就労しているが、子どもは放課後のクラブ活動や習い事をしているから」(8.2%)となっている。それ以外の項目は5%未満にとどまっている。

前回調査と比較すると、割合は低いが、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」は9.5ポイント、「就労しているが、子どもは放課後のクラブ活動や習い事をしているから」は4.7ポイント高くなっている。

学年別にみると「現在就労していないから」が1～3年生では55.7%であるのに対して、4～6年生では36.7%となっており、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」は4～6年生では23.0%と1～3年生(9.7%)を13.3ポイント上回っている。

表 5-5 留守家庭子ども会を利用していない理由 [全体、学年別]

(%)

		標本数	現在就労していないから	就労しているが、留守家庭子ども会を知らなかったから	就労しているが、留守家庭子ども会がないから	就労しているが、留守家庭子ども会に空きがないから	就労しているが、留守家庭子ども会の開所時間が短いから	就労しているが、留守家庭子ども会は利用料がかかるから	就労しているが、子どもは放課後のクラブ活動や習い事をしていないから	就労しているが、放課後の短時間と思うから	就労しているが、他の施設に預けているから	就労しているが、校区の留守家庭子ども会が高学年児童の受入を行っていないから	その他	無回答
全体		1,322 100.0	600 45.4	3 0.2	6 0.5	- -	7 0.5	44 3.3	109 8.2	223 16.9	3 0.2	24 1.8	280 21.2	23 1.7
学年別	小学1～3年生	609	55.7	0.2	0.7	-	0.7	3.4	5.3	9.7	0.5	-	22.3	1.6
	小学4～6年生	712	36.7	0.3	0.3	-	0.4	3.2	10.8	23.0	-	3.4	20.1	1.8
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

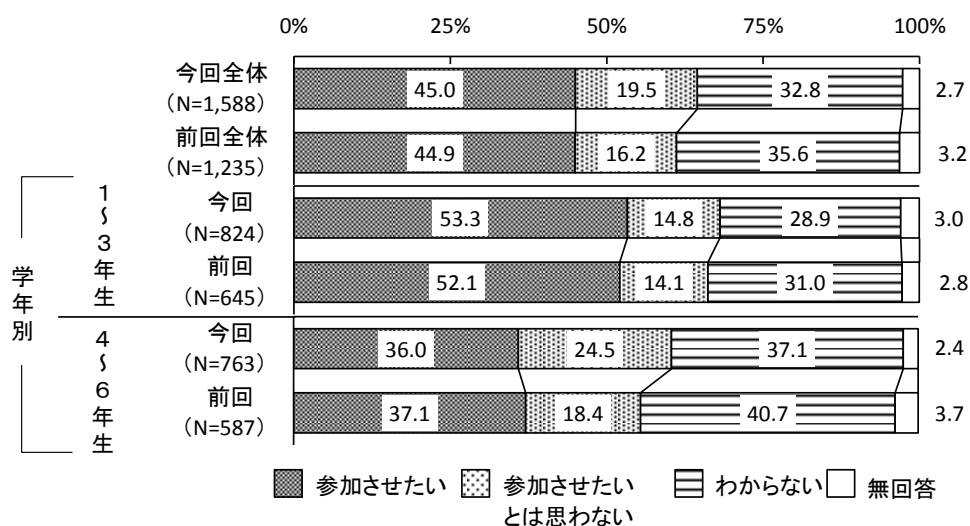
3. 放課後等の遊び場づくり事業の利用意向

すべての方にうかがいます。

問12 福岡市では、全児童が利用できる、平日の放課後に実施している「放課後等の遊び場づくり事業（わいわい広場）」、土・日など学校が休みの時に実施している「昼間校庭開放事業」がありますが、その利用意向はありますか。（それぞれについて○は1つ。意向がある場合は、希望日数も記入。）

◎放課後等の遊び場づくり事業（わいわい広場）

図5-19 放課後等の遊び場づくり事業利用意向 [全体、学年別] (前回調査比較)

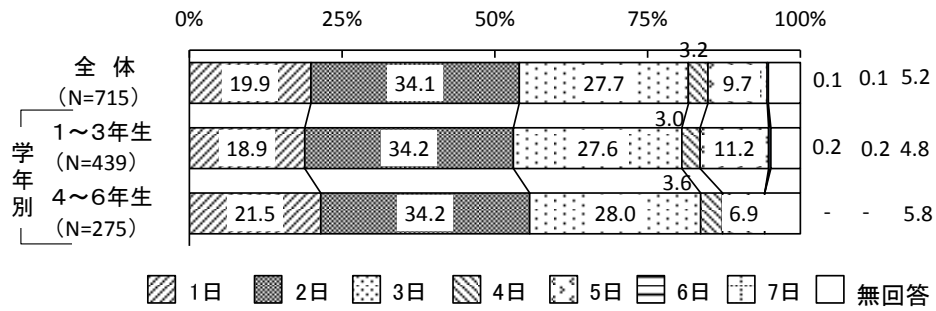


放課後等の遊び場づくり事業への参加意向について、全体では「参加させたい」が45.0%で、「参加させたいとは思わない」19.5%を大きく上回っているものの、「わからない」も32.8%と比較的高い。

前回調査と比較すると、いずれの学年でも大きな変化はみられないが、4～6年生で「参加させたいとは思わない」が18.4%から6.1ポイント高くなっている。

学年別にみると、「参加させたい」は1～3年生で53.3%と4～6年生(36.0%)を17.3ポイント上回っている。

図5-20 放課後等の遊び場づくり事業への参加希望日数（週当たり）[全体、学年別]

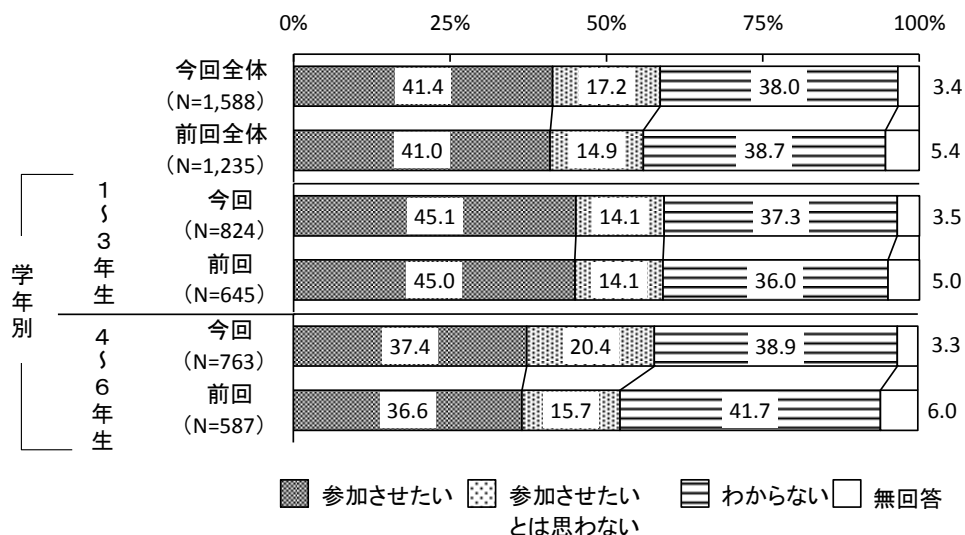


放課後等の遊び場づくり事業への週当たりの参加希望日数は「2日」が34.1%、「3日」が27.7%、「1日」が19.9%となっている。

学年別にみてもあまり大きな差はみられない。

◎昼間校庭開放事業

図5-21 昼間校庭開放事業の利用意向〔全体、学年別〕（前回調査比較）

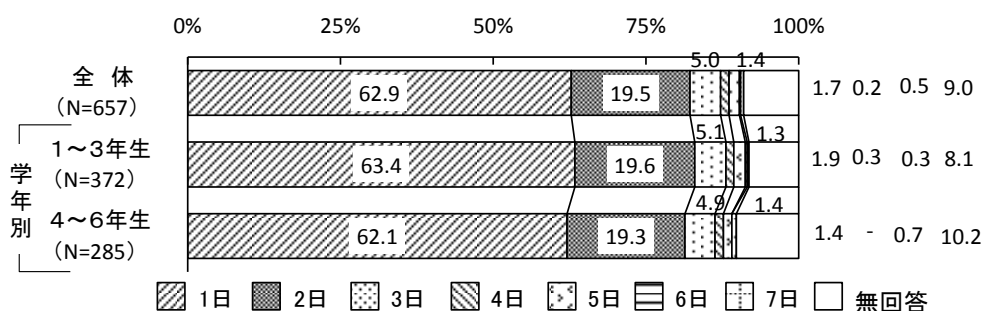


昼間校庭開放事業の利用意向としては、「参加させたい」が41.4%と最も高く、「参加させたいとは思わない」の17.2%を大きく上回っている。一方で「わからない」も38.0%と「参加させたい」と同程度となっている。

前回調査と比較すると、4～6年生では「参加させたいとは思わない」が4.7ポイント高くなっている。

学年別にみると、「参加させたい」は1～3年生で45.1%と放課後等の遊び場づくり事業より8.2ポイント低くなっている。4～6年生では37.4%と放課後等の遊び場づくり事業とほぼ同程度の利用意向がある。

図5-22 昼間校庭開放事業の利用希望日数（週当たり）〔全体、学年別〕



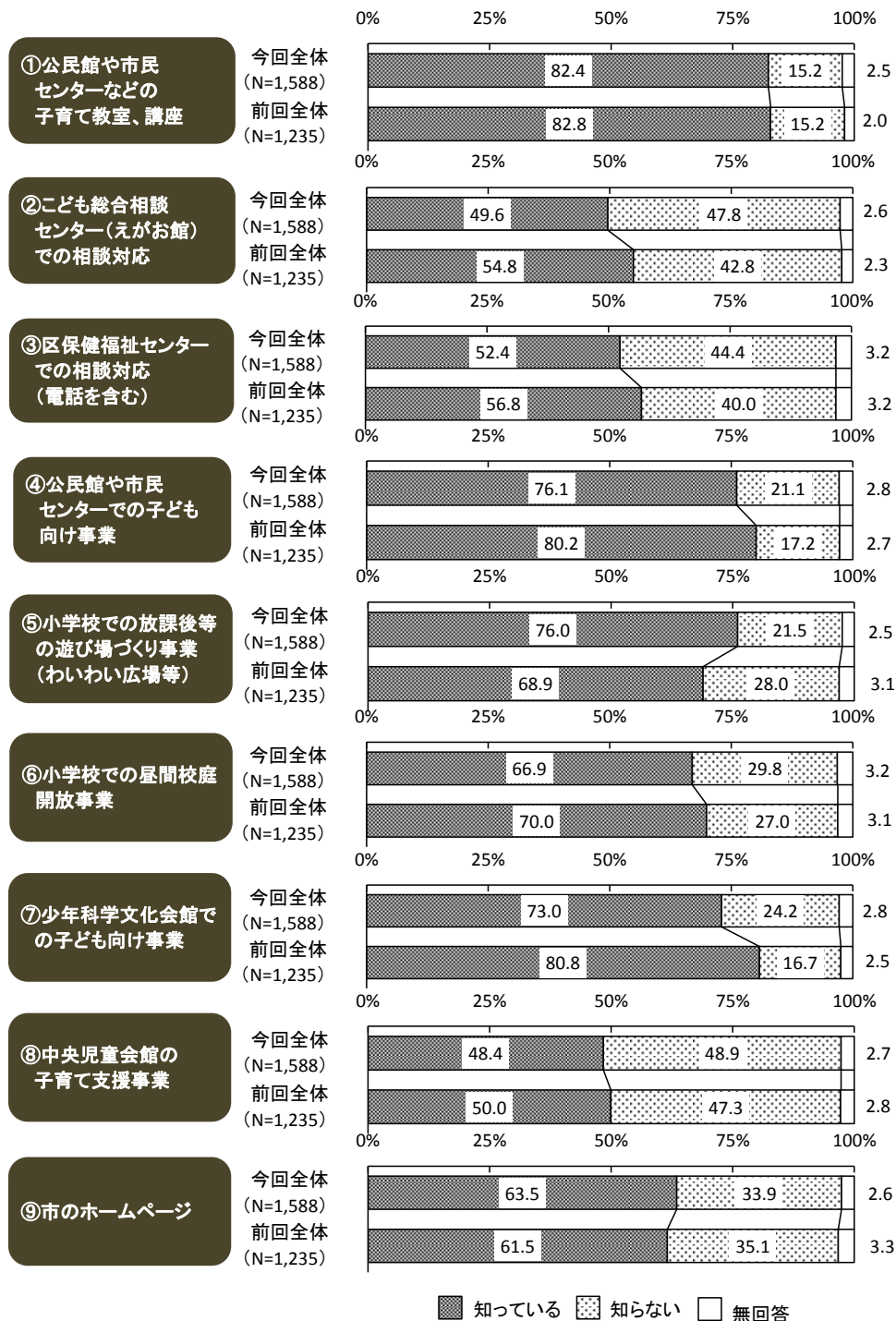
昼間校庭開放事業に対する週当たりの参加希望日数は「1日」(62.9%)が約6割と最も多い。学年別にみてもあまり大きな差はみられない。

4. 子育て支援サービスの認知と利用経験、今後の利用意向

問 17 下記福岡市の子育て支援サービスを知っていますか。また、これまでに利用したことはありますか。今後利用したいと思いますか。

①～⑨までのサービスごとに、A、B、Cのそれぞれについて、はいの場合は「1」、いいえの場合は「2」のどちらかに○をつけてください。

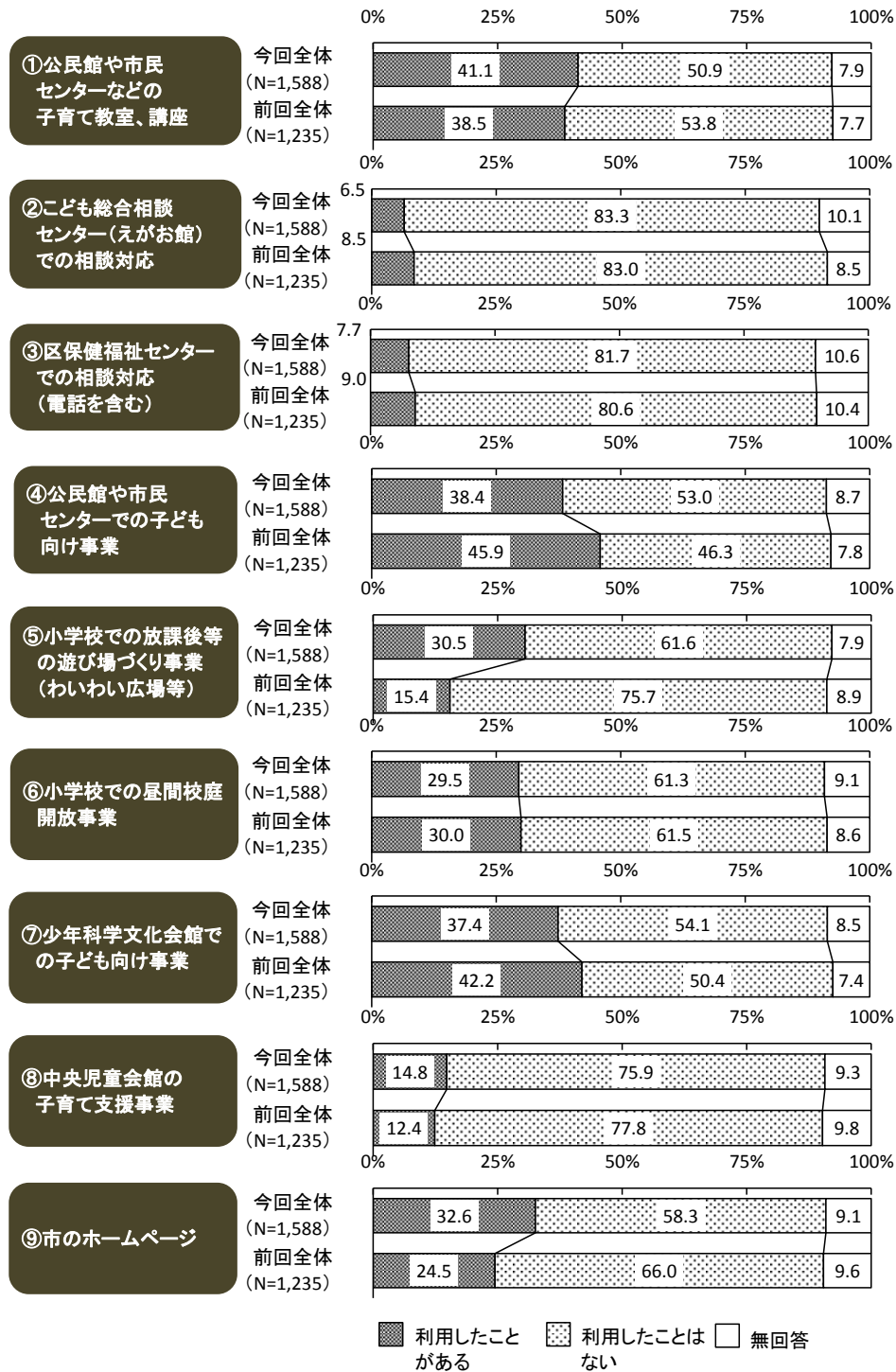
図5-23 子育て支援サービスの認知 [全体] (前回調査比較)



子育て支援サービスの認知度が最も高いのは「公民館や市民センターなどの子育て教室、講座」(82.4%)で8割以上の人を知っている。次いで「公民館や市民センターでの子ども向け事業」(76.1%)、「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」(76.0%)、「少年科学文化会館での子ども向け事業」(73.0%)などが7割以上の認知度がある。一方、「中央児童会館の子育て支援事業」(48.4%)、「こども総合相談センター（えがお館）での相談対応」(49.6%)、「区保健福祉センターでの相談対応」(52.4%)などは5割前後の認知度にとどまっている。

前回調査と比較すると、ほとんどの事業で認知度は低くなっており、特に「少年科学文化会館での子ども向け事業」「こども総合相談センター（えがお館）での相談対応」などは5ポイント以上低くなっている。反対に認知度が上がっているのは「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」では7.1ポイント上がっている。

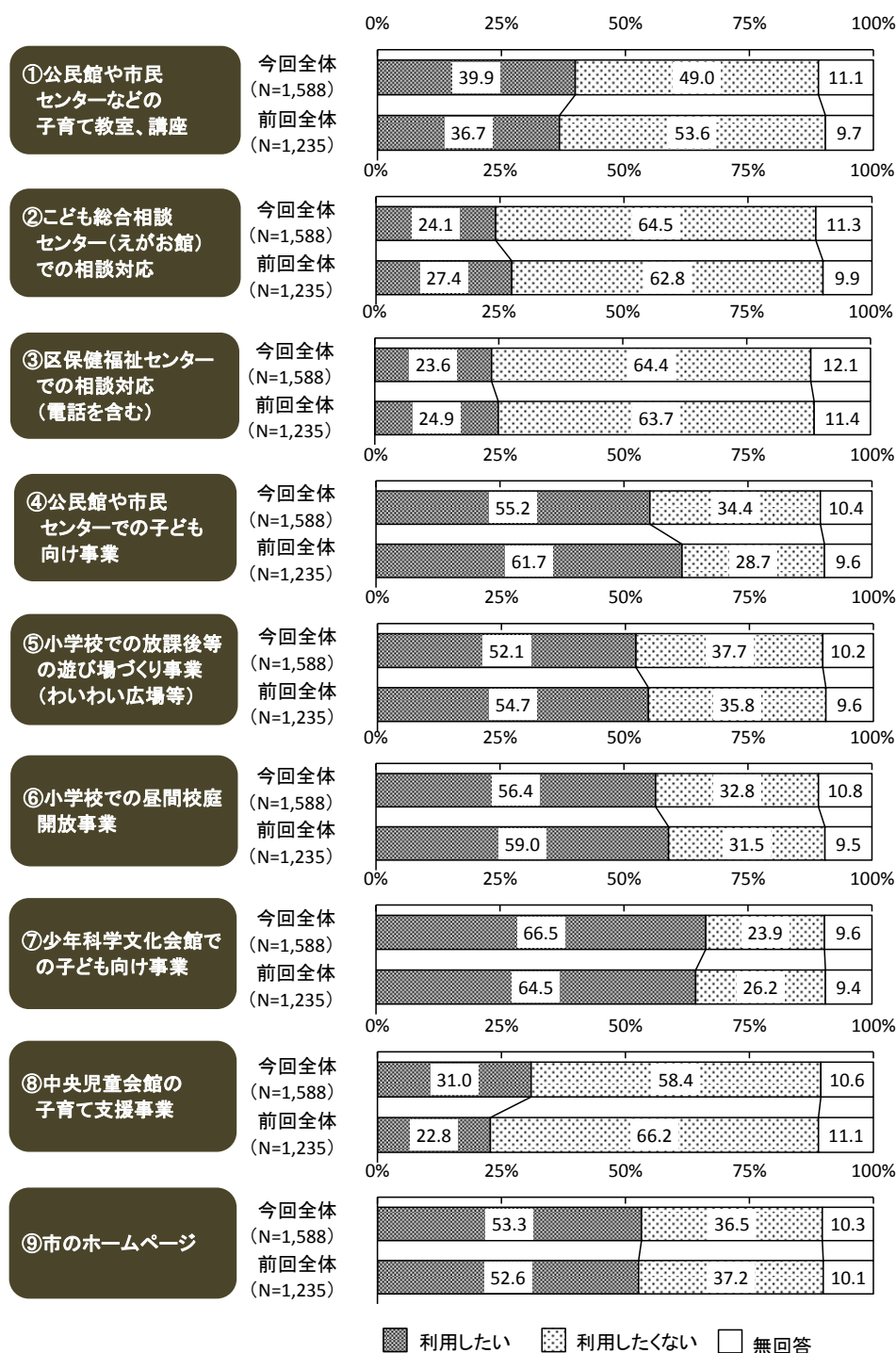
図5-24 子育て支援サービスの利用経験 [全体] (前回調査比較)



利用経験として最も高いのも「公民館や市民センターなどの子育て教室、講座」で41.1%となっており、次いで「公民館や市民センターでの子ども向け事業」(38.4%)、「少年科学文化会館での子ども向け事業」(37.4%)、「市のホームページ」(32.6%)、「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」(30.5%)などで3割以上の人を利用している。

前回調査と比較すると、利用率が上がっているのは「公民館や市民センターなどの子育て教室、講座」「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」「中央児童会館の子育て支援事業」「市のホームページ」で、特に「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」では15.1ポイント、「市のホームページ」では8.1ポイント利用率が上がっている。反対に「公民館や市民センターでの子ども向け事業」では7.5ポイント、「少年科学文化会館での子ども向け事業」では4.8ポイント利用率が下がっている。

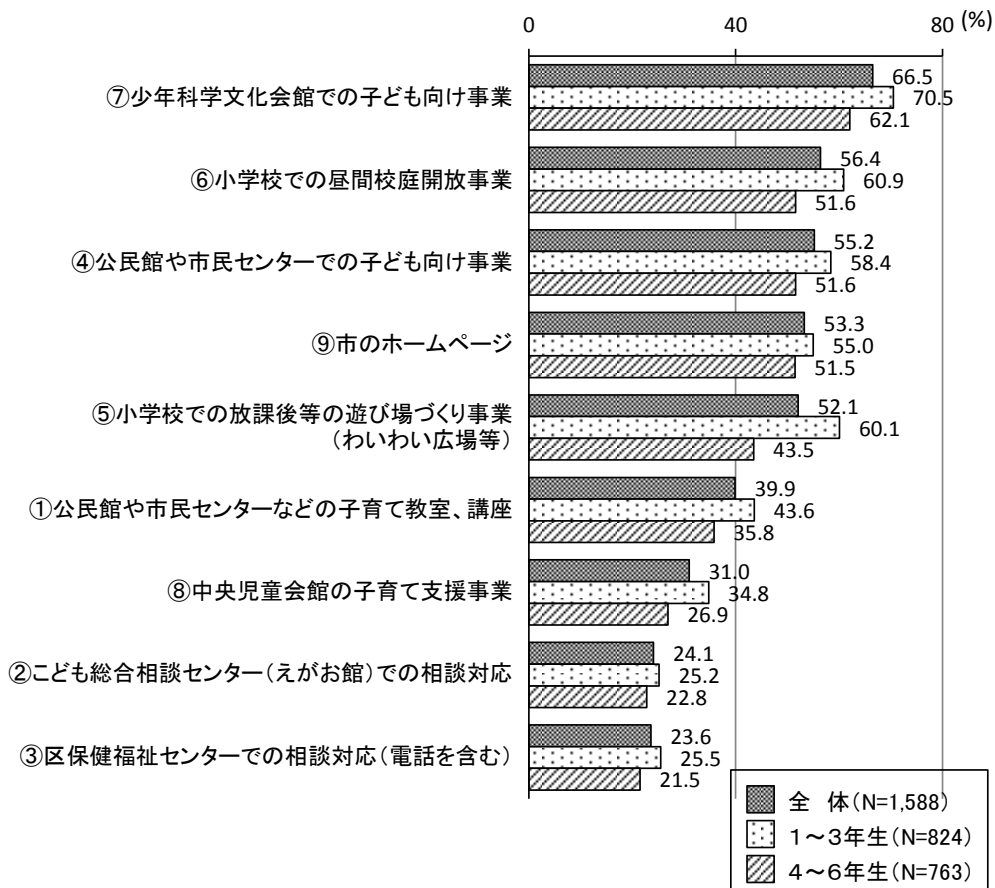
図5-25 子育て支援サービスの利用意向 [全体] (前回調査比較)



今後利用したいと考えている子育て支援サービスは「少年科学文化会館での子ども向け事業」(66.5%)、「小学校での昼間校庭開放事業」(56.4%)、「公民館や市民センターでの子ども向け事業」(55.2%)、「市のホームページ」(53.3%)、「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」(52.1%)などで利用意向は半数を超えている。ほとんどの事業で先にみた利用経験の割合を上回っている。

学年別にみると、すべての事業で1～3年生の利用意向が4～6年生を上回っており、特に「小学校での放課後等の遊び場づくり事業」では16.6ポイント、「小学校での昼間校庭開放事業」では9.3ポイント利用意向は高くなっている。

図5-26 子育て支援サービスの利用意向 [全体、学年別]



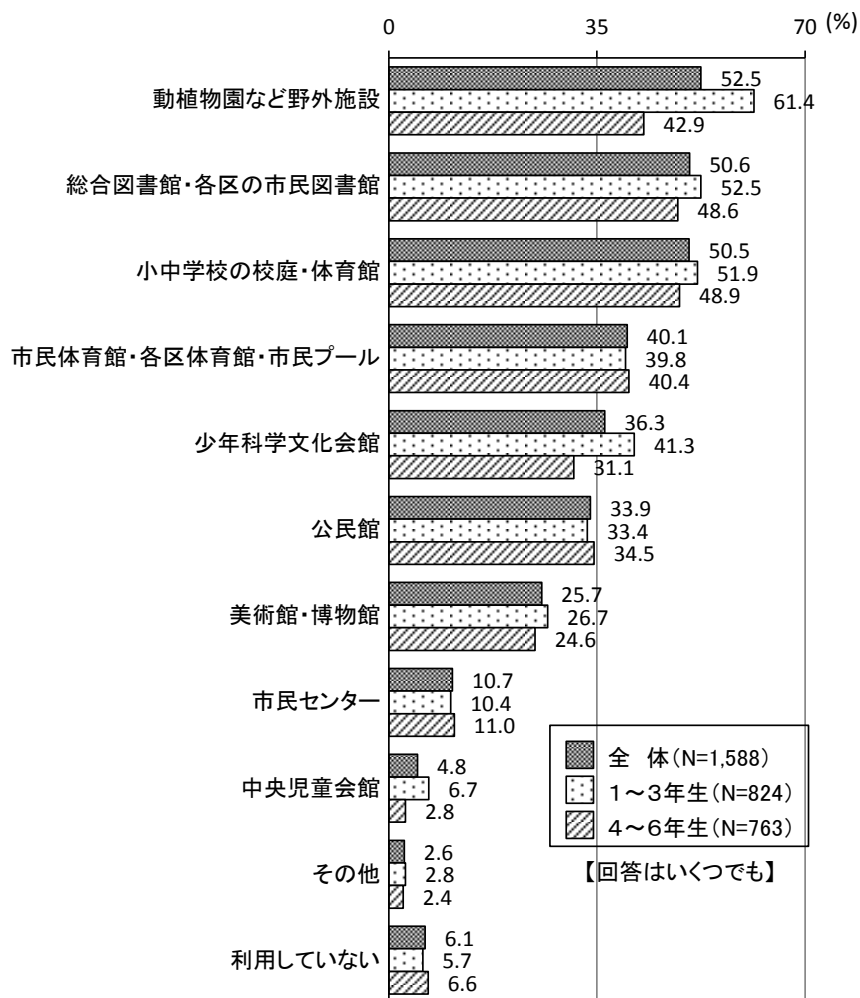
5. 地域の子育て環境

(1) 利用した公共施設

問 44 過去1年間にあて名のお子さんとともに利用した公共施設はどこですか。

(あてはまるものすべてに○)

図5-27 利用した公共施設 [全体、学年別]



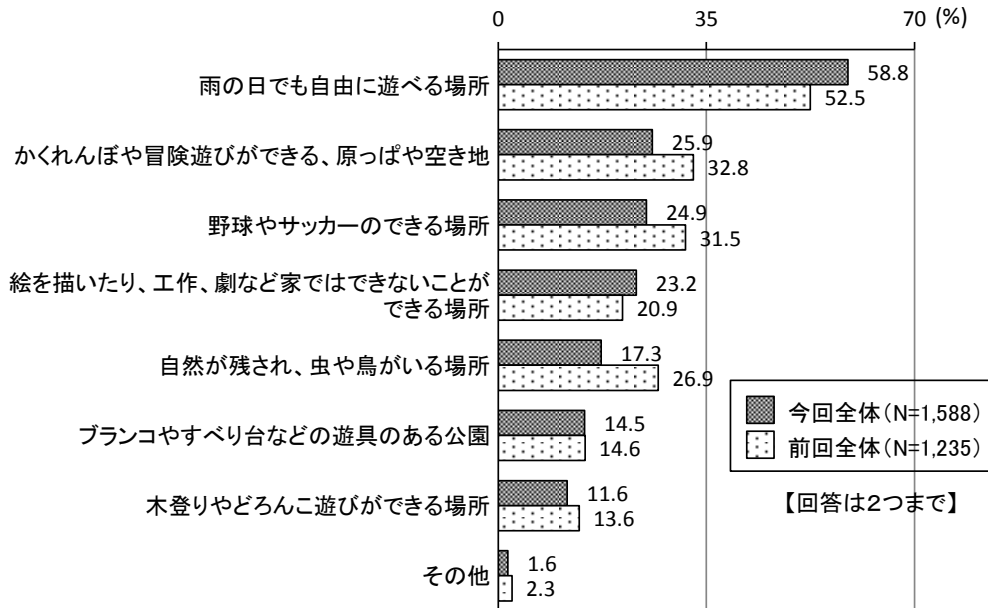
過去1年間に子どもとともに利用した公共施設としては「動植物園など野外施設」(52.5%)、「総合図書館・各区の市民図書館」(50.6%)、「小中学校の校庭・体育館」(50.5%)などが5割を超えて高くなっている。

学年別にみると、「動植物園など野外施設」「少年科学文化会館」「中央児童会館」などの施設は1～3年生での利用が高くなっている。

(2) 近所にあつたらよいと思う遊び場

問 45 あて名のお子さんが遊ぶ場所として、近所にあつたらよいと思うものは何ですか。
(〇は2つまで)

図 5-28 近所にあつたらよいと思う遊び場 [全体] (前回調査比較)



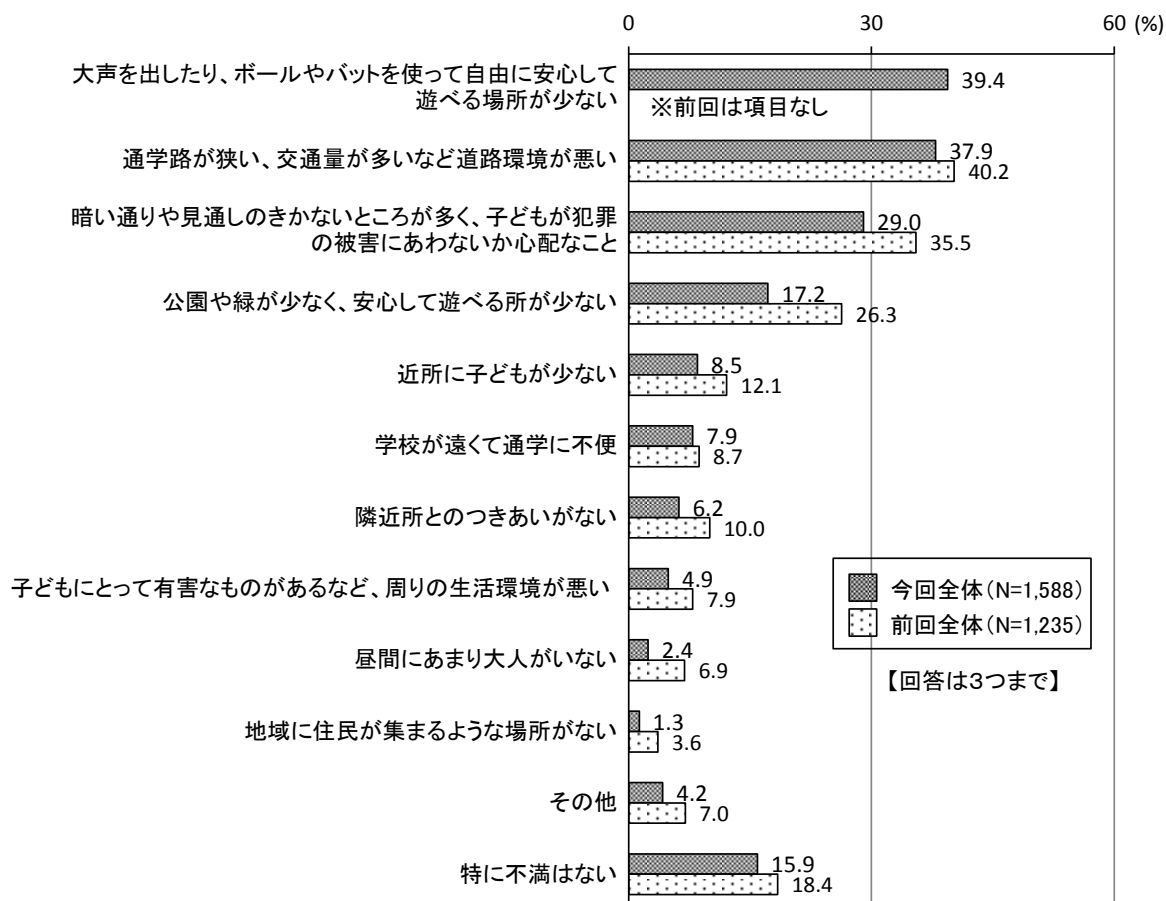
近所にあつたらよいと思う遊び場としては「雨の日でも自由に遊べる場所」が 58.8% と最も高い。次いで「かくれんぼや冒険遊びができる、原っぱや空き地」(25.9%)、「野球やサッカーのできる場所」(24.9%)、「絵を描いたり、工作、劇など家ではできないことができる場所」(23.2%) などが 2 割台で続いている。

前回調査と比較すると、「雨の日でも自由に遊べる場所」は 52.5% から 6.3 ポイント増加しているが、「自然が残され、虫や鳥がいる場所」は 9.6 ポイント、「かくれんぼや冒険遊びができる、原っぱや空き地」 6.9 ポイント、「野球やサッカーのできる場所」 6.6 ポイント減少するなど外遊びの場所については要望が低くなっている。

(3) 居住地域の子育て環境で不満なこと

問 46 お住まいの地域の子育て環境で不満なことは何ですか。(〇は3つまで)

図 5-29 居住地域の子育て環境で不満なこと [全体] (前回調査比較)



居住地域の子育て環境で不満なこととして「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない」(39.4%)「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」(37.9%)などが約4割で上位に上がっている。次いで「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」(29.0%)、「公園や緑が少なく、安心して遊べる所が少ない」(17.2%)となっている。

前回調査と比較すると、今回「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない」という項目が新たに加わっているためか、これを除くすべての項目で割合が減少している。

学年別にみると、「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない」が4～6年生で42.9%と1～3年生(36.2%)を6.7ポイント上回っている。

Ⅲ 小学生の保護者調査結果

居住区別にみると、「大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない」は城南区で46.0%、「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」は博多区で51.4%、中央区で42.3%、南区で39.6%と高く、また、博多区と南区では「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」も3割を超えて他の区に比べて高い。

表5-6 居住地域の子育て環境で不満なこと [全体、学年別、居住区別]

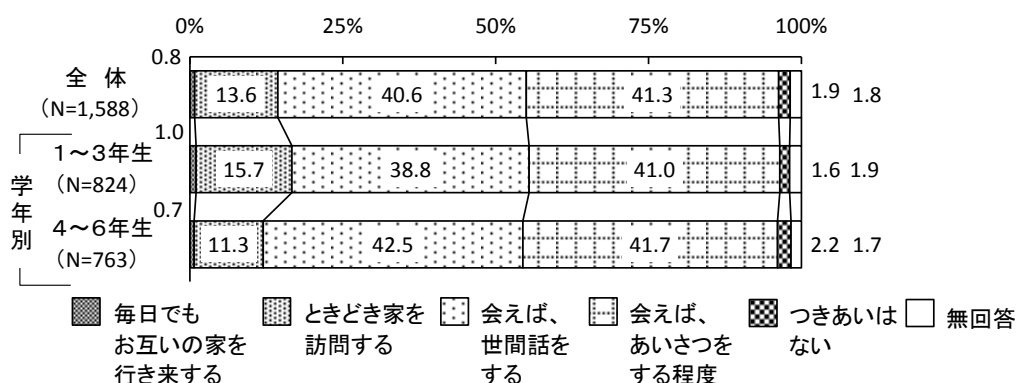
		標本数	子どもにとつて有害なものがあるなど、周りの生活環境が悪い	通学路が狭い、交通量が多いなど	暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと	公園や緑が少なく、安心して遊べる所が少ない	大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所が少ない	学校が遠くて通学に不便	昼間にあまり大人がいない	近所に子どもが少ない	地域に住民が集まるような場所がない	隣近所とのつきあいがいい	その他	特に不満はない	無回答
全体		1,588 100.0	78 4.9	602 37.9	460 29.0	273 17.2	625 39.4	126 7.9	38 2.4	135 8.5	20 1.3	99 6.2	66 4.2	252 15.9	51 3.2
学年別	小学1～3年生	824	4.4	39.3	28.2	18.0	36.2	9.2	2.9	9.8	1.3	6.9	3.8	16.5	3.3
	小学4～6年生	763	5.4	36.3	29.8	16.4	42.9	6.6	1.8	7.1	1.2	5.5	4.6	15.2	3.1
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住区別	東区	329	4.9	35.3	29.8	18.2	38.9	9.4	3.3	11.2	1.8	7.0	4.3	16.1	3.3
	博多区	177	6.2	51.4	33.3	24.3	35.0	10.2	1.7	8.5	0.6	6.2	4.5	12.4	2.3
	中央区	149	5.4	42.3	27.5	18.1	41.6	6.7	2.7	6.7	2.0	6.0	4.0	14.1	2.0
	南区	270	4.1	39.6	32.6	17.0	37.4	5.2	0.7	8.9	1.9	5.9	4.1	14.4	3.7
	城南区	150	2.7	38.7	27.3	16.7	46.0	4.7	3.3	8.7	-	2.7	2.7	10.0	4.0
	早良区	294	4.1	34.4	26.5	13.3	40.1	5.1	2.0	6.8	1.4	5.8	3.7	21.1	3.4
	西区	216	6.5	29.6	25.0	15.3	39.4	13.9	3.2	7.4	0.5	8.8	5.6	18.1	3.2
	無回答	3	66.7	66.7	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-

6. 地域とのかかわり

(1) 近所づきあいの程度

問47 あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。(〇は1つ)

図5-30 近所づきあいの程度 [全体、学年別]



近所づきあいの程度は、「会えば、あいさつをする程度」(41.3%)と「会えば、世間話をする」(40.6%)といったつきあいがいずれも約4割と多く、つきあいはあるものの家を訪ねるほどではない関係性が8割を占めている。

学年別にみると、1～3年生で「ときどき家を訪ねる」といったつきあいがやや多い。

母親の就労別にみると、「フルタイムで就労」の場合「会えば、あいさつをする程度」が47.7%と最も高く、他の就労状況では「会えば、世間話をする」の割合が最も高くなっている。

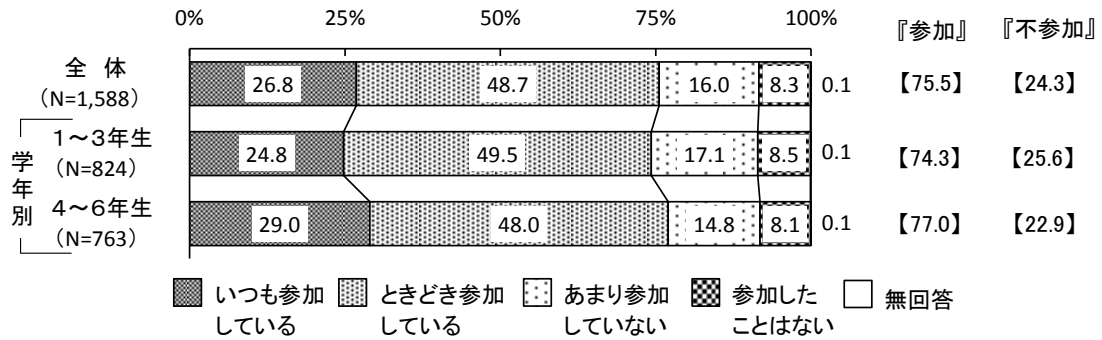
表5-7 近所づきあいの程度 [全体、母親の就労状況別]

		標本数	るの毎 家日 を 行 き お 互 来 す い	問 と す ど き 家 を 訪	を 会 え ば 、 世 間 話	つ 会 え ば 、 程 度 い さ	つ き あ い は な い	無 回 答
全体		1,588 100.0	13 0.8	216 13.6	644 40.6	656 41.3	30 1.9	29 1.8
母親の 就 労 状 況 別	フルタイムで就労	348	0.6	10.1	36.2	47.7	2.3	3.2
	パート・アルバイト等で就労	597	1.0	15.2	41.2	39.2	1.3	2.0
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	501	1.0	14.2	42.1	40.5	1.6	0.6
	これまで就労したことがない	105	-	14.3	44.8	35.2	2.9	2.9
	無回答	26	-	11.5	46.2	38.5	3.8	-

(2) 共同清掃作業や地域行事への参加頻度

問 48 あなたは、家のまわりの共同清掃作業や地域の行事（スポーツ・レクリエーション活動、夏祭り等）に参加していますか。（〇は1つ）

図 5-31 共同清掃作業や地域行事への参加頻度 [全体、学年別]



共同清掃作業や地域行事への参加頻度については「ときどき参加している」（48.7%）が最も高く、次いで「いつも参加している」（26.8%）となっており、これらを合わせた『参加』している人は75.5%と全体の4分の3を占めている。

母親の就労状況別でみると、「これまで就労したことがない」場合「あまり参加していない」と「参加したことはない」を合わせた『不参加』が38.1%と他の就労状況の人に比べると高くなっている。

居住区別でみると、『参加』が8割を超えるのは「南区」（81.1%）、「城南区」（82.7%）である。反対に、6割台にとどまっているのは「中央区」（63.1%）である。

表5-8 共同清掃作業や地域行事への参加頻度 [全体、母親の就労状況別、居住区別]

(%)

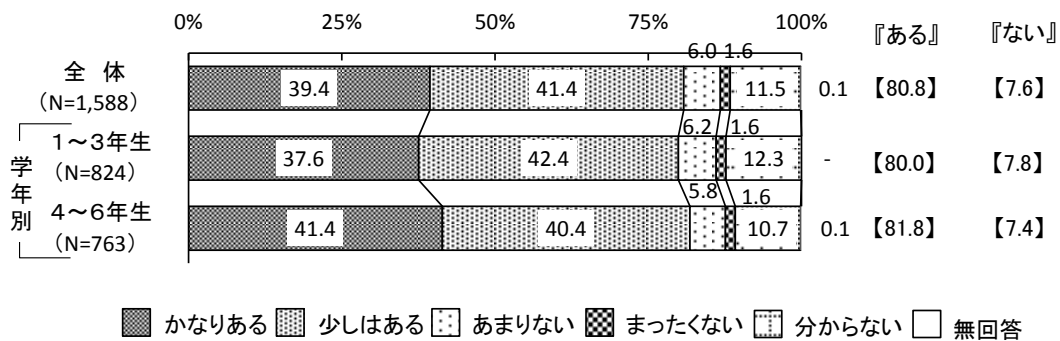
		標本数	ていつも参加し	しときどき参加	てあまりない参加し	は参加しなかったこと	無回答	『参加』	『不参加』
全体		1,588 100.0	426 26.8	774 48.7	254 16.0	132 8.3	2 0.1	1,200 75.5	386 24.3
母親の 就労 状況 別	フルタイムで就労	348	23.9	46.0	19.5	10.3	0.3	69.9	29.8
	パート・アルバイト等で就労	597	29.8	50.8	14.1	5.4	-	80.6	19.5
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	501	26.9	50.3	13.4	9.2	0.2	77.2	22.6
	これまで就労したことがない	105	18.1	43.8	26.7	11.4	-	61.9	38.1
	無回答	26	34.6	38.5	19.2	7.7	-	73.1	26.9
居住 区別	東区	329	28.6	44.7	19.1	7.6	-	73.3	26.7
	博多区	177	30.5	49.2	11.3	9.0	-	79.7	20.3
	中央区	149	16.1	47.0	22.8	14.1	-	63.1	36.9
	南区	270	35.2	45.9	11.5	6.7	0.7	81.1	18.2
	城南区	150	22.0	60.7	12.0	5.3	-	82.7	17.3
	早良区	294	24.8	50.7	19.0	5.4	-	75.5	24.4
	西区	216	24.1	48.1	14.8	13.0	-	72.2	27.8
	無回答	3	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-

(3) 地域の雰囲気

①よりよい地域をつくるような雰囲気の有無

問 49 あなたがお住まいの地域では、地域の人々が協力しあって、よりよい地域をつくっていくような雰囲気がどのくらいありますか。(〇は1つ)

図5-32 よりよい地域をつくるような雰囲気の有無 [全体、学年別]



地域内をよりよくするために協力する雰囲気があるかについて「少しはある」が41.4%、「かなりある」が39.4%となっており、これらを合わせた『ある』は80.8%と8割を占めている。

居住区別にみると、西区では『ある』が71.7%、中央区でも74.5%と他の区と比べて低くなっている。

表5-9 よりよい地域をつくるような雰囲気の有無 [全体、居住区別]

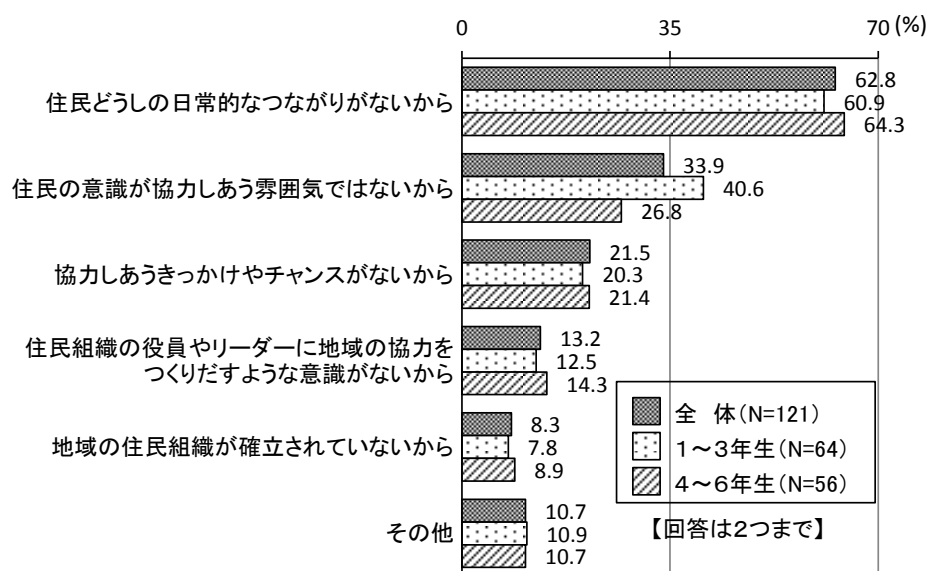
		標本数	かなりある	少しはある	あまりない	まったくない	分からない	無回答	『ある』	『ない』
全体		1,588	626	657	96	25	183	1	1,283	121
		100.0	39.4	41.4	6.0	1.6	11.5	0.1	80.8	7.6
居住区別	東区	329	37.1	42.9	6.1	1.5	12.5	-	80.0	7.6
	博多区	177	39.0	46.3	4.5	1.7	8.5	-	85.3	6.2
	中央区	149	32.9	41.6	7.4	0.7	17.4	-	74.5	8.1
	南区	270	45.2	38.9	3.3	2.6	9.6	0.4	84.1	5.9
	城南区	150	35.3	47.3	4.7	2.7	10.0	-	82.6	7.4
	早良区	294	46.3	39.1	4.8	0.3	9.5	-	85.4	5.1
	西区	216	34.7	37.0	11.6	1.9	14.8	-	71.7	13.5
	無回答	3	-	33.3	66.7	-	-	-	33.3	66.7

②協力しあう雰囲気がない理由

問49で「3」か「4」を選んだ方にうかがいます。

問49-1 地域の人々が協力しあう雰囲気がないのは、なぜだと思いますか。(〇は2つまで)

図5-33 協力しあう雰囲気がない理由 [全体、学年別]



地域内に協力しあう雰囲気が『ない』と回答した人にその理由をたずねると、「住民どうしの日常的なつながりがないから」が62.8%と最も高く、次いで「住民の意識が協力しあう雰囲気ではないから」(33.9%)、「協力しあうきっかけやチャンスがないから」(21.5%)となっている。

居住区別にみると、博多区で「住民どうしの日常的なつながりがないから」が81.8%、南区で75.0%と7割を超えて高いが、城南区では27.3%と他の地区よりもかなり低くなっている。

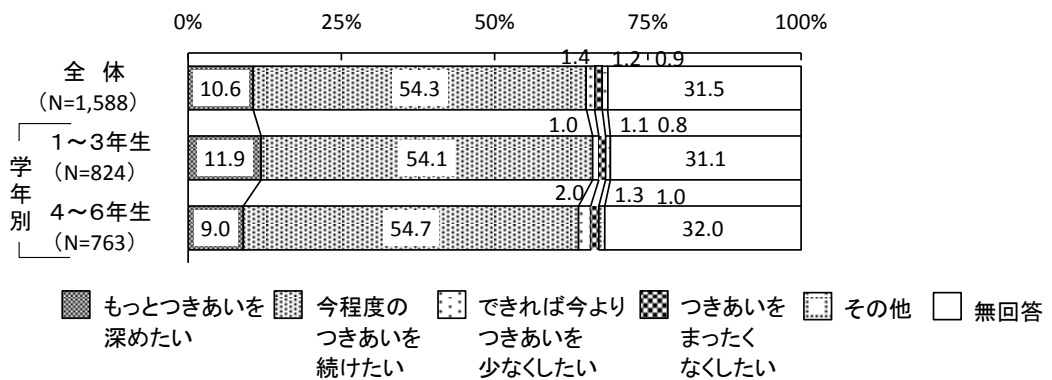
表5-10 協力しあう雰囲気がない理由 [全体、居住区別]

		標本数	協力しあうきっかけやチャ ンスがないから	住民どうしの日常的なつな がりがないから	住民の意識が協力しあう雰 囲気ではないから	住民組織の役員やリーダー による地域の協力がないから	地域の住民組織が確立され ていないから	その他	無回答
全体		121 100.0	26 21.5	76 62.8	41 33.9	16 13.2	10 8.3	13 10.7	1 0.8
居住区別	東区	25	24.0	68.0	48.0	4.0	8.0	4.0	-
	博多区	11	27.3	81.8	9.1	18.2	-	-	9.1
	中央区	12	8.3	66.7	16.7	16.7	8.3	8.3	-
	南区	16	18.8	75.0	43.8	-	6.3	6.3	-
	城南区	11	27.3	27.3	27.3	18.2	-	45.5	-
	早良区	15	6.7	53.3	33.3	26.7	6.7	6.7	-
	西区	29	27.6	58.6	37.9	17.2	17.2	10.3	-
	無回答	2	50.0	100.0	-	-	-	50.0	-

(4) 地域との今後のつきあいの程度

問 50 あなたは隣近所などの地域の人々とのつきあいを、今後どうしたいと思いますか。
(○は1つ)

図5-34 地域との今後のつきあいの程度 [全体、学年別]

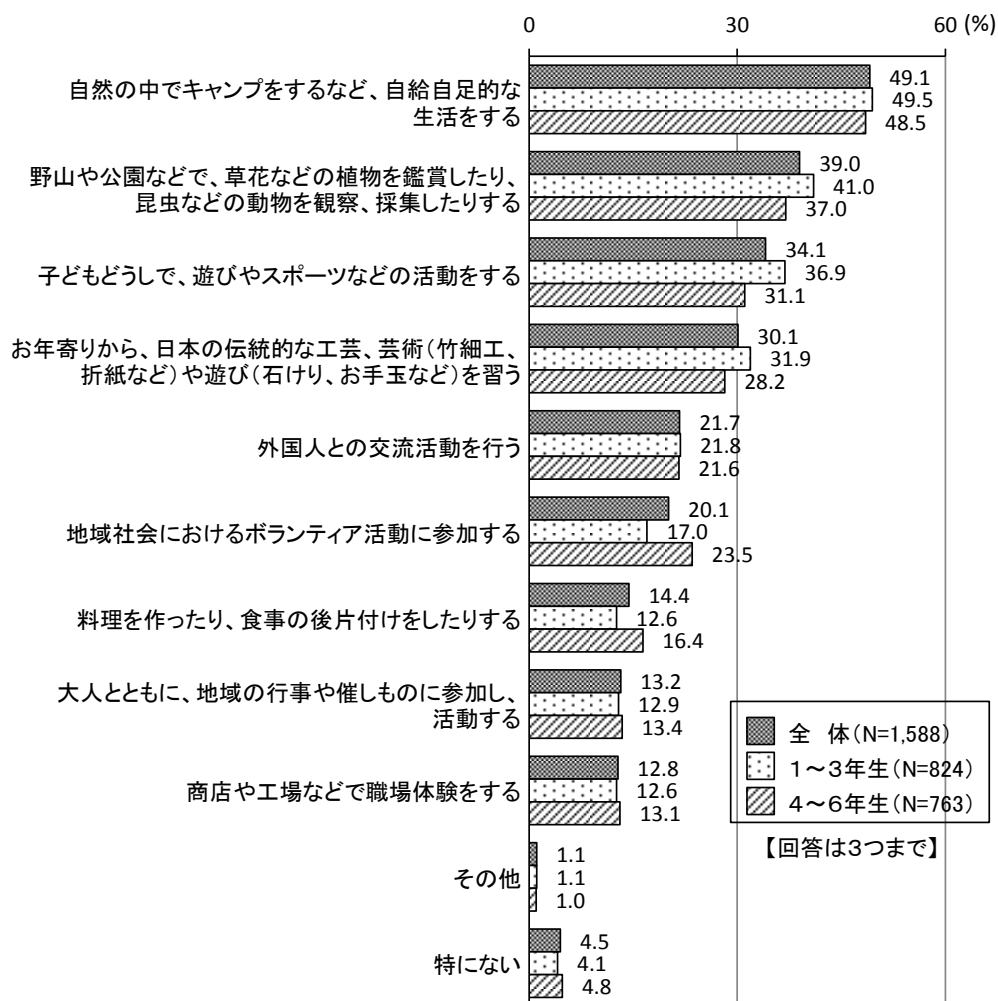


地域との今後のつきあいの程度で最も多いのは「今程度のつきあいを続けたい」が54.3%で5割を占めている。なお、問49において『ない』と回答した人のみが回答するものと誤解を生じたのか、「無回答」が31.5%と、他の多くの設問よりも高くなっている。

7. 最近の子どもに不足している生活体験・自然体験

問 51 「最近の子どもには、生活体験や自然体験など『体験』が不足している」と言われていますが、特にどのような「体験」が不足していると思いますか。(〇は3つまで)

図 5-35 最近の子どもに不足している生活体験 [全体、学年別]



最近の子どもに不足している生活体験としては「自然の中でキャンプをするなど、自給自足的な生活をする」が49.1%と最も高く、次いで「野山や公園などで、草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする」(39.0%)、「子どもどうして、遊びやスポーツなどの活動をする」(34.1%)、「お年寄りから、日本の伝統的な工芸、芸術(竹細工、折紙など)や遊び(石けり、お手玉など)を習う」(30.1%)となっている。

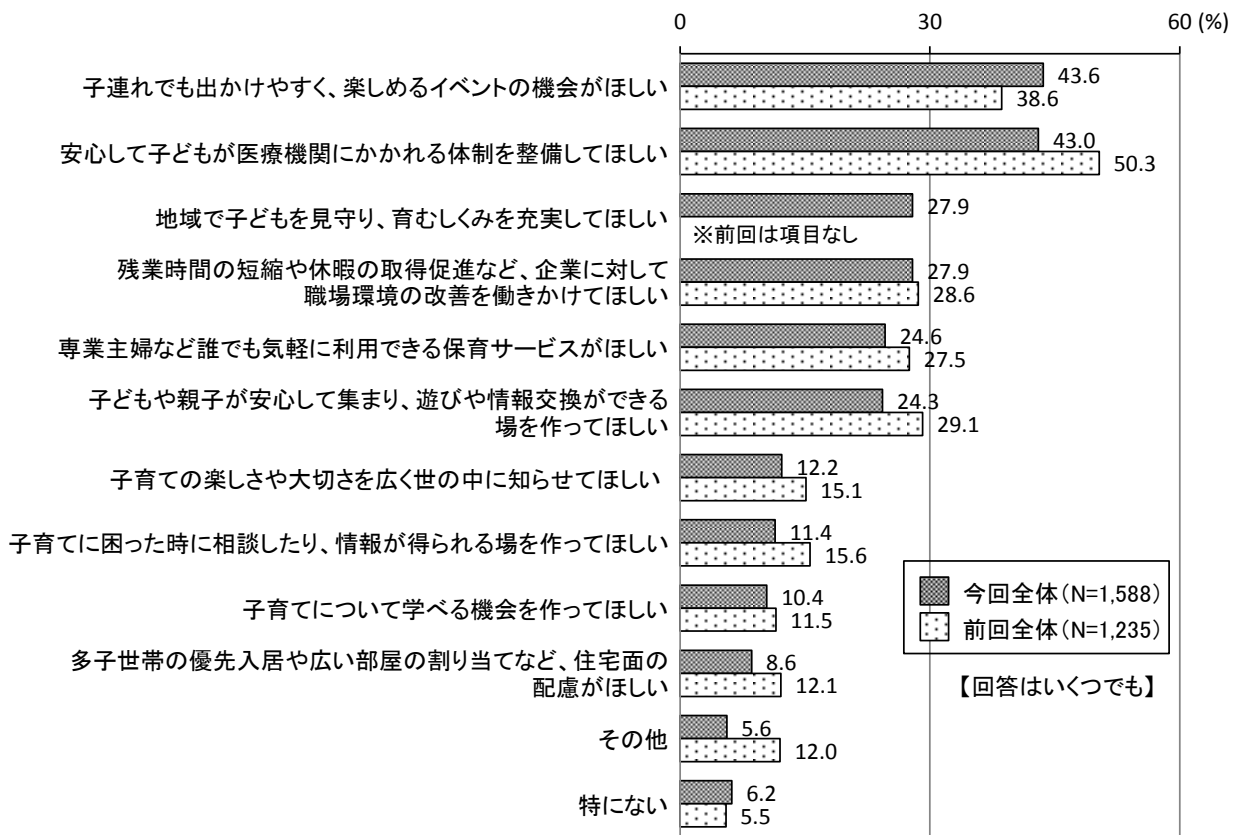
学年別にみると、1～3年生では「野山や公園などで、草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする」「子どもどうして、遊びやスポーツなどの活動をする」「お年寄りから、日本の伝統的な工芸、芸術(竹細工、折紙など)や遊び(石けり、お手玉など)を習う」が、4～6年生では「地域社会におけるボランティア活動に参加する」の割合が高くなっている。

第6章 行政への要望

1. 充実してほしい子育て支援

問 53 あなたは、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。
 (あてはまる番号すべてに○)

図6-1 充実してほしい子育て支援 [全体] (前回調査比較)



今後、充実してほしい子育て支援として「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」(43.6%)、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」(43.0%)などが4割台で上位にあげられている。

前回調査と比較すると、「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」は38.6%から5ポイント上がっているが、今回新たに「地域で子どもを見守り、育むしくみを充実してほしい」(27.9%)が加えられたためか、その他の項目は割合が前回調査よりも低くなっている。

学年別にみると、1～3年生では「子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい」が47.3%で4～6年生（39.6%）を7.7ポイント上回っている。

母親の就労状況別でみると、「フルタイムで就労」の場合「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が41.7%と最も高くなっている。『専業主婦』の場合「専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」が約3～4割と高くなっている。

世帯分類別にみると、「三世代」や「核家族」では「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」や「専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい」などの割合が他の世帯に比べて高くなっている。また「ひとり親」と「ひとり親三世代」では「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」の割合が高くなっている。

表6-1 充実してほしい子育て支援 [全体、学年別、母親の就労状況別、世帯分類別]

(%)

		標本数	しびりや情報交換が安心できる場を作ったり遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい	子どもや親が安心して集まり、遊ばせたい
全体		1,588 100.0	386 24.3	693 43.6	443 27.9	181 11.4	390 24.6	683 43.0	136 8.6	443 27.9	194 12.2	165 10.4	89 5.6	98 6.2	75 4.7
学年別	1～3年生	824	24.3	47.3	28.4	11.3	26.0	43.0	9.0	29.0	12.6	10.2	5.5	5.0	4.7
	4～6年生	763	24.2	39.6	27.3	11.5	22.9	43.0	8.1	26.7	11.8	10.6	5.8	7.5	4.7
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
母親の就労状況別	フルタイムで就労	348	22.7	40.8	30.2	11.5	8.6	35.6	8.0	41.7	12.4	7.2	7.8	5.7	5.5
	パート・アルバイト等で就労	597	22.4	42.7	25.5	10.7	17.1	44.7	9.9	25.5	12.2	11.7	4.9	6.5	6.2
	以前は就労していたが、現在は就労していない	501	26.7	47.1	31.3	11.4	44.7	47.1	8.4	24.4	13.2	11.4	5.8	4.0	2.4
	これまで就労したことがない	105	28.6	44.8	22.9	11.4	27.6	42.9	4.8	18.1	8.6	10.5	2.9	12.4	1.0
	無回答	26	30.8	38.5	11.5	23.1	19.2	26.9	3.8	7.7	7.7	7.7	-	11.5	23.1
世帯分類別	三世代	105	22.9	44.8	26.7	10.5	22.9	41.9	6.7	31.4	13.3	18.1	7.6	3.8	7.6
	核家族	1,320	24.2	43.4	28.4	10.6	26.3	44.3	7.6	26.9	12.4	10.2	5.6	6.2	4.1
	ひとり親	106	26.4	44.3	25.5	16.0	13.2	34.0	20.8	33.0	11.3	9.4	5.7	6.6	8.5
	ひとり親三世代	29	13.8	44.8	17.2	17.2	6.9	27.6	10.3	44.8	6.9	3.4	-	6.9	10.3
	その他	28	35.7	46.4	28.6	28.6	10.7	35.7	14.3	25.0	7.1	-	3.6	10.7	3.6

2. 自由意見

◆福岡市の子ども施策に関する取り組みについて、ご意見等ありましたら、自由にご記入ください。

回答者 461 人から 608 件の意見があげられている。主な項目を整理すると、以下のとおりである。

◆小学校について	65 件
・教育内容の充実	19
・教員、学校側の対応、教育委員会	17
・土曜日授業の実施について	9
・給食の充実	6
・施設の整備（エアコンの設置、トイレ、図書室の充実等）	5
・学区割の見直し	4
・その他	5
◆学童保育について	35 件
・利用時間の充実（時間の延長、土曜日・日曜日・長期休暇時の実施等）	20
・利用条件の緩和	7
・内容の充実	4
・学童を増やしてほしい	1
・その他	3
◆放課後の遊び場づくり事業	18 件
・わいわい広場（全ての小学校で実施してほしい、内容の充実等）	14
・校庭や図書室を開放してほしい	4
◆公園や公的施設について	57 件
・公園の管理・整備（安全の確保、遊具の充実等）	22
・公園の増設	15
・公民館の充実	12
・図書館の充実	5
・その他（市民体育館は利用しづらい等）	3
◆児童館など子どもの遊び場	23 件
・児童館の増設	11
・雨天時にも遊べる屋内の施設がほしい	9
・子どもだけでも安心安全に過ごせる場所	2
・近所に気軽に利用できるスペースを	1

◆保育所（園）について	35 件
・増設、待機児童の解消、利用条件の緩和等	22
・保育料の軽減・補助	8
・中央保育園移転について	2
・その他（利用時間の延長、保育内容の充実等）	3
◆幼稚園について	13 件
・保育料の軽減・補助	6
・市立幼稚園の存続	3
・幼稚園の増設	2
・その他（利用時間の充実等）	2
◆医療費助成など経済的支援について	131 件
・医療費負担の軽減・無料化等	85
・子育て世帯、ひとり親、多児家庭への助成・税金優遇	36
・予防接種費用の助成・無料化	10
◆交通・移動・安全	14 件
・道路・歩道の整備（通学路の安全確保）	11
・公共交通機関（バス料金を安く、交通アクセスを便利に）	3
◆保健・医療	20 件
・病児保育（施設や利用時間の充実、利用条件の緩和等）	12
・夜間・休日・緊急対応	3
・小児科等の増設	1
・健診を公民館でも実施してほしい	1
・その他（こども病院移転等）	3
◆相談・交流・情報	58 件
・イベントの充実、交流	25
・育児相談、親のサポート	18
・情報の提供	12
◆ファミリー・サポート・センター事業について	4 件
・利用料が高い	1
・気軽に利用できない	1
・サポート会員により差がある	1
・ファミリー・サポート事業の講義の内容が良かった	1

◆その他意見	135件
・市への要望、市職員の対応	41
・仕事と子育ての両立支援	20
・アンケートについて	19
・保護者の負担軽減（PTA、子ども育成会等）	11
・社会環境、地域	7
・住宅について	3
・一時預かりの実施	2
・民間施設・店舗について	2
・その他	30

IV

中学生・高校生等の保護者調査結果

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

第1章 回答者及び家庭の概況

1. 回答者の基本特性

(1) 子どもの学年と性別

表1-1 子どもの学年

(%)

	標本数	中学生			標本数	高校生世代			
		中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生		高校1年生	高校2年生	高校3年生	その他
全体	477 100.0	237 49.7	236 49.5	4 0.8	403 100.0	204 50.6	187 46.4	2 0.5	10 2.5

調査対象となっている子どもの学年は、「中学校1年生」が49.7%、「中学校2年生」が49.5%、「中学校3年生」が0.8%である。また、「高校1年生」が50.6%、「高校2年生」が46.4%、「高校3年生」が0.5%となっている。

表1-2 子ども性別

(%)

	標本数	子どもの性別		
		男性	女性	無回答
全体	888 100.0	338 38.1	417 47.0	133 15.0
中学生	477	42.3	47.2	10.5
高校生世代	403	33.7	47.6	18.6
無回答	8	-	-	100.0

子どもの性別は、中学生は男性が42.3%、女性が47.2%、高校生世代は男性が33.7%、女性が47.6%となっており、ともに女性の割合が高くなっている。

(2) 調査回答者

表 1-3 調査回答者

	標本数	回答者 (%)					
		母親	父親	祖母	祖父	その他	無回答
全体	888 100.0	790 89.0	84 9.5	5 0.6	1 0.1	1 0.1	7 0.8
中学生	477	90.6	8.8	0.6	-	-	-
高校生世代	403	88.6	10.4	0.5	0.2	0.2	-
無回答	8	12.5	-	-	-	-	87.5

調査対象となっている子どもからみた回答者の関係は、中学生では「母親」が 90.6%、「父親」が 8.8%、「祖母」が 0.6%となっている。高校生世代では「母親」が 88.6%、「父親」が 10.4%となっており、中学生、高校生世代ともに「母親」が約 9 割を占めている。したがって、調査結果をみるにあたっては、記入者別でみる場合以外は母親の回答が大半を占めていることに留意する必要がある。

(3) 保護者の年齢

表 1-4 保護者の年齢

	標本数	母親 (%)							父親 (%)						
		29歳以下	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳以上	無回答	29歳以下	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳以上	無回答
全体	888 100.0	1 0.1	4 0.5	104 11.7	298 33.6	333 37.5	127 14.3	21 2.4	3 0.3	3 0.3	57 6.4	221 24.9	263 29.6	245 27.6	96 10.8
中学生	477	0.2	0.8	16.8	39.6	33.5	7.1	1.9	0.6	0.6	10.1	31.7	27.5	19.3	10.3
高校生世代	403	-	-	6.0	27.0	42.9	22.8	1.2	-	-	2.2	17.4	32.8	38.0	9.7
無回答	8	-	-	-	-	-	12.5	87.5	-	-	-	-	-	-	100.0

子どもの保護者の年齢を、母親、父親それぞれについてたずねた。母親は、「45～49 歳」が 37.5%で最も多く、次いで「40～44 歳」が 33.6%、「50 歳以上」が 14.3%となっている。父親は、「45～49 歳」が 29.6%で最も多く、「50 歳以上」が 27.6%、「40～44 歳」が 24.9%となっている。

(4) 居住地区と居住年数

表1-5 居住地区と居住年数

(%)

	標本数	居住地区								居住年数							
		東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	無回答	1年未満	1年3年以上未満	3年5年以上未満	5年10年以上未満	10年15年以上未満	15年20年以上	20年以上	無回答
全体	888 100.0	180 20.3	98 11.0	91 10.2	158 17.8	93 10.5	150 16.9	110 12.4	8 0.9	35 3.9	79 8.9	79 8.9	218 24.5	231 26.0	167 18.8	72 8.1	7 0.8
中学生	477	21.8	11.5	9.9	18.7	10.5	18.2	9.4	-	3.8	10.7	9.0	26.8	30.4	12.8	6.5	-
高校生世代	403	18.9	10.4	10.9	17.1	10.7	15.6	16.1	0.2	4.2	6.7	8.9	22.3	21.3	26.3	10.2	-
無回答	8	-	12.5	-	-	-	-	-	87.5	-	12.5	-	-	-	-	-	87.5

回答者の居住地区は、「東区」が20.3%、「南区」が17.8%、「早良区」が16.9%、「西区」が12.4%、「博多区」が11.0%、「城南区」が10.5%、「中央区」が10.2%となっている。

また、回答者の現在の居住地区での居住年数は、「10年以上～15年未満」が26.0%で最も多く、次いで「5年以上～10年未満」が24.5%、「15年以上～20年未満」が18.8%となっている。5割強の回答者が、現在の居住地区に10年以上居住している。

2. 家庭の概況

(1) 同居家族数

表1-6 同居家族数

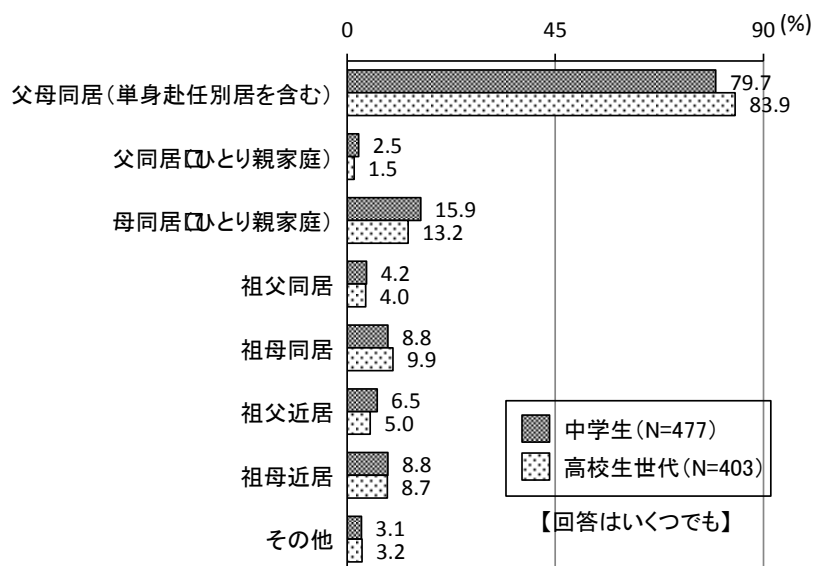
(%)

	標本数	同居家族の人数					
		1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体	888 100.0	4 0.5	41 4.6	169 19.0	375 42.2	290 32.7	9 1.0
中学生	477	0.2	4.6	18.7	40.7	35.6	0.2
高校生世代	403	0.7	4.5	19.9	44.9	29.8	0.2
無回答	8	-	12.5	-	-	-	87.5

調査対象となっている子どもを含む同居家族の人数をたずねた。中学生では「4人」が40.7%で最も多く、次いで「5人以上」35.6%、「3人」18.7%となっている。また、高校生世代も「4人」が44.9%で最も多く、「5人以上」が29.8%、「3人」が19.9%となっている。

(2) 同居・近居状況

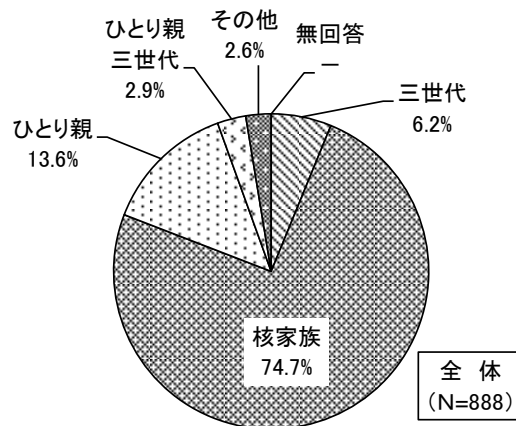
図1-1 同居・近居状況



子どもとの同居・近居状況は、中学生では「父母同居（単身赴任別居を含む）」が79.7%であり、『ひとり親家庭』は「母同居（ひとり親家庭）」が15.9%、「父同居（ひとり親家庭）」が2.5%で、合わせて18.4%となっている。祖父母等の同居・近居の状況は、「祖母同居」が8.8%、「祖父同居」が4.2%、また、「祖母近居」が8.8%、「祖父近居」が6.5%となっている。

高校生世代では、「父母同居（単身赴任別居を含む）」が83.9%、『ひとり親家庭』は「母同居（ひとり親家庭）」が13.2%、「父同居（ひとり親家庭）」が1.5%で、合わせて14.7%である。また、「祖母同居」が9.9%、「祖父同居」が4.0%、また、「祖母近居」が8.7%、「祖父近居」が5.0%となっている。

図1-2 世帯分類〔全体〕



「核家族」: 父母と子どもの世帯

「三代目」: 「核家族」に祖父母が同居(祖父母いずれかのみも含む)している世帯

「ひとり親」: 父親と子ども、母親と子どもの世帯

「ひとり親三代目」: 「ひとり親」に祖父母が同居(祖父母いずれかのみも含む)している世帯

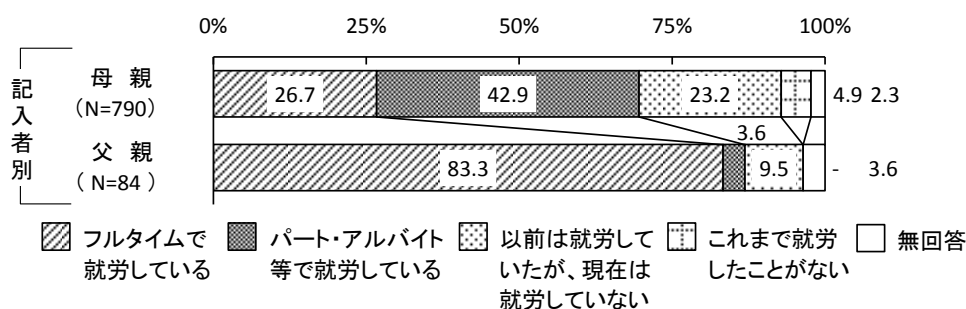
世帯分類をみると、「核家族」(74.7%)が全体の約7割で、次いで「ひとり親」(13.6%)、「三代目」(6.2%)、「ひとり親三代目」(2.9%)となっている。

第2章 保護者の就労状況

1. 保護者の就労状況

問 34 あなたの就労状況について選んで下さい。(○は1つ)

図 2 - 1 保護者の就労状況 [記入者別]



母親の就労状況を見ると、「パート・アルバイト等で就労している」が 42.9%で最も多く、次いで「フルタイムで就労している」が 26.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 23.2%となっており、約 7 割 (69.6%) の母親が就労している。

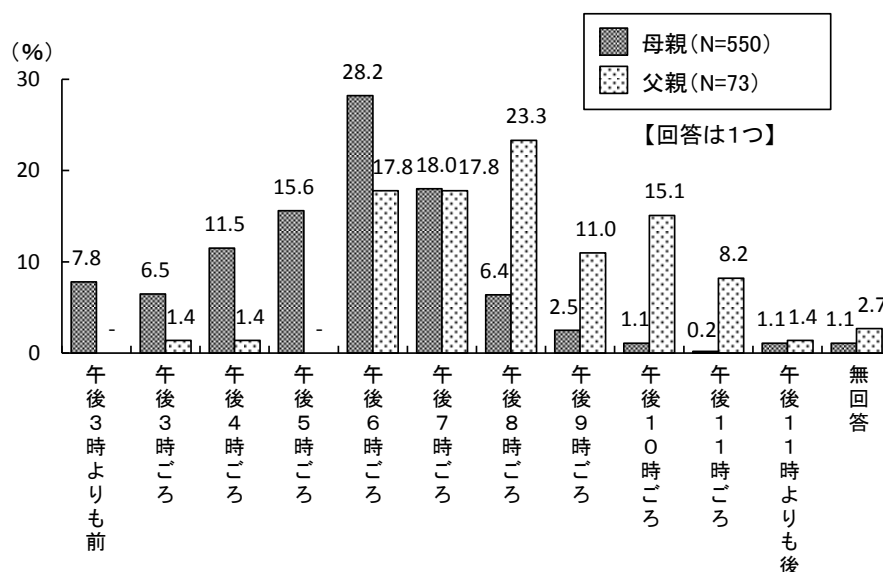
父親の就労状況は、「フルタイムで就労している」が 83.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 9.5%、「パート・アルバイト等で就労している」が 3.6%となっている。

2. 保護者の帰宅時刻

問34で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。

問34-1 平均的な帰宅時刻について選んでください。(〇は1つ)

図2-2 保護者の帰宅時刻 [記入者別]



現在就労している母親の帰宅時刻は、「午後6時ごろ」が28.2%で最も多く、次いで「午後7時ごろ」が18.0%、「午後5時ごろ」が15.6%、「午後4時ごろ」が11.5%となっている。

父親の帰宅時刻は、「午後8時ごろ」が23.3%で最も多く、「午後6時ごろ」と「午後7時ごろ」がともに17.8%、「午後10時ごろ」が15.1%となっている。

就労している母親の約7割(69.6%)が午後6時ごろまでに帰宅しているのに対し、父親の約6割(59.0%)は午後8時以降の帰宅となっている。

就労状況別にみると、「パート・アルバイト等で就労している」では午後6時ごろまでに帰宅する人が8割台半ば(86.6%)に上るが、「フルタイムで就労している」では午後6時ごろまでに帰宅する人は3割台半ば(35.7%)にとどまっている。

表 2-1 保護者の帰宅時刻 [全体、就労状況別]

(%)

		標 本 数	も 午 後 3 時 よ り	午 後 3 時 ご ろ	午 後 4 時 ご ろ	午 後 5 時 ご ろ	午 後 6 時 ご ろ	午 後 7 時 ご ろ	午 後 8 時 ご ろ	午 後 9 時 ご ろ	ろ 午 後 1 0 時 ご ろ	ろ 午 後 1 1 時 ご ろ	り 午 後 1 1 時 よ り	無 回 答
全 体		631 100.0	43 6.8	37 5.9	64 10.1	87 13.8	169 26.8	115 18.2	53 8.4	23 3.6	18 2.9	7 1.1	7 1.1	8 1.3
	中学生	330	8.2	7.3	9.1	14.2	30.3	14.5	7.0	3.9	1.5	1.2	0.9	1.8
	高校生世代	296	5.4	4.4	11.5	13.2	23.0	22.0	10.1	3.0	4.4	1.0	1.4	0.7
	無回答	5	-	-	-	20.0	20.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-
状 況 別 就 労	フルタイムで就労 している	288	0.3	0.3	1.0	4.9	29.2	28.5	16.7	7.3	5.9	2.4	2.1	1.4
	パート・アルバイト等で 就労している	343	12.2	10.5	17.8	21.3	24.8	9.6	1.5	0.6	0.3	-	0.3	1.2

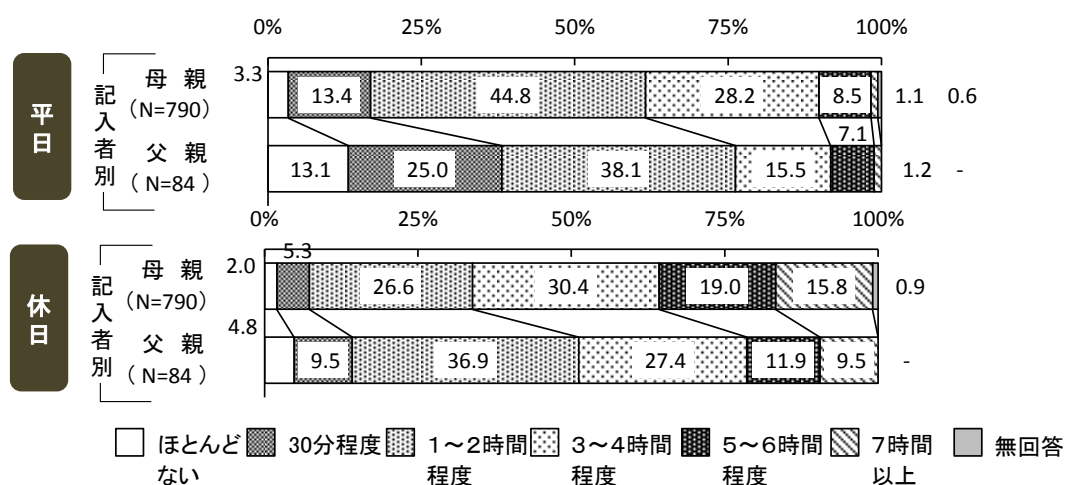
第3章 子どものしつけや家庭について

1. 子どもとの関係と会話の程度

(1) 子どもと過ごす時間

問8 あなたは、あて名のお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間が1日にどのくらいありますか（食事時間を含みます）。
（平日・休日のそれぞれ〇は1つずつ）

図3-1 子どもと過ごす時間 [記入者別]



子どもと一緒に何かをしたり、子どもの相手をしたりしている時間が1日にどのくらいあるか、平日と休日それぞれについてたずねた。

まず平日について記入者別にみると、母親では「1~2時間程度」が44.8%で最も多く、次いで「3~4時間程度」が28.2%、「30分程度」が13.4%となっている。父親の場合も「1~2時間程度」が38.1%で最も多いが、「30分程度」が25.0%で次に多く、「3~4時間程度」が15.5%、「ほとんどない」が13.1%となっている。

次に、休日について記入者別にみると、母親は「3~4時間程度」が30.4%で最も多く、次いで「1~2時間程度」が26.6%、「5~6時間程度」が19.0%、「7時間以上」が15.8%となっている。父親では、「1~2時間程度」が36.9%で最も多く、「3~4時間程度」が27.4%、「5~6時間程度」が11.9%となっている。

平日、休日ともに、母親の方が子どもと過ごす時間が長い傾向がみられる。

就労状況別にみると、平日は「フルタイムで就労している」場合に「パート・アルバイト等で就労している」「以前は就労していたが、現在は就労していない」に比べて子どもと過ごす時間が短い傾向がみられる。休日については、就労状況による大きな差はみられない。

子どもの性別でみると、中学生、高校生世代ともに、男性より女性の方が過ごす時間が長い傾向がみられる。

表 3-1 子どもと過ごす時間 [全体、就労状況別、子どもの性別]

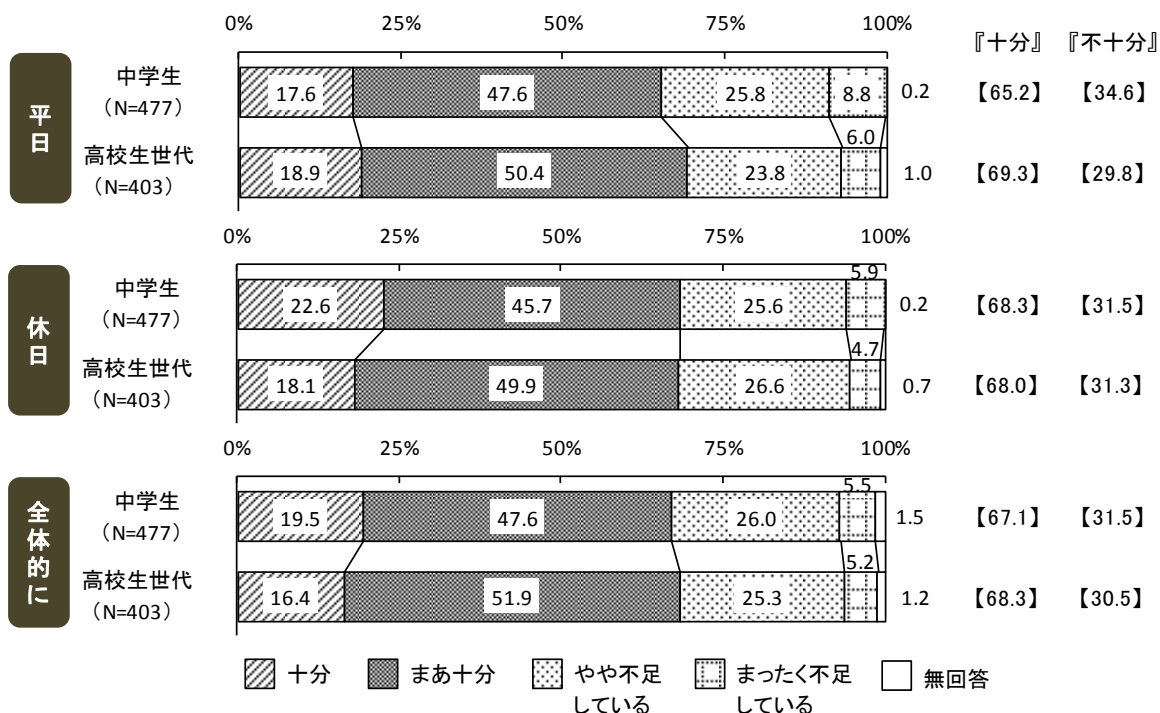
(%)

	標本数	平日							休日							
		ほとんどない	30分程度	1～2時間程度	3～4時間程度	5～6時間程度	7時間以上	無回答	ほとんどない	30分程度	1～2時間程度	3～4時間程度	5～6時間程度	7時間以上	無回答	
全体	888 100.0	37 4.2	133 15.0	390 43.9	238 26.8	74 8.3	11 1.2	5 0.6	20 2.3	53 6.0	246 27.7	267 30.1	160 18.0	135 15.2	7 0.8	
中学生	477	3.4	12.8	41.9	30.6	9.4	1.5	0.4	1.9	4.2	23.3	30.2	21.8	17.8	0.8	
高校生等	403	5.2	16.9	46.7	22.8	6.9	0.7	0.7	2.7	7.9	32.5	30.3	13.9	11.9	0.7	
無回答	8	-	50.0	25.0	-	12.5	12.5	-	-	12.5	50.0	12.5	-	25.0	-	
就労状況別	フルタイムで就労している	288	6.9	22.6	39.9	20.8	7.3	1.4	1.0	3.1	9.0	30.2	27.4	16.0	12.8	1.4
	パート・アルバイト等で就労している	343	3.8	12.5	44.3	30.6	7.9	0.6	0.3	2.6	5.0	28.0	30.3	19.5	14.0	0.6
	以前は就労していたが、現在は就労していない	195	1.5	9.7	47.2	27.7	11.3	2.1	0.5	1.0	4.1	23.6	32.8	17.4	20.5	0.5
	これまで就労したことがない	40	-	10.0	55.0	30.0	2.5	2.5	-	-	2.5	20.0	40.0	25.0	12.5	-
	無回答	22	4.5	9.1	40.9	31.8	13.6	-	-	-	4.5	40.9	18.2	13.6	22.7	-
子どもの性別	中学生:男性	202	4.0	16.8	43.1	29.7	5.4	0.5	0.5	2.0	5.4	27.7	28.7	23.8	11.4	1.0
	中学生:女性	225	3.1	9.3	39.1	32.4	12.9	2.7	0.4	2.2	3.6	17.3	30.7	20.9	24.4	0.9
	高校生世代:男性	136	6.6	20.6	47.1	18.4	5.9	0.7	0.7	4.4	11.0	39.7	27.9	7.4	8.8	0.7
	高校生世代:女性	192	2.6	16.7	45.3	25.5	8.3	1.0	0.5	1.0	6.3	28.6	29.7	18.2	15.6	0.5
	無回答	133	6.0	13.5	48.1	23.3	7.5	0.8	0.8	2.3	5.3	31.6	33.8	15.0	11.3	0.8

(2) 子どもと過ごす時間の評価

問9 あなたは、ご自分がお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思いますか。
(平日・休日・全体的にそれぞれ〇は1つずつ)

図3-2 子どもと過ごす時間の評価



子どもと過ごす時間について、十分だと思うかどうかをたずねた。

まず平日についてみると、中学生では「十分」と「まあ十分」を合わせた『十分』は 65.2%、「やや不足している」と「まったく不足している」を合わせた『不十分』は 34.6%となっている。高校生世代の『十分』は 69.3%、『不十分』は 29.8%である。

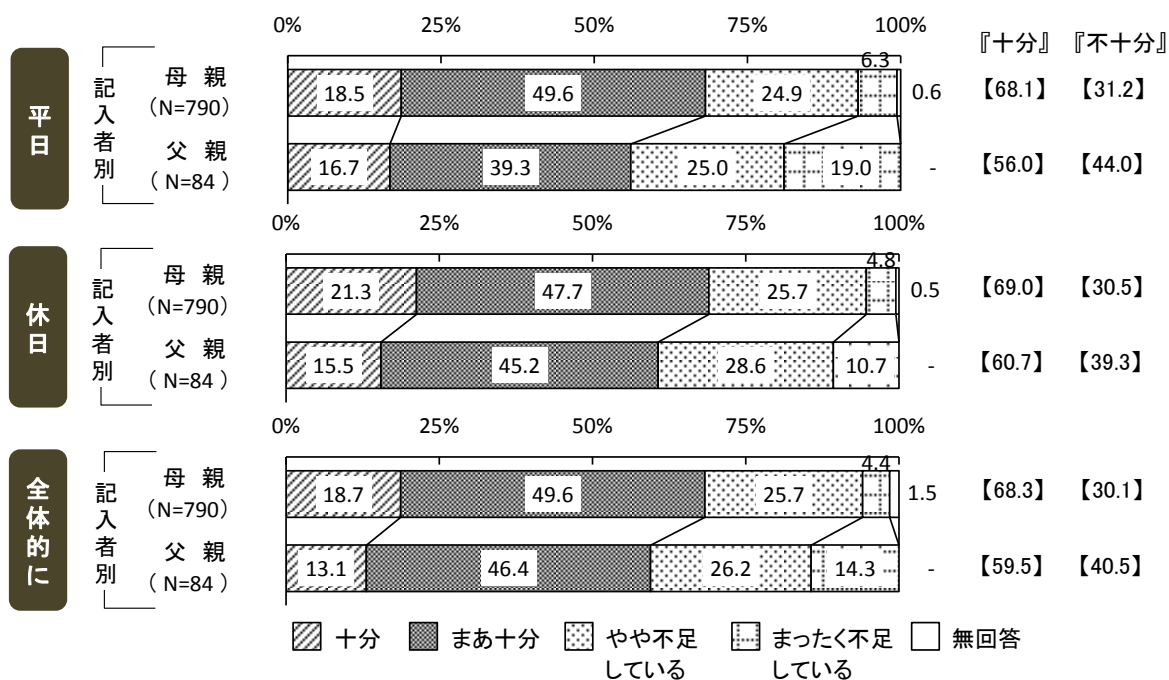
次に休日についてみると、中学生では『十分』は 68.3%、『不十分』は 31.5%である。高校生世代では『十分』が 68.0%、『不十分』が 31.3%となっている。

全体的にみた場合では、中学生では『十分』は 67.1%、『不十分』は 31.5%、高校生世代では『十分』が 68.3%、『不十分』が 30.5%となっている。

平日、休日、全体的に、のいずれの場合についても、子どもと過ごす時間について十分だと感じている回答者が7割弱を占める結果となっている。

記入者別にみると、平日、休日、全体的に、のいずれについても母親より父親で『不十分』とする割合が高くなっている。

図3-3 子どもと過ごす時間の評価〔記入者別〕



就労状況別にみると、平日、休日、全体的に、のいずれの場合も「フルタイムで就労している」で『不十分』が4割台で高い。

世帯分類別にみると、いずれの場合も「ひとり親」で『不十分』とする割合が4割台で高い。

表3-2 (1) 子どもと過ごす時間の評価〔全体、就労状況別、世帯分類別〕

		標本数	十分	まあ十分	しやてや不足	不まった不足している	無回答	『十分』	『不十分』	
平日	全体	888	162	434	220	67	5	596	287	
		100.0	18.2	48.9	24.8	7.5	0.6	67.1	32.3	
	就労状況別	フルタイムで就労している	288	12.2	44.4	30.6	12.2	0.7	56.6	42.8
		パート・アルバイト等で就労している	343	17.5	54.8	21.6	5.8	0.3	72.3	27.4
		以前は就労していたが、現在は就労していない	195	23.6	47.2	22.6	5.6	1.0	70.8	28.2
		これまで就労したことがない	40	40.0	37.5	20.0	2.5	-	77.5	22.5
		無回答	22	22.7	50.0	27.3	-	-	72.7	27.3
	世帯分類別	三世代	55	18.2	56.4	23.6	1.8	-	74.6	25.4
		核家族	663	19.6	49.5	23.7	6.9	0.3	69.1	30.6
		ひとり親	121	11.6	45.5	28.1	14.0	0.8	57.1	42.1
		ひとり親三世代	26	19.2	46.2	26.9	3.8	3.8	65.4	30.7
その他		23	13.0	34.8	39.1	8.7	4.3	47.8	47.8	

表3-2 (2) 子どもと過ごす時間の評価 [全体、就労状況別、世帯分類別]

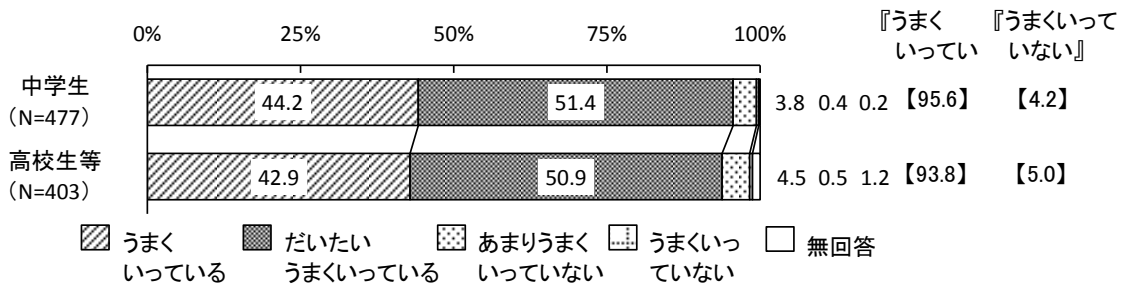
(%)

		標本数	十分	まあ十分	しやや いて不足	不ま つた く いて る	無 回 答	『十分』	『不十分』	
休日	全体	888 100.0	184 20.7	421 47.4	231 26.0	48 5.4	4 0.5	605 68.1	279 31.4	
	就労状況別	フルタイムで就労している	288	15.6	42.4	33.0	8.7	0.3	58.0	41.7
		パート・アルバイト等で就労している	343	18.7	53.6	22.7	4.7	0.3	72.3	27.4
		以前は就労していたが、現在は就労していない	195	27.7	45.1	22.6	3.6	1.0	72.8	26.2
		これまで就労したことがない	40	37.5	45.0	17.5	-	-	82.5	17.5
		無回答	22	27.3	40.9	31.8	-	-	68.2	31.8
	世帯分類別	三世代	55	18.2	61.8	20.0	-	-	80.0	20.0
		核家族	663	21.9	48.7	24.1	5.1	0.2	70.6	29.2
		ひとり親	121	14.9	41.3	32.2	10.7	0.8	56.2	42.9
		ひとり親三世代	26	26.9	38.5	30.8	-	3.8	65.4	30.8
		その他	23	17.4	17.4	56.5	4.3	4.3	34.8	60.8
全体的に	全体	888 100.0	162 18.2	438 49.3	227 25.6	48 5.4	13 1.5	600 67.5	275 31.0	
	就労状況別	フルタイムで就労している	288	12.8	43.4	32.6	9.7	1.4	56.2	42.3
		パート・アルバイト等で就労している	343	17.2	55.1	22.2	4.1	1.5	72.3	26.3
		以前は就労していたが、現在は就労していない	195	23.6	49.7	22.1	2.6	2.1	73.3	24.7
		これまで就労したことがない	40	35.0	45.0	17.5	2.5	-	80.0	20.0
		無回答	22	27.3	40.9	31.8	-	-	68.2	31.8
	世帯分類別	三世代	55	16.4	63.6	16.4	1.8	1.8	80.0	18.2
		核家族	663	19.0	51.1	24.3	4.8	0.8	70.1	29.1
		ひとり親	121	14.0	40.5	31.4	10.7	3.3	54.5	42.1
		ひとり親三世代	26	23.1	42.3	26.9	3.8	3.8	65.4	30.7
		その他	23	17.4	17.4	52.2	4.3	8.7	34.8	56.5

(3) 子どもとの関係

問12 あなたは、あて名のお子さんとの関係についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

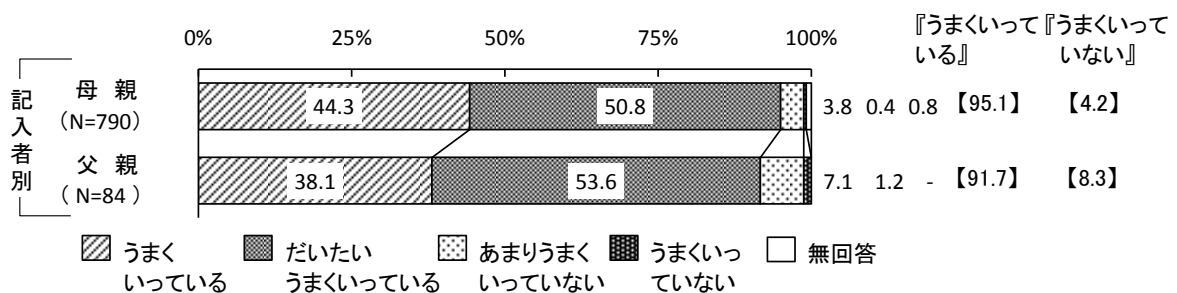
図3-4 子どもとの関係



子どもとの関係については、中学生では「だいたいうまくいっている」が51.4%で最も多く、次いで「うまくいっている」が44.2%となっている。高校生世代でも「だいたいうまくいっている」が50.9%で最も多く、「うまくいっている」が42.9%で続く。中学生、高校生世代ともに、『うまくいっている』（「うまくいっている」と「だいたいうまくいっている」の合計）が95%前後に上っており、ほとんどの回答者が子どもとの関係をうまくいっていると感じている。

記入者別では、父親、母親ともに『うまくいっている』が9割を超えているが、母親の方が子どもとの関係が「うまくいっている」とする割合が6.2ポイント高くなっている。

図3-5 子どもとの関係 [記入者別]



世帯分類別にみると、『うまくいっている』の割合は世帯分類によって大きな差はみられないが、「うまくいっている」だけでみると「三世帯」でやや低くなっている。

また、子どもとの会話の程度別にみると、子どもが回答者本人とよく話をしている場合（「あなたにも配偶者にもよく話をする」「あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない」「あなたにはよく話をする（配偶者はいない）」）には、子どもとの関係を『うまくいっている』と感じる割合が9割を超えて高くなっている。

表3-3 子どもとの関係 [全体、世帯分類別、子どもとの会話の程度別]

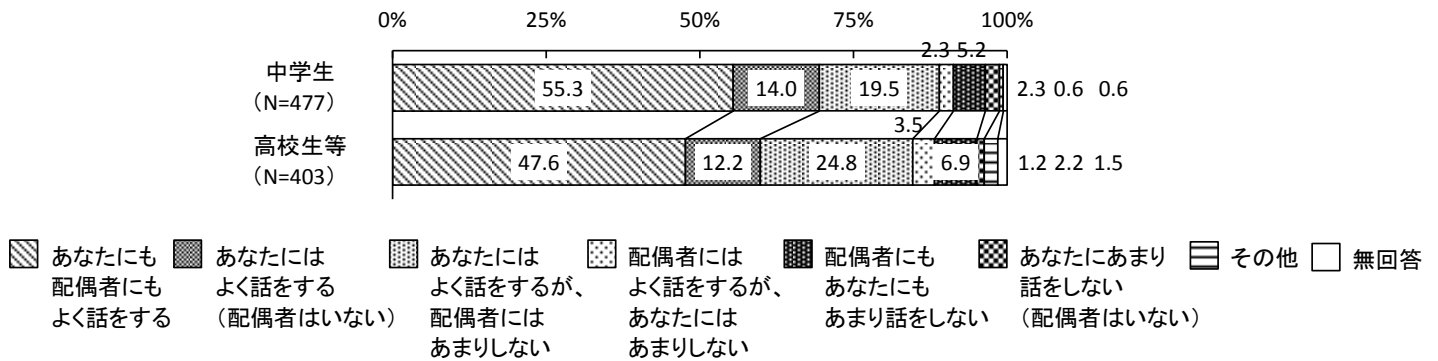
(%)

		標本数	いうまくいって	くだいいたていうまるま	いあまっつていうまく	いうまくいって	無回答	て『いうまくいって』	て『いうまくいって』
全体		888 100.0	387 43.6	454 51.1	36 4.1	4 0.5	7 0.8	841 94.7	40 4.6
世帯分類別	三世帯	55	34.5	58.2	5.5	-	1.8	92.7	5.5
	核家族	663	45.1	50.7	3.8	0.3	0.2	95.8	4.1
	ひとり親	121	43.0	47.9	5.8	1.7	1.7	90.9	7.5
	ひとり親三世帯	26	42.3	53.8	-	-	3.8	96.1	-
	その他	23	26.1	60.9	4.3	-	8.7	87.0	4.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
子どもとの会話の程度別	あなたにも配偶者にもよく話をする	458	53.3	44.1	2.0	0.2	0.4	97.4	2.2
	あなたにはよく話をする(配偶者はいない)	119	47.1	49.6	0.8	1.7	0.8	96.7	2.5
	あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない	193	34.2	63.2	2.6	-	-	97.4	2.6
	配偶者にはよく話をするが、あなたにはあまりしない	25	24.0	48.0	28.0	-	-	72.0	28.0
	配偶者にもあなたにもあまり話をしない	54	9.3	74.1	14.8	1.9	-	83.4	16.7
	あなたにあまり話をしない(配偶者はいない)	16	25.0	43.8	31.3	-	-	68.8	31.3
	その他	13	30.8	69.2	-	-	-	100.0	-
	無回答	10	20.0	30.0	10.0	-	40.0	50.0	10.0

(4) 子どもとの会話の程度

問 10 あて名のお子さんは、あなたやあなたの配偶者と日ごろよく話をしますか。(〇は1つ)

図 3-6 子どもとの会話の程度

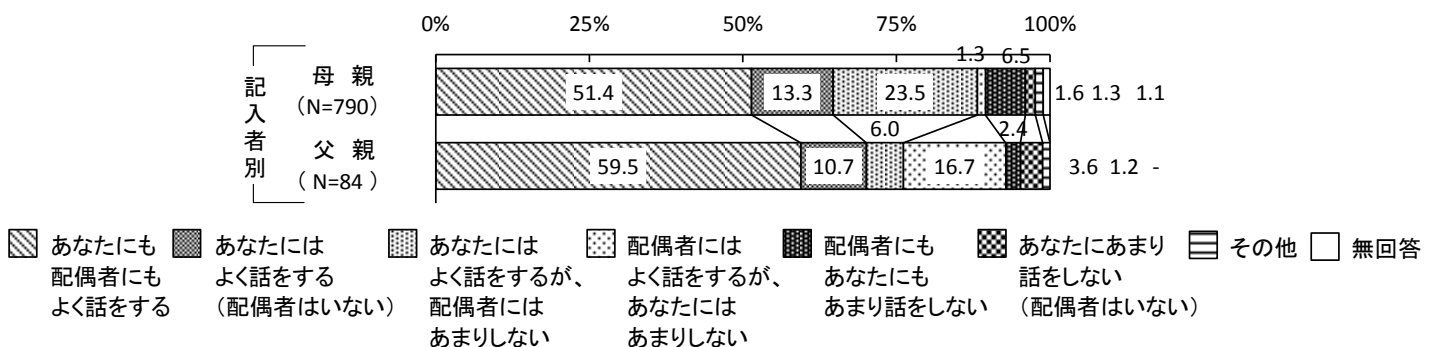


子どもとの日ごろの会話については、中学生では「あなたにも配偶者にもよく話をする」が55.3%と半数を超えており、次に「あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない」が19.5%、「あなたにはよく話をする(配偶者はいない)」が14.0%となっている。

高校生世代では、「あなたにも配偶者にもよく話をする」が47.6%、「あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない」が24.8%、「あなたにはよく話をする(配偶者はいない)」が12.2%となっている。中学生、高校生世代ともに、保護者とよく話をしているという回答が大半を占めている。中学生の方が高校生世代よりも母親、父親両方と話をしている割合が高い。

記入者別に、記入者本人とよく話をするという回答(「あなたにも配偶者にもよく話をする」「あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない」「あなたにはよく話をする(配偶者はいない)」の合計)をみると、母親は9割弱(88.2%)に上るのに対し、父親は7割台半ば(76.2%)となっており、母親との会話の頻度が高いことがうかがえる。

図 3-7 子どもとの会話の程度 [記入者別]



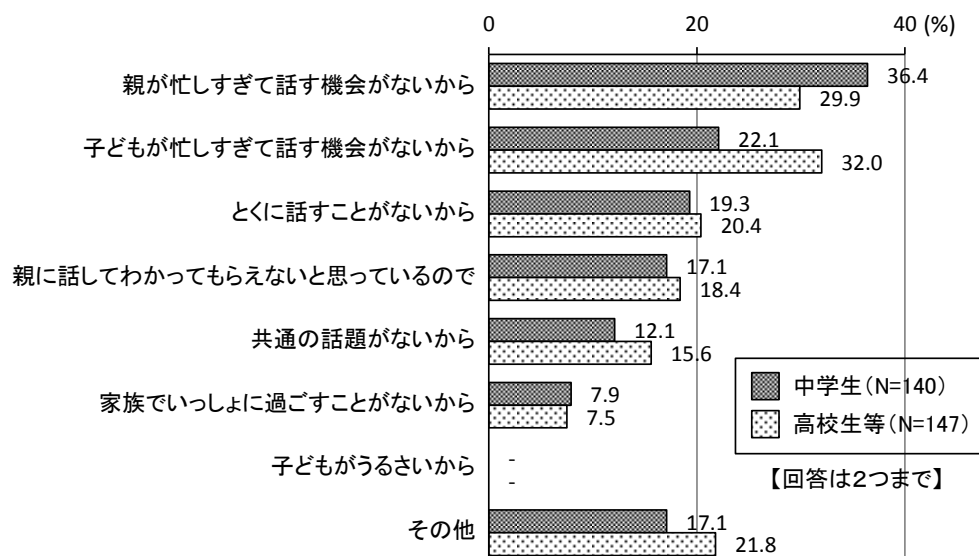
(5) 話をしない理由

問10で「3」～「6」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問10-1 お子さんが、あなたや配偶者の方とあまり話をしない理由は何ですか。

(○は2つまで)

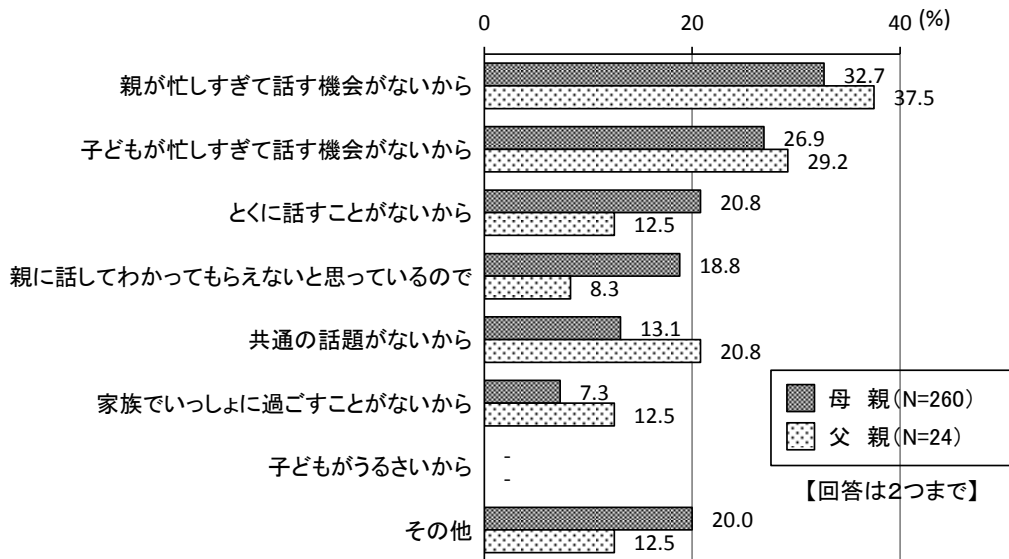
図3-8 話をしない理由



子どもが回答者または配偶者とあまり話をしない理由は、中学生では「親が忙しすぎて話す機会がないから」が36.4%で最も多く、次いで「子どもが忙しすぎて話す機会がないから」が22.1%、「とくに話すことがないから」が19.3%、「親に話してわかってもらえないと思っているので」が17.1%となっている。高校生世代では「子どもが忙しすぎて話す機会がないから」が32.0%で最も多く、「親が忙しすぎて話す機会がないから」29.9%、「とくに話すことがないから」20.4%、「親に話してわかってもらえないと思っているので」18.4%と続いている。中学生、高校生世代ともに時間的な制約のために話ができないという回答が上位にあがっているが、高校生世代では子どもの時間的制約がより影響しているようである。

記入者別にみると、母親では「とくに話すことがないから」「親に話してわかってもらえないと思っているので」が父親に比べて約8～10ポイント高く、父親では「共通の話題がないから」「家族でいっしょに過ごすことがないから」「親が忙しすぎて話す機会がないから」が約5～8ポイント母親より高くなっている。

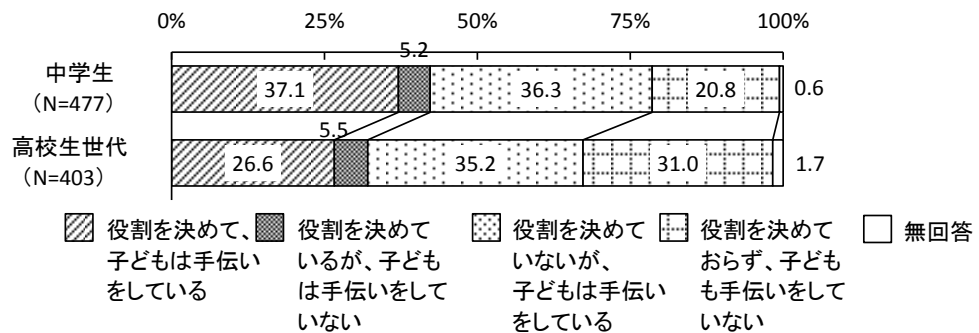
図3-9 話をしない理由 [記入者別]



(6) 家庭での子どもの役割

問11 あなたは、あて名のお子さんの家庭での役割(手伝い)を決めていますか。(○は1つ)

図3-10 家庭での子どもの役割



家庭での子どもの役割については、中学生では「役割を決めて、子どもは手伝いをしている」が37.1%、「役割を決めていないが、子どもは手伝いをしている」が36.3%で拮抗しており、子どもが手伝いをしているという回答が7割を超えている。高校生世代では「役割を決めていないが、子どもは手伝いをしている」が35.2%で最も多く、次いで「役割を決めておらず、子どもも手伝いをしていない」が31.0%、「役割を決めて、子どもは手伝いをしている」が26.6%となっている。中学生の方が手伝いをしている割合(73.4%)が高いが、高校生世代でも約6割(61.8%)は手伝いをしている。

就労状況別にみると、「フルタイムで就労している」で「役割を決めて、子どもは手伝いをしている」(36.8%)が他の就労状況の場合に比べて比較的高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「役割を決めておらず、子どもも手伝いをしていない」(31.3%)がやや高くなっている。

表3-4 家庭での子どもの役割 [全体、就労状況別]

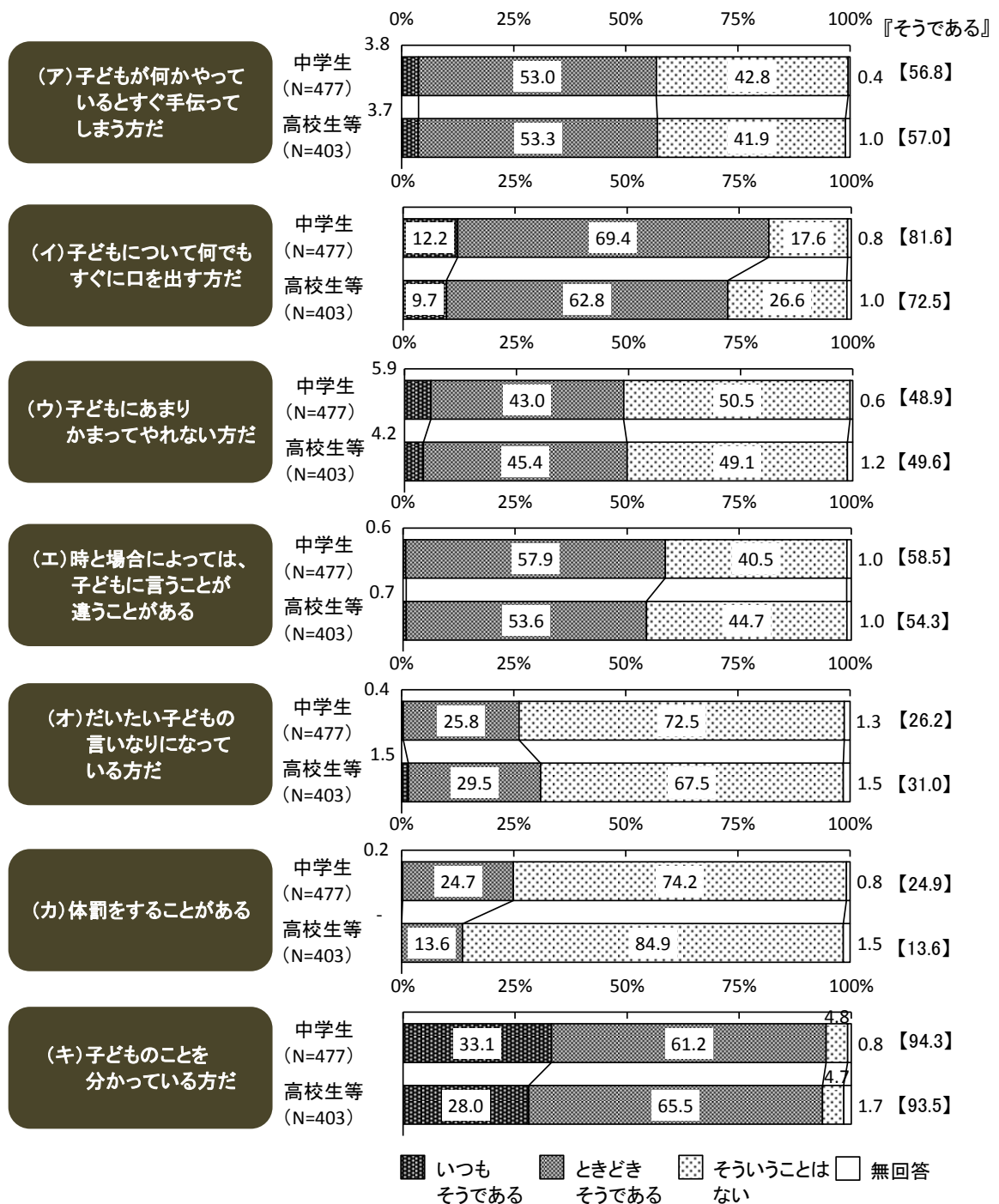
		(%)					
		標本数	手配を 決めてい る、子 どもは	いど もは 手配 をして いる が、 い な	る子 ども は手 配を して い ない	いど もは 手配 を して い ない	無 回 答
全 体		888 100.0	288 32.4	48 5.4	317 35.7	225 25.3	10 1.1
就 労 状 況 別	フルタイムで就労している	288	36.8	5.6	34.7	21.9	1.0
	パート・アルバイト等で 就労している	343	30.6	6.1	36.2	25.9	1.2
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	195	27.7	4.6	35.4	31.3	1.0
	これまで就労したことがない	40	37.5	-	37.5	22.5	2.5
	無回答	22	36.4	9.1	40.9	13.6	-

2. しつけや教育についての悩みと相談相手

(1) 日ごろのしつけ (態度)

問 13 あて名のお子さんに対する、あなたの日ごろのしつけ (態度) はどのようにされていますか。((ア) ~ (キ) について、それぞれ〇は1つずつ)

図 3-11 日ごろのしつけ (態度)



子どもに対する日ごろのしつけや態度について、(ア) から (キ) の7つの項目についてたずねた。

「(ア) 子どもが何かやっているとすぐ手伝ってしまう方だ」については、中学生、高校生世代ともに『そうである』(「いつもそうである」と「ときどきそうである」の合計)が6割弱を占めている。

記入者別にみると、母親の『そうである』(57.2%)が父親(52.4%)より4.8ポイント度高い。

「(イ) 子どもについて何でもすぐに口を出す方だ」については、中学生では約8割(81.6%)が『そうである』と回答しているのに対し、高校生世代では7割強(72.5%)と、中学生の方が9.1ポイント高くなっている。

記入者別にみると、母親の『そうである』(78.8%)が父親(63.1%)より15.7ポイント高くなっている。

就労状況別では、「フルタイムで就労している」で「そういうことはない」が27.8%と比較的高くなっている。

「(ウ) 子どもにあまりかまってやれない方だ」は、中学生、高校生世代ともに『そうである』が5割弱となっている。

就労状況別にみると、「フルタイムで就労している」で『そうである』(65.3%)が約3分の2と高くなっている。

世帯分類別にみると、「ひとり親」で『そうである』(63.6%)が6割を超えて高くなっており、また「三世代」(56.3%)でも5割台半ばと比較的高い。

「(エ) 時と場合によっては、子どもに言うことが違うことがある」については、『そうである』が中学生では58.5%、高校生世代では54.3%となっており、中学生でわずかに高くなっている。

記入者別では、母親で『そうである』(57.4%)の割合が父親(47.0%)より高い。

「(オ) だいたい子どもの言いなりになっている方だ」は、中学生、高校生世代ともに「そういうことはない」7割前後と大半を占めているが、『そうである』が中学生では26.2%に対し、高校生世代では31.0%となっており、高校生世代でやや高くなっている。

世帯分類別では、「三世代」で『そうである』(47.3%)と高くなっている。

「(カ) 体罰をすることがある」については「そういうことはない」が大半を占めるが、『そうである』が中学生で24.9%、高校生世代で13.6%となっており、中学生では体罰を行うことがあるという回答が約4分の1に上る。

世帯分類別では、「ひとり親」で『そうである』(28.1%)が他の世帯に比べるとやや高い。

子どもの性別でみると、中学生では男女で差はみられないが、高校生世代では『そうである』が男性で10.3%、女性では16.1%と女性で高くなっている。

「(キ) 子どものことを分かっている方だ」は、中学生、高校生世代ともに『そうである』が9割を超えているが、「いつもそうである」は中学生(33.1%)が高校生世代(28.0%)より5.1ポイント高くなっている。

記入者別では『そうである』の割合に差はないが、「いつもそうである」に限ってみると、父親は母親より5.2ポイント高くなっている。

世帯分類別にみると、『そうである』の割合には大きな違いはみられないが、「いつもそうである」については「ひとり親」(37.2%)で高く、「ひとり親三世代」(26.9%)や「三世代」(23.6%)ではやや低くなっている。

図3-12 日ごろのしつけ（態度）〔記入者別〕

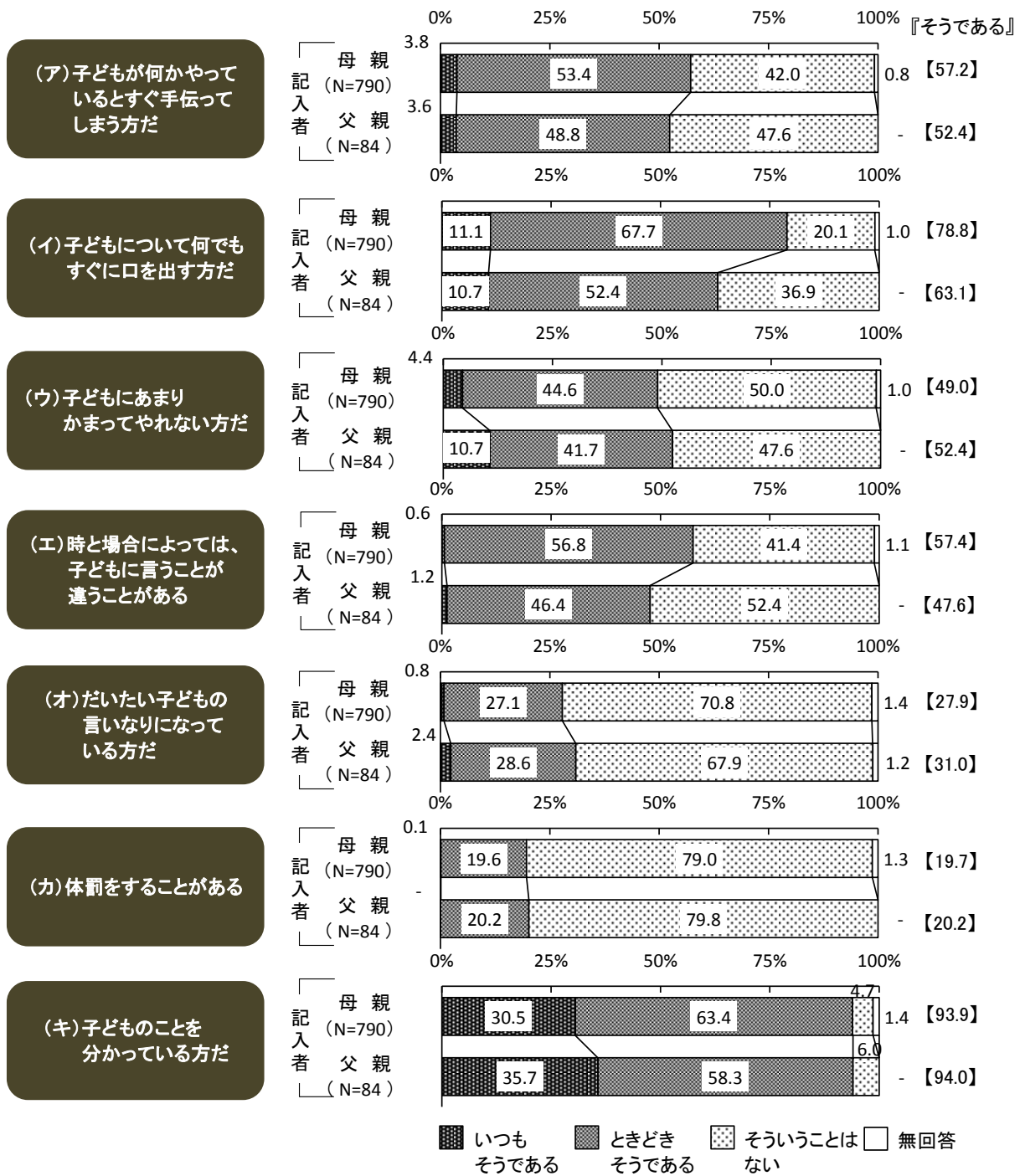


表3-5 日ごろのしつけ(態度)[全体、就労状況別、世帯分類別、子どもの性別]

		(ア)子どもが何かやっていると すぐ手伝わってしまう方だ					(イ)子どもについて何でもすぐに 口を出す方だ					(ウ)子どもにあまりかまって やれない方だ					(エ)時と場合によっては、子どもに 言うことが違うことがある					
		あいつも そう	ときどき そう	はないう こと	無 回答	「 そう である」	あいつも そう	ときどき そう	はないう こと	無 回答	「 そう である」	あいつも そう	ときどき そう	はないう こと	無 回答	「 そう である」	あいつも そう	ときどき そう	はないう こと	無 回答	「 そう である」	
		標 本 数																				
全体		888 100.0	33 3.7	470 52.9	378 42.6	7 0.8	503 56.6	97 10.9	589 66.3	193 21.7	9 1.0	686 77.2	46 5.2	390 43.9	443 49.9	9 1.0	436 49.1	6 0.7	495 55.7	377 42.5	10 1.1	501 56.4
就労状況別	フルタイムで就労している	288	3.1	50.7	45.1	1.0	53.8	9.4	61.5	27.8	1.4	70.9	11.1	54.2	33.3	1.4	65.3	1.4	52.8	44.8	1.0	54.2
	パート・アルバイト等で 就労している	343	2.9	55.7	40.8	0.6	58.6	12.2	68.2	19.0	0.6	80.4	2.9	42.0	54.5	0.6	44.9	0.6	57.4	40.8	1.2	58.0
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	195	5.6	52.3	41.0	1.0	57.9	10.8	71.3	16.9	1.0	82.1	1.5	37.4	60.0	1.0	38.9	-	56.4	42.6	1.0	56.4
	これまで就労したことがない	40	5.0	60.0	35.0	-	65.0	10.0	67.5	22.5	-	77.5	2.5	25.0	72.5	-	27.5	-	62.5	37.5	-	62.5
	無回答	22	4.5	31.8	63.6	-	36.3	13.6	54.5	27.3	4.5	68.1	-	31.8	63.6	4.5	31.8	-	50.0	45.5	4.5	50.0
世帯分類別	三世帯	55	1.8	65.5	32.7	-	67.3	9.1	78.2	10.9	1.8	87.3	1.8	54.5	43.6	-	56.3	-	56.4	43.6	-	56.4
	核家族	663	3.8	53.2	42.7	0.3	57.0	12.2	66.4	21.0	0.5	78.6	5.1	40.4	53.8	0.6	45.5	0.9	56.0	42.5	0.6	56.9
	ひとり親	121	3.3	52.9	43.0	0.8	56.2	7.4	62.8	28.9	0.8	70.2	6.6	57.0	35.5	0.8	63.6	-	58.7	40.5	0.8	58.7
	ひとり親三世帯	26	7.7	42.3	46.2	3.8	50.0	-	65.4	30.8	3.8	65.4	-	50.0	46.2	3.8	50.0	-	50.0	46.2	3.8	50.0
	その他	23	4.3	26.1	56.5	13.0	30.4	8.7	56.5	21.7	13.0	65.2	13.0	43.5	30.4	13.0	56.5	-	39.1	43.5	17.4	39.1
子どもの性別	中学生:男性	202	3.5	55.9	40.1	0.5	59.4	12.9	69.3	16.8	1.0	82.2	6.4	44.1	48.5	1.0	50.5	1.0	56.4	41.1	1.5	57.4
	中学生:女性	225	2.7	52.9	44.0	0.4	55.6	11.1	71.1	17.3	0.4	82.2	4.4	41.8	53.8	-	46.2	-	57.8	41.8	0.4	57.8
	高校生世代:男性	136	4.4	56.6	38.2	0.7	61.0	11.8	61.8	25.7	0.7	73.6	3.7	45.6	50.0	0.7	49.3	0.7	51.5	47.8	-	52.2
	高校生世代:女性	192	2.1	52.6	44.8	0.5	54.7	7.3	63.5	28.6	0.5	70.8	4.2	44.3	50.5	1.0	48.5	1.0	54.2	43.8	1.0	55.2
	無回答	133	7.5	45.1	45.1	2.3	52.6	12.0	62.4	22.6	3.0	74.4	7.5	45.1	44.4	3.0	52.6	0.8	57.9	38.3	3.0	58.7
		標 本 数	あいつも そう	ときどき そう	はないう こと	無 回答	「 そう である」	あいつも そう	ときどき そう	はないう こと	無 回答	「 そう である」	あいつも そう	ときどき そう	はないう こと	無 回答	「 そう である」					
全体		888 100.0	8 0.9	243 27.4	624 70.3	13 1.5	251 28.3	1 0.1	174 19.6	702 79.1	11 1.2	175 19.7	275 31.0	559 63.0	42 4.7	12 1.4	834 94.0					
就労状況別	フルタイムで就労している	288	0.7	25.7	71.9	1.7	26.4	-	20.8	77.8	1.4	20.8	29.5	62.2	6.3	2.1	91.7					
	パート・アルバイト等で 就労している	343	1.2	28.6	69.1	1.2	29.8	0.3	21.6	77.3	0.9	21.9	30.3	65.0	3.8	0.9	95.3					
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	195	0.5	29.2	68.7	1.5	29.7	-	15.9	83.1	1.0	15.9	31.3	62.6	5.1	1.0	93.9					
	これまで就労したことがない	40	2.5	25.0	72.5	-	27.5	-	17.5	82.5	-	17.5	42.5	55.0	2.5	-	97.5					
	無回答	22	-	18.2	77.3	4.5	18.2	-	9.1	81.8	9.1	9.1	36.4	59.1	-	4.5	95.5					
世帯分類別	三世帯	55	1.8	45.5	50.9	1.8	47.3	-	16.4	83.6	-	16.4	23.6	72.7	3.6	-	96.3					
	核家族	663	0.9	26.1	72.2	0.8	27.0	0.2	17.9	81.0	0.9	18.1	30.5	63.3	5.1	1.1	93.8					
	ひとり親	121	0.8	27.3	69.4	2.5	28.1	-	28.1	71.1	0.8	28.1	37.2	57.0	5.0	0.8	94.2					
	ひとり親三世帯	26	-	23.1	73.1	3.8	23.1	-	23.1	73.1	3.8	23.1	26.9	69.2	-	3.8	96.1					
	その他	23	-	26.1	60.9	13.0	26.1	-	26.1	60.9	13.0	26.1	34.8	52.2	-	13.0	87.0					
子どもの性別	中学生:男性	202	-	28.2	70.3	1.5	28.2	-	25.2	73.3	1.5	25.2	28.2	63.9	6.4	1.5	92.1					
	中学生:女性	225	0.4	24.4	74.7	0.4	24.8	0.4	25.3	74.2	-	25.7	36.4	60.0	3.6	-	96.4					
	高校生世代:男性	136	0.7	33.8	64.7	0.7	34.5	-	10.3	88.2	1.5	10.3	32.4	64.7	2.2	0.7	97.1					
	高校生世代:女性	192	1.6	27.1	69.8	1.6	28.7	-	16.1	82.8	1.0	16.1	26.0	65.1	6.8	2.1	91.1					
	無回答	133	2.3	24.8	69.2	3.8	27.1	-	15.8	81.2	3.0	15.8	31.6	61.7	3.8	3.0	93.3					

(2) 子どもをしかる場面

問 15 あなたは、あて名のお子さんが次のようなことをした場合、しかったり、注意したりしますか。(ア)～(ク)について、それぞれ〇は1つずつ

図 3-13 (1) 子どもをしかる場面

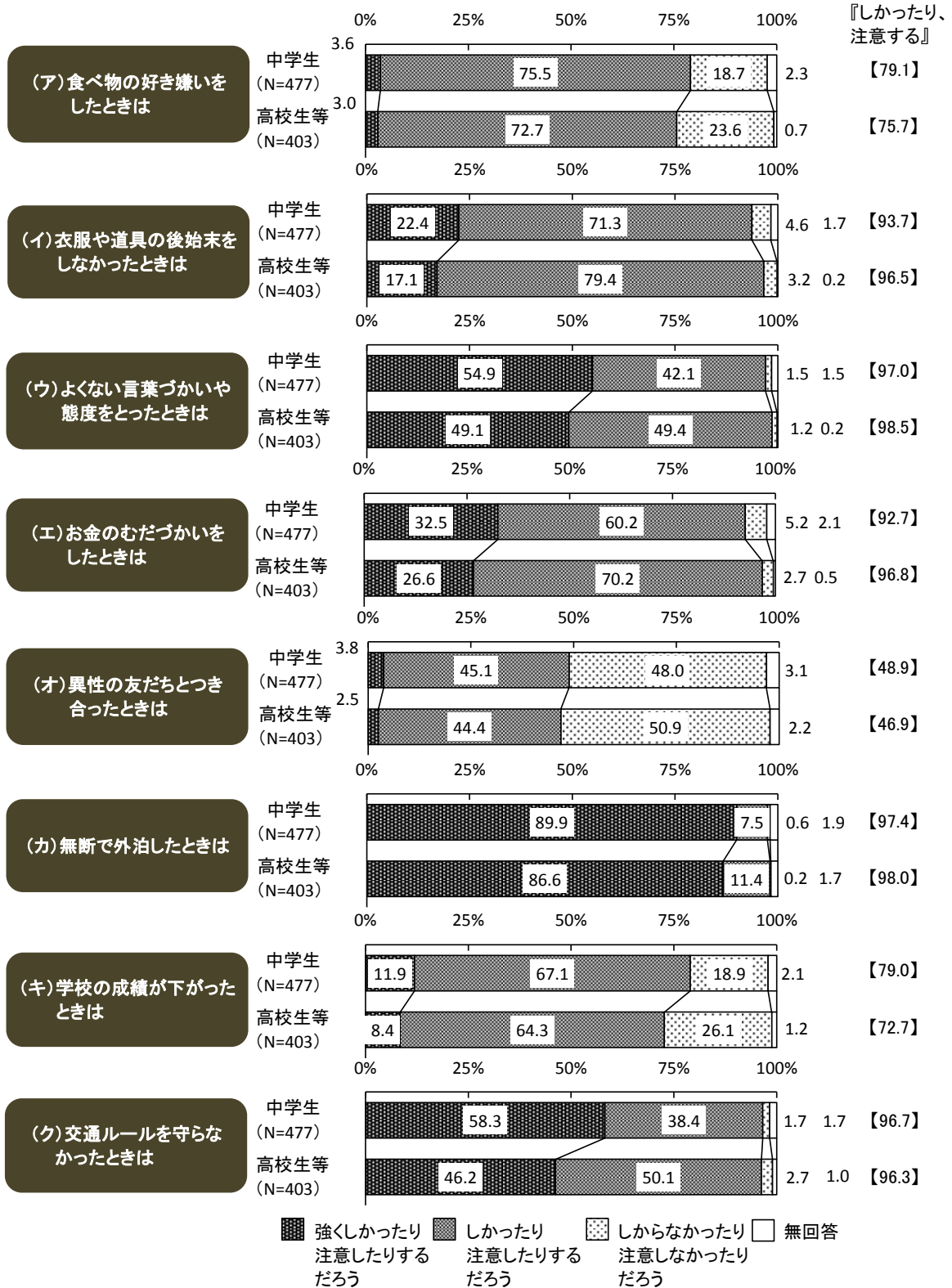
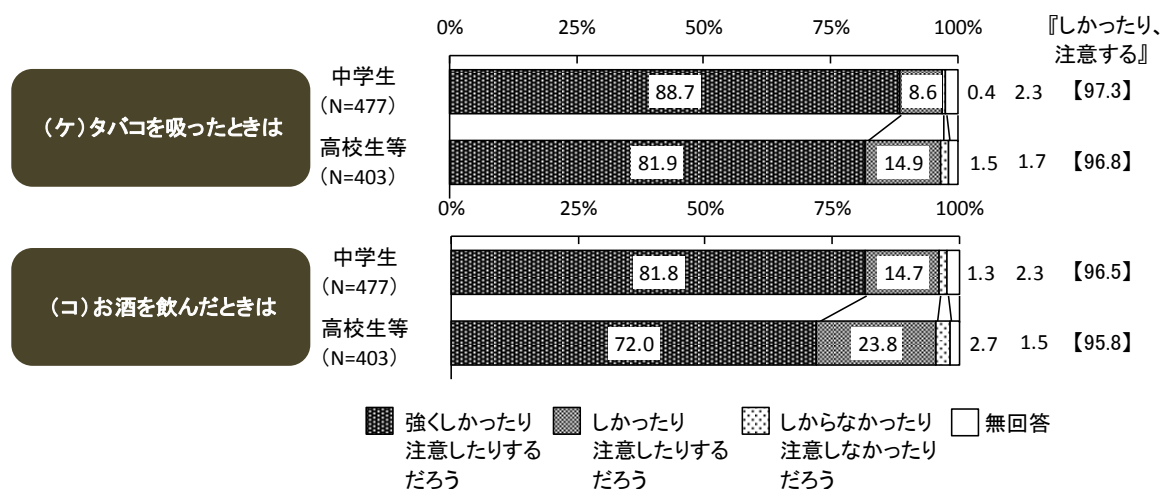


図3-13(2) 子どもをしかる場面



子どもの行動について、(ア) から (コ) の 10 項目について、しかり注意したりすると思うかたずねた。

「(ア) 食べ物の好き嫌いをしたときは」については、中学生、高校生世代ともに 8 割弱が『しかり、注意する』（「強くしかり注意したりするだろう」と「しかり注意したりするだろう」の合計）と回答している。ただ、「強くしかり注意したりするだろう」とする人はごくわずかである。

子どもの性別でみると、高校生世代の男性で「しからなかったり注意しなかったりだろう」が 27.2% とやや高くなっている。

「(イ) 衣服や道具の後始末をしなかったときは」については、中学生、高校生世代ともに『しかり、注意する』が 9 割を超えている。また、「強くしかり注意したりするだろう」は、中学生の方が 5 ポイント程度高くなっている。

記入者別にみると、父親で「強くしかり注意したりするだろう」（26.2%）が高くなっている。

世帯分類別では、「ひとり親」で「強くしかり注意したりするだろう」（26.4%）がやや高い。

「(ウ) よくない言葉づかいや態度をとったときは」については、中学生、高校生世代ともほとんどが『しかり、注意する』と回答している。また、「強くしかり注意したりするだろう」の割合も比較的高く 5 割前後となっており、中学生では 5 割台半ばに上っている。

記入者別では母親の「強くしかり注意したりするだろう」（53.0%）が父親（48.8%）よりやや高くなっている。

「(エ) お金のむだづかいをしたときは」については、中学生、高校生世代ともに 9 割以上が『しかり、注意する』と回答しているが、「強くしかり注意したりするだろう」が中学生（32.5%）でやや高くなっている。

記入者別では母親で『しかり、注意する』（95.4%）が高い。

世帯分類別では、「ひとり親」「ひとり親三世帯」で「強くしかり注意したりするだろう」が約 4 割と高くなっている。

「(オ) 異性の友だちとつき合ったときは」については、中学生、高校生世代ともに 5 割弱が『しかり、注意する』と回答しているが、「強くしかり注意したりするだろう」はわず

かである。

子どもの性別では、中学生、高校生世代ともに、『しかったり、注意する』が男性では3割台なのに対し、女性では5割を超えている。

「(カ) 無断で外泊したときは」については、中学生、高校生世代ともにほとんどが『しかったり、注意する』との回答である。また、「強くしかったり注意したりするだろう」に限っても9割弱に上っている。

記入者別では、母親の方が父親より「強くしかったり注意したりするだろう」が5.9ポイント高くなっている。

子どもの性別でみると、高校生世代の男性では、「強くしかったり注意したりするだろう」が約8割(80.9%)と他に比べて低くなっている。

「(キ) 学校の成績が下がったときは」については、中学生では8割弱(79.0%)、高校生世代では7割強(72.7%)が『しかったり、注意する』と回答している。ただし、「強くしかったり注意したりするだろう」は1割前後でさほど多くない。

世帯分類別では、「三世代」「ひとり親三世代」で『しかったり、注意する』が8割台半ばと高くなっている一方、「ひとり親」では6割台(67.8%)と比較的低い。

「(ク) 交通ルールを守らなかったときは」については、中学生、高校生世代ともにほとんどが『しかったり、注意する』と回答している。「強くしかったり注意したりするだろう」は高校生世代が5割弱(46.2%)であるのに対し、中学生は6割弱(58.3%)となっている。

子どもの性別では、中学生、高校生世代ともに、男性の方が女性よりも「強くしかったり注意したりするだろう」が10ポイント前後高くなっている。

「(ケ) タバコを吸ったときは」については、中学生、高校生世代ともにほとんどが『しかったり、注意する』と回答している。「強くしかったり注意したりするだろう」の割合も高く、中学生では9割弱(88.7%)、高校生世代でも8割強(81.9%)を占めている。

子どもの性別では、中学生では男女で差はないが、高校生世代では男性より女性の方が「強くしかったり注意したりするだろう」が10.3ポイント高くなっている。

「(コ) お酒を飲んだときは」についても、ほとんどが『しかったり、注意する』としている。「強くしかったり注意したりするだろう」の割合も高く、中学生で8割強(81.8%)、高校生世代で7割強(72.0%)に上っている。

記入者別では、母親で「強くしかったり注意したりするだろう」(78.0%)が高くなっている。

子どもの性別では、タバコと同様中学生では男女で差がないのに対し、高校生世代では女性で「強くしかったり注意したりするだろう」(75.0%)が男性より高くなっている。

図3-14 子どもをしかる場面〔記入者別〕

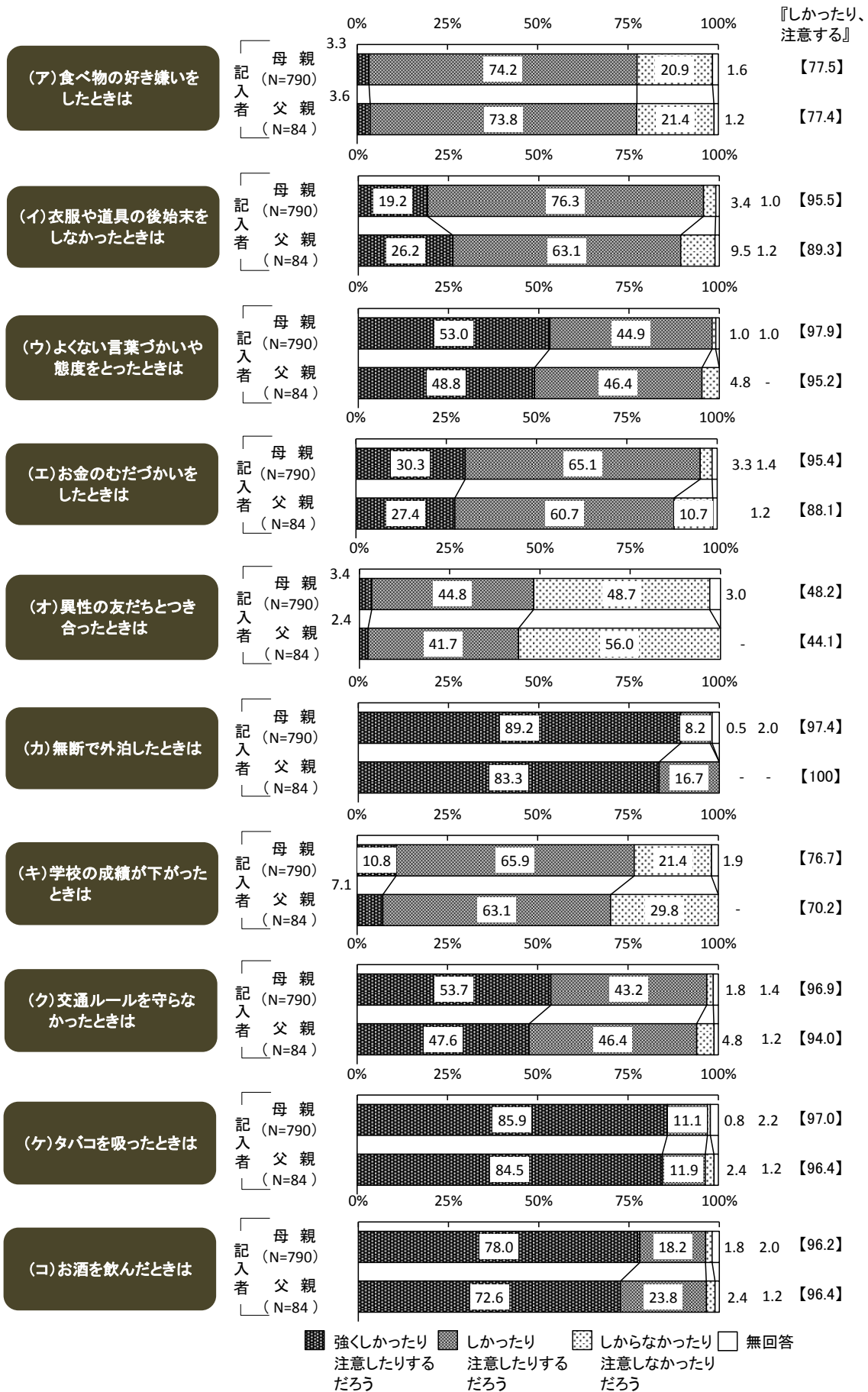


表3-6 子どもをしかる場面〔全体、子どもの性別、世帯分類別〕

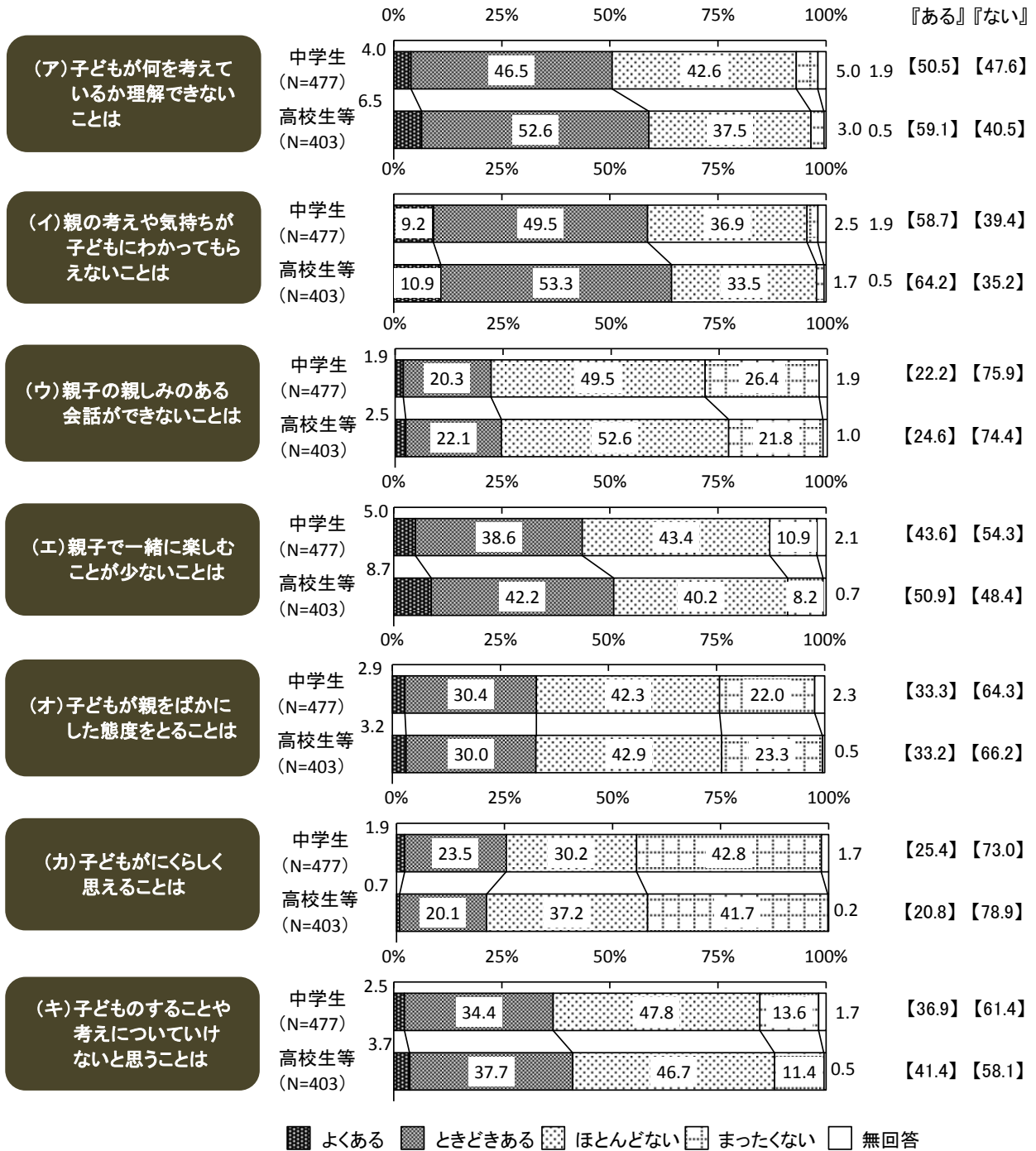
(96)

	標本数	(ア)食べ物の好き嫌いをしたときは					(イ)衣服や道具の後始末をしなかつたときは					(ウ)よくない言葉づかいや態度をとったときは					(エ)お金のむだづかいをしたときは					
		た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回			
		「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注			
全体	888 100.0	30 3.4	656 73.9	188 21.2	14 1.6	686 77.3	177 19.9	666 75.0	36 4.1	9 1.0	843 94.9	465 52.4	402 45.3	13 1.5	8 0.9	867 97.7	266 30.0	573 64.5	37 4.2	12 1.4	839 94.5	
子どもの性別	中学生:男性	202	4.5	76.2	16.8	2.5	80.7	20.8	73.3	4.0	2.0	94.1	55.4	41.6	1.5	1.5	97.0	31.2	61.9	5.0	2.0	93.1
	中学生:女性	225	1.8	74.2	21.8	2.2	76.0	21.3	71.6	5.8	1.3	92.9	55.6	41.3	1.8	1.3	96.9	31.1	60.4	6.2	2.2	91.5
	高校生世代:男性	136	1.5	70.6	27.2	0.7	72.1	14.7	80.9	4.4	-	95.6	49.3	47.8	2.9	-	97.1	27.2	70.6	2.2	-	97.8
	高校生世代:女性	192	3.1	75.0	21.4	0.5	78.1	18.2	78.6	3.1	-	96.8	48.4	51.0	0.5	-	99.4	24.5	72.4	2.6	0.5	96.9
	無回答	133	6.8	71.4	20.3	1.5	78.2	24.1	72.2	2.3	1.5	96.3	51.1	46.6	0.8	1.5	97.7	36.8	57.9	3.8	1.5	94.7
世帯分類別	三世代	55	5.5	72.7	20.0	1.8	78.2	14.5	83.6	1.8	-	98.1	52.7	43.6	3.6	-	96.3	25.5	70.9	3.6	-	96.4
	核家族	663	3.0	74.2	21.3	1.5	77.2	19.0	75.9	4.2	0.9	94.9	52.6	45.6	1.1	0.8	98.2	28.1	66.8	3.9	1.2	94.9
	ひとり親	121	3.3	74.4	21.5	0.8	77.7	26.4	68.6	4.1	0.8	95.0	49.6	47.1	2.5	0.8	96.7	38.8	54.5	5.0	1.7	93.3
	ひとり親三世代	26	3.8	73.1	15.4	7.7	76.9	19.2	69.2	3.8	7.7	88.4	57.7	34.6	-	7.7	92.3	38.5	46.2	7.7	7.7	84.7
	その他	23	8.7	65.2	26.1	-	73.9	26.1	69.6	4.3	-	95.7	52.2	43.5	4.3	-	95.7	39.1	56.5	4.3	-	95.6
	標本数	(オ)異性の友だちとつき合ったときは					(カ)無断で外泊したときは					(キ)学校の成績が下がったときは					(ク)交通ルールを守らなかったときは					
		た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回			
		「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注			
全体	888 100.0	30 3.4	395 44.5	439 49.4	24 2.7	425 47.9	785 88.4	82 9.2	5 0.6	16 1.8	867 97.6	92 10.4	583 65.7	198 22.3	15 1.7	675 76.1	470 52.9	387 43.6	19 2.1	12 1.4	857 96.5	
子どもの性別	中学生:男性	202	4.0	33.7	59.9	2.5	37.7	90.1	8.4	-	1.5	98.5	8.9	70.8	18.8	1.5	79.7	62.9	34.7	1.0	1.5	97.6
	中学生:女性	225	3.6	53.3	39.1	4.0	56.9	89.8	6.7	1.3	2.2	96.5	12.9	66.7	17.8	2.7	79.6	52.9	43.1	2.7	1.3	96.0
	高校生世代:男性	136	2.9	35.3	59.6	2.2	38.2	80.9	17.6	-	1.5	98.5	5.9	66.2	27.2	0.7	72.1	51.5	44.1	3.7	0.7	95.6
	高校生世代:女性	192	2.6	49.0	45.8	2.6	51.6	89.6	8.3	0.5	1.6	97.9	9.9	62.5	26.6	1.0	72.4	42.7	53.1	3.1	1.0	95.8
	無回答	133	3.8	48.9	45.9	1.5	52.7	89.5	7.5	0.8	2.3	97.0	13.5	60.2	24.1	2.3	73.7	54.1	43.6	-	2.3	97.7
世帯分類別	三世代	55	3.6	50.9	45.5	-	54.5	89.1	10.9	-	-	100.0	5.5	80.0	14.5	-	85.5	56.4	41.8	1.8	-	98.2
	核家族	663	3.0	44.0	50.4	2.6	47.0	89.6	8.4	0.5	1.5	98.0	11.0	65.8	21.6	1.7	76.8	54.1	43.1	1.5	1.2	97.2
	ひとり親	121	4.1	44.6	48.8	2.5	48.7	86.0	10.7	0.8	2.5	96.7	9.1	58.7	30.6	1.7	67.8	48.8	43.8	5.8	1.7	92.6
	ひとり親三世代	26	3.8	53.8	34.6	7.7	57.6	80.8	7.7	-	11.5	88.5	7.7	76.9	7.7	7.7	84.6	30.8	61.5	-	7.7	92.3
	その他	23	8.7	30.4	52.2	8.7	39.1	73.9	21.7	4.3	-	95.6	13.0	52.2	34.8	-	65.2	56.5	39.1	4.3	-	95.6
	標本数	(ケ)タバコを吸ったときは					(コ)お酒を飲んだときは															
		た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回	た強く すしか しな 無回											
		「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注	「し 注											
全体	888 100.0	761 85.7	101 11.4	8 0.9	18 2.0	862 97.1	687 77.4	167 18.8	17 1.9	17 1.9	854 96.2											
子どもの性別	中学生:男性	202	87.6	9.4	0.5	2.5	97.0	80.7	15.8	1.0	2.5	96.5										
	中学生:女性	225	88.9	8.4	0.4	2.2	97.3	81.3	14.7	1.8	2.2	96.0										
	高校生世代:男性	136	77.2	18.4	2.9	1.5	95.6	69.1	25.7	3.7	1.5	94.8										
	高校生世代:女性	192	87.5	10.4	0.5	1.6	97.9	75.0	21.4	2.1	1.6	96.4										
	無回答	133	83.5	13.5	0.8	2.3	97.0	77.4	19.5	1.5	1.5	96.9										
世帯分類別	三世代	55	85.5	14.5	-	-	100.0	67.3	29.1	3.6	-	96.4										
	核家族	663	88.2	9.2	0.8	1.8	97.4	79.8	16.9	1.7	1.7	96.7										
	ひとり親	121	73.6	21.5	1.7	3.3	95.1	69.4	24.8	2.5	3.3	94.2										
	ひとり親三世代	26	80.8	11.5	-	7.7	92.3	73.1	19.2	-	7.7	92.3										
	その他	23	82.6	13.0	4.3	-	95.6	78.3	17.4	4.3	-	95.7										

(3) 子どもとの日ごろの関係であること

問20 あなたとあて名のお子さんの日ごろの関係で、次のようなことがどのくらいありますか。(ア)～(キ)について、それぞれ〇は1つずつ

図3-15 子どもとの日ごろの関係であること



子どもとの日ごろの関係について、(ア) から (キ) の7項目に関してそのようなことがあるかどうかたずねた。

「(ア) 子どもが何を考えている理解できないことは」については、中学生では「よくある」「ときどきある」を合計した『ある』は50.5%、「ほとんどない」「まったくない」を合計した『ない』は47.6%となっている。高校生世代では『ある』が59.1%、『ない』が40.5%となっており、高校生世代の方が、子どもの考えていることが理解できないことがあると感じている保護者がやや多い。

子どもの性別では、中学生の女性で、『ある』(45.3%)がやや低くなっている。

「(イ) 親の考えや気持ちが子どもにわかってもらえないことは」については、中学生では『ある』が58.7%、『ない』が39.4%となっている。高校生世代では『ある』が64.2%、『ない』が35.2%となっており、高校生世代の方が親の考えが子どもにわかってもらえないことがあると感じている。

「(ウ) 親子の親しみのある会話ができないことは」については、中学生では『ある』が22.2%、『ない』が75.9%である。高校生世代では『ある』が24.6%、『ない』が74.4%となっている。中学生高校生世代ともに、親しみのある会話ができないという人は4分の1に満たない。

記入者別では母親(22.6%)よりも父親(28.6%)で『ある』がやや高くなっている。

「(エ) 親子で一緒に楽しむことが少ないことは」については、中学生では『ある』が43.6%、『ない』が54.3%という結果である。高校生世代では『ある』が50.9%、『ない』が48.4%となっており、高校生世代の方が、親子で一緒に楽しむことが少ないと感じている人がやや多い。

記入者別では母親(46.0%)よりも父親(55.9%)で『ある』が9.9ポイント高い。

子どもの性別でみると、中学生の女性で『ない』が59.5%と高くなっている。

「(オ) 子どもが親をばかにした態度をとることは」については、中学生では『ある』が33.3%、『ない』が64.3%となっている。高校生世代では『ある』が33.2%、『ない』が66.2%となっている。中学生と高校生世代とでほとんど差がみられず、子どもが親をばかにした態度をとることがあるという人は約3分の1となっている。

記入者別では父親で『ある』(41.7%)が母親(32.4%)より高い。

「(カ) 子どもがにくらしく思えることは」については、中学生では『ある』が25.4%、『ない』が73.0%である。高校生世代では『ある』が20.8%、『ない』が78.9%となっている。中学生の方が、子どもがにくらしく思えることがあるとする割合がやや高い。

記入者別では、母親で『ある』(23.9%)が父親(16.7%)より高くなっている。

子どもの性別では、高校生世代の男性で『ある』(14.7%)がやや低くなっている。

「(キ) 子どものすることや考えについていけないと思うことは」については、中学生では『ある』が36.9%、『ない』が61.4%となっている。高校生世代では『ある』が41.4%、『ない』が58.1%となっており、高校生世代の方が、子どものすることや考えについていけないことがあるとする割合がやや高くなっている。

図3-16 子どもとの日ごろの関係であること〔記入者別〕

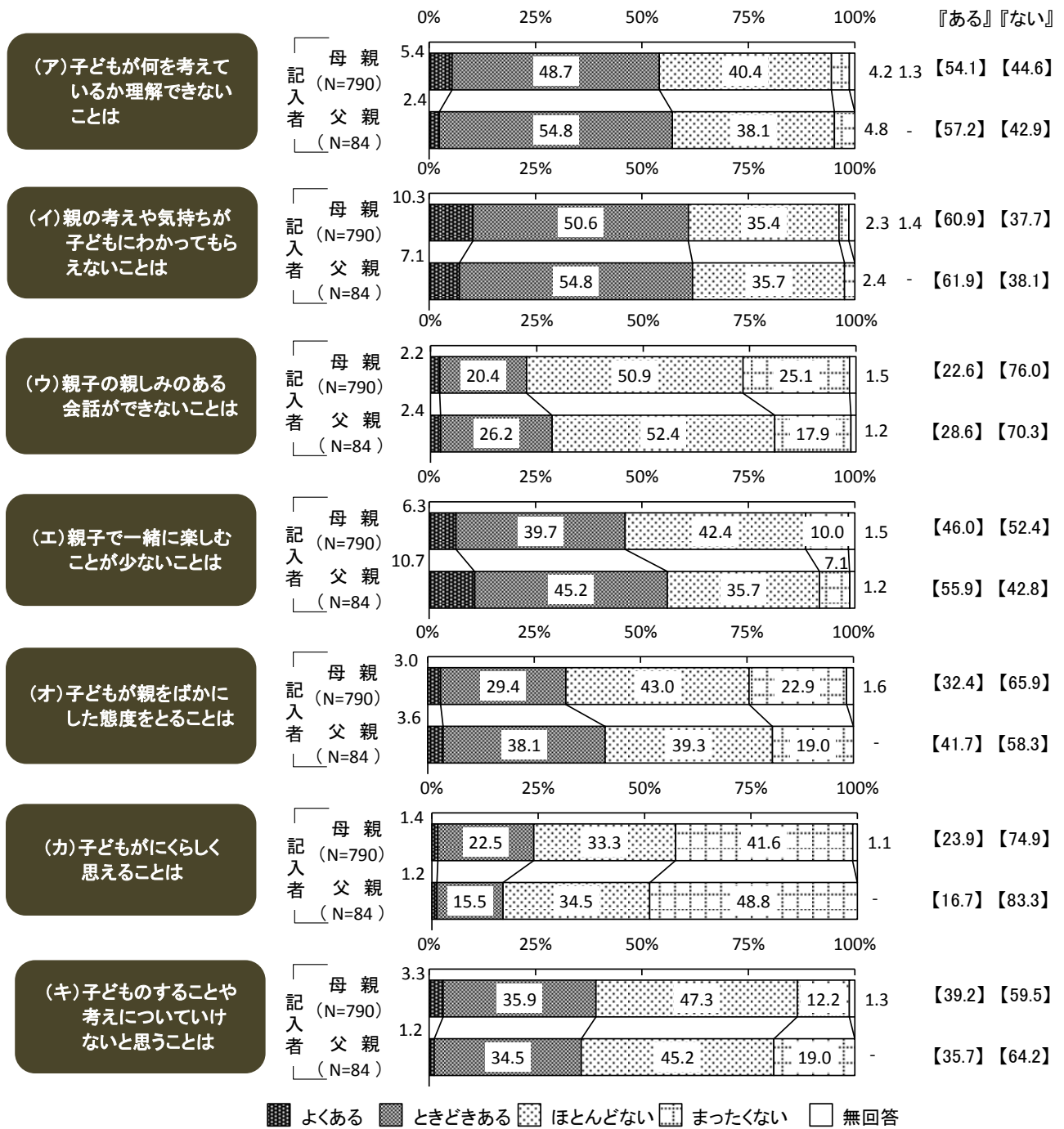


表3-7 子どもとの日ごろの関係であること [全体、子どもの性別]

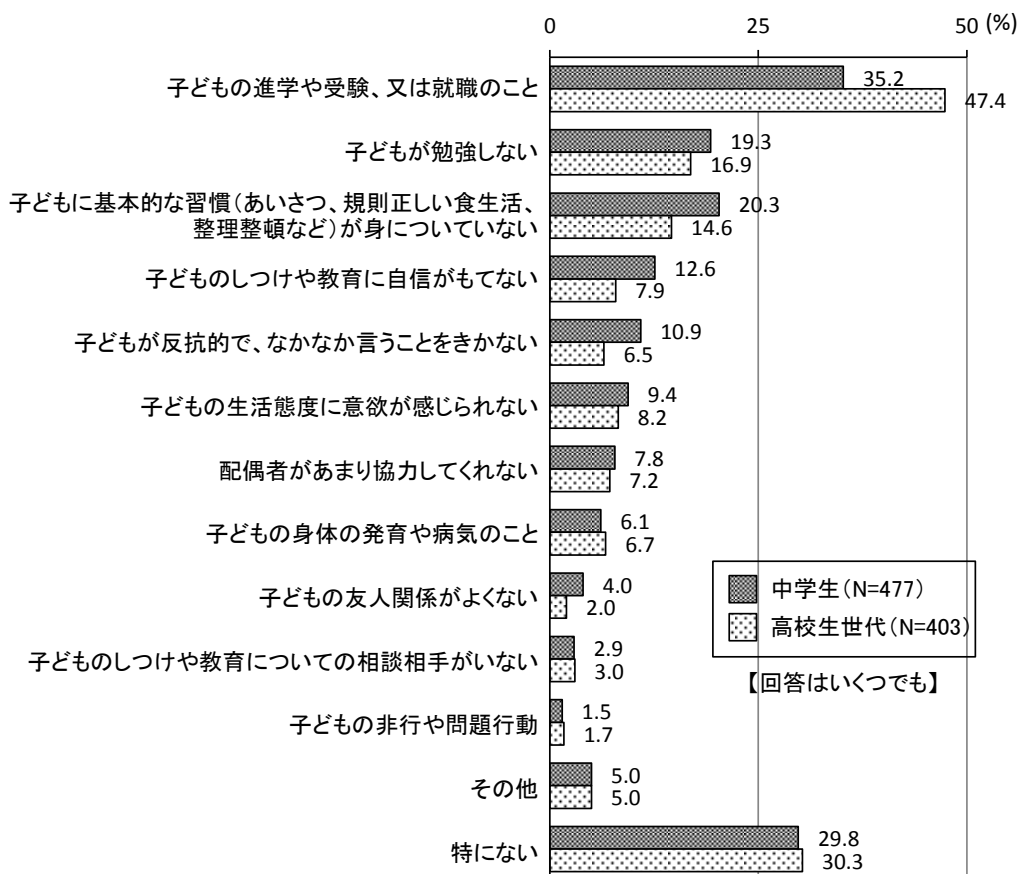
(%)

		標本数	(ア)子どもが何を考えているか理解できないことは						(イ)親の考えや気持ちが子どもにわかってもらえないことは							
			よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくくない	無回答	「ある」	「ない」	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくくない	無回答	「ある」	「ない」
全体		888 100.0	45 5.1	436 49.1	359 40.4	37 4.2	11 1.2	481 54.2	396 44.6	88 9.9	456 51.4	312 35.1	21 2.4	11 1.2	544 61.3	333 37.5
子どもの性別	中学生:男性	202	5.9	52.0	36.6	3.5	2.0	57.9	40.1	9.4	50.5	36.1	1.5	2.5	59.9	37.6
	中学生:女性	225	3.1	42.2	46.2	6.7	1.8	45.3	52.9	9.8	48.9	36.4	3.6	1.3	58.7	40.0
	高校生世代:男性	136	4.4	53.7	40.4	1.5	-	58.1	41.9	11.0	51.5	35.3	2.2	-	62.5	37.5
	高校生世代:女性	192	7.8	52.6	34.9	3.6	1.0	60.4	38.5	10.4	53.1	33.9	1.6	1.0	63.5	35.5
	無回答	133	3.8	46.6	44.4	4.5	0.8	50.4	48.9	9.0	54.1	33.1	3.0	0.8	63.1	36.1
		標本数	(ウ)親子の親しみのある会話ができないことは						(エ)親子で一緒に楽しむことが少ないことは							
			よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくくない	無回答	「ある」	「ない」	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくくない	無回答	「ある」	「ない」
全体		888 100.0	19 2.1	187 21.1	451 50.8	218 24.5	13 1.5	206 23.2	669 75.3	61 6.9	356 40.1	370 41.7	88 9.9	13 1.5	417 47.0	458 51.6
子どもの性別	中学生:男性	202	2.0	18.3	54.5	23.3	2.0	20.3	77.8	3.5	46.0	40.6	6.9	3.0	49.5	47.5
	中学生:女性	225	1.3	22.7	46.7	28.0	1.3	24.0	74.7	6.7	32.4	44.4	15.1	1.3	39.1	59.5
	高校生世代:男性	136	4.4	17.6	59.6	18.4	-	22.0	78.0	12.5	40.4	40.4	6.6	-	52.9	47.0
	高校生世代:女性	192	2.1	23.4	47.4	25.0	2.1	25.5	72.4	5.7	40.1	43.2	9.4	1.6	45.8	52.6
	無回答	133	1.5	22.6	48.1	26.3	1.5	24.1	74.4	8.3	43.6	37.6	9.8	0.8	51.9	47.4
		標本数	(オ)子どもが親をばかにした態度をとることは						(カ)子どもがにくらしく思えることは							
			よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくくない	無回答	「ある」	「ない」	よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくくない	無回答	「ある」	「ない」
全体		888 100.0	28 3.2	268 30.2	380 42.8	199 22.4	13 1.5	296 33.4	579 65.2	12 1.4	194 21.8	295 33.2	378 42.6	9 1.0	206 23.2	673 75.8
子どもの性別	中学生:男性	202	1.5	28.7	42.6	24.3	3.0	30.2	66.9	1.0	23.3	28.7	45.0	2.0	24.3	73.7
	中学生:女性	225	4.9	29.8	44.9	18.7	1.8	34.7	63.6	3.1	24.9	31.6	39.1	1.3	28.0	70.7
	高校生世代:男性	136	1.5	30.1	41.9	26.5	-	31.6	68.4	1.5	13.2	37.5	47.8	-	14.7	85.3
	高校生世代:女性	192	4.2	30.7	42.7	21.4	1.0	34.9	64.1	-	24.5	33.9	41.1	0.5	24.5	75.0
	無回答	133	3.0	32.3	40.6	23.3	0.8	35.3	63.9	0.8	19.5	37.6	41.4	0.8	20.3	79.0
		標本数	(キ)子どものすることや考えについていけないと思うことは													
			よくある	ときどきある	ほとんどない	まったくくない	無回答	「ある」	「ない」							
全体		888 100.0	27 3.0	318 35.8	418 47.1	115 13.0	10 1.1	345 38.8	533 60.1							
子どもの性別	中学生:男性	202	2.5	35.6	46.0	13.9	2.0	38.1	59.9							
	中学生:女性	225	2.7	35.6	45.8	14.7	1.3	38.3	60.5							
	高校生世代:男性	136	5.1	32.4	52.2	10.3	-	37.5	62.5							
	高校生世代:女性	192	3.6	38.5	45.3	11.5	1.0	42.1	56.8							
	無回答	133	1.5	36.1	48.1	13.5	0.8	37.6	61.6							

(4) しつけや教育についての悩み

問17 あなたはあて名のお子さんのしつけや教育について、何か悩みや心配ごとはありますか。(〇はいくつでも)

図3-17 しつけや教育についての悩み



子どものしつけや教育に関する悩みや心配ごとについては、中学生では「子どもの進学や受験、または就職のこと」が35.2%で最も多く、次いで「子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない」が20.3%、「子どもが勉強しない」が19.3%、「子どものしつけや教育に自信がもてない」12.6%となっている。悩みや心配ごとが「特にない」は29.8%である。高校生世代では、「子どもの進学や受験、または就職のこと」が47.4%で最も多く、次いで「子どもが勉強しない」が16.9%、「子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない」が14.6%となっている。「特にない」は30.3%である。中学生、高校生世代ともに、子どもの進学や受験、就職についての悩みが突出しているが、高校生世代では特に半数近くが悩みとしてあげている。また、中学生、高校生世代ともに約3割の保護者は特に悩みや心配ごとがないとしている。

子どもの性別にみると、中学生、高校生世代ともに、女性よりも男性で「子どもの進学や受験、または就職のこと」が高くなっており、中学生では13.7ポイント、高校生世代では18.6ポイントの差がある。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

世帯分類別では、「ひとり親」で「子どものしつけや教育に自信がもてない」(20.7%)、「子どもが勉強しない」(25.6%)などが他に比べて高くなっており、また「特にない」が2割程度(20.7%)と低くなっている。

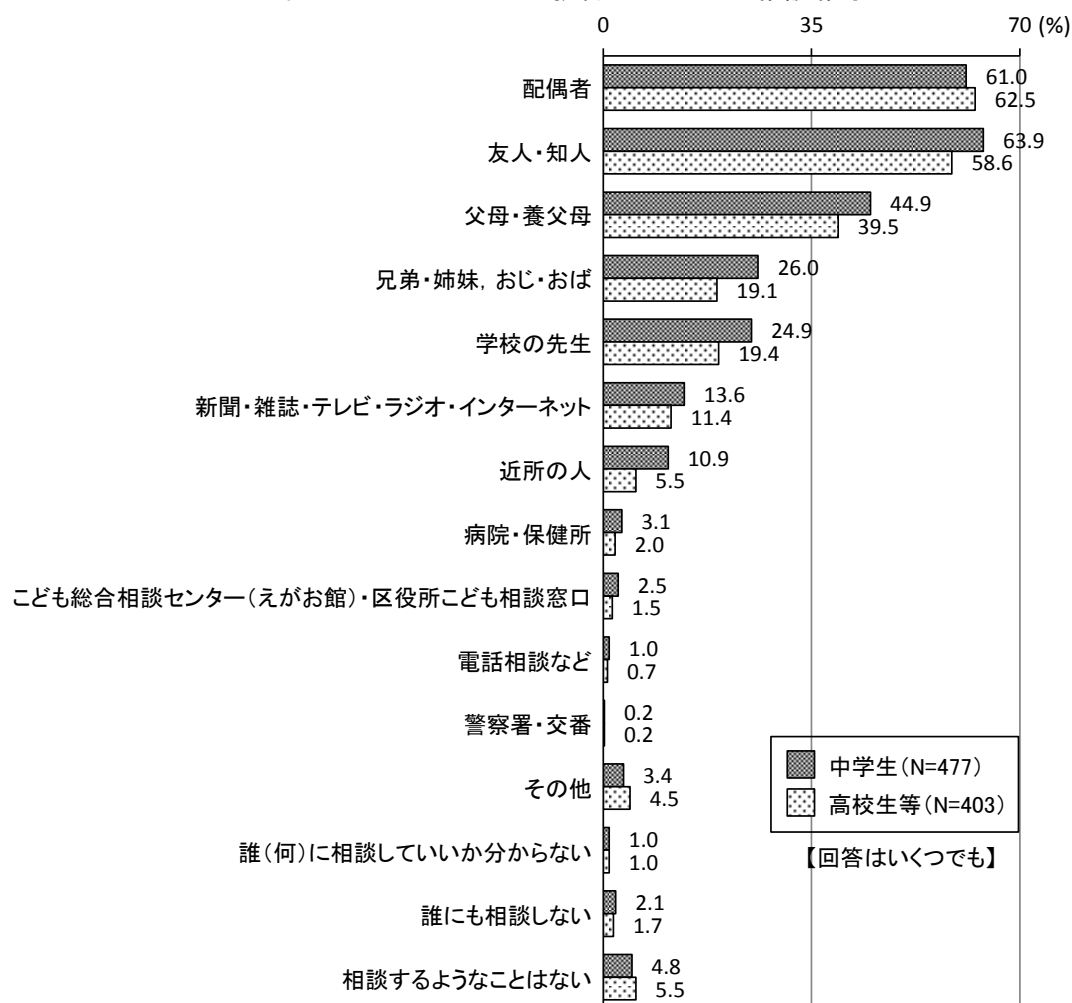
表3-8 しつけや教育についての悩み〔全体、子どもの性別、世帯分類別〕

		標本数	子どもが勉強しない	子どもが反抗的で、なかなか言うことをきかない	子どもの進学や受験、又は就職のこと	子どもが勉強しない	子どもの生活態度に意欲が感じられない	子どもの友人関係がよくない	子どもの身体の発育や病気のこと	子どもの非行や問題行動	その他	特にない	無回答			
全体		888 100.0	159 17.9	92 10.4	26 2.9	66 7.4	162 18.2	362 40.8	78 8.8	78 8.8	27 3.0	56 6.3	14 1.6	44 5.0	267 30.1	26 2.9
子どもの性別	中学生:男性	202	17.8	11.9	3.0	5.9	22.3	42.6	8.4	10.4	3.5	7.4	2.5	3.0	27.2	3.5
	中学生:女性	225	22.2	13.3	3.1	10.2	16.9	28.9	11.6	8.4	4.0	5.3	0.4	7.1	31.1	3.1
	高校生世代:男性	136	9.6	8.8	3.7	8.8	20.6	56.6	5.9	9.6	4.4	8.1	2.9	5.9	22.8	2.9
	高校生世代:女性	192	15.6	6.3	2.1	6.3	15.1	38.0	5.7	6.8	1.0	6.8	1.0	3.6	34.9	2.6
	無回答	133	22.6	10.5	3.0	5.3	16.5	45.9	12.0	9.0	2.3	3.8	1.5	5.3	33.1	2.3
世帯分類別	三世代	55	16.4	5.5	-	1.8	14.5	47.3	5.5	5.5	-	9.1	1.8	1.8	30.9	5.5
	核家族	663	17.5	9.2	2.3	9.4	17.2	39.4	8.0	8.7	2.7	5.4	1.4	5.9	31.8	2.9
	ひとり親	121	20.7	20.7	7.4	1.7	25.6	44.6	13.2	11.6	6.6	11.6	3.3	2.5	20.7	1.7
	ひとり親三世代	26	3.8	7.7	3.8	-	7.7	53.8	-	3.8	3.8	3.8	-	3.8	30.8	7.7
	その他	23	34.8	4.3	4.3	4.3	30.4	30.4	26.1	8.7	-	-	-	-	26.1	-

(5) しつけや教育についての相談相手

問 18 あなたがあて名のお子さんのしつけや教育について、悩みや心配ごとを相談したり、参考にしたたりしているものは誰（何）ですか。（〇はいくつでも）

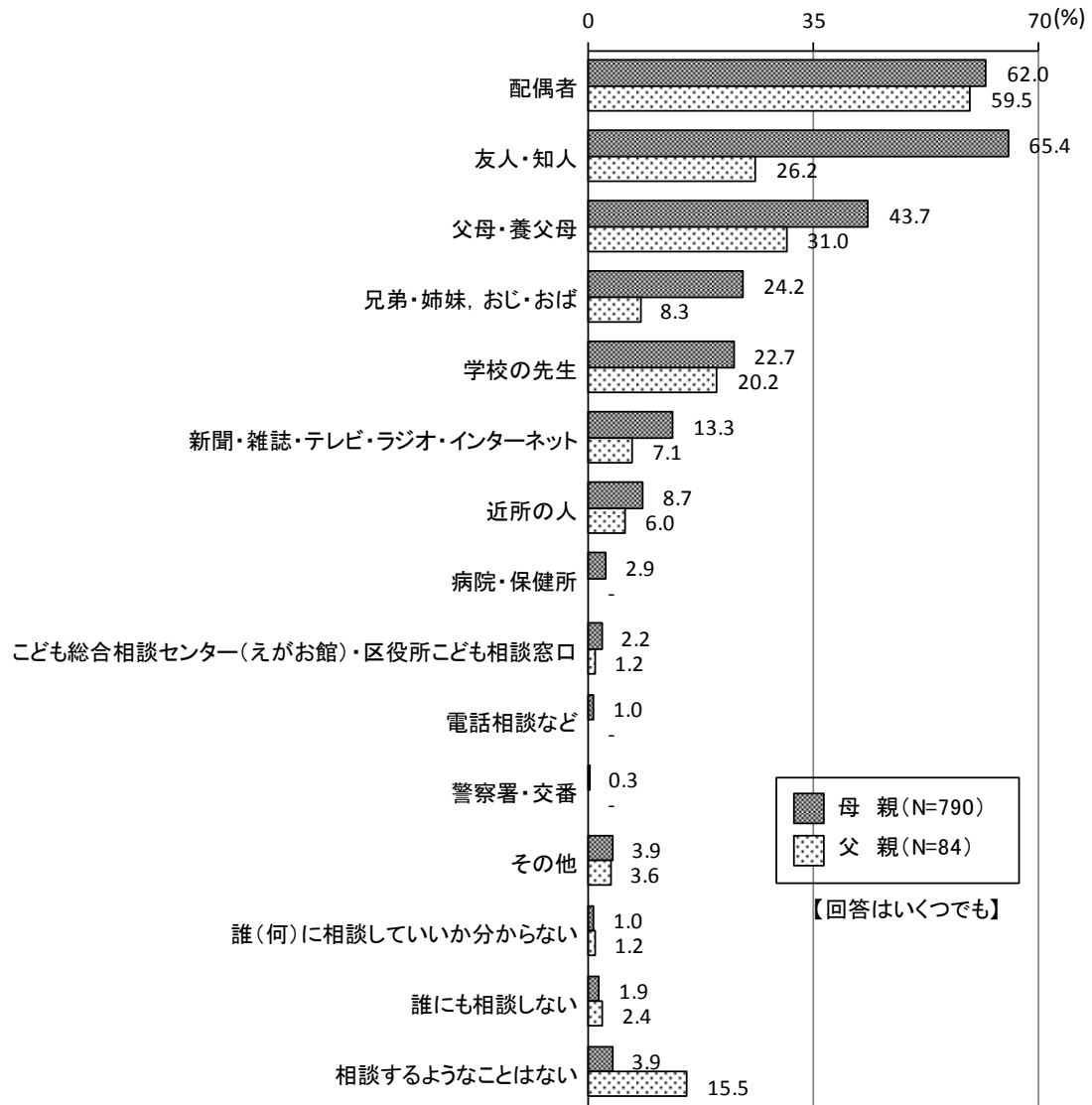
図 3-18 しつけや教育についての相談相手



子どものしつけや教育に関する悩みや心配ごとについて、相談したり参考にしたたりする人やものは、中学生では「友人・知人」が 63.9%、「配偶者」が 61.0%、「父母・養父母」が 44.9%、「兄弟・姉妹、おじ・おば」が 26.0%、「学校の先生」が 24.9%となっている。高校生世代では「配偶者」が 62.5%で最も多く、次いで「友人・知人」が 58.6%、「父母・養父母」が 39.5%、「学校の先生」が 19.4%、「兄弟・姉妹、おじ・おば」が 19.1%となっている。中学生と高校生世代で順位に多少の違いはあるが、いずれも家族や友人など、身近な人が主な相談相手となっている。

記入者別にみると、母親では「友人・知人」(65.4%)、「父母・養父母」(43.7%)、「兄弟・姉妹、おじ・おば」(24.2%)が父親に比べて高く、特に「友人・知人」は 39.2ポイント差となっており、母親の方が身近な人に幅広く相談していることがうかがえる。一方、父親は「相談するようなことはない」が 15.5%と母親(3.9%)に比べて高い。

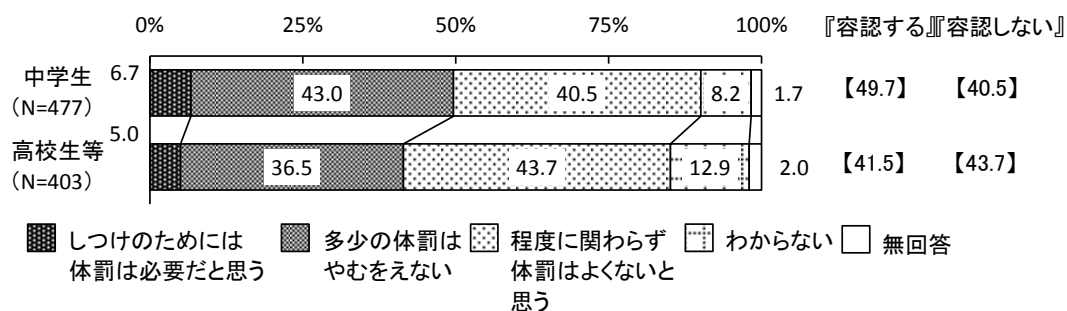
図3-19 しつけや教育についての相談相手〔記入者別〕



3. 体罰についての考え方

問 14 家庭でのお子さんへの体罰について、あてはまる考えを選んでください。(〇は1つ)

図 3-20 体罰についての考え方



家庭での体罰についてどのように考えるかをたずねたところ、中学生では「しつけのためには体罰は必要だと思う」が 6.7%、「多少の体罰はやむをえない」が 43.0%で、これらを合わせた『容認する』は 49.7%となっている。一方、「程度に関わらず体罰はよくないと思う」は 40.5%である。高校生では「しつけのためには体罰は必要だと思う」が 5.0%、「多少の体罰はやむをえない」が 36.5%で、『容認する』は 41.5%となっている。「程度に関わらず体罰はよくないと思う」は 43.7%である。高校生より中学生で『容認する』割合が高く、また中学生では『容認する』が『容認しない』を上回る結果となっている。

記入者別にみると、『容認する』は父親、母親ともあまり差はみられないが、「程度に関わらず体罰はよくないと思う」は父親が 46.4%と母親 (41.6%) を 4.8 ポイント上回っている。母親の場合「わからない」が 10.5%と父親 (7.1%) を 3.4 ポイント上回っている。

世帯分類別では、「ひとり親」と「ひとり親三世代」で『容認する』が 5 割を超えてやや高くなっている。

図 3-21 体罰についての考え方 [記入者別]

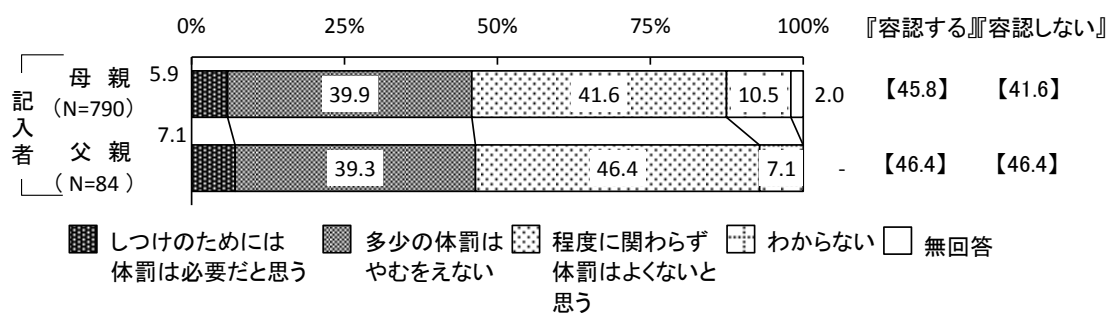


表3-9 体罰についての考え方 [全体、世帯分類別]

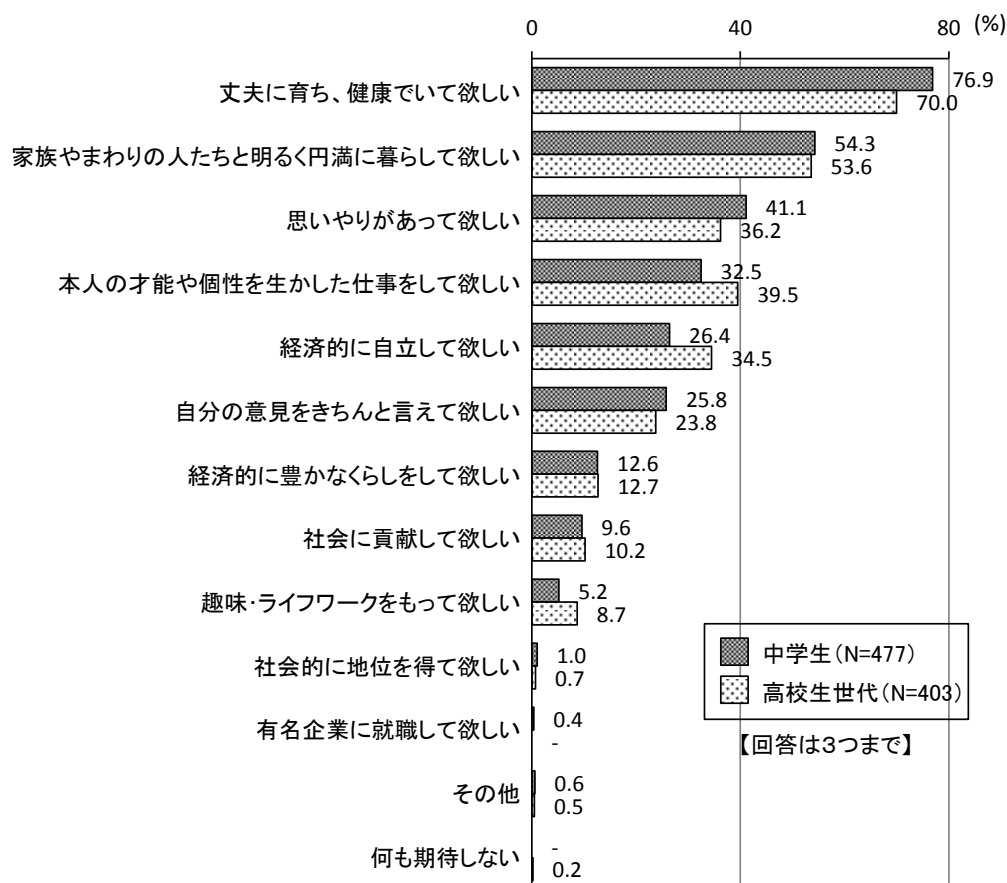
(%)

	標本数	はしつ と思 う は必 要だ に	む多 を少 えの ない 体罰 はや	と体 と思 う はよ くわ らな い	程 度 に 関 わ ら な い	わ か ら な い	無 回 答	「 容 認 す る 」	「 容 認 し な い 」
全 体	888 100.0	55 6.2	355 40.0	371 41.8	91 10.2	16 1.8	410 46.2	371 41.8	
世帯 分類 別	三世代	55	10.9	34.5	43.6	9.1	1.8	45.4	43.6
	核家族	663	5.1	38.9	44.3	10.3	1.4	44.0	44.3
	ひとり親	121	7.4	43.0	35.5	11.6	2.5	50.4	35.5
	ひとり親三世代	26	11.5	46.2	23.1	15.4	3.8	57.7	23.1
	その他	23	13.0	60.9	17.4	-	8.7	73.9	17.4

4. 子どもの将来に期待すること

問19 あなたは、あて名のお子さんの将来に何を期待しますか。(〇は3つまで)

図3-22 子どもの将来に期待すること



子どもの将来に期待することは、中学生では「丈夫に育ち、健康でいて欲しい」が76.9%で突出しており、次いで「家族やまわりの人たちと明るく円満に暮らして欲しい」が54.3%、「思いやりがあって欲しい」が41.1%、「本人の才能や個性を生かした仕事をして欲しい」が32.5%、「経済的に自立して欲しい」が26.4%、「自分の意見をきちんと言えて欲しい」が25.8%となっている。高校生世代では、やはり「丈夫に育ち、健康でいて欲しい」が70.0%で最も多く、次いで「家族やまわりの人たちと明るく円満に暮らして欲しい」が53.6%、「本人の才能や個性を生かした仕事をして欲しい」が39.5%、「思いやりがあって欲しい」が36.2%、「経済的に自立して欲しい」34.5%となっている。上位項目に大きな違いはみられないが、「本人の才能や個性を生かした仕事をして欲しい」が高校生世代では順位を1つ上げ、また、「経済的に自立して欲しい」とともに、中学生に比べて割合が高くなっている。一方、中学生では「丈夫に育ち、健康でいて欲しい」の割合が高校生世代より6.9ポイント高い。

IV 中学生・高校生等の保護者調査結果

子どもの性別でみると、中学生、高校生世代ともに「本人の才能や個性を生かした仕事をして欲しい」「経済的に自立して欲しい」は男性で高くなっている。一方、「丈夫に育ち、健康でいて欲しい」は女性で高い。また、「思いやりがあって欲しい」「家族やまわりの人たちと明るく円満に暮らして欲しい」は中学生の女性でやや高くなっている。

表3-10 子どもの将来に期待すること [全体、子どもの性別]

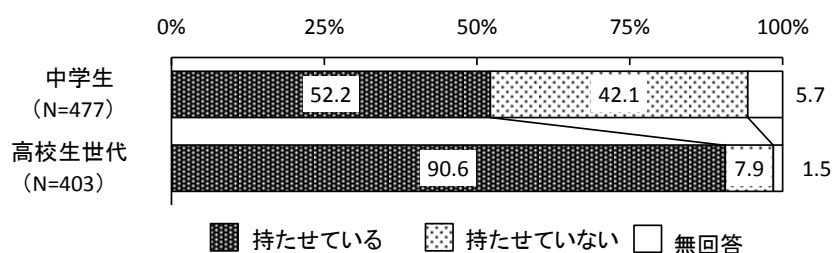
		(%)														
		標本数	丈夫に育ち、健康でいて欲しい	自分の意見をきちんと言えて欲しい	思いやりがあって欲しい	興味・ライフワークをもって欲しい	有名企業に就職して欲しい	本人の才能や個性を生かした仕事をして欲しい	経済的に自立して欲しい	経済的に豊かなくらしをして欲しい	家族やまわりの人たちと明るく円満に暮らして欲しい	社会に貢献して欲しい	社会的に地位を得て欲しい	その他	何も期待しない	無回答
全体		888 100.0	656 73.9	222 25.0	345 38.9	60 6.8	2 0.2	317 35.7	266 30.0	112 12.6	478 53.8	89 10.0	8 0.9	5 0.6	1 0.1	9 1.0
子どもの性別	中学生:男性	202	73.3	30.2	35.6	3.5	0.5	36.6	32.2	10.4	48.5	11.4	0.5	0.5	-	2.0
	中学生:女性	225	80.0	20.4	47.1	7.1	0.4	27.6	22.2	14.2	58.7	8.9	1.3	0.4	-	1.3
	高校生世代:男性	136	64.7	20.6	37.5	5.9	-	44.9	39.7	13.2	52.2	12.5	0.7	-	0.7	-
	高校生世代:女性	192	74.5	26.0	35.9	10.9	-	38.5	28.6	8.9	55.2	7.3	-	1.0	-	0.5
	無回答	133	72.9	27.8	35.3	6.0	-	34.6	31.6	18.0	53.4	11.3	2.3	0.8	-	0.8

5. 携帯電話・スマートフォンなどの所有と使用ルール

(1) 携帯電話・スマートフォンなどの所有の有無

問 16 あなたは、あて名のお子さんに携帯電話・スマートフォン、タブレットなどの通信端末を持たせていますか。(〇は1つ)

図3-23 携帯電話・スマートフォンなどの所有の有無



子どもに携帯電話やスマートフォンなどの通信端末を持たせているかどうかについては、中学生では「持たせている」が52.2%、「持たせていない」が42.1%となっている。高校生世代では、「持たせている」が90.6%、「持たせていない」が7.9%である。中学生ですでに携帯電話やスマートフォンの所有率が5割を超えており、高校生世代になると9割以上が所有している。

子どもの性別でみると、中学生、高校生世代ともに女性で「持たせている」が高く、特に中学生では9.5ポイント差となっている。

就労状況別および世帯分類別でみると、「フルタイムで就労している」と「ひとり親」で「持たせている」が76.0%と高い。

表3-11 携帯電話・スマートフォンなどの所有の有無
 [全体、子どもの性別、就労状況別、世帯分類別]

(%)

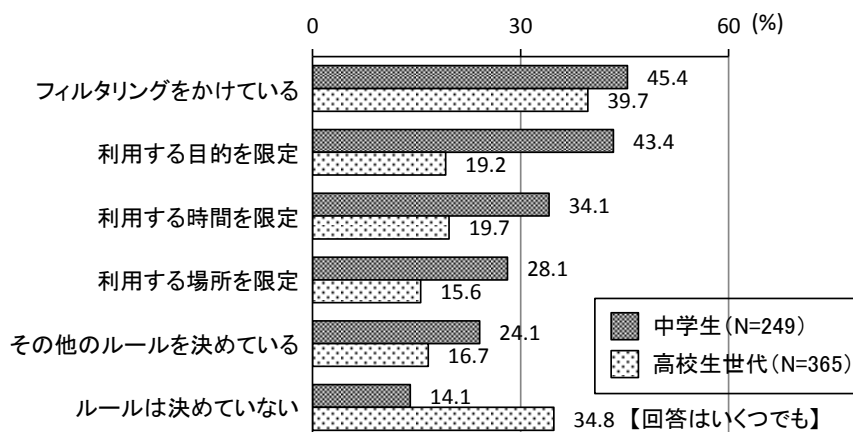
		標 本 数	い 持 た せ て	い 持 た せ て	無 回 答
全 体		888 100.0	622 70.0	233 26.2	33 3.7
子 ど も の 性 別	中学生:男性	202	46.5	47.0	6.4
	中学生:女性	225	56.0	38.7	5.3
	高校生世代:男性	136	89.0	10.3	0.7
	高校生世代:女性	192	92.2	6.3	1.6
	無回答	133	78.2	18.8	3.0
就 労 状 況 別	フルタイムで就労している	288	76.0	20.8	3.1
	パート・アルバイト等で 就労している	343	66.5	30.0	3.5
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	195	66.2	30.3	3.6
	これまで就労したことがない	40	72.5	17.5	10.0
	無回答	22	77.3	18.2	4.5
世 帯 分 類 別	三世代	55	67.3	32.7	-
	核家族	663	69.1	27.3	3.6
	ひとり親	121	76.0	19.0	5.0
	ひとり親三世代	26	65.4	23.1	11.5
	その他	23	78.3	21.7	-

(2) 携帯電話・スマートフォンなどを使用する場合のルール

問16で「1」を選んだ方にうかがいます。

問16-1 あなたは、あて名のお子さんが携帯電話を利用する場合、何らかのルールを決めていますか。(〇はいくつでも)

図3-24 携帯電話・スマートフォンなどを使用する場合のルール



子どもに携帯電話やスマートフォンなどを所持している人が、利用にあたって何らかのルールを決めているかどうかについては、中学生では「フィルタリングをかけている」が45.4%、「利用する目的を限定」が43.4%、「利用する時間を限定」が34.1%、「利用する場所を限定」が28.1%となっている。また、「その他のルールを決めている」も24.1%あり、「ルールは決めていない」は14.1%にとどまる。高校生世代では、「フィルタリングをかけている」が39.7%で最も多く、「利用する時間を限定」が19.7%、「利用する目的を限定」が19.2%で続き、「利用する場所を限定」が15.6%となっている。また、「その他のルールを決めている」は16.7%で、「ルールは決めていない」が34.8%となっている。中学生では何らかのルールを決めている人が8割を超え、また、複数のルールを設けている人が多いとみられるが、高校生世代ではルールを決めていない人が3分の1を超えている。

就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」より「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」で、「ルールは決めていない」の割合が高くなっている。

表3-12 携帯電話・スマートフォンなどを使用する場合のルール [全体、就労状況別]

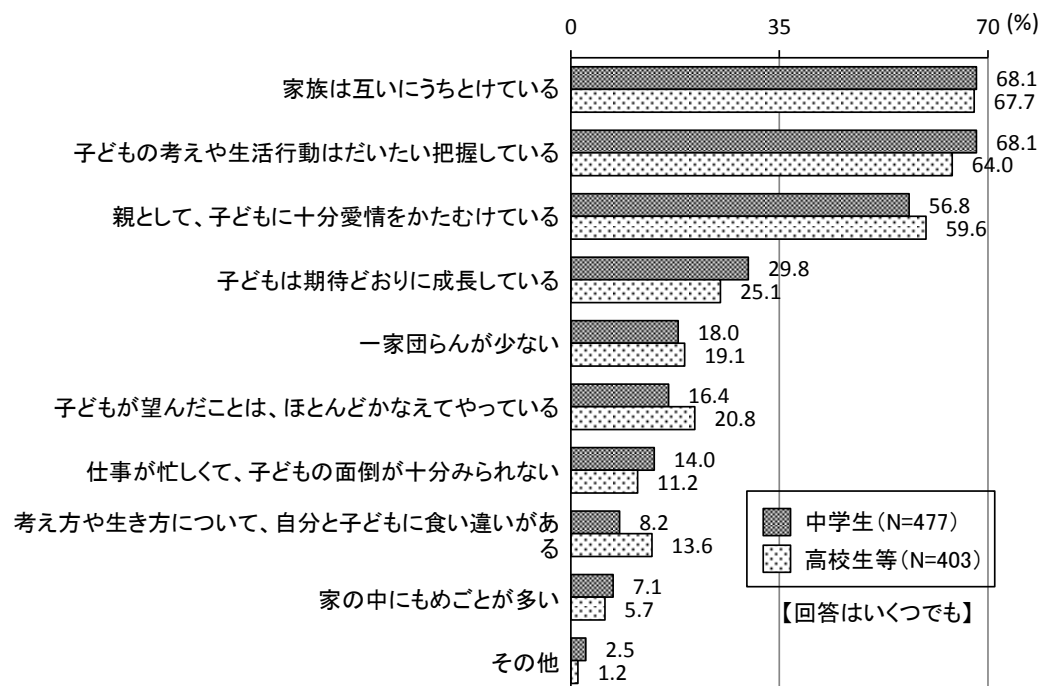
									(%)
		標本数	利用する時間を限定	利用する場所を限定	利用する目的を限定	フィルタリングをかける	その他のルールを決める	ルールは決めていない	無回答
全体		622 100.0	159 25.6	130 20.9	180 28.9	261 42.0	124 19.9	165 26.5	- -
就労状況別	フルタイムで就労している	219	25.1	17.8	28.8	45.7	13.7	28.8	-
	パート・アルバイト等で就労している	228	21.5	21.1	27.6	38.2	19.7	29.4	-
	以前は就労していたが、現在は就労していない	129	33.3	21.7	31.8	41.9	27.9	20.2	-
	これまで就労したことがない	29	24.1	24.1	24.1	48.3	24.1	20.7	-
	無回答	17	29.4	47.1	35.3	35.3	35.3	17.6	-

6. 家庭について

(1) 家庭について

問 21 あなたの家庭について、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

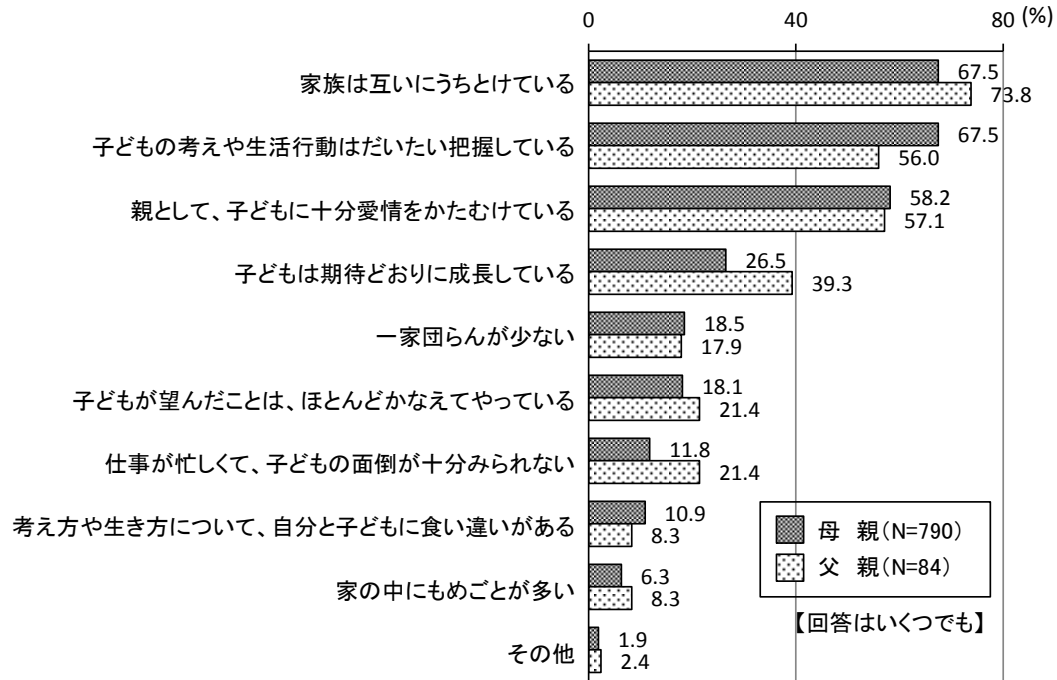
図 3-25 家庭について



自分の家庭について、あてはまると思うものは、中学生では「家族は互いにうちとけている」「子どもの考えや生活行動はだいたい把握している」がともに 68.1%、「親として、子どもに十分愛情をかたむけている」が 56.8%、「子どもは期待どおりに成長している」が 29.8%、「一家団らんが少ない」18.0%となっている。高校生世代では「家族は互いにうちとけている」が 67.7%で最も多く、次いで「子どもの考えや生活行動はだいたい把握している」が 64.0%、「親として、子どもに十分愛情をかたむけている」が 59.6%、「子どもは期待どおりに成長している」が 25.1%、「一家団らんが少ない」19.1%となっている。中学生、高校生世代とも家族や子どもとの関係がうまく行っていると感じている人が多い一方で、団らの時間が少ないと感じている人が 2 割弱いる。

記入者別にみると、母親は「子どもの考えや生活行動はだいたい把握している」が 67.5%で父親 (56.0%) よりも 11.5 ポイント高い。父親は「子どもは期待どおりに成長している」が 12.8 ポイント、「仕事が忙しくて、子どもの面倒が十分みられない」が 9.6 ポイント、「家族は互いにうちとけている」が 6.3 ポイント母親よりも高くなっている。

図3-26 家庭について [記入者別]



就労状況別および世帯分類別でみると、「フルタイムで就労している」と「ひとり親」で「仕事が忙しくて、子どもの面倒が十分みられない」が約3割と他より高く、一方「親として、子どもに十分愛情をかたむけている」「子どもの考えや生活行動はだいたい把握している」がやや低くなっている。

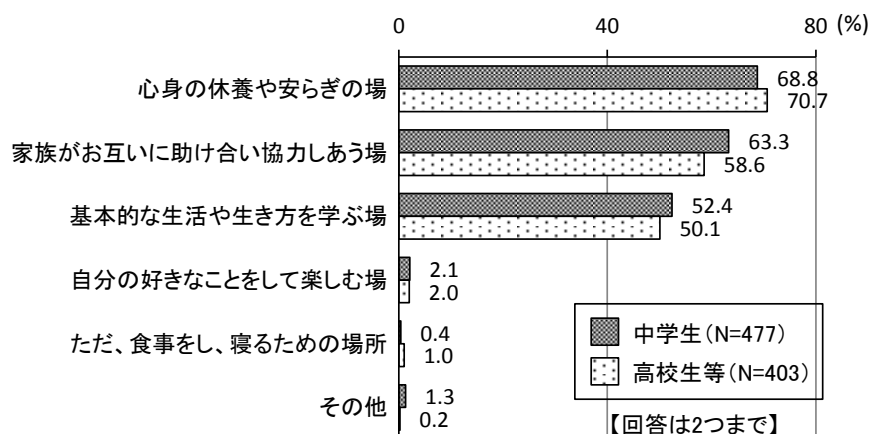
表3-13 家庭について [全体、就労状況別、世帯分類別]

		標本数	家族は互いのうちとけている	一家団らんが少ない	家の中にもめごとが多い	十分愛情をかたむけている	子どもが望んだことは、ほとんどかなえてやっている	子どもの考えや生活行動はだいたい把握している	子どもは期待どおりに成長している	仕事が忙しくて、子どもの面倒が十分みられない	考え方や生き方について、自分と子どもに食い違いがある	その他	無回答
全体		888 100.0	605 68.1	165 18.6	59 6.6	516 58.1	163 18.4	591 66.6	247 27.8	113 12.7	95 10.7	17 1.9	11 1.2
就労状況別	フルタイムで就労している	288	67.0	21.9	5.6	51.4	16.3	56.9	26.0	29.2	9.7	1.4	1.0
	パート・アルバイト等で就労している	343	67.1	17.2	9.0	59.2	17.8	69.1	28.6	7.3	12.0	2.6	2.0
	以前は就労していたが、現在は就労していない	195	69.2	19.0	5.6	62.1	22.1	72.3	25.6	0.5	9.7	2.1	0.5
	これまで就労したことがない	40	80.0	7.5	-	80.0	27.5	75.0	37.5	-	10.0	-	-
	無回答	22	68.2	13.6	4.5	54.5	4.5	86.4	40.9	13.6	13.6	-	-
世帯分類別	三世帯	55	58.2	18.2	3.6	56.4	21.8	63.6	32.7	10.9	20.0	-	1.8
	核家族	663	70.1	17.9	5.9	60.9	18.4	69.8	27.6	8.9	9.5	2.0	1.5
	ひとり親	121	66.1	19.8	10.7	47.1	19.0	49.6	23.1	28.9	14.0	1.7	-
	ひとり親三世帯	26	61.5	15.4	-	57.7	15.4	73.1	38.5	30.8	-	-	-
	その他	23	52.2	34.8	21.7	39.1	8.7	60.9	34.8	21.7	17.4	8.7	-

(2) 家庭に対する意識

問 22 あなたにとって家庭とはどんなものですか。(〇は2つまで)

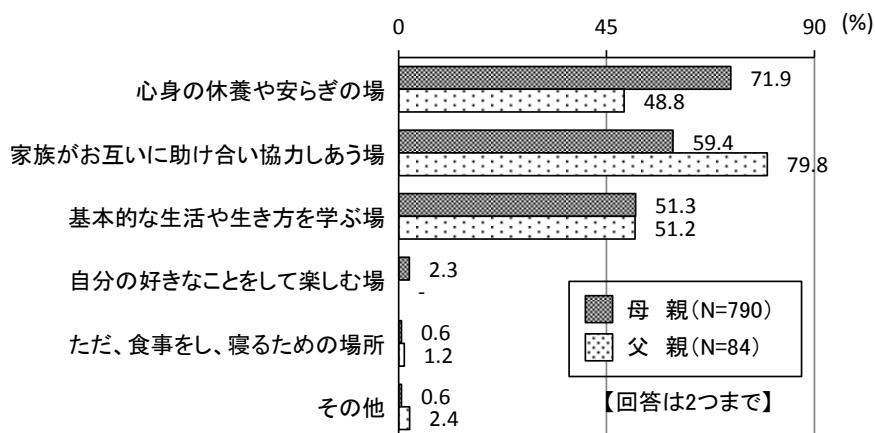
図 3-27 家庭に対する意識



家庭に対する意識については、中学生、高校生世代ともに順位は同じで、「心身の休養や安らぎの場」が第1位（中学生 68.8%、高校生世代 70.7%）となっており、次いで「家族がお互いに助け合い協力しあう場」（中学生 63.3%、高校生世代 58.6%）、「基本的な生活や生き方を学ぶ場」（中学生 52.4%、高校生世代 50.1%）となっている。「自分の好きなことをして楽しむ場」「ただ、食事をし、寝るための場所」という回答はごくわずかである。

記入者別にみると、母親では「心身の休養や安らぎの場（71.9%）」が、父親では「家族がお互いに助け合い協力しあう場」（79.8%）が最も高くなっている。

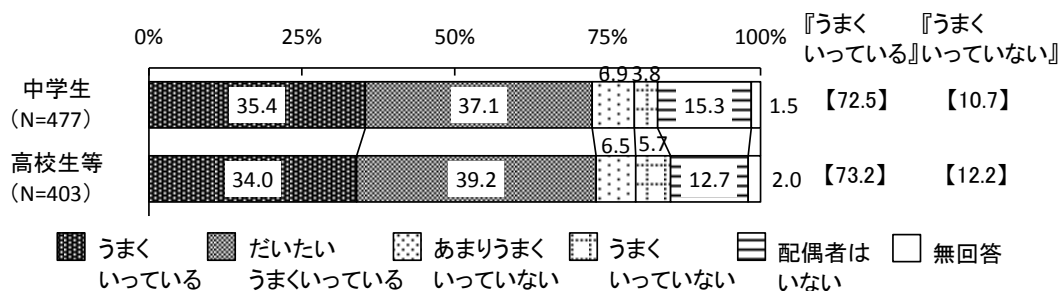
図 3-28 家庭に対する意識 [記入者別]



(3) 配偶者との関係

問 23 あなたは、配偶者との関係についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

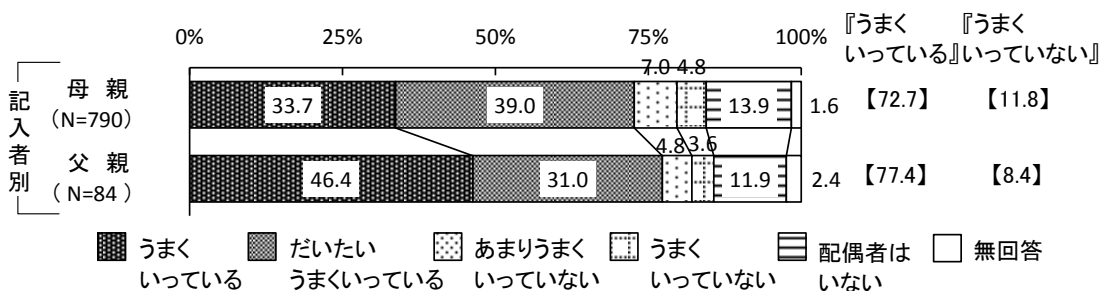
図 3-29 配偶者との関係



配偶者との関係についてどのように感じているかは、中学生では「うまくいっている」「だいたいうまくいっている」を合わせた『うまくいっている』は 72.5%、「あまりうまくいっていない」「うまくいっていない」を合わせた『うまくいっていない』は 10.7%となっている。高校生世代では『うまくいっている』が 73.2%、『うまくいっていない』は 12.2%である。「配偶者はいない」は中学生で 15.3%、高校生世代で 12.7%である。いずれも7割以上の方が、配偶者との関係がうまくいっていると感じている。

記入者別にみると、父親は「うまくいっている」(46.4%)が、母親は「だいたいうまくいっている」(39.0%)がそれぞれ最も高くなっている。

図 3-30 配偶者との関係 [記入者別]



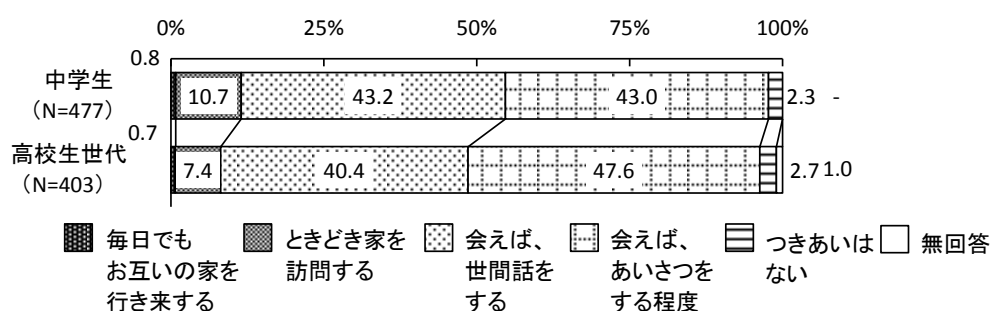
第4章 地域とのかかわり

1. 地域とのかかわり

(1) 近所づきあいの程度

問24 あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。(〇は1つ)

図4-1 近所づきあいの程度



近所づきあいの程度は、中学生では「毎日でもお互いの家を行き来する」が0.8%、「ときどき家を訪ねる」が10.7%、「会えば、世間話をする」が43.2%、「会えば、あいさつをする程度」が43.0%となっている。高校生世代では「毎日でもお互いの家を行き来する」が0.7%、「ときどき家を訪ねる」が7.4%、「会えば、世間話をする」が40.4%、「会えば、あいさつをする程度」が47.6%となっている。家を行き来するほどではないが、世間話やあいさつをする程度には近所づきあいがあるという人が9割弱に上り、「つきあいはない」という人はごくわずかである。

記入者別にみると、父親は「会えば、あいさつをする程度」(64.3%)が約3分の2に上っている。

就労状況別にみると、「フルタイムで就労している」では「会えば、世間話をする」(35.4%)が他に比べてやや低く、「会えば、あいさつをする程度」(52.8%)がやや高くなっている。

世帯分類別では、「ひとり親」で「会えば、あいさつをする程度」(54.5%)、「つきあいはない」(7.4%)が他に比べて高くなっている。

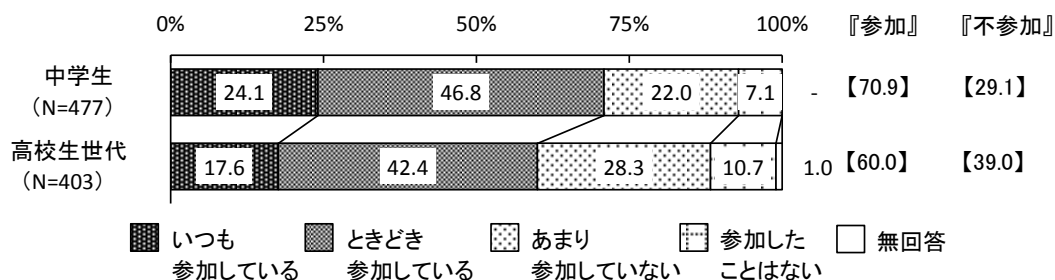
表4-1 近所づきあいの程度 [全体、記入者別、就労状況別、世帯分類別]

		(%)							
		標 本 数	来い する の 家 を 行 き 互	毎 日 で も お 互	訪 問 す る と き ど き 家 を	話 を す る 世 間	会 え ば 、 度 さ つ を す る あ い	い つ き あ い は な	無 回 答
全 体		888 100.0	7 0.8	81 9.1	371 41.8	403 45.4	22 2.5	4 0.5	
記 入 者 別	母親	790	0.9	10.0	43.4	43.2	2.2	0.4	
	父親	84	-	2.4	27.4	64.3	4.8	1.2	
	祖母	5	-	-	60.0	40.0	-	-	
	祖父	1	-	-	-	100.0	-	-	
	その他	1	-	-	-	-	100.0	-	
	無回答	7	-	-	28.6	71.4	-	-	
就 労 状 況 別	フルタイムで就労している	288	0.3	6.6	35.4	52.8	4.2	0.7	
	パート・アルバイト等で 就労している	343	0.9	10.2	45.2	42.3	0.9	0.6	
	以前は就労していたが、 現在は就労していない	195	1.0	10.8	43.6	41.0	3.6	-	
	これまで就労したことが ない	40	-	12.5	52.5	35.0	-	-	
	無回答	22	4.5	4.5	36.4	54.5	-	-	
世 帯 分 類 別	三世代	55	-	10.9	45.5	43.6	-	-	
	核家族	663	0.6	10.4	43.1	43.3	2.0	0.6	
	ひとり親	121	1.7	3.3	33.1	54.5	7.4	-	
	ひとり親三世代	26	-	3.8	46.2	50.0	-	-	
	その他	23	4.3	4.3	34.8	56.5	-	-	

(2) 共同清掃作業や地域行事への参加頻度

問 25 あなたは、家のまわりの共同清掃作業や地域の行事（スポーツ・レクリエーション活動、夏祭り等）に参加していますか。（〇は1つ）

図 4-2 共同清掃作業や地域行事への参加頻度



地域の共同清掃作業や行事に参加しているかどうかについては、中学生では「いつも参加している」「ときどき参加している」を合わせた『参加』が70.9%、「あまり参加していない」「参加したことはない」を合わせた『不参加』は29.1%となっている。高校生世代では『参加』が60.0%、『不参加』は39.0%となっている。中学生の方が高校生世代に比べて地域の行事等に頻繁に参加している。

記入者別にみると、父親より母親の方が『参加』の割合が高くなっている。

世帯分類別では、「ひとり親」で『不参加』が46.3%と他より高くなっている。

表 4-2 共同清掃作業や地域行事への参加頻度 [全体、記入者別、世帯分類別]

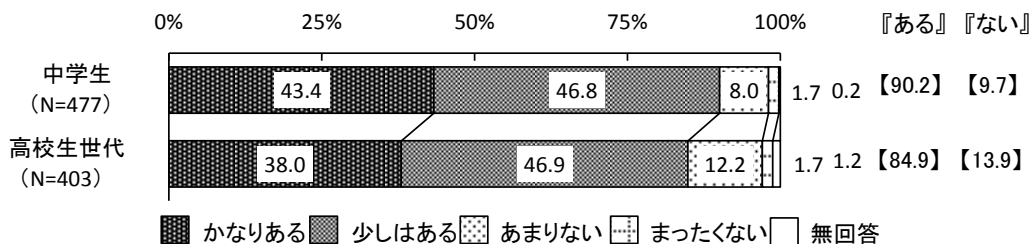
		標本数	いつも参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	参加したことはない	無回答	『参加』	『不参加』
全体		888	188	399	219	78	4	587	297
		100.0	21.2	44.9	24.7	8.8	0.5	66.1	33.5
記入者別	母親	790	21.8	45.1	24.7	8.1	0.4	66.9	32.8
	父親	84	15.5	40.5	28.6	14.3	1.2	56.0	42.9
	祖母	5	20.0	80.0	-	-	-	100.0	-
	祖父	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0
	その他	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0
	無回答	7	28.6	71.4	-	-	-	100.0	-
世帯分類別	三世代	55	29.1	41.8	27.3	1.8	-	70.9	29.1
	核家族	663	21.0	46.6	24.0	7.8	0.6	67.6	31.8
	ひとり親	121	18.2	35.5	28.1	18.2	-	53.7	46.3
	ひとり親三世代	26	15.4	50.0	26.9	7.7	-	65.4	34.6
	その他	23	30.4	47.8	17.4	4.3	-	78.2	21.7

(3) 地域の雰囲気

①よりよい地域をつくるような雰囲気の有無

問 26 あなたがお住まいの地域では、地域の人々が協力しあって、よりよい地域をつくっていくような雰囲気がどのくらいありますか。(〇は1つ)

図 4-3 よりよい地域をつくるような雰囲気の有無



地域の人々が協力してよりよい地域をつくらうという雰囲気があるかについて、中学生では「かなりある」が43.4%、「少しはある」が46.8%で、これらを合わせた『ある』が90.2%、「あまりない」が8.0%、「まったくない」が1.7%で、これらを合わせた『ない』が9.7%となっている。高校生世代では「かなりある」が38.0%、「少しはある」が46.9%で、『ある』が84.9%、「あまりない」が12.2%、「まったくない」が1.7%で、『ない』が13.9%となっている。中学生の方が高校生世代よりも肯定的であるが、いずれも地域で協力しあう雰囲気を感じるという人が大半を占めている。

記入者別にみると、父親より母親で『ある』が88.9%と高くなっている。

表 4-3 よりよい地域をつくるような雰囲気の有無 [全体、記入者別]

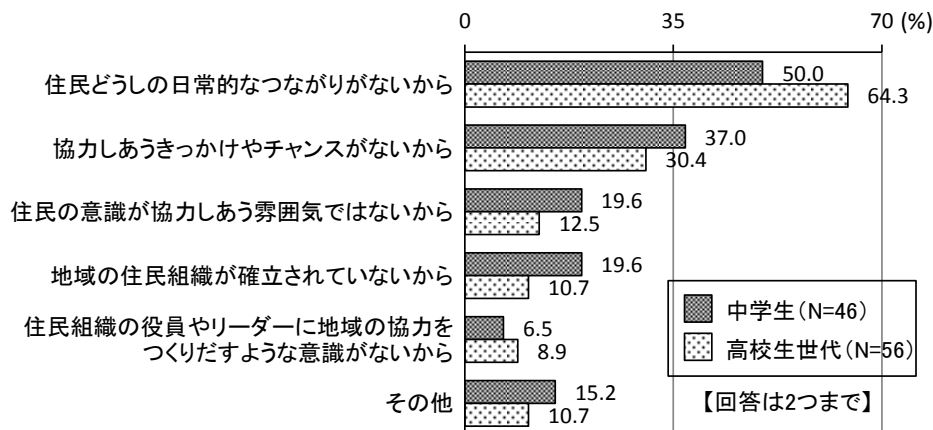
		標本数	かなりある	少しはある	あまりない	まったくない	無回答	『ある』	『ない』
全体		888	364	414	88	16	6	778	104
		100.0	41.0	46.6	9.9	1.8	0.7	87.6	11.7
記入者別	母親	790	42.3	46.6	9.1	1.5	0.5	88.9	10.6
	父親	84	28.6	50.0	15.5	3.6	2.4	78.6	19.1
	祖母	5	40.0	40.0	20.0	-	-	80.0	20.0
	祖父	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0
	その他	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
	無回答	7	57.1	14.3	14.3	14.3	-	71.4	28.6

②協力しあう雰囲気がない理由

問26で「3」か「4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問26-1 地域の人々が協力しあう雰囲気がないのは、なぜだと思いますか。(〇は2つまで)

図4-4 協力しあう雰囲気がない理由

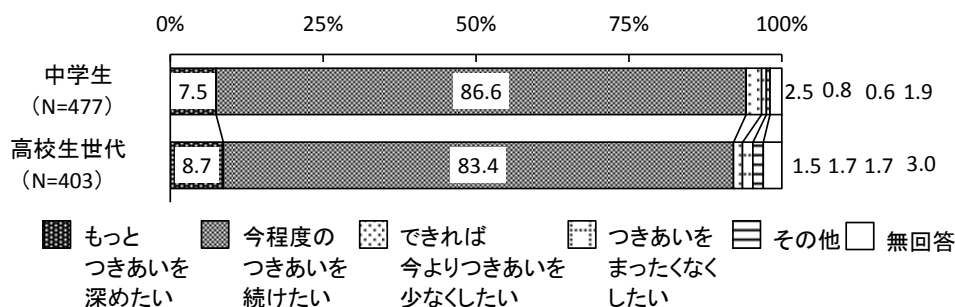


地域の人々が協力しあう雰囲気が「あまりない」「まったくない」と回答した人に、その理由をたずねると、中学生では「住民どうしの日常的なつながりがないから」が50.0%、「協力しあうきっかけやチャンスがないから」が37.0%、「住民の意識が協力しあう雰囲気ではないから」「地域の住民組織が確立されていないから」がともに19.6%となっている。高校生世代では「住民同士の日常的なつながりがないから」が64.3%、「協力しあうきっかけやチャンスがないから」が30.4%、「住民の意識が協力しあう雰囲気ではないから」が12.5%、「地域の住民組織が確立されていないから」が10.7%となっている。高校生世代では日常のつながりの不足を、中学生ではきっかけやチャンスの不足、住民の意識、地域組織の未確立といった問題をより感じている。

(4) 地域との今後のつきあいの程度

問 27 あなたは隣近所などの地域の人々とのつきあいを、今後どうしたいと思いますか。
(〇は1つ)

図 4-5 地域との今後のつきあいの程度



地域の人々との今後のつきあいの程度は、中学生、高校生世代ともに「今程度のつきあいを続けたい」が圧倒的に多く（中学生 86.6%、高校生世代 83.4%）、「もっとつきあいを深めたい」がそれに続いている（中学生 7.5%、高校生世代 8.7%）。「できれば今よりつきあいを少なくしたい」「つきあいをまったくなくしたい」という回答はわずかである。

記入者別にみると、父親で「もっとつきあいを深めたい」（25.0%）の割合が高くなっている。

就労状況別では、「フルタイムで就労している」で「もっとつきあいを深めたい」（13.9%）が他よりやや高くなっている。

父親、「フルタイムで就労している」はともに問 24 であいさつ程度の近所づきあいという回答が多かったが、現状のつき合い方に満足していない人もいることがうかがえる。

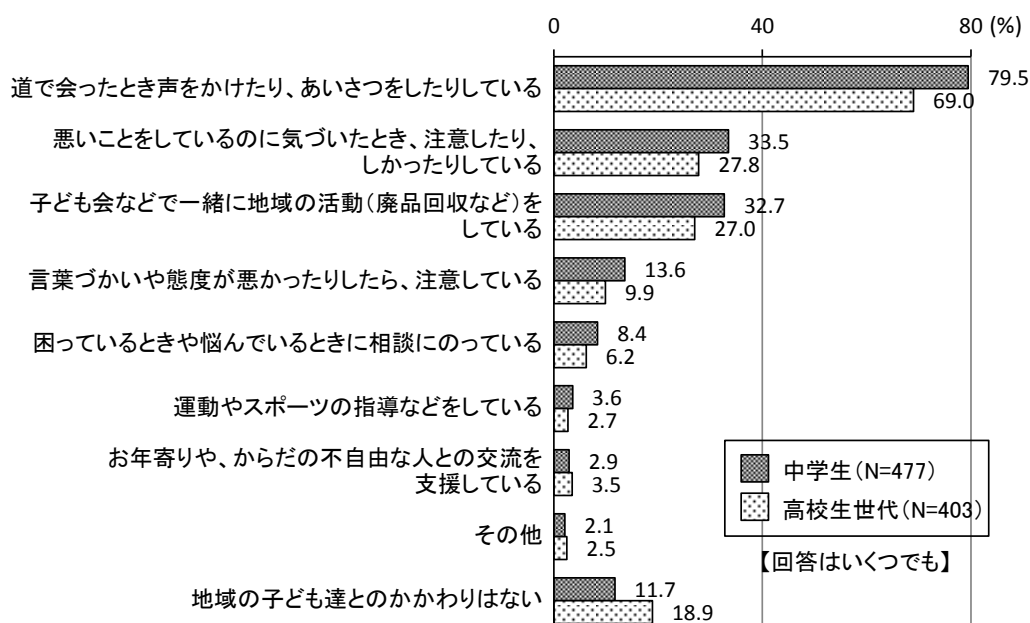
表 4-4 地域との今後のつきあいの程度 [全体、記入者別、就労状況別]

		標本数	をもっと深めたい	今程度のつきあいを続けたい	できれば今よりつきあいを少なくしたい	つきあいをまったくなくしたい	その他	無回答
全体		888	75	753	18	11	10	21
		100.0	8.4	84.8	2.0	1.2	1.1	2.4
記入者別	母親	790	6.5	86.7	2.2	1.1	1.0	2.5
	父親	84	25.0	69.0	1.2	1.2	2.4	1.2
	祖母	5	-	100.0	-	-	-	-
	祖父	1	-	100.0	-	-	-	-
	その他	1	-	-	-	100.0	-	-
	無回答	7	42.9	57.1	-	-	-	-
就労状況別	フルタイムで就労している	288	13.9	78.8	2.1	1.0	1.0	3.1
	パート・アルバイト等で就労している	343	4.7	89.8	1.2	0.6	0.9	2.9
	以前は就労していたが、現在は就労していない	195	8.2	84.1	2.6	2.6	2.1	0.5
	これまで就労したことがない	40	5.0	87.5	7.5	-	-	-
	無回答	22	4.5	86.4	-	4.5	-	4.5

2. 地域の子どもとのかかわり

問 28 あなたと地域の子ども達とのかかわりについておたずねします。あなたは、ふだん地域の子ども達に対して、次のようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

図4-6 地域の子どもとのかかわり



地域の子ども達とどのようにかかわっているかについては、中学生、高校生世代ともに「道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしたりしている」(中学生 79.5%、高校生世代 69.0%)、「悪いことをしているのに気づいたとき、注意したり、しかったりしている」(中学生 33.5%、高校生世代 27.8%)、「子ども会などで一緒に地域の活動(廃品回収など)をしている」(中学生 32.7%、高校生世代 27.0%)が上位にあがっている。中学生と高校生世代とで順位に大きな違いはないが、中学生の方が割合が高い項目が多く、地域の子ども達とのかかわりがより強いことがうかがえる。

記入者別では、父親よりも母親で「道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしたりしている」(75.6%)、「子ども会などで一緒に地域の活動(廃品回収など)をしている」(31.6%)が高く、父親では「地域の子ども達とのかかわりはない」(21.4%)が2割を超えてやや高くなっている。

表 4-5 地域の子どものかかわり [全体、記入者別]

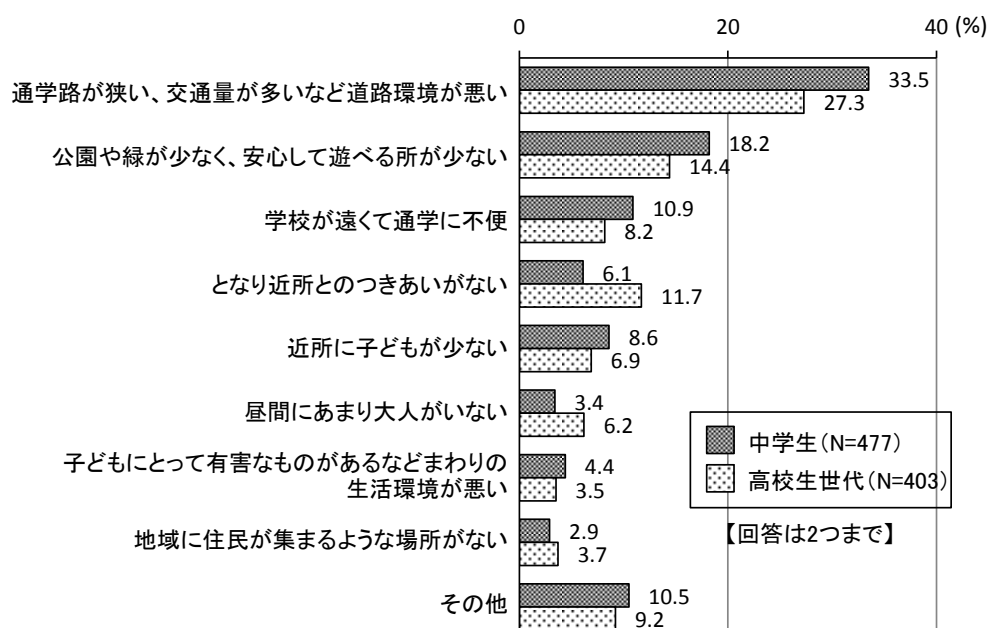
(%)

	標本数	道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしたりしている	子どもの会などで一緒に地域の活動(廃品回収など)をしている	お年寄りや、からの交流を支援している	運動やスポーツの指導などをしている	言葉づかいや態度が悪い、注意している	言葉づかいや態度が悪い、注意している	気がついたとき、注意している	困っているときや悩んでいる	その他	地域の子どもの達とのかかわりはない	無回答
全体	888 100.0	662 74.5	266 30.0	28 3.2	29 3.3	108 12.2	275 31.0	67 7.5	21 2.4	132 14.9	20 2.3	
記入者別	母親	790	75.6	31.6	3.0	2.8	11.9	30.6	7.6	2.5	14.2	2.4
	父親	84	66.7	17.9	4.8	7.1	13.1	33.3	7.1	-	21.4	1.2
	祖母	5	100.0	-	-	-	20.0	40.0	-	-	-	-
	祖父	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	無回答	7	57.1	14.3	-	14.3	28.6	42.9	14.3	14.3	-	-

3. 地域の子育て環境で不満なこと

問 29 お住まいの子育て環境について、不満がある場合、あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は2つまで)

図4-7 地域の子育て環境で不満なこと



地域の子育て環境について不満なこととして、中学生、高校生世代ともに「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」が最も多く（中学生 33.5%、高校生世代 27.3%）、「公園や緑が少なく、安心して遊べる所が少ない」（中学生 18.2%、高校生世代 14.4%）がそれに続いている。中学生と高校生世代とで回答の傾向に大きな違いはないが、中学生では道路環境の悪さに対する、高校生世代では近所づきあいの少なさに対する不満がそれぞれやや高くなっている。

世帯分類別にみると、「三世帯」では「通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い」（50.9%）、「近所に子どもが少ない」（18.2%）が他より高く、「ひとり親」では「となり近所とのつきあいがいい」（16.5%）が高くなっている。

表 4-6 地域の子育て環境で不満なこと [全体、世帯分類別]

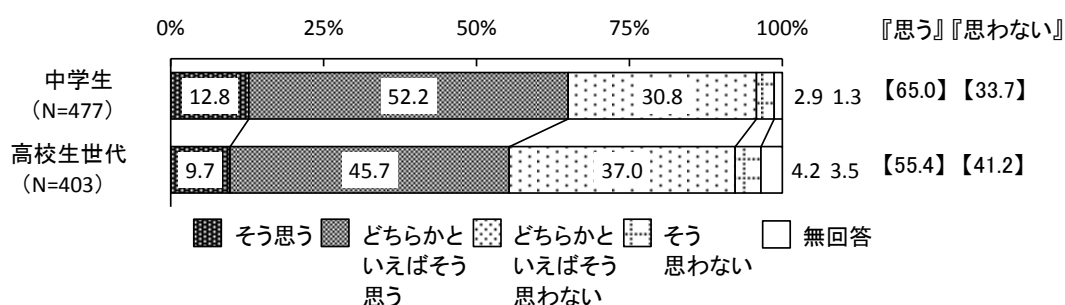
		標本数	子どもの生活環境が悪い	悪が多	通学路が狭い、交通量が	多い	公園や緑が少なく、安心して遊べる所が少ない	学校が遠くて通学に不便	昼間にあまり大人がいない	近所に子どもが少ない	地域に住民が集まるような場所がない	となり近所とのつきあいがいい	その他	無回答
全体		888 100.0	35 3.9	273 30.7	147 16.6	85 9.6	41 4.6	69 7.8	29 3.3	78 8.8	88 9.9	270 30.4		
世帯分類別	三世代	55	1.8	50.9	16.4	9.1	5.5	18.2	-	9.1	3.6	20.0		
	核家族	663	3.8	29.6	17.9	10.1	4.8	6.3	3.3	7.2	10.7	31.1		
	ひとり親	121	5.8	25.6	9.9	8.3	2.5	9.1	4.1	16.5	9.9	33.1		
	ひとり親三世代	26	3.8	26.9	11.5	7.7	7.7	19.2	7.7	3.8	-	30.8		
	その他	23	4.3	47.8	17.4	4.3	4.3	4.3	-	17.4	13.0	21.7		

4. 子どもの健全育成に必要なこと

(1) 子どもは健全に育っているか

問 30 あなたは、今の子どもたちは健全に育っていると思いますか。(〇は1つ)

図4-8 子どもは健全に育っているか



今の子どもたちは健全に育っていると思うかたずねた。中学生では「そう思う」「どちらかといえればそう思う」を合わせた『思う』が65.0%、「どちらかといえればそう思わない」「そう思わない」を合わせた『思わない』は33.7%である。高校生世代では『思う』が55.4%、『思わない』は41.2%となっている。中学生、高校生世代ともに『思う』が『思わない』を上回っており、特に中学生では約3分の2が今の子どもたちは健全に育っていると感じている。

記入者別にみると、父親で『思う』が70.2%と高くなっている。

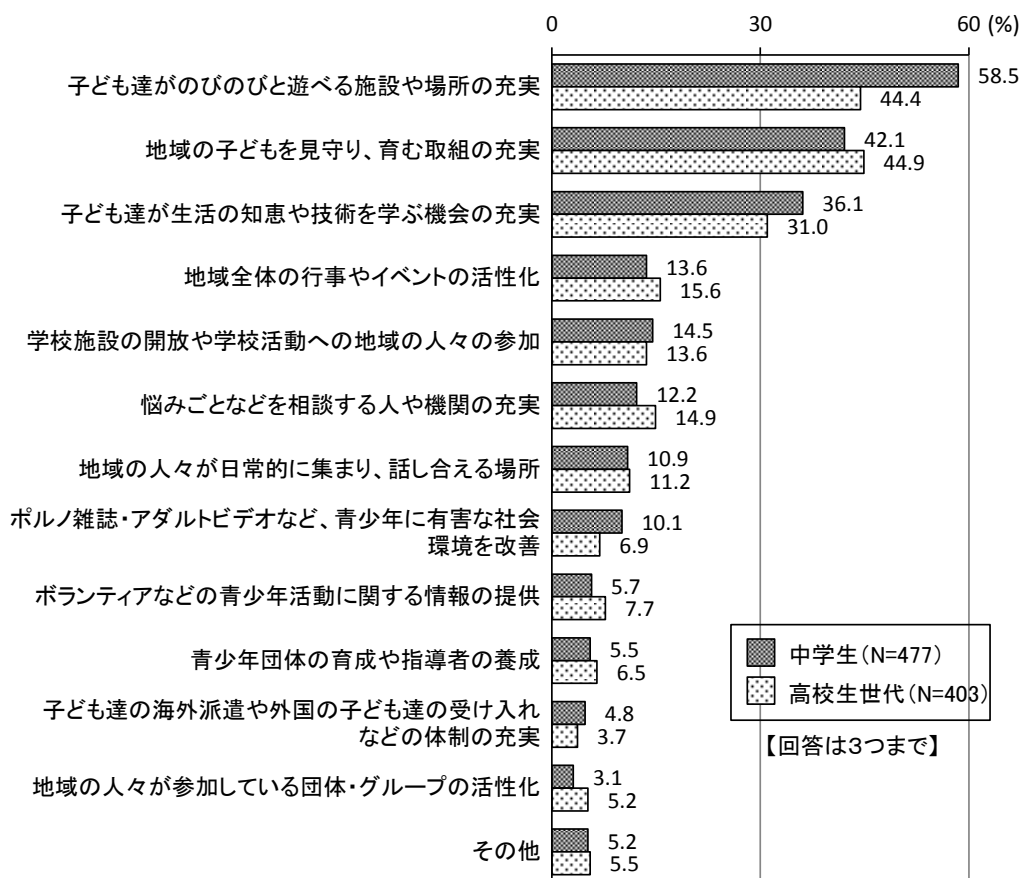
表4-7 子どもは健全に育っているか [全体、記入者別]

		標本数	そう 思う	ばど そち らか うと いえ	ばど そち らか 思わ ない え	そう 思わ ない	無 回 答	『 思 う 』	『 思 わ な い 』
全体		888 100.0	102 11.5	439 49.4	296 33.3	31 3.5	20 2.3	541 60.9	327 36.8
記入者別	母親	790	10.5	49.4	33.7	3.9	2.5	59.9	37.6
	父親	84	20.2	50.0	29.8	-	-	70.2	29.8
	祖母	5	-	40.0	60.0	-	-	40.0	60.0
	祖父	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0
	無回答	7	28.6	71.4	-	-	-	100.0	-

(2) 健全に育つために必要なこと

問 31 あなたは、子どもたちが健全に成長していくためには、あなたの地域ではどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

図 4-9 健全に育つために必要なこと



子どもたちの健全な成長のために必要なことは、中学生では、「子ども達がのびのびと遊べる施設や場所の充実」が58.5%で最も多く、次いで「地域の子どもの見守り、育む取組の充実」が42.1%、「子ども達が生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実」が36.1%となっている。高校生世代では、「地域の子どもの見守り、育む取組の充実」が44.9%で最も多く、「子ども達がのびのびと遊べる施設や場所の充実」が44.4%とほぼ同率で続き、「子ども達が生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実」が31.0%で続いている。中学生、高校生世代で回答の傾向に大きな差はないが、中学生では遊び場の充実がより重視されている。

記入者別にみると、母親では「子ども達がのびのびと遊べる施設や場所の充実」(53.5%)が、父親では「地域全体の行事やイベントの活性化」(21.4%)、「地域の人々が日常的に集まり、話し合える場所」(19.0%)がそれぞれ高くなっている。

子どもの性別にみると、中学生、高校生世代ともに男性で「子ども達が生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実」がやや高い。

表4-8 健全に育つために必要なこと〔全体、記入者別、子どもの性別〕

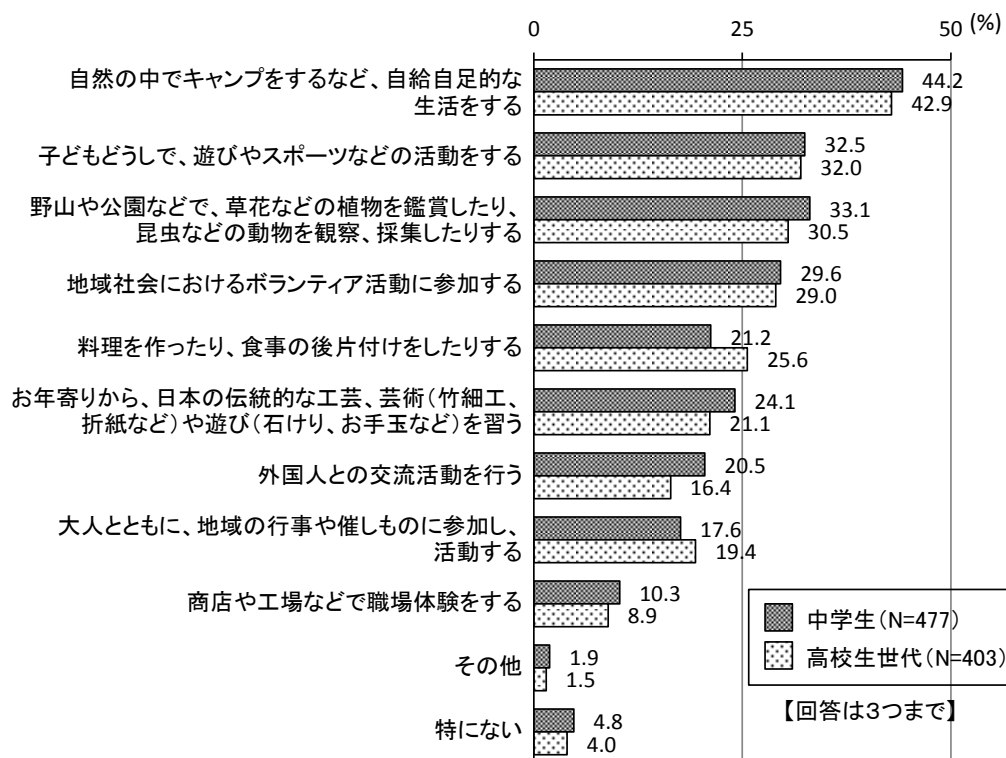
(%)

		標本数	地域の人々が日常的に集まり、話し合える場所	地域の子どもの見守り、育む取組の充実	地域の人々が参加している団体・グループの活性化	悩みごとなどを相談する人や機関の充実	ボランティアなどの青少年活動に関する情報の提供	青少年団体の育成や指導者の養成	地域全体の行事やイベントの活性化	子ども達の海外派遣や外国の子ども達の受け入れなどの体制の充実	学校施設の人々の参加	子ども達ののびのびと遊べる施設や場所の充実	子ども達が生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実	ポルノ雑誌・アダルトビデオなど、青少年に有害な社会環境を改善	その他	無回答
全体		888 100.0	98 11.0	386 43.5	36 4.1	122 13.7	59 6.6	52 5.9	129 14.5	40 4.5	126 14.2	464 52.3	298 33.6	76 8.6	47 5.3	36 4.1
記入者別	母親	790	10.3	43.7	3.5	13.5	6.3	5.6	13.9	4.2	14.1	53.5	33.9	8.7	4.9	4.4
	父親	84	19.0	38.1	9.5	13.1	9.5	9.5	21.4	7.1	15.5	36.9	34.5	6.0	9.5	1.2
	祖母	5	-	80.0	-	20.0	-	-	-	-	-	40.0	20.0	40.0	-	-
	祖父	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	無回答	7	14.3	57.1	-	42.9	14.3	-	14.3	14.3	28.6	85.7	-	-	-	-
子どもの性別	中学生:男性	202	8.4	41.1	4.5	13.4	5.4	5.0	14.4	5.4	13.4	58.4	39.1	10.9	5.0	1.0
	中学生:女性	225	14.7	42.2	2.2	9.8	5.8	5.8	13.3	4.9	15.6	57.3	32.9	9.3	5.8	5.8
	高校生世代:男性	136	13.2	44.9	4.4	16.9	8.8	5.9	13.2	3.7	14.0	42.6	34.6	5.9	4.4	4.4
	高校生世代:女性	192	9.4	44.3	5.2	13.0	6.8	8.3	18.2	4.2	15.6	46.4	27.1	7.3	5.2	5.7
	無回答	133	9.0	46.6	4.5	18.8	7.5	3.8	12.8	3.8	11.3	52.6	34.6	8.3	6.0	3.0

(3) 最近の子どもに不足している生活体験・自然体験

問 32 「最近の子どもには、生活体験や自然体験など『体験』が不足している」と言われていますが、特にどのような「体験」が不足していると思いますか。(〇は3つまで)

図 4-10 最近の子どもに不足している生活体験・自然体験



最近の子どもに不足していると思う生活体験や自然体験は、中学生では「自然の中でキャンプをするなど、自給自足的な生活をする」が 44.2%で最も多く、「野山や公園などで、草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする」が 33.1%、「子どもどうして、遊びやスポーツなどの活動をする」が 32.5%、「地域社会におけるボランティア活動に参加する」が 29.6%と続いている。高校生世代では、やはり「自然の中でキャンプをするなど、自給自足的な生活をする」が 42.9%で最も多く、次いで「子どもどうして、遊びやスポーツなどの活動をする」が 32.0%、「野山や公園などで、草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする」30.5%、「地域社会におけるボランティア活動に参加する」が 29.0%となっており、中学生と高校生世代で上位項目に大きな違いはみられない。

記入者別にみると、父親で「子どもどうして、遊びやスポーツなどの活動をする」(38.1%)、「大人とともに、地域の行事や催しものに参加し、活動する」(27.4%)が高くなっている。

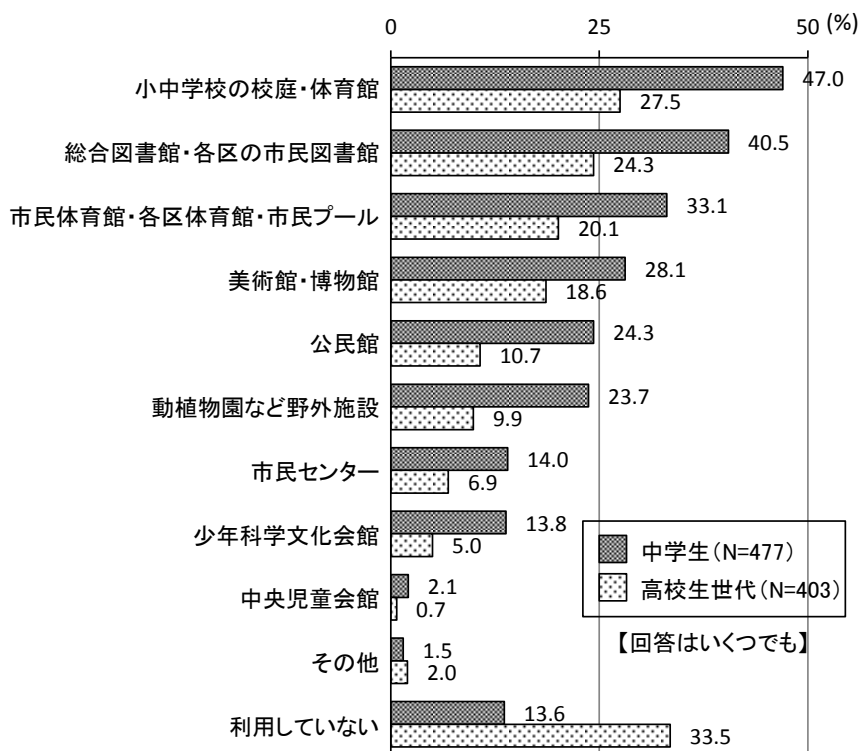
表4-9 最近の子どもに不足している生活体験・自然体験 [全体、記入者別]

		(%)												
		標本数	料理を作ったり、食事の後片付けを したりする	子どもどうして、遊びやスポーツな どの活動をする	大人とともに、地域の行事や催しも のに参加し、活動する	お年寄りから、日本の伝統的な工遊 芸、芸術（竹細工、折紙など）や遊 び（石けり、お手玉など）を習う	自然の中でキャンプをするなど、自 給自足的な生活をする	野山や公園などで、草花などの植物 を鑑賞したり、昆虫などの動物を観 察、採集したりする	地域社会におけるボランティア活動 に参加する	商店や工場などで職場体験をする	外国人との交流活動を行う	その他	特 に な い	無 回 答
全 体		888 100.0	205 23.1	287 32.3	163 18.4	202 22.7	388 43.7	282 31.8	262 29.5	86 9.7	168 18.9	15 1.7	39 4.4	15 1.7
記 入 者 別	母親	790	23.2	31.4	17.3	22.8	43.3	32.2	29.5	10.4	18.9	1.9	4.2	1.9
	父親	84	25.0	38.1	27.4	21.4	47.6	31.0	28.6	3.6	17.9	-	7.1	-
	祖母	5	-	60.0	40.0	40.0	20.0	-	40.0	20.0	-	-	-	-
	祖父	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-
	無回答	7	14.3	42.9	14.3	28.6	57.1	14.3	42.9	-	42.9	-	-	-

5. 過去1年間に子どもと利用した公共施設

問33 過去1年間にお子さんとともに利用した公共施設はどこですか。(〇はいくつでも)

図4-11 過去1年間に子どもと利用した公共施設



過去1年間に子どもと利用した公共施設は、中学生では「小中学校の校庭・体育館」が47.0%と最も多く、次いで「総合図書館・各区の市民図書館」が40.5%、「市民体育館・各区体育館・市民プール」が33.1%、「美術館・博物館」が28.1%、「公民館」が24.3%、「動植物園など野外施設」が23.7%となっている。高校生世代では「小中学校の校庭・体育館」が27.5%と最も多く、次いで「総合図書館・各区の市民図書館」が24.3%、「市民体育館・各区体育館・市民プール」が20.1%、「美術館・博物館」が18.6%、「公民館」が10.7%となっている。中学生と高校生世代とで順位はほぼ同じだが、各施設の利用率は中学生の方が高くなっている。また、「利用していない」は中学生では13.6%だが、高校生世代では33.5%と約3分の1に上る。

就労状況別にみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「総合図書館・各区の市民図書館」「小中学校の校庭・体育館」がやや高くなっている。

世帯分類別では、「三世帯」では「小中学校の校庭・体育館」(41.8%)、「公民館」(21.8%)など居住地域の施設の利用率が比較的高い。また、「ひとり親」では「利用していない」(34.7%)が高い。

表4-10 過去1年間に子どもと利用した公共施設〔全体、就労状況別、世帯分類別〕

(%)

		標本数	中央児童会館	公民館	市民センター	総合市民図書館・各区市民図書館・各プールの市民体育館・市民各	区市民体育館・市民各	少年科学文化会館	庭・中学校の校	外施設	動物園など野	美術館・博物館	その他	利用していない	無回答
全体		888 100.0	13 1.5	160 18.0	96 10.8	294 33.1	243 27.4	87 9.8	340 38.3	153 17.2	213 24.0	16 1.8	201 22.6	15 1.7	
就労状況別	フルタイムで就労している	288	1.7	17.4	9.4	29.9	24.7	10.1	36.5	15.6	22.9	2.1	23.6	3.1	
	パート・アルバイト等で就労している	343	1.7	17.5	10.8	32.4	29.4	10.2	38.2	17.2	21.9	1.7	23.3	0.6	
	以前は就労していたが、現在は就労していない	195	0.5	20.0	13.8	42.1	26.7	8.7	44.1	20.5	27.2	2.1	17.4	0.5	
	これまで就労したことがない	40	2.5	25.0	5.0	30.0	32.5	15.0	27.5	12.5	37.5	-	32.5	-	
	無回答	22	-	4.5	13.6	13.6	27.3	-	31.8	18.2	18.2	-	27.3	13.6	
世帯分類別	三世代	55	-	21.8	10.9	23.6	32.7	-	41.8	5.5	12.7	-	25.5	1.8	
	核家族	663	1.8	18.6	10.9	34.7	27.8	10.7	38.6	18.4	25.5	2.0	20.7	1.4	
	ひとり親	121	0.8	12.4	9.9	27.3	19.0	9.9	33.9	16.5	17.4	1.7	34.7	3.3	
	ひとり親三世代	26	-	15.4	15.4	30.8	30.8	7.7	38.5	19.2	30.8	-	19.2	-	
	その他	23	-	26.1	8.7	43.5	43.5	8.7	43.5	13.0	34.8	4.3	13.0	4.3	

V

参考資料（使用した調査票）

福岡市子ども・子育て支援に 関するニーズ調査

(乳幼児の保護者の方)

日ごろより福岡市政にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。
さて、福岡市では「新・福岡市子ども総合計画」(平成22～26年度)に基づき子ども施策を推進しておりますが、平成27年度にスタートする第4次福岡市子ども総合計画を策定するにあたり、市民の皆様の子育て環境、教育・保育の利用状況と利用希望、ご意見などを把握するために、本調査を実施いたします。

この調査は、住民基本台帳の中から無作為に抽出した乳幼児のお子さんを持つ保護者の方にご協力をお願いするものです。

つきましては、日々の子育てなどご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は西日本新聞社に委託し、実施しております。

平成25年10月
福岡市

ご記入に際してのお願い

※ ご回答いただいた内容は、福岡市や国、県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきます。他の目的に利用することは一切ございません。

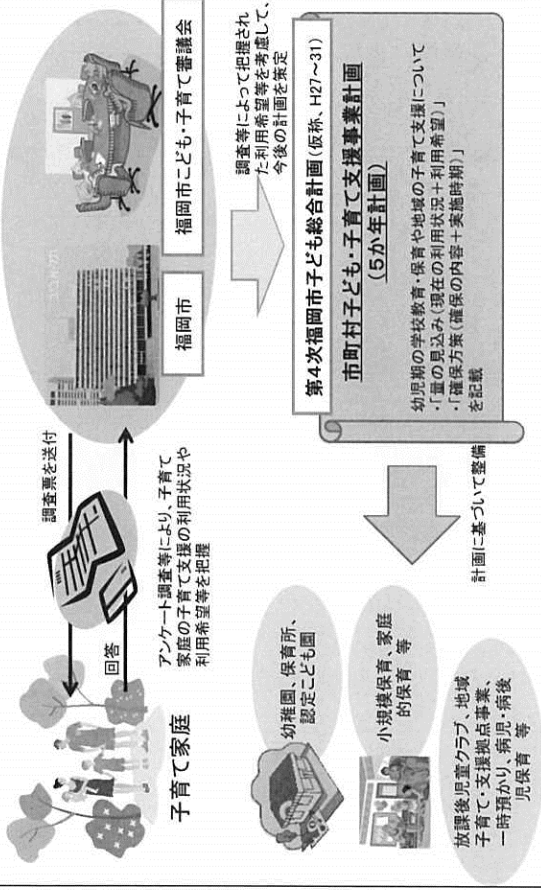
- (1) **保護者の方**が記入してください。
- (2) **封筒のあて名のお子さんについて**お答え下さい。
- (3) 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
- (4) 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- (5) 時間(時刻)をご記入いただく場合は、**24時間制(例:午後1時→13時)**で記入してください。
- (6) 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**11月8日(金)まで**にご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- (7) 記入者の住所、氏名は、調査票、返信用封筒ともにお書きにならなくて結構です。
- (8) このアンケートに関するご質問は下記までご連絡下さい。

問合せ先 ■調査票に関すること

㈱西日本新聞社 お客様センター 調査・マーケティンググループ
電話：711-5313 FAX：711-9757

■福岡市子ども行政、福岡市子ども総合計画に関すること
福岡市子ども未来局子ども部総務企画課
電話：711-4170 FAX：733-5534

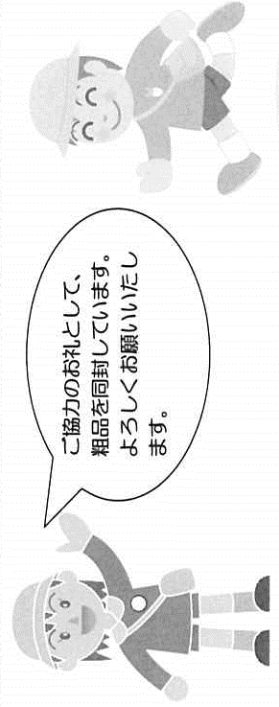
いただいた回答は福岡市の子ども・子育て支援の充実に生かしていきます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(保育所) (児童福祉法第39条)
- ・認定こども園：幼稚園と保育所(園)の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)



お住まいの地域について

問1 お住まいの区について、お答えください。(Oは1つ)
 また、お住まいの校区について、別紙「校区一覧表」を見て、番号をご記入ください。

《区》	1. 東区	2. 博多区	3. 中央区	4. 南区	5. 城南区	6. 早良区	7. 西区
	28.0	12.1	9.9	16.8	8.1	15.5	9.7

《校区》 ←別紙「校区一覧表」を見てお住まいの校区の番号をご記入ください
 無回答—

あて名のお子さんご家族の状況について

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。(枠内に数字を記入)

別紙1

平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	生まれ
----	----------------------	---	----------------------	---	-----

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。(枠内に数字を記入)

別紙2

きょうだい数	<input type="text"/>	人	(あて名のお子さんを含む)
--------	----------------------	---	---------------

問4 お2人以上のお子さんいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

別紙3

末子の生年月	平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	生まれ
--------	----	----------------------	---	----------------------	---	-----

問5 あて名のお子さんとの同居の状況について、お答えください。(あてはまる番号すべてにO)
 続柄はあて名のお子さんからみられた関係です。

1. 父母同居 (単身祖任別居等を含む)	94.8	5. 祖母同居	6.7
2. 父同居 (ひとり親家庭)	0.2	6. 祖父同居	6.6
3. 母同居 (ひとり親家庭)	4.4	7. 祖母同居	8.1
4. 祖父同居	4.6	8. その他	(1.5)

無回答 0.1

問6 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(Oは1つ) あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。

1. 母親	95.1	2. 父親	4.7	3. 祖父	0.2	4. その他	(—)
-------	------	-------	-----	-------	-----	--------	-------

無回答—

問7 あて名のお子さんの母親・父親の年代について、お答えください (Oは1つ)

《母親》	1. 10代	0.1	2. 20代	13.2	3. 30代	66.9	4. 40代以上	19.4
《父親》	1. 10代	—	2. 20代	7.4	3. 30代	55.2	4. 40代以上	27.9

無回答 0.5
 無回答 9.5

問8 現在お住まいの地域での居住年数について、お答えください。(Oは1つ)

1. 1年未満	12.7	3. 3年以上～5年未満	25.5	5. 10年以上～20年未満	7.0
2. 1年以上～3年未満	24.1	4. 5年以上～10年未満	26.4	6. 20年以上	2.9

無回答 1.5

問9 ご家庭において、あて名のお子さん(教育を含む)を主にしているのはどなたですか。
 あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。(Oは1つ)

1. 父母ともに	51.1	3. 主に父親	0.3	5. その他	0.1
2. 主に母親	46.2	4. 主に祖父	0.6	()	無回答 1.6

あて名のお子さんの子育て環境について

問10 あて名のお子さん(教育を含む)に日常的に関わっているのはどなた(施設)ですか。
 お子さんからみられた関係でお答えください。(あてはまる番号すべてにO)

1. 父母ともに	57.3	3. 父親	1.6	5. 幼稚園	27.5	7. 認定こども園	0.3
2. 母親	32.2	4. 祖父	17.0	6. 保育所(園)	33.0	8. その他	(2.7)

無回答 1.7

問11 あて名のお子さん(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境についてお答えください。(あてはまる番号すべてにO)

1. 家庭	90.5	3. 幼稚園	32.3	5. 認定こども園	0.7
2. 地域	17.8	4. 保育所(園)	34.8	6. その他	(2.0)

無回答 1.4

問12 日頃、あて名のお子さんをみてもえらる親族・知人についてお答えください。
 (あてはまる番号すべてにO)

1. 日常的に、祖父母等の親族にみてもえらる	20.0	⇒ 問12-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもえらる	58.3	⇒ 問12-2へ
3. 日常的に、友人・知人にみてもえらる	1.7	
4. 緊急時もしくは用事の際には、友人・知人にみてもえらる	12.1	
5. いずれもない	⇒ 問13へ	無回答 4.1

問12で「1」または「2」にOをつけた方にかがいます。

問12-1 親族にお子さんをみてもえらうときの気持ちについてお答えください。(あてはまる番号すべてにO)
 N=3,742

1. 心配することなく、安心して子どもをみてもえらる	72.2
2. 親族の身体的負担が大きく心配である	21.5
3. 親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	16.2
4. 負担をかけていることが心苦しい	23.3
5. 子どもの教育や発達にとつてふさわしい環境であるか、少し不安がある	6.0
6. その他	()

無回答 0.2

問 12 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-2 友人・知人にお子さんをみてもらうときの気持ちについて、お答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

N=676

1. 心配することなく、安心して子どもをみてもらえる	56.5
2. 友人・知人の身负的負担が大きく心配である	9.9
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である	25.1
4. 負担をかけていることが心苦しい	39.6
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある	3.1
6. その他 ()	1.8
	無回答 2.1

問 13 あて名のお子さんの子育てをすす上で、気軽に相談できる人、また、相談できる場所についてお答えください。(○は1つ)

1. たくさんいる (ある)	32.4	⇒ 問 13-1 へ
2. 少しはいる (ある)	50.0	
3. あまりいない (ない)	5.7	⇒ 問 14 へ
4. まったくいない (ない)	0.6	
		無回答 11.3

問 13 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

N=4,180

1. 配偶者・パートナー	90.6	10. 区保健福祉センター	2.1
2. その他の親族	74.3	11. 子どもプラザ・子育て交流サロン	5.4
3. 友人や知人	77.4	12. 病院	12.2
4. 隣近所の人、地域の知人	19.7	13. 民生委員・児童委員、主任児童委員	0.5
5. 職場の人	20.7	14. こども総合相談センター (えがお館)	0.6
6. 保育所 (園)・幼稚園の保護者仲間	36.2	15. 民間の電話相談	0.3
7. 子育てサークルの仲間	4.5	16. インターネットや育児見書で解決策を探す	15.9
8. 保育所 (園) の保育士	23.3	17. その他 ()	2.2
9. 幼稚園の先生	21.0		無回答 0.1

すべての方にうかがいます。

問 14 いま子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの発育や病気	45.7	7. 子育ての手当や公的助成	31.7
2. 子どもの食事や栄養	39.7	8. 子どもの遊び場や施設	57.6
3. 子どものしつけや勉強	59.2	9. 子連れで参加できるイベント	39.9
4. 保育所 (園) や幼稚園	24.4	10. 子育てサークル	6.1
5. 子どもの一時預かり	18.0	11. 子育ての講座や講演会など	10.4
6. 子育ての相談窓口	5.2	12. その他 ()	2.2
			無回答 3.3

問 15 子育てに関する情報をどこから入手していますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 親族 (親、きょうだいなど)	57.9	8. 市や区のホームページ	7.8
2. 近所の人、地域の知人、友人	60.3	9. テレビ、ラジオ、新聞	27.7
3. 保護者仲間	54.9	10. 子育て雑誌・育児書	23.9
4. 子どもプラザ・子育て交流サロン	11.1	11. フリーページ	22.6
5. 保育所 (園)、幼稚園、学校	50.5	12. インターネット	48.9
6. 役所 (保健福祉センター、市民センター等)	4.3	13. 情報の入手手段がわからない	0.3
7. 市の広報紙やパンフレット、公民館など	31.3	14. その他 ()	無回答 0.5
			0.9

すべての方にうかがいます。

問 16 福岡市の事業等で知っているものや、利用したことのある、今後利用したいと思うものをお答えください。(○は1つ)

※ 事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい				
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ			
① 区保健福祉センターや公民館の子育て教室事業・講座	82.2	16.2	1.6	44.0	51.3	4.7	50.3	41.2	8.5
② 公民館等で行われる母子巡回健康相談	84.8	14.2	1.0	48.0	48.3	3.7	39.6	52.1	8.2
③ 区保健福祉センターの訪問指導	74.9	23.8	1.2	38.1	57.4	4.6	25.2	66.4	8.3
④ 区保健福祉センターでの相談 (電話含む、⑤を除く)	63.8	34.6	1.6	11.9	82.1	6.0	31.0	60.7	8.4
⑤ 福岡市保育コンシェルジュ	25.5	73.0	1.6	2.5	90.8	6.8	29.6	60.9	9.5
⑥ こども総合相談センターでの相談 (電話含む)	42.6	55.5	1.9	5.1	88.5	6.4	31.5	59.7	8.8
⑦ 認可保育所 (園) の子育て支援事業 (園庭開放・相談・講座・イベント)	61.4	36.9	1.7	24.4	70.1	5.5	47.6	44.6	7.8
⑧ 幼稚園の子育て支援事業 (園庭開放・相談・講座・イベント)	60.4	37.6	2.0	28.9	65.5	5.7	50.6	41.2	8.2
⑨ ファミリー・サポート・センター事業 (保育所送迎・子どもの預りなど)	68.8	29.6	1.6	6.2	88.1	5.7	44.1	48.5	7.3
⑩ シルバー人材センター子育て支援事業 (保育所送迎・家事手伝いなど)	45.8	52.5	1.7	1.0	92.9	6.1	31.9	60.1	8.0
⑪ 中央児童会館の子育て支援事業	40.2	58.4	1.4	12.9	81.4	5.7	36.6	54.9	8.5
⑫ 市のホームページ	70.6	28.1	1.3	41.9	52.5	5.7	61.5	30.6	7.9
⑬ 子育て情報ガイド (冊子)	69.6	29.1	1.3	46.8	47.7	5.4	64.6	27.5	7.9

子どもブラザ・子育て交流サロンなどの利用状況について

問 17 あて名のお子さんと、現在、子どもブラザや子育て交流サロン、子育てサークルなどを利用していますか。(利用されているものすべてに○。枠内におおよその利用回数を記入。)

1. 子どもブラザ (市内14か所)	18.7
1週当たり <input type="text"/> 回 または 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度	
2. 子育て交流サロン(公民館等でサポーターが見守る中、乳幼児の親子が自由に過ごすことができる場所)	10.1
1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度	
3. 子育てサークルなど自主的な活動	5.9
1週当たり <input type="text"/> 回 または 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度	
4. 利用していない	75.1
	無回答 0.5

問 18 子どもブラザや子育て交流サロンについて、今は利用していないが今後利用したい、利用を増やしたいと思えますか。(○は1つ。枠内におおよその利用回数を記入。)

《子どもブラザ》

1. 利用していないが、今後利用したい	23.8
1週当たり <input type="text"/> 回 または 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度	
2. すでに利用しているが、今後利用を増やしたい	11.6
1週当たり <input type="text"/> 回 または 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度	
3. 新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない	62.0
	無回答 2.7

《子育て交流サロン》

1. 利用していないが、今後利用したい	21.1
1週当たり <input type="text"/> 回 または 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度	
2. すでに利用しているが、今後利用を増やしたい	5.7
1週当たり <input type="text"/> 回 または 1ヶ月当たり <input type="text"/> 回程度	
3. 新たに利用したり、利用を増やしたいとは思わない	70.7
	無回答 2.5

子どもブラザ (N=949)

週5回以上	0.2
週4回	0.4
週3回	1.7
週2回	3.8
週1回	8.0
月2~3回	24.8
月1回以下	56.1
無回答	5.1

子育て交流サロン (N=515)

月4回以上	7.8
月2~3回	31.5
月1回以下	58.1
無回答	2.7

子育てサークルなど(N=289)

週5回以上	0.0
週4回	0.3
週3回	0.7
週2回	4.0
週1回	23.1
月2~3回	35.1
月1回以下	35.1
無回答	1.7

または、

利用したい回数 (N=1207)

週5回以上	0.1
週4回	0.1
週3回	0.5
週2回	1.6
週1回	12.8
月2~3回	27.4
月1回以下	50.5
無回答	7.0

増やしたい回数 (N=587)

週5回以上	0.5
週4回	1.0
週3回	4.1
週2回	12.3
週1回	34.2
月2~3回	36.6
月1回以下	7.8
無回答	3.4

利用したい回数 (N=1071)

週5回以上	0.1
週4回	0.0
週3回	0.5
週2回	0.8
週1回	13.7
月2~3回	20.3
月1回以下	55.0
無回答	9.6

増やしたい回数 (N=288)

週5回以上	0.7
週4回	0.0
週3回	1.0
週2回	6.3
週1回	37.8
月2~3回	34.0
月1回以下	8.7
無回答	11.5

問 17で「4」と回答された方にうかがいます。

問 19 現在、子どもブラザや子育て交流サロンを利用していない理由についてお答えください。(それぞれ○は1つ) ※利用している場合は、回答不要です。
N=3,810

利用しない理由	子どもブラザ	子育て交流サロン
1. 場所が遠いので利用しづらい	7.6	2.8
2. 開催時間や日数が利用しづらい	3.6	4.8
3. 知人がいないので行きづらい	4.9	6.1
4. 子どもブラザや子育て交流サロンについて知らなかった	3.8	4.3
5. 利用する時間がない	20.0	18.1
6. 利用の仕方がわからない	3.1	3.2
7. 親同士の付き合いがわずらわしい	2.8	4.5
8. 外出するのが面倒	1.0	1.0
9. 子どもが大きくなって必要ない	20.3	19.8
10. 特に利用する必要性を感じない	14.6	16.1
11. その他(具体的に)	6.9	5.9
12. 特に理由はない	6.4	6.5
	無回答 5.0	6.7

あて名のお子さんの保護者の就労状況について

ここでは、この区分によりご回答ください。
フルタイム・・・1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等・・・フルタイム以外

問 20 母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、お答えください。(○は1つ)

【該当されない場合は記入は不要です】

N=5,066

1. フルタイムで就労している	17.4	⇒問 20-1へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	5.3	
3. パート・アルバイト等で就労している	23.7	⇒問 20-4へ
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	40.6	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	1.6	
6. これまで就労したことがない	8.5	
	無回答 2.8	

問 20で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 一週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)をお答えください。(枠内に数字を記入)一定でない場合は、もっとも多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり <input type="text"/> 日	1日当たり <input type="text"/> 時間	就労日数 (N=2431)	就労時間
		1日 1.6	4時間 13.2
		2日 2.7	5時間 15.8
		3日 5.7	6時間 14.4
		4日 14.0	7時間 15.8
		5日 61.5	8時間 29.6
		6日 13.2	9時間 5.2
		7日 0.4	10時間以上 5.1
		無回答 1.0	無回答 0.9

問 20-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(枠内に時間を記入。(例) 18 時) 一定でない場合は、もともとも多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻	時	時	時
帰宅時刻	時	時	時
【24時間制で記入 例:18時】			

家を出る時刻	1~6時	1.4	0.8
	7時	21.3	1.2
	8時	43.6	13.2
	9時	19.3	7.9
	10~12時	8.6	18.5
	13~15時	0.9	32.5
	16~18時	0.5	16.2
	19時以降	0.8	3.9
	無回答	3.5	2.1
	無回答		3.7

問 20 家で出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(枠内に時間を記入。(例) 18 時) 一定でない場合は、もともとも多いパターンについて、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

問 20-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください。(○は1つ)

N=1,281

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 7.6
- フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 23.2
- パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 50.3
- パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい 3.2 無回答 15.8

問 20 で「5」または「6」に○をつけた方にかがいます。

問 20-4 就労への希望についてお答えください。(○は1つ。枠内に数字を記入)

N=2,491

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 24.1
- 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい 50.8
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい 20.9

無回答 4.2

→ 希望する就労形態

N=521

- フルタイム 13.4
- パートタイム、アルバイト等 81.4 無回答 5.2

→ 1週当たり 日 1日当たり 時間

希望する就労日数	1~2日	3.1	3.8
	3~4日	65.8	27.1
	5~6日	27.4	42.5
	無回答	3.8	23.6
	無回答		3.1

問 21 父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)について、お答えください。(○は1つ)

N=4,852

【該当されない場合は記入は不要です】

- フルタイムで就労している 90.8
- フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 0.1
- パート・アルバイト等で就労している 1.4
- パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である ー
- 以前は就労していたが、現在は就労していない 1.2
- これまで就労したことがない 0.1

無回答 6.3

⇒問 21-1へ

⇒問 21-4へ

問 21 で「1」~「4」に○をつけた方にかがいます。

問 21-1 1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間を含む)をお答えください。(枠内に数字を記入)一定でない場合は、もともとも多いパターンについて、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり	日	1日当たり	時間
-------	---	-------	----

就労日数	1~4日	1.4	2.4
	5日	54.4	19.9
	6日	39.2	12.2
	7日	3.7	22.2
	無回答	1.4	7.7
	無回答		16.0
	無回答		17.0
	無回答		2.6

問 21-2 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(枠内に時間を記入。(例) 18 時)

一定でない場合は、もともとも多いパターンについて、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻	時	時	時
帰宅時刻	時	時	時
【24時間制で記入 例:18時】			

家を出る時刻	1~6時	11.4	3.1
	7時	34.1	1.2
	8時	36.8	0.5
	9時	8.6	0.4
	10~12時	3.5	1.6
	13~15時	1.5	18.8
	16~18時	0.7	16.6
	19時以降	0.9	20.0
	無回答	2.4	44.6
	無回答		2.9

問 21 で「3」または「4」に○をつけた方にかがいます。

問 21-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください。(○は1つ)

N=68

- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 17.6
 - フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 29.4
 - パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 30.9
 - パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい ー
- 無回答 22.1

問 21 で「5」または「6」に○をつけた方にかがいます。

問 21-4 就労への希望についてお答えください。(○は1つ。枠内に数字を記入。)

N=63

- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 4.8
- 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい 4.8
- すぐにも、もしくは1年以内に就労したい 77.8 無回答 12.7

→ 希望する就労形態

N=49

- フルタイム 87.8
- パートタイム、アルバイト等 8.2 無回答 4.1

→ 1週当たり 日 1日当たり 時間

希望する就労日数	1~2日	0.0	0.0
	3~4日	25.0	25.0
	5~6日	50.0	0.0
	無回答	25.0	0.0
	無回答		25.0

希望する就労時間	3時間以内	0.0	0.0
	4時間	25.0	25.0
	5時間	50.0	0.0
	6時間以上	25.0	0.0
	無回答		25.0

あて名のお子さんの平日的な教育・保育事業の利用状況について

ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。

問 22 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 幼稚園 …… 通常の就園時間の利用	28.9
2. 幼稚園の預かり保育 …… 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	4.5
3. 認可保育所(園) …… 市が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けたもの	31.4
4. 認定こども園 …… 幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設	0.5
5. 家庭的保育 …… アパートの一室等で子どもを保育する事業	0.3
6. 事業所内保育施設 …… 企業が主に従業員用に運営する施設	0.7
7. その他の認可外保育施設	3.7
8. 居宅訪問型保育 …… ベビーシッターのような保育が必要な方に生後3ヶ月までの間、ベビーシッター 派遣費用の一部を助成する事業	0.1
9. 産休明けサポーター事業 …… 産休明けから保育が必要な子どもを預かる事業	—
10. ファミリー・サポーター・センター …… 地域住民が子どもを預かる事業	0.5
11. 療育機関	1.3
12. その他 ()	2.1
13. 利用していない ⇒ 問 22-4 へ	30.3

施設不明 1.4 無回答 0.4

問 22 で「1.～12.」に○をつけた方にかがいます。

問 22-1 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、全部あわせてどのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
(枠内に数字を記入。時間は、(例) 9時～18時のように24時間制で記入。)

《現在》

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時～ 時)

【24時間制で記入 例：9時～18時】

《希望》

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 (時～ 時)

【24時間制で記入 例：9時～18時】

利用日数	現在	希望	利用時間	現在	希望	開始時刻	現在	希望	終了時刻	現在	希望
1日	3.1	0.8	3時間	4.1	1.3	6時以前	0.0	0.1	6時以前	0.1	0.0
2日	1.8	1.1	4時間	4.9	1.5	7時	6.1	4.5	7～12時	2.2	0.6
3日	0.9	1.4	5時間	18.7	5.3	8時	29.6	24.7	13時	1.4	0.5
4日	1.0	1.1	6時間	15.3	13.4	9時	50.8	43.9	14時	24.3	5.2
5日	78.4	60.6	7時間	6.1	11.5	10時	11.0	5.5	15時	14.1	14.9
6日	13.9	15.2	8時間	15.6	17.1	11時以降	1.1	0.7	16時	9.0	14.0
7日	0.1	0.3	9時間	15.7	12.7	無回答	1.4	20.6	17時	20.9	20.4
無回答	0.8	19.5	10時間	12.5	10.7				18時	21.8	16.5
			11時間	4.4	3.8				19時	4.3	5.7
			12時間以上	1.4	2.6				20時以降	0.6	1.7
			無回答	1.3	20.1				無回答	1.4	20.6

問 22-2 現在、教育・保育事業を利用している場所について、お答えください。(○は1つ)

N=3,518

1. 福岡市内 96.9 2. 福岡市外 1.9 無回答 1.2

問 22-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している主な理由についてお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

N=3,518

1. 子どもの教育や発達のため 67.1 5. 病気や障がいがあるため 2.4
2. 現在就労しているため 52.9 6. 学生であるため 0.4
3. 就労予定がある/求職中であるため 2.4 7. その他 () 2.0
4. 家族・親族などを介護しているため 0.9 無回答 1.5

問 22 で「13. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

問 22-4 利用していない理由についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

N=1,537

1. 子どもの母親が父親が子育てしており、利用する必要がある	70.2
2. 子どもの祖父母や親族がみている	8.8
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている	0.3
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	12.7
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない	10.1
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	0.3
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	2.1
8. 子どもがまだ小さいため(<input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている)	41.0
9. その他 ()	4.4

無回答 0.9

すべての方にかがいます。

問 23 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、お答えください。(あてはまる番号すべてに○)

※ なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
認可保育所(園)の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園 …… 通常の就園時間の利用	54.0
2. 幼稚園の預かり保育 …… 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ	24.4
3. 認可保育所(園) …… 市が定める最低基準に適合した施設で市の認可を受けたもの	48.6
4. 認定こども園 …… 幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設	11.9
5. 家庭的保育 …… アパートの一室等で子どもを保育する事業	2.0
6. 事業所内保育施設 …… 企業が主に従業員用に運営する施設	4.0
7. その他の認可外保育施設	3.4
8. 居宅訪問型保育 …… ベビーシッターのような保育者が子どもを家庭に訪問して保育する事業	2.6
9. 産休明けサポーター事業 …… 産休明けから保育が必要な方に生後3ヶ月までの間、ベビーシッター 派遣費用の一部を助成する事業	1.8
10. ファミリー・サポーター・センター …… 地域住民が子どもを預かる事業	9.2
11. 療育機関	2.9
12. その他 ()	0.7
13. 利用したいと思わない	2.9

無回答 0.9

問 23 で「1」～「12」に○をつけた方にかがいます。

問 23-1 教育・保育事業を利用したい場所についてお答えください。(○は1つ)

N=4,882

1. 福岡市内 96.7 2. 福岡市外 1.2 無回答 2.1

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 24 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。一時的な利用は除きます。

(土曜・日祝日それぞれ〇は1つ。希望時間を枠内に記入。(例)9時～18時)

※ 保育・教育事業とは、幼稚園、保育所(園)、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

※ なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

《土曜日》

1. 利用する必要がある 61.0

2. ほぼ毎週利用したい 14.4 ⇒ 利用したい時間帯

3. 月に1、2回は利用したい 23.6

無回答 1.0

(3に〇と付けた方) ⇒ 問 24-1 へ

開始時刻	終了時刻 (N=1931)
6時以前	9時以前 0.1
7時	10～12時 2.7
8時	13～15時 18.3
9時	16～18時 69.5
10～12時	19～20時 5.5
13～15時	21時以降 0.5
16時以降	無回答 3.4
無回答	3.3

《日曜・祝日》

1. 利用する必要がある 80.6

2. ほぼ毎週利用したい 2.0 ⇒ 利用したい時間帯

3. 月に1、2回は利用したい 11.8

無回答 5.7

(3に〇と付けた方) ⇒ 問 24-1 へ

開始時刻	終了時刻 (N=696)
6時以前	9時以前 0.0
7時	8時 8.8
8時	29.8
9時	48.1
10～12時	9.3
13～15時	0.4
16時以降	0.1
無回答	4.7

問 24 で、「3」に〇をつけた方にうかがいます。

問 24-1 毎週ではなく、月に1・2回だけ利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに〇)

N=1,454

1. 月に数回仕事が入るため 54.0

2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 42.8

3. 親族の介護や手伝いが必要なため 1.9

4. リフレッシュ等のため 38.7

5. その他 () 無回答 2.3

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 25 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(〇は1つ。希望時間を枠内に記入。(例)9～18時)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

N=1,467

1. 利用する必要がある 38.4

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 15.0 ⇒ 利用したい時間帯

3. 休みの期間中、週に数日利用したい 45.0

無回答 1.6

[24時間制で記入 例：9時～18時]

開始時刻	終了時刻 (N=880)
7時	1.0
8時	14.4
9時	72.8
10～12時	9.8
13～15時	0.2
16時以降	0.0
無回答	1.7

11

問 25 で、「3」に〇をつけた方にうかがいます。

問 25-1 毎日ではなく、週に数日だけ利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに〇)

N=660

- 週に数回仕事が入るため 24.1
- 買い物等の用事をまとめて済ませるため 54.8
- 親族の介護や手伝いが必要なため 2.6
- リフレッシュ等のため 52.0
- その他 () 無回答 0.5

あて名のお子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方 (問 22 で1～12に〇をつけた方)にうかがいます。

⇒ 利用していない方は、問 28 へお進みください。

問 26 この1年間に、あて名のお子さんが病氣やけがで普段利用している事業が利用できなかったことはありませんか。(〇は1つ)

N=3,518

1. あった 74.2 ⇒ 問 26-1 へ
2. なかった 23.8 ⇒ 問 28 へ
- 無回答 2.0

問 26 で「1」に〇をつけた方にうかがいます。

問 26-1 あて名のお子さんが病氣やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、この1年間に行った対処方法についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに〇。枠内にそれぞれの日数を記入。半日程度の場合も1日とカウント。)

N=2,609

1年間の対処方法	11日 無回答										
	1日	2日	3日	4日	5日	6～10日	11日以上	無回答			
1 父親が休んだ (N=400)	288	208	148	38	118	123	23	58			
2 母親が休んだ (N=1,606)	100	110	129	40	144	222	157	98			
3 (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった (N=862)	124	152	131	49	142	204	116	82			
4 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた (N=833)	114	143	127	43	113	248	130	82			
5 病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した (保育所(園)で実施しているサービスを含む)(N=318)	192	160	157	31	123	189	104	44			
6 ベビーシッターを利用した (N=15)	0.6	40.0	-	6.7	-	6.7	13.3	20.0	13.3		
7 仕方なく子どもだけで留守番させた (N=22)	0.8	50.0	22.7	9.1	4.5	4.5	-	4.5	-		
8 その他 (N=61)	2.3	11.5	9.8	6.6	14.8	13.1	14.8	19.7	19.7		

無回答 0.4

問 26-2 へ

問 26-5 へ

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業の利用について

問 28 現在、あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

また、現在の利用の有無に関わらず、今後の利用希望日数、その事業の利用を希望する理由についてお答えください。

(あてはまる番号すべてに○。それぞれの現在・今後の希望について枠内に日数を記入。それぞれの利用希望理由についてア～エのあてはまるもの1つずつに○。)

※各事業の利用には、一定の利用料がかかります。

事業	現在の利用日数 (年間)	今後の利用希望日数 (年間)	利用希望の理由
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所(園)などで一時的に子どもを保育する事業)	6.9	10.5	(N=533) 1. 私用・リフレッシュ 45.4 2. 冠婚葬祭、学校行事、通院 26.8 3. 不定期の就労 19.7 4. その他 6.4 無回答 1.7
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	15.2	17.1	(N=866) 1. 私用・リフレッシュ 46.5 2. 冠婚葬祭、学校行事、通院 28.1 3. 不定期の就労 14.8 4. その他 7.9 無回答 2.8
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	1.5	3.6	(N=181) 1. 私用・リフレッシュ 34.3 2. 冠婚葬祭、学校行事、通院 28.2 3. 不定期の就労 22.1 4. その他 10.5 無回答 5.0
4. ベビーシッター	0.7	1.2	(N=62) 1. 私用・リフレッシュ 35.5 2. 冠婚葬祭、学校行事、通院 27.4 3. 不定期の就労 25.8 4. その他 8.1 無回答 3.2
5. その他 ()	0.7	0.7	(N=33) 1. 私用・リフレッシュ 24.2 2. 冠婚葬祭、学校行事、通院 15.2 3. 不定期の就労 24.2 4. その他 24.2 無回答 12.1
6. 利用していない ⇒ 問28-2へ	74.3		
無回答	2.9	73.1	

問28(利用日数)

	10日以内	11～50日	51～100日	101日以上	無回答
1. 一時預かり(N=348)	66.7	15.8	4.3	1.1	12.1
2. 幼稚園の預かり保育(N=773)	64.8	24.7	3.8	1.4	5.3
3. ファミリー・サポート・センター(N=78)	67.9	17.9	1.3	0.0	12.8
4. ベビーシッター(N=34)	55.9	23.5	8.8	0.0	11.8
5. その他(N=35)	51.4	28.6	5.7	2.9	11.4
問28(希望日数)	10日以内	11～50日	51～100日	101日以上	無回答
1. 一時預かり(N=533)	47.1	26.8	3.0	1.9	21.2
2. 幼稚園の預かり保育(N=866)	44.2	30.4	4.2	3.7	17.6
3. ファミリー・サポート・センター(N=181)	58.0	24.9	1.7	0.6	14.9
4. ベビーシッター(N=62)	43.5	24.2	3.2	0.0	29.0
5. その他(N=33)	27.3	21.2	9.1	3.0	39.4

問 26-1 で「1」「2」のいずれかに回答した方にかかっています。

問 26-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(○は1つ。枠内に日数を記入。)

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。必要となります。

	1日	2～3日	4～5日	6～10日	11日以上	無回答
1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 39.7 →	10.5	26.5	17.1	17.1	6.3	22.6
2. 利用したいとは思わない 57.0 ⇒ 問 26-4 へ						
無回答 3.4						

問 26-2 で「1」に○をつけた方にかかっています。

問 26-3 その場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われましたか。(あてはまる番号すべてに○)

N=656

1. 幼稚園・保育所(園)等に併設した施設で子どもを保育する事業 65.9
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 68.6
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等) 7.5
4. その他 () 0.9) 無回答 4.1

⇒ 問27へ

問 26-2 で「2」に○をつけた方にかかっています。

問 26-4 そう思われる理由についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

N=942

1. 病児・病後児を他人に看てもらえない不安 49.2
2. 地域の事業の質に不安がある 4.1
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間 日数など) がよくない 12.4
4. 利用料がかかる・高い 30.6
5. 利用料がわからない 9.2
6. 親が仕事を休んで対応する 52.7
7. その他 () 22.3) 無回答 2.7

⇒ 問27へ

問 26-1 で「3」～「8」のいずれかに回答した方にかかっています。

問 26-5 休めなかった理由についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

N=1,895

1. 子どもの看護を理由に休みがとりにくい 37.5
2. 自営業なので休めない 4.0
3. 休暇制度が整っていない 6.4
4. その他 () 30.1) 無回答 31.8

病児・病後児保育(病児・病後児デイケア)を利用した(利用しようとした)方にかかっています。

問 27 利用申し込みをした際に、施設の定員の都合を理由に断られたことがありますか。(○は1つ)

N=629

1. あった 35.5
2. なかった 64.5
- 無回答 1

あて名のお子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 29 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病氣など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった(預け先が見つからなかった場合も含む)場合の対処方法についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○。それぞれ枠内に日数を記入。)

この1年間の対処方法	この1年間の利用日数	今後の利用希望日数
1. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	20.7	8.5
2. 短期入所生活援助事業(子どもショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	0.1	0.1
3. 以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	0.1	0.1
4. 仕方なく子どもを同行させた	3.8	0.7
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0.2	-
6. その他()	0.1	-
7. なかった	75.3	

無回答 1.7 91.0
⇒ 1以外を選択した方は 問30へ

問29【利用日数】	1日	2~3日	4~5日	6~10日	11~30日	31~50日	51日以上	無回答
1. 親族・知人にみてもらった (N=1048)	19.4	26.0	16.2	14.7	11.5	3.0	1.8	7.4
2. 短期入所生活援助事業を利用 (N=5)	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0
3. 以外の保育事業を利用 (N=6)	16.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7
4. 仕方なく子どもを同行させた (N=191)	28.3	21.5	4.7	8.9	1.6	0.0	0.0	35.1
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた (N=9)	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3
6. その他 (N=6)	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
問29【利用希望日数】	1日	2~3日	4~5日	6~10日	11~30日	31~50日	51日以上	無回答
1. 親族・知人にみてもらった (N=433)	15.7	29.8	15.9	20.3	13.9	2.1	2.3	0.0
2. 短期入所生活援助事業を利用 (N=5)	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3. 以外の保育事業を利用 (N=3)	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
4. 仕方なく子どもを同行させた (N=37)	37.8	40.5	10.8	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた (N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. その他 (N=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 29 で「1. 親族・知人にみてもらった」と答えた方にかがいます。

問 29-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。(○は1つ)

N=1,048

1. 非常に困難 6.4 2. どちらかという困難 30.1 3. 特に困難ではない 61.1 無回答 2.5

問 28 で「1」～「5」に○をつけた方にかがいます。

問 28-1 一時的にお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。

(あてはまる番号すべてに○)

N=1,154

1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所(園)等)	80.1
2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:家庭の保育事業等)	31.2
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)	22.9
4. その他()	2.6

無回答 3.6

⇒問29へ

問 28 で「6. 利用していない」と回答した方にかがいます。

問 28-2 現在利用していない理由は何ですか。(事業ごとに、あてはまる番号すべてに○)

N=3,772

事業	利用していない理由
一時預かり (私用など理由を問わずに保育所(園)などで一時的に子どもを保育する事業)	1. 特に利用する必要がない 73.6 2. 近くで事業が実施されていない 2.8 3. 事業の利便性(立地や利用時間・日数)がよくない 1.8 4. 利用料が高い 10.6 5. 事業をよく知らない 12.6 6. その他(3.6) 無回答 5.2
幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	1. 特に利用する必要がない 75.8 2. 近くで事業が実施されていない 1.9 3. 事業の利便性(立地や利用時間・日数)がよくない 1.3 4. 利用料が高い 5.9 5. 事業をよく知らない 11.4 6. その他(4.0) 無回答 6.1
ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	1. 特に利用する必要がない 70.4 2. 近くで事業が実施されていない 1.0 3. 事業の利便性(立地や利用時間・日数)がよくない 1.8 4. 利用料が高い 4.8 5. 事業をよく知らない 19.2 6. その他(5.3) 無回答 5.8
ベビーシッター	1. 特に利用する必要がない 74.1 2. 近くで事業が実施されていない 0.8 3. 事業の利便性(立地や利用時間・日数)がよくない 0.4 4. 利用料が高い 13.0 5. 事業をよく知らない 13.8 6. その他(3.2) 無回答 5.9

あて名のお子さんが5歳以上である方に、うかがいます。
小学校就学後の放課後の過ごし方について

N=1,200

⇒ あて名のお子さんが5歳未満の方は、問31へ

問 30 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○。それぞれ枠内に日数を記入。） また、学童保育（留守家庭子ども会）の場合には、希望時間もお答えください。（枠内に日数を記入。（例）18時）

場所 (1~3年生/4~6年生)	日数 (小学校1~3年生)	日数 (小学校4~6年生)
1. 自宅 51.0/31.3	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 12.8/7.4	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 50.7/34.9	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 学童保育 (留守家庭子ども会) *1 36.8/14.4	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> 時まで	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後等の遊び場づくり事業** 27.1/17.5	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
6. ファミリー・サポーター・センター 0.8/0.5	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
7. その他(公民館、公園など) 19.2/12.5	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい

無回答 20.3/50.2

※1「学童保育(留守家庭子ども会)」、保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。一定の利用料がかかります。

※2「放課後等の遊び場づくり事業」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校の校庭等で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問30(日数:1~3年生)	1日						
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
1. 自宅 (N=612)	10.9	22.2	19.4	8.0	20.4	1.6	2.1
2. 祖父母宅や友人・知人宅 (N=153)	35.9	22.2	7.8	2.0	13.1	0.7	17.6
3. 習い事 (N=608)	34.5	39.8	15.1	2.3	0.5	0.0	7.7
4. 学童保育(留守家庭子ども会) (N=442)	3.8	5.7	12.0	8.6	57.0	8.4	4.5
5. 放課後等の遊び場づくり事業 (N=325)	32.6	25.8	15.7	3.7	10.2	2.2	9.8
6. ファミリー・サポーター・センター (N=10)	40.0	0.0	10.0	0.0	50.0	0.0	0.0
7. その他 (N=230)	34.3	27.0	19.1	3.5	4.3	1.3	10.4

問30(日数:4~6年生)	1日						
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
1. 自宅 (N=376)	14.9	28.5	17.3	7.2	28.5	2.1	1.6
2. 祖父母宅や友人・知人宅 (N=89)	44.9	24.7	11.2	1.1	14.6	2.2	1.1
3. 習い事 (N=419)	19.3	47.7	25.8	5.7	1.2	0.2	0.0
4. 学童保育(留守家庭子ども会) (N=173)	9.2	8.7	20.8	5.2	47.4	8.7	0.0
5. 放課後等の遊び場づくり事業 (N=210)	34.8	27.6	21.0	3.8	10.5	2.4	0.0
6. ファミリー・サポーター・センター (N=6)	50.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
7. その他 (N=150)	36.7	32.7	17.3	4.0	7.3	2.0	0.0

4. 学童保育(希望時間)	1~3年生 (N=442)		4~6年生 (N=173)	
	14時	0.2	0.0	0.0
	15時	0.0	0.0	0.0
	16時	2.9	0.6	0.6
	17時	39.4	34.7	34.7
	18時	39.1	47.4	47.4
	19時	11.8	13.9	13.9
	20時	1.1	1.7	1.7
	無回答	5.4	1.7	1.7

問 30で「4」に○をつけた方にかかっています。

問 30-1 あて名のお子さんについて、土曜日・祝日・長期休業中（夏休み冬休みなど）に、留守家庭子ども会の利用希望はありますか。（○は1つ。枠内に時間帯を記入。（例）9時~18時）

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

N=442

《土曜日》

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 33.3	→	利用したい時間帯	時から	時まで
2. 高学年(4~6年生)の間は利用しても利用したい 16.1	→			
3. 利用する必要がある 45.5	無回答	5.2	【24時間制で記入 例：9時~18時】	

《日曜日・祝日》

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 7.9	→	利用したい時間帯	時から	時まで
2. 高学年(4~6年生)の間は利用しても利用したい 6.6	→			
3. 利用する必要がある 77.6	無回答	7.9	【24時間制で記入 例：9時~18時】	

《長期休暇》

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい 50.0	→	利用したい時間帯	時から	時まで
2. 高学年(4~6年生)の間は利用しても利用したい 39.4	→			
3. 利用する必要がある 8.6	無回答	2.0	【24時間制で記入 例：9時~18時】	

【土曜日・祝日】希望開始時間 (N=442)		【長期休暇】希望開始時間 (N=442)	
終了時間	希望開始時間	終了時間	希望開始時間
7時	1.1	7時	3.4
8時	4.8	8時	37.8
9時	7.7	9時	45.0
10時以降	0.9	10時以降	1.4
無回答	85.5	無回答	12.4

【日曜・祝日】希望開始時間 (N=442)		【長期休暇】希望開始時間 (N=442)	
終了時間	希望開始時間	終了時間	希望開始時間
7時	1.1	7時	3.4
8時	4.8	8時	37.8
9時	7.7	9時	45.0
10時以降	0.9	10時以降	1.4
無回答	85.5	無回答	12.4

すべての方にかかっています。
育児休業など職場の両立支援制度について

問 31 あなたの生活の中の「仕事時間」と「家事（育児）時間」の優先度についてお答えください。

（それぞれ○は1つ）

《希望》

1. 仕事時間を優先	1.7	3. 仕事と家事（育児）を両立	54.5
2. 家事（育児）時間を優先	42.5	無回答	1.3

《現実》

1. 仕事時間を優先	17.5	3. 仕事と家事（育児）を両立	28.0
2. 家事（育児）時間を優先	52.1	無回答	2.4

問 32 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
(それぞれ〇は1つ)

	N=5,066 N=4,852	
	母親	父親
1. 取得した(取得中である)	26.5	1.2
2. 取得していない	4.7	69.5
3. 妊娠・出産を機に離職した	24.1	—
4. 働いていなかった	38.8	0.9
	無回答	28.4

問32-1～問32-8は、母親・父親それぞれの状況をお答えください。

問 32 で「1. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

	N=1,343 N=60	
	母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	75.8	90.0
2. 現在も育児休業中であり、職場に復帰予定である	13.2	—
3. 育児休業中に離職した	10.5	1.7
	無回答	8.3

問 32-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 32-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所(園)入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(それぞれ〇は1つ)

※年度初めの認可保育所(園)入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所(園)に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所(園)に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

	N=1,018 N=54	
	母親	父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	49.8	11.1
2. それ以外だった	46.8	72.2
	無回答	16.7

問 32-3 育児休業は、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月から何歳何ヶ月の間、取得されましたか。また、お勤め先の育児休業の制度が3歳までであった場合、何歳何ヶ月から何歳何ヶ月のときまで取りましたかですか。(枠内に数字を記入)

実際の取得期間	【母親】		【父親】	
	【母親】 (N=1,018)	【父親】 (N=54)	【母親】 (N=1,018)	【父親】 (N=54)
取得期間【開始】	0ヶ月	56.1	40.7	5.6
	1ヶ月	8.3	5.6	11.7
	2ヶ月	18.6	1.9	52.1
	3ヶ月	6.9	1.9	17.2
	4ヶ月以上	1.9	11.1	3.1
	無回答	8.3	38.9	3.1
	取得期間【終了】	～3ヶ月	5.6	27.8
		～6ヶ月	11.7	7.4
		～1歳	52.1	7.4
		～1歳6ヶ月	17.2	3.7
		～2歳	3.1	0.0
		～3歳	3.1	0.0
		無回答	7.2	53.7
希望期間【開始】	0ヶ月	56.1	14.8	0.4
	1ヶ月	8.3	7.4	1.6
	2ヶ月	18.6	0.0	15.9
	3ヶ月	6.9	0.0	11.1
	4ヶ月以上	1.9	5.6	9.3
	無回答	8.3	72.2	25.1
希望期間【終了】	～3ヶ月	0.4	7.4	0.4
	～6ヶ月	1.6	1.9	1.6
	～1歳	15.9	7.4	15.9
	～1歳6ヶ月	11.1	0.0	11.1
	～2歳	9.3	3.7	9.3
	～3歳	25.1	9.3	25.1
	無回答	36.5	70.4	36.5

● 3歳までの制度があった場合の希望

問 32-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 32-4 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。

(1) 「希望」より早く復帰した方(それぞれあてはまる番号すべてに〇)

	N=549 N=8	
	母親	父親
1. 希望する保育所(園)に入るため	38.4	12.5
2. 配偶者や家族の希望があったため	2.7	12.5
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	25.1	37.5
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	20.8	12.5
5. その他()	18.6	12.5
	無回答	22.2

(2) 「希望」より遅く復帰した方(それぞれあてはまる番号すべてに〇)

	N=19 N=0	
	母親	父親
1. 希望する保育所(園)に入れなかったため	47.4	—
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	5.3	—
3. 配偶者や家族の希望があったため	—	—
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	15.8	—
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5.3	—
6. その他()	21.1	—
	無回答	15.8

問 32-5 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ〇は1つ)

	N=1,018 N=54	
	母親	父親
1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	17.0	37.0
2. 利用した	32.1	3.7
3. 利用したかったが、利用しなかった	27.6	7.4
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため (利用できなかった)	2.6	—
5. その他()	4.0	1.9
	無回答	16.7

問 32-5 で「3」と回答した方にうかがいます。

問 32-6 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由はなぜですか。
(枠内にあてはまる番号すべてを記入)

	《母親》		《父親》	
	↑ あてはまる番号をいくつでも記入してください。>	↑	↑	↑
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	67.6	100.0	67.6	100.0
2. 仕事が忙しかった	45.6	75.0	42.7	—
3. 短時間勤務すると給与が減額される	42.7	—	9.3	25.0
4. 短時間勤務にする保育所(園)の入所申請の優先順位が下がる	—	—	—	—
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	7.5	—	—	—
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもえらるなど、子どもをみてくれる人がいた	1.1	—	1.1	—
7. 子育てや家事に専念するため退職した	19.9	—	19.9	—
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	14.2	25.0	14.2	25.0
9. 短時間勤務制度を利用できなかったことを知らなかった	5.7	—	5.7	—
10. その他()	—	—	—	—
	無回答	1.4	無回答	1.4

あて名のお子さんの日ごろの生活について

問 33 あて名のお子さんの朝食のとりの方はどうですか。(○は1つ)

1. 毎日食べる 92.9 3. 週に1~2回しか食べない 0.7 5. 離乳前 2.8
 2. 週に3~4回食べる 2.5 4. ほとんど食べない 0.7 無回答 0.4

問 34 ふだん、お子さんが寝る時刻と起きる時刻は何時頃ですか。(枠内に数字を記入)

寝る時刻	時頃	起きる時刻	時頃
【24時間制で記入例：21時】			
19時まで	2.0	6時まで	19.9
20時	16.6	7時	59.4
21時	53.6	8時	17.3
22時	23.3	9時	2.5
23時以降	4.2	10時以降	0.6
無回答	0.3	無回答	0.4

問 35 忙しいときなど、何らかの理由で子どもにテレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見せておくことがありますか。(○は1つ)

1. よく見せている 36.0 2. 時々そうしている 54.6 3. そのようなことはない 8.9
 無回答 0.5

問 36 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらいの時間、テレビ、ビデオ、携帯・スマートフォン、パソコン・タブレットなどを見ているですか。ゲームをしている時間も含まれます。(○は1つ)

1. 見ていない 4.3 4. 2時間以上~3時間未満 26.5 7. 5時間以上 1.1
 2. 1時間未満 23.4 5. 3時間以上~4時間未満 9.9
 3. 1時間以上~2時間未満 32.1 6. 4時間以上~5時間未満 2.5 無回答 0.3

問 37 あなたは、お子さんと一緒に近くの公園を利用していますか。(○は1つ)

1. よく利用している 21.0 4. 利用していない 7.8
 2. ときどき利用している 51.8 5. 近くに公園がない 2.5
 3. あまり利用していない 16.5 無回答 0.3

問 32-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 32-7 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(それぞれ○は1つ)

	母親	父親
N=177		
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	87.0	-
2. 1歳になる前に復帰したい	5.1	-
	無回答	7.9

問 32で「2. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

問 32-8 育児休業を取得できなかった理由は何ですか。(枠内にあてはまる番号すべてを記入)

《母親》 《父親》

↑ <あてはまる番号をいくつも記入してください。> ↑ 母親(N=237) 父親(N=3370)

- | | | |
|----------------------------------------------|------|------|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった | 11.0 | 32.3 |
| 2. 仕事が忙しかった | 20.3 | 40.5 |
| 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった | 13.9 | 0.2 |
| 4. 仕事に戻るのが難しそうだった | 5.9 | 5.2 |
| 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった | 0.4 | 6.7 |
| 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる | 15.6 | 25.3 |
| 7. 保育所(園)などに預けることができた | 13.5 | 1.7 |
| 8. 配偶者が育児休業制度を利用した | - | 10.0 |
| 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった | 10.1 | 39.4 |
| 10. 子育てや家事に専念するため退職した | 14.3 | 0.1 |
| 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) | 12.7 | 11.4 |
| 12. 育児休業のため育児休業の取得要件を満たさなかった | 6.3 | 0.4 |
| 13. 育児休業を取得できることを知らなかった | 0.4 | 1.6 |
| 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できなかったことを知らず、退職した | 1.7 | - |
| 15. その他() | 28.7 | 5.9 |
| | 無回答 | 9.7 |
| | | 17.5 |

問 32で「3. 妊娠・出産を機に離職した」と回答した方および、問 32-1で「3. 育児休業中に離職した」と回答した方にうかがいます。

問 32-9 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------------------------------|---------|
| 1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた | 6.6 |
| 2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていたら、継続して就労した | 25.7 |
| 3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていたら、継続して就労していた | 14.0 |
| 4. 家庭の考え方や(親族の理解が得られない)等の環境が整っていけば、継続して就労していた | 3.5 |
| 5. いずれにしてもやめていた | 37.5 |
| 6. その他() | 8.8 |
| | 無回答 3.9 |

N=1,362

問 38 あて名のお子さんは、平均すると1日何時間くらい、外で遊びますか。(平日・休日それぞれ○は1つ)

《平日》			
1. 外で遊ばない	11.7	5. 2時間以上～3時間未満	13.4
2. 30分未満	13.5	6. 3時間以上～4時間未満	3.6
3. 30分以上～1時間未満	27.4	7. 4時間以上～5時間未満	0.7
4. 1時間以上～2時間未満	28.1	8. 5時間以上	0.4
			無回答 1.1
《休日》			
1. 外で遊ばない	7.8	5. 2時間以上～3時間未満	17.4
2. 30分未満	9.4	6. 3時間以上～4時間未満	6.6
3. 30分以上～1時間未満	22.0	7. 4時間以上～5時間未満	2.5
4. 1時間以上～2時間未満	31.5	8. 5時間以上	2.1
			無回答 0.7

問 39 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。(○は3つまで)

1. 思いきり遊ぶために十分な広さがない	16.0
2. 近くに遊び場がない	10.6
3. 大声を出したり、ボールやバットを使って自由に安心して遊べる場所がなく、思いきり遊べない	15.0
4. 遊具などの種類が充実していない	31.7
5. 遊具などの設備が古くて危険である	6.2
6. トイレがない	14.6
7. きたない	10.9
8. いつも閑散としていて寂しい感じがする	11.2
9. 緑などの自然が少ない	4.2
10. 遊び場やその周辺の見通しが悪くて、安心して遊べない	3.7
11. 遊び場周辺の道路が危険である	16.5
12. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいらない	10.3
13. 雨の日に遊べる場所がない	47.6
14. その他(具体的に)	8.1
15. 特に感じることはない	10.6
	無回答 1.2

問 40 市内においてお子さんと外出する際、困ること・困ったことは何ですか。(○は3つまで)

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある	13.1
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている	25.5
3. 公共交通機関がベビーカーでの移動に配慮されていない	17.1
4. 建物がベビーカーでの移動に配慮されていない	12.0
5. トイレがオムツ換えや親子での利用に配慮されていない	15.9
6. 授乳する場所や必要な設備がない	9.8
7. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がない	23.8
8. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない	31.7
9. 緑や広い歩道が少ないなど、まち並みにゆとりといるおおいがない	11.1
10. 周回のりや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配	11.9
11. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみる	8.1
12. 荷物や子どもに手をとられて困っている時に手を貸してくれる人が少ない	9.6
13. その他(具体的に)	6.5
14. 特に困る・困ったことはない	14.8
	無回答 1.6

問 41 あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。(○は1つ)

1. 毎日でもお互いの家を行き来する	0.9
2. とときどき家を訪問する	15.9
3. 会えば、世間話をする	30.5
4. 会えば、あいさつをする程度	47.4
5. つきあいはない	4.8
	無回答 0.5

子育てに関する意識について

問 42 あなたが、ほしいと思っている子どもの数は何人ですか。(特内に数字を記入)

また、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(特内に数字を記入)

《ほしいと思っている子どもの数》 《実際に予定している子どもの数》

人	人
---	---

(N=5074)	ほしい	実際
1人	3.0	13.7
2人	38.1	56.0
3人	46.8	24.0
4人以上	8.8	5.1
無回答	3.4	1.2

問 42 で、ほしいと思っている子どもの数よりも、実際に予定している子どもの数が少ない方が多いです。

問 42-1 その理由はどのようなことですか。(○は2つまで)

1. 育児の身体的な負担が大きいため	19.5
2. 育児の精神的な負担が大きいため	9.8
3. 配偶者やパートナーが家事や育児にあまり協力してくれないから	7.6
4. 年齢的な理由で無理だから	25.4
5. 健康上の理由で無理だから	6.2
6. 自分自身のやりたいことができなくなるから	2.9
7. 住まいが狭いから	6.1
8. 子どもを育てるのにお金がかかるから	55.5
9. 仕事ができないう・続けにくいから	14.3
10. 教育に不安があるから	1.4
11. 社会がどうなるかわからず、子どもの将来が不安だから	6.0
12. 十分な愛情をかけてあげたいから	4.6
13. その他(具体的に)	10.3
14. 特に理由はない	2.3
	無回答 1.5

問 43 あて名のお子さんの母親・父親の1週間の家事・育児時間はどれくらいですか。

(1週間の時間を合計して特内に記入)

※「育児時間」とは、子どもの身の回りの世話のほか、遊び相手になること、勉強をみてあげることなど、子どもと一緒に過ごす時間をいいます。

《母親》		N=4,549	
【家事時間】	時間	分/週	分/週
0時間	0.0	0時間	0.0
1～10時間	8.4	1～10時間	8.6
11～20時間	17.1	11～20時間	14.5
21～30時間	33.6	21～30時間	19.4
31～40時間	16.0	31～40時間	13.3
41～50時間	13.0	41～50時間	13.0
51～60時間	4.0	51～60時間	7.9
61～70時間	3.5	61～70時間	8.5
71～80時間	0.7	71～80時間	2.8
81～90時間	1.1	81～90時間	3.9
91～100時間	0.9	91～100時間	3.7
101時間以上	1.6	101時間以上	4.4
			0.0
【育児時間】		N=4,549	
0時間	0.0	0時間	2.1
1～10時間	8.4	1～10時間	8.6
11～20時間	17.1	11～20時間	14.5
21～30時間	33.6	21～30時間	19.4
31～40時間	16.0	31～40時間	13.3
41～50時間	13.0	41～50時間	13.0
51～60時間	4.0	51～60時間	7.9
61～70時間	3.5	61～70時間	8.5
71～80時間	0.7	71～80時間	2.8
81～90時間	1.1	81～90時間	3.9
91～100時間	0.9	91～100時間	3.7
101時間以上	1.6	101時間以上	4.4
			0.0

問 44 あなたのご家庭では、父親はどの程度子育てをしていますか。(○は1つ)

N=4,852

⇒ 該当しない場合は問 45へ

1. 十分にやっている	31.2	3. かなり不足している	14.3
2. 十分とはいえないが、まあやっている	50.6	4. 全くやっていない	2.4
			無回答 1.5

問 45 あなたは、子育てが楽しいですか。(○は1つ)

1. 大変楽しい	18.9	3. つらいと感じることが多い	8.7
2. 楽しいことが多い	70.6	4. とてもつらい	0.4
			無回答 1.4

問 46 子育てに関して不安や負担などはお感じですか。(○は1つ)

1. 不安や負担を感じる	9.4	4. 感じない	6.6
2. 多少は不安や負担を感じる	58.6	5. なんとなくいえない	4.7
3. あまり不安や負担などは感じない	19.7		無回答 0.9

問 47 子育てに関して、日鬱んでいること、または気になることはどのようなことですか。(○は3つまで)

1. 子どもの病気や発育・発達に関する事	21.1
2. 子どもの食事や栄養に関する事	20.4
3. 子どもの遊ばせ方に関する事	11.3
4. 子どものしつけに関する事	43.2
5. 子どものくせや性格に関する事	21.5
6. 子どもの時間を十分にとれないこと	13.8
7. 子どもの教育に関する事	19.5
8. 子どもの友達につきあひ(いじめ等を含む)に関する事	13.7
9. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	6.6
10. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	12.8
11. 子育てをしているうちに世の中から取り残されるような気がする事	3.7
12. 子どもを叱りすぎているような気がする事	27.8
13. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	15.1
14. 子育てで出費がかさむこと	2.7
15. 子育てによる身体の疲れが大きいこと	11.1
16. 子どもを通じた親同士の付き合いに関する事	5.8
17. その他 ()	2.4
18. 特にない	4.5
	無回答 0.8

子育てや子育て支援に関する意見について

問 48 あなたは今後のような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。(○は3つまで)

1. 子どもや親子が安心して集まり、遊びや情報交換ができる場を作してほしい	14.3
2. 子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい	43.9
3. 地域で子どもを見守り、育むしくみを充実してほしい	14.2
4. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作してほしい	6.0
5. 保育所(園)を増やしてほしい	21.5
6. 幼稚園を増やしてほしい	4.3
7. 保育所(園)や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい	52.7
8. 専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい	22.1
9. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい	18.4
10. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい	6.3
11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい	22.3
12. 子育ての楽しさや大切さを広く世の中に知らせしてほしい	6.8
13. 子育てについて学べる機会を作してほしい	5.5
14. その他 ()	6.0
15. 特にない	2.5
	無回答 1.4

◆教育・保育環境の充実や子育て支援など、福岡市の子ども施策に関する取り組みに関して福岡市へのご意見がございましたら、自由にご記入ください。

◆子どもをどのように育てたいと思いますか。また、就学前の教育・保育によって、子どもにどのようなことを身に付けてもらいたいのですか。自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございます。ご返信は封筒に入れ、ご投函ください。

福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(小学生の保護者の方)

日ごろより福岡市政にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。
さて、福岡市では「新・福岡市子ども総合計画」(平成22～26年度)に基づき子ども施策を推進しておりますが、平成27年度にスタートする第4次福岡市子ども総合計画を策定するにあたり、市民の皆様の子育て環境や意識、ご意見などを把握するために、本調査を実施いたします。

この調査は、住民基本台帳の中から無作為に抽出した小学生のお子さんを持つ保護者の方にご協力をお願いするものです。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は西日本新聞社に委託し、実施しております。

平成25年10月
福岡市

ご記入に際してのお願い

※ ご回答いただいた内容は、福岡市や国、県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきます。他の目的に利用することは一切ございません。

- (1) 保護者の方が記入してください。
- (2) 封筒のあて名のお子さんについてお答え下さい。
- (3) 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
- (4) 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- (5) 時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例:午後1時→13時)で記入してください。
- (6) 記入が終わりまりましたら、同封の返信用封筒に入れ、11月11日(月)までにご投函ください。返信用封筒に切手は不要です。
- (7) 記入者の住所、氏名は、調査票、返信用封筒ともにお書きにならなくて結構です。
- (8) このアンケートに関するご質問は下記までご連絡下さい。

問合せ先 ■調査票に関すること

株式会社西日本新聞社 お客様センター 調査・マーケティンググループ

電話：711-5313 FAX：711-9757

■福岡市子ども行政、福岡市子ども総合計画に関すること

福岡市子ども未来局 ことば部総務企画課

電話：711-4170 FAX：733-5534

お子さんご家族の状況について

問1 あて名のお子さんは何年生ですか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 小学校1年生 16.6 | 3. 小学校3年生 18.0 | 5. 小学校5年生 17.1 |
| 2. 小学校2年生 17.3 | 4. 小学校4年生 15.9 | 6. 小学校6年生 15.0 |
- 無回答 0.1

問2 あて名のお子さんを含め、お子さん(年齢は問いません)は何人いらっしゃいますか。

また、お子さんが2人以上いる場合には、末子の生年月をご記入ください。(枠内に数字を記入)

きょうだい数 (N=1588)

1人	13.8
2人	53.7
3人	26.3
4人	4.7
5人以上	1.1
無回答	0.4

末子の年齢 (N=1369)

0歳	3.1
1～2歳	10.7
3～5歳	21.7
6～9歳	42.9
10歳～	16.4
無回答	5.2

きょうだい数 (あて名のお子さんを含む)

末子の生年月 平成 年 月 生まれ

問3 あて名のお子さんの母親・父親の年代はどのくらいですか。(○は1つ)

《母親》

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 29歳以下 1.7 | 3. 35～39歳 31.0 | 5. 45～49歳 15.8 |
| 2. 30～34歳 10.6 | 4. 40～44歳 38.4 | 6. 50歳以上 1.8 |
- 無回答 0.6

《父親》

- | | | |
|---------------|----------------|----------------|
| 1. 29歳以下 0.6 | 3. 35～39歳 23.1 | 5. 45～49歳 19.4 |
| 2. 30～34歳 6.8 | 4. 40～44歳 36.3 | 6. 50歳以上 9.6 |
- 無回答 4.2

問4 現在お住まいの地域での居住年数はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|---------------------|--------------|
| 1. 1年未満 6.0 | 4. 5年以上～10年未満 37.2 | 7. 20年以上 4.3 |
| 2. 1年以上～3年未満 13.5 | 5. 10年以上～15年未満 22.6 | |
| 3. 3年以上～5年未満 12.0 | 6. 15年以上～20年未満 4.2 | 無回答 0.3 |

問5 あて名のお子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。結婚はあて名のお子さんから見ただけです。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|----------------|
| 1. 父母ともに 50.3 | 3. 主に父親 1.1 | 5. その他 (0.2) |
| 2. 主に母親 46.7 | 4. 主に祖父母 1.4 | 無回答 0.4 |

問6 このアンケート調査の記入者はどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-----------|----------------|
| 1. 母親 94.1 | 3. 祖母 0.2 | 5. その他 (0.2) |
| 2. 父親 5.3 | 4. 祖父 0.1 | 無回答 0.2 |

問7 お住まいの区はどこですか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 1. 東区 20.7 | 3. 中央区 9.4 | 5. 城南区 9.4 | 7. 西区 13.6 |
| 2. 博多区 11.1 | 4. 南区 17.0 | 6. 早良区 18.5 | 無回答 0.2 |

問 8 あて名のお子さんとの同居・近居の状況について、選んでください。続柄はあて名のお子さんからみただけです。(当てはまる番号すべてに○)

1. 父母同居 (単身赴任別居を含む) 89.7 5. 祖母同居 7.9 無回答 0.8
 2. 父同居 (ひとり親家庭) 0.7 6. 祖父同居 5.8
 3. 母同居 (ひとり親家庭) 7.8 7. 祖母近居 7.4
 4. 祖父同居 4.8 8. その他 1.5

お子さんの保護者の就労状況について

ここでは、この区分によりご回答ください。
 フルタイム・・・・・・・・・・1週5日程度・1日8時間程度の就労
 パート・アルバイト等・・・フルタイム以外

N=1,464
 問 9 父親の現在の就労状況 (自営業、家族従事者含む) について、選んでください。(○は1つ)
 【該当しない場合は記載不要です。】

1. 就労している (フルタイム：育児・介護休業中は含まない) 95.2
 → 1週当たりの平均就労時間は 時間 働いている日の平均的な帰宅時刻 時
 【24時間制で記入 例:18時】
 2. 就労している (フルタイムだが育児・介護休業中) -
 3. 就労している (パートタイム、アルバイト等) 1.0
 → 1週当たり 日、1日当たり 時間
 → フルタイムへの転換希望がありますか。 1. ある (すぐにも又は1年以内に) 40.0
 N=15 2. ある (いずれは) 40.0 無回答 6.7
 3. ない 13.3
 4. 以前は就労していたが、現在は就労していない 2.3
 5. これまでに就労したことがない 0.1 無回答 1.4

N=1,577
 問 10 母親の現在の就労状況 (自営業、家族従事者含む) について、選んでください。(○は1つ)
 【該当しない場合は記載不要です。】

1. 就労している (フルタイム：産休・育児・介護休業中は含まない) 21.0
 → 1週当たりの平均就労時間は 時間 働いている日の平均的な帰宅時刻 時
 【24時間制で記入 例:18時】
 2. 就労している (フルタイムだが育児・介護休業中) 1.1
 3. 就労している (パートタイム、アルバイト等) 37.9
 → 1週当たり 日、1日当たり 時間
 → フルタイムへの転換希望がありますか。 1. ある (すぐにも又は1年以内に) 6.9
 N=597 2. ある (いずれは) 40.5 無回答 10.7
 3. ない 41.9
 4. 以前は就労していたが、現在は就労していない 31.8 ⇒ 問10-1へ
 5. これまでに就労したことがない 6.7 無回答 1.6

フルタイム：就労時間(週あたり)

父親(N=1394)	母親(N=331)	
40～49時間	34.0	66.5
50～59時間	28.3	9.7
60～69時間	17.0	3.0
70～79時間	7.5	0.3
80～89時間	2.2	0.3
90時間以上	1.1	0.6
無回答	9.9	19.6

フルタイム：帰宅時刻

父親(N=1394)	母親(N=331)	
1～6時台	2.7	0.0
7～12時台	4.3	1.2
13～15時台	0.8	2.1
16時台	0.1	2.7
17時台	0.1	9.4
18時台	7.0	35.0
19時台	16.1	31.1
20時台	21.5	10.0
21時以降	41.5	4.2
無回答	5.2	4.2

パート・アルバイト：就労日数(週あたり)

父親(N=15)	母親(N=597)	
1日	0.0	2.2
2日	6.7	6.0
3日	6.7	13.3
4日	33.3	13.7
5日	33.3	26.6
6日	13.3	40.4
7日	0.0	0.3
無回答	6.7	6.7

問 10 で「4」または「5」を選んだ方にかがいます。

問 10-1 母親の就労希望はありますか。(○は1つ)

N=606

1. すぐにも又は1年以内に希望がある 32.2
 2. 1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい 44.1 ⇒ 問10-2へ
 3. ない 22.4 ⇒ 問11へ 無回答 1.3

問 10-1 で「1」または「2」を選んだ方にかがいます。

問 10-2 就労希望の形態はどのようなものですか。(○は1つ)

N=462

1. フルタイムによる就労 8.4
 2. パートタイム、アルバイト等による就労 84.4
 ⇒ 1週当たり 日・1日当たり 時間
 無回答 7.1

希望就労日数(週)	希望就労時間(日) (N=390)
1日	0.0
2日	2.1
3日	39.7
4日	31.8
5日	23.8
6日	0.3
7日	0.0
無回答	2.3
3時間以内	4.4
4時間	23.1
5時間	47.2
6時間	19.0
7時間以上	3.6
無回答	2.8

問 10-3 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(○は1つ)

N=462

1. 留守家庭子ども会 (学童保育) などのサービスが利用できない 1.3
 2. 働きながら子育てのできる適当な仕事がない 22.3
 3. 自分の知識、能力にあう仕事がない 2.8
 4. 子どもが小さいうちは、自分が家についてあげたい 45.0
 5. 家族の考え方 (親族の理解が得られない) 等就労する環境が整っていない 3.5
 6. その他 17.1 無回答 8.0

問 10-1 で「2」を選んだ方にかがいます。

問 10-4 あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。
 (枠内に数字を記入)

1～2歳	1.9
3～5歳	10.1
6～8歳	29.2
9歳以上	43.8
無回答	15.0

(N=267)

歳になったとき

留守家庭子ども会等の利用について

問11 あて名のお子さんについて、現在、留守家庭子ども会（留守家庭子どもクラブを含む）を利用していますか。(○は1つ)

- ※ 「留守家庭子ども会」とは、保護者が仕事などにより昼間家庭にいない児童を対象に遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る事業です。放課後児童クラブや学童保育なども呼ばれています。
- ※ 「留守家庭子どもクラブ」とは、この事業を保育所・幼稚園で実施しているものです。放課後児童クラブや学童保育なども呼ばれています。

1. 利用している 13.8 ⇒ 問11-1へ
 2. 利用していない 83.2 ⇒ 問11-2へ
 無回答 3.0

問11で「1」を選んだ方にうかがいます。

問11-1 留守家庭子ども会の利用日数はどれくらいですか。(N=219)

1日	2.3
2日	2.7
3日	8.2
4日	10.0
5日	66.2
6日	10.0
無回答	0.5

- 週 日くらい ⇒ うち土曜日の利用 (1. ある 15.1 2. ない 83.6 無回答 1.4)

② どういう理由で利用していますか。(○は1つ)

N=219

【お子さんの子育てを主にしている方が】	
1. 現在就労している	94.5
2. 妊娠中である/出産後間もない	1.4
3. 家族・親族などを介護しなければならない	—
4. 病気や障がいを持っている	0.9
5. 学生である	0.9
6. その他	1.8

③ 留守家庭子ども会で、今後充実してほしいことは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

N=219

1. 施設や設備を充実してほしい	19.6
2. 指導員の増員や指導内容の充実をしてほしい	21.5
3. 日曜日・祝日も開設してほしい	8.2
4. 夏休みなど、学校休業日の開始時間（現在8時30分から）を早めてほしい	50.7
5. 必要な時だけ利用できるようにしてほしい	25.6
6. 施設数を増やし、小学校敷地以外でも実施してほしい	5.5
7. その他（	25.1
8. 特にない	14.6
無回答	0.5

問11で「2」を選んだ方にうかがいます。

問11-2 利用していない理由はなぜですか。(○は1つ)

N=1,322

【お子さんの子育てを主にしている方が】	
1. 現在就労していないから	45.4
2. 留守家庭子ども会を知らなかったから	0.2
3. 留守家庭子ども会がないから	0.5
4. 留守家庭子ども会に空きがないから	—
5. 留守家庭子ども会の開所時間が短いから	0.5
6. 就労しているが、留守家庭子ども会は利用料がかかるから	3.3
7. 子どもは放課後のクラブ活動や習い事をしているから	8.2
8. 放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから	16.9
9. 他の施設に預けているから	0.2
10. 校区の留守家庭子ども会が高学年児童の受入を行っていないから	1.8
11. その他	21.2
無回答	1.7

すべての方にうかがいます。

問12 福岡市では、全児童が利用できる、平日の放課後に実施している「放課後の遊び場づくり事業（わいわい広場）」、土・日など学校が休みの時に実施している「昼間校庭開放事業」がありますが、その利用意向はありますか。(それぞれについて○は1つ。意向がある場合は、希望日教も記入。)

※ 「放課後の遊び場づくり事業」とは、すべての児童を対象に、放課後の学校施設を活用して安全な遊び場を確保し、子どもたちの健全育成を図る事業です。現在、市内61ヶ所の小学校で実施しており、参加費用は無料ですが保険料などは参加者の負担です。

※ 「昼間校庭開放事業」とは、子どもたちの安全な遊び場を確保するために、土・日等学校が休みの日に小学校の校庭を開放する事業です。市内のほとんどの小学校で実施しています。また、年一回「遊びの巡回教室」を実施しています。(N=715)

《放課後の遊び場づくり事業》

1. 参加させたい	45.0	⇒	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 参加させたいとは思わない	19.5				
3. わからない	32.8				
無回答	2.7				

《昼間校庭開放事業》

1. 参加させたい	41.4	⇒	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 参加させたいとは思わない	17.2				
3. わからない	38.0				
無回答	3.4				

お子さんの病気の時の対応について

問13 この1年間に、あて名のお子さんが病気で学校を休まなければならなかったことはありますか。(○は1つ)

1. あった 61.3 ⇒ 問13-1へ
 2. なかった 37.0 ⇒ 問14へ
 無回答 1.7

問 13 で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 13-1 この1年間の対応はどのような感じでしたか。(あてはまる番号すべてに○、枠内に数字を記入。半日程度についても1日としてカウント。)

※「病児・病後児保育」とは、お子さんが病気の際、保護者の仕事の都合などで、自宅で看病できない場合、病院等の病児デイケアルームで預かる制度。

N=973

1年間の対応方法	1年間の対応方法										
	1日	2日	3日	4日	5日	6~10日	11日以上	無回答			
1 父親が休んだ (N=56)	5.8	48.2	23.2	7.1	3.6	3.6	7.1	1.8	5.4		
2 母親が休んだ (N=385)	39.6	38.4	22.6	14.5	3.9	8.3	5.2	0.8	6.2		
3 (同居人を含む) 親族・知人に預けた (N=150)	15.4	45.3	20.0	14.7	4.0	6.7	2.0	0.7	6.7		
4 就労していない保護者がみた (N=389)	40.0	21.6	21.1	14.4	3.9	7.5	10.3	2.6	18.8		
5 病児・病後児保育(病児デイケアルーム)を利用した (N=16)	1.6	50.0	25.0	18.8	-	-	-	-	6.3		
6 ベビーシッターを頼んだ (N=2)	0.2	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-		
7 仕方なく子どもだけで留守番させた (N=108)	11.1	59.3	11.1	10.2	2.8	2.8	7.4	-	6.5		
8 その他 (N=44)	4.5	25.0	18.2	9.1	2.3	4.5	2.3	-	38.6		
	無回答	1.6									

問 13-2

問 13-1 で「1」～「3」を選んだ方にうかがいます。

問 13-2 その際、できれば病児デイケアルーム等に預けたいと思う日数はどれくらいありますか。(枠内に日数を記入)

1日	40.2
2日	30.4
3日	11.8
4日	2.9
5日	5.9
6~10日	6.9
11日以上	2.0
無回答	0.0

お子さんの一時預かりについて

問 14 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	19.1	⇒ 問 14-1
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	42.6	⇒ 問 14-1
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる	4.0	⇒ 問 14-2
4. 緊急時又は用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる	18.7	⇒ 問 14-2
5. いずれもない	25.5	⇒ 問 15
	無回答 2.6	

問 14 で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。

問 14-1 祖父母等に預かってもらっているときの気持ちはどうでしたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に問題はない	54.1
2. 祖父母等の身体的負担が大きく心配である	22.7
3. 祖父母等の時間的制約が大きく心配である	16.5
4. 祖父母等の精神的な負担が大きく心配である	10.4
5. 負担をかけていることが心苦しい	29.0
6. その他	2.8
	無回答 1.1

N=935

問 14 で「3」または「4」を選んだ方にうかがいます。

問 14-2 友人や知人に預かってもらっているときの気持ちはどうでしたか。(あてはまる番号すべてに○)

N=341

1. 特に問題はない	37.2
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である	5.9
3. 友人・知人の時間的制約が大きく心配である	19.4
4. 友人・知人の精神的な負担が大きく心配である	11.1
5. 負担をかけていることが心苦しい	47.5
6. その他	4.4
	無回答 0.9

すべての方にうかがいます。

問 15 この1年間で、私用(買物、習い事、スポーツ、宴会、美容院など)やリフレッシュ、冠婚葬祭、保護者の病氣、就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(半日程度につき1回、1回以上を1回としてカウントしてください。)

1日	12.8
2~3日	23.9
4~5日	17.2
6~10日	15.9
11~30日	20.7
31~50日	4.1
51日以上	4.1
無回答	1.3

1. ある 34.0 ⇒ 年間

2. ない 64.4 無回答 1.6

問 15 で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 15-1 預けた日数を目的別に枠内に数字をご記入ください。

[私用(買物、習い事等)、リフレッシュ] ⇒ 年間 日

[冠婚葬祭、保護者の病氣] ⇒ 年間 日

[就労] ⇒ 年間 日

私用等 (N=344)	17.2	13.1
冠婚葬祭等 (N=161)	35.4	13.1
就労 (N=245)	28.8	36.6
	19.8	12.4
	17.4	8.1
	13.4	6.2
	2.9	1.2
	0.6	0.0
	0.0	0.0

ファミリー・サポート・センターの利用について

問 16 ファミリー・サポート・センターを利用していますか。(○は1つ)

※「ファミリー・サポート・センター」とは、子どもを預けたい人と子どもを預かりたい人を会員登録しておき、保育所までの送迎や留守家庭子ども会の終了後の預かりなど、地域の中で育児の相互援助活動を行う制度。(利用料:1時間600円~)

1. 利用している	1.8	⇒ 問 16-1
2. 知っているが、利用していない	61.2	⇒ 問 16-4
3. 知らない	36.6	⇒ 問 16-4
	無回答 0.4	

子育て支援サービスの認知度・利用の意向について

問 16 で「1」を選んだ方にかがいます。

問 16-1 どのような目的で利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 主たる保育サービスとして利用している	14.3
2. 仕事で送迎が難しいときに利用している	10.7
3. 留守家庭子ども会などの利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)	3.6
4. 留守家庭子ども会などの送り迎えに利用している	—
5. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	17.9
6. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	7.1
7. 子育てのリフレッシュのために利用している	7.1
8. その他	46.4
	無回答 7.1

N=28

問 16-2 どれくらいの頻度で利用していますか。(枠内に数字を記入、不定期の場合は、不定期に○)

月に	日くらい	1回あたり	時間程度	利用頻度	利用時間
					(N=28)
				月に1日	3.6
				月に2日	0.0
				月に3日	0.0
				月に4日	3.6
				月に5日以上	0.0
				不定期の利用	64.3
				無回答	28.6

問 16-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。(希望がある場合のみ、枠内に数字を記入)

月に	日 (回) くらい増やしたい	(N=1)
		1回
		2回
		3回
		4回以上
		無回答
		0.0
		100.0
		0.0
		0.0
		0.0

問 16 で「2」または「3」を選んだ方にかがいます。

問 16-4 今後利用したいと思いますか。(希望がある場合のみ、枠内に数字を記入)

月に	日 (回) くらい	(N=97)
		1回
		2~3回
		4~5回
		6回以上
		無回答
		45.4
		33.0
		15.5
		6.2
		0.0

問 17 下記福岡市の子育て支援サービスを知っていますか。また、これまでに利用したことはありますか。今後利用したいと思いますか。

①~⑨までのサービスごとに、A、B、Cのそれぞれについて、はいの場合は「1」、いいえの場合は「2」のどちらかに○をつけてください。

サービスの種類	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい				
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ			
①公民館や市民センターなどの子育て教室、講座	82.4	15.2	2.5	41.1	50.9	7.9	39.9	49.0	11.1
②子ども総合相談センター(えがお館)での相談対応(電話を含む)	49.6	47.8	2.6	6.5	83.3	10.1	24.1	64.5	11.3
③区保健福祉センターでの相談対応(電話を含む)	52.4	44.4	3.2	7.7	81.7	10.6	23.6	64.4	12.1
④公民館や市民センターでの子ども向け事業	76.1	21.1	2.8	38.4	53.0	8.7	55.2	34.4	10.4
⑤小学校での放課後等の遊び場づくり事業(わいわい広場等)	76.0	21.5	2.5	30.5	61.6	7.9	52.1	37.7	10.2
⑥小学校での昼間校庭開放事業	66.9	29.8	3.2	29.5	61.3	9.1	56.4	32.8	10.8
⑦少年科学文化館での子ども向け事業	73.0	24.2	2.8	37.4	54.1	8.5	66.5	23.9	9.6
⑧中央児童会館の子育て支援事業	48.4	48.9	2.7	14.8	75.9	9.3	31.0	58.4	10.6
⑨市のホームページ	63.5	33.9	2.6	32.6	58.3	9.1	53.3	36.5	10.3

子育てに関する情報について

問 18 あなたは、いま子育てについてどんな情報を得たいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの発育や病気について	29.8	7. 子育ての相談窓口について	11.0
2. 子どもの食事や栄養について	20.3	8. 子育ての手当や公的助成について	32.7
3. 子どものしつけや勉強について	44.3	9. 家庭教育に関する講座や講演会などについて	17.6
4. 習い事や学習塾について	43.5	10. 子どもの一時預かりについて	13.5
5. 子どもが参加できるイベントについて	60.9	11. その他	2.3
6. 子どもの遊び場や施設について	53.1		無回答 3.3

問 19 あなたは、その知りたい情報を何から得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 親族(親、きょうだいなど)	24.1	8. テレビ、ラジオ、新聞	36.5
2. 近所の人、地域の知人、友人	48.8	9. 子育て雑誌、育児書	16.8
3. 保護者仲間	61.5	10. フリーペーパー	26.7
4. 小学校	46.7	11. インターネット	51.6
5. 区役所(保健福祉センター、市民センター等)	7.2	12. 情報の入手手段がわからない	0.5
6. 市の広報紙やパンフレット、公民館より	46.7	13. その他()	1.0
7. 市や区のホームページ	16.4		無回答 2.6

子育てに関する悩みや相談について

問 20 あなたの配偶者は、あて名のおおさんの子育てについての悩みや相談をきいてくれますか。(○は1つ)

1. よくきいてくれる 45.7
 2. まあきいてくれる 36.4
 3. あまりきいてくれない 7.5
 4. まったくきいてくれない 1.7
 5. 配偶者はいない 6.7
- 無回答 2.0

問 21 あなたには子育てについて、身近に配偶者や親族以外で気軽に相談できる人はいますか。(○は1つ)

1. たくさんいる 29.7
 2. 少しはいる 57.0
 3. あまりいない 9.3
 4. まったくいない 3.1
- 無回答 0.8

問 22 あなたが子育てに関して、悩んでいることや気になることはありますか。(○は3つまで)

1. 子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身についていない	25.4
2. 子どものしつけや教育に自信がもてない	19.4
3. 子どものしつけや教育についての相談相手がいらない	2.1
4. 配偶者があまり協力してくれない	4.4
5. 子どもが勉強しない	11.7
6. 子どもの進学や受験、又は就職のこと	26.7
7. 子どもが反抗的で、なかなか言うことをきかない	9.8
8. 子どもの生活態度が消極的である	6.0
9. 子どもが友達づきあいがいい(いじめなどを含む)に関すること	25.1
10. 不登校などの問題について	1.8
11. 子どもの身体の発育や病気のこと	10.5
12. 子どもが非行や問題行動	1.2
13. 子育てで出費がかさむこと	25.6
14. その他()	2.9
15. 特になし	18.2

無回答 2.1

問 23 あなたが子育てについて不安に思ったり、困ったりすることやわからないことがある場合、誰(どこ)に相談されますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 配偶者・パートナー	75.3	10. 警察署・交番	0.1
2. その他の親族(親、きょうだいなど)	59.6	11. 民生委員・児童委員、主任児童委員	0.4
3. 友人	66.1	12. こども総合相談センター(えががお館)	2.6
4. 隣近所の人、地域の知人	15.7	13. 民間の電話相談	0.3
5. 職場の人	19.3	14. インターネットや育児書で解決策を探す	16.5
6. 学校等の保護者仲間	31.9	15. その他()	1.1
7. 学校の先生	31.4	16. 相談相手がいらない	0.9
8. 区保健福祉センター(保健所、福祉事務所)	1.2	17. 相談することがない	0.8
9. 病院	6.6		無回答 3.1

子育てについて

問 24 あなたは、あて名のおおさんの子育てが楽しいですか。(○は1つ)

1. 大変楽しい 24.2
 2. 楽しいことが多い 62.6
 3. つらいと感じることが多い 8.6
 4. とってもつらい 0.3
- 無回答 4.3

問 25 母親と父親の1週間の家事・子育ての時間はどれくらいですか。1週間の時間を合計して枠内にご記入ください。

※ 子育ての時間とは、子どもの身の回りの世話や遊び相手、勉強をみてあげることなど、子どもと一緒に過ごす時間をいいます。

《母親》

【家事時間】	時間	分/週	【育児時間】	時間	分/週
--------	----	-----	--------	----	-----

《父親》

【家事時間】	時間	分/週	【育児時間】	時間	分/週
--------	----	-----	--------	----	-----

【家事時間】		【育児時間】	
母親	父親	母親	父親
1~10時間	7.3	1~10時間	17.5
11~20時間	14.3	11~20時間	18.3
21~30時間	29.4	21~30時間	21.1
31~40時間	14.2	31~40時間	10.6
41~50時間	11.3	41~50時間	8.9
51~60時間	3.7	51~60時間	4.6
61~70時間	3.2	61~70時間	2.3
71~80時間	0.3	71~80時間	0.9
81~90時間	1.1	81~90時間	0.6
91~100時間	0.3	91~100時間	0.4
101時間以上	0.9	101時間以上	0.6
無回答	14.0	無回答	14.1

(N=1577) (N=1464) (N=1577) (N=1464)

問 26 あなたのご家庭では、父親ほどの程度子育てをしていますか。(○は1つ)

N=1,464 ⇒該当しない場合は問27へ

1. 十分やっている 26.7
 2. 十分とはいえないが、まあやっている 46.2
 3. かなり不足している 18.0
 4. 全くやっていない 4.0
- 無回答 5.1

問27 あなたの生活の中で「仕事時間」と「家事（子育て）時間」の優先度はどうですか。
 （希望と現実それぞれについて、○は1つ）

《希望》

1. 仕事時間を優先 1.3 3. 仕事と家事（子育て）を両立 53.6
 2. 家事（子育て）時間を優先 38.8 無回答 6.3

《現実》

1. 仕事時間を優先 22.0 3. 仕事と家事（子育て）を両立 29.2
 2. 家事（子育て）時間を優先 42.3 無回答 6.6

問28 あなたは、あて名のお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしりしている時間が1日にどのくらいありますか。食事時間を含みます。（平日・休日それぞれに○は1つずつ）

《平日》

1. ほとんどない 2.5 3. 1～2時間程度 40.2 5. 5～6時間程度 13.9
 2. 30分程度 5.8 4. 3～4時間程度 31.4 6. 7時間以上 3.3 無回答 2.9

《休日》

1. ほとんどない 0.6 3. 1～2時間程度 9.6 5. 5～6時間程度 26.1
 2. 30分程度 0.8 4. 3～4時間程度 20.5 6. 7時間以上 38.9 無回答 3.6

問29 あなたは、ご自分があて名のお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思いますか。
 （平日・休日それぞれに○は1つずつ）

《平日》

1. 十分 21.2 2. まあ十分 38.5 3. やや不足している 27.6 4. まったく不足している 9.9
 無回答 2.8

《休日》

1. 十分 31.0 2. まあ十分 44.1 3. やや不足している 17.7 4. まったく不足している 4.3
 無回答 2.8

問30 あなたは、あて名のお子さんとの関係についてどのよう感じていますか。（○は1つ）

1. うまくいっている 45.6 3. あまりうまくいっていない 3.3
 2. だいたいうまくいっている 48.0 4. うまくいっていない 0.4 無回答 2.7

問31 あなたは、あて名のお子さんの家庭での役割（手伝い）を決めていますか。（○は1つ）

1. 役割を決めて、子どもは手伝いをしている 31.6
 2. 役割を決めているが、子どもは手伝いをしていない 8.8
 3. 役割を決めていないが、子どもは手伝いをしている 43.1
 4. 役割を決めておらず、子どもも手伝いをしていない 13.8 無回答 2.8

問32 お子さんに対する、あて名の日ごろのしつけ（態度）はどのようになっていますか。
 （①～⑦について、それぞれ○は1つずつ）

	いつも そうである	とき そうである	とき そうではない	無回答
① 子どもが何かやっているとすぐ手伝ってしまふ方だ	4.6	61.0	33.7	0.8
② 子どもについて何でもすぐ口を出す方だ	21.0	65.8	12.5	0.7
③ 子どもにあまりかまってもやれない方だ	8.1	50.9	40.3	0.7
④ 時と場合によっては、子どもに言うことが違うことがある	2.5	60.3	36.4	0.8
⑤ だいたい子どもの言いなりになっている方だ	1.6	25.0	72.7	0.6
⑥ 体罰をすることがある	0.9	36.5	61.8	0.8
⑦ 子どものことを分かっている方だ	31.9	61.8	5.0	1.2

問33 あなたは、あて名のお子さんが次のようなことをした場合は、しかったり、注意したりしますか。
 （⑩～⑭について、それぞれ○は1つずつ）

	強くかったり 注意したり するだろう	しかったり 注意したり するだろう	しからなかつ たり注意しな かったらう	無回答
① 食べ物の好き嫌いをしたときは	4.9	79.7	14.4	1.1
② 衣服や道具の後始末をしなかつたときは	22.6	74.3	2.1	0.9
③ よくない言葉づかいや態度をとったときは	63.7	34.8	0.8	0.8
④ お金のむだづかいをしたときは	36.1	59.6	2.8	1.4
⑤ 異性の友だちとつき合ったときは	4.3	39.0	52.8	3.9
⑥ 無断で外泊したときは	89.7	6.6	1.1	2.6
⑦ 学校の成績が下がったときは	6.0	66.0	25.9	2.0
⑧ 交通ルールを守らなかつたときは	74.0	24.2	0.6	1.3
⑨ タバコを吸ったときは	88.2	8.4	0.9	2.5
⑩ お酒を飲んだときは	85.3	11.2	1.1	2.5

問34 あなたは、あて名のお子さんの将来に何を期待しますか（○は3つまで）

1. 丈夫に育ち、健康でいて欲しい	78.8	8. 経済的に豊かなくらしをして欲しい	12.4
2. 自分の意見をきちんと言えて欲しい	34.5	9. 家族やまわりの人々と明るく円満に暮らして欲しい	56.7
3. 思いやりがあつて欲しい	47.7	10. 社会に貢献して欲しい	6.8
4. 趣味・ライフワークをもつて欲しい	5.9	11. 社会的に地位を得て欲しい	0.8
5. 有名企業に就職して欲しい	0.2	12. その他（	0.9）
6. 本人の才能や個性を生かした仕事をして欲しい	13. 何も期待しない		—
7. 経済的に自立して欲しい	21.3	27.8	無回答 0.6

お子さんの日頃の生活について

問 35 あて名のお子さんの朝食のとり方はどうですか。(○は1つ)

1. 毎日食べる	95.9	3. 週に1~2回しか食べない	1.1	無回答	0.6
2. 週に3~4回食べる	1.9	4. ほとんど食べない	0.6		

問 36 1週間のうち、夕食を家族そろってとる回数は何回ですか。(○は1つ)

1. 毎日一緒に食べる	37.5	3. 週に1~2回しか一緒に食べない	33.5	無回答	0.6
2. 週に3~4回一緒に食べる	23.9	4. ほとんど一緒に食べない	4.5		

問 37 ふつう、あて名のお子さんが寝る時刻と起きる時刻は何時頃ですか。(枠内に数字を記入)

寝る時刻	時頃	起きる時刻	時頃
【24時間制で記入 例:21時】			
起る時刻 (N=1588)	20時台	3.4	0.4
	21時台	42.6	30.6
	22時台	44.1	67.8
	23時台	8.5	0.6
	24時以降	0.9	0.6
	無回答	0.5	

問 38 平日の放課後、あて名のお子さんは、主にどのようなように過ごされていますか。

(時間帯ごとに、最も多いものを1つずつ選び、下の表に番号を記入)

放課後~17時	17~18時	18~19時	19時以降	
放課後~17時/17~18時/18~19時/19時以降				
1. 学校にいる	6.0	0.5	0.6	0.8
2. 留守家庭子ども会で過ごす	12.1	2.6	1.3	0.1
3. 保護者や祖父母など家族・親族(大人)と過ごす	24.7	37.4	72.2	88.5
4. 家で兄弟姉妹や友達など、子どもだけで過ごす	6.7	8.1	4.5	2.3
5. 家でひとりで過ごす	4.8	3.6	2.2	0.8
6. 友だちの家にいる	4.3	3.3	0.2	-
7. 公園などで友だちと遊んでいる	28.7	16.8	0.2	-
8. 公民館や図書館など公共の施設にいる(施設名:)	-	-	-	-
9. クラブ活動や地域活動(子ども会活動やスポーツ活動)をする	1.5	5.2	4.4	0.8
10. 学習塾や習い事に行っている	7.6	19.8	11.3	3.4
11. その他	2.0	1.3	0.6	0.7
無回答	1.4	1.4	2.6	2.6

問 39 あて名のお子さんは、日ごろどんな友達と遊ぶことが一番多いですか。
(平日の放課後・休日それぞれ最も多いものを1つずつ選び、番号を枠内に記入)

	平日	休日	平日	休日
1. 学校の友だち	72.0	30.9	2.6	8.4
2. 近所の友だちや幼なじみ	12.1	21.2	3.7	19.6
3. 塾やクラブ活動、けいこごとの友だち	5.7	10.9	2.2	5.0
4. その他			1.8	3.9
5. 家族・きょうだい				
6. 遊ばない				
無回答				

平日の放課後は→ 休日は→

問 40 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらい時間の時間、外で遊びますか。
(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

《平日》

1. 外で遊ばない	16.9	5. 2時間以上~3時間未満	8.4
2. 30分未満	13.2	6. 3時間以上~4時間未満	0.7
3. 30分以上~1時間未満	24.4	7. 4時間以上~5時間未満	0.3
4. 1時間以上~2時間未満	33.5	8. 5時間以上	0.1
無回答			2.5

《休日》

1. 外で遊ばない	14.2	5. 2時間以上~3時間未満	17.7
2. 30分未満	6.2	6. 3時間以上~4時間未満	12.5
3. 30分以上~1時間未満	10.6	7. 4時間以上~5時間未満	7.3
4. 1時間以上~2時間未満	21.5	8. 5時間以上	7.4
無回答			2.8

問 41 あて名のお子さんは、平均すると1日どれくらい時間の時間、テレビやDVDを見ていますか。
ゲームをしている時間も含まれます。(平日・休日それぞれに○は1つずつ)

《平日》

1. 見ていない	2.5	5. 3時間以上~4時間未満	8.6
2. 1時間未満	19.5	6. 4時間以上~5時間未満	2.2
3. 1時間以上~2時間未満	39.7	7. 5時間以上	1.4
4. 2時間以上~3時間未満	24.1	無回答	2.1

《休日》

1. 見ていない	0.6	5. 3時間以上~4時間未満	22.3
2. 1時間未満	5.3	6. 4時間以上~5時間未満	10.3
3. 1時間以上~2時間未満	21.8	7. 5時間以上	6.9
4. 2時間以上~3時間未満	30.8	無回答	2.1

問 42 あて名のお子さんは、携帯電話やスマートフォン、タブレットなどの通信端末を持っていますか。

1. はい	30.0	2. いいえ	67.9	無回答	2.0
-------	------	--------	------	-----	-----

問 43 あて名のお子さんは、ご家庭でパソコンや携帯電話、タブレットなどでインターネットを使っていますか。

1. はい	45.5	2. いいえ	52.5	無回答	2.1
-------	------	--------	------	-----	-----

遊び場や地域の子育て環境について

問44 過去1年間にあて名のお子さんとともに利用した公共施設はどこですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 公民館	33.9	7. 美術館・博物館	25.7
2. 市民センター	10.7	8. 少年科学文化会館	36.3
3. 総合図書館・各区の市民図書館	50.6	9. 中央児童会館	4.8
4. 市民体育館・各区体育館・市民プール	40.1	10. その他 ()	2.6
5. 小中学校の校庭・体育館	50.5	11. 利用していない	6.1
6. 動植物園など野外施設	52.5		無回答 2.3

問45 あて名のお子さんが遊ぶ場所として、近所にあつたらよいと思うものは何ですか。(○は2つまで)

1. かくれんぼや冒険遊びができる、原っぱや空き地	25.9
2. 木登りやどろんこ遊びができる場所	11.6
3. プランコやすべり台などの遊具のある公園	14.5
4. 野球やサッカーのできる場所	24.9
5. 自然が残され、虫や鳥がいる場所	17.3
6. 雨の日でも自由に遊べる場所	58.8
7. 絵を描いたり、工作、劇など家でできないことができる場所	23.2
8. その他	1.6
	無回答 2.8

問46 お住まいの地域の子育て環境で不満なことは何ですか。(○は3つまで)

1. 子どもにとって有害なものがあるなど、周りの生活環境が悪い	4.9
2. 通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い	37.9
3. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと	29.0
4. 公園や緑が少なく、安心して遊べる所が少ない	17.2
5. 大声を出したり、ボールやバットを使って自由に遊べる場所が少ない	39.4
6. 学校が遠くて通学に不便	7.9
7. 昼間にあまり大人がいない	2.4
8. 近所に子どもが少ない	8.5
9. 地域に住民が集まるような場所がない	1.3
10. 隣近所とのつきあいがいいがない	6.2
11. その他 ()	4.2
12. 特に不満はない	15.9
	無回答 3.2

問47 あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。(○は1つ)

1. 毎日でもお互いの家を行き来する	0.8
2. ときどき家を訪問する	13.6
3. 会えば、世間話をする	40.6
4. 会えば、あいさつをする程度	41.3
5. つきあいはない	1.9
	無回答 1.8

問48 あなたは、家のまわりの共同清掃作業や地域の行事(スポーツ・レクリエーション活動、夏祭り等)に参加していますか。(○は1つ)

1. いつも参加している	26.8	3. あまり参加していない	16.0
2. ときどき参加している	48.7	4. 参加したことはない	8.3
			無回答 0.1

問49 あなたがお住まいの地域では、地域の人々が協力しあって、よりよい地域をつくっていくような雰囲気などのくらいありますか。(○は1つ)

1. かなりある	39.4	3. あまりない	6.0	⇒ 問49-1へ
2. 少しはある	41.4	4. まったくない	1.6	
		5. 分からない	11.5	無回答 0.1

問49で「3」か「4」を選んだ方にうかがいます。

問49-1 地域の人々が協力しあう雰囲気がないのは、なぜだと思いますか。(○は2つまで)

N=121

1. 協力しあうきつかけやチャンスがないから	21.5
2. 住民どうしの日常的なつながりが少ないから	62.8
3. 住民の意識が協力しあう雰囲気ではないから	33.9
4. 住民組織の役員やリーダーに地域の協力をつくりだすような意識がないから	13.2
5. 地域の住民組織が確立されていないから	8.3
6. その他	10.7
	無回答 0.8

問50 あなたは隣近所などの地域の人々とのつきあいを、今後どうしたいと思いますか。(○は1つ)

1. もっとつきあいを深めたい	10.6
2. 今程度のつきあいを続けたい	54.3
3. できれば今よりつきあいを少なくしたい	1.4
4. つきあいをまったくなくしたい	1.2
5. その他	0.9
	無回答 31.5

問51 「最近の子どもには、生活体験や自然体験など『体験』が不足している」と言われていますが、特にどのような「体験」が不足していると思いますか。(〇は3つまで)

1. 料理を作ったり、食事の後片付けをしたりする	14.4
2. 子どもどうしで、遊びやスポーツなどの活動をする	34.1
3. 大人とともに、地域の行事や催しものに参加し、活動する	13.2
4. お年寄りから、日本の伝統的な工芸、芸術（竹細工、折紙など）や遊び（石けり、お手玉など）を習う	30.1
5. 自然の中でキャンプをするなど、自給自足的な生活をする	49.1
6. 野山や公園などで、草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする	39.0
7. 地域社会におけるボランティア活動に参加する	20.1
8. 商店や工場などで職場体験をする	12.8
9. 外国人との交流活動を行う	21.7
10. その他（	1.1
11. 特にない	4.5
	無回答 2.2

ほしいと思っっている子どもの数について

問52 あなたが、ほしいと思っっている子どもの数、実際に予定している子どもの数は何人ですか。(枠内に数字を記入)

N=1,588

1人	3.3	1人	9.8
2人	35.3	2人	49.1
3人	41.9	3人	24.4
4人	6.0	4人	4.1
5人以上	2.7	5人以上	0.8
無回答	10.8	無回答	12.0

《ほしいと思っっている子どもの数》 《実際に予定している子どもの数》

問52で、ほしいと思っっている子どもの数よりも実際に予定している子どもの数が少ない方がいます。

問52-1 その理由は何ですか。(〇は2つまで)

N=556

1. 育児の身体的な負担が大きいかから	12.9
2. 育児の精神的な負担が大きいかから	6.5
3. 配偶者やパートナーが家事や育児にあまり協力してくれないから	6.1
4. 年齢的な理由で無理だから	36.9
5. 健康上の理由で無理だから	10.3
6. 自分自身のやりたいことができなくなるから	2.3
7. 住まいが狭いから	4.0
8. 子どもを育てるのにお金がかかるから	50.2
9. 仕事ができない・続けにくいから	12.4
10. 教育に不安があるから	1.6
11. 社会がどうなるかわからず、子どもの将来が不安だから	6.7
12. 今いる子どもにも十分な愛情をかけてあげたいから	6.1
13. その他（	9.9
14. 特に理由はない	1.3
	無回答 3.2

行政へのご意見について

問53 あなたは、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。(あてはまる番号すべてに〇)

1. 子どもや親子が安心して集まり、遊びや情報交換ができる場を作っほしい	24.3
2. 子連れでも出かけやすく、楽しめるイベントの機会がほしい	43.6
3. 地域で子どもを見守り、育むしくみを充実してほしい	27.9
4. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作っほしい	11.4
5. 専業主婦など誰でも気軽に利用できる保育サービスがほしい	24.6
6. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい	43.0
7. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい	8.6
8. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい	12.2
9. 子育ての楽しさや大切さを広く世の中に知らせてほしい	21.9
10. 子育てについて学べる機会を作っほしい	10.4
11. その他（	5.6
12. 特にない	6.2
	無回答 4.7

◆最後に、福岡市の子ども施策に関する取り組みについて、ご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、切手は貼らずに投函してください。

福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(中学生・高校生等の保護者の方)

日ごろより福岡市政にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。
さて、福岡市では「新・福岡市子ども総合計画」(平成22～26年度)に基づき子ども施策を推進しておりますが、平成27年度にスタートする第4次福岡市子ども総合計画を策定するにあたり、市民の皆様の子育て環境や意識、ご意見などを把握するために、本調査を実施いたします。

この調査は、住民基本台帳の中から無作為に抽出した中学生・高校生年代のお子さんを
持つ保護者の方にご協力をお願いするものです。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださ
いますようお願い申し上げます。

なお、この調査は西日本新聞社に委託し、実施しております。

平成25年10月
福岡市

ご記入に際してのお願い

※ ご回答いただいた内容は、福岡市や国、県の子ども・子育て支援施策の検討にのみ利用させて
いただくものであり、他の目的に利用することは一切ございません。

- (1) **保護者の方**が記入してください。
- (2) **封筒のあて名のお子さんについて**お答え下さい。
- (3) 回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合があります。
- (4) 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、() 内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- (5) 時間(時刻)をご記入いただく場合は、**24時間制(例:午後1時→13時)**で記入してください。
- (6) 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れ、**11月13日(水)まで**にご返函ください。
- (7) 記入者の住所、氏名は、調査票、返信用封筒ともにお書きにならないで結構です。
- (8) このアンケートに関するご質問は下記までご連絡下さい。

問合せ先 ■調査票に関すること

㈱西日本新聞社 お客様センター 調査・マーケティンググループ
電話：711-5313 FAX：711-9757

■福岡市子ども行政、福岡市子ども総合計画に関すること
福岡市子ども未来局子ども部総務企画課
電話：711-4170 FAX：733-5534

お子さんとご家族の状況について

問1 あて名のお子さんの学年と性別について、選んでください。(○は1つ)

《学年》1. 中学校1年生 26.7 3. 中学校3年生 0.5 5. 高校2年生 21.1 7. その他 1.1
2. 中学校2年生 26.6 4. 高校1年生 23.0 6. 高校3年生 0.2 無回答 0.9

《性別》1. 男性 38.1 2. 女性 47.0 無回答 15.0

問2 あて名のお子さんからみたら同居の家族の人数は。(枠内に数字を記入)

	人家族 (あて名のお子さんを含む)	◎同居家族の人数
	1人 0.5 5人 24.9	1人 0.6 6人 5.9
	2人 4.6 7人 1.1	2人 4.6 8人 0.8
	3人 19.0 無回答 1.0	3人 19.0 無回答 1.0
	4人 42.2	4人 42.2

問3 あて名のお子さんの母親・父親の年代について、選んでください。(○は1つ)

《母親》

1. 29歳以下 0.1 3. 35～39歳 11.7 5. 45～49歳 37.5
2. 30～34歳 0.5 4. 40～44歳 33.6 6. 50歳以上 14.3 無回答 2.4

《父親》

1. 29歳以下 0.3 3. 35～39歳 6.4 5. 45～49歳 29.6
2. 30～34歳 0.3 4. 40～44歳 24.9 6. 50歳以上 27.6 無回答 10.8

問4 あて名のお子さんとの同居・近居の状況について選んでください。続柄はあて名のお子さんからみたら関係です。(あてはまる番号すべてに○)

1. 父母同居 (単身赴任別居を含む)	80.9	5. 祖母同居	9.2
2. 父同居 (ひとり親家庭)	2.0	6. 祖父同居	5.7
3. 母同居 (ひとり親家庭)	14.6	7. 祖母近居	8.7
4. 祖父同居	4.1	8. その他 ()	無回答 0.9

問5 このアンケート調査の記入者はどなたですか。(○は1つ)

1. 母親	89.0	3. 祖母	0.6	5. その他 ()	
2. 父親	9.5	4. 祖父	0.1		無回答 0.8

問6 現在お住まいの地域での居住年数は何年ですか。(○は1つ)

1. 1年未満	3.9	4. 5年以上～10年未満	24.5	7. 20年以上	8.1
2. 1年以上～3年未満	8.9	5. 10年以上～15年未満	26.0		
3. 3年以上～5年未満	8.9	6. 15年以上～20年未満	18.8		無回答 0.8

問7 お住まいの区はどこですか。(○は1つ)

1. 東区	20.3	3. 中央区	10.2	5. 城南区	10.5	7. 西区	12.4
2. 博多区	11.0	4. 南区	17.8	6. 早良区	16.9		無回答 0.9

お子さんのことやしつけについて

問8 あなたは、あて名のお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間が1日にどのくらいありますか（食事時間を含めます）。（平日・休日のそれぞれ〇は1つずつ）

《平日》

- | | | | |
|------------|------|------------|------|
| 1. ほとんどない | 4.2 | 4. 3～4時間程度 | 26.8 |
| 2. 30分程度 | 15.0 | 5. 5～6時間程度 | 8.3 |
| 3. 1～2時間程度 | 43.9 | 6. 7時間以上 | 1.2 |
- 無回答 0.6

《休日》

- | | | | |
|------------|------|------------|------|
| 1. ほとんどない | 2.3 | 4. 3～4時間程度 | 30.1 |
| 2. 30分程度 | 6.0 | 5. 5～6時間程度 | 18.0 |
| 3. 1～2時間程度 | 27.7 | 6. 7時間以上 | 15.2 |
- 無回答 0.8

問9 あなたは、ご自分がお子さんと一緒に過ごしている時間は十分だと思えますか。（平日・休日・全体的にそれぞれ〇は1つずつ）

《平日》

- | | | | | | | | |
|-------|------|---------|------|-------------|------|---------------|-----|
| 1. 十分 | 18.2 | 2. まあ十分 | 48.9 | 3. やや不足している | 24.8 | 4. まったく不足している | 7.5 |
|-------|------|---------|------|-------------|------|---------------|-----|
- 無回答 0.6

《休日》

- | | | | | | | | |
|-------|------|---------|------|-------------|------|---------------|-----|
| 1. 十分 | 20.7 | 2. まあ十分 | 47.4 | 3. やや不足している | 26.0 | 4. まったく不足している | 5.4 |
|-------|------|---------|------|-------------|------|---------------|-----|
- 無回答 0.5

《全体的にみると》

- | | | | | | | | |
|-------|------|---------|------|-------------|------|---------------|-----|
| 1. 十分 | 18.2 | 2. まあ十分 | 49.3 | 3. やや不足している | 25.6 | 4. まったく不足している | 5.4 |
|-------|------|---------|------|-------------|------|---------------|-----|
- 無回答 1.5

問10 あて名のお子さんは、あなたやあなたの配偶者と日ごろよく話をしますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1. あなたにも配偶者にもよく話をする | 51.6 |
| 2. あなたにはよく話をする（配偶者はいい） | 13.4 |
| 3. あなたにはよく話をするが、配偶者にはあまりしない | 21.7 |
| 4. 配偶者にはよく話をするが、あなたにはあまりしない | 2.8 |
| 5. 配偶者にもあなたにもあまり話をしない | 6.1 |
| 6. あなたにもあまり話をしない（配偶者はいい） | 1.8 |
| 7. その他（ | 1.5 |
- 無回答 1.1
- ⇒ 問 10-1 ⇐

N=288

問10-1 「3」～「6」のいずれかに〇をつけた方にかがいます。

問10-1 お子さんが、あなたや配偶者の方とあまり話をしない理由は何ですか。（〇は2つまで）

- | | |
|----------------------------|------|
| 1. 親が忙しすぎて話す機会がないから | 33.3 |
| 2. 子どもが忙しすぎて話す機会がないから | 27.4 |
| 3. 共通の話題がないから | 13.9 |
| 4. 子どもがうるさいから | — |
| 5. 親に話してわかってもらえないと思っっているから | 17.7 |
| 6. とくに話すことがないから | 19.8 |
| 7. 家族でいっしょに過ごすことがないから | 7.6 |
| 8. その他（ | 19.4 |
- 無回答 0.3

問11 あなたは、あて名のお子さんのお父さんの家庭での役割（手伝い）を決めていますか。（〇は1つ）

- | | |
|----------------------------|------|
| 1. 役割を決めて、子どもは手伝いをしている | 32.4 |
| 2. 役割を決めているが、子どもは手伝いをしていない | 5.4 |
| 3. 役割を決めていないが、子どもは手伝いをしている | 35.7 |
| 4. 役割を決めておらず、子どもも手伝いをしていない | 25.3 |
- 無回答 1.1

問12 あなたは、あて名のお子さんとの関係についてどのよう感じていますか。（〇は1つ）

- | | | | |
|-----------------|------|-----------------|-----|
| 1. うまくいっている | 43.6 | 3. あまりうまくいっていない | 4.1 |
| 2. だいたいうまくいっている | 51.1 | 4. うまくいっていない | 0.5 |
- 無回答 0.8

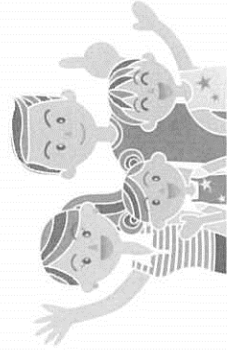
問13 あて名のお子さんに対する、あなたの日ごろのしつけ（態度）はどのようにされていますか。

((ア)～(キ)について、それぞれ〇は1つずつ)

	いつも そうである	ときどき そうである	そういう ことはない	無回答
(ア) 子どもが何かやっているとすぐ手伝ってしまう方だ	3.7	52.9	42.6	0.8
(イ) 子どもについて何でもすぐ口を出す方だ	10.9	66.3	21.7	1.0
(ウ) 子どもにもあまりかまってやれない方だ	5.2	43.9	49.9	1.0
(エ) 時と場合によっては、子どもにも言うことが違うことがある	0.7	55.7	42.5	1.1
(オ) だいたい子どもの言いなりになっている方だ	0.9	27.4	70.3	1.5
(カ) 体罰をすることがある	0.1	19.6	79.1	1.2
(キ) 子どものことを分かっている方だ	31.0	63.0	4.7	1.4

問14 家庭でのお子さんへの体罰について、あてはまる考えを選んでください。（〇は1つ）

- | | |
|----------------------|------|
| 1. しつけのためには体罰は必要だと思う | 6.2 |
| 2. 多少の体罰はやむをえない | 40.0 |
| 3. 程度に関わらず体罰はよくないと思う | 41.8 |
| 4. わからない | 10.2 |
- 無回答 1.8



問 15 あなたは、あて名のお子さんが次のようなことをしたとき、しかったり、注意したりしますか。(ア)～(コ)について、それぞれ○は1つずつ)

	強くしかったり 注意したり するだろう	しかったり 注意したり するだろう	しかったり 注意したり するだろう	しからなかった り注意しなかつ たりだろう	無回答
(ア) 食べ物の好き嫌いをしたときは	3.4	73.9	21.2	1.6	
(イ) 衣服や道具の後始末をしなかったときは	19.9	75.0	4.1	1.0	
(ウ) よくない言葉づかいや態度をとったときは	52.4	45.3	1.5	0.9	
(エ) お金のむだづかいをしたときは	30.0	64.5	4.2	1.4	
(オ) 異性の友だちとつき合ったときは	3.4	44.5	49.4	2.7	
(カ) 無断で外泊したときは	88.4	9.2	0.6	1.8	
(キ) 学校の成績が下がったときは	10.4	65.7	22.3	1.7	
(ク) 交通ルールを守らなかったときは	52.9	43.6	2.1	1.4	
(ケ) タバコを吸ったときは	85.7	11.4	0.9	2.0	
(コ) お酒を飲んだときは	77.4	18.8	1.9	1.9	

問 16 あなたは、あて名のお子さんに携帯電話・スマートフォン、タブレットなどの通信端末を持たせていますか。(○は1つ)

1. 持たせている	70.0	2. 持たせていない	26.2	⇒ 問 17 へ	無回答 3.7
-----------	------	------------	------	----------	---------

N=622

問 16 で「1」を選んだ方にうかがいます。

問 16-1 あなたは、あて名のお子さんが携帯電話を利用する場合は、何らかのルールを決めていますか。(○はいくつでも)

1. 利用する時間を限定	25.6	4. フィルタリングをかけている	42.0
2. 利用する場所を限定	20.9	5. その他のルールを決めている	19.9 ()
3. 利用する目的を限定	28.9	6. ルールは決めていない	26.5
			無回答-

問 17 あなたはあて名のお子さんのしつけや教育について、何か悩みや心配ごとはありますか。(○はいくつでも)

1. 子どもに基本的な習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につけていない	17.9
2. 子どものしつけや教育に自信がもてない	10.4
3. 子どものしつけや教育についての相談相手がいらない	2.9
4. 配偶者があまり協力してくれない	7.4
5. 子どもが勉強しない	18.2
6. 子どもの進学や受験、又は就職のこと	40.8
7. 子どもが反抗的で、なかなか言うことをきかない	8.8
8. 子どもの生活態度に意欲が感じられない	8.8
9. 子どもの友人関係がよくない	3.0
10. 子どもの身体の発育や病気のことで	6.3
11. 子どもの非行や問題行動	1.6
12. その他 ()	5.0
13. 特になし	30.1
	無回答 2.9

- 4 -

問 18 あなたはあて名のお子さんのしつけや教育について、悩みや心配ごとは相談したり、参考にしたりしているものは誰(何)ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者	61.6
2. 父母・養父母	42.3
3. 兄弟・姉妹、おじ・おば	22.6
4. 友人・知人	61.1
5. 近所の人	8.6
6. 学校の先生	22.3
7. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネット	12.5
8. 病院・保健所	2.6
9. こども総合相談センター (えがお館)・区役所こども相談窓口	2.0
10. 警察署・交番	0.2
11. 電話相談など	0.9
12. その他 ()	3.9
13. 誰(何)に相談していいかわからない	1.0
14. 誰にも相談しない	2.0
15. 相談するようにならない	5.4
	無回答 1.4

問 19 あなたは、あて名のお子さんの将来に何を期待しますか。(○は3つまで)

1. 丈夫に育ち、健康でいて欲しい	73.9	8. 経済的に豊かなくらしをして欲しい	12.6
2. 自分の意見をきちんと言えて欲しい	25.0	9. 家族やまわりの人たちと明るく円満に暮らして欲しい	53.8
3. 思いやりがあって欲しい	38.9	10. 社会に貢献して欲しい	10.0
4. 趣味・ライフワークをもって欲しい	6.8	11. 社会的に地位を得て欲しい	0.9
5. 有名企業に就職して欲しい	0.2	12. その他 ()	
6. 本人の才能や個性を生かした仕事をして欲しい	35.7	13. 何も期待しない	0.1
7. 経済的に自立して欲しい	30.0		無回答 1.0

問 20 あなたとあて名のお子さんの日ごろの関係で、次のようなことがどのくらいありますか。(ア)～(キ)について、それぞれ○は1つずつ)

	よくある	あたるきどき	なほいと	なほいと	なほいと	無回答
(ア) 子どもが何を考えているか理解できないことは	5.1	49.1	40.4	4.2	1.2	
(イ) 親の考えや気持ち持ちが子どもにわかってもらえないことは	9.9	51.4	35.1	2.4	1.2	
(ウ) 親子の親しみのある会話ができないことは	2.1	21.1	50.8	24.5	1.5	
(エ) 親子で一緒に楽しむことが少ないことは	6.9	40.1	41.7	9.9	1.5	
(オ) 子どもが親をばかにした態度をとることは	3.2	30.2	42.8	22.4	1.5	
(カ) 子どもがにくらしく思えることは	1.4	21.8	33.2	42.6	1.0	
(キ) 子どもがにくしく思えることや考えについていけないと思うことは	3.0	35.8	47.1	13.0	1.1	

- 5 -

ご家庭について

問 21 あなたのご家庭について、あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

1. 家族は互いにうちとけている	68.1
2. 一家団らんが少ない	18.6
3. 家の中にもめごとが多い	6.6
4. 親として、子どもに十分愛情をかたむけている	58.1
5. 子どもが望んだことは、ほとんどかなくてやっている	18.4
6. 子どもの考えや生活行動はだいたい把握している	66.6
7. 子どもは期待どおりに成長している	27.8
8. 仕事が忙しくて、子どもの面倒が十分みられない	12.7
9. 考え方や生き方について、自分と子どもに食い違いがある	10.7
10. その他 ()	1.9) 無回答 1.2

問 22 あなたにとって家庭とはどんなものですか。(〇は2つまで)

1. 基本的な生活や生き方を学ぶ場	51.2
2. 家族がお互いに助け合い協力しあう場	61.4
3. 心身の休養や安らぎの場	69.5
4. 自分の好きなことをして楽しむ場	2.0
5. ただ、食事をし、寝るための場所	0.7
6. その他 ()	0.8) 無回答 0.8

問 23 あなたは、配偶者との関係についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

1. うまくいっている	34.8	4. うまくいっていない	4.7
2. だいたいうまくいっている	37.8	5. 配偶者はいない	14.3
3. あまりうまくいっていない	6.6	無回答	1.7

地域について

問 24 あなたは、近所つきあいをどの程度していますか。(〇は1つ)

1. 毎日でもお互いの家を行き来する	0.8	4. 会えば、あいさつをする程度	45.4
2. ときどき家を訪問する	9.1	5. つきあいはない	2.5
3. 会えば、世間話をする	41.8	無回答	0.5

問 25 あなたは、家のまわりの共同清掃作業や地域の行事(スポーツ・レクリエーション活動、夏祭り等)に参加していますか。(〇は1つ)

1. いつも参加している	21.2	3. あまり参加していない	24.7
2. ときどき参加している	44.9	4. 参加したことはない	8.8
無回答	0.5		

問 26 あなたがお住まいの地域では、地域の人々が協力しあって、よりよい地域をつくっていくような雰囲気どのくらいありますか。(〇は1つ)

1. かなりある	41.0	3. あまりない	9.9
2. 少しはある	46.6	4. まったくない	1.8
		⇒ 問 26-1	無回答 0.7

問 26 で「3」か「4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

問 26-1 地域の人々が協力しあう雰囲気がないのは、なぜだと思いますか。(〇は2つまで)

1. 協力しあうきつかけやチャンスがないから	32.7
2. 住民どうしの日常的なつながりがないから	57.7
3. 住民の意識が協力しあう雰囲気ではないから	16.3
4. 住民組織の役員やリーダーに地域の協力をつくりだすような意識がないから	8.7
5. 地域の住民組織が確立されていないから	14.4
6. その他 ()	12.5) 無回答-

問 27 あなたは隣近所などの地域の人々とのつきあいを、今後どうしたいと思えますか。(〇は1つ)

1. もっとつきあいを深めたい	8.4
2. 今程度のつきあいを続けたい	84.8
3. できれば今よりつきあいを少なくしたい	2.0
4. つきあいをまったくなくしたい	1.2
5. その他 ()	1.1) 無回答 2.4

問 28 あなたと地域の子ども達とのかわりについておたずねします。あなたは、ふだん地域の子ども達に対して、次のようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

1. 道で会ったとき声をかけたり、あいさつをしたりしている	74.5
2. 子ども会などで一緒に地域の活動(廃品回収など)をしている	30.0
3. お年寄りや、からだの不自由な人との交流を支援している	3.2
4. 運動やスポーツの指導などをしている	3.3
5. 言葉づかいや態度が悪かったりしたら、注意している	12.2
6. 悪いことをしているのに気づいたとき、注意したり、しかつたりしている	31.0
7. 困っているときや悩んでいるときに相談にのっている	7.5
8. その他 ()	2.4)
9. 地域の子ども達とのかわりはない	14.9 無回答 2.3

問 29 お住まいの子育て環境について、不満がある場合、あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は2つまで)

1. 子どもにとつて有害なものがあるなどまわりの生活環境が悪い	3.9
2. 通学路が狭い、交通量が多いなど道路環境が悪い	30.7
3. 公園や緑が少なく、安心して遊べる所が少ない	16.6
4. 学校が遠くて通学に不便	9.6
5. 昼間にあまり大人がいない	4.6
6. 近所に子どもが少ない	7.8
7. 地域に住民が集まるような場所がない	3.3
8. とおり近所とのつきあいがいい	8.8
9. その他 ()	9.9) 無回答 30.4

問30 あなたは、今の子どもたちは健全に育っていると思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------------|------|-------------------|------|
| 1. そう思う | 11.5 | 3. どちらかといえばそう思わない | 33.3 |
| 2. どちらかといえばそう思う | 49.4 | 4. そう思わない | 3.5 |
| | | 無回答 2.3 | |

問31 あなたは、子どもたちが健全に成長していくためには、あなたの地域ではどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|------------------------------------|------|
| 1. 地域の人々が日常的に集まり、話し合える場所 | 11.0 |
| 2. 地域の子どもを見守り、育む取組の充実 | 43.5 |
| 3. 地域の人々が参加している団体・グループの活性化 | 4.1 |
| 4. 悩みごとなどを相談する人や機関の充実 | 13.7 |
| 5. ボランティアなどの青少年活動に関する情報の提供 | 6.6 |
| 6. 青少年団体の育成や指導者の養成 | 5.9 |
| 7. 地域全体の行事やイベントの活性化 | 14.5 |
| 8. 子ども達の海外派遣や外国の子ども達の受け入れなどの体制の充実 | 4.5 |
| 9. 学校施設の開放や学校活動への地域の人々の参加 | 14.2 |
| 10. 子ども達が遊びのびのびと遊べる施設や場所の充実 | 52.3 |
| 11. 子ども達が生活の知恵や技術を学ぶ機会の充実 | 33.6 |
| 12. ボール雑誌・アダルトビデオなど、青少年に有害な社会環境を改善 | 8.6 |
| 13. その他 () | 5.3 |
| 無回答 4.1 | |

問32 「最近の子どもには、生活体験や自然体験など『体験』が不足している」と言われていますが、特にどのような「体験」が不足していると思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------------------------------------|---------|
| 1. 料理を作ったり、食事の後片付けをしたりする | 23.1 |
| 2. 子どもどうしで、遊びやスポーツなどの活動をする | 32.3 |
| 3. 大人とともに、地域の行事や催しものに参加し、活動する | 18.4 |
| 4. お年寄りから、日本の伝統的な工芸、芸術（竹細工、折紙など）や遊び（石けり、お手玉など）を習う | 22.7 |
| 5. 自然の中でキャンプをするなど、自給自足的な生活をする | 43.7 |
| 6. 野山や公園などで、草花などの植物を鑑賞したり、昆虫などの動物を観察、採集したりする | 29.5 |
| 7. 地域社会におけるボランティア活動に参加する | 9.7 |
| 8. 商店や工場などで職場体験をする | 18.9 |
| 9. 外国人との交流活動を行う | 1.7 |
| 10. その他 () | 4.4 |
| 11. 特になし | 無回答 1.7 |

問33 過去1年間にお子さんとともに利用した公共施設はどこですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|----------------------|------|----------------|------|
| 1. 中央児童会館 | 1.5 | 7. 小中学校の校庭・体育館 | 38.3 |
| 2. 公民館 | 18.0 | 8. 動植物園など野外施設 | 17.2 |
| 3. 市民センター | 10.8 | 9. 美術館・博物館 | 24.0 |
| 4. 総合図書館・各区の市民図書館 | 33.1 | 10. その他 () | 1.8 |
| 5. 市民体育館・各区体育館・市民プール | 27.4 | 11. 利用していない | 22.6 |
| 6. 少年科学文化会館 | 9.8 | 無回答 1.7 | |

保護者の就労状況について

ここでは、この区分によりご回答ください。
フルタイム・・・1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等・・・フルタイム以外

問34 あなたの就労状況について選んでください。(○は1つ)

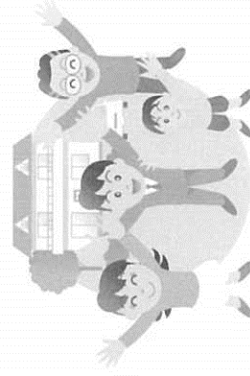
- | | | | |
|--------------------------|------|---|----------|
| 1. フルタイムで就労している | 32.4 | } | → 問34-1へ |
| 2. パート・アルバイト等で就労している | 38.6 | | |
| 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない | 22.0 | | |
| 4. これまで就労したことがない | 4.5 | | 無回答 2.5 |

N=631

問34で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。

問34-1 平均的な帰宅時刻について選んでください。(○は1つ)

- | | | | | | |
|-------------|------|-----------|------|---------------|-----|
| 1. 午後3時よりも前 | 6.8 | 5. 午後6時ごろ | 26.8 | 9. 午後10時ごろ | 2.9 |
| 2. 午後3時ごろ | 5.9 | 6. 午後7時ごろ | 18.2 | 10. 午後11時ごろ | 1.1 |
| 3. 午後4時ごろ | 10.1 | 7. 午後8時ごろ | 8.4 | 11. 午後11時よりも後 | 1.1 |
| 4. 午後5時ごろ | 13.8 | 8. 午後9時ごろ | 3.6 | 無回答 1.3 | |



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、切手は貼らずに投函してください。

子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書
【乳幼児・小学生・中高生等の保護者】

平成26年3月

発行 福岡市 こども未来局

〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号

TEL (092) 711-4170

FAX (092) 733-5534